

∴ 令和7年度地域観光資源の中国語解説整備支援事業 実施地域一覧

地域 番号	カテゴリ	都道府県	地域協議会名	英語解説文 作成年度	英語事例集 対応番号
001	観光 (9 地域)	滋賀県	滋賀県甲賀市	令和6年度	031
002		福島県	下郷町	令和3年度	028
003		北海道	一般社団法人大雪カムイミンタラDMO	令和6年度	024
006		島根県	中海・宍道湖圏域多言語解説協議会	令和2年度	037
007		岐阜県	多治見市多言語解説整備協議会	令和3年度	031
009		岐阜県	中津川市	令和5年度	024
030		埼玉県	小川町観光協会	令和7年度	038
031		愛知県	蒲郡市竹島エリア多言語解説協議会	令和7年度	040
032		佐賀県	佐賀県伊万里市	令和7年度	044

地域番号	001	協議会名	滋賀県甲賀市
------	-----	------	--------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
001-001	甲賀の里 忍術村	570	パンフレット
001-002	油日神社	470	パンフレット
001-003	甲賀三霊山	850	パンフレット
001-004	水口岡山城跡	465	パンフレット
001-005	和田砦跡	465	パンフレット
001-006	甲賀市くすり学習館	560	パンフレット
001-007	甲賀流リアル忍者館	645	パンフレット
001-008	信楽の狸の置物	435	パンフレット
001-009	甲賀市のマスコットキャラクター	320	パンフレット
001-010	忍者とは	490	パンフレット
001-011	甲賀忍者の歴史	1010	パンフレット
001-012	忍者とは	375	パンフレット
001-013	忍者の超常の技「忍術」	305	パンフレット
001-014	観光インフォメーション	185	パンフレット
001-015	甲賀流忍者調査団による展示	250	パンフレット
001-016	甲賀忍者の歴史	940	パンフレット
001-017	甲賀流リアル忍者館での体験	255	パンフレット
001-018	忍具	150	パンフレット
001-019	土産処 (甲賀流リアル忍者館)	425	パンフレット
001-020	甲賀流忍者調査団	230	看板
001-021	忍者にまつわる史料	530	看板
001-022	江戸時代の甲賀忍者	460	看板
001-023	忍者体験ご案内：AR アトラクション	500	看板
001-024	忍者体験ご案内：忍者ジャンプと手裏剣投げ	390	看板
001-025	忍具	705	看板
001-026	プロジェクションマッピング	980	看板
001-027	忍者アートルーム	80	看板
001-028	甲賀忍者の歴史	1735	WEB
001-029	和田砦跡	760	WEB
001-030	信楽高原鐵道	315	パンフレット
001-031	甲賀市くすり学習館	820	WEB
001-032	日本遺産	390	パンフレット

【タイトル】 甲賀の里 忍術村

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲贺之里忍术村

甲贺之里忍术村重现了传统乡村忍者聚居地的氛围，所有景点适合各年龄段的来访者。在这里，每一位游客都能尽享各种与“忍术”相关的互动体验活动。

村内建筑具有重要的历史意义，它们保持着当时的原貌，其中一部分从甲贺其他地区迁移而来。甲贺忍术博物馆坐落于一座重建的茅葺屋顶建筑内，馆内陈列着多种忍者武器，它们在著名的《万川集海》中都有记载——这部著作集甲贺与伊贺（今相邻的三重县西部）的忍术之大成，由忍者家族藤林一族的某位成员于 1676 年编撰而成，被视为忍术领域的权威典籍。

藤林家族的祖宅也被迁至忍者村，以“机关屋”闻名。宅内设有旋转门、秘密楼梯，其中一个用于烹饪和取暖的地炉“围炉里”下方还设有逃生通道。

来访者可以在“手里剑道场”学习瞄准靶子投掷“手里剑”（忍者飞镖），或是在设有巨大障碍物的“忍者道场”挑战攀登石墙、“水蜘蛛”（使用忍者武器涉水）等多个忍者修行项目。如果所有项目挑战成功，还可以获得“免許皆传”（合格证）卷轴。

此外，若想“瞬间变身”为真正的忍者尽情修行，可以在“服装出租店”租赁忍者服（成人款：1100 日元/天，儿童款：700 日元/天）。

营业时间：10:00~17:00（7月下旬至8月末为9:00~17:00，最晚入村时间为16:00）

休息日：周一（如遇节假日、补休日顺延）

门票：18岁以上 2000 日元，2~18岁 1500 日元，2岁以下免费

<繁体字>

甲賀之里忍術村

甲賀之里忍術村的景點適合各年齡層的遊客，這裡重現了傳統鄉村忍者聚居地的氛圍，遊客可以參加與「忍術」相關的各種互動體驗活動。

村內建築依然保持著當時的風貌，很有歷史意義，其中一部分建築遷自甲賀其他地區。坐落於一座重建茅葺屋頂建築內的甲賀忍術博物館陳列著多種忍者武器，這些忍具在集甲

賀與伊賀（今相鄰の三重縣西部）忍術之大成の《萬川集海》中都有記載，這本書由忍者家族藤林一族の某位成員在 1676 年編撰而成，被視為忍術領域の權威典籍。

藤林家族の祖宅也被遷至忍者村，以「機關屋」聞名。宅內設有旋轉門、秘密樓梯，一個用於烹飪和取暖的地爐「圍爐裏」下方還有逃生通道。

遊客可以在「手裏劍道場」學習瞄準靶子投擲「手裏劍」（忍者飛鏢），或是在設有巨大障礙物的「忍者道場」挑戰攀登石牆、「水蜘蛛」（使用忍者武具涉水）等多個忍者修行活動。所有活動都挑戰成功的遊客，可以獲得「免許皆傳」（合格證）卷軸。

如果想「瞬間變身」為真正的忍者盡情修行，「服裝出租店」有忍者服出租（成人款：1100 日圓／天，兒童款：700 日圓／天）。

營業時間：10:00～17:00（7 月下旬至 8 月末為 9:00～17:00，最晚入村時間為 16:00）

休息日：週一（如遇節假日、補休日順延）

門票：18 歲以上 2000 日圓，2 歲至 18 歲 1500 日圓，2 歲以下免費

<日本語仮訳>

甲賀の里 忍術村

甲賀の里忍術村は伝統的な田舎の忍者の集落の雰囲気再現しています。アトラクションは年齢を問わず楽しむことができ、忍術に基づいた体験型アクティビティに参加することもできます。

忍術村の建物は歴史的にも重要な、本格的なものです。一部の建造物は甲賀の他の地域から移築されました。茅葺き屋根の建物を再建した「甲賀忍術博物館」には、甲賀と伊賀（現在隣接する三重県の西部）の忍術を集大成した有名な『万川集海』に登場する忍者の武具が展示されています。この書物は 1676 年、忍者の家系である藤林一族の一人によって編纂された、忍術分野における權威ある文献とされているものです。

忍術村に移築された藤林家の先祖代々の屋敷は、「からくり屋敷」として知られています。回転する扉、隠し階段、囲炉裏（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）の下の抜け穴など、さまざまな仕掛けがあります。

「手裏劍道場」では、的をめがけて手裏劍を投げる手裏劍投げに挑戦したり、広大な障害物コースが設置されている「忍者道場」では、石垣を登ったり、忍者の道具を使って水の上を渡ったりする「水蜘蛛」などの忍者修行に挑戦することができます。すべての修行を見事にクリアしたら、「免許皆傳」の巻物がもらえます。

また、「貸衣装屋」で忍者服をレンタルすることも可能（大人用 = 1 日 1100 円、小人用 = 1 日 700 円）なので、本物の忍者になった気分ですら存分修行できます。

営業時間：10:00～17:00（7 月下旬-8 月末 9:00～17:00、入村は 16:00 まで）

定休日：月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）

入村料：18 歳以上 2,000 円、2 歳から 18 歳 1,500 円、2 歳以下無料

【タイトル】 油日神社

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

油日神社

油日神社坐落于“油日岳”山脚下，四周环绕着日本扁柏与柳杉。这里曾是甲贺武士（后来的忍者）交换情报、商讨战术的地方，神社内的回廊便是当年的议事场所。同时，油日神社也是甲贺民众进行祈祷和仪式活动的中心。

神社供奉着传说中坐镇于油日岳的油日大明神。“油日”意为“灯火”或“光”，当地传说中，这位神明从天国降临山顶时，曾发出万丈耀眼光芒。另有说法称，油日神社由圣德太子(574-622)创建，他是日本文化发展史上极具影响力的人物，被后世尊为军神供奉。

早在 877 年，官方文献中就有关于油日神社的记载。不过，现存建筑是由当地武士于 1493 年捐资修建的。除了回廊，神社建筑还包括本殿（正殿）、拜殿和门楼，均已被指定为国家重要文化财产。任何人都可以参观神社，但进入包括回廊在内的神社建筑前需要脱鞋。除服务犬外，请勿携带宠物入内。

油日神社作为“甲贺郡中惣遗址群”（惣，音同“总”）的组成部分，被指定为国家史迹。在日本战国时代(1467-1568)，甲贺地区的土豪、地方武士等小领主联合形成了自治组织“甲贺郡中惣”，与其相关的遗址群被称为“甲贺郡中惣遗址群”。

<繁体字>

油日神社

坐落於「油日岳」山腳下的油日神社四周環繞著檜木與柳杉。甲賀武士（後來的忍者）曾在這裡交換情報、商討戰術，神社內的迴廊便是當年的議事場所。同時，甲賀人也將油日神社視為祈禱和儀式活動的中心。

神社供奉著傳說中坐鎮油日岳的油日大明神。「油日」意為「燈火」或「光」，在當地傳說中，這位神明從天國降臨山頂時發出萬丈耀眼光芒。還有另一種說法，油日神社由日本文化發展史上極具影響力的聖德太子（574-622）創立，聖德太子被後世尊為軍神供奉。

早在 877 年，官方文獻中就有關於油日神社的記載。不過，現存建築是 1493 年由當地武士捐資修建的。除了迴廊，神社建築還包括本殿（正殿）、拜殿和門樓，均被指定為國家

重要文化財産。所有人都可以參觀神社，但進入包括迴廊在內的神社建築前需要脫鞋。除服務犬外，請勿攜帶寵物入內。

油日神社作為「甲賀郡中惣遺址群」（惣，音同「總」）的一部分，被指定為國家史跡。在日本戰國時代（1467-1568），甲賀地區的鄉紳、地方武士等小領主聯合形成了自治組織「甲賀郡中惣」，與其相關的遺址群被稱為「甲賀郡中惣遺址群」。

<日本語仮訳>

油日神社

油日岳のふもとに鎮座する檜や杉の木々に囲まれた油日神社は、かつて甲賀の武士たち（のちの忍者）が集まり、情報交換や戦術の話し合いを行っていた場所でした。境内には、会合に使われていた屋根付きの廻廊があります。また、この神社は甲賀の人々にとっての祈禱や祭礼のための拠り所でもありました。

主祭神は油日岳に鎮座するとされる「油日大明神」です。「油日」とは「灯火」や「光」を意味し、地元の伝説によれば、大明神は山頂に降臨した際に大きな光を放ったとされています。また、油日神社は、日本文化に多大な貢献をした人物として称えられている聖徳太子（574-622）によって創建されたと伝えられています。後世、聖徳太子は軍神として崇められました。

油日神社に関する公式な記録は 877 年にまで遡りますが、現在の社殿は 1493 年に地元の侍たちの寄進によって建てられたものです。廻廊に加えて本殿、拝殿、楼門があり、いずれも国の重要文化財に指定されています。神社の見学はどなたでも可能ですが、社殿内（廻廊を含む）に入る際は靴を脱いでいただくようお願いしています。介助犬を除き、ペットの同伴はご遠慮願います。

油日神社は「甲賀郡中惣遺跡群」の一つとして国の史跡に指定されています。「甲賀郡中惣遺跡群」とは、日本の戦国時代（1467-1568）に甲賀の土豪・地侍という小領主による水平的連合によって甲賀郡一帯に形成された自治組織に関する遺跡群を指します。

【タイトル】 甲賀三霊山

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲賀三灵山

饭道山、庚申山与岩尾山合称为“甲賀三灵山”。据说忍者曾在此地修炼技艺，因为这里远离人烟且地形多样，是修心炼身的理想场所。

三灵山因其精神象征意义，以及与修验道的苦行僧“山伏”（修验者）的关联而备受尊崇。修验道融合了神道教、佛教、道教和儒教等多种宗教元素，以对山川自然抱有敬畏之心的苦行为核心。

山间有多条徒步路线，能让人们欣赏当地美景。有关路线起点的指引及详细地图可在甲賀流真忍者馆的旅游信息中心获取。

饭道山海拔 664 米，是甲賀三灵山中最高的一座。山顶附近的饭道神社始建于奈良时代(710-784)，后遭焚毁，现存建筑建于 1650 年。神社本殿（正殿）被指定为国家重要文化财产，“桧皮葺”屋顶上覆盖着厚厚的日本扁柏树皮。每年 4、5 月，神社内到处都是盛开的杜鹃花。

传说中，日本战国时代(1467-1568)的梟雄织田信长(1534-1582)在甲賀滞留时，曾登上饭道山俯瞰其打下的江山。

庚申山与饭道山东南山脊相连，广德寺就座落在山上。相传 1200 多年前，著名高僧最澄（767-822；谥号传教大师）创建了这座寺庙。寺庙本堂（正殿）在 2013 年的山火中完全焚毁，后得以重建。登上山顶附近的观景台可饱览山色，尤其在秋叶染上绚烂红彩时，景致格外动人。

岩尾山以险峻的悬崖峭壁为特色，山间点缀着佛教石刻与形似马匹的“马岩”等造型奇特的岩石。山顶则因壮观的樱花树而成为赏樱胜地，一到 4 月，人们都会蜂拥而至。山脚下的岩尾池边生长着一棵古老的柳杉，传说最澄曾将筷子插在此地，之后就神奇地长成了这棵参天大树。这株特别的柳杉被称为“岩尾的一本杉”，巍然独立，常常出现在日本电影和电视剧当中，知名度也因此不断提升。

徒步小贴士

可事先向旅游信息中心咨询路线状况，并根据天气穿着合适的衣物。在日本，经验丰富的徒步者通常全年穿着长袖上衣和长裤，以防蚊虫叮咬。为保万全，请务必告知他人此行的

目的地。在登山道上，不妨用友好的“こんにちは！”（konnichi wa；意为你好）来跟对面的人打招呼。请保护自然环境，不留任何垃圾。

<繁体字>

甲賀三靈山

「甲賀三靈山」是飯道山、庚申山與岩尾山的合稱。據說忍者曾在此地修煉技藝，這裡遠離人煙且地形多樣，是修心煉身的理想場所。

出於精神象徵意義，以及與修驗道的苦行僧「山伏」（修驗者）的關聯，三靈山備受尊崇。修驗道強調對山川自然抱有敬畏之心的苦行，融合了神道教、佛教、道教和儒教等多種宗教元素。

山間有多條健行路線，能讓人們欣賞當地美景。甲賀流真忍者館的遊客服務中心會提供路線起點的指引和詳細地圖。

飯道山是甲賀三靈山中最高的一座，海拔 664 公尺。山頂附近的飯道神社最初建於奈良時代（710-784），後遭焚毀，現存建築建於 1650 年。神社本殿（正殿）被指定為國家重要文化財產，「檜皮葺」屋頂上覆蓋著厚厚的檜木皮。每年 4、5 月，杜鵑花競相綻放，開滿神社。

傳說中，日本戰國時代（1467-1568）的梟雄織田信長（1534-1582）在甲賀滯留時，曾登上飯道山，俯瞰他打下的江山。

廣德寺座落在與飯道山東南山脊相連的庚申山上。相傳 1200 多年前，著名高僧最澄（767-822；諡號傳教大師）創建了這座寺廟。寺廟本堂（正殿）在 2013 年的山火中完全焚毀，之後重建。登上山頂觀景台可飽覽山色，尤其在每年秋季、楓葉染上絢爛紅彩時，景致格外動人。

岩尾山的特色是險峻的懸崖峭壁，山間點綴著佛教石刻與形似馬匹的「馬岩」等造型奇特的岩石。山頂則是賞櫻勝地，一到 4 月，人們蜂擁而至，花景相當壯觀。山腳下的岩尾池邊高聳著一棵古老的柳杉，傳說最澄曾將筷子插在此地，之後就長成了這棵參天大樹，相當神奇。這株巍然獨立的柳杉被稱為「岩尾的一本杉」，極富視覺衝擊力。因為常常出現在日本電影和電視劇當中，知名度不斷提升。

健行 Tips

建議根據天氣穿著合適的衣物，也可以事先向遊客服務中心諮詢路線狀況。在日本，經驗豐富的健行愛好者通常全年穿著長袖上衣和長褲，以防蚊蟲叮咬。告知他人此行的目的地是很明智的作法。在登山道上，不妨友好的用「こんにちは！」（konnichi wa；「你好」的意思）來跟對面的人打招呼。請保護自然環境，不要留下垃圾。

<日本語仮訳>

甲賀三霊山

飯道山、庚申山、岩尾山は、甲賀三霊山として知られています。人里から離れた立地や変化に富んだ地形が修行にふさわしい環境であったことから、忍者たちがここで技を磨いたとされています。

三霊山は、その霊的な意義と修験道の道者である山伏（修験者）たちとの関わりから、崇拜の対象となっています。修験道は、神道、仏教、道教、儒教など、さまざまな宗教の要素が融合しつつ、山や自然に対する畏敬の念に根差した修行形態です。

三霊山には複数のハイキングコースがあり、周辺の美しい景色を楽しむことができます。コーススタート地への道順や詳細な地図は、甲賀流リアル忍者館の観光インフォメーションセンターで入手できます。

飯道山は、甲賀三霊山の中で最も高い山で、その標高は 664 メートル。山頂近くにある飯道神社は、奈良時代（710-784）に建てられました。その後火災で焼失し、現在の社殿は 1650 年に再建されたものです。檜皮葺屋根の本殿は、国の重要文化財に指定されています。4 月から 5 月にかけて、境内にはシャクナゲが咲き誇ります。

日本戦国時代（1467-1568）有力な大名、織田信長（1534-1582）が甲賀滞在中に飯道山に登り、国見をしたとも伝えられています。

庚申山は飯道山の南東の尾根に連なり、広徳寺を擁します。この寺は 1200 年以上前に高僧・最澄（767-822、諡号は伝教大師）が開山したと伝わっています。本堂は 2013 年の山火事で全焼し、再建されました。山頂付近には展望台があり、特に秋には紅葉で鮮やかに彩られ、美しい景色が楽しめます。

岩尾山は険しい崖が特徴であり、石仏や馬のような形をした「お馬岩」など、珍しい形をした岩が点在しています。また、山頂は見事な桜の木で知られており、4 月にはお花見スポットとして人気があります。山のふもとには岩尾池があり、そのほとりに一本の杉の古木が生えています。伝説によると、最澄がこの地に箸を植えたところ、不思議なことに箸が成長し、立派な杉の木になったと言われています。「岩尾の一本杉」と呼ばれるこの特別な杉の堂々とした姿は、見るものを圧倒します。この木は日本の映画やドラマのロケ地にも使われており、さらに知名度の高い杉になりました。

トレッキングのヒント

インフォメーションセンターにルート状況の問い合わせ、天候に適した服装を選びましょう。日本では、経験豊富なトレッカーは虫除けのために年間を通じて長袖と長ズボンを着用しています。また、誰かに自分の行き先を知らせておくこと安心です。登山道では、すれ違う人々に「こんにちは！」と挨拶するのが習慣です。環境保護のため、ゴミは持ち帰るようにしましょう。

【タイトル】 水口岡山城跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

水口岡山城遗址

水口岡山城建成于 1585 年，由日本战国时代(1467-1568)的武将丰臣秀吉(1537-1598)下令建造，当时他派遣了一名家臣驻扎城内。水口岡山城是该地区的第一座城郭，拥有高大的石垣和瓦葺屋顶。据说，它的规模曾令当地民众心生敬畏。

水口岡山城的修建是甲贺忍者历史上的重要转折点，它标志着当地社会从原有的社区合作自治体系转变为统一政府的地域统治体系。

1600 年，德川家康(1543-1616)在席卷全国的权力之争中成功夺权，水口岡山城随之遭到德川方的攻击，城主弃城而逃。之后，德川家康成为幕府将军，甲贺的统治权随之更迭。最终，这座城郭遭到废弃并被拆除。

1634 年，为了在第三代幕府将军德川家光(1604-1651)到访时提供住宿，人们在水口岡山城所在的山脚下建造了第二座规模小得多的要塞——水口城。据说，这座新城就是用昔日城郭的石料修建的。

如今，水口岡山城仅存一小部分石垣，但山腰上仍能看出城郭的轮廓。整个遗址区域已被改造成公园，来访者可在山顶俯瞰城市全景。水口岡山城遗址被指定为国家史迹，从水口站步行约 15 分钟可达。

<繁体字>

水口岡山城遺址

1585 年，日本戰國時代（1467-1568）的武將豐臣秀吉（1537-1598）下令建造水口岡山城，並在這裡派駐了一名家臣。作為該地區的首座城郭，它擁有高大的石垣和瓦葺屋頂。據說其規模之大，足以讓當地老百姓心生敬畏。

水口岡山城的修建是甲賀忍者歷史上的重要轉捩點，它代表了當地社會從原有的社區合作自治體系轉變為統一政府的地域統治體系。

1600 年，德川家康（1543-1616）在席捲全日本的權力之爭中勝出並掌權，水口岡山城隨之遭到德川方攻擊，城主倉皇逃離。在此以後，德川家康成為幕府將軍，甲賀的統治權也再次更迭。最終，這座城郭遭到廢棄並被拆除。

1634年、人們在水口岡山城所在の山脚下建造了第二座規模小得多的要塞——水口城、為第三代幕府將軍德川家光（1604-1651）到訪時提供住宿。據說，水口城是用昔日城郭石料修建的。

到了今天，水口岡山城只剩下一小部分石垣，但山腰上仍能看出城郭的輪廓。整個遺址區域已被改造成公園，站在山頂上，可以輕鬆俯瞰城市全景。水口岡山城遺址已經被指定為國家史跡，從水口站步行約15分鐘可達。

<日本語仮訳>

水口岡山城跡

この城は、日本戦国時代（1467-1568）の武将豊臣秀吉（1537-1598）の命によって1585年に築かれ、彼の家臣の一人が居城しました。高い石垣と瓦葺きの屋根を持つこの城は、この地域で初の城郭であり、その規模に地域の人々は畏敬の念を抱いたと言われています。

水口岡山城の築城は、甲賀忍者の歴史において大きな転換点となりました。この城は、それまでの地域社会による協力的な自治体制から、統一された政府による地域支配体制への転換を象徴するものでした。

1600年、徳川家康（1543-1616）が全国を巻き込んだ合戦で実権を握ると、水口岡山城は攻撃を受け、城主は城を放棄して逃げざるを得ませんでした。家康が將軍の座に就くと、甲賀の支配者は再び変わるようになります。水口岡山城はその後廃城となり、取り壊されました。

1634年に、より小さな要塞として2つめとなる水口城が、水口岡山城が建っていた山の麓に築城されました。この城は、3代將軍徳川家光（1604-1651）がこの地を訪れた際の宿城として建てられたものです。かつての城の石が新しい城に使用されたとされています。

水口岡山城の石垣は一部しか残っていませんが、その輪郭は今でも山の中腹に見ることができます。一帯は公園として整備され、山頂からは市街地が一望できます。水口岡山城跡は国の史跡に指定されており、水口駅から徒歩15分でアクセスできます。

【タイトル】 和田砦跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

和田要塞遗址

日本战国时代(1467-1568)，甲贺地区的忍者们为了保护家族和守卫村庄，修建了许多防御工事。在当地崎岖险峻的山地与峡谷间，现已确认的要塞遗址约有 180 处。

这些要塞有时也被称作“城”，但它们实际上只是被土垒和壕沟环绕的简易建筑。已确认的大多数遗址如今位于私有土地上，建筑遗存所剩无几。不过，探访和田要塞遗址有助于了解这类防御工事在忍者生活中所扮演的角色。

当时，甲贺的地方治理颇为特殊，与日本大多数地区都不尽相同。这里的地方大名（大领主）势力薄弱，当地社区以血缘和地缘关系为纽带结盟，实行地方自治。这种地方治理与集体自卫的策略，对维持地区稳定、防止单一强权崛起至关重要。而这些防御坚固、易守难攻的要塞，更展现了以忍者为代表的甲贺民众高超的防御技术。

和田要塞建于山谷最深处的一座小山上，主城建筑呈正方形，边长 50 米，四周环绕着土垒，其中有的土垒推测高达 7 米。这片山谷中曾建有 7 座要塞，一旦发现可疑动向，人们便从这些要塞发起攻击。

由于和田要塞遗址位置较难寻找，建议来访者先到甲贺流真忍者馆的旅游信息中心咨询具体路线。

<繁体字>

和田要塞遗址

日本戰國時代（1467-1568），甲賀地區的忍者們為了保護家族和守衛村莊，修建了許多防禦要塞。此處崎嶇險峻的山地與峽谷間，已經有大約 180 處遺址被確認為要塞。

雖然這些要塞有時也被稱作「城」，但實際上它們只是被土壘和壕溝所環繞的簡易建築。已確認的大多數遺址如今位於私有土地上，建築遺存所剩無幾。不過，探訪和田要塞遺址可有助於了解這類防禦要塞在忍者生活中所扮演的角色。

不同於日本大多數地區，甲賀地區的地方大名（大領主）勢力薄弱，當地社區以血緣和地緣關係為紐帶結盟，實行地方自治，這在當時十分特殊。這種地方治理與集體自衛的策

略，對維持地區穩定、防止單一強權崛起至關重要。而防禦堅固、易守難攻的要塞，更展現了以忍者為代表的甲賀人高超的防禦技術。

和田要塞建於山谷盡頭的一座小山上，主城建於呈正方形，邊長 50 公尺，四周環繞著土壘，其中有些土壘推測高達 7 公尺。這片山谷中曾建有 7 座要塞，一旦發現可疑動向，人們便從這些要塞發起攻擊。

和田要塞遺址位置較難尋找，如果遊客有意到訪，建議先到甲賀流真忍者館的遊客服務中心諮詢具體路線。

<日本語仮訳>

和田砦跡

戦国時代（1467-1568）、甲賀地方の忍者たちは一族や村を守るために砦を築きました。この地域の険しい山々や谷には、約 180 の砦跡が確認されています。

これらの砦は城と呼ばれることもありますが、堀と土壘に囲まれた単純な構造でした。確認されているほとんどの砦跡は私有地にあり、かつて建っていた建造物の痕跡はほぼ残っていません。しかし、和田砦跡を訪れることで、砦が忍者の生活において果たした役割を理解することができます。

甲賀は当時としては珍しく、他の多くの地域とは異なり、大名の権力が弱い地域でした。その代わりに地域の住民は血縁や地縁に基づく集団を形成し、自治的な地域統治を行っていました。こうした地方統治や集団的自衛といった戦略は、安定を維持し、単一の支配的勢力の台頭を防ぐ上で極めて重要でした。堅固で攻撃が困難な砦は、忍者をはじめとする甲賀の人々の防御技術の高さを物語っています。

和田砦は谷の最も奥にある丘の上に建てられました。主要な囲いは一辺が 50 メートルの正方形で、周囲は土壘で囲まれており、中には高さ 7 メートルに達するものもあったと考えられています。谷にはかつて 7 つの砦があり、不審な動きがあると砦から攻撃が始まりました。

和田砦跡は見つけにくい場所にあるため、甲賀流リアル忍者館の観光インフォメーションセンターに立ち寄り、道順を尋ねることをお勧めします。

【タイトル】 甲賀市くすり学習館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲賀市医药学习馆

甲贺地区（今滋贺县内）利用草药的历史十分悠久。草药的相关知识对忍者而言至关重要，他们需要通过调配这些草药制作出各种各样的药物。参观甲贺市医药学习馆，就能了解忍者对草药的运用，以及甲贺与医药的历史渊源。

学习馆的常设展览展示了制药工具，以及从江户时代(1603-1867)到昭和时代(1926-1989)的药品招牌和广告，追溯了甲贺医药生产与销售的历史。互动展览则聚焦于草药，全面呈现了延续至今的甲贺医药相关产业的发展历程。此外，“甲贺药品的制造・贩卖器具”已被列入国家登录物质民俗文化财产。

忍者凭借积累的知识，用草药来制作“忍药”。1676年，忍者家族藤林一族的某位成员编撰了《万川集海》，这部著作汇集了甲贺与伊贺（今相邻的三重县西部）的忍术知识，其中提到了多种忍药：有些用于缓解忍者执行任务途中可能患上的常见疾病；还有一些则用于让敌人生病、失去战斗力，或是令凶犬止吠，以免忍者暴露行踪。

在甲贺市医药学习馆，只需支付少量费用，就能尝试制作“兵粮丸”，即忍者在需要补充能量时吃的便携食物。这项体验活动适合各年龄段人群，但需提前预约，详情可咨询甲贺流真忍者馆的旅游信息中心或甲贺市医药学习馆。

开馆时间：9:30～17:00

闭馆日：周一（如遇节假日、补休日顺延）、元旦放假期间（12月29日～1月3日）

门票：免费

<繁体字>

甲賀市醫藥學習館

草藥的相關知識對忍者至關重要，他們通過調配草藥，製作出各種各樣的藥物。甲賀地區（今滋賀縣內）利用草藥的歷史十分悠久，參觀甲賀市醫藥學習館，可以了解忍者對草藥的運用，以及甲賀與醫藥的歷史淵源。

學習館の常設展覽展示了製藥工具，以及從江戸時代（1603-1867）到昭和時代（1926-1989）的藥品招牌和廣告，追溯了甲賀醫藥生產與銷售的歷史。互動展覽則聚焦草藥，呈現延續至今的甲賀醫藥相關產業的發展歷程。「甲賀藥品的製造・販賣器具」已被列入國家登錄有形民俗文化財產。

忍者憑藉積累的知識，用草藥製作「忍藥」。1676年，忍者家族藤林一族的某位成員編撰了《萬川集海》，這部著作彙集了甲賀與伊賀（今相鄰的三重縣西部）的忍術知識，提到了多種忍藥——有些用於緩解忍者執行任務途中可能患上的常見疾病，還有一些能讓敵人生病、失去戰鬥力，或是讓吠叫的狗安靜下來，避免忍者暴露行蹤。

只需支付少量費用，就能在甲賀市醫藥學習館製作「兵糧丸」，這是一種忍者在需要補充能量時吃的便攜食物。這項體驗活動需提前預約，適合各年齡層，詳情可諮詢甲賀流真忍者館的遊客服務中心或甲賀市醫藥學習館。

開館時間：9:30～17:00

閉館日：週一（如遇節假日、補休日順延）、元旦放假期間（12月29日～1月3日）

門票：免費

<日本語仮訳>

甲賀市くすり学習館

薬草の利用は、現在の滋賀県に位置する甲賀地域で長い歴史があります。これらの植物に関する知識は忍者にとって重要であり、彼らはこれらを組み合わせることで様々な薬を作りました。甲賀市くすり学習館を訪れると、忍者がどのように薬草を使用したか、また甲賀と薬の歴史について学ぶことができます。

学習館の常設展示では、製薬道具や、江戸時代（1603-1867）から昭和期（1926-1989）にかけての薬の看板、広告が展示されており、薬の製造と販売の歴史を辿ることができます。また、薬草をテーマにした体験型の展示もあり、現在も続く甲賀の薬業の発展を総合的に知ることができます。なお、「甲賀売薬の製造・販売用具」は国の登録有形民俗文化財に登録されています。

忍者たちは蓄積した知識を生かして、薬草から「忍薬」を作りました。1676年、忍者の一族である藤林氏が『万川集海』という甲賀と伊賀（現在隣接する三重県の西部）の忍術を集めた書物を編纂しましたこの書物には、様々な忍薬が記載されており、たとえば忍者が任務中に罹患しがちな病気を緩和するために使用した薬や、敵を病気にさせたり弱らせたりする薬、吠えて忍者の存在を知らせる犬を静かにさせる薬もあります。

甲賀市くすり学習館では、少額の参加費で、忍者がエネルギーを補給するために食べたと言われる忍者の携帯食「兵糧丸」を作る体験ができます。この体験は年齢を問わずどなたでも参加可能ですが、事前予約が必要です。詳細については、甲賀流リアル忍者館の観光インフォメーションセンターや、甲賀市くすり学習館にお問い合わせください。

開館時間：9:30～17:00

休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：無料

【タイトル】 甲賀流リアル忍者館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲賀流真忍者館

“甲賀流”指的是近江国（今滋賀县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）的甲賀忍者。历史上，甲賀与伊賀（今相邻的三重县西部）地区一直是日本中世纪（12-16世纪）至近代忍者活动的核心地带。

尽管在流行文化、媒体以及漫画、电影等艺术作品中，忍者被塑造成一身黑色装束、近乎超人的刺客形象走向世界，但这些描绘往往并不准确。近年来，研究者与历史学家已逐渐揭开了甲賀忍者的真实面貌。甲賀流真忍者館不但对外传播着忍者这一丰富的文化传统，也扮演着甲賀旅游门户的角色。

忍者的主要职责是为其雇主暗中搜集情报。忍者的技艺“忍术”注重隐秘行动与运用各类生存策略，需要从业者具备持久的体力、敏捷的思维与战略思考能力。

甲賀流真忍者館设有互动展览，深入解析忍术，展示定义忍者身份的知识与技能。各年龄段参观者都能通过体验活动唤醒自己的“内在忍者”。

馆内的详细年表突出呈现了甲賀忍者历史上的重要事件，以及忍者在辅佐日本著名历史人物过程中所发挥的关键作用。其他展览则介绍了忍者在本地产下的文化传统，比如他们在建造要塞方面的专长以及丰富的草药知识。

甲賀流真忍者館还是忍者相关研究的中心，馆内陈列着揭示忍者真实面貌的历史文献。工作人员可为参观者介绍本地其他忍者相关景点。馆内还提供自行车租赁服务，方便客人前往更远的地方探索。礼品店则出售丰富多样的忍者主题商品以及甲賀周边地区的特产。

开馆时间：10:00～16:00

闭馆日：周一（如遇节假日、补休日顺延）、元旦放假期间（12月29日～1月3日）

门票：免费

<繁体字>

甲賀流真忍者館

歴史上、甲賀與伊賀（今相鄰の三重縣西部）地區一直是日本中世紀（12-16 世紀）至近代忍者活動的核心地帶，而「甲賀流」指的便是近江國（今滋賀縣；「國」是日本古代行政區劃，有別於「國家」）的甲賀忍者。

在向全球輸出的流行文化、媒體以及漫畫、電影等藝術作品中，忍者通常是一身黑色裝束、近乎超人的刺客形象，但其實這些描繪並不準確。近年來，研究者與歷史學家逐漸揭開了甲賀忍者的真實面貌。甲賀流真忍者館就肩負著對外傳播忍者文化傳統和甲賀旅遊門戶的重任。

忍者的主要職責是為雇主暗中搜集情報。忍者的技藝「忍術」注重隱秘行動與運用各類生存策略，所以要求從業者具備持久的體力、敏捷的思維與戰略思考能力。

甲賀流真忍者館內設有各類互動展覽，深入解析忍術，展示定義忍者身份的知識與技能。各年齡層參觀者都能透過體驗活動，喚醒自己的「內在忍者」。

館內的詳細年表呈現了甲賀忍者歷史上的重要事件，以及忍者在輔佐日本主要歷史人物過程中所發揮的關鍵作用。其他展覽則介紹了忍者在當地留下的文化傳統，比如他們在建造要塞方面的專長以及豐富的草藥知識。

甲賀流真忍者館還是忍者相關研究的中心，館內陳列著揭示忍者真實面貌的歷史文獻。工作人員可為遊客介紹當地其他忍者的相關景點。如果想到更遠地方探索，可以在這裡租借自行車。禮品店內則有各種忍者主題商品以及甲賀周邊地區的特產出售。

開館時間：10:00～16:00

閉館日：週一（如遇節假日、補休日順延）、元旦放假期間（12月29日～1月3日）

門票：免費

<日本語仮訳>

甲賀流リアル忍者館

甲賀流とは、近江国（現在の滋賀県、この「国」とは古代日本の行政区画、いまの「国家」とは異なる）の甲賀忍者を指します。歴史的に、甲賀と伊賀（現在隣接する三重県の西部）の地域は、日本中世（紀元 12-16 世紀）から近代にかけて忍者の活動の中心地でした。

ポップカルチャーやメディア、漫画や映画などの芸術作品によって、忍者は黒装束をまとった超人的な暗殺者として世界に紹介されていますが、こういったイメージは多くの場合誤っています。近年、研究者や歴史家が甲賀忍者の本来の姿を明らかにしてきました。甲賀流リアル忍者館は、この豊かな伝統を伝えると同時に、甲賀観光の玄関口としての役割も果たしています。

忍者の主な役割は、依頼者のために人目を忍んで情報を集めることでした。忍術は、隠密行動や生存戦術に重点を置いており、身体的な耐久力、頭の回転の速さ、戦略的思考が求められました。

甲賀流リアル忍者館では、忍術に関する理解を深め、忍者を定義する知識やスキルなどを紹介す

るインタラクティブな展示を行っています。来館者は年齢を問わず、体験型のアクティビティを通じて内なる忍者に触れることができます。

詳しい年表では、甲賀忍者の歴史における主要な出来事や、彼らが日本の主要な歴史的人物を支える上で果たした重要な役割を浮き彫りにしています。他の展示では、砦の建築における忍者の専門知識や薬草に関する広範な知識など、地域における忍者の伝統を詳しく紹介しています。

甲賀流リアル忍者館は、忍者研究の拠点でもあり、忍者の真の姿を探るための情報を提供する歴史的文書が展示されています。スタッフが地域にある他の忍者関連の観光スポットを案内してくれたり、さらに遠出したい人にはレンタサイクルの貸し出しも行ってきます。土産処では、忍者関連の商品や甲賀周辺地域の特産品を豊富に取り揃えています。

開館時間：10:00～16:00

休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：無料

【タイトル】 信樂の狸の置物

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

信乐的狸猫摆件

数百年以来，信乐烧以其卓越的品质而享有盛誉。信乐是“日本六大古窑”之一，制陶传统可追溯至 800 多年前。

2004 年，信乐町与其他 4 个自治体合并成立甲贺市。在这里，除了忍者元素，来访者还会看到许多狸猫（也称狸，在日本被视为能让生意兴隆并带来好运和财运的吉祥物）造型的装饰摆件。明治时代(1868-1912)，信乐的陶艺家藤原鍬造（生卒年不详；鍬，音意同“铁”）首次创作了狸猫摆件。1951 年，昭和天皇(1901-1989)正式访问信乐，人们沿途摆出狸猫像来欢迎他。自此以后，大大小小的狸猫摆件逐渐成为日本的标志性产品，其中最著名的就是头戴斗笠、手持酒壶的“八相缘起”狸猫。而在甲贺市，甚至还能看到装扮成忍者的狸猫造型。

信乐狸猫笑容可掬，已成为深受日本民众喜爱的吉祥物。在日语里，“狸”字与“超越他人”的发音相同，因此许多店主会在店铺或餐馆门口放置狸猫摆件，祈求生意兴隆。

信乐烧品类繁多，还包括陶罐、茶道器具，近年来又新增了餐具、花盆、瓷砖和装饰摆件等产品。

<繁体字>

信樂的狸貓擺件

幾百年以來，信樂燒以其卓越的品質而享有盛譽。身為「日本六大古窯」之一的信樂，其製陶傳統可追溯至 800 多年前。

2004 年，信樂町在與其他 4 個自治體合併後成立甲賀市。在這裡，除了忍者元素，遊客還會看到許多狸貓（也稱狸，在日本被視為能讓生意興隆並帶來好運和財運的吉祥物）造型的裝飾擺件。到了明治時代（1868-1912），信樂的陶藝家藤原鍬造（生卒年不詳；鍬，音意同「鐵」）首次創作了狸貓擺件。昭和天皇（1901-1989）在 1951 年時正式訪問信樂，人們沿途擺出狸貓像歡迎他。從此，大大小小的狸貓擺件逐漸成為日本代表產品之一，其中最著名是頭戴斗笠、手持酒壺的「八相緣起」狸貓。而在甲賀市，甚至還能看到裝扮成忍者的狸貓造型。

信樂狸貓笑容可掬，是深受日本民眾喜愛的吉祥物。因為在日語中，「狸」字與「超越他人」發音相同，許多店主會在店鋪或餐館門口放置狸貓擺件，祈求生意興隆。

信樂燒品類繁多，傳統上有陶罐、茶道器具，近年來又新增了像是餐具、花盆、瓷磚和裝飾擺件。

<日本語仮訳>

信樂の狸の置物

信樂焼はその品質の高さから、何世紀にもわたって高く評価されてきました。信樂は、日本の六古窯の一つとして知られる、800年以上前から陶器づくりが行われてきた地域です。

2004年に信樂町は他の4つの自治体と合併して甲賀市となりました。甲賀市を訪れると、忍者のモチーフと並んで、たくさんの狸（商売繁盛や開運、金運向上の縁起物）の置物を目にします。明治時代（1868-1912）、信樂の陶工、藤原鋳造（生没年不詳）が最初に狸を作り、1951年信樂に行幸された昭和天皇（1901-1989）を沿道に置かれたこの狸の置物で歓迎して以来、大きさ様々な狸の置物は日本を代表する名産品となりました。最もよく知られているバージョンは、笠をかぶり、徳利を持った「八相縁起」と呼ばれる狸ですが、甲賀市では忍者に扮した狸も見られます。

信樂の狸はその朗らかな表情から、縁起物として人気があります。日本語のなかで、「たぬき」という言葉は「他抜き」（他を抜く）と発音が同じため、多くの経営者が商売繁盛を願って、店やレストランの入り口に狸を置いています。

信樂焼には壺、茶道具、そして近年では食器や植木鉢、タイル、その他の装飾用の置物などがあります。

【タイトル】 甲賀市のマスコットキャラクター

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲賀市の吉祥物

日本许多城镇都有担当地方“旅游大使”的吉祥物，甲贺市就有两位——忍者卫门和ぼんぼこちゃん（Ponpoko chan；蓬蓬酱）。

忍者卫门的造型像一颗圆润饱满的米粒，其设计灵感源自当地出产的黑米。它身着黑色忍者服，手持手里剑（忍者飞镖）。蓬蓬酱是一只年幼的狸猫（也称狸，在日本被视为能让生意兴隆并带来好运和财运的吉祥物），代表 2004 年并入甲贺市的信乐町。信乐自古以来就以制陶古镇而闻名，蓬蓬酱也体现了这一陶艺传承。当地出产的陶瓷狸猫摆件象征吉祥与繁荣，深受人们喜爱。蓬蓬酱的肚子上写着“楽”（乐）字，寄托着希望每位来访者都能享受旅程的美好祝愿。

在甲贺市各处都能看到忍者卫门和蓬蓬酱的形象，这两个亲切的卡通角色还会在当地活动中现身。

<繁体字>

甲賀市的吉祥物

日本許多城鎮都有擔當「旅遊大使」的吉祥物，甲賀市就有兩位——忍者衛門和ぼんぼこちゃん（Ponpoko chan；蓬蓬醬）。

忍者衛門的造型像一顆圓潤飽滿的米粒，其設計靈感源自當地出產的黑米。它身著黑色忍者服，手持手裏劍（忍者飛鏢）。蓬蓬醬是一隻年幼的狸貓（也稱狸，在日本被視為能讓生意興隆並帶來好運和財運的吉祥物），代表 2004 年併入甲賀市的信樂町。信樂自古以來就以製陶古鎮而聞名，蓬蓬醬也體現了這一陶藝傳承。當地出產的陶瓷狸貓擺件象徵吉祥與繁榮，很受歡迎。蓬蓬醬肚子上寫著「楽」（樂）字，寄託著希望每位遊客都能享受旅程的美好祝願。

在甲賀市，到處都能看到忍者衛門和蓬蓬醬的形象。這兩個親切的卡通角色還會現身於在地的活動中。

<日本語仮訳>

甲賀市のマスコットキャラクター

日本の多くの市町村には、地域の観光大使として活躍するマスコットキャラクターがいます。甲賀市には「にんじゃえもん」と「ぼんぼこちゃん」という2つのマスコットキャラクターがいます。

にんじゃえもんは、地元産の黒米をイメージした、ふっくらとした米粒のような形をしています。黒い忍者装束を身にまとい、手には手裏剣を持っています。ぼんぼこちゃんは、2004年に甲賀市の一部となった信楽町をPRする子タヌキ（商売繁盛や開運、金運向上の縁起物）です。信楽は古くから焼き物の町として知られ、ぼんぼこちゃんもその焼き物の伝統を反映しています。この町で作られるたぬきの置物は、幸運と繁栄のシンボルとして人気があります。ぼんぼこちゃんのおなかには「楽」の字が書かれており、訪れる人々が楽しい時間を過ごせるようにという願いが込められています。

甲賀市のあちこちに「にんじゃえもん」と「ぼんぼこちゃん」の絵が飾られており、親しみやすい着ぐるみのキャラクターたちは、地元のイベントにも登場します。

【タイトル】 忍者とは

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

什么是忍者？

过去忍者分为两类，一类是“阴忍”，他们主要负责在暗处战斗和潜伏；另一类是“阳忍”，他们伪装成僧侣、商人、街头艺人等身份，接近目标并搜集情报。阳忍会在一个地区长期停留，通过与当地居民建立友好关系来达成目的。两类忍者都需隐秘行动，或必须运用各类生存策略才能完成任务，因此他们务必具备持久的体力、敏捷的思维与战略思考能力。

与日本大多数地区相比，当时甲贺地区在地域治理方面颇为特殊。这里的地方大名（大领主）势力薄弱，社区以血缘与地缘关系为纽带结盟，实行自治与集体自卫，以此维持地区稳定，防止单一强权崛起。甲贺忍者凭借专业技能侦查敌军动向，评估其弱点，发动突袭，并提供战略建议。他们的作用至关重要，其行动往往能决定战役的胜负与雇主的命运。

甲贺忍者的职责也随着时代发展而不断演变。在战乱频发的日本战国时代(1467-1568)，他们主要参与战斗、情报搜集与战略规划；而在相对和平的江户时代(1603-1867)，一些甲贺忍者则进入中央或地方政府任职，担任护卫、守卫及海防警备等职务。

到访甲贺时，不妨深度探索一下忍者的世界，了解忍术、忍具以及忍者在日本历史中所发挥的重要作用。

<繁体字>

什麼是忍者？

忍者在過去分為兩類：「陰忍」和「陽忍」。前者主要負責在暗處戰鬥和潛伏；後者則偽裝成僧侶、商販和街頭藝人等身份，接近目標並搜集情報。陽忍會在一個地區長期停留，透過與在地居民建立友好關係來達成目的。不論是陰忍或者陽忍，都需隱秘行動，或必須運用各種生存策略來完成任務，所以他們需要具備持久的體力、敏捷的思維與戰略思考能力。

當時，不同於日本大多數地區，甲賀在地區治理方面比較特殊。這裡的地方大名（大領主）勢力薄弱，社區以血緣與地緣關係為紐帶結盟，實行自治與集體自衛，以此維持地區穩定，防止單一強權崛起。甲賀忍者憑藉專業技能偵查敵軍動向，評估其弱點，發動突襲，並提供戰略建議。因此，其行動至關重要，甚至往往能決定戰役的勝負與雇主的命運。

甲賀忍者的職責會隨時代發展而不斷演變。在戰亂頻發的日本戰國時代（1467-1568），甲賀忍者主要參與戰鬥、情報搜集與戰略規劃；到了相對和平的江戶時代（1603-1867），他們中有些人則進入中央或地方政府任職，擔任護衛、守衛及海防警備等職務。

到甲賀遊玩，不妨花些時間深入探索忍者的世界，了解忍術、忍具以及忍者在日本歷史中的重要意義。

<日本語仮訳>

忍者とは

忍者には、闇に紛れて戦いや潜入を行う「陰忍」と、僧侶や商人、大道芸人などに変装してターゲットと関わり、情報を収集する「陽忍」という 2 種類がいました。陽忍は、長期にわたってその地域に滞在し、地域住民と親しくなることで目的を達成しました。彼らは身体的な持久力、頭の回転の速さ、戦略的思考を必要とする、さまざまな隠密行動や生存戦術を取り入れていました。

甲賀は当時としては珍しく、他の多くの地域とは異なり、大名の権力が弱い地域でした。その代わりに、地域住民が血縁や地縁に基づいて集団を組織し、自律的な統治と集団的な自衛を実践することで安定を維持し、支配的な権力の台頭を防いでいました。甲賀忍者は、その専門知識を駆使して敵の動きを調べ、弱点を見極め、奇襲を仕掛け、戦略的な助言を与えました。彼らの役割は非常に重要で、その活動がしばしば戦いの結果や主君の運命を左右することがありました。

甲賀忍者の役割は時代とともに進化しました。広範囲で武力紛争が繰り広げられていた戦国時代（1467-1568）、彼らは主に戦や情報収集、戦略立案に従事していました。比較的平和な江戸時代（1603-1867）には、一部の甲賀忍者が中央や地方の官職を得て、護衛や警護、沿岸防衛の見張り役などを務めました。

ぜひ甲賀市を訪れて、忍者の世界を深く知り、忍術や忍具、歴史における忍者の重要性について学びましょう。

【タイトル】 甲賀忍者の歴史

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲賀忍者的历史

甲賀忍者具备坚韧不屈的精神与超乎常人的忍耐力，忠于使命却不求个人荣耀。尽管他们与日本一些最著名的历史人物有所关联，却始终保持低调，隐于幕后。

起源传说

甲賀忍者的真正起源已无从考证，但有传说称与圣德太子(574-622)有关，他是对日本文化发展贡献卓著的重要人物。据传，他身边有一位来自甲賀、名为大伴细人（生卒年不详）的侍从，此人拥有高超的间谍技能，被称为“志能便”。据说，因日语中“志能便”与“忍” (shinobi)同音，才有了“忍者”一词。

日本战国时代(1467-1568)

当时的甲賀地区与日本大多数地方不同，由于大名（大领主）的势力薄弱，甲賀并未处于武士阶级的统治之下。当地社区以血缘和地缘关系为纽带结盟，实行地方自治。

最终，这些联盟开始在整个甲賀地区展开合作，成立了名为“甲賀郡中惣”（惣，音同“总”）的自治组织。该组织及其集体防御策略对维持地区稳定、防止单一强权崛起而言至关重要。其他地区的武将会雇佣甲賀忍者，依靠他们卓越的情报搜集能力赢得战役。

首次重大战役（1487年）

1487年，室町幕府(1336-1573)将军足利义尚(1465-1489)出兵攻打近江国(今滋賀县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”)的六角家族领地。甲賀忍者集结在六角家族麾下，运用突袭战术击退了将军的部队。其中21个家族共同发动了一次更为大胆的夜袭，击伤了足利义尚。经此一役，甲賀忍者声名远扬，参与此战的忍者家族也备受尊崇。

与当权人物的密切联系

甲賀忍者也曾经效忠于开辟日本统一之路的一代梟雄织田信长(1534-1582)。织田信长在京都“本能寺之变”中遭到家臣明智光秀(1528-1582)背叛突袭而意外殒命后，他的另一位家臣德川家康(1543-1616)在返回其位于冈崎（今爱知县中部的冈崎市）的据点途中曾经

一度受阻。当德川家康途径甲贺时，甲贺忍者为他提供住宿并加以庇护，由此加强了与德川家族的关系。在后续的多次战役中，甲贺忍者屡次援助德川家康，直至他最终成为幕府将军。

江户时代(1603-1867)

1603年，德川家康统一日本，成为幕府将军并定都江户（今东京），开启了和平时代。农业进步提高了生产力，交通网络的改善促进了全国统一市场的发展。这些变化加之商业的扩张，推动了日本各地的经济与社会的繁荣。一些甲贺忍者进入中央或地方政府任职，担任护卫、守卫及海防警备等职务。

想了解更多甲贺忍者的传奇，可前往甲贺流真忍者馆一探究竟。

<繁体字>

甲賀忍者的歷史

甲賀忍者與日本一些最著名的歷史人物有所關聯，卻始終保持低調，隱於幕後。他們展現了堅韌不屈的精神與超乎常人的忍耐力，忠於使命卻不求個人榮耀。

起源傳說

甲賀忍者的真正起源已無從考證，但有傳說稱，與對日本文化發展貢獻卓著的聖德太子（574-622）有關。據傳，他身邊有一位來自甲賀、名為大伴細人（生卒年不詳）的侍從，此人擁有高超的間諜技能，被稱為「志能便」。據說，因日語中「志能便」與「忍」（shinobi）同音，才有了「忍者」一詞。

日本戰國時代（1467-1568）

當時的甲賀地區大名（大領主）的勢力薄弱，並未處於武士階級的統治之下。當地社區以血緣和地緣關係為紐帶結盟，實行地方自治，這點與日本大多數地方都很不一樣。

後來，這些聯盟開始在整個甲賀地區展開合作，成立了自治組織「甲賀郡中惣」（惣，音同「總」）。這個組織及其集體防禦策略對維持地區穩定、防止單一強權崛起至關重要。其他地區的武將會僱傭甲賀忍者，依靠他們卓越的情報搜集能力贏得戰役。

首次重大戰役（1487年）

1487年，室町幕府（1336-1573）將軍足利義尚（1465-1489）出兵攻打近江國（今滋賀縣；「國」是日本古代行政區劃，有別於「國家」）的六角家領地。甲賀忍者集結在六角

家麾下，以突襲戰術擊退了將軍的部隊。其中 21 個家族共同發動了一次更為大膽的夜襲，擊傷了足利義尚。經此一役，甲賀忍者聲名遠揚，參與此戰的忍者家族也都備受尊崇。

與當權人物的密切聯繫

一代梟雄織田信長（1534-1582）開闢了日本的統一之路，甲賀忍者也曾經效忠於他。織田信長在京都的「本能寺之變」中，遭到家臣明智光秀（1528-1582）背叛突襲而意外殞命之後，他的另一位家臣德川家康（1543-1616）在返回其位於岡崎（今愛知縣中部的岡崎市）的據點途中一度受阻。當德川家康經過甲賀時，甲賀忍者曾經為他提供住處並加以保護，由此加強了與德川家的關係。在後續的多次戰役中，甲賀忍者屢次援助德川家康，直到他成為幕府將軍。

江戶時代（1603-1867）

1603 年，德川家康統一日本，成為幕府將軍並定都江戶（今東京），開啟了和平時代。農業進步提高了生產力，交通改善更是促進了全國統一市場的發展。這些變化加上商業擴張，推動了日本各地的經濟與社會繁榮。在此期間，一些甲賀忍者開始進入中央或地方政府任職，擔任護衛、守衛及海防警備等職務。

如果想了解更多甲賀忍者的傳奇，歡迎前往甲賀流真忍者館一探究竟。

<日本語仮訳>

甲賀忍者の歴史

甲賀忍者は不屈の精神と忍耐力を発揮し、個人的な栄光を求めることなく任務に専念しました。日本の歴史上の有名人とつながりがありますが、表に出ることはありませんでした。

起源にまつわる言い伝え

甲賀忍者の正確な起源は不明ですが、日本文化に多大な貢献をした聖徳太子（574-622）に関連する伝説があります。聖徳太子には、スパイとして優れた手腕を発揮し、志能便（「しのび」と読み、忍者の語源と思われる）と呼ばれていた大伴細人（生没年不詳）という名の甲賀出身の使用人がいたと伝えられています。

戦国時代（1467-1568）

当時の甲賀は日本の他のほとんどの地域とは異なり、地元大名の権力が弱い地域で、武家階級の支配下には置かれていませんでした。その代わりに、地域住民が血縁や地縁に基づいて集団を結成し、地方自治を行っていました。

やがて、これらの集団が甲賀全域で協力し合い、「甲賀郡中惣」と呼ばれる自治組織を立ち上げま

した。この組織とその集団的自衛の戦略は、安定を維持し、単一の支配者の台頭を防ぐ上で極めて重要でした。他地域の武將は甲賀忍者を傭兵として雇い、その情報収集能力を頼りに戦いに勝利しました。

最初の重要な戦い（1487年）

室町幕府（1336-1573）の将軍足利義尚（1465-1489）は1487年、軍を率いて近江国（現在の滋賀県、ここの「国」とは古代日本の行政区画、いまの「国家」とは異なる）の六角氏の領地に侵攻しました。甲賀忍者は六角一族を中心に結集し、奇襲戦術で足利軍を撃退しました。そのうちの二十一の家が特に大胆な夜襲をかけ、義尚に怪我を負わせました。これらの攻撃により、甲賀忍者は全国的に注目されるようになり、この戦いに参加した忍者の一族は尊敬を集めました。

有力者との緊密な関係

甲賀忍者は、天下統一への道を切り開いた戦国大名、織田信長（1534-1582）に忠誠を尽くしました。「本能寺の変」で、信長が家臣である明智光秀（1528-1582）の思わぬ裏切りにより、京都の本能寺で命を落としたのちに、もう一人の家臣であった徳川家康（1543-1616）が、彼の拠点である岡崎（現在の愛知県中部の岡崎市）への帰還を阻まれた際、甲賀を通過する家康に忍者が宿を提供したことで、徳川家との絆を深めました。その後も甲賀忍者は、家康が将軍になるまでの様々な戦いでたびたび援助しました。

江戸時代（1603-1867）

徳川家康が天下統一を果たし、1603年に江戸（現在の東京）に都を置き、幕府将軍の位につくと、平和な時代が訪れました。農業の進歩により生産性が向上し、交通網の整備が全国的に統一された市場の発展を促しました。これらの変化に加え、商業の拡大が日本全体の経済や社会の発展を後押ししました。一部の甲賀忍者は中央や地方の藩に召し抱えられ、護衛や警護、沿岸防衛の見張り役などを務めました。

甲賀忍者の功績については、甲賀流リアル忍者館で詳しく知ることができます。

【タイトル】 忍者とは

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

什么是忍者？

甲贺忍者的角色随时代不断演变。在战乱频发的日本战国时代(1467-1568)，他们主要参与战斗、情报搜集与战略规划；而在相对和平的江户时代(1603-1867)，其职能多为护卫与警卫。

忍者分为两类：一类是“阴忍”，他们主要在暗处潜伏、战斗；另一类是“阳忍”，他们伪装成僧侣、商人、街头艺人等身份，接近目标并搜集情报。阳忍会在一个地区长期停留，通过与当地居民建立友好关系来达成目的。两类忍者都需隐秘行动，或必须运用各类生存策略才能完成任务，因此他们务必具备持久的体力、敏捷的思维与战略思考能力。

甲贺忍者为各类雇主效力，凭借专业技能侦查敌军动向，评估其弱点，发动突袭，并提供战略建议。他们的作用至关重要，其行动往往能决定战役的胜负与雇主的命运。

到访甲贺时，不妨深度探索一下忍者的世界，了解忍术、忍具以及忍者在日本历史中所发挥的重要作用。

<繁体字>

什麼是忍者？

甲賀忍者的角色隨時代不斷演變。在戰亂頻發的日本戰國時代（1467-1568），他們主要參與戰鬥、情報搜集與戰略規劃；而在相對和平的江戶時代（1603-1867），忍者的職能多為護衛與警衛。

忍者分為兩類：「陰忍」和「陽忍」，前者主要負責在暗處潛伏和戰鬥，後者則偽裝成僧侶、商販和街頭藝人等身份，接近目標並搜集情報，因此必須在一個地區長期停留，透過與在地居民建立友好關係來達成目的。不論是陰忍或者陽忍，都需隱秘行動，或必須運用各種生存策略來完成任務，所以他們需要具備持久的體力、敏捷的思維與戰略思考能力。

甲賀忍者憑藉專業技能偵查敵軍動向，評估其弱點，發動突襲，並提供戰略建議。他們為各類雇主效力，作用至關重要，其行動往往能決定戰役的勝負與雇主的命運。

到甲賀遊玩，不妨深入探索忍者的世界，了解忍術、忍具以及忍者在日本歷史中的重要意義。

<日本語仮訳>

忍者とは

甲賀忍者の役割は時代とともに進化しました。広範囲で武力紛争が繰り広げられていた戦国時代（1467-1568）、彼らは主に戦、情報収集、戦略立案に従事していました。比較的平和な江戸時代（1603-1867）は、主に護衛や警護などを務めました。

忍者には、闇に紛れて戦いや潜入を行う「陰忍」と、僧侶や商人、大道芸人などに変装してターゲットと関わり、情報を収集する「陽忍」という 2 種類がありました。陽忍は、長期にわたってその地域に滞在し、地域住民と親しくなることで目的を達成しました。彼らは身体的な持久力や機敏さ、頭の回転の速さ、戦略的思考を必要とする、さまざまな隠密行動や生存戦術を取り入れていました。

さまざまな主君に仕えていた甲賀忍者は、その専門知識を駆使して敵の動きを調べ、弱点を見極め、奇襲を仕掛け、戦略的な助言を与えました。彼らの役割は非常に重要で、その活動がしばしば戦いの結果や主君の運命を左右することがありました。

ぜひ甲賀市を訪れて、忍者の世界を深く知り、忍術や忍具、歴史における忍者の重要性について学びましょう。

【タイトル】 忍者の超常の技「忍術」

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

忍者的绝技——忍术

忍者的主要职责是为雇主搜集情报，他们运用多种技能，在不引人注目的情况下开展活动。

忍术，即忍者的技艺，以隐秘行动与生存策略为核心，要求从业者具备持久的体力、敏捷的思维与战略思考能力。忍者钻研出了攀墙、跃树、快速且无声地涉水穿行等技巧，还借鉴了修验道的苦行僧“山伏”（修验者）的修行方式与知识。山伏通过在山里苦修获得智慧，擅长运用火和草药，精通如何利用地形。

忍者也是伪装大师，时常改变自己的外表。他们会乔装成僧侣、商人、街头艺人等，在与交谈的过程中套取有价值的情报。但最重要的是，忍者拥有坚韧不屈的精神与超乎常人的忍耐力，以及对使命必达无私奉献的情操。

想了解更多忍术相关内容，可前往甲贺流真忍者馆探索。

<繁体字>

忍者的絕技——忍術

忍者的主要職責是為雇主搜集情報，他們運用多種技能，在不引人注目的情況下開展活動。

忍者的技藝便是「忍術」，它以隱秘行動與生存策略為核心，要求從業者具備持久的體力、敏捷的思維與戰略思考能力。忍者鑽研出攀牆、躍樹、快速且無聲地涉水穿行等技巧，還借鑒修驗道的苦行僧「山伏」（修驗者）的修行方式與知識。山伏透過在山中苦修獲取智慧，擅長運用火和草藥，精通如何利用地形。

忍者也時常改變自己的外表，可謂偽裝大師。他們會喬裝成僧侶、商人、街頭藝人等角色，在與人交談的過程中套取有價值的情報。但最重要的是，忍者擁有堅韌不屈的精神、超乎常人的忍耐力和對使命必達無私奉獻的情操。

歡迎到甲賀流真忍者館探索更多忍術相關內容。

<日本語仮訳>

忍者の超常の技「忍術」

忍者の主な役割は、依頼主のために情報を収集することでした。彼らはさまざまな技を駆使して、人目を引かずに活動を行いました。

忍術（忍者の技）は、隠密行動と生存戦略に重きを置き、身体的な持久力、頭の回転の速さ、そして戦略的思考を必要としました。彼らは壁を登ったり、木の枝を飛び越えたり、水の上を素早く静かに渡る技を生み出しました。また、忍者は「山伏」（修験者）の修行や知識を取り入れていました。山伏は研ぎ澄まされた知的能力を持ち、火や薬草の使い方、地形の操り方などに長けた、山中で修行する修験道の道者です。

忍者は変装の達人であり、日常的にその姿を変えました。彼らは僧侶、商人、大道芸人などになりすまし、人々と会話を交わしながら貴重な情報を聞き出す名人でした。しかし何よりも、忍者は不屈の精神や忍耐力を持ち、無私無欲で任務に身を捧げました。

甲賀流リアル忍者館で、忍術についてさらに学びましょう。

【タイトル】 観光インフォメーション

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

旅游信息

甲贺诸地都曾是忍者的活动场所，想要深入探索忍者文化，可参观拥有数百年历史、曾是忍者聚集商讨战术、祈祷任务成功的神社，也可选择传说中的忍者训练地——“甲贺三灵山”中的一条徒步路线走一走，还可在甲贺市医药学习馆了解更多忍者制作草药的技艺。

旅游信息中心的工作人员可为参观者提供以上景点以及本地其他忍者相关景点的指引。馆内还提供自行车租赁服务，方便客人前往更远的地方探索。

<繁体字>

旅遊資訊

想要深入探索忍者文化，可以前往甲賀各地忍者曾活躍的地點，像是擁有數百年歷史、曾是忍者聚集商討戰術、祈禱任務成功的神社，或者選擇傳說中忍者的訓練之地——「甲賀三靈山」的一條健行路線走一走，又或者去甲賀市醫藥學習館了解更多忍者製作草藥的技藝。

遊客服務中心的工作人員可為遊客提供以上景點以及當地其他忍者相關景點的指引。館內還能租賃自行車，方便遊客前往更遠的地方探索。

<日本語仮訳>

観光インフォメーション

甲賀の各地にある忍者が活躍していた場所で、忍者文化をさらに掘り下げてみましょう。忍者が作戦会議を行うために集まり、任務の成功を祈願したと言われる数世紀の歴史を持つ神社を訪れたり、忍者が修行したとされる三霊山のひとつのハイキングコースを辿ったり、甲賀市くすり学習館で生薬を作る忍者の技術について詳しく学ぶこともできます。

インフォメーションセンターのスタッフがこれらのスポットや、その他の忍者に関連する周辺の観光スポットを案内してくれます。さらに遠方まで探索したい方向けに、レンタサイクルに関する情報も提供しています。

【タイトル】 甲賀流忍者調査団による展示

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲賀流忍者調査団展覧

尽管在流行文化、媒体以及漫画、电影等艺术作品中，忍者早已走向世界，并塑造了他们广为人知的形象，但这些对忍者的描绘往往与历史真实有所偏差。

本展览主要介绍“甲贺流忍者调查团”（又称“忍者探寻者”）的研究活动与成果。调查团成员发现了大量江户时代(1603-1867)上半叶的文献，揭示了忍术及忍者文化的方方面面。这些珍贵的文献由忍者家族的后代悉心珍藏，并代代相传至今。调查团从中清晰勾勒出了甲贺忍者的真实面貌以及生活方式。由于原始文件极为脆弱，不便公开展出，本展览仅展出文献复制品。

<繁体字>

甲賀流忍者調査團展覧

忍者在流行文化、媒體以及漫畫、電影等藝術等領域已走向世界，並塑造了廣為人知的面貌，但真實歷史中的忍者與這些作品中所描繪的形象往往有不小的差距。

本展覽主要介紹「甲賀流忍者調查團」（又稱「忍者探尋者」）的研究活動與成果。調查團成員發現了大量江戶時代（1603-1867）上半葉的文獻，揭示了忍術及忍者文化的方方面面。這些珍貴文獻由忍者家族的後代珍藏，代代相傳至今。調查團從中清晰勾勒出了甲賀忍者的真實面貌與生活方式。由於這些文件年代久遠，極為脆弱，不便公开展出，本展覽展出的文獻為複製品。

<日本語仮訳>

甲賀流忍者調査団による展示

ポップカルチャー、メディア、漫画をはじめとする芸術作品や映画を通じて、忍者は世界に向けて発信され、ポピュラーなイメージが作り上げられてきましたが、そこで描かれる忍者像は、歴史的には正しくないことも少なくありません。

この展示では、ニンジャファインダーズとして知られる甲賀流忍者調査団の活動や成果について紹介しています。調査団員たちは、江戸時代（1603-1867）前半に作成された忍術や忍者文化のそ

の他の側面にまつわる資料を数多く発見しました。これらの資料は忍者一族の子孫によって大切に保管され、受け継がれていたため、甲賀流忍者調査団は甲賀忍者やその生き方について詳しく描き出すことができました。オリジナル資料は非常に脆く一般公開できないため、レプリカを展示しています。

【タイトル】 甲賀忍者の歴史

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲賀忍者的历史

甲賀忍者拥有坚韧不屈的精神与超乎常人的忍耐力，忠于使命却不求个人荣耀。尽管行事低调，他们却与日本一些最著名的历史人物有着千丝万缕的联系。

在日本战国时代(1467-1568)，其他地区的武将纷纷雇佣甲賀忍者，借助他们卓越的情报搜集能力实现自己的雄心壮志。

首次重大战役（1487 年）

1487 年，室町幕府(1336-1573)将军足利义尚(1465-1489)出兵攻打近江国(今滋賀县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”)的六角家族领地。甲賀忍者集结在六角家族麾下，一些人运用突袭战术击退了将军的部队，另一些人更是发动了一次大胆的夜袭，击伤了足利义尚。经此一役，甲賀忍者声名远扬，参与此战的忍者家族也备受尊崇。

与当权人物的密切联系

甲賀忍者曾效忠于为日本统一立下汗马功劳的一代梟雄织田信长(1534-1582)。1582 年 6 月，织田信长在京都本能寺遭到家臣明智光秀(1528-1582)背叛突袭而意外殒命。

随后，明智光秀的军队试图阻止织田信长的另一位家臣德川家康(1543-1616)返回其位于冈崎(今爱知县中部的冈崎市)的据点。据说，当德川家康途经甲賀时，忍者为他提供了住宿并加以庇护，由此加深了与德川家族的关系。

两周后，明智光秀战败被杀，织田信长之仇得报。在后续的多次战役中，甲賀忍者屡次援助德川家康，直至他最终成为幕府将军。

伏见城之战（1600 年）

伏见城之战是一场规模不大但极具历史意义的战役，为同年后期终结群雄割据的关原之战埋下了伏笔。德川家康命令鸟居元忠(1539-1600)镇守伏见城，鸟居元忠和家人据城坚守，却遭到强烈反对德川家康统治日本的石田三成(1563-1600)的大军围困。

鸟居元忠坚守了 10 天，最终城池陷落，他与家人全部殉难。在伏见城之战中，约有 100 名忍者为德川方效力，与鸟居元忠的军队一同守城。尽管许多忍者在围城战中牺牲，但却为

后来德川家康统一日本铺平了道路，他们也因此被铭记为英雄。1603 年德川家康成为幕府将军后，将在攻城战中牺牲的甲贺忍者后代提拔为江户（今东京）城守卫。

江户时代(1603-1867)

1603 年，德川家康统一日本，成为首位德川幕府将军，开启了和平时代。一些甲贺忍者进入中央或地方政府任职，担任护卫、守卫及海防警备等职务。

<繁体字>

甲賀忍者的歷史

儘管行事低調，甲賀忍者與日本一些最著名的歷史人物有著千絲萬縷的聯繫。他們展現出堅韌不屈的精神與超乎常人的忍耐力，忠於使命卻不求個人榮耀。

在日本戰國時代（1467-1568），其他地區的武將紛紛僱傭甲賀忍者，憑藉他們卓越的情報搜集能力實現自己的雄心壯志。

首次重大戰役（1487 年）

1487 年，室町幕府（1336-1573）將軍足利義尚（1465-1489）出兵攻打近江國（今滋賀縣；「國」是日本古代行政區劃，有別於「國家」）的六角家領地。甲賀忍者集結在六角家麾下，一些人以突襲戰術擊退了將軍的部隊，另一些人更發動了一次大膽的夜襲，擊傷了足利義尚。甲賀忍者在此一役中聲名遠揚，參與戰爭的忍者家族也備受尊崇。

與當權人物的密切聯繫

甲賀忍者曾效忠於為日本統一立下汗馬功勞的一代梟雄織田信長（1534-1582），但織田信長於 1582 年 6 月在京都本能寺遭到家臣明智光秀（1528-1582）背叛突襲而意外殞命。

明智光秀的軍隊隨後試圖阻止織田信長的另一位家臣德川家康（1543-1616）返回其位於岡崎（今愛知縣中部的岡崎市）的據點。據說，忍者為途經甲賀的德川家康提供了住處並加以保護，由此加深了與德川家的關係。

兩個星期之後，明智光秀戰敗被殺，織田信長之仇得報。在後續多次戰役中，甲賀忍者屢次援助德川家康，直到他最後成為幕府將軍。

伏見城之戰（1600 年）

伏見城之戰的規模不大，但卻極具歷史意義，為同一年後期結束群雄割據的關原之戰埋下了伏筆。德川家康命令鳥居元忠（1539-1600）鎮守伏見城，鳥居元忠和家人據城堅守，卻遭到強烈反對德川家康統治日本的石田三成（1563-1600）的大軍圍困。

在堅守了 10 天之後，城池還是陷落了，鳥居元忠與家人全部殉難。在伏見城之戰中，約有 100 名忍者為德川方效力，與鳥居元忠的軍隊一同守城。儘管許多忍者在圍城戰中犧牲，卻為後來德川家康統一日本鋪平了道路，他們也因此被銘記為英雄。1603 年德川家康成為幕府將軍後，將在圍城戰中犧牲的甲賀忍者後代提拔為江戶（今東京）城守衛。

江戸時代（1603-1867）

德川家康在 1603 年統一日本，成為首位德川幕府將軍，開啟了和平時代。一些甲賀忍者進入中央或地方政府任職，擔任護衛、守衛及海防警備等職務。

<日本語仮訳>

甲賀忍者の歴史

不屈の精神と忍耐力を發揮し、個人的な栄光を求めることなく任務に専念した甲賀忍者。目立たない存在でありながら、歴史上の有名人とも深い縁があります。

戦国時代（1467-1568）、他地域の武將は甲賀忍者を傭兵として雇い、その情報収集能力を頼りに大志を成し遂げました。

最初の重要な戦い（1487 年）

1487 年、室町幕府（1336-1573）の將軍・足利義尚（1465-1489）は近江国（現在の滋賀県、この「国」とは古代日本の行政区画、いまの「国家」とは異なる）にある六角氏の領地に侵攻しました。甲賀忍者たちは六角氏の下に結集し、一部は奇襲戦術を用いて足利軍を撃退しました。また、別の者たちは大胆な夜襲を仕掛けて、將軍に怪我を負わせました。こういった攻撃により甲賀忍者は広く注目を集め、戦いに参加した忍者の一族は尊敬を集めるようになりました。

有力者との密接な関係

甲賀忍者は天下統一に寄与した織田信長（1534-1582）に忠誠を誓っていました。1582 年 6 月、信長は家臣の明智光秀（1528-1582）に突然襲撃され、京都の本能寺で命を落とします。

光秀の軍勢は、同じく信長の家臣である德川家康（1543-1616）が岡崎（現在の愛知県中部の岡崎市）の拠点に戻るのを阻止しようとした。家康が甲賀を通過する際、忍者は家康に宿を提供し、德川家との関係を強化したと言われています。

その 2 週間後に光秀が討たれたことで信長の仇は討たれました。甲賀忍者は、その後家康が將軍になるまでのさまざまな戦いにおいて、繰り返し家康を助けました。

伏見城の戦い（1600 年）

伏見城の戦いは、同じ年の後半に起こった有名な関ヶ原の戦いにつながる、小規模ながら歴史的

に重要な戦いでした。関ヶ原の戦いは、全国各地を支配していた地方大名たちの抗争を終結させるきっかけとなりました。徳川家康は鳥居元忠（1539-1600）に城の守りを命じました。鳥居元忠は一族とともに伏見城に籠城しますが、家康の天下統一に激しく抵抗していた石田三成（1563-1600）の大軍によって城は包囲されます。

鳥居元忠は 10 日間抵抗しましたが、最終的に城は陥落しました。彼とその一族は皆死を遂げますが、約 100 名の忍者が徳川側として戦い、鳥居氏とその軍とともに城を守りました。多くの忍者がこの戦いで命を落としましたが、その犠牲が後の家康の天下統一への道を開いたとして、彼らは英雄として記憶されています。1603 年に将軍の座に就いた家康は、この戦で命を落とした甲賀忍者の子孫を江戸（現在の東京）城の守備役として取り立てました。

江戸時代（1603-1867）

1603 年、天下統一を果たした徳川家康が初代将軍の座に就くと、平和な時代が到来します。忍者の中には中央や地方の藩に召し抱えられる者や、護衛や警護、沿岸防衛の見張り役などを務める者がいました。

【タイトル】 甲賀流リアル忍者館での体験

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

甲賀流真忍者館の体験項目

甲賀流真忍者館提供以忍者代表性技能为主题的互动体验活动。手里剑（忍者飞镖）是最著名的忍者武器之一，便于携带且使用时悄无声息；忍者的体能技巧（如跳跃）也备受称道。参观者可体验日本忍者协议会公认的全球第一台手里剑投掷游戏机的魅力，也可以用手里剑尝试忍者跳跃，测定自己能跳多高。

馆内设有增强现实(AR)拍照点，能让参观者拍出正在施展“火遁之术”“水遁之术”等忍者技能的照片。

为了增添乐趣，甲賀流真忍者館還以優惠的價格提供忍者服裝租賃服務。如果想在甲賀進一步探索，也可在這裡租借自行車出行。

<繁体字>

甲賀流真忍者館的體驗項目

甲賀流真忍者館提供以忍者代表性技能為主題的互動活動。手裏劍（忍者飛鏢）是最著名的忍者武器之一，不但便於攜帶，且使用時悄無聲息；忍者的體能技巧（如跳躍）也備受稱道。遊客在這裡可以體驗日本忍者協議會公認的世界上第一台手裏劍投擲遊戲機的魅力，也可以用手裏劍嘗試忍者跳躍，測定自己能跳多高。

館內設有增強現實（AR）拍照點，遊客可以在這裡拍出正在施展「火遁之術」、「水遁之術」等忍者技能的照片。

甲賀流真忍者館還提供忍者服裝租賃服務，價格實惠，也能帶來更多樂趣。如果想在甲賀進一步探索，也可以在這裡租賃自行車出行。

<日本語仮訳>

甲賀流リアル忍者館での体験

甲賀流リアル忍者館では、忍者が得意とした技を体験できるアクティビティをご用意しています。器具の中でも最も有名な手裏剣は、持ち運びが簡単で使用時に音を立てません。また、忍者は跳躍など身体的能力にも優れていました。ここでは日本忍者協議会公認の世界初の手裏剣ダーツマシンが

体験できたり、手裏剣で忍者跳躍を体験し、自分のジャンプ力を測定することができます。

火遁の術や水遁の術などの忍者の技を実際にやっているような写真が撮れる、AR（各超現実）フォトスポットもあります。

甲賀流リアル忍者館では忍者の衣装を少額でレンタルすることもできます。甲賀をさらに探索したい方向けに、レンタサイクルの用意もごさいます。

【タイトル】 忍具

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

忍具

甲賀忍者执行任务时会使用一系列独特的武具，这些武具统称为“忍具”或“忍器”。许多忍具由农具和其他日用品改造而成，以便忍者携带时不会引起怀疑。忍具不仅包括武器，还有攀爬、发信号和用来干扰迷惑敌人的装备，所有忍具都能帮助忍者智取对手。

甲賀流真忍者館收藏了一批真實的忍具，展現了甲賀忍者的創造力與智慧。

<繁体字>

忍具

甲賀忍者在執行任務時會使用一系列獨特的武具，它們被統稱為「忍具」或「忍器」。其中許多忍具由農具和其他日用品改造而成，這樣攜帶時不會引起懷疑。忍具不僅包括武器，還有攀爬、發信號和干擾迷惑敵人用的裝備，它們都能幫助忍者智取對手。

藉由參觀甲賀流真忍者館所收藏的真實忍具，遊客可以感受到甲賀忍者的創造力與智慧。

<日本語仮訳>

忍具

甲賀忍者は任務を遂行する際、忍具または忍器と総称されるさまざまな独自の道具を使用していました。これらの多くは、農具や日用品などを改造したもので、忍者が持ち歩いても怪しまれないように工夫されていました。これらの道具には、武器だけでなく、登攀用具、合図を送るための器具、注意を逸らすための用具などが含まれており、忍者はこれらを駆使して敵を出し抜いていました。

甲賀流リアル忍者館では、甲賀忍者の創造性と工夫を示す本物の忍具のコレクションが展示されています。

【タイトル】 土産処（甲賀流リアル忍者館）

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

礼品店（甲贺流真忍者馆）

甲贺流真忍者馆的礼品店出售各类忍者主题商品，如糖果甜品、零食、文具，还有甲贺地区的特色产品。不妨为亲朋好友挑选一份纪念品或礼物，给行程画上圆满的句号。

滋贺县是日本最早种植茶叶的地区之一。公元9世纪早期，高僧最澄（767-822；谥号传教大师）从中国唐朝带回茶种，开启了当地的种茶历史。如今，甲贺地区的茶叶产量约占滋贺县总产量的90%，这里培育的“朝宫茶”更是日本五大名茶之一。礼品店汇集了多种本地茶叶以及茶味点心。

甲贺的气候也非常适合水稻种植，当地有多家清酒酿造厂应运而生。礼品店里备有多种本地酿造的清酒，店员会热情地协助来访者挑选。

拥有800多年制陶传统的信乐町也位于甲贺市内。信乐的黏土与木柴资源丰富，为制陶提供了理想条件，信乐烧在全日本都享有盛誉。礼品店出售各类陶瓷制品，包括著名的狸猫（也称狸，在日本被视为能让生意兴隆并带来好运和财运的吉祥物）摆件，这种摆件是信乐的标志性产品，也是深受人们喜爱的吉祥物。

<繁体字>

禮品店（甲賀流真忍者館）

在甲賀流真忍者館的禮品店能買到各種忍者主題商品，像是糖果甜品、零食、文具，還有甲賀地區的特色產品。遊客可以在這裡為親朋好友挑選一份伴手禮，為行程畫上圓滿的句號。

西元9世紀早期，高僧最澄（767-822；諡號傳教大師）從中國唐朝帶回茶種，開啟了當地的種茶歷史，滋賀縣成為日本最早種植茶葉的地區之一。如今，甲賀地區的茶葉產量約占滋賀縣總產量的90%，這裡培育的「朝宮茶」更是日本五大名茶之一。禮品店內有多種當地茶葉以及茶味點心可供選購。

甲賀的氣候也非常適合水稻種植，因此當地有多家清酒釀造廠。禮品店裡有多種當地釀造的清酒，店員會熱情地協助遊客挑選。

擁有 800 多年製陶傳統的信樂町也位於甲賀市內。信樂的黏土與木柴資源相當豐富，為製陶提供了理想條件，信樂燒在全日本都享有盛譽。禮品店出售各類陶瓷製品，包括著名的狸貓（也稱狸，在日本被視為能讓生意興隆並帶來好運和財運的吉祥物）擺件，這種擺件不但是信樂的標誌性產品，也是深受人們喜愛的吉祥物。

<日本語仮訳>

土産処（甲賀流リアル忍者館）

甲賀流リアル忍者館の土産処では、お菓子や軽食、文房具、甲賀の特産品など、忍者をテーマにしたさまざまな商品をご用意しています。訪問の締めくりに、ご家族やご友人へのお土産やギフトをお選びください。

滋賀県は、9世紀初頭に高僧最澄（767-822、諡号は伝教大師）が中国・唐朝から茶の種を持ち帰ったことに始まる、日本で最初にお茶を栽培した地のひとつです。現在、甲賀地方は滋賀県内の茶生産の約90%を占めており、ここで栽培される「朝宮茶」は日本五大銘茶の一つに数えられています。土産処では、地元産のお茶やお茶風味のお菓子を多数取り揃えています。

また、甲賀の気候は米の生産にも適しているため、地域内には多くの蔵元が存在します。土産処でもさまざまな地元の酒を販売しており、スタッフが最適な選択をお手伝いいたします。

陶芸の伝統が800年以上にわたって続く信樂町も甲賀市内に位置しています。信樂の粘土と薪が手に入りやすいことは陶芸に理想的であり、信樂焼は日本全国で高く評価されています。土産処では、有名なたぬき（商売繁盛や開運、金運向上の縁起物）の置物など、さまざまな種類の陶器を取り揃えています。たぬきの置物は信樂を代表する製品であり、幸運の象徴として人気があります。

【タイトル】 甲賀流忍者調査団

【想定媒体】 看板

<簡体字>

甲賀流忍者調査団

尽管在流行文化、媒体以及漫画、电影等艺术作品中，忍者早已走向世界，并塑造了他们广为人知的形象，但其中对忍者的描绘往往与历史真实有所偏差。“甲賀流忍者調査団”（又称“忍者探尋者”）通过研究历史文献、采访当地忍者家族的后代等方式，揭开了忍者更真实的面貌。团队由国际日本文化研究中心的磯田道史(1970-)教授领衔，本展厅专门介绍该团队的研究活动与成果。虽然相关研究仍在进行中，调查团希望通过展览，搭建一个共享知识的平台，帮助人们更深入地了解甲賀忍者。

<繁体字>

甲賀流忍者調査團

忍者藉由流行文化、媒體以及漫畫、電影等藝術作品走向世界，並塑造了廣為人知的形象，但真實歷史中的忍者與這些作品中所描繪的形象往往有不小的差距。由國際日本文化研究中心的磯田道史（1970-）教授領銜的「甲賀流忍者調査團」（又稱「忍者探尋者」）透過研究歷史文獻、採訪當地忍者家族的後代等方式，揭開了忍者更真實的面貌。這個展廳專門介紹調查團的研究活動與成果。相關研究仍在進行中，調查團希望透過展覽，搭建一個共享知識平台，幫助人們更深入了解甲賀忍者。

<日本語仮訳>

甲賀流忍者調査団

ポップカルチャー、メディア、漫画をはじめとする芸術作品や映画を通じて、忍者は世界に向けて発信され、ポピュラーなイメージが作り上げられてきましたが、そこで描かれる忍者像は正しくないことも少なくありません。ニンジャファインダーズの名でも知られる「甲賀流忍者調査団」は、歴史的な資料や地元の忍者一族の子孫へのインタビューなどを通じて、より真実に近い姿を明らかにしてきました。この展示室では、国際日本文化研究センターに所属する磯田道史教授（1970-）が率いる同調査団の活動や成果について紹介しています。調査は現在も進行中ですが、調査団はこの展示が甲賀忍者に関する総合的な知識を共有したり、深い理解を得るための拠点となることを期待しています。

【タイトル】 忍者にまつわる史料

【想定媒体】 看板

<簡体字>

关于忍者的历史文献

由于活动的隐秘性，甲贺忍者留下的记载寥寥无几。幸运的是，研究人员发现了大量关于忍术及忍者文化的文献，这些珍贵的文献创作于江户时代(1603-1867)上半叶，由忍者家族的后代悉心珍藏，并代代相传至今。借助这些资料，研究人员得以拼凑并留存与忍者相关的知识，供后世了解。

因原始文件极为脆弱，以下展出的均为文献复制品。

- 《万川集海》

由忍者家族藤林一族的后代于 1676 年编撰，汇总了甲贺与伊贺（今相邻的三重县西部）的忍术知识，是目前已知最全面的忍术记录，被甲贺市指定为重要文化财产，也是日本遗产“忍者之乡・伊贺与甲贺～探寻真实的忍者面貌～”的组成部分。

- 《忍术应义传》

由望月家族传承，以古汉语撰写，阐述了忍术的起源，其中还有关于油日大明神的传说，而供奉这位神明的油日神社正是昔日甲贺忍者聚集商讨战术之地。

- 《渡边俊经家文书》

渡边家族是江户时代尾张藩（今爱知县西部）的显赫忍者家族，这本家族记录中详细记载了甲贺忍者偏爱的技巧与策略。

- 《间林清阳》抄本

2021 年在甲贺被发现，据信成书于 1748 年。不过，1676 年忍者家族藤林家族一员在《万川集海》的序言中提到了《间林清阳》，称自己在书中收录了其部分内容，这表明《间林清阳》的成书时间要早于《万川集海》。

<繁体字>

關於忍者的歷史文獻

甲賀忍者活動隱秘，留下的記載寥寥無幾。幸好研究人員發現了大量創作於江戶時代(1603-1867) 上半葉的文獻，內容涉及忍術及忍者文化的方方面面。這些珍貴的文獻由忍

者家族的後代悉心珍藏，代代相傳至今。借助這些資料，研究人員得以拼湊並留存與忍者相關的知識，供後世了解。

因原始檔案極為脆弱，以下展出的均為文獻複製品。

- 《萬川集海》

是目前已知最全面的忍術紀錄，由忍者家族藤林一族的后代於 1676 年編撰。書籍彙總了甲賀與伊賀（今相鄰的三重縣西部）的忍術知識，被甲賀市指定為重要文化財產，也是日本遺產「忍者之鄉・伊賀與甲賀～探尋真實的忍者面貌～」的組成部分。

- 《忍術應義傳》

以古漢語撰寫，由望月家傳承。書籍闡述了忍術的起源，其中還有關於油日大明神的傳說，而供奉這位神明的油日神社正是昔日甲賀忍者聚集商討戰術之地。

- 《渡邊俊經家文書》

這本家族歷史紀錄中詳細記載了甲賀忍者偏愛的技巧與策略，渡邊家是江戶時代尾張藩（今愛知縣西部）的顯赫忍者家族。

- 《間林清陽》抄本

據信成書於 1748 年，2021 年在甲賀被發現。不過，1676 年忍者家族藤林家一員在《萬川集海》的序言中提到了《間林清陽》，稱自己在書中收錄了其部分內容，這表明《間林清陽》的成書時間要早於《萬川集海》。

<日本語仮訳>

忍者にまつわる史料

その活動の秘匿性から、甲賀忍者が残した記録はほとんどありません。幸いなことに、江戸時代（1603-1867）前期に作成された忍術やその他の忍者文化に関する文書が、研究者によって数多く発見されました。これらの資料は、忍者家系の子孫によって大切に保管され、受け継がれてきたもので、そのおかげで研究者たちは、後世のために忍者に関する知識をつなぎ合わせ、残すことができました。

なお、現物は非常にもろく壊れやすい状態にあるため、史料はレプリカです。

- 『万川集海』

甲賀と伊賀（現在隣接する三重県の西部）の忍術の知識をまとめたものです。忍者家系の藤林氏の子孫によって 1676 年に編纂されました。甲賀市の指定文化財であり、日本遺産「忍びの里伊賀甲賀～リアル忍者を求めて～」の構成文化財にもなっている、最も包括的な忍術の記録として知られています。

- 『忍術應義傳』

望月家に伝わるこの書物は、忍術の起源を説明しており、漢文で書かれています。甲賀忍者が戦略会議を開いた油日神社に祀られている神、油日大明神の由来に関する物語も含まれています。

- ・『渡辺俊経家文書』

江戸時代、尾張藩（現在の愛知県西部）の有名な忍者家系である渡辺家の歴史記録には、甲賀忍者が好んで使用した技や戦略の詳細が書かれています。

- ・『間林清陽』抄本

2021年、『間林清陽』の抄本が甲賀で発見されました。この史料は、1748年に作成されたとされています。しかしながら、1676年に、藤林氏はより有名な『万川集海』の序文で『間林清陽』について言及しており、その内容の一部を自著に取り入れたと述べています。これは、オリジナルの『間林清陽』が『万川集海』よりも古いことを示唆しています。

【タイトル】江戸時代の甲賀忍者

【想定媒体】看板

<簡体字>

江戸時代の甲賀忍者

1603年，德川家康(1543-1616)统一日本并建立江户幕府(1603-1867)，开启了长达260余年的和平时期。

岛原之乱

岛原之乱(1637-1638)是甲贺忍者参与的最后一场重大战役。16世纪传入日本的基督教遭到幕府镇压，其禁教政策促使年轻的吉利支丹（16世纪至明治时代〔1868-1912〕的日本基督教徒）天草四郎(1621-1638)在今长崎县和熊本县一带的岛原发动起义。他率领叛军将据点设在长崎县南部已经被废弃的城郭“原城”。

1638年，幕府派去平息叛乱的队伍中有10名甲贺忍者，他们的任务是从原城内部搜集情报。忍者们成功潜入城中并破坏了叛军的粮食供给，却因听不懂当地的方言，在逃脱前被叛军抓获。

甲贺古士

1603年德川幕府统一全国后，对忍者的需求普遍减少，一些忍者家族甚至陷入了贫困窘境。

1789年，一个名为“甲贺古士”（甲贺老兵）的团体前往江户（今东京），向幕府献上详尽的忍术知识汇编《万川集海》，旨在证明自身的传承与专业性。努力终见成效，他们将获赠银两带回甲贺，接济了当地其他忍者家族。

<繁体字>

江戸時代の甲賀忍者

1603年，德川家康（1543-1616）統一日本並建立江戶幕府（1603-1867），長達260餘年的和平時期由此開啟。

島原之亂

甲賀忍者參與的最後一場重大戰役是島原之亂（1637-1638）。16 世紀傳入日本的基督教遭到幕府鎮壓，其禁教政策促使年輕的吉利支丹（16 世紀至明治時代〔1868-1912〕的日本基督教徒）天草四郎（1621-1638）在今長崎縣和熊本縣一帶的島原發動起義。他所率領的叛軍將據點設在長崎縣南部已經被廢棄的城郭「原城」。

1638 年，幕府派遣隊伍平息叛亂，其中有 10 名甲賀忍者，他們的任務是從原城內部搜集情報。雖然忍者們成功潛入城中並破壞了叛軍的糧食供給，卻因為聽不懂當地方言，在逃脫前被叛軍抓獲。

甲賀古士

1603 年德川幕府統一全國後，對忍者的需求普遍減少，一些忍者家族甚至陷入了貧困窘境。

到了 1789 年，一個名為「甲賀古士」（甲賀老兵）的團體前往江戶（今東京），向幕府獻上詳盡的忍術知識彙編《萬川集海》，以此證明自身的傳承與專業性。這個團體的努力最後有了成效，他們將獲贈銀兩帶回甲賀，接濟了當地其他忍者家族。

<日本語仮訳>

江戸時代の甲賀忍者

1603 年に徳川家康（1543-1616）が天下統一を果たして、江戸幕府（1603-1867）が開かれると、260 年以上に及ぶ平和な時代が到来しました。

島原の乱

1637 年から 1638 年にかけて起こった島原の乱は、甲賀忍者が活躍した最後の大きな戦いでした。16 世紀に日本に伝来したキリスト教は、幕府によって弾圧されていました。この禁教政策に対し、若きキリシタン（16 世紀から明治時代（1868-1912）における日本のキリスト教信者のこと）である天草四郎（1621-1638）が、現在の長崎県や熊本県の島原という場所で反乱を起こしました。四郎とその軍勢は、長崎県南部で廃城となっていた原城を拠点としました。

1638 年、反乱を阻止するために派遣された部隊の中に 10 人の甲賀忍者がおり、彼らの任務は原城内から情報を収集することでした。彼らは城に潜入し、反乱軍の食糧供給を妨害することに成功しましたが、聞き慣れない地元の方言に困惑し、逃げる前に反乱軍に捕らえられてしまいました。

甲賀古士

1603 年の徳川幕府による天下統一後、忍者の需要は全体的に減少し、貧困にあえぐ一族もいました。

1789 年、「甲賀古士」と呼ばれた一団が江戸（現在の東京）に向かい、甲賀忍者の伝統や専門性を証明する目的で『万川集海』（忍者の知識を詳しくまとめたもの）を幕府に献上しました。その

努力の甲斐あって、古士たちは甲賀に残る他の忍者一族のために持ち帰る銀を与えられました。

【タイトル】 忍者体験ご案内：AR アトラクション

【想定媒体】 看板

<簡体字>

忍者活动指南——AR 景点

忍者拍照攻略

想象自己化身为忍者吧！使用我们的增强现实(AR)app，与亲朋好友一起拍照留念。

请开启手机的“位置服务”，然后按以下步骤操作。iPhone 用户可能会收到“网络摄像头错误”提示，若遇此情况，请前往“设置→隐私→Safari→仅在使用此应用时允许”。

请注意，部分手机可能无法参与 AR 拍照活动。

操作步骤：

- 1、扫描指示牌上的二维码。点击打开手机相机 app，跟随屏幕提示并选择“允许”。
- 2、调整取景框，确保指示牌上的△、□、○标记出现在画面中（不同地点的符号可能不同）。

注：若已开启位置服务，但 AR 界面未显示，或 AR 界面出现放大情况，则说明您的手机无法参与 AR 拍照活动。

- 3、拍摄照片。快速按下快门键，更容易拍出完美效果。
- 4、点击“保存”，将照片下载到手机。
- 5、检查照片是否已存入相机相册。

火遁之术

甲贺忍者擅长使用火药，他们会借助烟幕和爆炸巨响来掩护自己，摆脱敌人。您可以拍摄一张仿佛让火舌从自己手中或口中腾空飞起、自在操控火焰的照片！

水遁之术

水遁之术是利用水来迷惑敌人的技巧，比如潜入水下隐藏，或向水中投掷石头等重物分散敌人注意力，趁机逃脱。快来拍摄展现您惊险水遁的照片吧！

<繁体字>

忍者活動指南——AR 景點

忍者拍照攻略

想化身為忍者嗎？使用我們的擴增實境（AR）app，與親朋好友一起拍照留念吧！

請開啟手機的「定位服務」，然後按以下步驟操作。iPhone 使用者可能會收到「網路攝影機錯誤」提示，若遇此情況，請前往「設定→隱私→Safari→僅在使用此應用時允許」。

請注意，部分手機可能無法參與 AR 拍照活動。

操作步驟：

- 1、掃描指示牌上的 QR Code。打開手機相機，跟隨螢幕提示並選擇「允許」。
- 2、調整取景框，確保指示牌上的△、□、○標記出現在畫面中（不同地點的符號可能不同）。

注：若已開啟定位服務，但 AR 介面未顯示，或 AR 介面出現放大情況，則說明您的手機無法參與 AR 拍照活動。

- 3、拍攝照片。快速按下快門鍵，更容易拍出完美效果。
- 4、選擇「保存」，將照片下載到手機。
- 5、檢查照片是否已保存至相機相冊。

火遁之術

甲賀忍者擅長使用火藥，他們會借助煙幕和爆炸巨響來掩護自己，擺脫敵人。您可以拍攝一張讓火舌彷彿從自己手中或口中騰空飛起、自在操控火焰的照片！

水遁之術

水遁之術是利用水來迷惑敵人的技巧，比如潛入水下隱藏，或向水中投擲石頭等重物分散敵人注意力，趁機逃脫。快來拍攝展現您驚險水遁的照片吧！

<日本語仮訳>

忍者体験ご案内：AR アトラクション

忍者写真の撮り方

忍者になりきって写真を撮りましょう！AR（拡張現実）アプリを使って、家族や友人と一緒に記念写真を撮影できます。

携帯電話の「位置情報サービス」を開いて、以下の指示に従ってください。iPhone ユーザーの方は、「ウェブカメラエラー」のメッセージが表示される場合があります。その場合は「設定」→「プライバシー」

→「Safari」→「このアプリを使用中のみ許可」を設定してください。

端末によってはこのアトラクションをご利用いただけない場合もありますので、予めご了承ください。

操作方法：

- 1、看板の QR コードをスキャンし、スマートフォンのカメラアプリをタップして起動します。画面の指示に従って「許可」を選択します。
- 2、写真の枠に看板の△、□、○マークを収めます。場所によってマークは異なります。
注：位置情報サービスをオンにしても AR 画面が表示されない場合や、AR 画面が拡大表示される場合は、お使いの端末ではこのアトラクションはご利用いただけません。
- 3、写真を撮影します。シャッターボタンをすばやく押しすと、写真が撮りやすくなります。
- 4、「保存」をタップして、写真をスマートフォンにダウンロードします。
- 5、カメラロールに写真が保存されているか確認してください。

火遁の術

甲賀忍者は火薬の扱いに長けており、煙幕や爆発音を利用して敵から逃げる技術を持っていました。手や口から火を吹いたり、火を自在に操っているように見える写真を撮影できます！

水遁の術

水遁の術とは、水を使って敵を欺く技です。水中に隠れたり、重い石などを投げて敵の注意をそらし、逃げるための時間を稼ぐ方法などがあります。大胆な水遁の様子を写真に収めましょう！

【タイトル】 忍者体験ご案内：忍者ジャンプと手里剣投げ

【想定媒体】 看板

<簡体字>

忍者活动指南——忍者跳跃与手里剑投掷

忍者跳跃

忍者以身手敏捷著称，执行任务时能翻墙跃树。您能达到怎样的水平？来测试一下，看看自己能跳多高吧！

操作说明：拿起一枚磁性手里剑（忍者飞镖），先检查周围环境确保安全，然后全力起跳，将手里剑尽可能高地粘在木板上。测量手里剑所粘的高度，就能知道自己的成绩。如果手里剑太高够不着，可以用棍子把它取下来。

手里剑投掷

手里剑是最著名的忍者武具之一，便于携带且使用时悄无声息。快来挑战投掷手里剑吧！

安全准则

- 不得向他人投掷手里剑。
- 尊重其他参与者。
- 专注于投掷，尽力击中目标。
- 结束后请将手里剑放回原位。

手里剑握法

- 短距离投掷：用拇指指腹和食指侧面捏住手里剑。
- 长距离投掷：用食指钩住刀刃以保持稳定。

手里剑投掷方法

- 垂直（常规）投掷：肘部弯曲，投掷时伸直手臂，顺势释放手里剑。
- 水平投掷：手臂弯曲成 90 度，横放在腹部前方，通过向外摆动肘部将手里剑投出。

<繁体字>

忍者活動指南——忍者跳躍與手裏劍投擲

忍者跳躍

以身手敏捷著稱的忍者在執行任務時能翻牆躍樹。您能達到怎樣的水準？來測試一下，看看自己能跳多高吧！

操作說明：拿起一枚磁性手裏劍（忍者飛鏢），先檢查周圍環境確保安全，然後全力起跳，將手裏劍盡可能高地黏在木板上。測量手裏劍所粘的高度，就能知道自己的成績。如果手裏劍太高搆不著，可以用棍子把它取下來。

手裏劍投擲

方便攜帶且使用時悄無聲息的手裏劍是最著名的忍者武具之一。快來挑戰投擲手裏劍吧！

安全準則

- 不得向他人投擲手裏劍。
- 尊重其他參與者。
- 專注於投擲，盡力擊中目標。
- 結束後請將手裏劍放回原位。

手裏劍握法

- 短距離投擲：用拇指指腹和食指側面捏住手裏劍。
- 長距離投擲：用食指鉤住刀刃以保持穩定。

手裏劍投擲方法

- 垂直（常規）投擲：肘部彎曲，投擲時伸直手臂，順勢釋放手裏劍。
- 水準投擲：手臂彎曲成 90 度，橫放在腹部前方，通過向外擺動肘部將手裏劍投出。

<日本語仮訳>

忍者体験ご案内：忍者ジャンプと手裏劍投げ

忍者ジャンプ

忍者は、任務中に壁を飛び越えたり、木々の枝の間を飛び抜けたりする身体能力で知られていました。あなたの能力はどのくらいでしょうか？ジャンプ力を試してみましょう。

手順：磁石付きの手裏剣を手に取ります。周囲の安全を確認し、全力でジャンプしてできるだけ高い位置に手裏剣を貼り付けます。手裏剣がどの高さには張り付いたかを測定して、結果を確認します。手裏剣が高すぎて手が届かない場合は、棒を使って回収します。

手裏剣投げ

手裏剣は、最もよく知られている忍者の道具の一つ。持ち運びが容易で、使用時に音が出ません。手裏剣投げに挑戦してみましょう。

安全ガイドライン

- ・手裏剣を人に向けて投げないでください。
- ・参加者同士で互いに敬意を払いましょう。
- ・集中して的に向かって手裏剣を全力で投げましょう。
- ・終了後は手裏剣を元の場所に戻してください。

手裏剣の握り方

短距離の場合：親指の腹と人差し指の側面をつまみます。

長距離の場合：人差し指を刃にかけると安定します。

手裏剣の投げ方

垂直（通常）の投げ方：肘を曲げて構え、腕を伸ばしながら手裏剣を放ちます。

水平投げ：腕を90度に曲げ、お腹の位置に置きます。肘を外側に振りながら手裏剣を投げます。

【タイトル】 忍具

【想定媒体】 看板

<簡体字>

忍具

苦无（挖掘工具）

“苦无”是一种铁制工具，长度在 45~60 厘米之间。忍者会将它楔入石缝，辅助攀爬墙壁，或用于挖洞，或将绳索系在手柄圆环上后再插入地面方便固定。

坪锥（锥子）

坪锥由铁制刃部和橡木手柄组成，全长 18 厘米。坪锥分为两种：小型（铁刃 4.5 厘米、手柄 13.5 厘米）、大型（铁刃 6 厘米、手柄 12 厘米）。忍者用它在门上凿洞，再伸手进去开锁。

撒菱（菱状脚钉）

撒菱是由交错的铁条或竹片制成的四角钉，每个角均为 6 厘米长的尖刺。忍者潜入房屋时，会将撒菱撒在地上。由于日本人在室内不穿鞋，这能有效延缓追兵速度，为忍者争取逃脱时间。忍者还会将撒菱系在绳上拖行，用来阻碍追兵。

钩绳（飞爪）

钩绳是一条约 4~5 米长的麻绳，绳子两端的铁环上装有两个或更多尖刺的铁钩。忍者通过投掷抓钩攀爬石墙，上下高处，也可用它来捆绑捕获的目标，或绑紧门户，不让他人入内。

印笼（药盒）

印笼是一组嵌套的小盒子，外覆漆木或和纸，通过两侧孔洞中的绳子固定，可系在和服腰带上便于携带。忍者在执行重要任务时，会用印笼盛放如缓解胃痛的药物。

石笔（书写工具）

这种便携式文具套装是忍者在执行任务途中记录重要信息的工具。名为“矢立”的手柄内装有细毛笔，容器中存放墨和棉花。

手拭（布巾）

这种布巾用苏木染色，用途多样，据说既可围在颈间或当头带吸汗，也可遮盖面部或延长和服腰带，还能在攀爬时辅助发力。

五色米

忍者事先会用食用色素将米染成蓝、黄、红、黑四色，再加上白色米粒，称“五色米”。四五人一组行动时，他们会撒下五色米，为身后的同伴指路，也会在沿途放置米粒标记归途，或按预先约定组成暗号——每种颜色代表特定含义，蓝米可能表示“向右转”，红米表示“向左转”。

<繁体字>

忍具

苦無（挖掘工具）

「苦無」是一種鐵製工具，長度在 45~60 公分之間。忍者會將它楔入石縫，輔助攀爬牆壁，還可用於挖洞，或在手柄圓環上繫好繩索後插入地面進行固定。

坪錐（錐子）

坪錐由鐵製刃部和橡木手柄組成，全長 18 公分。坪錐分為兩種：小型（鐵刃 4.5 公分、手柄 13.5 公分）、大型（鐵刃 6 公分、手柄 12 公分）。忍者用坪錐在門上鑿洞，再伸手進去開鎖。

撒菱（菱狀腳釘）

撒菱是由交錯的鐵條或竹片製成的四角釘，每個角為 6 公分長的尖刺。忍者潛入房屋時，會將撒菱撒在地上。由於日本人在室內不穿鞋，這能有效延緩追兵速度，為忍者爭取逃脫時間。忍者也會將撒菱繫在繩上拖行，用來阻礙追兵。

鈎繩（飛爪）

鉤繩是一條約 4~5 公尺長的麻繩，繩子兩端的鐵環上裝有兩個或多個尖刺的鐵鉤。忍者透過投擲抓鉤攀爬石牆，上下高處，也可用它來捆綁捕獲的目標，或綁緊門戶，不讓他人入內。

印籠（藥盒）

印籠是一組嵌套的小盒子，外覆漆木或和紙，通過兩側孔洞中的繩子固定，可繫在和服腰帶上便於攜帶。忍者在執行重要任務時，會用印籠盛放像是緩解胃痛的藥物。

石筆（書寫工具）

石筆是一種方便攜帶的文具組合，也是忍者在執行任務途中記錄重要資訊的工具。名為「矢立」的手柄內裝有細毛筆，容器中存放墨和棉花。

手拭（布巾）

這種布巾用蘇木染色，有多種用途，據說既可圍在頸間或當頭帶吸汗，也可遮蓋面部或延長和服腰帶，還能在攀爬時輔助發力。

五色米

忍者會用食用色素將米染成藍、黃、紅、黑四色，再加上白色米粒，一共五種顏色，稱為「五色米」。四五人一組行動時會撒下五色米為身後的同伴指路，也會在沿途放置米粒標記歸途，或按預先約定組成暗號——不同顏色代表特定含義，例如藍米可能表示「向右轉」，紅米表示「向左轉」。

<日本語仮訳>

忍具

苦無（掘削用具）

忍者は、石の隙間に苦無を押し込んで壁を登る際に使用しました。鉄製の道具の長さは 45 から 60 センチメートルで、穴を掘るためや、柄にある輪に縄を結び、地面に刺して固定する際にも使われました。

坪錐（ギムレット）

つぼきりは鉄製で、柄は櫛で作られており、長さは 18 センチ。小型（鉄部分、4.5cm；柄、13.5cm）と大型（鉄部分、6cm；柄、12cm）の 2 サイズがありました。忍者はこれを使って、扉に穴を開けて手を差し込み、開錠しました。

撒菱（菱状のフツスパイク）

撒菱は交差された4枚の鉄片または竹片をつなぎ、それぞれ6センチの棘を持つものです。忍者は家に入る際に撒菱を床に撒いていました。室内では靴を履かないため、忍者が逃げる間に追手を遅らせるのに効果的でした。撒菱に縄を結びつけ、引きずって敵の追跡を妨害することもありました。

鉤縄（グラブリング用フック）

鉤縄は、鉄製の輪に2本以上の鉄の鉤を取り付け、約4～5メートルの麻縄の両端に結びつけたものです。忍者はこの鉤を投げて石壁を登ったり、高い場所に上がったり降りたりしていました。また、捕らえた人を拘束したり、他人が入るのを防ぐために扉を固定したりするためにも使われました。

印籠（薬箱）

印籠は漆塗りや和紙で覆われた容器に、小さな箱が複数重なっているものです。両側に開けられた2つの穴に紐が通されており、帯に取り付けて持ち運びしやすくなっていました。忍者は、重要な任務の際に胃痛などを和らげる薬を入れて携帯していました。

石筆（筆記用具）

忍者は、任務中に重要な情報を記録するため、この携帯用の筆記具を持ち運んでいました。矢立とも呼ばれ、柄の中に細い筆を収納し、墨と綿を容器に保管していました。

手拭（木綿の布）

蘇芳染めのこの布を、忍者は様々な方法で使用しました。汗を吸収するために首や頭に巻いたり、顔を覆ったり、着物の帯の長さを延ばしたり、登る際に自分を引き上げるために使用していたとされています。

五色米

忍者はあらかじめ食用の顔料を使用して、米を白に加えて青、黄、赤、黒に染めていました。4～5人のグループで活動していた忍者は、後に続く仲間のために道しるべとして五色米を落としました。米は、帰る道を分かりやすくするために道沿いに置いたり、あらかじめ考えておいた暗号作成のためにも使われました。たとえば、青い米は「右折」、赤い米は「左折」など、特定の意味が各色に割り当てられていました。

【タイトル】 プロジェクションマッピング

【想定媒体】 看板

<簡体字>

光雕投影

此处光雕投影展示以甲贺忍者历史中的核心元素与重大事件为主题，通过视觉形式呈现他们的传奇故事。

1. 六角家族家纹

六角家族是古代近江国（今滋贺县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）南部、如今甲贺市一带的名门望族。1487年，室町幕府(1336-1573)将军足利义尚(1465-1489)因六角家族违抗命令而出兵攻打近江。一些甲贺忍者家族与六角家族联手，凭借夜袭、突袭战术成功击退了将军的部队。辉煌的战绩轰动一时，甲贺忍者的卓越实力首次受到广泛关注。

2. 甲贺忍者家族

参与对抗足利义尚的甲贺家族后来进一步钻研出了甲贺忍术。甲贺忍者起源于“甲贺五十三家”（53个家族），其中21个家族因在1487年战役中的英勇表现而备受尊崇。

随着时间推移，甲贺忍者在科学、天文、草药等多个领域积累了丰富知识。日本战国时代(1467-1568)，甲贺地区的大名（大领主）势力薄弱，当地社区以血缘与地缘为纽带结盟，实行地方自治。到了战国时代后期，这些联盟成立了自治组织“甲贺郡中惣”（惣，音同“总”），地区事务均由表决后的多数票决定。

3. 织田信长家纹

甲贺忍者曾效忠于为日本统一立下汗马功劳的一代枭雄织田信长(1534-1582)。1582年6月，织田信长在京都“本能寺之变”中遭到家臣明智光秀(1528-1582)背叛突袭而意外殒命。

4. 德川家康家纹

织田信长死后，明智光秀的军队试图阻止织田信长的另一位家臣德川家康(1543-1616)返回其位于冈崎（今爱知县中部的冈崎市）的据点。当德川家康途经甲贺时，身为甲贺忍者

的多罗尾家族为他提供了住宿并加以庇护，由此，甲贺忍者与德川家族建立了深厚关系。两周后，明智光秀战败被杀，织田信长之仇得报，这也为德川家康最终成为幕府将军并统一日本铺平了道路。

5. 甲贺忍者的遗产

甲贺的市花“笹百合”（笹，音同“世”）曾在这里遍地开放，如今当地市民正努力让它重现生机。正如在暗处绽放的笹百合花朵，甲贺忍者从不追求聚光灯前的荣耀，而是专注于守护自己的生活方式，凭借技能与智慧应对时代变迁的挑战。

随着战乱纷扰的日本战国时代落幕，德川幕府(1603-1867)统一日本，整个社会对忍者的需求逐渐减少。但忍者丰富的草药知识为甲贺地区众多制药公司的建立奠定了基础，这些企业至今仍在蓬勃发展。此外，“甲贺药品的制造·贩卖器具”也已被列入国家登录物质民俗文化财产。

<繁体字>

光雕投影

這處光雕投影展示聚焦於甲賀忍者歷史中的核心元素與重大事件，以視覺形式呈現他們的傳奇故事。

1. 六角家家紋

六角家是古代近江國（今滋賀縣；「國」是日本古代行政區劃，有別於「國家」）南部、如今甲賀市一帶的名門望族。1487年，室町幕府（1336-1573）將軍足利義尚（1465-1489）因六角家違抗命令而出兵攻打近江。一些甲賀忍者家族與六角家聯手，憑藉夜襲、突襲戰術成功擊退了將軍的部隊。他們的輝煌戰績轟動一時，甲賀忍者的卓越實力也因此受到廣泛關注。

2. 甲賀忍者家族

參與對抗足利義尚的甲賀家族後來進一步鑽研出了甲賀忍術。甲賀忍者起源於「甲賀五十三家」（53個家族），其中的21個家族因為在1487年戰役中的英勇表現而備受尊崇。

隨著時間推移，甲賀忍者在科學、天文、草藥等多個領域積累了豐富知識。日本戰國時代（1467-1568），由於甲賀地區的大名（大領主）勢力薄弱，當地社區以血緣與地緣為紐帶結盟，實行地方自治。到了戰國時代後期，這些聯盟成立了自治組織「甲賀郡中惣」（惣，音同「總」），地區事務都由表決後的多數票決定。

3. 織田信長家紋

甲賀忍者曾效忠於為日本統一立下汗馬功勞的一代梟雄織田信長（1534-1582），但織田信長在 1582 年 6 月京都的「本能寺之變」中，遭到家臣明智光秀（1528-1582）背叛突襲而意外殞命。

4. 德川家康家紋

織田信長死後，明智光秀的軍隊試圖阻止織田信長的另一位家臣德川家康（1543-1616）返回其位於岡崎（今愛知縣中部的岡崎市）的據點。當德川家康途經甲賀時，身為甲賀忍者的多羅尾家為他提供住處並加以保護，由此，甲賀忍者與德川家建立了深厚關係。兩個星期後，明智光秀戰敗被殺，織田信長之仇得報，這也為德川家康最終成為幕府將軍、統一日本鋪平了道路。

5. 甲賀忍者的遺產

甲賀忍者從不追求聚光燈前的榮耀，專注於守護自己的生活方式，憑藉技能與智慧應對時代變遷的挑戰。這種精神正如在暗處綻放的「笹百合」（笹，音同「世」）花朵——曾在這裡遍地開放的甲賀市花，如今當地市民正努力讓它重現生機。

戰亂紛擾的日本戰國時代落幕，德川幕府（1603-1867）統一日本後，社會對忍者的需求逐漸減少。但忍者豐富的草藥知識為甲賀地區多家製藥公司奠定了基礎，這些企業至今仍在蓬勃發展。此外，「甲賀藥品的製造・販賣器具」也已被列入國家登錄有形民俗文化財產。

<日本語仮訳>

プロジェクトマッピング

このプロジェクトマッピングによる展示は、甲賀忍者の歴史を決定づけたいくつかのモチーフや出来事に着想を得て、甲賀忍者の物語を視覚的に表現したものです。

1. 六角家の家紋

六角家は、近江国（現在の滋賀県、ここの「国」とは古代日本の行政区画、いまの「国家」とは異なる）の南部にあたる現在の甲賀市一帯を支配していた有力な一族です。1487 年、室町幕府（1336-1573）の將軍・足利義尚（1465-1489）は、命令に従わなかった六角家を討伐すべく近江を攻めました。しかし、一部の甲賀忍者一族が六角家と手を組み、夜襲や奇襲を駆使して將軍の軍を撃退しました。この偉業は大きな話題となり、初めて甲賀忍者の卓越した能力が広く注目を集めることになりました。

2、甲賀忍者一族

将軍義尚に対する乱に参加した甲賀忍者一族は、その後忍術をさらに発展させます。甲賀忍者の祖である甲賀五十三家のうち、1487年の戦いで功績を残した二十一家が特に尊敬を集めました。

時を経て、甲賀忍者は科学、天文学、薬学などさまざまな分野において非常に高い知識を持つようになりました。戦国時代（1467-1568）、甲賀では大名の権力が弱かったため、地域住民が血縁や地縁に基づいて集団を形成し、自治を行っていました。戦国時代の後期には、これらの集団が「甲賀郡中惣」と呼ばれる自治組織を立ち上げ、地域に関するあらゆる事項を多数決で決定していました。

3、織田信長の家紋

甲賀忍者は、天下統一の礎を築いた戦国大名、織田信長（1534-1582）に忠誠を尽くしました。1582年6月のいわゆる「本能寺の変」で、信長は家臣である明智光秀（1528-1582）の思わぬ裏切りにより、京都の本能寺で命を落としました。

4、徳川家康の家紋

信長の死後、岡崎（現在の愛知県中部の岡崎市）にある本拠地に戻ろうとしていた徳川家康（1543-1616）を、明智光秀の軍勢が阻止しようとしていました。家康もまた、信長の家臣でした。甲賀忍者一族である多羅尾家が、甲賀を通過する家康に宿を提供したことで、徳川家と甲賀忍者との間には強い絆が生まれることになりました。信長の死の二週間後、明智光秀が討たれ、家康が將軍として天下統一を果たす道が開かれました。

5、甲賀忍者が受け継ぐ伝統

甲賀市の市の花である「ササユリ」は、かつてこの地域に数多く咲いていました。現在、市民がその再生に取り組んでいます。影に咲く花のように、甲賀忍者は脚光を浴びようとすることなく、変化する時代における課題を乗り越えるために、技や論理を駆使して自らの生き方を守ることに焦点を当てていました。

戦国時代が終わり、徳川幕府（1603-1867）による天下統一が果たされると、忍者の需要は減少しました。しかし、忍者の漢方薬に関する豊富な知識が、甲賀地域に多くの製薬関連の会社が生まれる下地となり、それらの会社は今なお繁栄を続けています。なお、「甲賀売薬の製造・販売用具」は国の登録有形民俗文化財に登録されています。

【タイトル】 忍者アートルーム

【想定媒体】 看板

<簡体字>

忍者艺术工作室

这个展区陈列着来自甲贺市“山波工房”艺术工作室的作品。艺术家们通力合作，以独特的视角诠释忍者文化。此展览原本只是临展，却因广受好评而成为了常设展览。

<繁体字>

忍者藝術工作室

這個展區陳列著來自甲賀市「山波工房」藝術工作室的作品。多位藝術家合作，以獨特視角詮釋忍者文化。一開始這場展覽只是臨時展覽，因為大受歡迎而成為常設展覽。

<日本語仮訳>

忍者アートルーム

ここでは、甲賀市にある「やまなみ工房」というアートルームの作品を展示しています。アーティストたちが協力して忍者を独自に解釈した作品を生み出しています。この展示は当初は期間限定の予定でしたが、大好評を博したことから、現在は常設展示となっています。

【タイトル】 甲賀忍者の歴史

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

甲賀忍者的历史

起源传说

甲賀忍者的真正起源已无从考证，但有传说称与圣德太子(574-622)有关，他是对日本文化发展贡献卓著的重要人物。据信，圣德太子身边有一位来自甲賀、名为大伴细人（生卒年不详）的侍从，此人拥有高超的间谍技能，被称为“志能便”。据说日语中“志能便”与“忍” (shinobi)同音，“忍者”一词由此而来。不过，历史文献中直到 14 世纪才首次出现“忍者”二字。

日本战国时代(1467-1568)

甲賀地区的情况在当时比较罕见，由于大名（大领主）势力薄弱，该地区形成了独特的地方自治模式。当地社区以血缘与地缘为纽带结盟，并成立了名为“甲賀郡中惣”（惣，音同“总”）的自治组织。这种地方自治与集体防御策略，对维持地区稳定、防止单一强权崛起而言至关重要。其他地区的诸侯纷纷雇佣甲賀忍者，依靠他们的情报搜集能力实现战略野心。

首次重大战役（1487 年）

1487 年，室町幕府(1336-1573)将军足利义尚(1465-1489)出兵攻打近江国(今滋賀县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”)的六角家族领地。甲賀忍者集结在六角家族麾下，部分忍者运用突袭战术击退了将军的部队。其中 21 个家族共同发动了更为大胆的夜袭，击伤了足利义尚。经此一役，甲賀忍者声名远扬，参与此战的忍者家族也备受尊崇。

深受德川家康信赖（1562 年）

1560 年，德川家康(1543-1616)摆脱了通过联姻依附的今川家族，获得独立。之后，他与强大的梶原氏信长(1534-1582)结盟，并于 1562 年为攻下防御坚固的上乡城（今爱知县东部的蒲都市）向甲賀忍者提出了驰援请求。当时，大约 200 名甲賀忍者潜入城中协战，他们斩杀了城主——今川家族的鹤殿长照(?-1562)，并扣押了城主的两个儿子作为人质，德

川家康以此换回了被今川家族拘禁的妻儿。据说，德川家康曾写信感谢甲贺忍者促成这一圆满结果。

协助德川家康逃亡（1582 年）

1582 年 6 月 2 日，织田信长在京都本能寺遭家臣明智光秀(1528-1582)背叛突袭而意外殒命。随后，明智光秀的军队试图阻止德川家康返回其位于冈崎（今爱知县中部的冈崎市）的据点。当德川家康途经甲贺时，忍者为他提供了住宿并加以庇护，由此加深了与德川家族的关系。两周后，明智光秀战败被杀，织田信长之仇得报，这也为德川家康在 1603 年最终成为幕府将军并统一日本铺平了道路。

丰臣秀吉对忍者的惩罚（1585 年）

丰臣秀吉(1537-1598)是织田信长的另一位家臣，后来登上了权力巅峰。1585 年，他命令甲贺忍者修筑堤坝，为水攻战术助力。但堤坝溃决引发洪水，参与筑堤的忍者家族被追责并剥夺领地。之后，一部分忍者留在甲贺务农为生，另一部分则离开此地另寻生计。

伏见城之战（1600 年）

伏见城之战是一场规模不大但具有历史意义的战役，为同年终结战国乱世的关原之战埋下了伏笔。德川家康的家臣鸟居元忠(1539-1600)率军驻守伏见城，他与家人遭到对立方的武将石田三成(1563-1600)大军围困，在城内坚守了 10 天。一支被称为“甲贺百人”的忍者队伍加入了德川家康一方，共同参与了守城战。他们的努力让德川家康得以专注于更具战略意义的战役。1603 年德川家康成为日本幕府将军后，将“甲贺百人”的后代提拔为江户（今东京）城守卫。

江户时代(1603-1867)

1603 年，德川家康统一日本并建立江户幕府，开启了长达 260 余年的和平时代。随着对忍者的需求普遍减少，一些忍者家族甚至陷入贫困窘境。

岛原之乱

岛原之乱(1637-1638)是甲贺忍者参与的最后一场重大战役。因幕府推行禁教政策，年轻的吉利支丹（16 世纪至明治时代〔1868-1912〕的日本基督教徒）天草四郎(1621-1638)在岛原（今长崎县、熊本县一带）的“原城”发动起义。幕府派去平息叛乱的队伍中有 10 名甲贺忍者，其任务是从城内搜集情报。他们成功潜入城中并破坏了叛军的粮食供给，却因听不懂当地方言而落入了叛军的陷阱。

甲賀古士

江戶時代，一部分忍者家族陷入貧困窘境。1789 年，一個名為“甲賀古士”（甲賀老兵）的團體前往江戶，向幕府獻上詳盡的忍術知識彙編《萬川集海》，旨在證明自身的傳承與專業性。他們的努力終見成效，老兵們把獲贈銀兩帶回甲賀，接濟了當地其他忍者家族。

<繁體字>

甲賀忍者的歷史

起源傳說

甲賀忍者的真正起源已無從考證，但有傳說稱，可能與對日本文化發展貢獻卓著的聖德太子（574-622）有關。據傳，聖德太子身邊有一位來自甲賀、名為大伴細人（生卒年不詳）的侍從，此人擁有高超的間諜技能，被稱為「志能便」。據說因日語中「志能便」與「忍」（shinobi）同音，是而產生了「忍者」一詞。不過，「忍者」二字直到 14 世紀才在歷史文獻中第一次被提及。

日本戰國時代（1467-1568）

甲賀地區的情況在當時比較罕見，由於大名（大領主）勢力薄弱，當地形成了獨特的地方自治模式——以血緣與地緣為紐帶結盟的在地社區成立了名為「甲賀郡中惣」（惣，音同「總」）的自治組織。這種地方自治與集體防禦策略，對維持地區穩定、防止單一強權崛起至關重要。其他地區的諸侯紛紛僱傭甲賀忍者，依靠他們的情報搜集能力實現戰略野心。

首次重大戰役（1487 年）

室町幕府（1336-1573）將軍足利義尚（1465-1489）在 1487 年出兵攻打近江國（今滋賀縣；「國」是日本古代行政區劃，有別於「國家」）的六角家領地。甲賀忍者集結在六角家麾下，部分忍者運用突襲戰術擊退了將軍的部隊。其中有 21 個家族，更是共同發動了更為大膽的夜襲，擊傷了足利義尚。甲賀忍者經此一役聲名遠揚，參與此戰的忍者家族也備受尊崇。

深受德川家康信賴（1562 年）

德川家康（1543-1616）在 1560 年終於擺脫了透過聯姻依附的今川家，獲得獨立。之後他與強大的梟雄織田信長（1534-1582）結盟，並於 1562 年為攻下防禦堅固的上鄉城（今愛知縣東部的蒲郡市）請求甲賀忍者予以支援。當時，大約有 200 名甲賀忍者潛入城中協

助作戰，斬殺了城主——今川家的鵜殿長照（?-1562），並將城主的兩個兒子擄為人質，德川家康以此換回了被今川家扣押的妻兒。據說，對此圓滿結果，德川家康曾寫信向甲賀忍者表達感謝。

協助德川家康逃亡（1582 年）

1582 年 6 月 2 日，織田信長在京都本能寺遭家臣明智光秀（1528-1582）背叛突襲而意外殞命。隨後，明智光秀的軍隊試圖阻止德川家康返回其位於岡崎（今愛知縣中部的岡崎市）的根據地。當德川家康途經甲賀時，忍者為他提供住處並加以保護，由此加深了與德川家的關係。兩個星期後，明智光秀戰敗被殺，織田信長之仇得報，這也為德川家康在 1603 年最後成為幕府將軍、統一日本鋪平了道路。

豐臣秀吉對忍者的懲罰（1585 年）

織田信長的另一位家臣豐臣秀吉（1537-1598）後來登上了權力巔峰。他在 1585 年命令甲賀忍者修築堤壩，為水攻戰術助力。但堤壩潰決引發洪水，參與築堤的忍者家族被追責並剝奪領地。之後，一部分忍者留在甲賀務農為生，另一部分則離開此地另尋生計。

伏見城之戰（1600 年）

伏見城之戰的規模不大，但卻極具歷史意義，也為同一年終結戰國亂世的關原之戰埋下了伏筆。德川家康的家臣鳥居元忠（1539-1600）率軍駐守伏見城，他與家人遭到對立方的武將石田三成（1563-1600）大軍圍困，在城內堅守了 10 天。一支被稱為「甲賀百人」的忍者隊伍加入了德川家康一方，共同參與了守城戰。他們的努力讓德川家康得以專注於更具戰略意義的戰役。德川家康在 1603 年成為日本幕府將軍後，將「甲賀百人」的後代提拔為江戶（今東京）城守衛。

江戶時代（1603-1867）

德川家康在 1603 年統一日本並建立江戶幕府，從此開啟長達 260 餘年的和平時代。之後，日本社會對忍者的需求普遍減少，一些忍者家族甚至陷入貧困窘境。

島原之亂

甲賀忍者參與的最後一場重大戰役是島原之亂（1637-1638）。因為幕府推行禁教政策，年輕的吉利支丹（16 世紀至明治時代〔1868-1912〕的日本基督教徒）天草四郎（1621-1638）在島原（今長崎縣、熊本縣一帶）的「原城」發動起義。幕府派去平息叛亂的隊伍

中就有 10 名甲賀忍者，他們的任務是從城內搜集情報。這些忍者成功潛入城中並破壞了叛軍的糧食供給，卻因聽不懂當地方言而落入了叛軍的陷阱。

甲賀古士

江戸時代，一部分忍者家族陷入貧困窘境。一個名為「甲賀古士」（甲賀老兵）的團體在 1789 年前往江戸，向幕府獻上詳盡的忍術知識彙編《萬川集海》，以此證明自身的傳承與專業性。這個團體的多年努力最後有了成效，他們將獲贈銀兩帶回甲賀，接濟了當地其他忍者家族。

<日本語仮訳>

甲賀忍者の歴史

起源にまつわる言い伝え

甲賀忍者の起源は不明ですが、日本文化に多大な貢献をした聖徳太子（574-672）に関連する伝説があります。聖徳太子にはスパイとして優れた手腕を発揮した、志能便（「しのび」と読み、忍者の語源と思われる）と呼ばれていた大伴細人（生没年不詳）という甲賀出身の使用人がいたと伝えられています。しかし、忍者が初めて文献に登場するのは 14 世紀のことです。

戦国時代（1467-1568）

甲賀地域では、大名の権力がほとんど及ばないという当時としては珍しい状況の中で、地方自治が発展しました。地域社会が血縁や地縁に基づいて集団を形成し、「甲賀郡中惣」と呼ばれる自治組織を立ち上げました。この自治と集団的自衛の戦略は、安定を維持し、一強の台頭を防ぐ上で極めて重要でした。他地域の武将は甲賀忍者を雇い、その情報収集能力を頼りに戦略的目標を達成しました。

最初の重要な戦い（1487 年）

1487 年、室町幕府（1336-1573）の将軍・足利義尚（1465-1489）は近江国（現在の滋賀県、ここの「国」とは古代日本の行政区画、いまの「国家」とは異なる）にある六角氏の領地に侵攻しました。甲賀忍者たちは六角氏の下に結集し、一部は奇襲戦術を用いて足利軍を撃退しました。そのうちの二十一の家は大胆な夜襲を仕掛けて、将軍に怪我を負わせました。こういった攻撃により甲賀忍者は広く注目を集め、戦いに参加した忍者の一族は尊敬を集めるようになりました。

徳川家康に信頼された忍者たち（1562 年）

1560 年、徳川家康（1543-1616）は姻戚関係にあった今川家から独立しました。織田信長（1534-1582）と同盟を結んだ家康は、1562 年、堅固な上郷城（現在愛知県東部の蒲郡市）を攻撃するため、甲賀忍者に協力を要請します。約 200 人の甲賀忍者が上郷城に潜入し、今

川一族の城主、鵜殿長照（?-1562）を討ち取りました。長照の二人の息子は人質となりますが、家康は今川氏に捕らわれていた妻子の無事な帰還と彼らを引き換えにしました。家康は甲賀忍者たちに、この成功の一翼を担ったことを感謝する手紙を書いたとされています。

家康脱出の支援（1582年）

1582年6月2日、信長は家臣の明智光秀（1528-1582）に突然襲撃され、京都の本能寺で命を落としました。光秀の軍勢は家康が岡崎（現在の愛知県中部の岡崎市）の拠点に戻るのを阻止しようとし、忍者は家康が甲賀を通過する際の宿を提供することで、徳川家との関係を強化しました。2週間後に光秀が討たれたことで信長の仇は取られ、1603年に家康が将軍となって天下を統一する道が開かれました。

忍者を処罰した豊臣秀吉（1585年）

豊臣秀吉（1537-1598）も信長の家臣の一人で、権力の座に上り詰めた人物です。1585年、彼は甲賀忍者に水攻めの一環として堤防の築造を命じましたが、その堤防が決壊し、洪水が発生しました。築堤に関わった忍者一族は責任を問われ、その領地は没収されました。甲賀に残って農民として生計を立てる忍者もいれば、他の仕事を求めて甲賀を離れる忍者もいました。

伏見城の戦い（1600年）

伏見城の戦いは、日本の戦国時代を終わらせた関ヶ原の戦いにつながる、小さいながらも歴史的に重要な戦でした。家康の家臣であった鳥居元忠（1539-1600）は伏見城を守るため入城しました。鳥居元忠とその一族は10日間、石田三成（1563-1600）とその軍勢に包囲されました。「甲賀百人衆」と呼ばれる忍者集団が伏見城の戦いに家康側として参加し、彼らの活躍により、家康はより戦略的な戦いに集中することができました。1603年に将軍の座に就いた家康は、「甲賀百人衆」の子孫を江戸（現在の東京）城の守備役として取り立てました。

江戸時代（1603-1867）

1603年、天下を統一した徳川家康が江戸幕府を開くと、260年以上続いた平和な時代が到来しました。忍者の需要は全般的に減少し、貧困に直面する一族もいました。

島原の乱

1637年から1638年にかけての島原の乱は、甲賀忍者が活躍した最後の大きな戦いでした。若きキリシタン（16世紀から明治時代（1868-1912）における日本のキリスト教信者のこと）の天草四郎（1621-1638）は、島原（現在の長崎県および熊本県）の原城で、幕府の禁教政策に対する反乱を起こしました。反乱を阻止するために派遣された部隊の中にいた甲賀忍者10人の任務は、城内から情報を収集することでした。彼らは城内に潜入し、反乱軍の食糧供給を妨害することに成功しましたが、聞き慣れない地元の方言に戸惑い、敵の罠にかかってしまいました。

甲賀古土

江戸時代に、貧困に直面する忍者一族がいました。1789年、「甲賀古士」と呼ばれた集団が江戸に向かい、幕府に忍者の伝統や専門性を証明する目的で『万川集海』（忍者の知識を詳しくまとめたもの）を献上しました。その努力の甲斐あって、古士たちは甲賀の他の忍者一族のために持ち帰るための銭や銀を与えられました。

【タイトル】 和田砦跡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

和田要塞遗址

日本战国时代(1467-1568)，近江国（今滋贺县；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）甲贺地区的忍者们为保护家族、守卫村庄修建了要塞。在这片崎岖险峻的山地与峡谷间，现已确认的要塞遗址约有 180 处。这些要塞通常是由土垒和壕沟环绕的简易建筑。

20 世纪 80 年代，研究者们开始对该地区展开调查以确定要塞位置，这让人们对忍者守护社群的方式有了更深入的了解。他们整合了民间传说里的信息，并经过观察，绘制出地形地图。已确认的大多数遗址如今位于私有土地上，建筑遗存所剩无几。不过，依然推荐来访者前往和田要塞遗址参观，从中了解这类要塞在忍者生活中所扮演的角色。由于和田要塞遗址位置较难寻找，建议来访者先到甲贺流真忍者馆的旅游信息中心咨询具体路线。

日本战国时代，甲贺的情况比较罕见，由于大名（大领主）的势力薄弱，当地社区以血缘与地缘为纽带结盟，实行地方自治。在战国时代后期，该地区联盟成立了“甲贺郡中惣”（惣，音同“总”）。这种地方治理与集体自卫的策略，对维持地区稳定、防止单一强权崛起而言至关重要。

忍者的要塞通常建在便于监视入侵者的位置，和田要塞就位于峡谷最深处的一座小山上，可将周边地区尽收眼底。主城建筑呈正方形，边长 50 米，四周环绕着土垒，其中有的土垒据推测高达 7 米。

这片峡谷中曾建有 7 座要塞，均位于视野开阔的有利位置，可随时监视任何进入峡谷的入侵者，一旦发现可疑举动便会发起攻击。

日本战国时代，和田家族居住在该地区，并在峡谷中修建了这些要塞。他们是统治近江国南部（今甲贺市）的六角家族的家臣。家族中最著名的人物之一和田惟政(1536-1571)支持权势显赫的战国枭雄织田信长(1534-1582)，也是说服其他甲贺忍者辅佐织田信长的关键性人物。织田信长积极致力于恢复稳定的政权，为日本最终实现统一奠定了基础。

<繁体字>

和田要塞遗址

日本戰國時代（1467-1568），近江國（今滋賀縣；「國」是日本古代行政區劃，有別於「國家」）甲賀地區的忍者們為保護家族、守衛村莊修建了許多防禦要塞。在這片崎嶇險峻的山地與峽谷間，已經有大約 180 處遺址被確認為要塞。這些要塞通常是由土壘和壕溝環繞的簡易建築。

1980 年代，研究者們開始對這個地區展開調查以確定要塞位置，從中人們對忍者守護社群的方式開始有了更深入的了解。這些專家整合了民間傳說，並經過觀察，繪製出地形地圖。雖然已確認的大多數遺址如今位於私有土地上，且遺存的建築已經所剩無幾，但還是推薦遊客前往和田要塞遺址參觀，從中了解這類要塞在忍者生活中所扮演的角色。不過，和田要塞遺址位置較難尋找，建議遊客先到甲賀流真忍者館的遊客服務中心諮詢具體路線。

日本戰國時代，甲賀的政治情況比較特殊，由於當地大名（大領主）勢力薄弱，社區以血緣與地緣為紐帶結盟，實行地方自治。到了戰國時代後期，這些地方自治體聯盟成立了「甲賀郡中惣」（惣，音同「總」）。這種地方治理與集體自衛的策略，對維持地區穩定、防止單一強權崛起而言至關重要。

忍者要塞通常建在便於監視入侵者的位置，和田要塞就位於峽谷盡頭的一座小山上，可將附近地區盡收眼底。主城建築呈正方形，邊長 50 公尺，四周環繞著土壘，其中有的土壘據推測高達 7 公尺。

曾經坐落在這片峽谷中的 7 座要塞均位於視野開闊的有利位置，可隨時監視任何進入峽谷的入侵者，一發現可疑舉便會發起攻擊。

和田家是統治近江國南部（今甲賀市）的六角家的家臣，日本戰國時代，他們居住在該地區，並在峽谷中修建了這些要塞。家族中最著名的人物之一和田惟政（1536-1571）支持權勢顯赫的梟雄織田信長（1534-1582），也是說服其他甲賀忍者輔佐織田信長的關鍵人物。織田信長積極致力於恢復穩定的政權，為日本統一奠定了基礎。

<日本語仮訳>

和田砦跡

戦国時代（1467-1615）、近江国（現在の滋賀県、この「国」とは古代日本の行政区画、いまの「国家」とは異なる）甲賀地域の忍者たちは、一族や村を守るために砦を築きました。この地域の険しい山々や谷には、約 180 の砦跡が確認されています。これらの砦は通常、土壘と堀に囲まれた単純な構造でした。

1980 年代に研究者たちがこの地域の砦を特定するための調査を開始したことで、忍者がどのようにして自らの共同体を守っていたかがより一層分かるようになりました。彼らは民話を通して伝承されてきた情報を組み合わせ、観察し、地形図を作成しました。確認されているほとんどの砦跡は私有地にあり、かつて建っていた建造物の痕跡はほとんど残っていません。しかし、和田砦跡を訪れることで、忍

者たちの生活において砦が果たした役割を理解することができます。和田砦跡は見つけにくい場所にあるため、甲賀流リアル忍者館の観光インフォメーションセンターに立ち寄り、道順を尋ねることをお勧めします。

戦国時代、甲賀は当時としては珍しく、大名の権力が弱い地域でした。この地域では、血縁や地縁に基づく集団が、自治的な地域統治を行っていました。戦国時代の後期には、これらの集団が「甲賀郡中惣」を立ち上げます。この自治組織と地域の集団的自衛戦略は安定を維持し、単一の支配的勢力の台頭を防ぐ上で極めて重要でした。

忍者の砦は、侵入者を監視できるような場所に築られました。和田砦は、谷の最も奥にある丘の上に建設され、周辺地域を見渡すことができました。主要な囲いは一辺が 50 メートルの正方形で、土塁に囲まれ、その一部は高さ 7 メートルに達していたとされています。

谷にはかつて 7 つの砦があり、すべてが見晴らしの有利な場所にあります。谷に侵入した者は常に監視され、怪しい動きがあれば攻撃が開始されました。

戦国時代にこの地域に住んでいた和田家が、この谷に砦を築きました。彼らは、近江国南部（現在の甲賀市）を支配していた六角家の家臣でした。和田家の中でも特に著名な和田惟政（1536-1571）は、有力な戦国大名織田信長（1534-1582）を支持し、他の甲賀忍者たちも信長を支持するよう説得する上で重要な役割を果たしました。信長は安定した政権を復活させ、最終的な天下統一を可能にする条件を整えることに寄与しました。

【タイトル】 信楽高原鐵道

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

信乐高原铁道

在这条短途铁路上，您可以乘坐“SHINOBI-TRAIN”忍者主题涂装列车，欣赏周边乡村的田园风光。信乐高原铁道往返于贵生川站与信乐站之间，信乐站是通往著名制陶重镇信乐的门户。这条单线铁路设有6个车站，全程耗时24分钟。列车均为单节车厢。其中部分列车的车身局部区域喷绘了动感十足的忍者图案，内部也装饰有忍者元素，为旅程平添不少趣味。

乘车途中，请留意车站月台上一排排身着忍者服饰的狸猫（也称狸，在日本被视为能让生意兴隆并带来好运和财运的吉祥物）摆件。这些有趣的陶瓷摆件是吉祥物，也是信乐的标志性产品之一。

信乐高原铁道的“SHINOBI-TRAIN”忍者主题涂装列车班次并不固定，列车及车站的忍者装饰也可能会定期更换。

<繁体字>

信樂高原鐵道

信樂高原鐵道往返於貴生川站與信樂站之間，信樂站是通往著名製陶重鎮信樂的門戶。這條單線短途鐵路全程耗時24分鐘，設有6個車站。您可以乘坐「SHINOBI-TRAIN」忍者主題塗裝列車，欣賞周邊鄉村的田園風光。列車均為單節車廂，部分列車的車身局部區域噴繪了動感十足的忍者圖案，內部也裝飾有忍者元素，為旅程平添不少樂趣。

乘車途中，可以留意一下車站月台上一排排身著忍者服飾的狸貓（也稱狸，在日本被視為能讓生意興隆並帶來好運和財運的吉祥物）擺件。這些有趣的陶瓷擺件是吉祥物，也是信樂的標誌性產品之一。

需要注意的是，信樂高原鐵道的「SHINOBI-TRAIN」忍者主題塗裝列車班次並不固定，列車及車站的忍者裝飾也可能會定期更換。

<日本語仮訳>

信楽高原鐵道

この短距離鐵道では、忍者をテーマにしたラッピング電車「SHINOBI – TRAIN」に乗り、周囲の田園風景を楽しむことができます。信楽高原鐵道は、貴生川駅と焼物の一大産地である信楽への玄関口である信楽駅の間を走行します。6つの単線の駅を、1両編成の列車が24分で結びます。一部の車両は、外側の一部がダイナミックな忍者のイメージでラッピングされ、車内にも忍者モチーフが装飾されており、旅の楽しみを一層引き立てます。

乗車中は、駅のプラットフォームに並んでいる忍者姿のたぬき（商売繁盛や開運、金運向上の縁起物）の置物に注目してみてください。これらのコミカルな陶器の置物は縁起物であり、信楽を代表する製品のひとつです。

なお、信楽高原鐵道の忍者ラッピング電車「SHINOBI – TRAIN」は不定期に運行されており、列車や駅の忍者の装飾は定期的に変更されることがあります。

【タイトル】 甲賀市くすり学習館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

甲賀市医药学习馆

草药是甲贺地区历史中不可或缺的一部分，精通草药知识的忍者擅长将它们调配成各种药物。参观甲贺市医药学习馆，就能了解忍者对草药的运用，以及甲贺与医药的历史渊源。

学习馆的常设展览室内陈列着各类制药工具，以及从江户时代(1603-1867)到昭和时代(1926-1989)的药品广告，追溯了甲贺医药生产与销售的历史。互动展览则聚焦草药植物，全面呈现了延续至今的甲贺医药相关产业的发展历程。此外，“甲贺药品的制造・贩卖器具”也已被列为国家登录物质民俗文化财产。

忍者凭借其医药技能，用草药制作“忍药”。1676年，忍者家族藤林一族的某位成员编撰了《万川集海》。这部著作汇集了甲贺与伊贺（今相邻的三重县西部）的忍术知识，其中描述了多种忍药，有的用于缓解忍者执行任务途中可能患上的常见疾病，有的则用于让敌人生病、失去战斗力，还有的可让凶犬止吠，以免暴露忍者行踪。

在甲贺市医药学习馆，只需支付少量费用，就能尝试制作“兵粮丸”，即忍者在需要补充能量时吃的便携食物。这项体验活动适合各年龄段人群，但需提前预约，详情可咨询甲贺流真忍者馆的旅游信息中心或甲贺市医药学习馆。

学习馆中另一个有趣的展览详细介绍了忍者与修验道的苦行僧“山伏”（修验者）之间的密切联系。忍者和山伏都在甲贺地区的山中修行，对当地环境了如指掌。

江户时代早期，甲贺地区的山伏把制作的药物和经寺庙认可的祈祷牌一同派发到边远地区。后来，部分山伏成为了走街串巷的药商。他们上门售药时采用“配置卖药”（先用后付）的经营模式，之后还会回收未使用的药物，只收取已使用药物的费用。

忍者的核心技能之一是摸清敌人的弱点，因此装扮成走街串巷的药商是绝佳的掩护。通过乔装打扮并随身携带药物，忍者就能进入寻常百姓家，收集关于敌人的生活方式、习惯和健康状况等信息，这些都能为他们所用。

开馆时间：9:30～17:00

闭馆日：周一（如遇节假日、补休日顺延）、元旦放假期间（12月29日～1月3日）

门票：免费

<繁体字>

甲賀市醫藥學習館

草藥是甲賀地區歷史中不可或缺的一部分，精通草藥知識的忍者擅長將它們調配成各種藥物。想了解忍者對草藥的運用，以及甲賀與醫藥的歷史淵源，參觀甲賀市醫藥學習館是最好選擇。

學習館的常設展覽室內陳列著各種製藥工具，還有從江戶時代（1603-1867）到昭和時代（1926-1989）的藥品廣告，這裡追溯了甲賀醫藥生產與銷售的歷史。互動展覽則以草藥植物為主題，全面呈現了甲賀醫藥相關產業的發展歷程。此外，「甲賀藥品的製造・販賣器具」也已被列為國家登錄有形民俗文化財產。

忍者憑藉其醫藥技能，用草藥製成「忍藥」。1676年，忍者家族藤林一族的某位成員彙集了甲賀與伊賀（今相鄰的三重縣西部）的忍術知識，編撰了《萬川集海》。書中描述了多種忍藥，有的用於緩解忍者執行任務途中可能患上的常見疾病；有的則用於讓敵人生病、失去戰鬥力；還有的可讓吠叫的狗安靜下來，避免忍者暴露行蹤。

在甲賀市醫藥學習館，只需要一點費用，就能嘗試製作忍者補充能量時吃的便攜食物「兵糧丸」。這項體驗活動需提前預約，適合各年齡層。若想瞭解詳情，可以向甲賀流真忍者館的遊客服務中心或甲賀市醫藥學習館諮詢。

學習館中另一個展覽詳細介紹了忍者與修驗道的苦行僧「山伏」（修驗者）之間的密切聯繫，內容相當有趣。忍者和山伏都在甲賀地區的山中修行，對當地環境了若指掌。

在江戶時代早期，甲賀地區的山伏把製作的藥物和經寺廟認可的祈禱牌一起分發給邊遠地區。後來，部分山伏成為了走街串巷的藥商。他們上門售藥時採用「配置賣藥」（先用後付）的經營模式，之後還會回收未使用的藥物，只收取已使用藥物的費用。

忍者的核心技能之一是摸清敵人的弱點，裝扮成走街串巷的藥商是絕佳掩護方式。透過喬裝打扮並隨身攜帶藥物，忍者能進入尋常百姓家，收集關於敵人的生活方式、習慣和健康狀況等資訊，為己所用。

開館時間：9:30～17:00

閉館日：週一（如遇節假日、補休日順延）、元旦放假期間（12月29日～1月3日）

門票：免費

<日本語仮訳>

甲賀市くすり学習館

甲賀地方の歴史において、薬草は重要な役割を担っていました。薬草に関する詳しい知識を持っていた忍者は、薬草を組み合わせて薬を作ることに長けていました。甲賀市くすり学習館を訪れ、忍者が薬草をどのように使用したか、そして甲賀市と医薬の歴史について学びましょう。

学習館の常設展示室では、製薬道具や、江戸時代（1603-1867）から昭和期（1926-1989）にかけての薬の広告が展示されており、薬の販売や製薬の歴史をたどることができます。また、薬草に関するインタラクティブな展示もあり、現在までの甲賀の製薬業界の発展を包括的に紹介しています。なお、「甲賀売薬の製造・販売用具」は国の登録有形民俗文化財に登録されています。

忍者は生薬の技術を生かして、薬草から「忍薬」を作りました。1676年、忍者の一族である藤林氏が、甲賀と伊賀（現在隣接する三重県の西部）地方の忍術を集めた『万川集海』を編纂しました。この書物には、様々な忍薬が記載されており、たとえば忍者が任務中に罹患しがちな病気を緩和するために使用した薬や、敵を病気にさせたり弱らせたりする薬、吠えて忍者の存在を知らせる犬を静かにさせる薬もあります。

甲賀市くすり学習館では、少額の参加費で、忍者がエネルギーを補給するために食べていたとされる簡単な忍者の携帯食「兵糧丸」を作る体験ができます。このワークショップは全ての年齢層に適しており、事前予約が必要ですので、詳細については甲賀流リアル忍者館の観光インフォメーションセンターや、甲賀市くすり学習館にお問い合わせください。

学習館のもう一つの興味深い展示に、忍者と修験道の道者である山伏（修験者）との密接な関係について解説した、詳細な情報があります。忍者も山伏も甲賀の山々で修行を行っており、環境に精通していました。

江戸時代初期、甲賀地方の山伏は薬を作り、寺院の許可を受けた祈祷札と一緒に遠隔地に配っていました。後に、彼らの一部は薬の行商人となります。彼らが家庭に薬を配布する際は、まず薬を使い、その後に支払いを行う「配置売薬」の方式で商売していました。さらに、未使用の薬は後で回収し、使用された分だけの薬の料金を請求しました。

忍者の主要な技能の一つは、敵の弱点についての情報を収集することでした。そのため、薬の行商人に扮することは彼らにとって理想的な隠れ蓑でした。変装し薬を持ち歩くことで、忍者は家庭に入り込み、敵の生活習慣、健康状態などについての情報を収集し、それを自分たちの強みとして利用しました。

開館時間：9:30～17:00

休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：無料

【タイトル】 日本遺産

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

日本遗产

“日本遗产”由日本文化厅认定，旨在通过特定地区的历史景点与独特风貌，体现日本的文化与传统。

获得“日本遗产”认证十分有助于社区更好地开发和利用文化遗产，这对展现当地特色至关重要。一个地区的文化遗产既包括物质文化财产（如建筑、艺术品），也涵盖非物质文化遗产（如表演艺术、工艺技法）。无论是获得地方级还是国家级认证，都非常有利于传递该地区的文化与传统的核心要素。

2017年，三重县伊贺市与滋贺县甲贺市因丰富的忍者文化历史与相关故事，以“忍者之乡・伊贺与甲贺～探寻真实的忍者面貌～”之名被联合认定为“日本遗产”。如今，世界各地的人们都对忍者充满好奇，但大众印象中“身着黑衣、拥有近乎超人能力的刺客”形象并非真实的忍者。在甲贺，旅行者可以通过探访日本中世纪（12-16世纪）的城郭要塞遗址、忍者聚集商讨战术的神社，以及致力于保护和传承忍者文化核心知识的各类设施，来探索忍者的历史。

<繁体字>

日本遺產

由日本文化廳認定的「日本遺產」的主要目標在於：透過特定地區的歷史景點與獨特風貌，展現日本文化與傳統。

獲得「日本遺產」認證對展現當地特色至關重要，十分有助於社區更好地開發和利用文化遺產。一個地區的文化遺產既包括有形文化財產（如建築、藝術品），也涵蓋無形文化財產（如表演藝術、工藝技法）。無論是獲得地方級還是國家級認定，都非常有利於傳遞該地區的文化與傳統的核心要素。

2017年，三重縣伊賀市與滋賀縣甲賀市因豐富的忍者文化歷史與相關故事，以「忍者之鄉・伊賀與甲賀～探尋真實的忍者面貌～」之名被聯合認定為「日本遺產」。如今，世界各地的人們都對忍者充滿好奇，但大家印象中「身著黑衣、擁有近乎超人能力的刺客」形象並非真實忍者的樣貌。前往甲賀的遊客可以深度探索忍者的歷史，那裡有日本中世紀（12-

16 世紀) 的城郭與要塞遺址、忍者聚集商討戰術的神社，以及致力於保護和傳承忍者文化核心知識的各類設施。

<日本語仮訳>

日本遺産

日本遺産は、特定地域の歴史的観光名所や特色を通じて、日本の文化や伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。

日本遺産の認定は、地域のストーリーに不可欠な地域の文化財の整備と活用に向けた地域社会の取り組みを支援します。地域の文化遺産には、建造物や美術作品などの有形文化財と、芸能や工芸技術などの無形文化財が含まれます。これらの文化財は、地方指定のものや国指定のものがあり、地域の文化と伝統的コア要素を伝える上で重要な役割を果たしています。

2017 年、伊賀市（三重県）と甲賀市（滋賀県）は、その豊かな忍者文化とストーリーが評価され、日本遺産「忍びの里伊賀甲賀～リアル忍者を求めて～」の構成文化財に共同で認定されました。今日世界中の人々が忍者に魅了されていますが、黒装束をまとった超人的な暗殺者という忍者の一般的なイメージは誤りです。甲賀を訪れることで、中世（紀元 12-16 世紀）の城や砦の跡、戦術会議のために忍者が集まった神社、そして忍者の物語に不可欠な知識を残し、伝えていくための施設など、忍者の歴史を探求することができます。

地域番号	002	協議会名	下郷町
------	-----	------	-----

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
002-001	大内宿	1490	WEB
002-002	湯野上温泉	590	WEB
002-003	塔のへつり (渓谷)	340	WEB
002-004	観音沼森林公園	345	WEB
002-005	しんごろう (味噌焼き団子)	500	WEB
002-006	猿楽台地の蕎麦畑	410	WEB
002-007	戸赤の山桜	245	WEB
002-008	中山風穴	670	WEB
002-010	小野観音堂	690	WEB
002-011	中ノ沢観音堂	205	WEB

【タイトル】 大内宿

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

大内宿

大内宿的主街两旁坐落着传统的茅葺住宅与商铺，至今仍保留着江户时代(1603-1867)的宿场町（驿镇）风貌。过去人们大都徒步出行，宿场町就是为这些旅行者提供食物和住宿的地方。本地许多居民都世代代安居于此，经营着镇上的大多数商店、餐厅以及其他设施，彼此间形成了紧密的社群关系。来到大内宿，旅行者可以深入了解这一地区的文化、历史，也可品尝特色美食，或购买纪念品。

历史保护

大内宿大约成型于 1640 年前后。这里位于连接会津若松（福島县）和日光（栃木县）的交通要道上，随着时间的推移逐渐繁荣起来。进入明治时代(1868-1912)以后，政府大力兴建公路和铁路，但该地区的基础设施建设发展相对滞后，且几乎都绕开了大内宿，从而导致宿场町逐渐沉寂。1981 年，该地区被指定为国家重要传统建筑群保护区。

社区协作

在日本，农业社区居民长期以来形成了互助协作的传统，合力维护社区的公共设施。通常，邻里间会组成被称为“结”（意为相互扶助和支援）的组织。在大内宿，“结”至今还在发挥功用，例如，社区内任何一座建筑的茅草屋顶需要更换或修补时，结的所有成员都要参与。本地房舍之所以能在 400 年里一直保持着茅葺屋顶，秘诀就在于此。茅葺屋顶上铺的“茅”包含好几种草，所以屋舍内冬暖夏凉。不过，这样的社区始终存在火灾隐患，因此，镇子里有自己的志愿者消防队，并在每年 9 月 1 日例行举行火灾防范演习，挨个检查每家住户门外的消防设施。这项消防演习活动本身也成了深受游客喜爱的热门活动。

乡土料理

大内宿主街旁的许多民宅都经营着商铺或餐厅，其中供应荞麦面的就有好几家，食客可以试试本地豪放的吃法：用大葱当筷子吃面。镇上有一家雅致的咖啡馆，建筑为早期的西式风格。此外还有各种街头小吃，都很适合作为休闲简餐或轻食、点心。下乡町有一道招牌食物，名叫“新五郎饭团”，是在饭团上涂抹调味味噌后，以炭火烤制而成。想要购

买礼物或纪念品的游客也能在这里找到各种各样的传统手工艺品，比如陶器、纺织品、小玩具和各种新奇的物品。

地标

如今的大内宿以古老的宿场町而闻名，但在过去，本地许多居民都依靠农耕和林业维持生计。在大内宿町街景展示馆里，来访者可以了解到更多本地区的历史，认识过去本地居民的日常生活用品。展示馆也是本地的博物馆，所在建筑曾是镇上的“本阵”，即江户时代专供大名（大领主）及其他达官贵人途经大内宿时使用的旅馆。本阵同样采用传统茅葺屋顶，屋内设有一个很大的“围炉里”，位于地板中间，是一个以石块砌边围起来的方形火坑，上面垂吊着钩子，可以悬挂锅或水壶。

要欣赏宿场町全景，可步行登上一座小山，前往正法寺。寺庙位于小镇西北点，可俯瞰全镇。寺内供奉阿弥陀佛像，人们相信，300 多年来一直是这尊阿弥陀佛在守护着这里。另一条宜人的步行观光线是通往高仓神社的路线，它从宿场町中心出发，途中穿过西面的一小片杉树林。

夜晚的大内宿显得格外浪漫。家家户户屋檐下悬挂的灯笼都亮了起来，整个小镇看起来就像是回到了百年之前。

四季节庆

大内宿全年有许多节日和庆典活动。

每年 7 月 2 日，高仓神社都会举办“半夏祭”，纪念供奉于此的后白河天皇(1127-1192)之子以仁王(1151-1180)。届时，村中男子手持提灯绕大内宿庄严巡游一周，祈求家宅平安、五谷丰登。这样的庆典活动在日本也十分少见，历史却长达 800 年之久。

冬天，本地居民和外来游客都可以尽情享受“雪祭”的快乐。这项活动在 2 月的第二个周末举行，那时小镇多半已经被厚厚的积雪覆盖。居民们将手工雕琢的雪灯笼沿街摆放，再用“御神火”——点亮。当烟花照亮夜空，与雪灯笼和洁白的雪景交相辉映，画面更是美不胜收。

<繁体字>

大內宿

大內宿的主街兩旁是傳統的茅葺住宅與商鋪，至今保留著江戶時代（1603-1867）的宿場町（驛鎮）風貌。昔日人們多數步行，宿場町就是為這些旅人提供食物和住宿的地方。當地許多居民世代安居於此，經營著鎮上的大多數商店、餐廳以及其他機構，形成了緊密

的地方社區。在大內宿，遊客可以深入了解這一地區的文化、歷史，也可以品嚐特色美食，或購買伴手禮。

歷史保護

一般認為，大內宿成型於 1640 年前後。此地位於連接會津若松（福島縣）和日光（栃木縣）的交通要道上，隨著時間的推移逐漸繁榮起來。到了明治時代（1868-1912），政府大力興建公路和鐵路，但這個地區的基礎設施建設發展相對滯後，且幾乎都繞開了大內宿，所以昔日的宿場町逐漸沉寂。1981 年，這個地區被指定為國家重要傳統建築群保護區。

社區協作

在日本，農業社區的居民長期以來形成了互助合作的傳統，合力維護社區的公共設施。通常，鄰里間會組成被稱為「結」（意為相互扶助和支援）的組織。在大內宿，「結」至今還在發揮作用，像是社區內任何一座建築的茅草屋頂需要更換或修補時，結的所有成員都要參與，這就是當地房舍能在 400 年裡一直保持茅草屋頂的祕訣。茅草屋頂上鋪的「茅」包含好幾種草，所以屋舍內冬暖夏涼。只是這樣的社區始終存在著火災隱患，因此，鎮子裡有自己的消防志工隊，並在每年 9 月 1 日例行舉行火災防範演練，逐一檢查每家住戶門外的消防設施。這項消防演練本身也成為備受遊客喜愛的熱門活動。

鄉土料理

在大內宿主街旁，許多民宅都經營著商店或餐廳，其中有好幾家供應蕎麥麵，食客可以試試當地豪放的吃法：以大蔥替代筷子吃麵。鎮上有一家精緻的咖啡館，建築為早期的西式風格。此外還有各種街頭小吃，都很適合作為休閒套餐或輕食點心。下鄉町有一道招牌食物，名叫「新五郎飯糰」，在飯糰上塗抹調味的味噌後，以炭火烤製而成。遊客如果想要購買伴手禮，這裡有各式各樣的傳統手工藝品，像是陶器、織品、小玩具和各種新奇的禮品。

地標

如今的大內宿通常被看作一個古老的宿場町，但在過去，許多當地居民都依靠農耕和林業維持生計。在大內宿町街景展示館裡，遊客可以了解到更多當地的歷史，認識過去當地居民的日常生活用品。展示館也是博物館，所在建築曾是鎮上的「本陣」，就是江戶時代專供大名（大領主）及其他達官貴人途經大內宿時使用的旅館。本陣同樣採用傳統茅草

屋頂，室內設有一個很大的「圍爐裏」，這是一個在地板中間以石塊砌邊圍起來的方形火坑，上面垂吊著懸掛鍋或水壺的鉤子。

如果想要俯瞰全鎮，欣賞宿場町的全景，可以步行登上一座小山，前往位於小鎮西北的正法寺。寺內供奉阿彌陀佛像，人們相信，300 多年來一直是這尊阿彌陀佛像守護著這裡。另一條宜人的步行觀光線從宿場町中心出發，穿過西面的一小片杉樹林，前往高倉神社。

入夜後的大內宿顯得格外浪漫，家家戶戶屋簷下懸掛的燈籠都亮了起來，整個小鎮看起來像是回到了百年之前。

四季節慶

大內宿全年有許多節日和祭典活動。

高倉神社每年 7 月 2 日會舉辦「半夏祭」，紀念供奉於此的後白河天皇（1127-1192）之子以仁王（1151-1180）。這天，村中男子會手持提燈繞大內宿莊嚴遊行一周，祈求家宅平安、五穀豐登。這項祭典活動在日本也十分罕見，迄今已有 800 年的歷史。

如果在冬天造訪，遊客可以和當地居民一起盡情享受「雪祭」的快樂。這項活動在 2 月的第二個週末舉行，那時小鎮多半已經被厚厚的積雪覆蓋。居民們將手工雕琢的雪燈籠沿街擺放，再用「御神火」一一點亮。當煙花照亮夜空、流光溢彩與雪燈籠和潔白的雪景交相輝映的時候，更是美不勝收。

<日本語仮訳>

大内宿

茅葺き屋根の伝統的な家屋や店舗が立ち並ぶ大内宿の目抜き通りでは、江戸時代（1603-1867）の日本の宿場町の町並みが残っています。かつて宿場町は徒歩で訪れる旅人たちに、食事や宿を提供していました。住居の多くは、大内宿に何世代にもわたって住んでいる一族が所有しています。結束の強い共同体を形成しつつ、店舗や食事処、その他の施設を経営しながら暮らしています。大内宿を訪問すれば、この地域の文化と歴史を探究し、地元の料理を味わったり、お土産を購入したりする体験を心ゆくまで楽しむことが可能です。

過去の保存

大内宿は 1640 年頃に整備されたと考えられています。ここは会津若松（福島県）と日光（栃木県）の町を結ぶ主要なルートに位置することもあり、長い年月をかけて繁栄していきました。明治時代（1868-1912）になって新しい道路や鉄道が建設されましたが、この地域のインフラ開発が比較的遅れたのと、その多くが大内宿を迂回したことにより、徐々に衰退していったのです。この地域は、1981 年に国重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。

共同体の協力体制

日本の農村の人々は、相互扶助や協力関係を基盤に地域の社会インフラの維持に努めてきました。地域住民は、「結い（相互扶助と支援）」という共同体を結成します。大内宿では、この「結い」という共同体が現在でも機能しているのです。地域の建物の茅葺き屋根に補修や葺き替えが必要になると、この「結い」のメンバーが総出で補修の作業に加わります。大内宿の茅葺き屋根が 400 年にわたって維持できてきたのには、このような背景があるのです。「茅」には複数の草が材料として使われ、夏は家を涼しく、冬は暖かく保つのに役立ちます。火災のリスクは絶えず付きまとうため、町には独自のボランティア消防団があります。毎年 9 月 1 日には、恒例の「防火訓練」を行われており、各住居の外にある設備を点検します。この防火訓練自体が来訪者たちにとっての人気の行事となっています。

郷土料理

目抜き通り沿いの家の多くは、住居兼店舗または食事処になっています。蕎麦を提供するお店が複数あり、訪問客は、箸の代わりに長ネギを使って蕎麦を食べる、ご当地の大胆な食べ方にも挑戦できます。その他にも、初期の西洋建築が特徴的なエレガントなカフェのほか、カジュアルな食事や軽食に最適な屋台料理も数多く存在します。下郷の名物料理と言えば、味付け味噌を塗ったおにぎりを炭火で焼いた「しんごろう」です。贈り物やお土産を探している旅行者向けに、陶器や布製品、小さな玩具、新奇な品々などの民芸品を販売しているお店もあります。

地域のランドマーク

現在、大内宿は歴史ある宿場町として知られていますが、かつては多くの住民が農林業で生計を立てていました。町の博物館である大内宿町並み展示館では、地域の歴史や昔の日常生活で使われていた品々を見学することができます。かつて「本陣」と呼ばれていた建物であり、江戸時代には、大内宿を通る大名をはじめとする高位の人々が利用するための宿でした。伝統的な茅葺き屋根に加えて、本陣は大きな囲炉裡を備えています。囲炉裏は、床に設置された四角い石で裏打ちされた穴で、鍋やかんを、囲炉裡の火の上にある鉤に吊るすことができます。

町を見下ろす景観を楽しむには、小さな山を登って、正法寺へ行きましょう。町の北西側にあるこの寺から大内宿が一望できます。正法寺は 300 年以上にわたって村を見守ってきたと思われる阿弥陀如来を祀っています。もう一つ楽しい散策道は、町の中心部から西側杉の木の小さな森を通り抜けて、高倉神社へと続くルートです。

夜の大内宿は特にロマンティックです。各建物の軒に下げられた提灯に火が灯り、1 世紀前の町の姿を見せてくれることでしょう。

季節を心ゆくまで味わう

大内宿には、年間を通して行われるイベントやお祭りが数多くあります。

高倉神社では、毎年 7 月 2 日に「半夏まつり」が開催され、後白河天皇（1127-1192）の皇子である以仁王（1151-1180）の霊を祀ります。村の男衆が大内宿の周りで、提灯を手に肅々と行列をつくり、家の安全と豊作を祈ります。半夏まつりは 800 年続く全国でも珍しいお祭りです。

冬には、住民や観光客が雪まつりを楽しめます。雪まつりは、町が大雪に覆われることが多い2月の第2週末に開催されます。住民は雪で燈籠を手彫りして通りに沿って配置。順番に御神火を雪燈籠に点火します。花火が夜空を照らし、雪燈籠と手付かずの雪の美しいコントラストを引き立てます。

【タイトル】 湯野上温泉

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

汤野上温泉

这个风光如画的温泉村坐落在大川河畔的溪谷里，从江户时代(1603-1867)开始，人们就已经来到这里泡温泉，放松身心。本地的传统日式旅馆和民居从 7 处天然泉眼将温泉水直接引入户内。这里的泉水属于弱碱性单纯温泉^{*}，对缓解神经痛、肌肉痛、关节痛、慢性肠胃症状等都有功效。水中的负离子含量也很高，能让身体由内而外暖和起来。

许多洗浴设施也对非住宿游客开放，但要充分体验日式旅馆的待客之道，留宿才是最佳选择。温泉村共有 20 多家住宿设施可供挑选，是本地观光的理想选择。

※单纯温泉：水温 25℃以上，且每公升泉水中矿物质含量低于 1000 毫克的温泉。PH 值介于 7.5~8.5 之间的为弱碱性，超过 8.5 为碱性单纯温泉。

社群精神

拥有传统茅葺屋顶的汤野上温泉站是一处交通枢纽站。车站为游客提供了舒适的休息空间，并备有图书、杂志、旅行观光指南手册可供借阅。另外，站内还设有一个“围炉里”（用于烹饪和取暖的地炉），天冷时，居民和游客经常不分彼此，一起围坐在炉边，享受炉火的温暖。

车站还出售新鲜蔬菜等各色本地土特产和食品。早晨，常常能看到本地旅馆老板前来采购食材，为住客准备晚餐。站旁有一个免费开放的天然温泉足汤，擦脚的小毛巾可以在站内购买。车站周边是春季赏樱的热门地点。

特别提醒：部分温泉可能不接待有纹身的客人，建议提前确认。某些情况下，小型纹身贴上敷贴后可以进入。此外，也可以预约部分专供包场的汤池。

<繁体字>

湯野上溫泉

這個風光如畫的溫泉村坐落在大川河畔的溪谷裡，自江戶時代（1603-1867）起，人們就已經來到這裡泡溫泉放鬆身心。當地的傳統日式旅館和民居從 7 處天然泉眼將溫泉水

直接引入戸内。這裡的泉水屬於弱鹼性單純溫泉^{*}，能緩解神經痛、肌肉痛、關節痛、慢性腸胃症狀等疾病。水中的負離子含量也很高，能讓身體由內而外溫暖起來。

許多沐浴設施對當日往返的遊客開放，但留宿才是充分體驗日式旅館待客之道的最佳選擇。溫泉村共有 20 多家住宿可供挑選，是來當地觀光遊客的理想「落腳處」。

※單純溫泉：水溫 25°C 以上、每公升泉水中礦物質含量低於 1000 毫克的溫泉。PH 值介於 7.5~8.5 之間的為弱鹼性，超過 8.5 為鹼性單純溫泉。

社群精神

擁有傳統茅葺屋頂的湯野上溫泉站是一個交通樞紐。車站為遊客提供舒適的休息空間，並備有書籍、雜誌與旅遊觀光指南可供借閱。另外，站內還有一個「圍爐裏」（用於烹飪和取暖的地爐），天冷時，居民和遊客不分彼此，一起圍坐在爐邊，享受爐火的溫暖。

車站還販賣包括新鮮蔬菜在內的各種當地農特產和食品。清晨時分，常常能看到當地旅館的老闆來採購食材，為住客準備晚餐。站旁有一個天然溫泉足湯，對大眾免費開放，擦腳的小毛巾可在站內購買。車站周邊更是春季賞櫻的熱門地點。

特別提醒：部分溫泉可能不接待有紋身的客人，最好能提前確認。某些情況下，小型紋身可以貼上敷貼後進入。此外，也可以預約部分專供包場的湯池。

<日本語仮訳>

湯野上温泉

この絵のように美しい温泉村は、大川沿いの溪谷にあり、江戸時代（1603-1867）から人々はくつろぎを求めてこの地を訪れて、温泉を楽しんできました。この地域の旅館や民家は、7つの異なる源泉から直接温泉を引いています。ここの泉質は弱アルカリ性単純泉^{*}で、神経痛、筋肉痛、関節痛、慢性消化器病に効き、マイナスイオン濃度も高く、身体の芯から温めてくれます。

入浴施設の多くは日帰りでも利用できますが、旅館のおもてなしを存分に味わうには宿泊するのが最適でしょう。20 を超える宿泊施設から選択できることもあり、この村はこの地域を観光するのに申し分のない拠点となっています。

※単純泉：泉温が 25°C 以上で、溶存物質量が温鉱泉 1 キログラム当り 1 グラム未満の温泉。pH7.5~8.5 のものは弱アルカリ性単純泉で、8.5 以上のものはアルカリ性単純泉という。

共同体意識

伝統的な茅葺き屋根の湯野上温泉駅は、交通の要衝です。ここには、本や雑誌、観光パンフレットなどを閲覧できる快適な空間と、囲炉裏（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）があります。寒い季節になると、囲炉裏に灯る火の暖かさを求めて、住民も観光客も囲炉裏の周りに集います。

駅では新鮮な野菜をはじめ、さまざまなお土産や食料品を販売しています。朝は、地元の旅館のオーナーたちが、宿泊客の夕食用の食材を購入するために立ち寄る光景が見られるでしょう。駅の隣には天然温泉水の足湯があり、どなたでも無料でご利用いただけます。足を乾かすための小さなタオルは、駅の構内で購入することが可能です。駅周辺のエリアは、春になると桜のお花見の人気スポットとして知られています。

注意：一部の温泉では、タトゥーのある方をお断りする場合がありますので、行かれる際は事前に確認することをお勧めします。小さなタトゥーの場合は、入場前にパッチで覆うことで入浴可能な場合があります。また、貸切風呂を予約できる場合もあります。

【タイトル】 塔のへつり（溪谷）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

塔之崖（河谷）

塔之崖（意为“如塔一般的河岸高崖”）是一条 200 米长的河谷，“大川”在谷底流淌。历经了 100 多万年风雨和水流的侵蚀、冲刷，河岸崖壁上留下了许多形态独特的岩层。这些高塔般耸立的巨岩因其外形而得名，例如鹫塔岩、象塔岩等。

吊桥连接着前方的一个小山洞，洞内供奉有神龕。悬崖的部分区域可以行走，但台阶狭窄陡峭，需要格外小心。早春时节新绿遍野，紫藤花挂满崖壁；冬日里白雪覆盖山岩，别有一番荒凉萧瑟之美。四季美景让人过目不忘，塔之崖也因此成为了闻名遐迩的名胜景点，其中，秋天红叶季节的景色最令人叹为观止。站在吊桥中央，可尽览崖壁与河流全貌。

塔之崖于 1943 年被正式指定为天然纪念物，如今是大川羽鸟县立自然公园里最大的风景名胜地，也是热门的观光地。吊桥旁开有几家餐厅和纪念品商店。

<繁体字>

塔之崖（河谷）

塔之崖（意为「如塔一般的河岸高崖」）是一條長 200 公尺的河谷，「大川」從谷底流淌而過。歷經 100 多萬年風吹雨打與水流的沖蝕，河岸的崖壁上形成了許多形態獨特的岩層。這些如高塔般聳立的巨岩因其外形而得名，像是鷲塔岩、象塔岩。

一座吊橋通往一個小山洞，洞內供奉著神龕。懸崖的部分區域可供行走，但階梯狹窄陡峭，行路極具挑戰。早春時節新綠滿山，紫藤花垂掛崖壁；冬季白雪覆蓋山岩，展現出一種荒涼蕭瑟之美。四季景致各有特色，讓人難忘，塔之崖也因此成為遠近馳名的名勝景點，其中又以秋季紅葉時節的景色最為驚豔。站在吊橋中央，可將整片崖壁與河流盡收眼底。

塔之崖於 1943 年被正式指定為天然紀念物，如今是大川羽鳥縣立自然公園中最大的風景名勝地，也是熱門觀光地。吊橋旁設有幾家餐廳與紀念品商店。

<日本語仮訳>

塔のへつり（溪谷）

塔のへつり（川沿いの崖の塔）は、大川を見下ろす長さ 200 メートルの溪谷です。風、雨、水流によって約 100 万年以上にわたって独特の形にえぐり取られた、さまざまな種類の岩が特徴です。塔のような岩塔には、鷲塔岩、象塔岩など、それぞれの形にちなんだ名前が付けられています。

吊り橋を渡ると、中に祠のある小さな洞窟があります。崖の上を歩くこともできますが、階段は狭くて急なので注意が必要です。早春には新緑や藤の花が崖を彩り、冬には雪が岩の上に積もって、荒涼とした美しい景色を見せ、塔のへつりは一年中いつ訪れても思い出に残る光景が広がる名勝地です。とりわけ、秋の紅葉の美しさ最も素晴らしい。吊り橋の中央部からは、崖の岩肌と川面が織りなす景色を一望することが可能です。

塔のへつりは大川羽鳥県立自然公園の一部で、1943 年に公式の天然記念物に指定されました。いまは大川羽鳥県立自然公園最大の景勝地であり、人気の観光スポットでもあります。橋のそばにはレストランや土産物店がたくさんあります。

【タイトル】 観音沼森林公园

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

观音沼森林公园

观音沼森林公园最出名的是迷人的红叶秋景，但无论什么季节，这里都是一片平和宁静的绿洲。公园的核心是观音沼，一条全长 1.2 公里的休闲步径环绕着这块湿地。湿地内小岛多如繁星，沿途好几处观景台均可一览全貌。除此以外，附近树林里和湿地周边还分布着另外 8 条步道，各步道沿线均随处设有长椅可供休息。

从早春到夏末，在这里能看到各种各样的植物和花卉。4、5 月间，好几种樱花竞相盛放，有垂枝樱，也有晚开的八重樱。入夏时节，更有日本忍冬、杜鹃花、绣球等许多花卉争奇斗艳。

岳观音堂是公园内的一座小寺，以精美的木雕闻名。寺庙供奉大慈大悲观世音菩萨，园内湿地“观音沼”便得名于此。平安时代(794-1185)，武将坂上田村麻吕(758-811)下令修建了这座寺庙，用以追悼在附近一场战役中阵亡的战士与战马。

<繁体字>

觀音沼森林公園

觀音沼森林公園整年都是一片平和寧靜的綠洲，但最出名的還是迷人的紅葉秋景。公園的中心是觀音沼，有一條全長 1.2 公里的休閒步道環繞著這片濕地。濕地內小島多如繁星，沿途有好幾處觀景台均可一覽全貌。除此之外，附近樹林裡和濕地周邊還有另外 8 條步道，各步道沿線均隨處設有可供休息的長椅。

從早春到夏末，這裡可見各式各樣的植物與花卉。每年 4、5 月，多種櫻花爭相綻放，包括垂枝櫻與晚開的八重櫻。入夏時節，更有日本忍冬、杜鵑花、繡球等許多花卉爭奇鬥豔。

公園內有一座小寺「嶽觀音堂」，以精美木雕聞名。寺廟供奉大慈大悲觀世音菩薩，園內濕地「觀音沼」之名就來源於此。平安時代（794-1185），武將坂上田村麻呂（758-811）下令修建了這座寺廟，用以追悼在附近一場戰役中陣亡的戰士與戰馬。

<日本語仮訳>

観音沼森林公園

観音沼森林公園は、紅葉の名所として最もよく知られていますが、どの季節に訪れても穏やかなひとときを楽しめるオアシスです。公園の中心となるスポットは、観音沼でしょう。沼の周りには 1.2km の遊歩道が整備されており、散策を楽しむことができます。遊歩道沿いには見晴台がいくつかあり、観音沼に浮かぶ無数の島々などの景色を一望することが可能です。この他にも、周辺の森や湿原を巡る 8 つの散策路が用意されており、散策路の至る所にベンチも設置されています。

初春から晩夏にかけては、さまざまな植物や花を見ることができます。4 月から 5 月にかけては、枝垂れ桜や遅咲きの八重桜などのさまざまな種類の桜が開花し、夏に向かっては、スイカズラ、ツツジ、アジサイなどの花が咲き誇ります。

嶽観音堂は木彫りで有名な公園内の小さなお寺です。沼の名前の由来となったとされる観音様が祀られています。平安時代（794-1185）の武将、坂上田村麻呂（758-811）の命により、この地域の戦いで戦死した人馬を弔うために建立されました。

【タイトル】 しんごろう（味噌焼き団子）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

新五郎饭团（烤味噌饭团）

新五郎饭团是一种炭火烧烤的味噌饭团，涂抹饭团的味噌酱用糖、清酒、味醂（音同“览”）调味并拌上碾碎的苏子（紫苏籽）。这是本地每年秋天为庆祝新米收获而必备的传统食物，也是下乡地区最有名的美食。

传说这种饭团得名于江户时代(1603-1867)本地一位名叫“新五郎”的人，而他就是这道食物的发明者。那时候，町内居民需要向神明敬奉年糕，感谢一年的收获，但制作年糕所需的糯米昂贵，新五郎无力购买。于是，他想到了在普通饭团上刷上精心调味的味噌酱来制作自己独有的供品。

制作这道小吃需用到当地特有的一种味噌，里面加入了碾碎的苏子，下乡地区称之为“十念”（“十年”的意思）。据说十念味噌对健康颇有助益，常吃能延寿十年。制作新五郎饭团，首先要将松软的米饭捏成小团子，穿在竹签上，然后在饭团表面刷上十念味噌，通常再用炭火炙烤后趁热吃。大内宿的店铺及本地区部分餐厅均有新五郎饭团供应。

和日本的许多乡村城镇一样，下乡町也有自己的可爱吉祥物——下五郎。这是一个涂着味噌酱的喜庆小饭团，有胳膊有腿，还有一条小尾巴。“下五郎”的名字由“下乡町”和当地招牌美食“新五郎”组合而成，后者也是这个吉祥物的灵感来源。

<繁体字>

新五郎飯糰（烤味噌飯糰）

新五郎飯糰是一種烤味噌飯糰，將以糖、清酒、味醂（音同「覽」）調味，並拌入碾碎蘇子（紫蘇籽）的味噌醬塗抹在飯糰表面後，放在炭火上燒烤而成。這是當地每年秋天為慶祝新米收成而必備的傳統食物，也是下鄉地方最出名的美食。

傳說中，這種飯糰得名於江戶時代（1603-1867）當地一位名叫「新五郎」的人，相傳他便是這道料理的發明人。當時，町內居民要向神明敬奉年糕感謝一年收成，但新五郎卻無力購買製作年糕所需的昂貴糯米，於是他便靈機一動，在普通飯糰上刷上精心調味的味噌醬，製成獨特的供品。

這道小吃需用到當地特有的一種味噌，裡面加入了碾碎的蘇子，下鄉地方稱之為「十念」（「十年」的意思）。十念味噌有益健康，據說常吃就能延壽十年。製作新五郎飯糰，首先要將鬆軟的米飯捏成小糰子，穿在竹籤上，然後在飯糰表面刷上十念味噌。一般人們都會用炭火烤製後，趁熱享用。大內宿的店鋪及當地部分餐廳都供應新五郎飯糰。

和日本許多鄉村城鎮一樣，下鄉町也有自己的可愛吉祥物——下五郎。牠是一顆塗著味噌醬的歡樂小飯糰，手腳齊全，還有一條小尾巴。「下五郎」的名字由「下鄉町」和當地招牌美食「新五郎」組合而成，這個吉祥物的靈感來源正是新五郎飯糰。

<日本語仮訳>

しんごろう（味噌焼き団子）

このご飯をつぶして丸めた団子は、味噌にすりおろした荳胡麻を混ぜて、砂糖、酒、みりん味付けをした後、炭火で焼きます。伝統的に、毎年秋の新米の収穫を祝うために食され、下郷地方で最も有名なお馳走です。

しんごろうの名は、江戸時代（1603-1867）にしんごろうを発明したとされる人物に由来していると言われています。当時、町の人々は収穫に感謝して餅を神様にお供えしていましたが、高価な餅米を買うことができなかったため、新五郎は普通の米の団子を味噌で付けて独自のお供えにしたそうです。

この料理には、下郷で「じゅうねん（十念）」（文字通り、10年を意味する）と呼ばれるすりつぶしたエゴマの実が入った独特の味噌が使われています。じゅうねん味噌は健康に良いとされ、食べると寿命が10年延びると言われています。しんごろうは、柔らかめに炊いたご飯を団子状にして竹串に刺し、そこにじゅうねん味噌を塗って作ります。炭火で焼いて、温かいうちに食べるのが一般的です。大内宿の売店や周辺の一部のお食事処で食べることができます。

日本の他の地域の多くと同様に、下郷にも愛すべきマスコット・キャラクターがいます。下郷の名物料理「しんごろう」からヒントを得た「しもごろー」は、味噌を塗ったお餅に手足と尻尾が付いた元気なキャラクターで、名前は下郷と、町を代表するお馳走、しんごろうを組み合わせたものです。

【タイトル】猿樂台地の蕎麦畑

【想定媒体】WEB

<簡体字>

猿乐台地の荞麦田

20 世纪 60 年代，作为日本国营农地开发项目的一环，猿乐台地被开垦为农田，农民在这片面积达 345 亩的农田里种植荞麦。如今，这里已经是日本东北地区规模最大的荞麦田之一。荞麦是制作荞麦面的主要原材料。每年 8 月下旬到 9 月上旬，纤秀雪白的荞麦花盛开，仿佛绒毯铺满大地。

长期以来，日本以大米为主食，但在福岛县这样的北方地区，即使夏天也颇为凉爽，稻米很难生长。取而代之的是更加耐寒的作物，荞麦就是其中之一。下郷町拥有充足的洁净淡水资源，这是出品顶级荞麦面的关键。在这一带，许多餐厅都供应本地特有的荞麦料理。

暮夏季节，荞麦花盛开，是猿乐台地的旅游旺季。但宁静的田园风光四季常在，无论在哪个季节到访，都有机会拍到美丽的照片。10 月荞麦收割后，田地里残留的麦茬会变成鲜艳的红色。

特别提示：欢迎大家驻足路边欣赏风景，但请注意，荞麦田是私有地产，请勿擅自进入。尤其要小心电网，那是为了防备猴子、熊等本地野生动物侵害田地而设置的。

<繁体字>

猿樂台地的蕎麥田

隨著 1960 年代日本施行一項國營農地開發計畫，猿樂台地被開墾為農田。這片農田有 23 公頃，農民在這裡種植蕎麥。今天，這裡已經是日本東北地區規模最大的蕎麥田之一。蕎麥是製作蕎麥麵的主要原料。每年 8 月下旬到 9 月上旬，纖細潔白的蕎麥花盛開，如同絨毯鋪滿大地。

稻米長期以來在日本飲食中扮演主食的角色，但在福島縣這樣的北方地區，即便夏天氣溫也不高，稻米很難生長，取而代之的是更加耐寒的農作物，蕎麥便是其中之一。下郷町擁有豐富潔淨的淡水資源，這是生產高品質蕎麥麵的關鍵。這一帶有許多餐廳供應當地特有的蕎麥料理。

猿樂台地人氣最旺的是夏末蕎麥花盛開之時，但這裡四時皆有寧靜的田園風光，一年之中任何時候來訪，都有機會拍攝到美麗的照片。10月蕎麥收割後，田地裡殘留的麥稈和麥根會轉為鮮豔的紅色。

特別提醒：歡迎大家駐足路邊欣賞風景，但請注意，蕎麥田為私人所有，請勿進入。尤其要注意電子圍欄，那是為了防備猴子、熊等當地野生動物破壞田地而設置的。

<日本語仮訳>

猿樂台地の蕎麥畑

猿樂台地は、1960年代に国営農地開発事業によって整備されました。農家の方たちが、23ヘクタールに及ぶ畑で、蕎麥の実を育てています。いま、ここは日本の東北地方でも最大級の広さを誇るそば畑です。蕎麥はそばの麵の主成分であり、毎年8月下旬から9月上旬にかけて、繊細な白い蕎麥の花の絨毯で覆われます。

長い間、日本の主食は米でしたが、福島県などのように夏が冷涼な北部の地域では、米の栽培が困難を伴うこともあります。そこで、人々は寒さに強い代替穀物のひとつとして蕎麥を生産してきたのです。下郷町には、最高品質のそばを作るために欠かせない新鮮できれいな水が豊富にあります。また、周辺のお食事処の多くでは地元のそば料理を提供しています。

畑に花が咲き乱れる夏の終わりが最も人気のシーズンですが、猿樂は、一年中穏やかでフォトジェニックな田園風景が広がっています。10月に蕎麥の収穫が終わると、畑に残っている茎が鮮やかな赤色に染まります。

注：道端からの眺めていただく分には大歓迎なのですが、蕎麥畑はあくまでも私有地であるため、立ち入りは禁止です。サルやクマなどの地元の野生生物から畑を守る電気柵を設けている場合もありますので、ご注意ください。

【タイトル】 戸赤の山桜

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

戸赤的山桜

数世紀以来，下乡町戸赤地区都是本地的林业中心。戸赤の森林里生长着 100 多株原生山桜树，它们是本地长期实施“留木”制度的成果。这项制度严禁砍伐特定树种，在下乡町，山桜正是保护物种之一，其中许多已经生长了 200 多年。据说留木制度早在 1660 年前后便开始实施，任何人若是触犯禁令，都会受到严厉的惩罚。由于冬季寒冷，这里的樱花季比日本大部分地区都要晚一些，往往直到 4 月下旬至 5 月上旬才进入盛花期。长久以来，本地居民一直将寒冬过后绽放的粉色樱花视为春天来临的信号，总是满怀期待地迎接它们盛开。

<繁体字>

戶赤的山櫻

幾百年以來，下郷町戸赤地區始終是當地的林業中心。這裡的森林裡生長著 100 多株原生山櫻樹，它們是村民長期遵循「留木」制度的成果。這項制度嚴禁砍伐特定樹種，下郷町的山櫻正是保護物種之一，其中許多已經生長了 200 多年。據說在 1660 年左右，留木制度就已開始實施，任何觸犯禁令的人都會受到嚴厲懲罰。由於冬季寒冷，這裡的櫻花季比日本大部分地方都要晚一些，往往要等到 4 月下旬至 5 月上旬才進入盛花期。當地居民長久以來都將寒冬過後綻放的粉色櫻花看作春天來臨的訊號，滿心歡喜地迎接它們的盛開。

<日本語仮訳>

戸赤の山桜

下郷町の戸赤地区は何百年もの間、地元的林業の中心地でした。村人たちが、「留め木」制度を作って守り続けてきた結果、同地の森には 100 本以上の山桜が自生しています。この制度では、特定種の木の本伐採が禁止されます。下郷町では、その多くが樹齢 200 年以上にも及ぶ桜の木々も保護の対象となりました。この制度は 1660 年頃に始まったと考えられており、伐採の禁止に違反したものは、厳しい罰則が課されます。この地域は冬に寒いこともあり、桜の開花が日本の多くの地域より

もやや遅く、通常 4 月下旬から 5 月上旬にピークを迎えます。厳しい冬の季節を乗り越えた住民たちにとって、ピンク色の花が咲き誇る姿は春の到来を告げるもので、長い歴史の中で親しまれ続けてきました。

【タイトル】 中山風穴

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

中山风穴

风穴是一种罕见的地理现象，能够让洞穴周围的地面常年保持凉爽。即便是盛夏酷暑，这里的地表温度通常也不过5°C~10°C，为4~9月期间高山花卉植物的生长创造了良好的环境。一条徒步小径串连起6个可供游客享受地底凉风的特定地点，这条路很好走，老少皆宜。此外，从风穴也可以步行前往本地其他景点，如汤野上温泉所在的温泉村、塔之崖河谷。中山风穴特殊植物群落于1964年被指定为国家天然纪念物。

古老的起源

一般认为，中山风穴形成于数百万年前，当时火山喷发，熔岩被推到地表，形成了这些圆锥形洞穴。这些洞穴由多重岩层构成，层间留有空隙。地面上的温暖空气进入岩层空隙后，在流动穿行的过程中冷却，最后又回到地面。这种现象为高山植物的繁茂生长创造了理想的条件。1955年，一位本地居民向植物研究者展示大高岭玫瑰的标本，引起了人们对这一地理现象的关注，因为大高岭玫瑰通常生长在海拔1500米或更高处，而中山风穴生态系统的海拔仅550米。它们不仅在这里自然繁殖，而且形成了本州岛（日本最大岛屿）上最大的大高岭玫瑰群落。5月是这种玫瑰的最佳观赏季节。

天然“冰箱”

徒步小径上令人印象最为深刻的景点是一座风穴小屋，它建在最大的一处风穴之上。最初是谁发现了它已无从考证，但数百年来，本地人一直将这处特别的洞穴当成天然“冰箱”来使用。在潮湿闷热的夏季，人们将水果、蔬菜、肉类存放在这里，洞穴冷风可以防止食物变质腐坏。在20世纪20年代晚期到40年代早期，邻镇一位颇有远见的商人就向下郷町租下这间风穴小屋，用于存放农产品。此外，风穴还被用于养蚕业，低温很适合储存孵化前的蚕卵。

<繁体字>

中山風穴

風穴是一種罕見的地理現象，可讓洞穴周圍的地面全年維持涼爽。即使在盛夏，地表溫度通常也能維持在約 5°C 至 10°C 之間，為 4 月至 9 月間高山花卉植物的生長提供了良好條件。一條健行小徑串連起 6 個指定點，遊客可在此感受地底吹出的涼風。步道平緩，適合各年齡層行走。除此以外，從風穴也可以步行前往當地的其他景點，像是湯野上溫泉所在的溫泉村、塔之崖河谷。1964 年，中山風穴特殊植物群落被指定為國家天然紀念物。

古老的起源

據信，中山風穴形成於數百萬年前，當時火山噴發，熔岩被推到地表，形成了這些圓錐狀洞穴。洞穴由多重岩層構成，層間留有空隙。地表的暖空氣進入岩層縫隙，在流動過程中被冷卻，最後重新回到地面。這種現象為高山植物的繁衍生長創造了理想的環境。1955 年，一位當地居民將大高嶺玫瑰的標本展示給植物學者，這才引起外界對這種地理現象的關注，因為大高嶺玫瑰通常生長在海拔 1500 公尺或更高處，而中山風穴生態系統的海拔卻只有 550 公尺。這些植物不僅能在此生長繁衍，還讓中山成為日本最大的島嶼「本州島」上最大的大高嶺玫瑰群落。5 月是推薦的觀賞季節。

天然「冰箱」

在整條健行小徑中，最令人印象深刻的景點是一座建在最大風穴上的小屋。雖已無從考證最初是誰發現了這座風穴，但當地人幾百年來一直把它當作天然「冰箱」使用。在潮濕悶熱的夏季，來自洞穴的冷風能防止食物腐敗，於是人們將水果、蔬菜、肉類存放在這裡。從 1920 年代晚期到 1940 年代早期，鄰鎮一位頗有遠見的商人向下鄉町租下這間風穴小屋，用來儲存農產品。此外，風穴穩定的低溫也適合保存蠶卵至孵化，讓當地的養蠶業也從中受益。

<日本語仮訳>

中山風穴

風穴は、周辺の地表が一年中涼しく保たれる珍しい地質学的現象です。夏の最盛期であっても、地表温度は通常 5°C~10°C の間にとどまり、4 月から 9 月の間に高山の花が育つ環境を作り出します。周辺には、地面から冷たい空気が出ているのを感じることができる 6 つの指定地があり、ハイキングコースでつながっています。このハイキングコースは年齢を問わず楽しむことが可能です。洞穴から湯野上温泉の温泉村や「塔のへつり」などの地元の観光スポットまで、徒歩で行くこともできます。中山風穴の特殊植物群落は、1964 年に国の天然記念物に指定されました。

古代の起源

中山風穴は、数百万年前の火山の噴火により溶岩が地表に押し上げられ、円錐形の洞窟が形成されたと考えられています。これらの洞窟は隙間のある多くの岩の層で構成されており、表面から入った暖かい空気が、岩の隙間を通るうちに冷却されて、再度表面から吹き出てくるのです。この現象により、高山植物が繁茂するための理想的な環境を作り出します。1955年に地元住民がオオタカネバラの標本を植物研究者に見せたことをきっかけに注目が集まりました。オオタカネバラは通常標高 1,500メートル以上の場所で育ちますが、中山風穴の生態系では標高 550メートルで育ちます。中山は、日本で最も大きな島である本州の中でも、最大規模を誇るオオタカネバラの群生地があります。観覧に最もおすすめのシーズンは5月です。

自然の冷蔵庫

ハイキングコースで最も印象に残るスポットは、最大の風穴を囲って建てられた風穴小屋でしょう。この風穴を誰が最初に発見したかは明らかではありませんが、地元住民は何世紀にもわたって自然の冷蔵庫としてこれを活用してきました。日本の蒸し暑い夏の間、風穴は果物、野菜、肉の保管庫として使用され、冷気で食べ物を腐敗から守っていました。1920年代後半から1940年代初頭にかけて、進取の気鋭に飛んだ近隣の商人が、下郷町からこの風穴小屋を借り受けて、農産物の保管に使用していたそうです。風穴は養蚕業でも利用されてきました。気温が低いと、カイコの卵が孵化するまで保管するのに理想的な環境だからです。

【タイトル】小野観音堂

【想定媒体】WEB

<簡体字>

小野观音堂

小野观音堂是“御藏入三十三观音巡礼”路线的第 10 所灵场，位于通往小野岳山顶的山路入口附近。观音堂建于 1813 年，但里面供奉的大慈大悲观世音像则要古老得多。这尊菩萨像最初立于小野岳之巅，后来才被移至如今的位置受香火供奉。朝圣者来此为家庭祈福，祈求婚姻美满、平安分娩等。观音堂的窗户上装饰着精美的雕刻，极为别致。

会津的三十三观音巡礼

日本全国有许多三十三观音巡礼路线，因为人们相信，观音菩萨有 33 种不同的化身，能够救赎一切生灵。

现已被认定为日本遗产的“会津的三十三观音巡礼”也是这样连接 33 处观音像的巡礼路线。包括奥会津的“御藏入三十三观音巡礼”在内，会津各地先后建立起了多条巡礼路线。

位于御藏入巡礼路线上的下乡町属于福岛县西部的会津地区，是江户时代(1603-1867)德川幕府辖下会津藩的一部分。在御藏入巡礼路线沿途的 33 尊观音像中，既有独立于乡间田边的石像，也有安坐寺庙中被指定为国宝的雕像。其中，第 10~13 尊观音像都位于下乡町，均供奉于四周风光如画的乡间小寺内。人人都可以前来朝圣，感受当地宁静祥和的氛围，就像过去几百年间来这里祈福的人们一样。

佛教文化中心

自平安时代(794-1185)以来，会津就是日本北部地区重要的佛教文化中心，有“佛都会津”之称。据说，17 世纪中叶，藩主保科正之(1611-1672)在本地选定并开创了“会津的三十三观音巡礼”。人们踏上巡礼之途，祈求过去的罪衍得到宽恕，祈望未来能有健康好运，同时还能领略沿途不同的地方文化，观赏自然美景。这样将佛教文化与观光旅行融为一体的方式在会津地区大受欢迎。时至今日，人们依然以同样的理由踏上巡礼之路。

<繁体字>

小野觀音堂

小野觀音堂位於通往小野岳山頂的山路入口附近，是「御藏入三十三觀音巡禮」路線的第 10 所靈場。觀音堂建於 1813 年，但裡面供奉的大慈大悲觀世音像卻要古老得多。這尊菩薩像最初立在小野岳之巔，後來才被移到如今的位置受香火供奉。參拜者來此為家庭祈福，祈求婚姻美滿、平安分娩等。觀音堂的窗戶上裝飾著精美的雕刻，極為別緻。

會津的三十三觀音巡禮

人們相信觀音菩薩有 33 種不同的化身，能夠救贖一切生靈，因此日本全國有許多三十三觀音巡禮路線。

現在被認定為日本遺產的「會津的三十三觀音巡禮」，就是連起 33 處觀音像的巡禮路線。包括奧會津的「御藏入三十三觀音巡禮」在內，會津各地先後建立起了多條巡禮路線。

位於御藏入巡禮路線上的下鄉町屬於福島縣西部的會津地區，在江戶時代（1603-1867），是德川幕府轄下會津藩的一部分。御藏入巡禮路線沿途的 33 尊觀音像中，既有獨自立於鄉間田邊的石像，也有安坐寺廟中被指定為國寶的雕像。其中，第 10~13 尊觀音像都位於下鄉町，供奉在四周風光如畫的鄉間小寺內。和過去幾百年間來一樣，現在人人都可以前來朝聖，感受這寧靜祥和的氛圍。

佛教文化中心

自平安時代（794-1185）以來，會津就是日本北部地方重要的佛教文化中心，有「佛都會津」之美譽。據說，到了 17 世紀中葉，藩主保科正之（1611-1672）在當地選定並開創了「會津的三十三觀音巡禮」。人們踏上巡禮之途，祈求過去的罪愆得到寬恕，祈望未來能有健康好運，同時還能觀賞沿途自然美景，領略不同的地方文化。這樣將佛教文化與觀光旅行融為一體的方式在會津地區大受歡迎。時至今日，同樣的理由依舊推動人們踏上巡禮之路。

<日本語仮訳>

小野觀音堂

「御藏入三十三觀音めぐり」の第十番札所で、小野岳山道の入口近くにあります。觀音堂は 1813 年に建てられましたが、中にある日本の慈悲の菩薩である觀音像はそれよりかなり古いものです。もともとは小野岳の頂上にありましたが、後に現在の場所に祀られました。参拝者たちは、縁結びや安産など、家内の幸福を祈願しにやってきます。觀音堂では、窓に施された精緻な彫刻も楽しめます。

会津の三十三観音めぐり

観音菩薩はすべての生き物の救世主で、33の異なる姿に変身すると言われています。33体の観音像を巡る旅は、日本各地に見られます。

日本遺産と認定された「会津の三十三観音めぐり」は観音像33体を結ぶ巡礼路です。会津の各地には、奥会津の「御蔵入三十三観音めぐり」を含め、さまざまな三十三観音を巡礼するコースがあります。

「御蔵入三十三観音めぐり」のコース上にある下郷町は、福島県西部にあり、会津地方の町であり、江戸時代（1603-1867）に徳川幕府の領地、会津藩の一部でした。「御蔵入三十三観音めぐり」のコース沿いに点在する33体の観音像は、田舎道にポツンと立つ石像から、国宝に指定されている寺院に収められている彫像までさまざまです。第十番から第十三番の観音像は下郷にあります。どれも絵のように美しい小さな田舎の寺院の中にあります。参拝はどなたでも可能ですので、心安らぐのかな雰囲気をご体験ください。何百年もの間、巡礼者たちがそうしてきたように。

仏教文化の中心

平安時代（794-1185）から、会津は日本北部における仏教文化の重要な中心であり、「仏都会津」と呼ばれていました。会津の三十三観音めぐりは、藩主である保科正之（1611-1672）により、17世紀半ばに始められたと考えられています。人々は、過去の罪の赦しを求めたり、幸運と健康を祈ったりすると同時に、道中多様な文化と自然の美しさを体験するために旅に出たのです。この仏教文化と観光の魅力が融合した旅が会津で人気を博し、今日でも人々は同じ理由で巡礼の旅へと出かけています。

【タイトル】 中ノ沢観音堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

中之泽观音堂

中之泽观音堂是“御藏入三十三观音巡礼”路线的第 11 所灵场，堂内供奉大慈大悲观世音菩萨。观音堂本身的历史可以追溯至室町时代(1336-1573)早期，但相传早在平安时代(794-1185)，会津地区的著名高僧德一大师(781-842)就曾在这里修建过另一座更古老的建筑。只是最初的建筑早已损毁，人们在原址上重建了新的寺庙。如今的寺庙风景优美，内有一片漂亮的池塘。观音堂于 1960 年被指定为国家重要文化财产。

<繁体字>

中之澤觀音堂

中之澤觀音堂是「御藏入三十三觀音巡禮」路線的第 11 所靈場，堂內供奉大慈大悲觀世音菩薩。雖然觀音堂本身的歷史可以追溯至室町時代（1336-1573）早期，但相傳早在平安時代（794-1185），會津地區的著名高僧德一大師（781-842）就曾在這裡修建過另一座更古老的建築。只是最早的建築早已經損毀，人們在原址上重建了新的寺廟。如今的寺廟風景優美，寺內有一片漂亮的池塘。1960 年，觀音堂被指定為國家重要文化財產。

<日本語仮訳>

中ノ沢観音堂

この観音堂は、「御藏入三十三観音めぐり」の第十一番札所で、慈悲の心を象徴する菩薩である観音様が祀られています。創建は室町時代（1336-1573）の初期に遡ります。初期の建物は、平安時代（794-1185）の会津地方の著名な僧侶である徳一大師（781-824）によって建てられたと考えられています。しかし、創建当時の建物は消失し、その後現在の場所に再建されました。魅力あふれる境内には池もあります。お堂は、1960年に国の重要文化財に指定されています。

地域番号	003	協議会名	一般社団法人大雪カムイミンタラ DMO
------	-----	------	---------------------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
003-001	アイヌ	585	アプリ、QR
003-002	イワクテとアイヌの世界観	310	アプリ、QR
003-003	サケと生活	575	アプリ、QR
003-004	アイヌ社会における鍛冶	405	アプリ、QR
003-005	アイヌの住居—竪穴住居からチセへ	335	アプリ、QR
003-006	アイヌ社会における農業	205	アプリ、QR
003-007	アイヌの口頭伝承	540	アプリ、QR
003-008	アイヌの交易ネットワーク	360	アプリ、QR
003-009	交易戦争と領土：アイヌ・モンゴル間の衝突	485	アプリ、QR
003-010	アイヌの首長の像	540	アプリ、QR
003-011	北海道の屯田兵	560	アプリ、QR
003-012	アイヌと北方民族	550	アプリ、QR
003-013	知里幸恵	630	アプリ、QR
003-014	現代のアイヌ工芸と文化	305	アプリ、QR
003-015	上川盆地の最初の住民	340	アプリ、QR
003-016	縄文時代と続縄文時代の生活 (紀元前 13,000 年-紀元後 600 年)	670	アプリ、QR
003-017	擦文時代の生活 (紀元 600-1200 年)	485	アプリ、QR
003-018	上川盆地の人々の歴史	300	アプリ、QR
003-019	ペニウクルの伝統的な生活	500	アプリ、QR
003-020	クマ送りの儀礼	535	アプリ、QR
003-021	石狩のペニウクル	630	アプリ、QR
003-022	近代化と同化の影響	310	アプリ、QR
003-023	開拓期の旭川	490	アプリ、QR
003-024	20 世紀の旭川	495	アプリ、QR
003-025	大雪山国立公園の動植物	460	アプリ、QR
003-026	旭川の冬を生き抜く	490	アプリ、QR
003-027	旭川と上川盆地の地質	550	アプリ、QR
003-028	アイヌ文化における植物	865	アプリ、QR
003-029	アイヌの工芸	595	アプリ、QR
003-030	藤戸竹喜	305	アプリ、QR
003-031	藤戸幸夫	310	アプリ、QR
003-032	砂澤ビッキ	720	アプリ、QR
003-033	熊の彫刻	510	アプリ、QR
003-034	アイヌ文化の未来への継承：川村家	975	アプリ、QR
003-035	葬儀の慣習と先祖供養	345	アプリ、QR

003-036	自然との精神的な調和：カムイとアイヌ	450	アプリ、QR
003-037	アイヌの住居：チセ	470	アプリ、QR
003-038	アイヌの生活における植物	485	アプリ、QR
003-039	入れ墨	480	アプリ、QR
003-040	藤戸幸夫によるトーテムポール	390	アプリ、QR
003-041	北海道：先史時代から近世のはじめまで	605	アプリ、QR
003-042	北海道：19世紀から現代まで	540	アプリ、QR
003-043	アイヌと星	565	アプリ、QR
003-044	カムイと交わるための捧酒箸：イクパスイ	385	アプリ、QR
003-045	アイヌの活動家	705	アプリ、QR
003-046	アイヌの物語と口承の歴史	655	アプリ、QR

【タイトル】 アイヌ

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努人

阿伊努人是日本的原住民族，他们的祖先曾分布于日本列岛的北海道、本州岛北部，以及萨哈林岛（库页岛）南部和千岛群岛等地。传统上，阿伊努人依靠狩猎、采集和捕鱼为生，也种植小米等耐寒作物来丰富饮食。过去，北海道的阿伊努人与日本本土的本州岛、黑龙江下游流域和更北的鄂霍次克海周边地区均有贸易往来。

阿伊努人与大自然关系密切，依赖自然生存，因此形成了独特的世界观。他们相信万物皆有灵，一切生物、自然元素，乃至人造物品中都栖居着被称为“卡穆伊” (kamuy) 的神灵。阿伊努人崇敬卡穆伊，认为它们与日常生活息息相关，既能恩赐肉类、毛皮，也会引发自然灾害。

自 19 世纪晚期开始，随着“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）越来越多地迁入北海道定居，阿伊努人的生活方式发生了显著变化。他们传统上赖以生存的狩猎、捕鱼等活动受到制约，子女也只能接受日语教育。到了 20 世纪早期，日本政府出台同化政策，试图将阿伊努人融入日本社会。阿伊努人被要求改用日本名字，不得再进入传统的渔猎区域打猎捕鱼，母语的使用也受到限制。尽管如此，阿伊努的历史、信仰和文化认同还是借助工艺品、各种仪式和大量口头传承的民间故事、叙事诗歌而得以留存下来。今天，人们十分重视阿伊努文化的保护与复兴，并尝试着通过教育、现代艺术、音乐、仪式活动以及与世界各地原住民的文化交流来实现这一目标。

<繁体字>

阿伊努人

阿伊努人是日本的原住民族，其先民曾分布于日本列岛的北海道、本州北部，以及萨哈林岛（库页岛）南部和千岛群岛等地。传统上，阿伊努人以狩猎、采集与捕鱼为生，并辅以种植小米等耐寒作物以补充食物。过去，北海道阿伊努人与日本本土的本州、黑龙江下游流域和更北的鄂霍次克海周边地区都有贸易往来。

阿伊努人与自然息息相关，仰赖自然生存，因此逐渐形成了独特的世界观。他们相信万物有灵，认为所有生物、自然元素，甚至人造器物中都居住著神灵「卡穆伊」

(kamuy)。阿伊努人崇敬卡穆伊，認為祂們與日常生活息息相關，既能恩賜肉類、毛皮，也會降下災禍。

從 19 世紀晚期開始，隨著越來越多「和人」（為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼）遷入北海道定居，阿伊努人的生活方式發生了顯著變化。他們原本仰賴的狩獵與捕魚活動逐漸被限制，子女也被迫接受日語教育。到了 20 世紀早期，日本政府推出同化政策，意圖讓阿伊努人進一步融入日本社會。阿伊努人不得再進入傳統的漁獵區域打獵捕魚，被要求改用日本名字，母語的使用也受到限制。儘管如此，阿伊努的歷史、信仰和文化認同還是借助工藝品、各種儀式和大量口頭傳承的民間故事、敘事詩歌保留了下來。如今，人們十分重視阿伊努文化的保護與復興，嘗試以教育、現代藝術、音樂、儀式活動以及與世界各地原住民的文化交流達成此目標。

<日本語仮訳>

アイヌ

アイヌは、日本列島の北海道と本州北部、そしてサハリンの南部や千島列島に先祖代々居住していた先住民族です。伝統的にアイヌは狩猟、採集、漁獲により生活し、食生活を補うために粟などの耐寒性のある穀物を栽培していました。北海道から、彼らは日本の本州、アムール川下流域、更に北のオホーツク海周辺地域との交易を行っていました。

アイヌの世界観は、自然との密接な関係性と自然への依存によって形作られています。アイヌは、生き物や自然の要素、さらには人工物にも「カムイ」として知られる霊神が宿っていると信じています。カムイは崇拝の対象であり、日常生活に大いに関わりを持ち、肉や毛皮などの恵みをもたらす一方で、自然災害ももたらすとも考えられています。

19 世紀後半から、北海道に「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）の入植が増加するにつれて、アイヌの生活様式は大きく変化しました。狩猟や漁業などの伝統的なアイヌの営みは制限され、アイヌの子どもたちは日本語のみで教育されるようになりました。20 世紀初頭、政府はアイヌを日本社会に同化させるための政策を制定しました。人々は日本名を与えられ、伝統的な狩猟や漁場への立ち入りを禁じられ、母語の使用も制限されました。にもかかわらず、アイヌの歴史、信仰、文化的アイデンティティは、工芸品、儀式、そして物語や叙事詩の豊かな口頭伝承を通じて存続し続けました。今日、アイヌの遺産は、教育、現代芸術、音楽、儀式、そして世界中の先住民族との文化交流を通じて保護され、再活性化されています。

【タイトル】 イワクテとアイヌの世界観

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

送灵仪式与阿伊努人的世界观

阿伊努人世界观的核心就是卡穆伊(kamuy)崇拜。卡穆伊即神灵，阿伊努人相信它们以各种形态存在于人世间，可能是动物、植物，也可能是山岳、水火等自然元素，甚至可能是人造物品。无论什么形态，卡穆伊都会赐予凡人诸如毛皮、肉类等许多馈赠。

“送灵”祭礼和仪式被称为“iwakte”，为了送卡穆伊回归神界，并感谢它们的恩赐而举办。人们通过祈祷和供品表达感激之情，鲑鱼干、酒和“伊纳乌”（inaw；用刀具将木材表面削出多条细长薄片，再整理成簇状的物品）等都是常见的供品。

1968 年，旭川的嵐山出土了一批动物骨头、仪式用箭、漆碗和儿童玩具。据推测，它们应该是在 20 世纪的阿伊努送灵仪式中使用过的器具。

<繁体字>

送靈儀式與阿伊努人的世界觀

卡穆伊（kamuy）崇拜是阿伊努人世界觀的核心。卡穆伊就是神靈，在阿伊努人的信仰中，祂們以各種形態存在於人世間，可能是動物、植物，也可能是山嶽、水火等自然元素，甚至可能是人造物品。卡穆伊透過這些形態，為人們帶來諸如毛皮、肉類等饋贈。

「送靈」祭禮和儀式被稱為「iwakte」，為了送卡穆伊回歸神靈之域，並感謝祂們的恩賜而舉辦。人們透過祈禱和供品表達感激之情，常見供品有鮭魚乾、酒和「伊納烏」（inaw；用刀具將木材表面削出多條細長薄片，再整理成簇狀的物品）等。

旭川的嵐山在 1968 年時出土了一批動物骨頭、儀式用箭、漆碗和兒童玩具。根據推測，它們應該是在 20 世紀的阿伊努送靈儀式中使用過的器具。

<日本語仮訳>

イワクテとアイヌの世界観

アイヌの世界観の中心には、カムイへの崇敬があります。カムイは神霊である。動物、植物、山、火や水などの自然の要素、さらには人工物など、アイヌはカムイが人間界でさまざまな形をとると信じています。これらの形を通じて、カムイは人々に毛皮や肉などの贈り物を与えます。

カムイを元の世界に送り返し、贈り物への感謝を示すため、「イワクテ」（送り返し）と呼ばれる儀式や祭礼が執り行われます。干し鮭や酒、およびイナウ（木材の表面を刃物で薄く削り、房状にしたもの）などの供物とともに、祈祷を通じて感謝を表現します。

1968 年、旭川の嵐山で、動物の骨、儀式用の矢、漆椀、子供の玩具が発見されました。これらは 20 世紀に行われたアイヌによるイワクテの儀式の品々であると考えられています。

【タイトル】 サケと生活手段

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

鲑鱼与生计

在阿伊努人的生活里，鲑鱼是重要的食物来源和贵重的交易品。据估算，在 19 世纪以前，一户阿伊努人家每年平均要捕获 300~1000 条鲑鱼。生活在旭川周边上川地区的阿伊努人会在秋天使用鱼梁（捕鱼的围堰）、渔网和钩枪捕捞自石狩湾洄游而上的樱鳟（鲑鱼的一种，又名马苏鲑）和白鲑（又名秋鲑）。大部分渔获都在加工处理后用于交易和家庭储备，后者是阿伊努人在北海道漫长冬季里的食物保障。

传统的处理方式包括风干、烟熏和冷冻。15 世纪的文献里列出了三种虾夷（今北海道）出产的主要交易品，加工后的鲑鱼(satcep)就是其中之一，另两种是鲱鱼和昆布。到了江户时代(1603-1867)，随着与本州岛上“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）的贸易往来增多，人们开始加工盐渍鲑鱼，以方便运输。

大约在 17 世纪中叶前后，为满足本州岛日益增长的海产品需求，“和人”商人进入石狩湾开展商业性渔业，阿伊努人被迫进入渔场工作。19 世纪 60 年代后期，随着明治政府(1868-1912)着手开发北海道，鲑鱼出口量增加。1877 年，日本的第一家罐头工厂在石狩川畔建立。

到了 20 世纪 60 年代，由于过度捕捞、水质污染和土地开发，石狩川的鲑鱼几乎绝迹。为恢复鱼群，人们采取了在河道投放鱼苗，安装鱼梯打通洄游水道等措施。如今成效已逐渐显现，鲑鱼正慢慢回归这条河流。

<繁体字>

鮭魚與生計

在阿伊努人的生活中，鮭魚既是重要的食物來源，也是珍貴的交易品。據估計，在 19 世紀以前，一戶阿伊努人家每年平均能捕獲 300~1000 尾鮭魚。居住於旭川周邊上川地區的阿伊努人會在秋天使用魚梁（捕魚的圍堰）、漁網和鉤槍捕撈自石狩灣洄游而上的櫻鱒（鮭魚的一種，又名馬蘇鮭）和白鮭（又名秋鮭）。大部分漁獲經處理後保存，其中一部分用於交易，另一部分則作為儲糧，確保自家在北海道漫長冬季裡擁有穩定的食物來源。

傳統的保存方式包括風乾、煙燻與冷凍。15 世紀的文獻裡列出了蝦夷（今北海道）出產的三種主要交易品，加工後的鮭魚（satcep）就是其中之一，另兩種是鯡魚和昆布。進入江戶時代（1603-1867）後，隨著與本州的「和人」（為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼）的貿易往來增多，人們開始製作鹽漬鮭魚，方便長途運輸。

約從 17 世紀中葉起，為滿足本州日益增加的海產需求，「和人」商人進入石狩灣展開商業捕魚，阿伊努人則被迫在漁場工作。1860 年代後期，隨著明治政府（1868-1912）著手開發北海道，鮭魚出口量增加。1877 年，日本的第一家罐頭工廠便設立在石狩川畔。

然而到了 1960 年代，由於過度捕撈、水質污染和土地開發，石狩川的鮭魚幾乎絕跡。為了復育，人們採取了投放魚苗、修築魚梯打通洄游水道等措施。如今成效已逐漸顯現，鮭魚正慢慢返回這條河流。

<日本語仮訳>

サケと生活

サケはアイヌにとって重要な食料源であり、貴重な交易品でした。19 世紀以前、アイヌ一帯あたりで年間 300 から 1,000 匹のサケを捕獲していたと推定されています。旭川周辺の上川地域のアイヌは、毎年秋に石狩湾から遡上してくるサクラマスやシロザケを、築（やな）や網、鉤槍を使って捕獲していました。漁獲の大部分は、交易のためや、北海道の長い冬の間の安定した食料供給を確保するために保存されていました。

伝統的な保存方法には、風乾、燻製、凍結がありました。15 世紀の記録には、蝦夷（現在の北海道）からの三大交易品のひとつとして、ニシンや昆布とともに、保存されたサケ（サッチェブ）が挙げられています。江戸時代（1603-1867）に本州の「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）との交易が増加するにつれ、サケは輸送用に塩漬けされるようにもなりました。

17 世紀半ば頃、和人の商人たちは本州における海産物の需要の高まりに応えるために石狩湾で商業漁業を開始し、アイヌは漁場での労働を強いられました。1860 年代後半、明治政府（1868-1912）が北海道の開発に着手すると、サケの輸出が増加し、1877 年には石狩川に日本初の缶詰工場が設立されました。

1960 年代までに、乱獲や水質汚染、土地開発によって石狩川からサケはほぼ姿を消しました。河川への稚魚の放流や魚道の設置といった取り組みが功を奏し、サケは徐々に川に戻りつつあります。

【タイトル】 アイヌコミュニティにおける鍛冶

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努社会的冶铁业

对于阿伊努人来说，铁是贵重的资源，也是制作刀具、鱼钩、长枪枪头、缝衣针和炊具等工具器物不可或缺的原材料。但他们不懂冶铁，只能通过与日本本土本州岛的贸易获取铁和铁器，通常用已加工的鲑鱼、毛皮和中国丝绸进行物物交换。

在旭川一处擦文时代*(600-1200)的聚落遗址里，人们发现了一座临时性冶铁工坊的遗存，显示当时该地区曾有铁匠流动营业修补铁器。

自 15 世纪起，“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）铁匠们开始在北海道各地开设铁匠铺，其中一些会前往阿伊努村庄提供服务，以此换取黄金和熊源药物等商品。他们搭建临时作坊，使用手拉风箱和便携的工具打造新铁器、修补旧物、打磨刀具。江户时代(1603-1867)，越来越多的铁制品从日本本土输入北海道，阿伊努社会的冶铁业也随之衰落。

※擦文时代：日本历史上的一个时代划分，指以北海道特有的擦文土器的使用为界定标准的文化繁荣时期。

<繁体字>

阿伊努社會的冶鐵業

鐵是阿伊努人貴重的資源，也是他們製作刀具、魚鉤、長槍槍頭、縫衣針和炊具等工具器物不可或缺的原材料。但由於阿伊努人不懂冶鐵，通常只能拿加工過的鮭魚、毛皮和中國絲綢與日本本州以物易物，獲取鐵和鐵器。

人們在旭川一個擦文時代*（600-1200）聚落遺址裡，找到了一座臨時性冶鐵工坊遺存，這表示當時該地區曾有鐵匠四處巡迴修補鐵器。

「和人」（為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼）鐵匠們從 15 世紀開始在北海道各地開設鐵匠鋪，其中一些會前往阿伊努聚落提供服務，以此換取黃金和從熊身上提取的藥物等商品。他們搭建臨時作坊，使用手拉風箱和方便攜帶的的工具打造

新鐵器、修補舊物、打磨刀具。到了江戸時代（1603-1867），越來越多的鐵製品從日本本土輸入當地，阿伊努社會的冶鐵業也隨之衰落。

※擦文時代：日本歷史上的一個時代劃分，指以北海道特有的擦文土器之使用為界定標準的文化繁榮時期。

<日本語仮訳>

アイヌ社会における鍛冶

鉄はアイヌにとって貴重な資源であり、ナイフ、釣り針、槍先、縫い針、調理鍋などの道具や用具を作るために不可欠でした。彼らは鉄の製造方法を知らなかったため、主に保存されたサケ、毛皮、中国産の絹などと引き換えに、本州との交易を通じて鉄や鉄製の道具を入手していました。

旭川の擦文時代※（紀元 600～1200 年）の集落跡で、仮設の鍛冶工房の痕跡が発見されました。これは、その地域を巡回して鉄製品の修理を行う鍛冶職人が存在していたことを示唆しています。

15 世紀以降、「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）の鍛冶職人たちは北海道各地に鍛冶場を構えました。中には金や熊由来の薬と引き換えに技術を提供し、アイヌの村々を巡る者もいました。彼らは仮設の工房を設け、手押し鞆と持ち運びできる工具を使って新しい道具の鍛造、古い道具の修理、刃物の研ぎを行っていました。江戸時代（1603-1867）には日本からの鉄製品の輸入が増加し、アイヌ社会における鍛冶業は衰退していきました。

※擦文時代：北海道に特有の擦文土器の使用を指標とした文化が栄えた時期を範囲とする時代区分。

【タイトル】 アイヌの住居—竪穴住居からチセへ

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努人的住宅——从半地穴式到栖舍小屋

过去，阿伊努人一直穴居于半地穴式住宅里，直到 13 世纪前后才开始建造被称为“栖舍” (cise) 的小屋。半地穴式住宅仅有入口可采光，室内阴暗，但防寒保暖性极佳。这些居所大多为正方形或长方形，地穴深度约 1 米，以立柱支撑的茅葺屋顶从高达数米的中心点向外倾斜延伸至地面。室内中央设有一个火炉，既可以供暖，也可用于烹饪和食材熏制。

半地穴式居所的室内通常烟雾弥漫且潮湿，阿伊努住宅之所以会逐步过渡到栖舍小屋，应该就是出于改善生活条件的需求。栖舍小屋与日本本土的本州岛上的房屋很相似，屋内中央同样设有取暖用的火炉。不过，在萨哈林岛（库页岛）等更加寒冷的地区，依然有部分阿伊努人保留了半地穴式居所用于越冬，待天气回暖后再搬到渔场附近的栖舍小屋居住。

<繁体字>

阿伊努人的住宅——從竪穴到棲舍小屋

阿伊努人過去住在竪穴住宅裡，一直到 13 世紀前後才開始建造被稱為「棲舍」 (cise) 的小屋。竪穴住宅室內陰暗，只有入口可採光，但十分防寒保暖。這些居所大多為正方形或長方形，地穴深度約 1 公尺，以立柱支撐的茅葺屋頂從數公尺高的中央部位傾斜至地面。室內中央設有一個火爐，既可以供暖，也可用於烹飪和燻製食物。

竪穴居所的室內通常煙霧瀰漫且潮濕，阿伊努住宅之所以會逐步過渡到棲舍小屋，正是出於改善生活條件的需求。棲舍小屋與日本本州的房屋很相似，房屋中央都設有取暖用的火爐。不過，在薩哈林島（庫頁島）等更加寒冷的地區，部分阿伊努人依然會在竪穴居所過冬，待天氣回暖後再搬到漁場附近的棲舍小屋居住。

<日本語仮訳>

アイヌの住居—竪穴住居からチセへ

アイヌは、13 世紀頃までは竪穴住居に住んでいましたが、その後「チセ」と呼ばれる小屋を建て始めました。竪穴住居は暗く、入り口からしか光が入りませんでした。寒さに対する断熱性に優れていま

た。これらの住居は通常、正方形か長方形で、1メートルほどの深さに掘り下げられていました。支柱が支える茅葺屋根は、数メートルの高さの中央部から、地面に向かって傾斜していました。内部には中央に炉があり、暖を取ったり、調理場や食品を燻製にしたりする場所として使われていました。

竪穴住居の中の空気は煙たく高湿度で、より良い住環境を求めることがチセへの移行の動機になったと考えられています。チセは本州の家に類似しており、中央に暖を取るための炉が設けられていました。サハリンなどの寒冷地のアイヌの中には、冬は竪穴住居を使用し、暖かい季節には漁場近くのチセに移動する人々もいました。

【タイトル】 アイヌコミュニティにおける農業

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努社会的农业生产

阿伊努人的传统生活以狩猎、捕鱼和采集为中心，此外也会种植一些农作物。只是当地气候不适合水稻生长，因此，阿伊努人主要耕种粟类耐寒作物。

通常，每家都有一小块耕地，女性承担了从春播到秋收的大部分农活。除了铁制工具外，阿伊努人还使用磨利的贝壳作为“镰刀”来收割粮食。阿伊努社会的主要作物是小米，这是一种生长周期较短的耐寒谷物。阿伊努家庭也种植豆类和芜菁，同时采集浆果和含有丰富淀粉质的百合球茎等。

<繁体字>

阿伊努社會的農業生產

狩獵、捕魚和採集是阿伊努人的傳統生活中心，此外，他們也會種植一些農作物。當地氣候不適合水稻生長，因此，阿伊努人主要耕種粟類耐寒作物。

每戶阿伊努人家通常都有一小塊耕地，從春播到秋收的大部分農活都由女性承擔。除了鐵製工具外，阿伊努人還使用磨利的貝殼作為「鎌刀」來收割糧食。阿伊努社會的主要作物是一種生長週期較短的耐寒穀物——小米。阿伊努家庭也種植豆類和蕪菁，同時採集漿果和含有豐富澱粉質的百合球莖。

<日本語仮訳>

アイヌ社会における農業

アイヌの生活は伝統的に狩猟、漁獲、採集を中心としていましたが、作物の栽培も行っていました。気候が稲作に適していなかったため、アイヌは粟などの耐寒性のある穀物を中心に栽培していました。

各世帯は通常、小さな耕作地を持ち、女性たちが春の種まきから秋の収穫まで、大半の農作業を担っていました。鉄製の道具に加え、貝殻を研いで作った刃を使って穀物を収穫していました。主要作物は、耐寒性があり生育期間の短い粟でした。アイヌの家族は豆類、カブも栽培し、またベリー類やでんぷん質が豊富なユリ根なども採集していました。

【タイトル】 アイヌの口承伝統

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努人的口头传承

阿伊努人的历史、故事和风俗都是依靠歌谣和世代相传的故事口头传承下来的。这些故事大致可分为三类：英雄叙事诗、神话史诗和散文故事。

英雄叙事诗主要讲述勇敢的主人公置身于戏剧化情境中的英勇事迹，被称为“尤卡尔” (yukar)，只是在北海道的不同地区也有不同名称。表演者以自己独有的旋律吟唱这些故事，同时用小木板击打出强弱交替的拍子。吟唱可以一连持续好几个小时。

神话史诗则被称为“卡穆伊尤卡尔” (kamuyyukar) 或“奥伊纳” (oyna)，通常以卡穆伊 (kamuy；神灵) 的视角叙事。吟诵时会重复同一段旋律，并以拟音词迭句为特征。叙述一则故事需要几分钟到一个多小时不等。

日常的散文故事被称为“乌伊派克尔” (uepeker) 或“图伊塔克” (tuytak)，以日常对话的方式讲述。其中一些故事蕴含道德伦理，围绕人类与卡穆伊的关系展开。

在 19 世纪晚期到 20 世纪早期之间，政府鼓励阿伊努人学习日语，学校教育也完全采用日语教学，以至于阿伊努语在日常家庭生活中的使用也随之减少，口头讲述故事的传统渐渐被淡化。直到 20 世纪 70 年代前后，阿伊努语重新受到关注，进而引发了复兴、保护这些故事的行动。2009 年，阿伊努语被联合国教科文组织 (UNESCO) 列为濒危语言。

<繁体字>

阿伊努人的口頭傳承

阿伊努人透過吟唱歌謠或講述古老的傳說，將民族的歷史、故事和風俗世代傳承至今。這些故事大致可分為三類：英雄敘事詩、神話史詩和散文故事。

英雄敘事詩在北海道的不同地區有不同名稱，但一般被稱為「尤卡爾」 (yukar)，主要講述勇敢的主人公置身於戲劇化情境中的英勇事蹟。表演者手拿小木板時強時弱地擊打拍子，以自己獨有的旋律吟唱這些故事。敘事詩通常會持續吟唱好幾個小時。

神話史詩則通常以卡穆伊 (kamuy；神靈) 的視角敘事，被稱為「卡穆伊尤卡爾」 (kamuyyukar) 或「奧伊納」 (oyna)。吟誦時會反覆同一段旋律，並以擬音詞迭句為特徵。敘述一則故事需要幾分鐘到一個小時以上不等。

日常的散文故事被稱為「烏伊派克爾」(uepeker) 或「圖伊塔克」(tuytak)，以日常對話的方式講述。其中一些故事蘊含道德倫理，圍繞人類與卡穆伊的關係展開。

在 19 世紀晚期到 20 世紀早期之間，政府鼓勵阿伊努人學習日語，學校教育也完全採用日語教學，導致阿伊努語在日常家庭生活中的使用減少，口頭講述故事的傳統漸漸被淡化。直到 1970 年代前後，阿伊努語重新受到關注，進而引發了復興、保護這些故事的行動。阿伊努語在 2009 年被聯合國教科文組織 (UNESCO) 列為瀕危語言。

<日本語仮訳>

アイヌの口頭伝承

アイヌの歴史、物語および習慣は、歌や語り継がれる物語を通じて口頭で伝えられてきました。これらの物語は、英雄叙事詩、神謡、散文説話という大まかに 3 つのカテゴリーに分類されます。

勇敢な主人公が劇的な状況で活躍する英雄叙事詩は「ユカラ」と呼ばれますが、北海道の地域によって他の呼び名も存在します。演者はそれぞれの旋律で物語を歌い、木製の拍子木で強弱をつけます。これらの叙事詩は数時間に及ぶこともあります。

神話叙事詩は「カムイユカラ」または「オйна」として知られ、しばしばカムイ（神）の視点から語られます。これらの物語は旋律が繰り返し歌われ、擬音語を含むリフレインが特徴です。これらは数分から 1 時間以上続くこともあります。

「ウエベケレ」や「トゥイタク」と呼ばれる日常的な散文説話は、日常会話に近い口調で語られます。その中には人間の登場人物とカムイとの関わりを中心とした教訓話もあります。

19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけて、アイヌの人々は日本語を学ぶよう奨励され、学校での教育は日本語だけで行われるようになりました。その結果、家庭でアイヌ語が話される機会が減少し、アイヌの物語を語る習慣も衰退しました。1970 年代頃、アイヌ語への関心が再び高まり、これらの物語を復活させ保存するための取り組みが始まりました。アイヌ語は 2009 年にユネスコによって消滅危機言語に指定されました。

【タイトル】 アイヌの交易ネットワーク

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努人的商贸网络

阿伊努人建立的商贸网络南至日本本土的本州岛北部，北达鄂霍次克海。大约自 13 世纪开始，就有阿伊努人从北海道进入萨哈林岛（库页岛）南部地区和千岛群岛开展贸易，他们的贸易范围西至黑龙江下游沿岸，东北至勘察加半岛。阿伊努人用黑貂皮以及来自“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）商人的漆器、铁器等物品与当地居民换取丝绸、玻璃珠和其他货品。

14 世纪至 15 世纪，来自本州岛的“和人”在北海道南部海岸建立起了自己的贸易据点。江户时代(1603-1867)，掌控虾夷（今北海道）大部分地区的望族——松前家族获准掌管与阿伊努人的贸易，并为此设立了正式的交易所。这些交易所成为了加工后的鲑鱼、毛皮及熊源药物等商品的交易中心。渐渐的，松前家族的贸易垄断打破了双方的势力平衡，阿伊努人渐趋边缘化。

<繁体字>

阿伊努人的商貿網路

阿伊努人建立的商貿網路南至日本本州北部，北達鄂霍次克海。大約自 13 世紀開始，就有阿伊努人從北海道進入薩哈林島（庫頁島）南部地區和千島群島開展貿易，他們的貿易範圍西至黑龍江下游沿岸，東北至勘察加半島。阿伊努人用黑貂皮以及來自「和人」（為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼）商人的漆器、鐵器等物品與當地居民換取絲綢、玻璃珠和其他貨品。

14 世紀至 15 世紀，來自本州的「和人」在北海道南部海岸建立起了自己的貿易據點。江戶時代（1603-1867），掌控蝦夷（今北海道）大部分地區的望族——松前家獲准掌管與阿伊努的人貿易，並為此設立了正式的交易所。這些交易所成為了加工後的鮭魚、毛皮，以及由熊提取得來的藥物等商品的交易中心。隨著松前家的貿易壟斷打破雙方的勢力平衡，阿伊努人逐漸被邊緣化。

<日本語仮訳>

アイヌの交易ネットワーク

アイヌは、北はオホーツク海、南は本州北部に及ぶ交易ネットワークを確立しました。13 世紀頃から、アイヌは北海道からサハリン南部や千島列島へ行って交易をしていました。西はアムール川下流域、北東はカムチャツカ半島の集落と交易を行い、クロテンの毛皮や「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）の商人から得た漆器や鉄などの品物を、絹、ガラス玉、その他の商品と交換していました。

14 世紀から 15 世紀にかけて、本州の和人が北海道南部の沿岸に独自の交易拠点を設置しました。江戸時代（1603-1867）には、蝦夷（北海道）の大部分を支配していた松前家がアイヌとの交易を管理する権限を与えられ、正式な交易所を設置しました。これらの交易所は、保存加工されたサケ、毛皮、熊由来の薬などの物資を交換する拠点となりました。松前家による交易の独占によって徐々に力関係が変化し、アイヌは次第に疎外されていきました。

【タイトル】 交易戦争と領土：アイヌ・モンゴル間の衝突

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

贸易战与领土争端：阿伊努与蒙古的纷争

13 世纪中叶，萨哈林岛（库页岛）的阿伊努人与蒙古人建立的元朝发生了旷日持久的纷争。这次持续了大约 40 年的冲突，是阿伊努人和蒙古人在这一地区扩张势力的结果。中国的《元史》也记载了这段历史，其中称阿伊努一方为“骨嵬”（嵬，音同“围”）。

13 世纪前后，便有阿伊努人自北海道迁往萨哈林岛和鄂霍次克海周边地区，并逐渐扩张其势力范围。他们的贸易网络广布，从如今中俄界河黑龙江（俄罗斯称阿穆尔河）的下游流域，一直延伸到远至北海道东北 1000 多公里外的勘察加半岛。

阿伊努人进入萨哈林地区后，因领地问题与当地原住民尼夫赫人的关系日渐紧张，最终，尼夫赫首领无奈向元朝朝廷寻求帮助，适逢元朝也正在黑龙江下游及萨哈林岛积极谋求势力扩张。

1264 年，元朝派出军队支援尼夫赫人，并在此后的 40 年里断断续续与阿伊努族群爆发了一系列战斗。阿伊努军队展现出顽强的战斗力，多次成功对欧亚大陆发动反击，但最终还是在 1308 年被迫投降。根据和平协议，居住在萨哈林岛的阿伊努人每年要向元朝缴纳价值可观的毛皮作为岁贡，而阿伊努人和尼夫赫人的关系也从敌对双方转变成了贸易伙伴。

<繁体字>

貿易戰與領土爭端：阿伊努與蒙古的紛爭

薩哈林島（庫頁島）的阿伊努人在 13 世紀中葉與蒙古人建立的元朝發生了曠日持久的紛爭。這次衝突大約持續了 40 年，是阿伊努人和蒙古人在這一地區擴張勢力的結果。中國的《元史》也記載了這段歷史，其中稱阿伊努一方為「骨嵬」（嵬，音同「圍」）。

從 13 世紀前後開始，便有阿伊努人自北海道遷往薩哈林島和鄂霍次克海周邊地區，並逐漸擴張其勢力範圍。他們的貿易網路廣布，從如今中俄界河黑龍江（俄羅斯稱阿莫爾河）的下游流域，一直延伸到遠至北海道東北 1000 多公里外的勘察加半島。

進入薩哈林地區後，阿伊努人因領地問題與當地原住民尼夫赫人的關係日漸緊張，尼夫赫首領向元朝朝廷求助，此時適逢元朝正在黑龍江下游及薩哈林島積極擴張勢力。

1264 年，元朝派出軍隊支援尼夫赫人，並在此後的 40 年間斷斷續續與阿伊努族群展開了一系列戰鬥。阿伊努軍隊展現出頑強的戰鬥力，多次成功對歐亞大陸發動反擊，但最後還是在 1308 年被迫投降。依照和平協議，居住在薩哈林島的阿伊努人每年要向元朝繳納價值可觀的毛皮作為歲貢，阿伊努人和尼夫赫人的關係也從敵對雙方轉變成了貿易夥伴。

<日本語仮訳>

交易戦争と領土：アイヌ・モンゴル間の紛争

13 世紀半ば、サハリンのアイヌは、モンゴルが建てた元朝との長期に及ぶ紛争に巻き込まれました。約 40 年間続いたこの抗争は、この地域におけるアイヌとモンゴル双方の勢力拡大をもたらした結果でした。この史実は中国の『元史』にも記載されており、書籍のなかにアイヌは「骨嵬」と称されています。

13 世紀頃から、アイヌは北海道からサハリンやオホーツク海周辺地域に移住を始め、徐々にその勢力範囲を拡大していきました。彼らの交易網は、現在のロシアと中国の国境に沿って流れるアムール川下流域から、北海道から北東に 1,000 キロメートル以上離れたカムチャツカ半島にまで及んでいました。

アイヌがサハリンへと進出するにつれて、領土をめぐる先住民ニヴフ族との間に緊張が高まりました。これによりニヴフの指導者たちは、当時アムール川下流域やサハリンへの勢力拡大を積極的に進めていた元王朝に支援を求めようになりました。

1264 年、元朝はニヴフを支援するために軍隊を派遣し、その後 40 年にわたってアイヌ民族との間で断続的な戦闘を繰り広げました。アイヌ軍は強靱さを発揮し、ユーラシア大陸に複数回にわたって反撃を行うことに成功しましたが、最終的に 1308 年に降伏を余儀なくされました。和平協定の一環として、サハリンのアイヌは貴重な毛皮を年貢として元朝に納めることになりました。アイヌとニヴフの関係は、敵対関係から交易相手へと変化していきました。

【タイトル】 アイヌの指導者の像

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努首领像

这是一名阿伊努首领的等身像，他身着虾夷锦（阿伊努祖先对经北方贸易购入的中国綾罗绸缎的统称）长袍，外罩俄国军大衣，佩一柄日本刀。全套服饰十分形象地展现了当时阿伊努与日本“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）、俄国和中国历代王朝之间的贸易关系。

这尊塑像是根据画家蛎崎波响(1764-1826)为阿伊努首领苏基诺伊（Tsukinoe；生卒年不详）所绘肖像画创作的。蛎崎波响是松前家族成员，这个著名的家族曾在江户时代(1603-1867)统治着虾夷（今北海道）的大部分地区。当时，许多阿伊努人被迫进入“和人”经营的商业性渔场工作，不再享有自由贸易的权利。北海道东北部的根室海峡周边地区是最后被纳入松前藩统治的地区之一，1789年，当地阿伊努人为反抗压迫而发起了“库那西利·美那西之战”。这是他们最后一次大规模对抗“和人”统治者的抗争，导致了70多名来自日本本土的商人和定居者死亡，37名阿伊努人因参与叛乱而被判处死刑。蛎崎波响为参与平叛的12名阿伊努首领绘制了肖像。这些肖像画被称为“夷酋列像”，受中国清朝画家沈南苹(1682-1760)所传“南苹派”画风影响，笔触精细，色彩浓烈，因而广受关注。

<繁体字>

阿伊努首領像

這是一名阿伊努首領的等身像，他身著蝦夷錦（阿伊努祖先對經北方貿易購入的中國綾羅綢緞的統稱）長袍，外罩俄國軍大衣，佩一柄日本刀。這套服飾體現了阿伊努與日本「和人」（為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼）、俄國和中國歷代王朝之間曾經的貿易關係。

這尊塑像是在畫家蠣崎波響（1764-1826）為阿伊努首領蘇基諾伊（Tsukinoe；生卒年不詳）所繪肖像畫的基礎上創作的。蠣崎波響是松前家成員，這個著名的家族曾在江戶時代（1603-1867）統治蝦夷（今北海道）的大部分地區。許多阿伊努人在松前家的統治下，被迫進入「和人」經營的商業性漁場工作，不再享有自由貿易的權利。北海道東北部

的根室海峽周邊地區是最後被納入松前藩統治的地區之一，當地阿伊努人在 1789 年為反抗壓迫而發起了「庫那西利・美那西之戰」，這是他們最後一次大規模對抗「和人」統治者的抗爭，導致超過 70 名來自日本本土的商人和定居者死亡，37 名阿伊努人因為參與叛亂被判處死刑。蠣崎波響為參與平叛的 12 名阿伊努首領繪製了肖像。這些肖像畫被稱為「夷酋列像」，受中國清朝畫家沈南蘋（1682-1760）所傳「南蘋派」畫風影響，筆觸精細，色彩濃烈，因而廣受關注。

<日本語仮訳>

アイヌの首長の像

アイヌの首長の等身大の像は、蝦夷錦（アイヌの祖先が北方交易で手に入れた中国製の絹織物の総称）の上にロシアの軍用外套を着用し、日本刀を携えています。この装いは、アイヌと日本「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）、さらにロシア帝国や中国王朝との間に交易関係があったことを浮き彫りにしています。

この像は、江戸時代（1603-1867）に蝦夷（現在の北海道）の大部分を統治していた有力な松前家の一員で画家の蠣崎波響（1764-1826）によって描かれた、アイヌの首長ツキノエ（生没年不詳）の肖像画に基づいています。松前藩の支配下の当時、多くのアイヌは「和人」が営む漁場での労働を強いられ、もはや自由に交易をすることが許されませんでした。北海道北東部の根室海峽周辺は、松前藩の支配が及んだ最後の地域の一つで、1789 年に、その地のアイヌが抑圧に対して「クナシリ・メナシの戦い」を起こしました。これは「和人」の支配者に対する最後の大規模な反乱で、日本本土からの商人や入植者 70 人以上がすでに命を落とし、37 人のアイヌが蜂起への関与により死罪を宣告されました。蠣崎は、この戦いを収めるために介入した、12 人のアイヌの首長の肖像画を描きました。「夷酋列像」と呼ばれるこれらの肖像画は、中国・清朝から渡来した沈南蘋（1682-1760）によって伝えられた画風「南蘋派」の影響を受け、その精密な描写と鮮烈な色彩によって広く注目されています。

【タイトル】 北海道の屯田兵

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

北海道的屯田兵

明治时代(1868-1912)，在“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）开拓北海道的进程中，身兼农民和士兵双重身份的“屯田兵”发挥了重要作用。19 世纪晚期，与俄国的纷争和紧张关系促使明治政府加强对于日本北方领土的防卫。1874 年，屯田兵制度应运而生，这些农民兵肩负着保卫日本北部边境和推动北海道开发的双重职责。从 1874 年到 1904 年制度废止，总计有大约 4 万名屯田兵来到北海道。

屯田兵的主要成员为曾经的武士，在 19 世纪 70 年代早期明治政府实施社会改革后，他们便失去了生计。最初，这项制度仅面向前武士群体。政府向应募者提供住房与土地补助、免税政策以及其他激励措施。以旭川为例，当地每一户屯田兵可获得大约 75 亩耕作土地。

作为交换，屯田兵需签订为期 20 年的兵役契约，包括现役和预备役的时间。屯田兵必须参与军事训练，也需协助开垦土地、修建道路。到了天气和暖的季节，还要与家人一起耕种自己的田地。

但从 1890 年开始，招募资格限制解除，屯田兵编制向所有人开放。最终，进驻旭川的屯田兵便以农民为主了。他们在这里种植能够适应寒冷气候的作物，包括豆类、小麦、土豆等。而在定居旭川后不久，他们便开始尝试种植通常生长在高温湿润地区的水稻，经过 10 年的稻田开垦和试种，水稻终于扎根在了这片土地上。

<繁体字>

北海道的屯田兵

明治時代（1868-1912），在「和人」（為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼）開拓北海道的進程中，身兼農民和士兵雙重身份的「屯田兵」發揮了重要作用。19 世紀晚期，與俄國的紛爭和緊張關係促使明治政府加強對於日本北方領土的防衛。1874 年，屯田兵制度誕生，這些農民士兵肩負著保衛日本北部邊境和推動北海道開發的雙重職責。從 1874 年到計畫終止的 1904 年間，總計大約有 4 萬名屯田兵來到北海道。

大多數屯田兵曾經都是武士，1870 年代早期，明治政府實施社會改革後，這些武士

便失去了生計。這項制度一開始只面向前武士群體，政府向應募者提供住房與土地補助、免稅以及其他激勵政策。以旭川為例，當地每一戶屯田兵可獲得大約 5 公頃耕作土地。

這些屯田兵需簽訂為期 20 年的兵役契約作為交換條件，包括現役和預備役的時間。屯田兵既需要參與軍事訓練，也需協助開墾土地、修建道路。到了天氣和暖的季節，還要與家人一起耕種自己的田地。

到了 1890 年，招募資格限制解除，屯田兵編制向所有人開放，進駐旭川的屯田兵最後便以農民為主了。他們在此地種植豆類、小麥、土豆等適應寒冷氣候的作物。此外，在定居旭川後不久，他們便開始嘗試種植通常生長在高溫濕潤地區的水稻。經過 10 年的稻田開墾和試種，水稻終於在這片土地紮根。

<日本語仮訳>

北海道の屯田兵

屯田兵として知られる農民兵士たちは、明治時代(1868-1912)における「和人」(日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称)の北海道開拓において重要な役割を果たしました。ロシア帝国との紛争や緊張関係により、明治政府は 19 世紀後半に日本の北方領土を守る必要に迫られました。屯田兵制度は 1874 年に始まり、これらの農民兵の役割は日本の北方国境を守ることであり、北海道の発展を促進することでした。1874 年からこの制度が終了した 1904 年までの間に、約 4 万人が屯田兵として北海道に入植しました。

屯田兵の大多数は、1870 年代初めに政府が実施した社会改革によって生計手段を失った武士でした。当初、この制度は元武士のみが対象でした。政府から住居や土地の供与、税金免除、その他の優遇措置が提供されていました。旭川では、各屯田兵の世帯に約 5 ヘクタールの耕作地が与えられました。

その代わりに、屯田兵は現役と予備役を合わせて 20 年間の兵役の契約を結びました。兵士たちは軍事演習を行い、整地や道路建設を手伝いました。暖かい季節には彼らは家族とともに農業にも従事しました。

1890 年以降は資格制限が解除され、屯田兵制度はあらゆる背景を持つ応募者に開放されました。旭川に移住した人々の大多数は農民でした。彼らは豆類、小麦、ジャガイモなど、寒冷地に適した作物を栽培しました。旭川に定住してすぐ、彼らは通常高温多湿な地域で育つ作物である米の栽培を試みました。水田開発と試験的生産に 10 年間を費やし、稲作はようやく定着しました。

【タイトル】 アイヌと北方民族

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努人和北方各民族

鄂霍次克海周边各原住民族间的贸易与文化交流已有数百年历史，因此，他们的服饰、工具和工艺品都呈现出明显的相似之处。阿伊努人也与多个民族有着贸易往来，包括萨哈林岛（库页岛）北部和黑龙江下游的尼夫赫人、萨哈林岛北部的乌依勒塔人和黑龙江流域的乌尔奇人。

为适应极北地区气候和各自的生活方式，这些北方民族的传统服饰有着共同的设计特征。海豹皮和鹿皮被制作成保暖的靴子、束腰短袍，柔韧防水的鲑鱼皮则被做成温暖季节里实用的雨衣。这些服装都配有装饰性的袖口和下摆镶边。阿伊努服饰袖口和镶边上常见螺旋纹、荆棘纹和几何图案，与黑龙江流域、萨哈林岛地区的民族服装纹饰十分相似。

饰品的原料来自欧亚大陆各地，进一步印证了多地贸易的存在。阿伊努人用兽皮和鹰羽换得中国、俄国和中亚的玻璃珠，也换来日本本土的本州岛出产的金属圆形吊坠。他们用这些材料串成项链，供阿伊努女性在仪式活动上佩戴。类似的金属吊坠也曾出土于那乃人（中国称“赫哲族”）的多处遗址，这个少数民族主要生活在黑龙江流域。

北方各民族还拥有相近的音乐传统。萨哈林岛阿伊努人使用的五弦竖琴“彤谷丽琴”（tonkori）与尼夫赫人的通库仑琴（tunkuroon）十分相似，阿伊努的竹制口琴“穆库里”（mukkur）也与萨哈林岛、西伯利亚和欧洲的金属口琴颇为相仿。

<繁体字>

阿伊努人和北方各民族

數百年來，鄂霍次克海周邊各原住民族間保持著貿易與文化交流，這使得他們的服飾、工具和工藝品都呈現出明顯的相似之處。阿伊努人也與包括薩哈林島（庫頁島）北部和黑龍江下游的尼夫赫人、薩哈林島北部的烏依勒塔人和黑龍江流域的烏爾奇人在內的多個部族有貿易往來。

這些北方民族的傳統服飾設計的特徵較為相似，這多是為了適應極北地區氣候和各自的生活方式。海豹皮和鹿皮被製作成保暖的靴子、束腰短袍；柔韌防水的鮭魚皮則被做成溫暖季節裡實用的雨衣。這些服裝都配有裝飾性的袖口和下擺鑲邊。阿伊努服飾袖口和鑲

邊上常見螺旋紋、荊棘紋和幾何圖案，與黑龍江流域、薩哈林島地區的民族服裝紋飾十分類似。

多地貿易存在的另一個證據是，這些衣服飾品的原料來自歐亞大陸各地。阿伊努人用獸皮和鷹羽換得中國、俄國和中亞的玻璃珠，也換來日本本州出產的金屬圓形吊墜。他們用這些材料串成項鍊，供阿伊努女性在儀式活動上佩戴。類似的金屬吊墜也曾出土於那乃人（中國稱「赫哲族」）的多處遺址，這個少數民族主要生活在黑龍江流域。

這些北方民族還擁有相似的音樂傳統。薩哈林島阿伊努人使用的五弦豎琴「彤谷麗琴」（tonkori）與尼夫赫人的通庫侖琴（tunkuroon）相仿；阿伊努的竹製口琴「穆庫里」（mukkur）也與薩哈林島、西伯利亞和歐洲的金屬口琴十分相近。

<日本語仮訳>

アイヌと北方民族

オホーツク海周辺の先住民族は何世紀にもわたって交易と文化交流を行ってきました。その結果、彼らの衣服、道具、工芸品には明確な類似性が見られます。アイヌは北サハリンとアムール川下流域のニヴフ族、北サハリンのウイльта族、アムール川のウルチ族など、複数の民族と交易を行っていました。

これらの北方民族の伝統的な衣服は、極北の気候と彼らの生活様式に適したデザインという点でよく似ていました。アザラシの皮や鹿革で作られた長靴や丈の長めの上着は保温性に優れ、柔軟で防水性のある鮭の皮は穏やかな季節の雨具として効果的でした。これらの衣服は装飾的な袖口と裾が施されていました。アイヌの衣服の袖口や裾に見られる渦巻き模様、棘模様、幾何学模様は、アムール川流域やサハリン地域の人々の衣服に見られる模様と類似していました。

服飾品は、ユーラシア大陸各地の素材で作られており、交易のさらなる裏付けとなっています。アイヌは獣皮や鷹の羽を、中国、ロシア、中央アジアのガラス玉や、日本の本州の大きな金属製メダリオンと交換していました。これらは儀式の際にアイヌの女性が身につけるネックレスに加工されました。同様のメダリオンが、アムール川流域に住むナナイ民族の遺跡からも発見されています。

北方民族は伝統音楽にも類似性がありました。サハリンアイヌが使用する 5 弦琴である「トンコリ」は、ニヴフ族の「トゥンクルン」に似ています。竹で作られたアイヌの口琴「ムックリ」は、サハリン、シベリア、ヨーロッパの金属製の口琴に似ています。

【タイトル】 知里幸恵

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

知里幸恵

知里幸恵(1903-1922)是一位作家、翻译家，她抄录并翻译了多部被称为“卡穆伊尤卡尔”(kamuyyukar)的阿伊努口述神话史诗，为保存阿伊努文化做出了巨大贡献。她汇编完成了 13 篇这样的史诗故事，并翻译成日文出版，该书是阿伊努人以阿伊努语言出版的首部著作。

知里幸恵出生于北海道西南部的登别，当时正值阿伊努人遭遇区别对待，被迫接受日本文化同化的时代。6 岁时，她搬到旭川与祖母莫纳西诺乌库 (Monashinouku; 生卒年不详) 和婶婶伊美卡努 (Imekanu; 1875-1961) 一同生活，两位长者都是熟谙卡穆伊尤卡尔的吟诵者。在这样的环境下，知里幸恵成长为精通日语和阿伊努语的双语者。

1918 年，知里幸恵结识了日本语言学者金田一京助(1882-1971)，后者鼓励她把自己民族的语言和文化记录下来。于是，知里幸恵整理记录了祖母和婶婶吟诵的各类卡穆伊尤卡尔。这些神话史诗都以第一人称叙事，主角是各种各样的卡穆伊 (kamuy; 神灵)，它们以动物形态出现，从狼、毛腿渔鸮，到青蛙甚至贝类，各不相同。阿伊努语原本没有文字，知里幸恵先用罗马字母记录下故事的阿伊努发音原文，然后再翻译成日文。

就在完成了第一部卡穆伊尤卡尔选集之后，知里幸恵却因心脏病突发不幸去世，终年仅 19 岁。次年，她的手稿出版，定名为《阿伊努神谣集》(中译本同名，2024 年版)。知里幸恵的著作唤起了日本读者对于阿伊努语言、文化的尊重之情。时至今日，《阿伊努神谣集》对于阿伊努文化研究者来说依然是无价的宝贵资源。

<繁体字>

知里幸恵

作家、翻譯家知里幸恵 (1903-1922) 抄錄並翻譯了多部被稱為「卡穆伊尤卡爾」(kamuyyukar) 的阿伊努口述神話史詩，為保存阿伊努文化做出了巨大貢獻。她彙編完成了 13 篇這樣的史詩故事並翻譯成日文出版，這本書也是阿伊努人以阿伊努語言出版的首部著作。

在阿伊努人遭遇區別對待、被迫接受日本文化同化的時代，知里幸恵出生於北海道西

南部的登別。6 歳時，她搬到旭川與祖母莫納西諾烏庫（Monashinouku；生卒年不詳）以及嬸嬸伊美卡努（Imekanu；1875-1961）一同生活。兩位長者都是熟諳卡穆伊尤卡爾的吟誦者，知里幸惠在這樣的環境下成長為精通日語和阿伊努語的雙語者。

知里幸惠在 1918 年結識了日本語言學者金田一京助（1882-1971），在金田一京助的鼓勵下，知里幸惠有了把自己民族的語言和文化記錄下來的想法，並整理記錄了祖母和嬸嬸吟誦的各類卡穆伊尤卡爾。這些神話史詩都以第一人稱敘事，主角是各種各樣的卡穆伊（kamuy；神靈），牠們以不同的動物形態出現，從狼、毛腿漁鴉到青蛙甚至貝類。知里幸惠先用羅馬字記錄阿伊努語的故事原文，然後再翻譯成日文。

在完成了第一部卡穆伊尤卡爾選集之後，知里幸惠卻因心臟病突發不幸去世，得年 19 歲。翌年，她的手稿出版，定名為《阿伊努神謠集》（簡體中譯本同名，2024 年版）。知里幸惠的著作喚起了日本讀者對於阿伊努語言、文化的尊重之心，《阿伊努神謠集》直到今天對於阿伊努文化研究者來說依然是無價的寶貴資源。

<日本語仮訳>

知里幸恵

知里幸恵（1903-1922）は、「カムイユカラ」と呼ばれる口承神謡を書き写し翻訳することで、アイヌ文化の保存に大きく貢献した作家・翻訳家でした。彼女が編纂した 13 編の日本語に翻訳された神謡は、アイヌの人物によってアイヌ語で出版された最初の本となりました。

知里幸恵は、アイヌが日本文化に同化を強いられた差別的な政策の時代に、北海道南西部の登別で生まれました。6 歳の時、いずれもカムイユカラの朗読の名手であった祖母のモナシノウク（生没年不詳）と叔母のイメカヌ（1875-1961）と暮らすため、旭川に転居しました。このような環境で、彼女は日本語とアイヌ語のバイリンガルとして成長しました。

1918 年、知里は日本人言語学者、金田一京助（1882-1971）と出会い、彼から言語と文化について書くことを勧められました。知里は祖母と叔母が詠唱する様々なカムイユカラを記録しました。これらの神謡は、オオカミやシマフクロウ、カエル、貝などの動物の姿で現れるさまざまなカムイ（神霊）の視点で、一人称で語られていました。知里はローマ字を使って音声のままアイヌ語を書き記し、その後日本語に翻訳しました。

最初のカムイユカラ集を完成させた後、知里は 19 歳で心臓病により亡くなりました。彼女の原稿は翌年『アイヌ神謡集』（同名の中国語版は 2024 年出版された）として出版されました。知里の著作は、日本の読者の間にアイヌ語とアイヌ文化への尊敬の念を呼び起こしました。『アイヌ神謡集』は、アイヌ文化研究者にとって今なお貴重な資料となっています。

【タイトル】 現代のアイヌ工芸と文化

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

当代阿伊努工艺及文化

阿伊努文化充满活力和强大的适应力。尽管语言和传统生活方式曾在 19 世纪晚期至 20 世纪早期遭到长达数十年的压制，阿伊努人依然竭力保留了其民族传承中最重要的核心部分。如今，他们致力于复兴传统设计，并将其融入现代应用之中。2008 年，旭川市博物馆委托阿伊努手工艺人和音乐家创作作品，以展示其文化遗产的瑰宝。

阿伊努信仰的一大核心主题在于：大自然具有保护、滋养和考验人类的力量。这种与自然的关联至今依然影响着他们的当代艺术表达。在艺术家设计的现代服装、配饰上，常常刺绣或贴印着传统的阿伊努纹饰。随展播放的视频则通过项目参与者对创作过程的说明，配合年轻音乐家演奏的阿伊努歌曲，形象展现古今文化交融的魅力。

<繁体字>

當代阿伊努工藝及文化

阿伊努文化充滿活力和強大的適應力，儘管語言和傳統生活方式曾在 19 世紀晚期至 20 世紀早期遭到過長達數十年的壓制，阿伊努人依然竭力保留了其民族傳承中最重要的核心部分。現在他們致力於復興傳統設計，並將其融入現代應用之中。2008 年，旭川市博物館委託阿伊努手工藝人和音樂家創作作品，以展示其文化傳承的瑰寶。

阿伊努信仰的一大核心是認為大自然有保護、滋養和考驗人類的力量。直到今天，這種與自然的關聯依然影響著他們的當代藝術表達。在藝術家設計的現代服裝、配飾上，常常刺繡或貼印著傳統的阿伊努紋飾。觀賞展覽影片，可以看到這些藝術家講述他們的創作過程，聽到年輕音樂家演奏的阿伊努歌曲，從中體會古今文化交融的魅力。

<日本語仮訳>

現代のアイヌ工芸と文化

アイヌ文化は活気に満ち、適応力を持っています。19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけて、言語と伝統的な生活様式が数十年にわたって抑圧されてきたにもかかわらず、アイヌの人々は彼らの伝統の重要な側面を何とか守り続けてきました。今日、彼らは伝統的なデザインを復活させ、現代の用途

に合わせて適応させています。2008 年、旭川市博物館はアイヌの工芸家や音楽家に、彼らの文化遺産に光を当てた作品の制作を依頼しました。

アイヌの信仰の中心的なテーマは、人類を守り、育み、試練を与える自然の力であり、この自然とのつながりは現代の表現にも影響を与え続けています。伝統的な文様は、現代の衣服や装飾品に刺繍やアップリケとして施されています。付随する映像展示では、プロジェクトの参加者たちが創作過程を説明し、若い音楽家たちがアイヌ語の歌を演奏して、過去と現在の文化を融合させた魅力を紹介します。

【タイトル】 上川盆地の最初の住民たち

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

上川盆地最早の居民

早在大约 3 万年前的最后一次冰河时期，人类就开始在北海道定居。那时的海平面大概比今天低 100 米左右，北海道还经由萨哈林岛（库页岛）与欧亚大陆相连。通常认为，史前人类就是通过这段陆桥从今天的西伯利亚进入了北海道。有关人类最早出现在上川盆地的证据是距今至少 2 万年的石器。从史前考古遗址的分布推测，早期人类主要居住在沿海区域，后来利用河流作为交通和贸易的通道，逐渐向内陆迁移。

上川盆地各处遗址出土的工具多使用黑曜石制作。黑曜石是熔岩冷却后形成的黑色天然玻璃，这种火山玻璃可以被切削出锋利的尖头和刃口，非常适合加工成狩猎的箭头、长枪枪头和切割用的刀具，以及制备兽皮用的刮刀等。然而，距离上川盆地最近的黑曜石产地也在 80 多公里开外，足以证明本地史前人类与其他地区已有往来。

<繁体字>

上川盆地最早の居民

人類早在大約 3 萬年前的最後一次冰河時期就開始在北海道定居。那時的海平面比今天低大約 100 公尺，北海道由薩哈林島（庫頁島）與歐亞大陸相連。許多人認為，史前人類就是透過這段陸橋從今天的西伯利亞進入北海道的，而距今至少 2 萬年的石器也成為了人類最早出現在上川盆地的證據。從史前考古遺址的分布推測，早期人類主要居住在沿海區域，後來利用河流作為交通和貿易的通道，逐漸向內陸遷移。

黑曜石是一種熔岩冷卻後形成的黑色天然玻璃，這種火山玻璃可以被切削出鋒利的尖頭和刃口，非常適合加工成狩獵的箭頭、長槍槍頭和切割用的刀具，以及製備獸皮用的刮刀等。上川盆地各處遺址出土的工具大多使用黑曜石製作，但是距離上川盆地最近的黑曜石產地卻在 80 多公里外，由此可知，當地的史前人類與其他地區已有往來。

<日本語仮訳>

上川盆地の最初の住民

人類が北海道に住み始めたのは、最後の氷河期にあたる約 3 万年前のことでした。当時の海面は

現在より約 100 メートル低く、北海道はサハリン島を通じてユーラシア大陸と地続きでした。先史時代の人々は、現在のシベリアからこの陸の橋を渡って北海道に渡ったと考えられています。上川盆地における人類の最古の痕跡は、少なくとも 2 万年前の石器の形で見つかっています。先史時代の考古学的な遺跡の分布から、初期の住民たちは主に沿岸部に定住し、その後河川を交通路や交易路として利用しながら徐々に内陸部へと移動していったと考えられています。

上川盆地の遺跡から出土する道具の多くは、溶岩が冷えて固まってできた黒い天然ガラスである黒曜石で作られています。この火山ガラスからは鋭い先端や刃を削り出すことができ、狩猟用の矢じりや槍先、切断用の刃物、獣の皮を剥ぐためのスクレーパーなどに適していました。最も近い黒曜石の産地は上川盆地から 80 キロメートル以上離れており、この地域の先史時代の人々が他の地域と接触を持っていたことを示しています。

【タイトル】縄文時代と続縄文時代の生活（紀元前 13,000 年-紀元後 600 年）

【想定媒体】アプリ、QR コード

<簡体字>

绳文时代与后绳文时代的生活（公元前 13,000 年～公元 600 年）

大约 3 万年前，史前人类首次迁徙到日本北部，此后便逐渐适应本地环境，形成了新的生活方式。他们从追捕大型哺乳动物的游猎生活，渐渐转变为以狩猎、捕鱼和采集为生的定居生活。随着定居生活方式的日益稳定，文化和社会形态也发生了相应转变。

全球气候变暖的趋势进一步推动了这种转变，因为可获取的食物也越发丰富——昔日的苔原上长出了森林，为鹿和其他猎物提供了栖息地；植物种类越来越多，出现了栗子树、核桃树等可结果的树木；海平面上升，形成了适合采集贝类和近海捕鱼的浅湾。

大约在公元前 13,000 年左右，本地人类已逐渐在食物充足地区建立定居点，并开始使用陶器。陶器的出现标志着绳文时代（公元前 13,000～前 300 年）开启，也与定居点的发展相契合。早期器具简单粗糙，没有纹饰，仅具备烹煮食物等单纯的实用功能。随着时间推移，器物设计越来越精细，常常能见到草绳印记形成的装饰图案（即“绳文”）。其中，一些装饰最为繁复的器具都出土于墓葬、祭祀等相关遗址，由此可见，当时的人类已经有了关注精神世界的信仰，并发展出与之相关的复杂仪式。

随着定居点规模和数量的增长，不同社群之间开始出现贸易往来和文化交流。人们借助北海道的水路在岛内穿行，交易毛皮、配饰、工具和黑曜石等各种原材料。到了后绳文时代（公元前 300 年～公元 600 年），贸易网络扩展到日本本土的本州岛，那里已经出现农耕社会形态，金属冶炼与锻造加工也开始发展起来。借助商路往来，北海道的社群接触到了铁器和其他金属工具，得以更高效地开展狩猎、采集、捕鱼等活动。

<繁体字>

繩文時代與後繩文時代的生活（西元前 13,000 年-西元 600 年）

史前人類在大約 3 萬年前首次遷入日本北部，逐步形成了新的生活方式。他們從追捕大型哺乳動物的遊獵生活，漸漸轉變為以狩獵、捕魚和採集為生的定居生活。隨著定居生活方式越來越穩定，文化和社會形態也產生了轉變。

全球氣候暖化持續推動著這種改變，因為人類可獲取的食物越發豐富——昔日的苔原上長出了森林，為鹿和其他獵物提供了棲息地；植物種類越來越多，出現了栗子樹、核桃

樹等可結果の樹木；海平面上升，適合採集貝類和近海捕魚的淺灣隨之形成。

大約在西元前 13,000 年左右，逐漸在食物充足地區建立定居點的當地人類開始使用陶器。陶器的出現標誌著繩文時代（西元前 13,000-前 300 年）開啟，也與定居點的發展相契合。早期器具只具備烹煮食物等單純的實用功能，簡單粗糙，沒有紋飾；隨著時間推移，器物設計越來越精細，常常能見到草繩印記形成的裝飾圖案（即「繩文」）。此外，一些裝飾最為繁複的器具都出土於墓葬、祭祀等相關遺址，由此可知，當時的人類已經有了精神信仰，並發展出與之相關的複雜儀式。

隨著定居點規模和數量不斷增長，不同社群之間也開始出現貿易往來和文化交流。人們借助北海道的水路在島內穿行，交易毛皮、配飾、工具和黑曜石等各種原材料。到了後繩文時代（西元前 300 年-西元 600 年），貿易網路逐漸擴展到日本本州。當時，本州已經出現農耕社會形態，金屬冶煉與鍛造加工也開始發展起來。憑藉商路往來，北海道的社群接觸到了鐵器和其他金屬工具，大大提高了狩獵、採集、捕魚等活動的效率。

<日本語訳>

縄文時代と続縄文時代の生活（紀元前 13,000 年-紀元後 600 年）

北日本の先史時代の人々は、約 3 万年前の最初の移住後に、新しい生活様式を徐々に形成されていきました。大型哺乳類を追いかけて移動する生活から、定住地を確立し、狩猟、漁労、および採集を営む生活へと移行していきました。このような生活様式が確立されるにつれ、文化および社会もそれに適合するように変化しました。

気候の温暖化がこの変化を促し、食料がより広く入手できるようになりました。かつてのツンドラには森林が育ち、シカなどの獲物の生息地となり、クイヤクミなどの果実のなる木々を含む植生が多様化し、海面が上昇して、貝類採集や沿岸漁業のための浅い入り江が形成されました。

人々は豊富な食料源のある場所に徐々に定住し、紀元前 13,000 年頃には土器の使用を始めました。土器の出現は縄文時代（紀元前 13,000 年-紀元前 300 年）の始まりを示し、定住社会の発展と一致します。初期の土器は素朴で装飾のない実用的なもので、調理などの機能に特化していました。時が経つにつれて、デザインは次第に精緻になり、縄文（紐の跡）で模様が付けられることが多くなりました。最も装飾的な土器の一部は埋葬地や祭祀場の跡から発見されており、精神世界に関する信仰の一環として、人々が複雑な儀式を執り行っていたことを示唆しています。

集落の規模や数が増えるにつれ、共同体は交易と文化交流を行うようになりました。人々は北海道の水路を航行経路として利用し、毛皮、装飾品、道具、黒曜石などの原材料を交易しました。続縄文時代（紀元前 300 年-紀元後 600 年）までには、交易網は本州にまで広がっていました。ここでは農耕社会が精錬および金属加工とともに発展していました。これらの交易ルートを通じて、北海道の共同体は鉄器や金属製の道具を手に入れることができ、狩猟、採集、漁労活動をより効率的に行うことが可能になりました。

【タイトル】 擦文時代の生活（紀元 600-1200 年）

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

擦文时代的生活（公元 600 年～1200 年）

擦文时代是日本历史上的一个时代划分，指以北海道特有的擦文土器的使用为界定标准的文化繁荣时期。当时的人类和他们的祖先一样过着狩猎、采集生活，但也渐渐开始更多地投入到鲑鱼捕捞和自给自足的农业生产中。他们生活在靠近河流的半地穴式房屋里，便于往来捕鱼地点。在如今旭川市周边的河岸遗址发掘中，已经找到了擦文时代先民修筑鱼梁（捕鱼的围堰）捕捞洄游鲑鱼的证据。

鲑鱼不但是本地人的主要食材之一，也是重要的商品，和动物毛皮一样，都可以用来交换本州岛出产的铁和其他物资。擦文时代的本地居民吸收来自日本本土本州岛的新技术，学会了使用铁制工具、纺织品和陶土炉灶等。有了铁器，人们就可以开垦田地，种植小米、大麦等耐寒作物，丰富饮食。

随着擦文时代贸易范围的扩大，本地居民开始与生活在鄂霍次克海周边的萨哈林岛（库页岛）、千岛群岛和北海道北部地区的鄂霍次克人建立起了联系。鄂霍次克人通常沿海岸居住，以猎捕海豹、鲸鱼和其他海洋哺乳动物为生。随着时间的推移，多元文化得以交融，逐渐走向一体化。有考古学者认为，鄂霍次克人与擦文人的互动交流对阿伊努文化的形成起到了一定作用。

<繁体字>

擦文時代的生活（西元 600 年～1200 年）

擦文時代是日本歷史上的一個時代劃分，指以北海道特有的擦文土器之使用為界定標準的文化繁榮時期。當時的人類和他們的祖先一樣過著狩獵、採集生活，但同時也漸漸開始投入到鮭魚捕撈和自給自足的農業生產中。為了方便前往漁場，他們生活在靠近河流的豎穴房屋裡。在如今旭川市周邊的河岸遺址發掘中，已經找到了擦文時代先民修築魚梁（捕魚的圍堰）捕撈洄游鮭魚的證據。

鮭魚是當地人的主要食材之一，也是重要商品，和動物毛皮一樣，都可以用來交換本州出產的鐵和其他物資。擦文時代的當地居民吸收來自日本本州的新技术，學會了使用鐵

製工具、紡織品和陶土爐灶等。人們使用鐵器開墾田地，種植小米、大麥等耐寒作物，飲食也越來越豐富。

擦文時代貿易的範圍不斷擴大，當地居民開始與生活在鄂霍次克海周邊的薩哈林島（庫頁島）、千島群島和北海道北部的鄂霍次克人建立聯繫。鄂霍次克人以獵捕海豹、鯨魚和其他海洋哺乳動物為生，通常沿海岸居住。隨著時間推移，多元文化得以交融、走向一體。有考古學者認為，鄂霍次克人與擦文人的互動交流對阿伊努文化的形成起到了一定作用。

<日本語仮訳>

擦文時代の生活（紀元 600-1200 年）

擦文時代は北海道に特有の擦文土器の使用を指標とした文化が栄えた時期を範囲とする時代区分です。その時代の人々は、祖先のように狩猟と採集を続けながら、次第に鮭漁や自給自足の農業にも力を入れるようになりました。彼らは漁場へのアクセスのため川の近くの竪穴住居に住んでいました。現在の旭川市周辺の河岸の遺跡発掘調査では、遡上する鮭を捕獲するための築（やな）の痕跡が発見されています。

鮭は食の主要な供給源であっただけでなく、毛皮とともに本州の鉄やその他の資源と交換される重要な交易品でした。擦文時代の人々は、鉄器、織物、土製のかまどなど、本州から新しい技術を取り入れました。彼らは鉄器で土地を耕し、食生活を補うキビや大麦などの耐寒性の穀物を栽培することができました。

擦文時代の人々の交易範囲が広がるにつれ、彼らはサハリンや千島列島、北海道北部などオホーツク海周辺に住んでいたオホーツク人と接触するようになりました。オホーツク人は海岸近くに住み、アザラシ、クジラ、その他の海棲哺乳類を狩猟していました。時が経つにつれて共通の文化が生まれ、一部の考古学者は、オホーツク人と擦文時代の人々との交流がアイヌ文化の形成に影響を与えたと考えています。

【タイトル】 上川盆地の人びとの歴史

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

上川盆地的人类历史

自 2 万多年前起，北海道中部地区的上川盆地就已有人类居住。这片广袤的冲积平原被群山环抱，河流在土地上纵横交汇，是北海道一大鲑鱼产卵地。今天的旭川市就坐落在上川盆地的中心位置。

在上川盆地的古人类聚落遗址周围，发现了早期鱼梁（捕鱼的围堰）的遗存，也出土了金属捕鱼工具和大量的鲑鱼骨。这些聚落大多分布在鲑鱼产卵地附近，这表明，早在擦文时代*（600-1200），该地区住民便已开始大规模捕捞鲑鱼。19 世纪的阿伊努人定居点分布在石狩川和忠别川沿岸，这两条河流也是鲑鱼溯流洄游的水域。

※擦文时代：日本历史上的一个时代划分，指以北海道特有的擦文土器的使用为界定标准的文化繁荣时期。

<繁体字>

上川盆地的人類歷史

北海道中部地區的上川盆地自 2 萬多年前起就已有人類居住。這片廣袤的沖積平原被群山環抱，河流在土地上縱橫交匯，是北海道一大鮭魚產卵地。今天的旭川市就坐落在上川盆地的中心位置。

在上川盆地的古人類聚落遺址周圍，出土了金屬捕魚工具和大量的鮭魚骨，以及魚梁（捕魚的圍堰）遺存。這些聚落大多分布在鮭魚產卵地附近，由此可以判定，在擦文時代*（600-1200），這個地區的住民已經開始大規模捕撈鮭魚。19 世紀的阿伊努人定居點同樣分布在鮭魚逆流洄游的水域——石狩川和忠別川沿岸。

※擦文時代：日本歷史上的一個時代劃分，指以北海道特有的擦文土器之使用為界定標準的文化繁榮時期。

<日本語仮訳>

上川盆地の人々の歴史

2 万年以上前から北海道中央部の上川盆地には人が住んでいました。この広大な沖積平野は山々に囲まれ、合流する河川によって分かれており、これらの河川は北海道有数の鮭の産卵場となっていました。現在の旭川市は上川盆地の中心に位置しています。

上川盆地の古代集落跡の周辺では、かつての築（やな）の跡、金属製の漁具、大量のサケの骨が発見されています。集落はサケの産卵場所の近くに集中しており、擦文時代※（600-1200）にこの地域で大規模なサケ漁が行われていたことを示しています。19 世紀のアイヌの集落も、サケが遡上する石狩川と忠別川に沿って集中していました。

※擦文時代：北海道に特有の擦文土器の使用を指標とした文化が栄えた時期を範囲とする時代区分。

【タイトル】 ペニウンクルの人々の伝統的な生活

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

佩纽恩库尔人的传统生活

佩纽恩库尔人是北海道阿伊努人的一个地域性分支群体，居住在上川盆地。在阿伊努语里，“佩纽恩库尔” (Peniunkur)的意思是“石狩川上游的人”。这个群体的传统生活方式遵循大自然的季节变化节律，为了在气候条件严峻的上川地区生存，他们发展出了独特的工具与技术。

秋天是最繁忙的季节——河流中，鲑鱼洄游至上游产卵；田地里，小米等耐寒作物开始成熟。佩纽恩库尔人用木制鱼笼、钩枪等多种工具捕捞鲑鱼，随后还需要对渔获进行加工处理，以便交易和储备冬粮；谷物收割下来后也要晒干，留着煮粥、酿酒。

早春是佩纽恩库尔人猎熊的时节，目的在于获取熊肉和毛皮。其中一种方法是找到熊冬眠的洞穴，用长棍捅进去将其引出。一旦这头熊开始往外爬，猎人们就会用涂了毒的长枪、弓箭发起攻击。所用毒药是一种从乌头根中提取的神经毒素，起效很快。

夏季里，茂盛的植物会遮挡视线，佩纽恩库尔人就改用被称为“阿玛库” (amaku)的弓箭机关捕猎。机关设置在猎物出没的路径上，箭头同样抹毒，靠一根细线触发。

猎犬是捕猎活动中的重要角色。它们帮助追踪并诱捕野鹿，或是分散熊的注意力，便于猎人攻击。还有一些猎犬甚至学会了进入浅水区捕捉鲑鱼。

<繁体字>

佩紐恩庫爾人的傳統生活

居住在上川盆地的佩紐恩庫爾人是北海道阿伊努人的一個地域性分支群體。在阿伊努語裡，「佩紐恩庫爾」 (Peniunkur) 的意思是「石狩川上游的人」。他們的傳統生活方式遵循大自然的季節變化節律，為了在氣候條件嚴峻的上川地區生存，發展出了獨特的工具與技術。

在這裡，秋天是最繁忙的季節：鮭魚洄游至河流中上游產卵；田地裡的小米等耐寒作物開始成熟。佩紐恩庫爾人用木製魚籠、鉤槍等多種工具捕撈到鮭魚後，還需要對其進行加工處理，以便交易和儲備冬糧；穀物收割下來後也要曬乾，留著煮粥、釀酒。

佩紐恩庫爾人通常在早春獵熊，以獲取熊肉和毛皮。其中一種方法是找到熊冬眠的洞

穴，用長棍捅進去將其引出。當熊開始往外爬時，獵人們就用塗了毒的長槍、弓箭發起攻擊。獵人所用的毒藥是一種從烏頭根中提取的神經毒素，起效很快。

到了夏天，茂盛的植物會遮擋視線，佩紐恩庫爾人就改用被稱為「阿瑪庫」(amaku) 的弓箭機關捕獵。箭頭同樣抹毒，靠一根細線觸發，機關就設置在獵物出沒的路上。

獵犬在捕獵活動中扮演重要角色。牠們幫助追蹤並誘捕野鹿，也可以分散熊的注意力，為獵人創造發起攻擊的機會，有些獵犬甚至還學會了進入淺水區捕捉鮭魚。

<日本語仮訳>

ペニウクルの伝統的な生活

ペニウクルは上川盆地に住む北海道アイヌの地域集団です。「ペニウクル」はアイヌ語で「石狩川上流の人々」を意味します。自然の季節のリズムに従って伝統的な生活を送る彼らは、上川地方の厳しい気候を生き抜くために、特殊な道具や技術を発展させてきました。

秋は、鮭が産卵のために川を遡上し、畑ではキビなどの耐寒性の穀物が実る特に忙しい時期でした。彼らは木製のうけや鉤付きの槍など、様々な方法で鮭を捕獲し、交易および冬季の食料として保存しました。穀物は収穫して乾燥させ、後からお粥を作ったり酒を醸造したりするのに使用されました。

早春、ペニウクルは肉と毛皮を得るために熊狩りをしました。その一つの方法は、冬眠中の熊の巣穴を見つけ、長い棒で突いて外に誘い出すというものでした。熊が巣穴から出ようとする時、猟師たちは毒を塗った槍や矢で攻撃しました。この毒はトリカブトの根から作られた、即効性の神経毒でした。

夏の間は植生が密になって視界が妨げられるため、彼らは「アマク」と呼ばれる弓の罠を使って狩りをしました。罠は獲物の通り道に沿って設置され、細い紐に触れると毒矢が発射される仕組みでした。

犬は狩猟において重要な役割を果たしました。犬はシカの追跡や捕獲を手伝い、熊の気をそらして猟師が攻撃できるようにしました。浅瀬で鮭を捕まえるように訓練された犬もいました。

【タイトル】クマ送りの儀礼

【想定媒体】アプリ、QRコード

<簡体字>

熊送仪式

送灵仪式是阿伊努文化的核心。这类仪式向来都是整个族群的大事，旨在感谢卡穆伊（kamuy；神灵）的馈赠，并送其魂灵返回神界。卡穆伊会化身为动物、植物、自然现象、人造工具等各种形象降临人类世界，其中，为恭送熊之灵回归神界而举办的“熊送”（Iomante；也称“熊灵祭”）是规格最高的送灵仪式。

熊在阿伊努神话中有着重要的象征意义，它们代表的是被称为“基蒙·卡穆伊”（kimunkamuy）的山岳之神。熊用自己的肉和毛皮供养人类社群，而为熊举办的仪式也体现了山岳神灵在阿伊努人生活方式中所占据的重要地位。

熊送仪式只为刚出生就被人类饲养的熊崽举办。能将一头熊崽托付给人类，是卡穆伊赋予的最高荣耀之一。社群会悉心照料这头熊崽，将它带回家中喂养，稍大后为它修筑熊圈，确保它营养充足，健康成长。当熊崽长到一岁或两岁时，就要开始为送灵仪式做准备了。

准备工作会持续好几个星期，包括编织仪式用的垫子，雕刻仪式用具和献给卡穆伊的礼物，如装饰性的箭。此外，还要酿酒供奉神灵。仪式本身也会持续数日，通常以祈祷、歌唱、舞蹈和盛宴开场。之后还有许多典礼程序，最后一项便是献祭这头熊，释放卡穆伊的灵魂。人们用供品谢神，以通宵达旦的欢庆娱神，希望卡穆伊将来能再度降临人类世界。

<繁体字>

熊送儀式

阿伊努文化的核心是送靈儀式。這類儀式向來都是整個族群的大事，旨在感謝卡穆伊（kamuy；神靈）的饋贈，並送其魂靈返回神界。卡穆伊會化身為動物、植物、自然現象、人造工具等各種形態降臨人類世界，其中，為恭送熊之靈回歸神界而舉辦的「熊送」（Iomante；也稱「熊靈祭」）是規格最高的送靈儀式。

熊代表了被稱為「基蒙·卡穆伊」（kimunkamuy）的山嶽之神，在阿伊努神話中有著重要的象徵意義。牠們用自己的肉和毛皮供養人類，而為熊舉辦的儀式也展現了山嶽神

靈在阿伊努人生活方式中所佔據的重要地位。

熊送儀式只為剛出生就被人類飼養的幼熊舉辦。將一頭幼熊託付給人類，是卡穆伊賦予的最高榮耀之一。人們會悉心照料這頭幼熊，將牠帶回家中餵養，稍大後為牠修築熊圈，確保牠營養充足，健康成長。當幼熊長到一歲或兩歲時，就要開始為送靈儀式做準備了。

準備工作會持續幾個星期，包括編織儀式用的墊子，雕刻儀式用具和獻給卡穆伊的禮物，如裝飾性的箭。此外，還要釀酒供奉神靈。儀式通常以祈禱、歌唱、舞蹈和盛宴開場，持續數日。之後還有許多典禮程序，最後一項便是獻祭這頭熊，釋放卡穆伊的靈魂。人們以通宵達旦的歡慶娛神，以供品謝神，希望卡穆伊將來能再度降臨人類世界。

<日本語仮訳>

クマ送りの儀礼

送り儀礼はアイヌ文化の中心を成すものです。これは贈り物に対してカムイ（神霊）に感謝し、その霊を神々の世界へ送り返すために行われる共同体全体の儀式です。カムイは動物、植物、自然現象、道具など、様々な形で人間の世界を訪れます。クマの送り儀礼であるイオマンテは、アイヌの儀式の中で最も格式の高いものです。

クマはアイヌの神話で重要な象徴であり、「キムンカムイ」と呼ばれる山の神です。クマは肉と毛皮によって共同体の生活を支え、クマの儀式はアイヌの生活様式における山の神の重要性を反映しています。

イオマンテは生まれたばかりのときから飼われた子グマのために執り行われます。子グマの世話を任されることは、カムイから授かることのできる最も大きな名誉の一つです。共同体はそれにふさわしく子グマを育てます。最初は家の中で育て、その後は囲いの中で飼育し、健康で十分な栄養を与えられるように気を配ります。クマが1歳か2歳になると、送り儀礼の準備が始まります。

これらの準備は数週間続くことがあり、儀式用の敷物を編んだり、儀式用具や装飾的な矢などカムイへの奉納品を彫ったりする作業が含まれます。また、神への供物として酒も醸造されます。数日間続く儀式は、通常は祈り、歌、踊り、宴会で始まります。それに多くの儀式が続き、最終的にカムイの魂を解放するためにクマは生贄にされます。カムイには供物を捧げて感謝を示し、再び人間界に戻ってくることを願って、夜通し祝宴でもてなします。

【タイトル】 石狩のペニウクルアイヌ

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

石狩的佩纽恩库尔人

佩纽恩库尔人(Peniunkur)是北海道阿伊努人中的一个地域性分支群体，最初生活在石狩川上游沿岸。作为阿伊努人的一员，他们也曾于 18 世纪至 19 世纪遭受“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）商人的剥削。这些商人最初是阿伊努人的贸易伙伴，最终却全面掌控了商路和资源，甚至逼迫佩纽恩库尔人迁居，进入商人们的渔场劳作。

从 16 世纪末期开始，这一变化便初现端倪。当时，松前家族的创始人因效力于梶原丰臣秀吉(1537-1598)而获得封赏，得以掌控虾夷南部（今北海道部分地区）。后来，德川幕府(1603-1867)统治下的大部分藩国都依靠农耕获取财富，松前家族却不同，他们的财富来自于与阿伊努人的交易。松前家族在沿海地区设立交易所，指定家臣管理。到了 18 世纪，交易所的经营权转移到了拥有海岸贸易船只的商人手中。为了满足日本全国对于海产品日益增长的需求，这些商人开始建立商业性的渔场，其中好几个渔场都设在石狩川河口附近的石狩地区。

1817 年，随着渔业规模的扩大，“和人”商人逼迫佩纽恩库尔人搬迁至远离故土的下游地区，进入他们的渔场工作。从早春到秋天，佩纽恩库尔人不分昼夜地撒网捕捞鲱鱼和鲑鱼。不打渔的时候，他们还要承担诸如砍柴、打水、送货等种种杂务。由于居住环境极为简陋拥挤，天花等疾病迅速蔓延。

当冬季来临时，佩纽恩库尔人还得长途跋涉 100 多公里，回到自己位于石狩川上游的家。当地的冬天总是大雪纷飞，令漫漫归途分外艰难。

<繁体字>

石狩的佩紐恩庫爾人

北海道阿伊努人中的一個地域性分支群體——佩紐恩庫爾人（Peniunkur）最初生活在石狩川上游沿岸。作為阿伊努人的一員，他們也曾於 18 世紀至 19 世紀遭受「和人」

（為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼）商人的剝削。這些商人一開始是阿伊努人的交易夥伴，最後卻全面掌控了商路和資源，甚至逼迫佩紐恩庫爾人遷居，進

入商人們的漁場勞作。

此一變化從 16 世紀末期便初現端倪。當時，松前家の創始人因效力於梟雄豐臣秀吉（1537-1598）而獲得封賞，得以掌控蝦夷南部（今北海道部分地區）。後來，德川幕府（1603-1867）統治下的大部分藩國都依靠農耕獲取財富，松前家の財富則來自和阿伊努人的交易。松前家在沿海地區設立交易所，指定家臣管理。交易所的經營權在 18 世紀轉移到了擁有海岸貿易船隻的商人手中。為了滿足日本全國對於海產日益增長的需求，這些商人開始建立商業性的漁場，其中好幾個漁場都設在石狩川河口附近的石狩地區。

隨著漁業規模的擴大，1817 年，「和人」商人逼迫佩紐恩庫爾人搬遷至遠離故土的下游地區，進入他們的漁場工作。從早春到秋天，佩紐恩庫爾人每日長時間地勞作，撒網捕撈鮭魚和鮭魚。不打漁的時候還要承擔諸如砍柴、打水、送貨等種種雜務。由於居住環境極度簡陋擁擠，天花等疾病迅速蔓延。

佩紐恩庫爾人在冬季來臨時，還必須在紛飛大雪中長途跋涉 100 多公里，回到自己位於石狩川上游的家，漫漫歸途分外艱難。

<日本語仮訳>

石狩のペニウクル

ペニウクルは、石狩川上流沿いに元々住んでいた北海道アイヌの地域的グループです。彼らは、18 世紀および 19 世紀に「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）の商人によって搾取されたアイヌの一部でした。商人は当初アイヌの交易相手でしたが、次第に交易路と資源を支配するようになり、ペニウクルの人々を強制的に移住させて漁労に従事させました。

この変化は 16 世紀末から徐々に進行しました。この時期、松前家の初代が豊臣秀吉（1537-1598）からその功勞に対する見返りとして蝦夷南部（現在の北海道の一部）の支配権を与えられました。のちに、徳川幕府（1603-1867）の元の大半の藩が農業で富を得たのに対し、松前藩はアイヌとの交易で富を得ていました。彼らは沿岸部に交易所を設置し、家臣たちにその管理を任せました。18 世紀に、交易所の管理は、沿岸交易に関わる交易船を所有する商人たちに委ねられるようになりました。全国各地での海産物需要の増加に対応するため、商人たちは商業用の漁場も設置しました。これらの漁場のいくつかは、石狩川河口近くの石狩に置かれました。

1817 年、漁業が拡大するにつれて、「和人」の商人たちはペニウクルを彼らの故郷から遠く離れた下流へと強制的に移住させ、漁業に従事させました。彼らは早春から秋まで、ニシンやサケの網漁に長時間従事しました。漁業以外の時間には、薪割り、水汲み、配達などの雑用を課されました。密集した大変粗末な生活環境により、天然痘などの病気が急速に蔓延しました。

初冬になると、ペニウクルは 100 キロメートル以上離れた石狩川上流沿いの故郷に川を遡って戻りました。この長い帰路は、この地域の大雪により大いに困難を極めるものでした。

【タイトル】近代化とアイヌ同化政策の影響

【想定媒体】アプリ、QRコード

<簡体字>

现代化与同化政策的影响

明治时代(1868-1912)，日本迎来了高速现代化和大规模的土地改革，但这些变化却令北海道阿伊努人陷入了困境。土地和资源的私有化，加上针对狩猎、捕鱼行为的禁令，使得阿伊努人传统的生活方式难以为继。1899年，政府颁布《北海道旧土人保护法》。这项法令以保护阿伊努人的权益为名，实为用日本文化对其实施同化。

这项法律规定每户阿伊努人家可以获得政府划拨的大约 75 亩土地，但其中许多土地并不适合农业生产。不仅如此，如果阿伊努人不能在规定期限内成功开垦耕地，就会面临土地被收回的风险。

教育是政府推进强制同化政策的另一个手段。专为阿伊努儿童开设的学校只教授日语和日本的风俗习惯，阿伊努语的使用逐渐减少。

<繁体字>

現代化與同化政策的影響

日本在明治時代（1868-1912）迎來了高速現代化和大規模的土地改革，但這些變化讓北海道阿伊努人陷入困境。土地和資源的私有化政策，以及對狩獵、捕魚行為的禁令，使得他們傳統的生活方式漸漸難以為繼。到了 1899 年，政府頒佈《北海道舊土人保護法》。這項法令雖然以保護阿伊努人的權益為名，但實際上卻以日本文化對其實施同化。

這項法律規定每戶阿伊努人家可以獲得政府劃撥的大約 5 公頃土地，但其中許多土地並不適合農業生產。而阿伊努人如果不能在規定期限內成功開墾耕地，就會面臨土地被收回的風險。

政府推進強制同化政策的另一手段是教育——專為阿伊努兒童開設的學校只教授日語和日本的風俗習慣，導致阿伊努語的使用逐漸減少。

<日本語仮訳>

近代化と同化の影響

明治時代（1868-1912）は日本に急速な近代化と大規模な土地改革をもたらしましたが、こ

これらの変化は北海道に住むアイヌには困難をもたらしました。土地と資源の私有化、狩猟と漁労の禁止により、アイヌは伝統的な生活様式を続けることが困難になりました。1899年、政府は「北海道旧土人保護法」を制定しました。これはアイヌの権利保護を名目に、アイヌを日本文化に同化させるための計画でした。

法律ではアイヌの世帯に約5ヘクタールの土地を与えると規定していましたが、これらの区画の多くは農業に適していませんでした。さらに、一定期間内に土地を耕作できなかった場合、彼らはその土地を取り上げられる危険性がありました。

教育は政府が同化を強制するもうひとつの手段でした。アイヌの子どもたちに日本語と日本の習慣を教える学校が設立され、アイヌ語の使用は減少していきました。

【タイトル】 開拓期の旭川

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

开拓时期的旭川

1868 年，明治政府(1868-1912)建立。次年，政府将“虾夷”改名为“北海道”，着手开发这片北部边疆。受命前往上川盆地的官员汇报称该地区适宜农耕，于是在 1890 年，旭川、永山、神居等村庄成立。

身兼农民和士兵双重身份的“屯田兵”受雇于政府，负责砍伐林地、开垦农田，同时守卫日本北部边境。这项编制最初只向从前的武士开放，后来也招募日本本土本州岛上的农民。屯田兵举家搬迁，于 1891 年开始入驻永山，1892 年入驻旭川，1893 年入驻当麻（当时隶属于永山）。他们与普通农民一同种植豆类、小麦和土豆等耐寒作物，又在反复试验之后成功种出了水稻。

渐渐的，旭川村发展成了北海道北部的交通和通信枢纽。1893 年，邮政电信局在此设立；1898 年，上川铁路线开通，连接起旭川和泷川；1900 年，旭川村升级为旭川町；次年，大日本帝国陆军第 7 师团从札幌移防旭川。驻扎在町内的士兵合计约 1 万人，由来自北海道的屯田兵社区和本州岛北部的预备役士兵组成。随着这股军事力量的注入，技艺娴熟的劳动者也纷纷来到旭川，为军事基地提供基础建设、食品生产以及其他配套服务，本地区工商业也随之得到发展。

<繁体字>

開拓時期的旭川

明治政府（1868-1912）於 1868 年建立。翌年，將「蝦夷」改名為「北海道」，著手開發這片北部邊疆。受命前往上川盆地的官員彙報稱該地區適宜農耕，於是政府於 1890 年建立了旭川、永山、神居等聚落。

由政府僱用、身兼農民和士兵雙重身份的「屯田兵」主要負責砍伐林地、開墾農田，同時守衛日本北部邊境。一開始，這項工作只招募從前的武士，後來把對象擴大到了日本本州的農民。1891 年，屯田兵家庭開始入駐永山，1892 年入駐旭川，1893 年入駐當麻（當時隸屬於永山）。他們與普通農民一同種植豆類、小麥和土豆等耐寒作物，又在反覆試驗之後成功種出了水稻。

旭川村漸漸發展成了北海道北部的交通和通信樞紐。1893 年此地成立了郵政電信局；1898 年連接旭川和瀧川的上川鐵路線開通；1900 年，旭川村升級為旭川町；翌年，大日本帝國陸軍第 7 師團從札幌移防旭川。駐紮在町內的士兵合計約 1 萬人，由來自北海道的屯田兵社區和本州北部的預備役士兵組成。隨著這股軍事力量的注入，技藝嫻熟的勞動者也紛紛來到旭川，為軍事基地提供基礎建設、食品生產以及其他配套服務，本地區工商業也隨之發展起來。

<日本語仮訳>

開拓期の旭川

1868 年、明治政府が成立しました。翌年、政府は蝦夷を北海道と改名し、この北方の辺境地の開発を始めました。上川盆地に派遣された役人たちは、この地域が農業に適していると報告し、1890 年に上川盆地に旭川、永山、神居の村々が設立されました。

屯田兵として知られる農民兵たちは、日本の北方国境を守りながら農業のために森林を開拓する仕事を政府から与えられました。当初は元武士だけに限定されていた屯田兵は、後に本州からの農民も加わりました。屯田兵の家族は 1891 年に永山、1892 年に旭川、1893 年に当麻（当時は永山の一部）に到着しました。屯田兵と一般の農民は豆類、小麦、ジャガイモなど、寒冷地に適した作物を栽培しました。何回か実験をくり返した後、彼らはこの地域での稲作を確立しました。

旭川村は北海道北部の交通・通信の拠点として徐々に発展していきました。1893 年に郵便・電信局が開設され、1898 年には旭川と滝川を結ぶ上川線が開通しました。1900 年に旭川は町に制定され、翌年には大日本帝国陸軍の第 7 師団が札幌から旭川に移転しました。北海道の屯田兵コミュニティと本州北部の軍事予備兵から集められた約 1 万人の兵士が町に駐留しました。熟練労働者が建設、食料生産、その他のサービスで基地を支援するために旭川に移住したため、この軍隊の存在が地域の商業や産業の発展を促進しました。

【タイトル】 20 世紀の旭川

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

20 世纪的旭川

1901 年，大日本帝国陆军第 7 师团从札幌移防至旭川町，让这座城镇在 20 世纪早期迎来了高速发展。随着这支万人军队的入驻，日本各地的移民纷至沓来，投身军事基地的基础建设以及各大配套产业和服务中。

为了满足日益增长的社区需求，新兴的酿酒业应运而生。截至 20 世纪 20 年代，当地已建立大约 15 家酿造厂，使用本地种植的大米酿制日本酒（清酒）。旭川木材资源丰富，早期军事基地的建设又吸引来了大量技艺娴熟的工匠，因此，家具制造业同样发展迅猛，成为了本地一大支柱产业。1922 年，旭川町升级为旭川市。凭借连接北海道东、西海岸的铁路网以及完备的政府机构与学校等公共服务设施，旭川市成为北海道北部的核心枢纽并日渐繁荣。

第二次世界大战(1939-1945)严重影响了这座城市，食品、物资和其他必需品都优先供应战争需求；接连不断的征兵令农田失去了男性壮劳力，以至于孩子也不得不下地照料作物；配给制度之下，许多居民只能在空地和公园里种菜来补充口粮。

20 世纪 50 年代，随着日本的战后复兴，农产品、建筑材料、木浆和家具等物资的需求大增，旭川市的经济也得以迅速发展。如今，这座城市是北海道人口数量第二的城市，仅次于首府札幌。

<繁体字>

20 世紀的旭川

1901 年，大日本帝國陸軍第 7 師團從札幌移防至旭川町，令這座城鎮在 20 世紀早期進入了高速發展階段。隨著這支萬人軍隊入駐，日本各地移民紛至沓來，紛紛投入軍事基地的基礎建設以及各項配套產業和服務工作中。

人口增多導致各類需求也日益增長，新興的釀酒業應運而生。截至 1920 年代，當地已建立了大約 15 家釀造廠，使用在地種植的稻米釀製日本酒（清酒）。早期軍事基地的建設帶來了大量技藝嫺熟的工匠，再加上旭川豐富的木材資源，家具製造業同樣發展迅猛，成為了當地一大支柱產業。1922 年，旭川町升級為旭川市。憑藉連接北海道東西海岸的

鐵路網，以及完備的政府機構與學校等公共服務設施，旭川市發展成北海道北部的核心樞紐，日漸繁榮。

第二次世界大戰（1939-1945）嚴重影響了這座城市。食品、物資和其他必需品都優先供應戰爭需求；接連不斷的徵兵令農田失去了男性勞動力，以致孩子也不得不下地照料作物；由於實行配給制，許多居民只得在空地和公園裡種菜來補充口糧的不足。

1950 年代，日本戰後復興令農產品、建築材料、木漿和家具等物資的需求大增，旭川的經濟也得以飛速發展。如今，旭川是北海道人口數量第二的城市，僅次於首府札幌。

<日本語仮訳>

20 世紀の旭川

1901 年に札幌から大日本帝国陸軍第七師団が移転したことで、旭川の町は 20 世紀初頭に急速に発展しました。約 1 万人の軍隊とともに、日本各地からの移住者たちが集まり、軍事基地のインフラ整備と支援産業、サービス業に従事しました。

成長するコミュニティのニーズを満たすために、新興の酒造業が生まれ、1920 年代までには約 15 の蔵元が地元で栽培された米で酒造りを行うようになりました。家具製造業も、豊富な木材と当初は軍を支援するためにやってきた熟練大工たちによって急速に拡大し、主要な産業となりました。旭川は 1922 年に市となり、北海道の西海岸と東海岸を結ぶ鉄道路線、政府機関、学校を擁する北海道北部の中心地として繁栄しました。

第二次世界大戦（1939-1945）は、食料、資材、その他の必需品の供出により、市に深刻な影響を与えました。相次ぐ徴兵で男性たちは農場から離れ、子どもでさえも作物の世話をしなければなりません。多くの住民は配給を補うため、空き地や公園で自家用の野菜を栽培しました。

1950 年代の好景気は、日本の戦後復興のための農産物、建設資材、木材パルプ、家具に対する需要増加により、旭川の活性化に貢献しました。現在、旭川市は北海道庁所在地の札幌に次ぐ北海道第二の人口を誇る都市となっています。

【タイトル】 大雪山国立公園の動植物

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

大雪山国立公園の動植物

大雪山国立公園は日本最大の国立公園之一、十勝連峰、石狩連峰、大雪山火山群と北海道の最高峰旭岳（2291 米）都在其中、風光秀麗、阿伊努人稱之為「眾神遊樂之庭」。

作為日本最大的自然保護區，大雪山的高山氣候孕育了豐富多樣的動物和植物。這裡生長著 200 多種高山花卉，包括千島櫻、稚兒車、堇菜等。其中許多植物都有可能來自日本本土、亞洲北部，以及鄂霍次克海和白令海周邊地區。在旭岳的亞高山地帶，原生的庫頁雲杉和庫頁冷杉繁茂成林，為紅腹灰雀、紅脅藍尾鴿、烏鶇等留鳥和候鳥提供了棲息地。高海拔地區的草甸上成片地生長著圓葉茅膏菜、羊胡子草等植物群落，金光偽蜻等適應寒冷氣候的蜻蜓也在其中繁衍生息。

有些動植物已在這裡生活了兩萬多年，是從最後一次冰河時期存活下來的物種。那時候，海平面比現在要低大約 100 米，北海道通過薩哈林島（庫頁島）這段陸橋和歐亞大陸相連。隨著氣溫和海平面上升，這些物種的棲息地漸漸縮小，直至退到了人迹罕至的高山上。這些早期子遺物種中包括一種高山蝴蝶、一種無翅蚱蜢和兔形目鼠兔科小型哺乳動物蝦夷鳴兔。

<繁体字>

大雪山國立公園的動植物

大雪山國立公園是日本最大的國立公園之一，風光秀麗，阿伊努人稱之為「諸神遊樂之庭」，十勝連峰、石狩連峰、大雪山火山群和北海道的最高峰旭岳（2291 公尺）都在其中。

這裡是日本最大的自然保護區，大雪山的高山氣候孕育了豐富多樣的動物和植物。公園內生長著 200 多種高山花卉，包括千島櫻、稚兒車、堇菜等，其中許多植物可能來自日本本土、亞洲北部，以及鄂霍次克海和白令海周邊地區。在旭岳的亞高山地帶，原生的庫頁雲杉和庫頁冷杉繁茂成林，為紅腹灰雀、紅脅藍尾鴿、烏鶇等留鳥和候鳥提供了棲息地。高海拔地區的草地上成片地生長著圓葉茅膏菜、羊鬍子草等植物群落，金光偽蜻等適

應寒冷氣候的蜻蜓也在此繁衍生息。

一些動植物已經在這裡生活了兩萬多年，是從最後一次冰河時期存活下來的物種。當時的海平面比現在要低大約 100 公尺，薩哈林島（庫頁島）還是連接北海道和歐亞大陸的陸橋。隨著氣溫和海平面上升，這些物種的棲息地也逐漸縮小，退到了人跡罕至的高山上。這些早期子遺物種中還包括一種高山蝴蝶、一種無翅蚱蜢和兔形目鼠兔科小型哺乳動物蝦夷鳴兔。

<日本語仮訳>

大雪山国立公園の動植物

大雪山国立公園は日本最大級の国立公園であり、アイヌの人々に「カムイミタラー神々の遊ぶ庭」と称されるほど美しい場所です。十勝連峰、石狩連峰、大雪火山群を含み、北海道最高峰の旭岳（2,291m）を有しています。

日本最大の天然保護区域である大雪山の高山気候は多様な動植物を育んでいます。チシマザクラ、チングルマ、スミレなど、200 種以上の高山植物が生息しています。これらの植物種の多くは、北アジア、オホーツク海やベーリング海周辺の地域、そして日本の本土から移動してきたと考えられています。旭岳の亜高山帯には、アカエゾマツやトドマツの原生林が茂っています。この生息地では、ウソ、ルリビタキ、サメビタキなどの留鳥や渡り鳥が生息しています。標高の高い草地にはモウセンゴケやワタスゲの群落があり、エゾトンボなどの寒冷地のトンボも生息しています。

2 万年以上前の最後の氷河期から生き残っている動植物もいます。当時の海面は現在より約 100 メートル低く、北海道はサハリン島を通じてユーラシア大陸と地続きでした。気温と海面が上昇するにつれ、これらの種の生息地は山岳地帯の孤立した地域に限定されるようになりました。これらの遺存種には、高山蝶の一種、羽のないバツタの一種、ウサギ科の小型哺乳類であるエゾナキウサギなどがいます。

【タイトル】 旭川の冬を生き抜く

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

旭川の冬季生存之道

旭川地区位于北海道中部，冬季漫长而严酷，降雪量大，气温可以低至零下 20 摄氏度。尽管如此，依然有许多动植物在这里找到了自己的生存之道，每一物种都有不同的策略和适应机制。

库页云杉和库页冷杉等针叶树种的细长针状叶片能够减少蒸腾作用，帮助它们避免在寒冷的天气里损失过多热量和水分。日本辛夷、水榭（音同“由”）、五角槭和日本胡桃等本地区原生落叶树则依靠休眠来抵御寒冷，它们落去树叶并从枝干中吸取水分，以此防止水分流失，储蓄养分，保护留存在细枝上的嫩芽不受霜冻侵害。而嫩芽本身的外层芽鳞和绒毛也能进一步帮助嫩芽抵御低温。

虾夷鹿等动物靠食用落叶木的树皮、细枝和嫩芽来度过寒冬。虾夷雪兔也以细嫩树枝为食，对于身披雪白冬毛的它们来说，茫茫白雪就是最好的掩护。

有的动物在冬天里依然活动，也有一些躲在温暖的巢穴中冬眠。虾夷缟栗鼠在森林里打洞筑巢，用橡子铺“床”，落叶当“被”，蜷曲着身体睡过整个冬天。它们还会用挖洞时掏出的泥土封住入口，保护自己不受猎食者侵扰。冬眠期间，虾夷缟栗鼠会降低新陈代谢率，将体温从 37 摄氏度左右降到 8 摄氏度，呼吸频率减缓到每 20 秒一次。

<繁体字>

旭川の冬季生存之道

旭川地區位於北海道中部，冬季漫長而嚴酷，降雪量大，氣溫可以低至攝氏零下 20 度。儘管如此，依然有許多動植物在這裡找到了自己的生存之道，各自發展出不同的策略和適應機制。

庫頁雲杉和庫頁冷杉等針葉樹種的細長針狀葉片能夠減少蒸騰作用，幫助它們避免在寒冷的天氣裡損失過多熱量和水分。日本辛夷、水榭（音同「由」）、五角槭和日本胡桃等當地原生落葉樹則依靠休眠來抵禦寒冷，它們落去樹葉並從枝幹中回收水分，以此防止水分流失，儲蓄養分，保護留存在細枝上的嫩芽不受霜凍侵害。而嫩芽本身的外層芽鱗和絨毛也能進一步幫助嫩芽抵禦低溫。

蝦夷鹿等動物主要靠食用落葉木的樹皮、細枝和嫩芽來度過寒冬。蝦夷雪兔也以細嫩樹枝為食，對於身披雪白冬毛的牠們來說，茫茫白雪就是最好的掩護。

有的動物在冬天裡依然活動，也有一些躲在溫暖的巢穴中冬眠。蝦夷縞栗鼠在森林裡打洞築巢，用橡子鋪「床」，落葉當「被」，蜷曲著身體睡過整個冬天。牠們還會用挖洞時掏出的泥土封住入口，保護自己不受獵食者侵擾。冬眠期間，蝦夷縞栗鼠會降低新陳代謝率，呼吸頻率減緩到每 20 秒一次，體溫也從攝氏 37 度左右降到攝氏 8 度。

<日本語仮訳>

旭川の冬を生き抜く

北海道中央部の旭川地方の冬は長く厳しく、大雪や氷点下 20 度にも達する寒さに見舞われます。このような条件にもかかわらず、多くの動植物はそれぞれ異なる仕組みや戦術で生き延びるために適応しています。

アカエゾマツやトドマツなどの針葉樹は、蒸散を抑える細い針状の葉を持ち、寒冷時でも熱と水分の損失を防ぐことができます。この地域原産の落葉樹には、キタコブシ、ナラ、イタヤカエデ、オニグルミなどがあります。これらの樹木は休眠状態になって葉を落とし、枝から水分を引き上げることで寒さに耐えます。これにより水分の損失を防ぎ、栄養を蓄え、小枝に残った芽を霜害から守ります。さらに鱗片や毛に覆われた外皮が断熱し、寒さから芽を保護します。

エゾシカなどの動物は、冬の間栄養源として落葉樹の樹皮や小枝、芽を利用します。エゾユキウサギも小枝を探して食べ、白い冬毛で雪に紛れています。

冬の間も活動を続ける種もいれば、温かい巢穴で冬眠する動物もいます。エゾシマリスは森の中に巢穴を掘り、ドングリの寝床で体を丸め、落ち葉にくるまって冬を過ごします。掘った土で入口の通路を埋め、捕食者から身を守ります。冬眠中のエゾシマリスは代謝が低下し、体温は約 37 度から 8 度まで下がります。呼吸は 20 秒に 1 回のペースまで遅くなります。

【タイトル】 旭川と上川盆地の地質

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

旭川和上川盆地的地质特征

上川盆地位处神居古潭变质带和伊东纳普带(Idonnappu zone)的群山之间，坐落在一片大约于 5 千万到 1 亿 5 千万年前形成的基岩上。之后的火山喷发塑造了大雪山如今的地貌，盆地部分区域被填平，形成了今日旭川所在的广阔平原。

上川盆地的基岩

远古时期，大洋板块俯冲插入欧亚板块下方，上川盆地的基岩由此形成。随着板块下沉，部分沉积物和岩石被带入地壳深处，在强大的压力作用下转变为变质岩。另一些沉积物和岩石则在大陆板块边缘堆积起来，形成增生楔结构。正是这些岩石堆积物，分别造就了如今的神居古潭变质带和伊东纳普带的群山。

北海道和上川盆地的形成

包括北海道在内的日本列岛各岛屿都形成于大约 1500 万年前。当时，板块运动导致亚洲大陆的一部分从主板块脱落，于是出现了日本海。随着海面不断扩大，脱落的岛屿向东移动，盆地基岩受到挤压，抬升至洋面以上并逐步形成群山，而山间的低洼处便是如今的上川盆地。

火山活动

在 1500 万年前到 260 万年前之间，火山活动加剧，盆地周围出现了多座火山，今天的米饭山和旭山就在其中。在 260 万年前至 80 万年前之间，火山大规模喷发，盆地部分区域被火山碎屑流填平。随后，大雪山火山群逐渐成形，海拔 2291 米的旭岳成为了最高峰。旭岳至今仍是活火山，最近一次喷发出现在 18 世纪中叶。

<繁体字>

旭川和上川盆地的地質特徵

上川盆地位處神居古潭變質帶和伊東納普帶 (Idonnappu zone) 的群山之間，坐落

在大約於 5 千萬到 1 億 5 千萬年前形成的基岩上。隨後的火山噴發塑造了大雪山今天的地貌，盆地部分區域被填平，形成了今日旭川所在的廣闊平原。

上川盆地的基岩

遠古時期，大洋板塊俯衝插入歐亞板塊下方，由此形成的便是上川盆地的基岩。隨著板塊下沉，部分沉積物和岩石被帶入地殼深處，在強大的壓力作用下轉變為變質岩。另一些沉積物和岩石則在大陸板塊邊緣堆積起來，形成增生楔結構。如今的神居古潭變質帶和伊東納普帶的群山正是這些岩石堆積物造就的。

北海道和上川盆地的形成

大約 1500 萬年前，包括北海道在內的日本列島各島嶼成形。當時，板塊運動導致亞洲大陸的一部分從主板塊脫落，形成了日本海。隨著海面不斷擴大，脫落的島嶼向東移動，盆地基岩受到擠壓，抬升至海平面以上並逐步形成群山，而山間的低窪處便是今天的上川盆地。

火山活動

在 1500 萬年前到 260 萬年前之間，火山活動加劇，盆地周圍出現了多座火山，其中就包括今天的米飯山和旭山。火山在 260 萬年前至 80 萬年前之間大規模噴發，盆地部分區域被火山碎屑流填平。隨後，大雪山火山群逐漸成形，海拔 2291 公尺的旭岳成為了最高峰。旭岳至今仍是活火山，最近一次噴發出現在 18 世紀中葉。

<日本語仮訳>

旭川と上川盆地の地質

上川盆地は、約 1 億 5 千万年前から 5 千万年前の岩盤の上、神居古潭変成帯とイドンナップ帯の山々の間に形成されました。その後の火山噴火によって大雪山の地形が形成され、盆地の一部が埋まり、旭川のある広い平野が形成されました。

上川盆地の岩盤

盆地の岩盤は、太古の海洋プレートがユーラシアプレートの下に沈み込んだときに形成されました。プレートが下降するにつれて、堆積物や岩石の一部は地殻の奥深くに運ばれ、そこで強い圧力によって変成岩に変化しました。他の堆積物や岩石は大陸プレートの端に集積し、付加体を形成しました。これらの岩石の集積が、それぞれ神居古潭変成帯とイドンナップ帯の山々になりました。

北海道と上川盆地の形成

北海道を含む日本列島の島々は、およそ1,500万年前にプレート運動によってアジア大陸の一部が分離し、日本海が形成・拡大されたことで誕生しました。海が拡大するにつれて、分離した島々は東に移動し、盆地の岩盤は海面上に押し出され山々になりました。上川盆地は、その結果できた山地の間の窪地として形成されました。

火山活動

1,500万年前から260万年前にかけて火山活動が活発化し、米飯山や旭山など盆地周辺にいくつかの火山が形成されました。その後、大規模な噴火が続き、260万年前から80万年前にかけて火砕流が盆地を部分的に埋めていきました。後に、大雪山火山群が形成されましたが、その最高峰が旭岳（2,291m）です。旭岳の火山活動は現在も続いており、最後の噴火は18世紀半ばでした。

【タイトル】 アイヌ文化における植物

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努文化中的植物

自古以来，阿伊努人就懂得从植物中获取食物、药材、布料以及其他各种手工制品所需的天然植物纤维。如今，人们还在传统村庄“阿伊努文化之森・传承村落”周边种植这些阿伊努文化中至关重要的植物，借此传承阿伊努的知识与风俗习惯。

可采集的植物

阿伊努人会种植粟米和稗子等谷物，但日常生活中用到的许多植物都采自湿地和森林。

大乌巴百合

大乌巴百合即日本大百合，生长于湿地和河岸地带。它们有着宽大的绿色叶片，可以长到 1 米高。阿伊努人在夏天采收百合球茎，这些球茎富含营养且具备药用价值。人们将球茎捣碎，浸入水中滤出其中的淀粉质，晒干后就可以做成类似粥的食物。此外，阿伊努人也用这种淀粉治疗胃痛。剩下的植物纤维经发酵、干燥后制成饼状，可以加入汤或炖菜中食用。

紫葛

秋天，阿伊努人会采摘紫葛的浆果，这是一种野生葡萄，果实可以食用。而柔韧的紫葛藤则是编制绳索的理想材料，阿伊努女人常常将它们编成口袋和鞋履等物品。

其他可食用的野生植物

阿伊努人习惯于在早春时节采摘蜂斗菜的茎和花、苍葱（苍，音同“阁”）的茎叶、开紫花的紫堇块茎等；在夏、秋两季采摘浆果和水果，包括野生葡萄、草莓，以及和蓝莓很相似的蓝靛果忍冬等。此外，他们也会寻觅橡子和栗子，煮熟后食用。

工艺用植物

一些植物的叶片、纤维或树皮十分柔韧，可以用来制作衣服、垫子和包袋等物品。

宽叶香蒲

宽叶香蒲是一种湿地植物，刀刃状的叶片长度可达 2 米左右。人们在仲夏时节收割香蒲叶，漂洗后晾晒数周。为防叶片破损，加工前要再次泡入水里，然后与华东椴的内层韧皮一同编织成日用或仪式中使用的垫子。有的仪式用垫子里还会用染过色的春榆韧皮纤维编织图案。

春榆

春榆的韧皮是织造纺织品的重要原料。阿伊努人剥下树皮，先泡在水中软化内层韧皮，然后将它们放在太阳下暴晒漂白，再撕成细长的纤维后搓捻成线。这种线可用于织造被称为“阿图西”(attus)的布料——布料的名字也指代阿伊努人穿着的传统直袖袍子（也称为“树皮衣”）。日常穿着的阿图西质朴无华，但仪式服装则不同，会用深蓝色和黑色棉布拼贴出装饰性的图案。

<繁体字>

阿伊努文化中的植物

阿伊努人自古以來就透過植物獲取食物、藥材、編織品以及其他手工製品所需的天然植物纖維。今天，人們在傳統聚落「阿伊努文化之森・傳承村落」周邊種植這些阿伊努文化中至關重要的植物，以此傳承阿伊努的知識與風俗習慣。

可採集的植物

阿伊努人會種植粟米和稗子等穀物，但在日常生活中用到的許多植物都採自濕地和森林。

大烏巴百合

大烏巴百合即日本大百合，生長於濕地和河岸地帶，有著寬大的綠色葉片，可以長到 1 公尺高。大烏巴百合的球莖富含營養且具備藥用價值。阿伊努人在夏天採收百合球莖，將它搗碎，浸入水中濾出其中的澱粉質，曬乾後就可以做成類似粥的食物，或用來治療胃痛。而剩下的植物纖維經發酵、乾燥製成餅狀後，可以加入湯或燉菜中食用。

紫葛

阿伊努人在秋天採摘紫葛的漿果，這是一種野生葡萄，果實可以食用。除此以外，紫葛藤十分柔韌，是編製繩索的理想材料，阿伊努女人常常將它們編成口袋和鞋履等物品。

其他可食用的野生植物

早春時節，阿伊努人會採摘蜂鬥菜的莖和花、蒼蔥（蒼，音同「閣」）的莖葉、開紫花的紫堇球莖等。夏、秋兩季則採摘漿果和水果，包括野生葡萄、草莓，以及和藍莓很相似的藍靛果忍冬等。此外，他們也會尋覓橡子和栗子，把它們煮熟後食用。

工藝用植物

一些植物的葉片、纖維或樹皮質地柔韌，可以用來製作衣服、墊子和包袋等物品。

寬葉香蒲

濕地植物寬葉香蒲刀刃狀的葉片長度可達 2 公尺左右。人們在仲夏時節收割香蒲葉，漂洗後晾曬數星期。為防止葉片破損，加工前再將它們泡進水裡，然後用華東楸的內層韌皮一同編織成日用或儀式中使用的墊子。有的儀式用墊子裡還會用染過色的春榆韌皮纖維編織圖案。

春榆

春榆的韌皮是織造紡織品的重要原料。阿伊努人剝下樹皮，泡在水中軟化內層韌皮，然後將它們放在太陽下暴曬漂白，再撕成細長的纖維後搓捻成線。這種線可用於編織被稱為「阿圖西」（attus）的布料，布料的名字也代指阿伊努人穿著的傳統直袖袍子（另稱為「樹皮衣」）。日常穿著的阿圖西質樸無華，儀式服裝則不同，會用深藍色和黑色棉布拼貼出裝飾性的圖案。

<日本語仮訳>

アイヌ文化における植物

植物は古くから食料、薬、織物やその他の工芸品のための天然繊維として使われていました。現在、アイヌ文化において重要な役割を果たした植物は、「アイヌ文化の森 伝承のコタン」の伝統的な集落（コタン）周辺で栽培されており、アイヌの知識と慣習を伝える手段となっています。

採取された植物

日常生活で使用される植物は湿地や森から採取されていましたが、アイヌはアワやヒエなどの穀物も栽培していました。

オオウバユリ

オオウバユリは湿地や川岸に生育します。幅広い緑の葉を持ち、高さは 1 メートルに達することがあ

ります。球根は夏に収穫され、栄養価と薬効が高く評価されていました。これらは潰されて水に浸され、でんぷんを抽出した後、乾燥させてお粥のような料理を作るのに使われていました。このでんぷんは胃痛の治療にも使用されていました。残った繊維は発酵させて円盤状に乾燥させ、スープや煮込み料理に加えられていました。

ヤマブドウ

野生ブドウであるヤマブドウの実は食用でき、秋に収穫されました。蔓は柔軟で丈夫なため、ロープの材料として理想的でした。アイヌの女性たちは通常、この蔓から袋や履物などを編んでいました。

その他の食用の野生植物

アイヌは伝統的に、早春にフキの茎と花、ギョウジャニンニクの葉と茎、紫の花を咲かせるエゾエンゴサクの球根を収穫していました。夏から秋にかけては、野生のブドウ、イチゴ、ブルーベリーに似たハスカップなどの実や果物を集めました。また、クリやドングリも採取して煮ていました。

工芸用の植物

植物の中には、衣服、敷物、バッグなどを作るのに適した、柔軟で丈夫な葉や繊維、樹皮を持つものもあります。

ガマ

湿地で生育するガマの刃のような形をした葉は、約2メートルの長さまで成長します。真夏に採集したその葉を、洗って数週間乾燥させます。破れるのを防ぐために水に浸した後、シナノキの内皮繊維（靱皮）とともに織り、普段使いや儀式用の敷物が作られていました。儀式用の敷物には、模様を作るために染色したハルニレの内皮を織り込んだものもありました。

ハルニレ

ハルニレの靱皮は織物を作る上で欠かせない材料でした。アイヌは樹皮をはぎ取り内皮繊維を水中で柔らかくしてから、日光で漂白しました。その後細い繊維に分け、撚って糸にしました。この糸は「アットウシ」と呼ばれる布を織るのに使用されました。この布の名前は、アイヌが着用した伝統的な直線的な袖の衣服「樹皮衣」も指します。日常着用のアットウシにはあまり装飾はなく、儀式用のアットウシには紺と黒の木綿の切り布で模様が施されていました。

【タイトル】 アイヌの工芸

【想定媒体】 アプリ、QRコード

<簡体字>

阿伊努的手工艺

阿伊努的手工艺体现了一种与大自然深切交融的世界观。每一针一线、每一个纹样和图案，都在表达对自然世界的神灵“卡穆伊”（kamuy）的崇敬。阿伊努人相信，万物之中皆有卡穆伊。

在阿伊努的传统里，女性负责纺织缝纫，男性负责制作工具和器物。他们也会通过交易购买棉布来缝制衣服，但通常都是使用春榆等树木内层纤维揉搓成的线来织布。这种织物名叫“阿图西”（attus），结实耐用。阿伊努的衣物装饰多采用复杂的贴花和刺绣。在缝制和装饰衣物的过程中，女人会祈祷卡穆伊保护穿着者。服饰纹样多从自然中汲取灵感，形态因家族而异，又随着一代代人的婚姻不断演化，母亲将纹样传给女儿，女儿出嫁后，会将代表自己新家庭的图形融入其中，形成新的纹样。

阿伊努男性则要学习木雕，制作刀鞘、箭杆、烟草盒等日常用具，以及“伊纳乌”（inaw；用刀具将木料表面削出多条细长的薄片，再加工成簇状的物品）、“伊库帕苏伊”（ikupasuy；敬神时使用的细长木板，也叫“捧酒箸”）等仪式用品。高超的手艺是成为一村首领的必备条件之一，因为阿伊努人相信，使用精美的工具有助于狩猎成功。

19世纪晚期，随着禁猎、禁渔令颁布，阿伊努人传统的生活方式难以为继。人们开始制作工具、容器、筷子等日常用品来换取收入。第二次世界大战(1939-1945)结束后，旅游业很快兴起，旭川的阿伊努人逐渐将加工重心转向了消费需求更加旺盛的木雕玩偶和熊形雕像。

<繁体字>

阿伊努的手工藝

阿伊努的手工藝展現出一種與自然緊密交融的世界觀。每一針、每一線、每個紋樣與圖案，都傳達了對自然萬物與神靈「卡穆伊」（kamuy）的敬意。阿伊努人相信，萬物之中皆有卡穆伊。

依照阿伊努的傳統，女性負責紡織和縫製，男性負責製作工具和器物。雖然他們會透過交易購買棉布來縫製衣服，但通常都用樹皮纖維揉搓成的線來織布。這種堅韌耐用的織

物名叫「阿圖西」(attus)，以春榆等樹木的內層韌皮纖維為原材料。阿伊努的衣物裝飾多採用複雜的貼花和刺繡。在縫製和裝飾衣物的過程中，女性會祈求卡穆伊庇佑穿著者平安。從自然中汲取靈感的紋樣會因為家族而不同，且母女相傳，又通過婚姻不斷演變。女兒出嫁後，會將代表自己新家庭的圖形融入其中，形成新的紋樣。

阿伊努男性會練習木雕，製作刀鞘、箭杆、煙草盒等日常用具，以及「伊納烏」(inaw；用刀具將木材表面削出多條細長薄片，再加工成簇狀的物品)、「伊庫帕蘇伊」(ikupasuy；敬神時使用的細長木板，也叫「捧酒箸」)等儀式用品。高超的工藝技術更是成為部落首領的條件之一，因為阿伊努人深信，精緻的工具能帶來成功的狩獵。

到了 19 世紀晚期，隨著禁獵、禁漁令頒布，阿伊努人傳統的生活方式逐漸難以為繼，人們開始製作工具、容器、筷子等日常用品來換取收入。第二次世界大戰(1939-1945)結束後，隨著觀光業快速興起，旭川的阿伊努人也漸漸將商品重心轉向了消費需求旺盛的木雕玩偶和熊形雕像。

<日本語仮訳>

アイヌの工芸

アイヌの工芸は、自然と深く結びついていた世界観を反映しています。それぞれの縫い目、文様、模様は、自然界とそこに宿ると信じられている「カムイ」(神霊)への畏敬の念を表現しています。

アイヌの伝統では、織物や裁縫は女性の仕事であり、一方で男性は道具や用具を作っていました。衣服の中には交易で入手した木綿で作られたものもありましたが、通常はオヒョウ(ハルニレ)などの樹皮の内側の繊維を紡いだ糸で織った、「アットゥシ」と呼ばれる丈夫な布で作られていました。衣服には複雑なアププリケや刺繡が施されることが多く、女性たちは衣服を縫い、装飾を施す際に、着る人の守護をカムイに祈っていました。自然からインスピレーションを得た模様は、家族ごとに異なっていました。母から娘へと受け継がれた模様は、花嫁が新しい家族を象徴する文様を取り入れることで、結婚を通じて進化していきました。

アイヌの男性は、木彫りを練習し、刀の鞘、矢、煙草入れなどの道具や、「イナウ」(木材の表面を刃物で薄く削り、房状状態にしたもの)や「イクパスイ」(捧酒箸)などの儀式用具を作成していました。工芸の技術は、村のリーダーの要件の一つでした。また、美しい道具を使用することが、狩りの成功につながると信じられていました。

19 世紀後半に狩猟や漁労が禁止されたことで、伝統的なアイヌの生活様式を続けることは困難になりました。人々は道具、容器、箸など日用品を、収入を得る方法として制作していました。旭川のアイヌは、第二次世界大戰(1939-1945)後すぐに発展した観光産業で需要の高かった、木彫りの人形や熊の制作へと徐々に重点を移していきました。

【タイトル】 藤戸竹喜

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

藤戸竹喜

雕刻家藤戸竹喜(1934-2018)出生于北海道东部的美幌町，在旭川长大。他的作品以尊崇自然世界而闻名，而这也正是阿伊努人精神世界的根本信条。藤戸竹喜 12 岁开始跟随父亲学习木雕，在整个职业生涯中，他雕刻了许多栩栩如生的动物和人物形象，每件作品都是整木雕刻。他使用的工具也很丰富，包括链锯、斧子、凿子、尖锥和各种精细刀具等。

棕熊是北海道阿伊努文化中最神圣的动物，也是藤戸竹喜作品中反复出现的主题。它们被视为山岳之神“基蒙·卡穆伊”(kimunkamuy)在人间的化身。除此之外，藤戸竹喜也雕刻狼、虎鲸、螃蟹等各种动物，以及阿伊努人祖先的形象。2016 年，他获得了日本文化厅授予的“地域文化功劳者”殊荣。

<繁体字>

藤戸竹喜

藤戸竹喜（1934-2018）出生於北海道東部的美幌町，在旭川長大，是一位雕刻家。他的作品體現了對自然世界的尊崇，而這也正是阿伊努人精神世界的根本信條。從 12 歲開始，他跟隨父親學習木雕。在整個職業生涯中，他雕刻了許多栩栩如生的動物和人物形象。他的每件作品都是整木雕刻，使用的工具包括鏈鋸、斧子、鑿子、尖錐和各種精細刀具，相當豐富。

北海道阿伊努文化中最神聖的動物是棕熊，這也是藤戸竹喜作品中反覆出現的主題。牠們被視為山嶽之神「基蒙·卡穆伊」（kimunkamuy）在人間的化身。除此之外，藤戸竹喜還雕刻狼、虎鯨、螃蟹等各種動物，以及阿伊努人祖先的形象。他在 2016 年獲得了日本文化廳授予的「地域文化功勞者」殊榮。

<日本語仮訳>

藤戸竹喜

彫刻家の藤戸竹喜（1934-2018）は北海道東部の美幌町で生まれ、旭川で育ちました。彼

は、アイヌの精神性の基本である自然界を敬う作品で知られています。彼は、12歳の時に父親の指導のもと木彫りを始めました。藤戸はそのキャリアを通じて、一片の木から生き生きとした動物や人物の姿を彫り出しました。彼は、チェーンソーや斧、のみ、突き錘、細かな刃物など、様々な道具を使用しました。

北海道アイヌ文化において最も神聖な動物であるヒグマは、彼の作品に繰り返し登場するモチーフです。ヒグマは「キムカムイ」（山の神）の地上における化身とされています。ヒグマの他にも、藤戸は狼やシャチ、カニなどの動物、そしてアイヌの先人たちの姿なども彫りました。彼は、2016年に文化庁より地域文化功労者として顕彰されました。

【タイトル】 藤戸幸夫

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

藤戸幸夫

藤戸幸夫(1949-)は出身于旭川市の阿伊努彫刻家，主要制作传统工具和仪式用具。他跟随父亲和哥哥藤戸竹喜(1934-2018)学习木雕，15 岁开始制作旅游纪念品。他通常先用一把小刀在木料上勾勒出线条，然后再用凿子刻出器物的造型。

藤戸幸夫雕刻的工具种类繁多，包括双刃小刀“玛基里” (makiri)、狩猎用刀“塔希罗” (tasiro)、敬神时使用的细长木板“伊库帕苏伊” (ikupasuy; 捧酒箸) 等。他擅长在刀柄和木制刀鞘上雕刻繁复精致、富有质感的花纹。藤戸幸夫的部分作品体现了其木雕世家的传承，而另一些作品中则融入了蛇和波浪等图案，展现出他自身的独特风格。藤戸幸夫如今在北海道东部的津别町开设有工作室，仍在继续创作。

<繁体字>

藤戸幸夫

出身於旭川市的藤戸幸夫（1949- ）是一名阿伊努彫刻家，主要製作傳統工具和儀式用具。他從小跟隨父親和哥哥藤戸竹喜（1934-2018）學習木雕，15 歲開始製作旅遊紀念品。他通常先用一把小刀在木料上勾勒線條，然後再用鑿子刻出器物的造型。

藤戸幸夫雕刻的工具種類繁多，像是雙刃小刀「瑪基里」（makiri）、狩獵用刀「塔希羅」（tasiro）、敬神時使用的細長木板「伊庫帕蘇伊」（ikupasuy；捧酒箸）。他擅長在刀柄和木製刀鞘上雕刻繁複精緻、富有質感的花紋。藤戸幸夫的部分作品體現了他的木雕世家傳承，而另一些作品中則融入了蛇和波浪等圖案，展現出他自身的獨特風格。如今，藤戸幸夫仍持續創作，他的工作室位於北海道東部的津別町。

<日本語仮訳>

藤戸幸夫

藤戸幸夫（1949- ）は旭川市出身のアイヌの木彫り職人で、伝統的な道具や儀式用具を制作しています。彼は父親と兄の竹喜（1934-2018）から木彫りを学び、15 歳の時から観光客向けの土産物作りを始めました。彼は小さな刃物で木に切り込みを入れ、のみを使って形を彫り出します。

藤戸は「マキリ」と呼ばれる両刃の小刀、「タシロ」として知られる狩猟用ナイフ、そして「イクパスイ」（捧酒箸）など、様々な道具を制作しています。ナイフの柄や木製の鞘には、複雑で質感のある模様を彫り込んでいます。彼の作品の一部は彼の木彫り職人としての伝統を反映したものであり、また一部は蛇や波などのモチーフを用いた彼独自のスタイルを反映しています。藤戸は現在、道東に位置する津別町のアトリエで制作活動を行っています。

【タイトル】砂澤ビッキ

【想定媒体】アプリ、QRコード

<簡体字>

砂泽比基

出生于旭川市的砂泽比基（Sunazawa Bikky;1931-1989）是一位自学成才的画家、雕刻家、诗人，也是 20 世纪最杰出的阿伊努艺术家之一。他擅长将自己对于阿伊努传统纹样的独特解读表现在所创作的木雕装饰品中，尤其以动物雕刻闻名。砂泽比基与日本国内外的创作群体均有往来，借助这些交流，他在提升阿伊努艺术的国际知名度方面发挥了重要的作用。

砂泽比基本名砂泽恒雄，后来才自行改名为“ビッキ” (Bikky)，这是他儿时的昵称，在阿伊努语里是“青蛙”的意思。1953 年，他前往东京南面的镰仓，在那里生活了大约 6 年。在此期间，他接触到了前卫艺术和超现实主义艺术形式，这对他后来的抽象雕塑风格有着极大的启发和帮助。砂泽比基的父母是公民权利与祖地返还的积极倡议者，他们的激进主义行动也深深影响到了砂泽比基的创作。20 世纪 70 年代，他参加了阿伊努人争取权益的游行，并且为增强民族文化自豪感设计了一面阿伊努旗帜。

1983 年，砂泽比基在加拿大不列颠哥伦比亚省停留了 3 个月，与海达族原住民（北美印第安人的一个支系）艺术家比尔·里德(Bill Reid;1920-1998)共同工作。与原住民艺术家合作的经历，以及北美西北海岸的图腾柱给砂泽比基带来了极大触动，这些都直接体现在他的后期作品中。在他创作的图腾柱上，常常雕刻着毛腿渔鸮、熊、虎鲸等阿伊努精神文化中重要的动物。川村卡内托阿伊努纪念馆的门外曾经立有一根砂泽比基的早期图腾柱作品，旨在纪念第二任馆长川村卡内托（川村カ子ト；1893-1977），只是在 2004 年被台风吹倒了。2023 年，藤户幸夫(1949-)为纪念馆雕刻了一根新的图腾柱，如今和砂泽比基原图腾柱的照片一起陈列在馆内。

<繁体字>

砂澤比基

出生於旭川市的砂澤比基（Sunazawa Bikky;1931-1989）自學成才，兼有畫家、雕刻家、詩人等身分，也是 20 世紀最傑出的阿伊努藝術家之一。他以動物雕刻聞名，也擅長將自己對於阿伊努傳統紋樣的獨特解讀表現在木雕作品中。砂澤比基與日本境內和海外

的創作群體均有往來，藉由這些交流，他對提升阿伊努藝術的國際知名度貢獻卓著。

砂澤比基本名砂澤恒雄，後來才自行改名為兒時的暱稱「ビッキ」（Bikky），在阿伊努語裡的意思是「青蛙」。他於 1953 年前往東京南面的鎌倉，在那裡生活了大約 6 年，接觸到了前衛藝術和超現實主義藝術形式，這大大地啟發了他後來的抽象雕塑風格。砂澤比基的父母是公民權利與祖地返還的積極倡導者，他們的激進主義行動也深深影響了砂澤比基的創作。他在 1970 年代參加了阿伊努人爭取權益的遊行，並且為增強民族文化自豪感設計了一面阿伊努旗幟。

砂澤比基在 1983 年來到加拿大不列顛哥倫比亞省，並且停留了 3 個月，期間與海達族原住民（北美印第安人的一個支系）藝術家比爾・里德（Bill Reid;1920-1998）一起工作。北美西北海岸的圖騰柱給砂澤比基帶來了極大觸動，與原住民藝術家合作的經歷也影響了他的創作，這些都直接體現在他的後期作品中。他創作的圖騰柱上常常雕刻著毛腿漁鴉、熊、虎鯨等阿伊努精神文化中重要的動物。川村卡內托阿伊努紀念館的門外曾經立有一根砂澤比基的早期圖騰柱作品，旨在紀念第二任館長川村卡內托（川村カ子ト；1893-1977），但在 2004 年被颱風吹倒了。2023 年，藤戶幸夫（1949-）為紀念館雕刻了一根新的圖騰柱，如今和砂澤比基原圖騰柱的照片一起陳列在館內。

<日本語仮訳>

砂澤ビッキ

旭川市出身の砂澤ビッキ（1931-1989）は、独学の画家、彫刻家、詩人であり、20 世紀を代表するアイヌ芸術家の一人でした。彼は独自の解釈を取り入れたアイヌ独特の文様を彫り込んだ装飾品を制作し、とりわけ動物の彫刻で知られ、国内外のクリエイティブなコミュニティと交流していました。その交流を通じて、アイヌ芸術の世界的な認知度を高めることに重要な役割を果たしました。

ビッキの本名は砂澤恒雄です。彼は、アイヌ語で「カエル」を意味する「ビッキ」という幼少の頃のあだ名を名乗りました。1953 年、ビッキは東京の南に位置する鎌倉で 6 年ほど過ごし、後に彼の抽象彫刻を強く特徴づけることになる前衛芸術やシュルレアリスム芸術に触れました。彼の両親は公民権や先祖伝来の土地の返還を熱心に提唱していました。両親の活動は彼の作品に大いに影響を与え、1970 年代にアイヌの権利を求めるデモに参加した彼は、文化に対する誇りを育むためにアイヌの旗をデザインしました。

1983 年、ビッキはカナダのブリティッシュコロンビア州で、先住民族であるハイダ族（アメリカインディアンの一民族）の芸術家ビル・リード（1920-1998）と 3 ヶ月を過ごしました。北西海岸地域で見たトーテムポールに深い感銘を受けた彼のその後の作品には、先住民族の芸術家たちと過ごした日々の影響が見られます。彼が制作したトーテムポールには、シマフクロウ、クマ、シャチなど、アイヌの精神文化において重要な動物が彫られていました。彼の初期のトーテムポールの一つは、二代目館長の川村カ子ト（1893-1977）を追悼して制作され、川村カ子トアイヌ記念館の外に設置されていましたが、2004 年の台風で倒壊しました。現在は、2023 年に藤戸幸夫（1949-）によって新たに彫ら

れたトーテムポールが、ビッキによるオリジナルの写真と共に館内に展示されています。

【タイトル】 熊の彫刻

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

木雕熊

木雕熊已经成为了阿伊努艺术的代名词。这些熊的木雕作品往往动感十足，有的定格在蓄势待发准备抓鲑鱼的瞬间，有的刻画出它们站在圆木上一边保持平衡一边张嘴咆哮的模样。这些作品不但是阿伊努精湛木雕技艺之中的典范，也喻示着，在 19 世纪晚期至 20 世纪“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）大量进入北海道定居后，阿伊努人所面临的生存困境。

在阿伊努的精神世界里，熊被视为山岳之神“基蒙·卡穆伊” (kimunkamuy) 的化身。依照传统，它们和所有神圣的动物一样，只会被描绘为抽象的图形符号，用在捧酒箸、礼仪头饰和其他仪式用品的装饰上。阿伊努人相信，如果以写实的方式呈现这些动物，就可能招致邪恶的卡穆伊 (kamuy；神灵) 附身而受到伤害。然而到了 20 世纪早期，阿伊努人迫于生计，也开始制作并出售具象的木雕熊。

19 世纪，越来越多的“和人”移民北海道，阿伊努人世代生活的土地被征收，赖以生存的狩猎、捕鱼等活动也遭到禁止。有人离开故土寻找工作机会，也有人试图通过销售手工制作的旅行纪念品来维持生计。手工艺者最初主要销售实用性的木雕用品，如筷子、托盘、碟子，随着旅游业的发展，才逐渐扩大到装饰性摆件等雕像作品。

<繁体字>

木雕熊

木雕熊已經成為了阿伊努藝術的代名詞。這些熊的木雕作品往往捕捉了牠們動感十足的姿態，像是蓄勢待發準備抓鮭魚的瞬間，或者是站在圓木上，一邊保持平衡一邊張嘴咆哮的模樣。這些作品是阿伊努精湛的木雕技藝中的典範，同時也象徵著在 19 世紀晚期至 20 世紀「和人」（對區別於阿伊努人、長期居住在本州等地人們的稱呼）大量進入北海道定居後，阿伊努人所面臨的生存困境。

熊在阿伊努的精神世界裡被視為山嶽之神「基蒙·卡穆伊」 (kimunkamuy) 的化身。和所有神聖的動物一樣，依照傳統，牠們只會被描繪為抽象的圖形符號，用於裝飾捧酒箸、禮儀頭飾和其他儀式用品。阿伊努人相信，如果寫實地描繪這些動物，可能招致邪

惡的卡穆伊（kamuy；神靈）附身而受到傷害。然而從 20 世紀早期開始，阿伊努人迫於生計，開始製作並出售木雕熊。

19 世紀，越來越多「和人」移民北海道，阿伊努人世世代代生活的土地被徵收，賴以生存的狩獵、捕魚等活動也遭到禁止。有些人離開故土尋找工作機會，也有些人試圖透過銷售手工製作的旅行紀念品來維持生計。手工藝者一開始銷售的木雕製品只是日常生活用品，像是筷子、托盤、碟子，但隨著旅遊業不斷發展，逐漸擴大到了裝飾性擺件等雕像作品。

<日本語仮訳>

熊の彫刻

木彫りの熊はアイヌ芸術の代名詞となっています。鮭を捕まえようとしている姿や、丸太の上でバランスを取りながら口を開けて吠えている姿など、熊をダイナミックなポーズで表現しています。これらの彫刻は、アイヌの木彫り技術の高さを示すものであると同時に、19 世紀後半から 20 世紀にかけて「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）の北海道移住が増加する中で、アイヌが直面した苦難を象徴するものでもあります。

アイヌの精神文化において、熊は「キムンカムイ」（山の神）の化身とされています。他の神聖な動物と同様に、クマは伝統的には捧酒箸、儀式用の頭飾り、その他の儀式用具を飾る抽象的なモチーフとしてのみ表現されていました。これらの動物を写実的に描写すると、邪悪な「カムイ」（神靈）が宿り、害をもたらす可能性がある信じられていました。しかし、1900 年代初頭、アイヌは生計を立てる手段として、販売用の熊の彫刻を作り始めました。

19 世紀に和人の北海道移住が進むにつれ、アイヌの先祖伝来の土地は接収され、アイヌが生活を支えるために依存していた狩猟や漁労は禁じられました。仕事を探すためにその地域を離れる人々もいれば、観光客に手工芸品を売って何とか生計を立てようとした人々もいました。職人たちは当初、箸や盆、皿などの木彫りの日用品を販売していましたが、観光業の発展とともに装飾的な置物へと制作の幅を広げていきました。

【タイトル】 アイヌ文化を未来へ継承する：川村家

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

为后世守护阿伊努文化：川村家族

直至 19 世纪晚期，旭川地区的阿伊努人依然在石狩川沿岸聚村而居。进入 20 世纪早期后，旭川开始发展起来，阿伊努人的土地却被政府征收，村中居民被迫一再搬迁。川村卡内托阿伊努纪念馆就坐落在这样一片土地上，它是日本最古老、也是唯一的私立阿伊努资料馆。这里曾经是一个名为“契卡普尼”的村庄（Cikapuni Kotan；今旭川市中心附近），1916 年，村长川村伊达基西洛玛（川村イタキシロマ；?-1943）在自家住宅旁修建了一座小小的资料馆，希望能够保存阿伊努文化，并纠正到访“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）普遍持有的一些误解。

1944 年，川村伊达基西洛玛的儿子川村卡内托（川村カ子ト；1893-1977）继承父业，出任资料馆馆长。为了在旭川地区推广阿伊努文化，川村卡内托举办了许多活动，其中包括舞蹈演出和“熊送”仪式（lomante；也称“熊灵祭”，恭送熊的神灵回归神界的仪式）。1964 年，他在旭川主持举办了北海道阿伊努祭。这场为期 5 天的庆典吸引了北海道各地的 500 多名阿伊努后人前来，大家一起参与传统仪式和慰灵祭，参加吟诵故事比赛、木雕比赛和一场有关阿伊努文化的讨论会。

接掌资料馆之前，川村卡内托是一名铁道测绘员。在这段职业生涯中，他曾先后在北海道、长野、萨哈林岛（库页岛）和韩国工作。根据当时的相关文献记录，由于阿伊努人受到歧视，他的薪资报酬只有“和人”同事的一半。尽管如此，为了在接任馆长之后能着手扩建资料馆，他还是节衣缩食，努力存钱。

川村卡内托的行动并没有止步于文化保护，他将资料馆打造成可守护和分享传统风俗习惯与知识的阿伊努纪念馆，以此主张阿伊努人的身份认同和权利。他的后人延续了这一事业，其中一个代表人物就是他的儿子川村兼一(1952-2021)、纪念馆的第三任馆长。川村兼一联合本地志愿者，在纪念馆的场地内修建了一座传统的阿伊努住宅“栖舍”小屋（cise），促进了阿伊努人与本地社区其他成员之间的协作。他还开设阿伊努语课程，并组织与中国台湾、加拿大、夏威夷及美国其他地区等海外原住民的交流活动。

川村兼一的儿子川村晴道(1999-)在父亲过世后接任纪念馆馆长。他承袭父亲的遗志，继续关注植物采集与加工、木雕等阿伊努文化的展示，并坚持每年举办由他父亲于 1998 年创办的旭川阿伊努文化节。

<繁体字>

為後世守護阿伊努文化：川村家

直至 19 世紀晚期，旭川地區的阿伊努人依然在石狩川沿岸聚村而居。進入 20 世紀早期後，旭川開始發展起來，阿伊努人的土地卻被政府徵收，村中居民被迫一再搬遷。日本最古老、也是唯一的私立阿伊努資料館「川村卡內托阿伊努紀念館」就坐落在這樣一片土地上，這裡曾經屬於一個名為「契卡普尼」的聚落（Cikapuni Kotan；今旭川市中心附近）。1916 年，村長川村伊達基西洛瑪（川村イタキシロマ；?-1943）在自家住宅旁修建了一座小小的資料館，希望能夠保存阿伊努文化，並糾正到訪「和人」（對區別於阿伊努人、長期居住在本州等地人們的稱呼）常會有的一些誤解。

川村伊達基西洛瑪的兒子川村卡內托（川村カ子ト；1893-1977）在 1944 年繼承父業，出任資料館館長。川村卡內托為了在旭川地區推廣阿伊努文化，舉辦了許多活動，包括舞蹈演出和「熊送」儀式（Iomante；也稱「熊靈祭」，恭送熊的神靈回歸神界的儀式）。1964 年，他在旭川舉辦了為期 5 天的北海道阿伊努祭，這場慶典吸引了北海道各地的 500 多名阿伊努後人前來。大家共同參與傳統儀式、慰靈祭、吟誦故事比賽、木雕比賽和一場有關阿伊努文化的討論會。

川村卡內托在接掌資料館之前是一名鐵道測繪員，曾先後在北海道、長野、薩哈林島（庫頁島）和韓國工作。根據相關文獻記錄，由於阿伊努人受到歧視，他的薪資報酬只有「和人」同事的一半。儘管如此，他為了在接任館長之後能著手擴建資料館，還是節衣縮食，努力存錢。

川村卡內托的行動並不止步於文化保護，他將資料館打造成可守護和分享傳統風俗習慣與知識的阿伊努紀念館，以此主張阿伊努人的身分認同和權利。他的後人延續了這一事業，其中一個代表人物就是他的兒子、第三任館長川村兼一（1952-2021）。川村兼一聯合本地志工在紀念館的場地內修建了一座傳統的阿伊努住宅「棲舍」小屋（cise），促進了阿伊努人與當地社群其他成員之間的合作。他還開設阿伊努語課程，並與台灣、加拿大、夏威夷及美國其他地區等海外原住民展開交流。

川村兼一的兒子川村晴道（1999-）在父親過世後接任紀念館館長。他承襲父親的遺志，繼續關注植物採集與加工、木雕等阿伊努文化的展示，並堅持每年舉辦由其父在 1998 年創辦的旭川阿伊努文化節。

<日本語仮訳>

アイヌ文化を未来へ継承する：川村家

19世紀後半まで、旭川地域のアイヌは石狩川沿いの集落で暮らしていました。20世紀初頭に旭川が発展するにつれ、彼らの土地は政府により接収され、これらの集落に住んでいた人々は、幾度も移住を強いられました。川村カ子トアイヌ記念館は、日本最古で唯一の私立のアイヌ資料館で、かつてチカブニコタン（現在の旭川市の中心部付近）と呼ばれた集落の一部だった土地に建っています。1916年、チカブニコタンの首長であった川村イタキシロマ（?-1943）は、自宅の隣に小さな資料館を建設しました。彼の使命は、アイヌ文化を保存し、訪れる「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）が持つ一般的な誤解を正すことでした。

イタキシロマの息子であるカ子ト（1893-1977）は、1944年に父の後を継いで館長となりました。カ子トは舞踊の公演や「イオマンテ」（熊の神霊を送る儀式）などの儀式を含むイベントを通じて、旭川でアイヌ文化の振興に努めました。1964年には旭川で北海道アイヌまつりを主催し、この5日間の祭りには北海道各地から500人以上のアイヌが参加しました。アイヌたちは伝統的な儀式や慰霊祭、朗読のコンテスト、木彫りのコンテスト、そしてアイヌ文化に関する会議に参加しました。

カ子トは、資料館を引き継ぐ前は鉄道測量士でした。彼は在職中、北海道、長野、サハリン、そして韓国で働きました。当時の記録によると、アイヌに対する差別により、彼には和人の同僚の半分の給料しか支払われなかったとされています。そのような状況にもかかわらず、館長になった時に資料館を拡張するための資金を貯めていました。

カ子トの活動は文化保存にとどまりませんでした。彼は、伝統的な習慣や知識を維持し共有できる場として記念館を位置づけることで、アイヌのアイデンティティと権利を主張する上で重要な役割を果たしました。彼の活動は子孫たちによって継承され、特に三代目館長となった息子の兼一（1952-2021）によって引き継がれました。兼一は地域のボランティアとともに記念館の敷地内に伝統的なアイヌの家屋（チセ）を建て、アイヌと地域社会の他のメンバーとの協力関係を育みました。アイヌ語教室を開催し、台湾やカナダ、ハワイをはじめアメリカの他の地域など、日本国外の先住民との交流を組織しました。

兼一の息子である晴道（1999- ）は、父の死後、記念館の館長を引き継ぎました。彼は植物の採取や調合、木彫りといったアイヌ文化のデモンストレーションや、1998年に父が創設した毎年開催される旭川アイヌ文化フェスティバルの継続などを通じて、父の活動を継承しています。

【タイトル】 葬儀の慣習と先祖供養

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

喪葬風俗和祖先供養

在阿伊努人的精神世界里，万物皆有“拉玛特”(ramat)，即万物皆有灵。阿伊努人相信，当动植物死去，它们的灵魂会返回卡穆伊(kamuy；神灵)的世界，等待下一次重生；当人死去，灵魂则会进入死后的世界，与祖先的灵魂相会。在死后的世界里，季节与日夜更替的时间都与生者世界相反。

依照传统，阿伊努人的葬礼在家中的“围炉里”(用于烹饪和取暖的地炉)旁边举行。炉火归火神“阿佩夫奇”(apehuci)管辖，这位神灵是生命之源，也是家宅的守护神。下葬前，人们要为逝者穿上白衣，再用一张大大的苇席包裹住尸身。衣服、工具、烟管、炊具等逝者生前的个人物品都要一一打碎，以释放出这些器物之灵，让它们陪伴逝者去往死后的世界。亲友家人则要齐聚家中，追忆与逝者相关的往事，供奉卡穆伊，祈求逝者能够在死后的世界里享受平静和安宁。

<繁体字>

喪葬風俗和祖先供養

在阿伊努人的精神世界裡，萬物皆有「拉瑪特」(ramat)，即萬物皆有靈。阿伊努人相信，在死後的世界裡，季節與日夜更替的時間都與生者世界相反。當動植物死去，其靈魂會返回卡穆伊(kamuy；神靈)的世界，等待下一次重生；當人死去，靈魂則會進入死後的世界，與祖先的靈魂相會。

依照傳統，阿伊努人的葬禮在家中的「圍爐裏」(用於烹飪和取暖的地爐)旁邊舉行。爐火歸生命之源、家宅的守護神——火神「阿佩夫奇」(apehuci)管轄。下葬前，人們要為逝者穿上白衣，再用一張大大的葦席包裹住屍身。逝者生前的個人物品，像是衣服、工具、煙管、炊具都要一一打碎，以釋放出這些器物之靈，陪伴逝者前往死後的世界。親友家人則要齊聚家中追憶逝者，供奉卡穆伊，祈求逝者能夠在死後的世界裡享受平靜和安寧。

<日本語仮訳>

葬儀の慣習と先祖供養

アイヌの精神文化では、すべてのものに「ラマツ」（魂）が宿ると考えられています。植物や動物が死ぬと、その「ラマツ」は「カムイ」（神霊）の世界に戻り、再び生まれ変わります。人が死ぬと、その「ラマツ」は死後の世界へ旅立ち、先祖の霊と合流すると信じられています。死後の世界では、季節や時間は生者の世界とは反対になっています。

葬儀は伝統的に家の中の囲炉裏（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）の傍らで執り行われました。囲炉裏の火は、生命の源であり、家の守護者である「アペフチ」（火の神）の領域でした。故人は白装束を着せられ、大きな葦の敷物に包まれて埋葬されました。故人の衣服や道具、煙管、調理器具などの遺品は壊されました。これは各々の「ラマツ」を解放し、故人の魂と共に死後の世界へ旅立てるようにするためでした。友人や家族は故人の家を集まり、故人にまつわる思い出を語り合い、故人が安らかな死後の世界を過ごせるよう「カムイ」に供物を捧げました。

【タイトル】 自然との精神的な調和：カムイとアイヌ

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

精神与自然的和谐共鸣：卡穆伊和阿伊努人

阿伊努人精神世界的核心在于对物质与精神世界和谐共鸣的深厚敬意。阿伊努人相信，在自然界里，无论动物、植物、自然现象，甚至于物品，一切都有灵。所有“灵”统称为“拉玛特”(ramat)，其中有一些被尊为卡穆伊(kamuy；神灵)。相传卡穆伊会化身为动物、植物、天气、工具等降临人世，给予人类生存所必须的馈赠，包括肉类、毛皮、编织和雕刻的材料等。

为了回报卡穆伊的馈赠，阿伊努人举办仪式，献上供品，以此维系与卡穆伊之间的互惠关系。而众多卡穆伊之中，最尊贵者有二，分别是以棕熊形态出现的山岳之神“基蒙·卡穆伊”(kimunkamuy)和以毛腿渔鸮形态出现的村庄守护神“科坦克尔·卡穆伊”(kotankorkamuy)。

“熊送”(lomante；也称“熊灵祭”)是阿伊努文化中最重要仪式之一，人们通过这样的仪式，将卡穆伊之灵送回神界。仪式通常持续数天，期间有祈祷、歌唱、为取悦卡穆伊而进行的舞蹈，也有表达感激之情的供奉。人们怀着崇敬之心恭送卡穆伊离开，同时期盼它们能带着新的馈赠和祝福重返人间。

<繁体字>

精神與自然的和諧共鳴：卡穆伊和阿伊努人

對物質與精神世界的和諧共鳴充滿深厚敬意，是阿伊努人精神世界的核心。在阿伊努人看來，自然界的萬物都有靈，無論是動物、植物、自然現象，還是物品。所有「靈」統稱為「拉瑪特」(ramat)，其中有一些被尊為卡穆伊(kamuy；神靈)。相傳卡穆伊會化身為動物、植物、天氣、工具等降臨人世，給予人類生存所必需的饋贈，像是肉類、毛皮、編織和雕刻的材料。

阿伊努人通過舉辦儀式、獻上供品，回報卡穆伊的饋贈，同時維繫與卡穆伊之間的互惠關係。而在所有卡穆伊中最尊貴者有二，分別是以棕熊形態出現的山嶽之神「基蒙·卡穆伊」(kimunkamuy)，和以毛腿漁鸮形態出現的聚落守護神「科坦克爾·卡穆伊」(kotankorkamuy)。

阿伊努文化中最重要的儀式之一是「熊送」（lomante；也稱「熊靈祭」）。透過這樣的儀式，人們將卡穆伊之靈送回神界。通常送靈儀式會持續數天，期間有祈禱、歌唱、為取悅卡穆伊而進行的舞蹈，還有表達感激之情的供奉。人們懷著崇敬之心，恭送卡穆伊離開，同時期盼祂們能帶著新的饋贈和祝福重返人間。

<日本語仮訳>

自然との精神的な調和：カムイとアイヌ

アイヌの精神文化の中心には、物質界と精神界の調和に対する深い敬意があります。アイヌは、動物、植物、自然現象、そして物に至るまで、自然界のあらゆるものに「ラマツ」（魂）が宿ると信じています。その中でも、一部は「カムイ」（神霊）として崇拝され、仮の姿（動物、植物、天候、道具など）で人間界を訪れ、肉や毛皮、織物や木工の材料など、生存に不可欠な贈り物をもたらすと考えられています。

これらの贈り物への返礼として、アイヌは「カムイ」との互恵的な関係を維持するため、儀式を執り行い、供物を捧げます。最も崇拝される「カムイ」の中でも特に重要なのは、山の神（キムンカムイ）であるヒグマと、村を守護する神（コタンコロカムイ）であるシマフクロウです。

「カムイ」の魂を元の世界へ送り返す儀式である「イオマンテ」は、アイヌ文化における最も重要な儀式の一つです。数日間にわたるこの儀式には、祈り、歌、「カムイ」を楽しませるための踊り、そして感謝の供物が含まれます。新たな贈り物と祝福とともに人間界に戻ってくることへの期待を込めて、「カムイ」は敬意を持って送り出されます。

【タイトル】 アイヌの住居：チセ

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努人的住房：栖舍小屋

常规的阿伊努住房是一种被称为“栖舍”(cise)的木制骨架单间建筑。屋顶和墙面均为茅葺，但各地区的取材不同。在如今旭川市所在的上川地区，人们使用阔叶竹作为茅葺材料。

房屋内部为泥土地面，铺着干草，上面再加一层芦苇编织的地垫用于保温。房屋正中是一个用来供暖、烹饪、熏制食物的炉灶，称“围炉里”。在阿伊努人的心目中，围炉里是神圣的区域，也是火神阿佩夫奇(apehuci)的化身，守护着家宅和居住其中的人。人们制定了许多规矩来表达对围炉里的尊敬，比如不能踩踏炉灶的边框。

为方便采光和通风，栖舍小屋通常开有 2~3 个窗户。后墙上的大窗是专门留给卡穆伊(kamuy；神灵)出入使用的，窗外设有一个被称为“努萨桑”(nusasan)的祭坛，通常是一个木架，上面放着一排“伊纳乌”(inaw；用刀具将木材表面削出多条细长薄片，再整理成簇状的物品)，献给卡穆伊的供品就系在祭坛上。

一个阿伊努村庄大致不会超过 10 户人家。各家屋宅的外围建有村民公用的附属设施，例如仓库、男女分开的厕所、倾倒炉灰的垃圾场、风干鱼和其他肉类的晒架等。

<繁体字>

阿伊努人的住房：棲舍小屋

帶木製骨架的單間建築「棲舍」(cise)是最常規的阿伊努住宅。屋頂和牆面均為茅葺，但各地區的取材不同。在如今旭川市所在的上川地區，人們使用闊葉竹作為茅葺材料。

房屋內部為泥土地面，鋪著乾草，上面再加一層蘆葦編織的地墊用於保溫。房屋正中的「圍爐裏」是一個用來供暖、烹飪、薰制食物的爐灶。在阿伊努人的心目中，圍爐裏是神聖的區域，也是火神阿佩夫奇(apehuci)的化身，守護著家宅和居住其中的人。為了表達對圍爐裏的尊敬，人們制定了許多規矩，像是不能踩踏爐灶的邊框。

棲舍小屋通常開有 2~3 個窗戶，方便採光和通風。後牆上有一面專門留給卡穆伊(kamuy；神靈)出入的大窗，窗外設有一個被稱為「努薩桑」(nusasan)的祭壇，通

常是一個木架，上面放著一排「伊納烏」（inaw；用刀具將木材表面削出多條細長薄片，再整理成簇狀的物品），獻給卡穆伊的供品就繫在祭壇上。

一個阿伊努聚落通常不會超過 10 戶人家。各家屋宅周圍建有像是倉庫、男女分開的廁所、傾倒爐灰的垃圾場、風乾魚和其他肉類的曬架等村民共用的附屬設施。

003-037

<日本語仮訳>

アイヌの住居：チセ

一般的なアイヌの住居（チセ）は、木造の骨組みを持つ一室の建物でした。屋根と壁は茅葺きで、その材料は地域によって異なりました。現在の旭川市を含む上川地方では、広葉竹が茅葺きの材料として使用されていました。

内部は土間で、乾燥させた草が敷かれ、その上に断熱のために葦で編んだ敷物を重ねていました。家の中心には、暖をとり、調理や食品の燻製に使用する囲炉裏がありました。囲炉裏は神聖なものとされ、家とその住人を守る火の神「アペフチ」の化身と考えられていました。囲炉裏の周囲の枠を踏まないようにするなど、囲炉裏に対する敬意を示すための決まりがありました。

窓は採光と換気用に 2 つか 3 つありました。家の裏側にある大きな窓は、「カムイ」（神霊）の出入り専用とされていました。この窓の外には「ヌササン」（祭壇）があり、通常は木製の枠に支えられた「イナウ」（木材の表面を削り、房状にしたもの）が並べられていました。「カムイ」への供物はこの祭壇に結び付けられました。

一つの集落には通常 10 軒を超えない家がありました。家々の周囲には、村人たちが共有する倉庫、男女別のトイレ、囲炉裏の灰を捨てる場所、魚やその他の肉を干すための棚など、さまざまな付属施設がありました。

【タイトル】 アイヌの生活における植物

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努人生活中的植物

植物是阿伊努人重要的食物和药材来源。他们采集野生植物，也种植小米和稗子等耐寒谷物。

阿伊努人采摘茗葱（茗，音同“阁”）、蜂斗菜、臭菘的叶子，放在汤或炖菜里调味；也会挖掘一种花生类的豆科植物“アハ”（aha；两型豆），煮熟了和谷物混在一起吃。此外还有一种名叫“トマ”（toma）的罌粟类植物，长着类似土豆的块茎，去皮、干燥后即可食用，也可以用来治疗胃痛和头痛。

在漫长的冬季，大乌巴百合（turep；即日本大百合）的球茎是重要的淀粉和膳食纤维来源。阿伊努人在夏天采收这些球茎，将其捣碎，泡入水里提取淀粉，晾干后就可以用来熬成类似粥的食物，或用来治疗胃痛。剩下的纤维经过发酵、干燥后制成圆饼，可以加在汤或炖菜中食用。

从夏末到秋天，阿伊努人会采摘野生葡萄、草莓、蓝靛果忍冬、核桃等等各种水果和坚果。紫葛(hat)的果实是一种本地野生葡萄，可生食；藤蔓可以加工成绳索，或用于编织各类物品。黄檗（sikerpe；檗，音同“薄荷”的“薄”）的蜡质浆果可生食，也可制成干果，或加在汤里，或搭配熊肉、鹿肉等烹饪，为菜肴增加清爽的柑橘风味。黄檗的干果还可用来缓解胃痛和感冒症状。

<繁体字>

阿伊努人生活中的植物

植物是阿伊努人重要的食物和藥材來源。他們採集野生植物，也種植小米和稗子等耐寒穀物。

阿伊努人採摘茗葱（茗，音同「閣」）、蜂斗菜、臭菘的葉子，放在湯或燉菜裡調味。他們也會挖掘一種花生類的豆科植物「アハ」（aha；兩型豆），煮熟了和穀物混在一起食用。還有一種名叫「トマ」（toma）的罌粟類植物，長著類似馬鈴薯的塊莖，阿伊努人將其去皮乾燥後吃，或用來治療胃痛和頭痛。

大烏巴百合（turep；即日本大百合）的球莖在漫長的冬季是重要的澱粉和食物纖維

來源。阿伊努人在夏天採收這些球莖，搗碎後浸泡在水中提取澱粉，晾乾後便可以熬成類似粥的食物，也可用來治療胃痛。剩下的纖維經過發酵、乾燥製成圓餅後，可以加在湯或燉菜中食用。阿伊努人從夏末到秋天會採摘野生葡萄、草莓、藍靛果忍冬、核桃等各種水果和堅果。紫葛是一種當地野生葡萄，果實可生食；藤蔓可以加工成繩索，或用於編織各類物品。黃檗（sikerpe；檗，音同「薄荷」的「薄」）的蠟質漿果可生食，也可製成乾果，或者加在湯裡，又或者和熊肉、鹿肉等一起烹飪，為菜餚增添清爽的柑橘風味。紫葛的乾果則能用來緩解胃痛和感冒症狀。

<日本語仮訳>

アイヌの生活における植物

アイヌにとって、植物は食料や薬の主要な供給源でした。彼らは野生の植物を採集し、アワやヒエなどの耐寒性のある穀物を栽培しました。

「ブクサ」（ギョウジャニンニク）、フキ、ザゼンソウの葉を集めてスープや煮物の風味付けにしたり、落花生に近いマメ科の「アハ」（ヤブマメ）を掘り出して茹でて穀物と混ぜていました。「トマ」（ケシの一種）のジャガイモに似た塊茎は、皮をむいて乾燥させて後で食べたり、胃痛や頭痛の治療にも使用されていました。

オオウバユリ（トウレブ）の球根は、冬の間的重要なでんぷんと繊維の供給源でした。夏に収穫された球根は、潰して水に浸けることででんぷんを抽出し、乾燥させてお粥のような料理に使用されていました。また、このでんぷんは胃痛の治療にも使われていました。残った繊維は発酵させて円盤状に乾燥させ、スープや煮込み料理に加えられていました。

晩夏から秋にかけて、アイヌは野生のブドウ、イチゴ、ハスカップ、クルミなどの果実や木の実を採取しました。在来種のブドウである「ハツ」（ヤマブドウ）の実は、生で食べられ、その蔓はロープとして、また編み物に使用されました。「シケレペ」（キハダ）のろう質の実は、生で食べたり乾燥させたり、スープに入れたり、クマやシカの肉に爽やかな柑橘系の風味を加えるために組み合わせて使用されました。乾燥させた実は胃痛や風邪の症状を和らげるために使用されました。

【タイトル】 入れ墨

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

纹唇

在阿伊努文化中，只有女性可以纹唇。阿伊努人相信，纹唇可以保护女性不受邪灵侵害，并让她们达到社群的审美标准。纹唇是成年的标志，也是为将来进入死后的世界所做的准备。阿伊努的纹唇师向来都是女性，通常是祖母或姨妈，纹唇技艺则为母女相传。

一般情况下，纹唇从少女进入青春期的 12 或 13 岁开始。纹唇师使用一柄小刀，沿着女孩的上嘴唇划出细碎的小切口，随后将白桦树烟灰和艾蒿混合而成的染料揉入伤口中，最终在皮肤上留下醒目的深蓝色。

到了大概 15、16 岁的时候，阿伊努女孩会在下嘴唇上做第二次纹唇，然后得到一块绣花头巾和一条珠串项链。纹唇最终在女孩 20 岁左右时全部完成，表示她已经为结婚做好了准备。围绕唇边的线条此时已经向两侧脸颊延伸开去，女孩也会得到一条在特殊场合佩戴的、更为精致的项链，以及配套的金属耳环。

1871 年，作为要求阿伊努人接受同化融入“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）社会的举措之一，日本政府下令禁止阿伊努女性纹唇。据当时的资料记载，许多女性都拒绝服从这项法令，因为她们坚信，没有纹唇就无法结婚，也无法进入死后的世界。

<繁体字>

紋唇

在阿伊努文化中，只有女性可以紋唇，紋唇師也都是女性，通常是祖母或姨媽，紋唇技藝則為母女相傳。阿伊努人相信，紋唇可以保護女性不受邪靈侵害，並讓她們達到社群的審美標準。紋唇也是成年的標誌，還是為將來進入死後世界所做的準備。

一般來說，紋唇從少女進入青春期的 12 或 13 歲開始。紋唇師使用一柄小刀，沿著女孩的上嘴唇劃出細碎的小切口，隨後將白樺樹煙灰和艾蒿混合而成的染料揉入傷口中，這樣就會在皮膚上留下醒目的深藍色。

阿伊努女孩大概在 15、16 歲的時候，會接受位於下嘴唇的第二次紋唇，同時會得到一塊繡花頭巾和一條珠串項鍊。在 20 歲左右，紋唇全部完成，這代表她已經為結婚做好

準備。圍繞唇邊的線條此時已經向兩側臉頰延伸，女孩也會得到一條更為精緻的項鍊，以及與之相配的金屬耳環，可在特殊場合佩戴。

1871 年，日本政府下令禁止阿伊努女性紋唇，這是要求阿伊努人接受同化、融入「和人」（為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼）社會的舉措之一。根據當時資料記載，許多女性堅信，沒有紋唇就無法結婚，也無法進入死後的世界，因此拒絕服從這項法令。

<日本語仮訳>

入れ墨

アイヌ文化において、入れ墨は女性だけのものでした。入れ墨は悪霊から身を守り、女性を共同体の目に美しく見せ、女性が成人したことを示すとともに死後の世界に向けて準備をするものと信じられていました。アイヌの入れ墨師は常に女性で、通常は祖母か母方の叔母が務めました。入れ墨の技法は母から娘へと伝承されました。

入れ墨は通常、少女が思春期を迎える 12 歳か 13 歳頃から始められました。入れ墨師は小さな刀で上唇に細かい切り込みを入れ、そこに白樺の煤とヨモギから作られた墨を擦り込みました。その結果、特徴的な濃紺色が生まれました。

15 歳か 16 歳頃、アイヌの少女は下唇に 2 番目となる入れ墨を施されました。この段階で、刺繍を施した鉢巻きとビーズの首飾りも与えられました。20 歳頃までには入れ墨が完成し、それは結婚の準備ができたことを象徴していました。口の周りの線は顔の横に向かって延長され、特別な機会のためにより手の込んだ首飾りと金属の耳飾りが贈られました。

1871 年、日本政府はアイヌを「和人」（日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称）社会に同化させる政策の一環として、アイヌ女性の入れ墨を禁止しました。当時の記録によると、多くの女性たちは入れ墨がなければ結婚できず、死後の世界にも行けないと信じていたため、この法律に従うことを拒みました。

【タイトル】 藤戸幸夫によるトーテムポール

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

藤户幸夫的图腾柱

2023 年，藤户幸夫(1949-)雕刻了一根 6.6 米高的图腾柱。它在设计上复刻了早前阿伊努艺术家砂泽比基(Sunazawa Bikky;1931-1989)为追悼川村卡内托（川村カ子ト；1893-1977）而在 1979 年创作的图腾柱，后者是川村卡内托阿伊努纪念馆的第二任馆长。

原来的图腾柱高 10 米，立在纪念馆外，在 2004 年被台风吹倒。砂泽比基是图腾柱的设计者，同时邀请了其他阿伊努木雕师共同参与制作，因此，这根柱子是集体创作的成果。

新老两根图腾柱上的雕刻图案都展现了阿伊努人的精神世界。最顶端是一只毛腿渔鸮，它是阿伊努村庄的守护神“卡穆伊”（kamuy；神灵）。往下紧接着的是川村家族的标记，一个符号化的虎鲸背鳍。再往下，一条独木舟内刻着两个重要形象：代表山岳之神的棕熊的头部和代表海洋之神的虎鲸。如今，藤户幸夫的新图腾柱与原图腾柱的照片一同在纪念馆内展出。

<繁体字>

藤戶幸夫的圖騰柱

藤戶幸夫（1949-）在 2023 年雕刻了一根圖騰柱，高 6.6 公尺。它在設計上復刻了早前阿伊努藝術家砂澤比基（Sunazawa Bikky;1931-1989）為追悼川村卡內托（川村カ子ト；1893-1977）而在 1979 年創作的圖騰柱。川村卡內托是川村卡內托阿伊努紀念館的第二任館長。

原來的圖騰柱立在紀念館外，高 10 公尺，2004 年被颱風吹倒。雖然圖騰柱的設計者是砂澤比基，但他也邀請了其他阿伊努木雕師參與製作，因此這根柱子是集體創作的成果。

新老兩根圖騰柱上的雕刻圖案都展現了阿伊努人的精神世界。最頂端是一隻毛腿漁鸮，祂是阿伊努聚落的守護神「卡穆伊」（kamuy；神靈）。其下方是川村家的標記——一個符號化的虎鯨背鰭。再往下，一條獨木舟內刻著代表山嶽之神的棕熊的頭部，以及代表海洋之神的虎鯨。現在，藤戶幸夫的新圖騰柱與原圖騰柱的照片同時在川村卡內托阿伊

努記念館内展出。

<日本語仮訳>

藤戸幸夫によるトーテムポール

6.6 メートルの高さのトーテムポールは、藤戸幸夫（1949- ）によって 2023 年に制作されました。これは、川村カ子トアイヌ記念館・二代目館長の川村カ子ト（1893-1977）を追悼するために、アイヌの芸術家である砂澤ビッキ（1931-1989）が 1979 年に制作した以前のトーテムポールのデザインを再現したものです。

オリジナルのトーテムポールは高さ 10 メートルで、2004 年に台風で倒壊するまで記念館の外に立っていました。砂澤ビッキはトーテムポールをデザインしましたが、共同制作となるよう、他のアイヌの木彫り職人たちに制作の協力を依頼しました。

オリジナルと新しいトーテムポールの両方に彫られたモチーフは、アイヌの精神文化を反映しています。最上部にはアイヌの村を守護する「カムイ」（神霊）であるシマフクロウが配置されています。その下には川村家の象徴である図案化されたシャチの背びれが彫られています。丸木舟が 2 つの重要な像、つまり山の「カムイ」を表すヒグマの頭部と、海の「カムイ」であるシャチを囲んでいます。記念館内に、藤戸が製作したトーテムポールと共に、オリジナルのトーテムポールの写真も展示されています。

【タイトル】北海道：先史時代から近世のはじめまで

【想定媒体】アプリ、QRコード

<簡体字>

北海道：从史前时代到近代早期

日本北部的史前人类自从大约 3 万年前移居这片区域以后，就逐渐形成了新的生活方式。他们从追逐大型哺乳动物而四处迁徙，转为建立定居点，依靠狩猎、捕鱼和采集为生。随着定居生活方式日渐稳固，文化和社会形态也发生了相应转变。在公元前 13,000 年前后，陶器的普及标志着绳文时代（公元前 13,000～前 300 年）的开启。早期的陶器样式简单，注重实用性。随着时间的推移，逐渐出现了更加复杂精细的设计。

随着定居点的不断发展和人口的增长，社群之间的交易也愈发广泛，人们开始借助北海道的水路交换毛皮、工具和黑曜石等原材料。截至后绳文时代（公元前 300 年～公元 600 年），贸易网扩展到了北海道与日本本土本州岛之间，而此时的本州岛已进入农业社会并掌握了金属制造工艺。得益于本州岛传入的铁器和其他先进技术，后绳文时代的北海道社群在狩猎、捕鱼和农耕技术方面都有了极大的发展。

进入擦文时代^{*}(600-1200)后，鲑鱼成为了珍贵的商品。擦文时代的北海道居民从本州岛引入铁器、纺织品和陶土炉灶。此外，他们还与鄂霍次克海、萨哈林岛（库页岛）、千岛群岛以及北海道北部的鄂霍次克人建立了往来，后者擅长猎捕海豹、鲸鱼和其他海洋哺乳动物。年深日久，文化逐渐交融。有学者相信，鄂霍次克人与擦文人的交流对阿伊努文化的形成具有一定的影响。

※擦文时代：日本历史上的一个时代划分，指以北海道特有的擦文土器的使用为界定标准的文化繁荣时期。

<繁体字>

北海道：從史前時代到近代早期

大約 3 萬年前，日本北部的史前人類移居這片區域，從此逐漸形成新的生活方式。他們之前總為了追逐大型哺乳動物而四處遷徙，在確立定居點後，開始轉為依靠狩獵、捕魚和採集為生。隨著定居生活方式日漸穩固，文化和社會形態也發生了相應轉變。陶器在西元前 13,000 年前後開始普及，這也標誌著繩文時代（西元前 13,000-前 300 年）的開啟。

早期的陶器樣式簡單，注重實用性。隨著時間的推移，逐漸出現了更加複雜精細的設計。

隨著定居點不斷發展，人口逐步增長，社群之間的交易也愈發廣泛，人們開始借助北海道的水路交換毛皮、工具和黑曜石等原材料。到了後繩文時代（西元前 300 年-西元 600 年），貿易網擴展到北海道與日本本州之間。當時，本州已進入農業社會並掌握了金屬製造工藝。得益於本州傳入的鐵器和其他先進技術，後繩文時代的北海道社群在狩獵、捕魚和農耕技術方面都得到了發展。

進入擦文時代^{*}（600-1200）後，鮭魚成為了珍貴的商品。擦文時代的北海道居民從本州引入了鐵器、紡織品和陶土爐灶。此外，他們還與擅長獵捕海豹、鯨魚和其他海洋哺乳動物的鄂霍次克人建立了往來，鄂霍次克人居於鄂霍次克海、薩哈林島（庫頁島）、千島群島以及北海道北部。隨著交往年深日久，文化逐漸交融。有學者認為，鄂霍次克人與擦文人的交流對阿伊努文化的形成具有一定的影響。

※擦文時代：日本歷史上的一個時代劃分，指以北海道特有的擦文土器之使用為界定標準的文化繁榮時期。

<日本語仮訳>

北海道：先史時代から近世のはじめまで

北日本の先史時代の人々は、約 3 万年前に最初に移住した後、徐々に新しい生活様式を取り入れました。彼らは、大型哺乳類を追ってさまよう生活から、集落を築き、狩猟、漁労、採集に従事する生活へと移行しました。文化や社会も、定住化したライフスタイルに合わせて変化していきました。紀元前 13,000 年頃、土器が使われるようになり、縄文時代（紀元前 13,000 年-紀元前 300 年）が始まりました。初期の土器はシンプルで実用的なものでしたが、時間の経過とともに、より複雑なデザインが現れました。

集落が発展し人口が増加するにつれ、共同体はより広範な交易を始め、北海道の水路を利用して毛皮、道具、黒曜石などの原材料を交換するようになりました。続縄文時代（紀元前 300 年-紀元後 600 年）には、北海道は農耕社会が金属加工に従事していた本州と交易網で繋がります。本州から鉄器やその他の先進的な技術が入ってきたことにより、続縄文時代の共同体は狩猟、漁労、農耕の技術を向上させることができました。

擦文時代^{*}（600-1200）には、サケが価値のある交易品となりました。擦文の北海道の住民は本州から鉄器、織物、土製の調理用かまどを取り入れました。また彼らは、オホーツク海、サハリン、千島列島、北海道北部のオホーツク人とも交流を持ちました。オホーツク人はアザラシ、クジラ、およびその他の海棲哺乳類の狩猟を専門としていました。時間の経過とともに共通の文化が生まれ、一部の研究者は、オホーツク人と擦文の人々との交流がアイヌ文化の形成に影響を与えたと考えています。

※擦文時代：北海道に特有の擦文土器の使用を指標とした文化が栄えた時期を範囲とする時代区分。

【タイトル】北海道：19 世紀から現代まで

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

北海道：从 19 世纪到现在

1868 年，明治政府(1868-1912)成立。1869 年，虾夷被正式纳入日本版图，并改名为“北海道”。对于阿伊努人来说，这是一个重要的转折点，意味着一个受苦受难、被迫接受文化同化时代的开启。阿伊努人被收编为日本公民，同时却也失去了独立民族的身份。阿伊努自古拥有的狩猎场和渔场被夺走，孩子在学校被强制只能说日语。

阿伊努人世代与土地和谐共存，依靠大地给予的自然资源生活。然而，屯田兵（受政府雇佣的农民兼士兵）的到来几乎彻底颠覆了他们原有的生活方式。屯田兵受命砍伐森林、开垦农田，同时肩负守卫日本北部边境、抵御俄国威胁的任务。然而，对于阿伊努人来说，这一切只意味着自己民族祖祖辈辈生活的土地被侵占，自治权被剥夺。

1899 年，日本政府出台《北海道旧土人保护法》，以保护阿伊努人的权益为名，行强制实施日本文化同化之实。政府强行要求阿伊努人改用日文姓名，鼓励他们耕地种田，不允许他们使用本民族语言。虽然经历了这一切，阿伊努文化依然顽强地留存了下来。在整个 20 世纪里，阿伊努社会活动人士不断发起抗议和请愿，要求归还他们的土地，废除《北海道旧土人保护法》。该法令最终于 1997 年废除。今天，凭借着手工艺品、各种仪式和口头传承，阿伊努人的历史与文化得以延续，留给子孙后代。

<繁体字>

北海道：從 19 世紀到現在

明治政府（1868-1912）於 1868 年成立。1869 年，蝦夷被正式納入日本領土，並更名為「北海道」。對於阿伊努人來說，這是一大重要的轉捩點，從此，一個艱難、被迫接受文化同化的時代開啟了。阿伊努人被收編為日本公民，失去了獨立民族的身份。他們自古擁有的狩獵場和漁場被奪走，孩子在學校被強制只能說日語。

阿伊努人世世代代與土地和諧共存，依靠大地給予的自然資源生活。然而，屯田兵（受政府雇傭的農民兼士兵）到來後，這種原有的生活方式幾乎被徹底顛覆。屯田兵受命砍伐森林、開墾農田，同時肩負守衛日本北部邊境、抵禦俄國威脅的任務。然而，對於阿伊努人來說，這一切只意味著自己民族世世代代生活的土地被侵佔，自治權被剝奪。

日本政府於 1899 年出台《北海道舊土人保護法》，這部法令名義上保護阿伊努人的權益，實則用日本文化對其實施同化。政府強制阿伊努人改用日文姓名，不允許他們說母語，鼓勵他們耕地種田。雖然經歷了這一切，阿伊努文化依然頑強地留存了下來。阿伊努社會運動人士在整個 20 世紀裡不斷發起抗議和請願，要求歸還他們的土地，廢除《北海道舊土人保護法》。在許多人的努力下，該法令最終於 1997 年廢除。今天，憑藉著手工藝品、各種儀式和口頭傳承，阿伊努人的歷史與文化得以延續，並留存給後代子孫。

<日本語仮訳>

北海道：19 世紀から現代まで

1869 年、明治政府（前年の 1968 年に新しく発足）は正式に蝦夷を日本の一部とし、北海道と改名しました。これはアイヌにとって転換点となり、苦難と文化的同化の時代の始まりとなりました。日本国民として宣言されたアイヌは、民族的アイデンティティを奪われました。伝統的な狩猟地や漁場は取り上げられ、子どもたちは学校で日本語のみを話すことを強制されました。

何世代にもわたり、アイヌは土地と調和して暮らし、その自然資源に頼って生活してきました。しかし、屯田兵として知られる政府にやとわれた農民兵士の到来は、彼らの生活様式を劇的に変えてしまいました。屯田兵は農地開拓のための森林伐採と、ロシアの脅威からの日本の北方国境の防衛という任務を負っていましたが、アイヌにとって彼らは先祖伝来の土地の没収と自治の喪失を意味していました。

1899 年、政府は「北海道旧土人保護法」を制定しました。これは、アイヌを保護する手段として提示しながら、実際は彼らを日本文化に効果的に同化させるためのものでした。アイヌには日本名が与えられ、農業を営むことを奨励され、母語を話すことは抑制されました。このような政策にもかかわらず、アイヌ文化は存続してきました。20 世紀を通じて、アイヌの活動家たちは土地の返還と「北海道旧土人保護法」の廃止を求めて抗議と請願を続け、保護法は 1997 年についに廃止されました。今日、工芸、儀式、口頭伝承によって、アイヌの歴史と文化は次世代に向けて継承されています。

【タイトル】 アイヌと星々

【想定媒体】 アプリ、QRコード

<簡体字>

阿伊努与星辰

阿伊努人借助星星航海，也用它们来讲述故事。星座常常被描述成神话人物、动物和日常生活中的某个部分。在旭川，阿伊努人称北极星为“珀罗诺契乌” (Poronociw)，意思是“伟大的星辰”。它旁边的北斗七星被称为“午珀珀诺契乌” (Upoponociw)，即“舞之星”。阿伊努人相信，七颗闪亮的星星代表 7 个围圈欢歌笑舞的姑娘。昴星团（昴，音同“卯”）名叫“阿尔万诺契乌” (Arwannociw)，背后却是一段截然相反的传说，故事的主角也是 7 位姑娘，只是她们总想着偷懒不干农活儿。

有的星辰与阿伊努人日常生活中的喜乐悲愁紧密相关。金星过去被称为“欧奴曼诺契乌” (Onumannociw；夜明星)，却在 18 世纪换上了新名字“苏瓦刺诺契乌” (Suwaranociw；栖原之星)。秋季是鲑鱼捕捞的高峰季，石狩湾商业渔场里的阿伊努劳工每天都要工作到晚上 9 点左右才能休息，此时正是这个季节里金星从西方天空中消失的时间。因此，这枚星辰被赋予了新的象征意义，代表着阿伊努劳工在“和人”（为区别于阿伊努民族，对长期居住在本州岛等地人们的称呼）压迫下所遭受的剥削，以及相爱之人无法相守的分离之苦。“苏瓦刺”即栖原，是“和人”工场里一名监工的姓氏，他负责监管、惩处劳工。对于阿伊努人来说，“苏瓦刺诺契乌”这个名字代表着一段祖先们的悲伤苦难记忆。

<繁体字>

阿伊努與星辰

除了借助星星航海，阿伊努人也用它們來講述故事。星座常常被描述成神話人物、動物或者是日常生活中的某個部分。在旭川，阿伊努人稱北極星為「珀羅諾契烏」 (Poronociw)，意思是「偉大的星辰」。它旁邊的北斗七星被稱為「午珀珀諾契烏」 (Upoponociw)，即「舞之星」。阿伊努人相信，七顆閃亮的星星代表 7 個圍圈歡歌笑舞的姑娘。昴星團（昴，音同「卯」）名叫「阿爾萬諾契烏」 (Arwannociw)，背後卻是一段截然相反的傳說，故事的主角也是 7 位姑娘，不過她們總想偷懶不幹農活。

還有一些星辰與阿伊努人日常生活中的喜樂悲愁密切相關。金星過去被稱為「歐奴曼

諾契烏」(Onumannociw；夜明星)，卻在 18 世紀換了新名字「蘇瓦刺諾契烏」(Suwaranociw；栖原之星)。在鮭魚捕撈高峰的秋天，石狩灣商業漁場裡的阿伊努勞工每天都要工作到晚上 9 點左右才能休息，而此時正是這個季節金星從西方天空中消失的時間。因此，這枚星辰被賦予了新的象徵意義，代表著阿伊努勞工在「和人」(為區別於阿伊努人，對長期居住在本州等地人們的稱呼) 壓迫下所遭受的剝削，以及相愛之人無法相守的分離之苦。「蘇瓦刺」即栖原，是「和人」工廠裡一名監工的姓氏，他負責監管、懲處勞工。對於阿伊努人來說，「蘇瓦刺諾契烏」這個名字代表著祖先們一段悲傷苦難的記憶。

<日本語仮訳>

アイヌと星

アイヌは航海と物語の両方に星を利用していました。星座は神話上の人物や動物、日常生活の様相を描いていると考えられていました。旭川では、北極星のアイヌ名は「偉大な星」を意味する「ポロノチウ」です。近くにある北斗七星は「踊る星」を意味する「ウポポノチウ」として知られ、その 7 つの明るい星は、輪になって楽しく歌い踊る 7 人の少女を表すと信じられています。プレアデス星団は「アラワンチウ」と呼ばれ、農作業から逃げ出した怠け者の 7 人の少女という対照的な物語が伝えられています。

アイヌの生活の喜びと悲しみに密接に結びついている星もあります。金星は伝統的に「オヌマンノチウ」(宵の明星)として知られていましたが、18 世紀になると「スワラノチウ」(栖原の星)という新しい名前が付けられました。秋のサケ漁が最盛期を迎える間は、石狩湾の商業漁場で働くアイヌの労働者たちは、その時期には西の空に金星が沈む午後 9 時頃までは休むことを許されませんでした。この星は「和人」(日本国内でアイヌ民族と区別して、本州などに住んできた人々を指して使われてきた呼称)によるアイヌ労働者の搾取と、愛する者たちとの離別の象徴となりました。「スワラ(栖原)」は、過酷な労働を監督していた和人の現場管理人の名前でした。アイヌにとって、スワラノチウは先祖たちが耐え忍んだ苦難を重苦しく思い起こさせるものです。

【タイトル】カムイと交わるための捧酒箸：イクパスイ

【想定媒体】アプリ、QRコード

<簡体字>

与卡穆伊沟通的捧酒箸：伊库帕苏伊

在阿伊努文化里，人类世界与卡穆伊（kamuy；神灵）的世界是交错并存的，而被称为“伊库帕苏伊(ikupasuy)”的捧酒箸是维系两界沟通的重要工具。伊库帕苏伊是一种礼器，用于将人类的祈愿传递给卡穆伊。

依照传统，伊库帕苏伊需使用东北红豆杉或柳木雕刻而成，长 30~40 厘米，宽 3~4 厘米，外形扁平，四角圆润，一头逐渐变细。每一支伊库帕苏伊上都雕刻着代表使用者的装饰图案，以便让卡穆伊知道是谁在祈祷。图案可以是写实的绘画，也可以是抽象的图形，多以阿伊努文化中受尊崇的动物为主题，如熊、虎鲸、水獭、鸟、鱼、蛇。

举办仪式时，由阿伊努男性执箸，用伊库帕苏伊的尖头蘸酒，洒在“伊纳乌”（inaw；用刀具将木材表面削出多条细长薄片，再整理成簇状的物品）上，后者充当着人与卡穆伊之间沟通的媒介。借助伊库帕苏伊，阿伊努人向卡穆伊表达感谢、寻求指引、祈求好运。

<繁体字>

與卡穆伊溝通的捧酒箸：伊庫帕蘇伊

在阿伊努文化裡，人類世界與卡穆伊（kamuy；神靈）的世界是相互交織的，伊庫帕蘇伊（ikupasuy）則是維繫兩界溝通聯繫的重要工具。伊庫帕蘇伊也叫捧酒箸，是一種禮器，用於將人類的祈願傳遞給卡穆伊。

依照傳統，伊庫帕蘇伊需使用東北紅豆杉或柳木雕刻而成，長 30~40 公分，寬 3~4 公分，外形扁平，四角圓潤，一頭逐漸變細。每一支伊庫帕蘇伊上都雕刻著代表使用者的裝飾圖案，以便讓卡穆伊知道是誰在祈禱。這些圖案可以是寫實的繪畫，也可以是抽象的圖形，大多以阿伊努文化中受尊崇的動物為主題，像是熊、虎鯨、水獺、鳥、魚、蛇。

舉辦儀式時，由阿伊努男性執箸，用伊庫帕蘇伊的尖頭蘸酒，灑在「伊納烏」（inaw；用刀具將木材表面削出多條細長薄片，再整理成簇狀的物品）上，後者充當著人與卡穆伊之間溝通的媒介。阿伊努人借助伊庫帕蘇伊向卡穆伊表達感謝，也尋求指引、祈求好運。

<日本語仮訳>

カムイと交わるための捧酒箸：イクパスイ

アイヌ文化において、人間と「カムイ」（神霊）の世界は互いに絡み合っており、「イクパスイ」はその繋がりを維持するための重要な道具です。「イクパスイ」は人間の祈りを「カムイ」に伝える儀式用具です。

伝統的に「イクパスイ」はイチイやヤナギの木で作られます。長さは 30～40 センチメートル、幅は 3～4 センチメートルで、端が丸められた平たい形をしており、一方の先は徐々に細くなっています。それぞれの「イクパスイ」には「カムイ」が祈りを認識できるよう、所有者を表す彫刻が施されています。彫刻は写実的な描写から抽象的なデザインまで多岐にわたり、アイヌ文化で崇拝されているクマ、シャチ、カワウソ、鳥、魚、蛇などの動物がしばしば描かれます。

儀式の際、アイヌの男性たちは「イクパスイ」の先端を酒に浸し、人間と「カムイ」の間を仲介する道具である「イナウ」（木材の表面を削り、房状にしたもの）の上に振りかけます。「イクパスイ」を通じて、アイヌは感謝を表し、導きを求め、幸運を祈ります。

【タイトル】 アイヌの活動家

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努的社会活动家

自 19 世纪晚期以来，阿伊努人经历了许多艰难困苦。他们被迫搬离祖祖辈辈生活的土地，被强制同化于日本社会。尽管如此，阿伊努社会活动家们还是找到了为保护本民族语言、文化和土地而抗争的方法。

为阿伊努人的权利而抗争

荒井源次郎(1900-1991)是出生于旭川市的学者和社会活动家，也是第一位进入当地政府工作的阿伊努人。他曾在 20 世纪 30 年代前往东京抗议，要求返还阿伊努人的土地。同行的有艺术家砂泽比基(Sunazawa Bikky;1931-1989)的双亲砂泽陶阿坎诺(Sunazawa Toa-kanno;1893-1953)、砂泽佩拉蒙科罗(Sunazawa Peramonkoro;1897-1971)。终其一生，荒井源次郎都在为废除 1899 年颁布的《北海道旧土人保护法》而战。这项法令打着保护阿伊努人的名号，实际却夺走了他们的土地，导致他们的传统文化衰落。该法令最终于 1997 年废止。

语言与文化保护

砂泽佩拉蒙科罗是一位纺织品艺术家，她通过教授缝纫和刺绣技艺为阿伊努女性提供支持。她还熟知阿伊努口述史诗和民间故事，并且将这些知识传授给了阿伊努的学者，因而赢得人们的尊敬。她和丈夫砂泽陶阿坎诺双双被收录在荒井源次郎所著的《阿伊努人物传》中。

门野南凯(Monno Nanke;1881-1963)和他的妻子门野哈露耶(Monno Harue;1887-1968)是最后一代能够说阿伊努语言的阿伊努人。门野南凯从身为一村首领的祖父库钦科罗(Kucinkoro;1792-1867)那里继承了阿伊努人的传统习俗和文化。1869 年，库钦科罗曾说服政府官员放弃逼迫旭川阿伊努人迁离石狩川上游沿岸祖地的计划，因此备受敬重。

<繁体字>

阿伊努的社會運動者

阿伊努人自 19 世紀晚期以來經歷了許多艱難困苦，他們被迫搬離世代生活的土地，被強制同化於日本社會。儘管如此，阿伊努社會運動者們還是找到了為保護他們的語言、文化和土地而抗爭的方法。

為阿伊努人的權利而抗爭

出生於旭川市的學者和社會運動者荒井源次郎（1900-1991）是第一位進入當地政府工作的阿伊努人。1930 年代，他前往東京抗議，要求返還阿伊努人的土地，同行的還有藝術家砂澤比基（Sunazawa Bikky;1931-1989）的雙親砂澤陶阿坎諾（Sunazawa Toakanno; 1893-1953）、砂澤佩拉蒙柯洛（Sunazawa Peramonkoro;1897-1971）。荒井源次郎終其一生都在為廢除 1899 年頒佈的《北海道舊土人保護法》而戰，這項法令打著保護阿伊努人的名號，實際卻奪走了他們的土地，導致他們的傳統文化衰落。最後，這項法令在 1997 年廢止。

語言與文化保護

透過教授縫紉和刺繡技藝，紡織品藝術家砂澤佩拉蒙柯洛為阿伊努女性提供支援。她熟知阿伊努口述史詩和民間故事，並且將這些知識傳授給了阿伊努的學者，因而贏得人們的尊敬。荒井源次郎所著的《阿伊努人物傳》便收錄了她與丈夫砂澤陶阿坎諾的故事。

門野南凱（Monno Nanke;1881-1963）和他的妻子門野哈露耶（Monno Harue;1887-1968）是最後一代能夠說阿伊努語言的阿伊努人。門野南凱從身為一村首領的祖父庫欽柯洛（Kucinkoro;1792-1867）那裡繼承了阿伊努人的傳統習俗和文化。庫欽柯洛曾在 1869 年說服政府官員放棄逼迫旭川阿伊努人遷離石狩川上游沿岸祖地的計畫，因此備受敬重。

<日本語仮訳>

アイヌの活動家

19 世紀後半以降、アイヌは土地から強制的に追われ、日本社会への同化を強いられる中で多くの苦難を経験しました。しかし、そのような状況下でも活動家たちは、アイヌの人々の言語、文化、土地のために闘う方法を見出していました。

アイヌの権利のために闘う

荒井源次郎（1900-1991）は旭川市出身の学者であり活動家でした。彼はまた、地方自治体で働いた最初のアイヌでもありました。1930 年代、彼は芸術家の砂澤ビッキ（1931-1989）の両親である砂澤トアカンノ（1893-1953）と砂澤ペラモンコロ（1897-1971）と共に東京へ赴き、アイヌの土地の返還を求めて抗議活動を行いました。生涯を通じて、荒井は 1899 年の「北海

道旧土人保護法」の廃止を求めて闘いました。この法律はアイヌを保護するという名目で制定されましたが、土地の没収と伝統文化の衰退を招きました。この法律は最終的に 1997 年に廃止されました。

言語と文化を保護する

織物芸術家の砂澤バラモンコは、アイヌの女性たちに裁縫や刺繍を教えることで彼女たちを支援しました。彼女は口承叙事詩と物語の知識を持ち、それらをアイヌ研究者たちに伝えた人物として尊敬されています。彼女と夫のトアカンノは、荒井源次郎の著書『アイヌ人物伝』で紹介されています。

門野ナンケ（1881-1963）と妻のハルエ（1887-1968）は、アイヌ語を話す最後の世代のアイヌでした。門野ナンケは、祖父である首長のクーチンコ（1792-1867）から伝統的な慣習や文化を受け継ぎました。クーチンコは 1869 年、政府高官に対して、旭川のアイヌを石狩川上流の先祖伝来の土地から移住させる計画を断念するよう説得したことで尊敬されています。

【タイトル】 アイヌの物語と口承の歴史

【想定媒体】 アプリ、QR コード

<簡体字>

阿伊努的民间故事和口述历史

自古以来，阿伊努人就通过口述故事来保存他们的历史和传统。这些故事世代相传，往往反映了人类与卡穆伊（kamuy；神灵）的密切关系。

有些故事是用神话方式呈现历史事件。比如在旭川的一则传说里，布谷鸟向一名阿伊努孩子预警海啸将至。孩子和母亲一起逃到山上，躲在一棵松树上。第二天清晨，许多房屋被冲毁，他们却安然无恙，是化身为布谷鸟的卡穆伊拯救了他们。据说，这则故事和1834年石狩湾遭遇的一次海啸有关。

故事和史诗

阿伊努口述故事可分为英雄叙事诗、神话史诗和散文故事三大类。英雄叙事诗被称为“尤卡尔”（yukar），主要讲述勇敢的主人公置身于戏剧化情境下的英勇事迹。叙述者以自己独有的旋律吟唱，并用小木板击打出强弱交替的拍子。神话史诗被称为“卡穆伊尤卡尔”（kamuyyukar）或“奥伊纳”（oyna），以卡穆伊的视角来叙事。吟诵时会重复同一段旋律，还常常包含拟音词迭句。散文故事则被称为“乌伊派克尔”（uepeker）或“图伊塔克”（tuytak），以日常对话的方式讲述，其中一些故事蕴含道德伦理，围绕人类与卡穆伊的关系展开。

以讲故事来传承文化

明治政府(1868-1912)于1869年开始实施同化政策，压制阿伊努的语言和传统，口述故事的形式也随之日渐式微。不过，阿伊努学者们还是尽力将这些代代相传的故事以书面形式记录下来，为后世留下了许多阿伊努故事，知里幸惠(1903-1922)编写的《阿伊努神谣集》（中译本同名，2024年版）便是其中十分具有代表性的作品。

<繁体字>

阿伊努的民間故事和口述歷史

阿伊努人自古以來透過口述故事保存他們的歷史和傳統，這些故事世代相傳，往往反映了人類與卡穆伊（kamuy；神靈）的密切關聯。有些故事是用神話的方式呈現歷史事件，比如在旭川的一則傳說裡，布穀鳥向一名阿伊努孩子預警海嘯將至。孩子和母親一起逃到山上，躲在一棵松樹上。第二天清晨，許多房屋被沖毀，他們卻安然無恙，是化身為布穀鳥的卡穆伊拯救了他們。據說，這則故事和 1834 年石狩灣遭遇的一次海嘯有關。

故事和史詩

阿伊努口述故事大體可以分三大類：英雄敘事詩、神話史詩和散文故事。英雄敘事詩被稱為「尤卡爾」（yukar），主要講述勇敢的主人公置身於戲劇化情境下的英勇事蹟，每位敘述者吟唱時的旋律都各不相同，還會用小木板時強時弱地擊打拍子。神話史詩被稱為「卡穆伊尤卡爾」（kamuyyukar）或「奧伊納」（oyna），以卡穆伊的視角來敘事，吟誦時會反覆同一段旋律，常常還包含擬音詞迭句。散文故事則被稱為「烏伊派克爾」（uepeker）或「圖伊塔克」（tuytak），以日常對話的方式講述，其中一些故事圍繞人類與卡穆伊的關係展開，蘊含著道德倫理。

以講故事來傳承文化

1869 年，明治政府（1868-1912）開始實施同化政策，壓制阿伊努的語言和傳統，口述故事的形式也隨之日漸式微。不過，阿伊努學者們還是盡力將這些故事以書面形式記錄下來，為後世留下了許多阿伊努故事，知里幸惠（1903-1922）編寫的《阿伊努神謠集》（簡體中譯本同名，2024 年出版）便是其中的代表作。

<日本語仮訳>

アイヌの物語と口承の歴史

アイヌは古くから、伝統的に口承によって歴史と伝統を保存してきました。世代を超えて受け継がれてきたこれらの物語は、しばしば人々と「カムイ」（神靈）との深いつながりを反映していました。

あるアイヌ伝説は、歴史的な出来事を神話的に解釈したものでした。旭川に伝わる物語の一つでは、カッコウが津波の到来をアイヌの子供に警告します。子供と母親は共に山に逃げ、松の木に隠れます。翌朝には多くの家が流されていましたが、彼らは鳥の姿をした「カムイ」であるカッコウのおかげで無事でした。この物語は 1834 年に石狩湾を襲った津波に関連していると考えられています。

物語と叙事詩

アイヌの口承物語は、英雄叙事詩、神謠、散文説話の 3 つの大きな分類に分けられます。「ユカラ」として知られる英雄叙事詩は、劇的な状況下での勇敢な主人公の物語です。語り手は独自の旋律で歌い、木製の拍子木で強弱を付けます。「カムイユカラ」または「オйна」と呼ばれる神謠は、「カム

イ」の視点から語られます。これらは繰り返しの旋律で歌われ、しばしば擬音語のリフレインを含みます。「ウエペケレ」や「トウイタク」と呼ばれる日常的な散文説話は、会話調で語られます。その中には、人間と「カムイ」との関係に焦点を当てた教訓譚もあります。

語り継ぎを通じた文化の保存

1869年に始まった明治政府（1868-1912）の同化政策は、アイヌの言語と伝統を抑制し、このような語り継ぎの形式を衰退させました。しかし、知里幸恵（1903-1922）による『アイヌ神謡集』（同名の中国語版は2024年出版された）のように、アイヌの研究者たちがこれらの物語を文字に記録する努力をしたことで、多くの物語が後世に残されることになりました。

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
006-001	須佐神社	1405	WEB、パンフレット
006-002	佐香神社	630	WEB、パンフレット
006-003	出雲文化伝承館	1020	WEB、パンフレット
006-005	松江城	1795	WEB、パンフレット
006-006	松江の武家屋敷	1720	WEB、パンフレット
006-007	明々庵	1375	WEB、パンフレット
006-008	月照寺	888	WEB、パンフレット
006-009	佐陀神能	1015	WEB、パンフレット
006-010	琴行列	665	WEB、パンフレット
006-011	黄泉比良坂	410	WEB、パンフレット
006-012	観光ループバス ぐるっと松江「レイクライン」	305	WEB、パンフレット
006-013	港町・美保関	2190	WEB、パンフレット
006-014	瑞光山清水寺 (安来清水寺)	920	WEB、パンフレット
006-015	精進料理	705	WEB、パンフレット
006-016	安来節演芸館	425	WEB、パンフレット
006-017	月山富田城跡	1295	WEB、パンフレット
006-018	和鋼博物館	1130	WEB、パンフレット
006-019	安来市加納美術館	885	WEB、パンフレット
006-020	広瀬絋センター	1185	WEB、パンフレット
006-021	さぎの湯温泉	325	WEB、パンフレット
006-022	出雲織 のき白鳥の里	350	WEB、パンフレット
006-023	米子城跡	1200	WEB、パンフレット
006-024	城下町 米子	515	WEB、パンフレット
006-025	淀江和傘伝承館	965	WEB、パンフレット
006-026	弓浜絋	290	WEB、パンフレット
006-027	皆生温泉	470	WEB、パンフレット
006-028	米子水鳥公園	595	WEB、パンフレット
006-029	上淀白鳳の丘展示館と上淀廃寺跡	765	WEB、パンフレット
006-030	鳥取県立むきばんだ史跡公園	1455	WEB、パンフレット
006-032	山陰伯耆国 米子アジア博物館	820	WEB、パンフレット
006-033	漫画家 水木しげる	880	WEB、パンフレット
006-034	水木しげるロード	815	WEB、パンフレット
006-035	水木しげる記念館	990	WEB、パンフレット
006-036	夢みなとタワー	840	WEB、パンフレット
006-037	境夢みなとターミナル	340	WEB、パンフレット
006-038	白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース	275	WEB、パンフレット

006-039	海とくらしの史料館	805	WEB、パンフレット
006-040	境港水産物地方卸売市場	545	WEB、パンフレット

【タイトル】 須佐神社

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

须佐神社

根据公元 8 世纪成书的地方志《出云国风土记》记载，这座神社是神明“须佐能袁命”决意长眠，并将身躯永远与自然融为一体的地方。人们相信，他的灵魂遍布于神社所在的整个山谷。本地更为人知的出云大社也供奉须佐能袁命，与之相比，须佐神社就显得较为朴素，但它自古以来便被视作这位神明真正的圣地。

神话记载，须佐能袁命击败了八岐大蛇（日本神话中拥有八头的巨蛇），从蛇尾中获得一把神剑，就是后来日本皇室三神器之一的“草薙剑”（薙，音同“替”）。他迎娶稻田比卖命公主后，开始寻觅建造宫殿之地。抵达这片山谷时，须佐能袁命对公主说：“此地令我心神安宁，倍感舒爽。就以我的名字为这里命名，我们在此定居吧。”

神社的位置

据史料记载，须佐神社最初位于附近的山坡上，后迁至现址，数百年来经历了多次重建与修缮。从布局来看，神社与旁边的须佐川平行，而河流界定了神社的范围。过去，河上曾架起一座特制的黑漆仪式用桥，专供权贵行走。神社境内除了被视为“神之居所”的本殿（正殿），还有几座末社（附属神社）及其他设施。本殿对面设有一座供奉须佐能袁命的姐姐天照大神（太阳女神，被奉为日本皇室的始祖）的天照社。

进入神社

进入须佐神社，首先要经过一座木造小门楼“随神门”。一对狛犬（日本石狮；狛，音同“伯”）守护在门口，它们身上涂了金色和其他几种亮色。参道（参拜道路）两旁坐落着几所小社殿（神社建筑），参道尽头便是本殿前方带着围栏的拜殿，人们通常在此祈福、供奉祭品。与多数风格相同的神社一样，这座拜殿与本殿之间由一段长长的廊梯相连，仅限神职人员通行，其他人需从侧面绕行才能参拜本殿。

神社所在地林木茂密，本殿两侧仅有狭窄的通道，因此当 12 米高的本殿初次映入眼帘时，就会带来强烈的冲击——在狭窄的空间里，来访者需仰头才能看清眼前物体的全貌，这更凸显了建筑的视觉张力。16 世纪时，这里曾有一座设计相同但高度翻倍的本殿，现存建筑则建于 19 世纪。

“大社造”建筑风格

神社本殿采用最古老的神社建造方式之一“大社造”风格，以出云大社为蓝本，整体建筑架于高高的木柱之上，采用不上漆的杉树原木建造。屋顶覆盖着杉木板，屋脊上装饰了神社建筑特有的“鯉木”和“千木”。鯉木是与屋脊垂直的一根根平行排放的纺锤形圆柱，因形似鯉鱼干而得名；千木则是屋脊两端的 X 形交叉木柱。本殿四周环绕着精美的杉木栅栏，两侧设有小门，但禁止来访者入内。根据日本神道教信仰，隐藏神殿内部是为了保护神明，避免他们被人类的缺陷与不完美所惊扰。

本殿后方有一棵名为“大杉さん”(Ohsugi-san)的巨型杉树，树干直径超过 2 米，高 30 多米，是该地区最高的杉树。史料记载其树龄已超 1300 年，堪称备受尊崇的古老生灵。它盘根错节地在地面蜿蜒伸展，许多参拜者会前来触摸树根，向树灵供奉祭品。

须佐神社“七大神奇”

须佐神社以传说中的“七大神奇”闻名。一是盐井（盐水井），传说它与遥远的海洋相连。二是无影樱，一棵不会投下影子的樱花树。三是相生松，一株兼具雌雄特征的松树。四是带孔橡树叶“落叶之槓”，据说，稻田比卖命公主分娩后，用松针捆扎橡树叶包裹胎盘，后来橡树与松树从里面发芽成长，掉落的橡树叶上就留有孔洞。五是雨壶，附近稻田的一块石头上有个长满草的洞，传说若被扰动会引发洪水。六是神马，神社曾饲养被视为神之坐骑的马，据说它们会变白以预示灾难。最后一个是“星滑”斑点，须佐川对岸山坡的岩石上常出现白色斑点，人们认为其数量能预示当年收成的好坏。

<繁体字>

須佐神社

根據成書於西元 8 世紀的地方誌《出雲國風土記》記載，這座神社是神祇「須佐能袁命」選擇長眠，並將身軀永遠與自然融為一體的地方。人們相信，祂的靈魂也遍布神社所在的整個山谷。和當地更為人知、也供奉須佐能袁命的出雲大社相比，須佐神社較為樸素，但自古以來這裡就被視作這位神祇真正的聖地。

根據神話記載，須佐能袁命擊敗了八岐大蛇（日本神話中擁有八頭的巨蛇），從蛇尾中獲得一把神劍，就是後來日本皇室三神器之一的「草薙劍」（薙，音同「替」）。祂迎娶稻田比賣命公主後，便開始尋覓建造宮殿的地點。抵達這片山谷時，須佐能袁命對公主說：「此地令我心神安寧，倍感舒爽。就以我的名字為這裡命名，我們在此定居吧。」

神社的位置

根據史料記載，須佐神社一開始位於附近的山坡上，之後才遷移到現址，數百年來歷經多次重建與修繕。從布局來看，神社與旁邊的須佐川平行，河流劃定了神社的範圍。從前，河上曾經架起一座特製的黑漆儀式用橋，專門給權貴行走。神社境內除了被視為「神之居所」的本殿（正殿），還有幾座末社（附屬神社）及其他設施。本殿對面設有一座供奉須佐能袁命的姐姐天照大神（太陽女神，被奉為日本皇室的始祖）的天照社。

進入神社

進入須佐神社要先經過一座木造小門樓「隨神門」，一對身上塗了金色和其他幾種亮色的狛犬（日本石獅；狛，音同「伯」）守護在門口。參道（參拜道路）兩旁有幾座小社殿（神社建築），參道盡頭就是本殿前方帶著圍欄的拜殿，人們通常在此祈福、供奉祭品。與多數風格相同的神社一樣，這座拜殿與本殿之間由一段長長的廊梯相連，只有神職人員能通行，其他人需從側面繞行才能參拜本殿。

神社所在地林木茂密，本殿兩側只有狹窄的通道，因此當 12 公尺高的本殿初次映入眼簾時，就會帶來強烈的視覺衝擊——在狹窄的空間裡，遊客需仰頭才能看清全貌，更凸顯了建築的視覺張力。這裡在 16 世紀時曾有一座設計相同但高度翻倍的本殿，現存的建築則是 19 世紀建造的。

「大社造」建築風格

神社本殿採用「大社造」風格，這是最古老的神社建造方式之一，以出雲大社為藍本。整體建築架於高高的木柱之上，採用不上漆的杉樹原木建造。屋頂覆蓋著杉木板，屋脊上則有神社建築特有的兩種裝飾，「鯉木」是與屋脊垂直的一根根平行的紡錘形圓柱，因形似鯉魚乾而得名；「千木」則是屋脊兩端的 X 形交叉木柱。本殿四周環繞著精美的杉木柵欄，兩側設有小門，但禁止遊客入內。根據日本神道教信仰，隱藏神殿內部是為了保護神明，避免其被人類的缺陷與不完美所驚擾。

本殿后方有一棵名為「大杉さん」（Ohsugi-san）、該地區最高的巨型杉樹，樹幹直徑超過 2 公尺，高 30 多公尺。這棵杉樹堪稱備受尊崇的古老生靈，根據史料記載，其樹齡已超 1300 年。它盤根錯節地在地面蜿蜒伸展，許多參拜者會前來觸摸樹根，向樹靈供奉祭品。

須佐神社「七大神奇」

須佐神社的「七大神奇」相當出名：一是鹽井（鹽水井），傳說與遙遠的海洋相連。二是無影櫻，一棵不會投下影子的櫻花樹。三是相生松，一棵兼具雌雄特徵的松樹。四是帶孔

橡樹葉「落葉之槓」，傳說稻田比賣命公主分娩後，用松針捆紮橡樹葉包裹胎盤，後來裡面長出橡樹與松樹，掉落的橡樹葉上就留有孔洞。五是雨壺，附近稻田的一塊石頭上有個長滿草的洞，傳說若被擾動會引發洪水。六是神馬，神社曾飼養被視為神之坐騎的馬，據說牠們會變白以預示災難。最後一個是「星滑」斑點，須佐川對岸山坡的岩石上常出現白色斑點，人們認為其數量能預示當年收成的好壞。

<日本語仮訳>

須佐神社

この神社は、紀元8世紀に編纂された『出雲國風土記』によると、須佐能袁命がその御身を捧げ、永遠に自然と一体となることを決めたとされる場所にあります。須佐能袁命の魂は、この神社が建つ谷全体に宿っていると信じられています。有名な出雲大社にも須佐能袁命は祀られていますが、やや控えめのこの須佐神社こそが、古くから須佐能袁命の御本社であるとされてきました。

神話によると、須佐能袁命は8つの頭を持つ蛇の妖怪ヤマタノオロチを倒し、その尻尾の中から靈験あらたかな剣を見つけました。これこそが日本皇室の「三種の神器」のひとつとされる「草薙剣」です。須佐能袁命は稲田比売命を妻に迎え、宮を建てる場所を探し始めます。この谷にたどり着いた須佐能袁命は、稲田比売命に「この地はわたしの心に安らぎと爽やかさを与えてくれる。ここに私の名をつけて定住しよう」と言ったとされます。

神社の所在地

史料によると、須佐神社は近くの丘の斜面にあった元の場所から現在の場所に移され、何世紀にもわたって何度も再建・改築されてきました。須佐神社は、神社の横を流れ、敷地の境界線ともなる須佐川に平行して配置されています。この川には、かつて高官の使用を目的とした黒漆塗りの特別な祭礼用の橋が架けられていました。境内には、神の住まいとされる本殿のほか、末社やその他の建造物があります。本殿の向かい側には、須佐能袁命の姉である天照大神（日本皇室の祖神とされる太陽の神）を祀った天照社があります。

神社への入り口

須佐神社への参拝者は、まず随神門をくぐります。これは屋根付きの小さな木造の門で、神前を守護する金色やその他の明るい色に塗られた一対の狛犬が奉納されています。参道は、左右の小社殿の間を通り、本殿の前の囲いのある拝殿へと続きます。祈祷と供物はここで行われるのが通例です。この様式で建てられた多くの神社と同様に、この神社にも長い屋根付きの階段があり、拝殿から本殿へと続いています。この階段を登ることができるのは神職のみです。それ以外の人々が本殿を拝観するには、横から回り込む必要があります。

神社の敷地には木が鬱蒼と茂っており、本殿の左右に細い通路があるだけなので、最初に高さ12メートルの建物が見えると圧巻です。参拝者は、この狭い空間で全てを視界に収めるためには首を大きく上げなければならず、そうすることで視覚的なインパクトはより大きなものとなります。1500年代、こ

こにはよく似たデザインの、2倍の高さの本殿が建っていました。現在の本殿は19世紀に建てられたものです。

大社造

本殿は最も古い神社形式の一つである「大社造」と呼ばれる様式で、高い木製の柱の上に建てられています。これは出雲大社を原型としたもので、塗料の塗られていない杉材が用いられています。屋根も杉板で覆われており、棟には神社によく見られる鯉木と千木が装飾的に配されています。鯉木は先細りの円柱を棟木の上に直角に並行して敷き詰めた装飾の木であり、形がかつお節に似ているところから名付けられました。千木は棟の両端からX字型に立ち上がる、木材を交差させたものです。本殿は美しい杉板の柵で囲まれており、両側に小さな門がありますが、参拝者は立ち入ることができません。神道の教えにより、人間の醜さや不完全さを目撃して神々が驚かないよう、内部は人の目に触れないようになっています。

本殿の裏側には、「大杉さん」と呼ばれる杉の巨木があります。直径は2メートル以上、高さは30メートルを超える、この地域で最も高い杉の木です。歴史の記録によると、樹齢は1300年を超え、古代から生き続けるものとして畏敬の念を集めています。節くれだった根が地面を這っており、訪れる多くの参拝者はその根に触れ、木精に捧げ物をします。

須佐神社の七不思議

須佐神社は「七不思議」の伝説で知られています。その一つに塩水が湧き出る「塩ノ井」という井戸があり、遠く離れた海とつながっていると信じられていました。その他にも「影無桜」と呼ばれる影のない桜や、男女両方の性をもつ「相生の松」と呼ばれる松などがあります。孔のある檜の落ち葉「落葉の槓」は、稲田姫が出産した後に胎盤を檜の葉で包み、松葉で綴じたところから、檜の木と松の木の芽が生え、その落ち葉に孔があるというもう一つの不思議を思い起こさせます。近くの田んぼにある、岩の中にある草で覆われた穴である「雨壺」は、乱雑に扱うと洪水を引き起こすとされていました。神社には「神馬」と呼ばれる馬が飼われており、白くなることで災いを予知すると言われていました。最後の不思議は、須佐川を挟んだ反対の山腹の岩肌によく現れる「星滑」という白い斑点です。見えた斑点の数で、収穫量が分かるとされていました。

【タイトル】 佐香神社

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

佐香神社

传说佐香神社（也称松尾神社）是最早酿造日本清酒的神道教神社。根据公元 8 世纪成书的《出云国风土记》记载，众神曾聚集在附近的河畔，搭建厨房、准备饮食——尤其是清酒，然后举办了一场持续多日的酒宴。“佐香” (Saka) 之名便源自“清酒” (Sake)，如今神社仍被允许每年酿造一石（音同“但”，约合 180 公升）清酒。

每年 10 月 13 日，神社都会举办重要的“浊酒祭”。神社最高负责人“宫司”将取出神社酿造的浊酒（未经过滤酒糟的清酒），招待来自岛根县各地的酿酒师。参拜者也能喝到这份“御神酒”，一同祈求来年风调雨顺。清酒由大米发酵制成，佐香神社供奉着掌管发酵的诸神，酱油之神也位列其中。近年来，随着清酒在全球日益流行，造访佐香神社的外国游客数量不断增加，10 月“浊酒祭”当天更是热闹非凡。

供奉神明的酒桶

神社坐落于一座小山顶上，虽可开车前往，但大多数来访者会穿过山脚的石制鸟居（神社入口的牌坊式建筑），沿长长的石阶登山参拜。神社本殿（正殿）规模不大，只有神职人员可进入内部。这座高床式本殿属“大社造”风格，建材使用未上漆的杉木，建筑整体架在高高的木柱之上。

本殿前是一座小型拜殿，供来访者参拜。拜殿旁是一处小小的“次间”，有台阶通向本殿大门，神职人员会在这里主持仪式。次间内设有传统祭坛、灯笼、象征神明的镜子，以及各类供奉品，其中最引人注目的是一个巨大的酒桶，这也是佐香神社的与众不同之处。

神社里还有几座末社（附属神社），其中有一间“疫神社”专门供奉掌管传染病的神明。

<繁体字>

佐香神社

據說佐香神社（也稱松尾神社）是日本清酒的發祥地。根據西元 8 世紀成書的《出雲國風土記》記載，諸神曾聚集於附近河畔，搭建廚房、準備飲食——尤其是清酒，並舉行了

一場持續多天的暢飲盛宴。「佐香」(Saka)之名便源自「清酒」(Sake)，如今神社仍被允許每年釀造一石(音同「但」，等於180公升)的清酒。

神社在每年10月13日都會舉辦重要的「濁酒祭」。神社宮司(神社最高負責人)會取出神社釀造的濁酒(未經過濾酒糟的清酒)，招待島根縣各地的釀酒師齊聚共飲。參拜者也能一起品嚐這份「御神酒」，共同祈求來年豐收順遂。清酒由稻米發酵製成，佐香神社供奉著掌管發酵的諸位神祇，醬油之神也在當中。隨著近年來清酒在全球日益流行，前來佐香神社參觀的外國遊客數量也不斷增加，尤其在10月「濁酒祭」當天更是熱鬧非凡。

獻給神明的酒桶

神社坐落於小山頂上，雖可開車抵達，但多數遊客都會從山腳的石製鳥居(神社入口的牌坊式建築)進來，沿著長長的石階登山參拜。小小的本殿(正殿)屬「大社造」風格，以不上漆的杉木建造，整體建築架設於高高的木柱之上，僅限神職人員進入。

本殿前方設有一座小型拜殿，供參拜者舉行儀式。神職人員則在相鄰的小「次間」裡主持儀式，內有階梯通往本殿大門。次間中設有傳統祭壇、燈籠、象徵神明的鏡子，以及各式供奉品，其中最引人注目的是一個巨大的酒桶，也是佐香神社與眾不同的特色。

神社裡還有幾座末社(附屬神社)，其中有一間「疫神社」專門供奉掌管傳染病的神祇。

<日本語仮訳>

佐香神社

佐香神社(松尾神社ともいう)は、酒造り発祥の地とされる神社です。紀元8世紀に編纂された『出雲國風土記』によると、多くの神々が近くの川岸に集まり、調理場を建て、食べ物や飲み物、特に酒の準備を始め、何日も酒宴を続けていました。「佐香」(Saka)という名前は、「酒」(Sake)が語源となっており、今日でも神社の境内で年一石(180ℓ)の酒造が許可されています。

毎年10月13日には「濁酒祭」と呼ばれる重要な行事が行われます。神社の宮司(神社の最高責任者)が神社が醸造したどぶろく(滓をこしらえない酒)を、島根県全域の蔵元が集まって飲み、参拝客にも「御神酒」として振る舞うことで、一年の幸を祈ります。酒は米を發酵させて作られます。佐香神社では發酵の神々が広く祀られており、そこには醤油の神も含まれます。世界での酒人気が高まるにつれて、佐香神社にも近年では海外からの参拝者が増え、特に10月の濁酒祭の日には外国人参拝者で賑わいます。

神に捧げる酒樽

この神社は丘の上に立っており、車でも行けませんが、多くの参拝者は丘の麓の石の鳥居をくぐり、長い階段を登って境内に向かいます。小さな本殿には神職以外は入ることができません。無塗装の杉材で作られた本殿は、「大社造」と呼ばれる様式でできており、木の柱を用いた高床式になっています。

本殿の前には小さな拝殿があり、参拝者はここに集まって祭礼が行われます。神職は本殿の扉に続く階段のある小さな次の間で儀式を行います。そこには伝統的な祭壇、灯籠、神々を象徴する鏡、神への供物などが置かれ、特にこの神社の特徴である大きな酒樽が奉納されています。

境内には、伝染病の神を祀った「疫神社」と呼ばれる神社をはじめとする、小さな末社がいくつかあります。

【タイトル】 出雲文化伝承館

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

出云文化传承馆

出云文化传承馆于 1991 年开馆，其核心是一座 19 世纪晚期的农舍。这座农舍经过了拆解和迁移，在这里被重新组装起来。馆内除了一座大型门楼、一个精美的“出云流”庭园，以及一处历史悠久的茶室“独乐庵”外，还另有多处设施，可让参观者体验濒临消失的当地传统。

农舍曾是富裕地主江角家族的产业。这座建筑建于 1896 年，正值日本废除武士阶级、积极迈向现代化的明治时代(1868-1912)。当初，农舍还有通过走廊连接的多栋侧翼建筑和独栋建筑，但重建过程中只保留下了“母屋”（主屋）。这座农舍是日本传统民居建筑的杰出范例，融合了乡村农舍的典型特征，以及原本多见于精英武士宅邸的精致室内设计、庭园及茶室。穿过宽阔的玄关便是“土间”，即开放式的农活作业区兼厨房；由黑松制成的巨大横梁互相咬合，支撑着屋顶；高出地面的起居室十分宽敞，在其入口处，矗立着一根纹理优美且粗壮的榉木“大黒柱”（主要支柱）；与所有日式房屋一样，铺着榻榻米的房间用轻便的移门隔开，可以灵活地组合空间。

无界线的室内与室外

房屋两侧环绕着缘侧（檐廊），从重要的房间向外望去，都能看到户外雅致的庭园。当天气寒冷或遇恶劣气候时，可关闭外侧防雨窗封闭缘侧。传统上，这种防雨窗完全由木材制成，这里却装嵌了大块玻璃，这是 20 世纪早期出现的一项创新设计。缘侧没有遮挡视线的木柱，防雨窗被巧妙地安装在缘侧的角落。三个连在一起的榻榻米房间内，“床之间”（日式壁龛）的摆件、置物架、橱柜，以及用障子和细木格装饰的“书院”（书房）等处，无一不展现着精美的细节。名为“长屋门”的带顶门楼也是原农舍的一部分，如今成为了文化传承馆的主入口。它曾是仆人或家奴的住所，从其规模与设计，不难看出主人尊贵的身份。

茶道大师的茶室

馆内的精致庭园中，修复了一座具有重要历史意义的茶室，相传它的设计者是 16 世纪伟大的茶道大师千利休(1522-1591)。这座茶室名叫“独乐园”，为松江藩第 7 代藩主、以“不昧”为号的茶道大师松平治乡(1751-1818)而建，体现了最高水准的审美与设计。为契

合谦逊的理念，部分屋顶模仿贫苦农民的小屋铺上了茅草顶。独乐园中包含了三个茶室，其中一个面积仅为一叠台目（台目指一叠的 3/4，一叠台目即 1.75 叠），空间最小，也最私密。只要调节几扇小型障子窗和屋顶天窗，就可以获得理想的自然光量与质感。环绕茶室庭园的粘土灰泥墙上切出了一扇小门，进入之后，通过园内设计巧妙、纵横交错的石板小路就能到达茶室。

<繁体字>

出雲文化傳承館

出雲文化傳承館於 1991 年開館，以一座 19 世紀晚期的農舍為核心，這座農舍經過拆解、遷移，重新組建後在這裡展出。館內有一座大型門樓、一座精美的出雲風格山水庭園，以及一座歷史悠久的茶室「獨樂庵」。此外還有多個設施，能讓遊客體驗到瀕臨消失的當地傳統。

農舍建於 1896 年的明治時代（1868-1912），曾為富裕地主江角家所有，當時日本正在廢除武士階級，積極邁向現代化。農舍原本包含多個由走廊連接的側翼和附屬的獨立建築，重建過程中只保留了「母屋」（主屋）。這座農舍是日本傳統民居建築的傑出範例，融合了鄉村農舍的典型特徵，以及原本多見於精英武士宅邸的精緻室內設計、庭園及茶室。穿過寬闊的玄關便是「土間」，即一處開放式的農作業區兼廚房；由黑松製成的巨大橫梁相互咬合，支撐著屋頂；高出地面的起居室十分寬敞，在其入口處則矗立著一根紋理優美且粗壯的檜木「大黑柱」（主要支柱）；輕便的移門隔開了鋪著榻榻米的房間，能靈活地組合空間，這點和所有日式房屋一樣。

無界線的室內與室外

在重要的房間內都能看到環繞房屋兩側的緣側（簷廊）外雅致的庭園。遇到寒冷或惡劣的天氣，可將外側防雨窗關閉以封閉緣側。防雨窗在傳統上完全由木材製成，而這裡鑲嵌了大塊的玻璃，這是 20 世紀早期增加的創新設計。防雨窗被巧妙地安裝在緣側的角落，這樣就不需要用木柱來固定它們，可確保視野開闊。農舍有三個連在一起的榻榻米房間，細節處處展現出高品質，像是「床之間」（日式壁龕）的裝飾、精美的置物架與櫥櫃，以及裝配了障子和精細木格的「書院」（書房）。名為「長屋門」的帶頂門樓原來也是農舍的一部分，如今是文化傳承館的玄關入口。它曾是僕人或家奴的住所，從其規模與設計，不難看出主人尊貴的身份。

茶道大師的茶室

館内の精緻庭園中，修復了一座重要歴史茶室，相傳由 16 世紀偉大的茶道大師千利休（1522-1591）設計。這座「獨樂園」茶室為松江藩第 7 代藩主、以「不昧」為號的茶道大師松平治郷（1751-1818）而建，體現了最高水準的審美與設計。部分屋頂模仿貧苦農民的小屋鋪上了茅草頂，這是為了契合謙遜的理念。獨樂園中包含了三個茶室，其中一個只有一疊台目（台目指一疊的 3/4，一疊台目即 1.75 疊），規格最小、也最私密。只要調節幾扇小型障子窗和屋頂天窗，就可以獲得理想的自然光量與質感。走入環繞茶室庭園粘土灰泥牆上的一扇小門，經過園內設計巧妙、縱橫交錯的石板小路，就能到達茶室。

<日本語仮訳>

出雲文化伝承館

1991年にオープンした出雲文化伝承館は、解体・移築を経て現在の場所に再建された19世紀末の農家の屋敷を中心に構成されています。大きな門や美しい出雲流庭園、歴史ある茶室「独楽庵」などがあります。その他にも、存続の危機に瀕している地元の伝統を来館者が体験できる施設などがあります。

この農家は、裕福な地主の江角家の所有物でした。この建物は、明治時代（1868-1912）、日本が武士階級を廃止し近代化を迎えようとしていた1896年に建てられました。当初は渡り廊下でつながった複数の棟や離れなどもありましたが、再建にあたって母屋が残されました。伝統的な家屋建築の傑出した例であり、地方の農家に典型的に見られる特徴と、元々は上級武士の屋敷に見られた要素である洗練された内装、庭園、および茶室が融合しています。大きな玄関をくぐると土間があります。土間とは、開放的な農作業用の作業場兼台所です。巨大な黒松の梁が組み合わされて屋根を支えており、木目が美しい檜材の太い大黒柱が高床の広い居間の入口に立っています。多くの日本家屋にみられるように、畳が敷かれた部屋は襖で仕切られており、空間を柔軟に組み合わせることができます。

境のない室内と室外

重要な部屋からは、建物の両側を囲む縁側の向こう側にある、立派な庭園を見渡すことができます。寒い時や天気が悪い時には、雨戸をスライドさせることで縁側を囲んで閉じることができます。伝統的には、これらは全て木材で作られていましたが、ここでは大きなガラス板が使われています。ガラス板が使われるようになったのは、20世紀初頭のことです。見晴らしを妨げる木材の柱なしで雨戸を縁側の角に取り付けることができるよう、見事な工夫がなされています。三間造りの畳の部屋には、床の間の装飾や棚や筆筒、障子や繊細な木の格子で飾られた書院など、手の込んだ細かい装飾が随所に施されています。「長屋門」と呼ばれる、長い屋根付きの門は、当時の農家の一部で、現在も伝承館の正面玄関として使われています。長屋門は召使いや家来が住む場所であり、その大きさと設計から、家主の位が高かったことが分かります。

茶人の茶室

16世紀の偉大な茶人である千利休(1522-1591)に由来する歴史的に重要な茶室が、当館の美しい庭園の中に復元されました。「独楽庵」と呼ばれるこの茶室は、松江藩の第7代藩主であり、不昧という号で知られる茶人でもあった松平治郷（1751-1818）のために作られたもので、最も洗練された嗜好と設計が反映されています。謙虚さを理想とする精神にのっとり、屋根の一部は貧しい農家の小屋を模して藁葺きになっています。この建物には3つの茶室がありますが、そのうちの1つは1と3/4畳の大きさ（一畳台目）しかなく、最も小さく親密な大きさになっています。いくつかの障子窓と屋根の天窓で、自然光の量や質を調整することができます。露地庭には、取り囲む土壁に開けられた小さな門から入ります。庭には、巧みに設計された石の小径が縦横に張り巡らされています。

【タイトル】 松江城

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

松江城

松江城依山而建，雄踞于松江市中心，是一座庄严肃穆、气势恢宏的山城。它始建于江户时代(1603-1867)早期，1611年正式落成，因巨大的“破风”（三角形屋顶山面）形似展翅的飞鸟，常被美誉为“千鸟城”。松江城是日本现存十二天守（城郭核心的多重塔楼）之一，规模居其中第二，高度居其中第三，历史悠久居其中第五。同时，它也是山阴地区（岛根县和鸟取县）唯一的天守。与大多数日本的城郭一样，松江城多年来因防御需求与政治局势的变化，经历了多次扩建与改建，但天守自18世纪40年代以来基本没有改变。

松平家族的世代统治

当地大名（大领主）堀尾吉晴(1543-1611)是松江的开创者，松江城的建造也始于他的时代。城郭后来传至京极忠高(1593-1637)手中，由于他去世时并无子嗣，德川幕府初代将军德川家康(1543-1616)之孙松平直政(1601-1666)便继承了松江城。松平直政成为松江藩初代藩主后，开启了松江文化与经济长期繁荣的时代。

1868年，日本启动明治维新。1871年，政府实施“废藩置县”，松平家族随之结束了其对松江城长达234年的统治，期间共经历了10代城主。1873年，明治政府(1868-1912)实行废城令后，强行拆除大部分日本城郭，而松江城的天守因公众与地方领袖的筹款支持和积极呼吁而得以保留。20世纪50年代，城郭全面修复，并于2015年被指定为日本国宝。

绝佳的防御之地

松江城的选址兼具防御与交通优势，既能抵御来自陆地及宍道湖（宍，音同“肉”）的攻击，又便于通过周边多条水路运输物资。城堡外围挖掘了大多留存至今的护城河，挖出的泥土被用于填埋城郭西侧的沼泽地；大桥川则为城堡增加了一重天然屏障。

日本城堡通常划分为多层防御区域，松江城设有三层：本丸是天守所在地，位于最高处，是最安全的核心区域；二之丸位于本丸下方，分为上下两部分，上层是藩主的主居所及办公设施，下层为兵营；三之丸位于最下层，也设有一些官邸。这些建筑在明治时代均被拆除。1899年，二之丸的上层部分建起了松江神社；1903年，新建了专为明治天皇(1852-

1912)巡访松江时下榻(实际并未入住)的大型西式宾馆兴云阁,现在免费对外开放;如今,三之丸遗址上矗立着岛根县厅办公楼。

城郭的巨大石垣几乎完好无损,但19世纪70年代,多座城门及其他建筑均被拆除。1960年和1994年,部分城门得以重建;2001年,石垣上重建了三座外涂防火白色灰泥的“櫓”,即兼具瞭望和攻击功能的塔楼。

创新的设计特色

松江城的最大魅力就是保存完好的天守。从外部看,这座4层塔楼矗立在高大倾斜的石基之上,每层自下而上逐渐收窄。天守的黑漆木板外墙上涂了一层白色灰泥,既防火又美观。层层叠叠的屋顶与山墙勾勒出建筑轮廓,同时又为内部空间遮风挡雨。顶层屋脊上装饰着醒目的“鯨”,这是一种铜皮包木、虎头鱼身的海洋神兽。塔楼底部有一座形似小城堡的建筑,十分坚固安全,主入口就隐藏于此。

尽管天守的外观为4层,但包括地下室实际有5层。其诸多独特设计源于建造者对当时技术难题的创新突破。在17世纪早期建造松江城时,日本各地的城堡建设已导致大批森林被砍伐,从而难以获取大型木材作为传统结构支柱。因此,设计者将多根小型木材捆绑组合后再用铁夹或铁箍固定,加工成集束支柱。整座塔楼中共有130根这样的支柱,至今仍清晰可见。

为增强结构稳定性,支柱不仅支撑一楼部分,还贯穿了二楼。这些“贯通柱”以交错的方式垂直排列,形成牢固的嵌入式结构。水平横梁也巧妙地支撑着短柱,这样可分散结构负荷,无需使用过长的支柱。此外,还有不少精妙的设计,例如采用轻质桐木制作可移动的室内楼梯,遇袭时可迅速拉起,阻止敌人登上高层;地下室用于储物,且凿有一口井,这是已知唯一一口位于日本天守内的井,能在被围困时确保供水。

藩主眼中的领地全景

如今,来访者在松江城的每一层都能看到各类详尽的多语言展示,其中包括历史、城郭设计特点等解说。天守最高层曾用作瞭望台,每个方向都设有宽敞的窗户,站在那里,即可与数百年间松平藩历代藩主拥有相同的视野,可将宍道湖、四周环绕的群山,以及延伸至下方的街景尽收眼底。

天守

开馆时间:4月1日至9月30日8:30~18:00(入场截至17:30),10月1日至次年3月31日8:30~17:00(入场截至16:30)

闭馆日:全年无休

门票：800 日元，初中和小学生 400 日元

<繁体字>

松江城

松江城是一座山城，依山而建的城郭雄踞於松江市中心，整體莊嚴肅穆、氣勢恢宏。這座城郭始建於江戶時代（1603-1867）早期，於 1611 年正式落成。因為它巨大的「破風」（三角形屋頂山面）形似展翅的飛鳥，常被美譽為「千鳥城」。松江城是日本現存十二天守（城郭核心的多重塔樓）之一，規模居其中第二，高度居其中第三，古老居其中第五。同時，它還是山陰地區（島根縣和鳥取縣）唯一的天守。雖然與大多數日本的城郭一樣，松江城為應對防禦需求與政治局勢的變化，曾經歷多次擴建與改建，但自 1740 年代以來，天守的樣貌基本沒有改變。

松平家的世代統治

堀尾吉晴（1543-1611）是松江的開創者，松江城也於他擔任當地大名（大領主）的時代建造。之後，城郭傳至京極忠高（1593-1637）的手中。由於他去世時並無子嗣，城郭便由德川幕府初代將軍德川家康（1543-1616）之孫松平直政（1601-1666）繼承。松平直政作為松江藩的初代藩主，開啟了松江文化與經濟長期繁榮的時代。

松平家對松江城的統治歷時 234 年，延續了 10 代，直至 1868 年明治維新後，1871 年「廢藩置縣」才宣告結束。明治政府（1868-1912）在 1873 年施行廢城令後，強行拆除日本的大部分城郭，松江城的天守因為民眾與地方領袖的籌款支持和積極呼籲而得以保留。1950 年代，城郭經歷了全面修復，並於 2015 年被指定為日本國寶。

絕佳的防禦之地

松江城的選址兼具防禦與交通優勢，既能抵禦來自陸地及宍道湖（宍，音同「肉」）的攻擊，又便於透過周邊多條水路運輸物資。城郭週邊的護城河大多留存至今，而挖出的泥土被用於填埋城郭西側的沼澤地；大橋川則為城堡增加了一重天然屏障。

日本城郭通常劃分為多層防禦區域，松江城設有三層：本丸是天守所在地，位於最高處，是最安全的核心區域；二之丸位於本丸下方，分為上下兩部分，上層是藩主的主居所及辦公處，下層為兵營；三之丸位於最下層，也設有一些官邸。這些建築在明治時代均被拆除。1899 年，二之丸的上層部分建起了松江神社；1903 年，新建了專為明治天皇（1852-1912）巡訪松江時下榻（實際並未入住）的大型西式賓館興雲閣，現在免費對外開放；如今，三之丸遺址上矗立著島根縣廳辦公樓。

城郭的巨大石垣幾乎完好無損，但 1870 年代，多座城門及其他建築均被拆除。部分城門在 1960 年和 1994 年重建；2001 年，石垣上重建了兼具瞭望和攻擊功能的塔樓，即三座塗上防火白色灰泥的「櫓」。

創新的設計特色

保存完好的天守是松江城最大的魅力。從外部看，這座 4 層塔樓矗立在高大傾斜的石基之上，每層自下而上逐漸收窄。天守黑漆木板外牆塗抹了白色灰泥，既防火又美觀。層層疊疊的屋頂與山牆勾勒出建築輪廓，也為內部空間遮風擋雨。頂層屋脊上裝飾著一種銅皮包木、虎頭魚身的海洋神獸「鯨」，相當醒目。塔樓底部有一座形似小城堡的建築，十分堅固安全，主入口就隱藏在這裡。

天守外觀看來只有 4 層，不過內部實際有 5 層，多了一層地下室。塔樓許多獨特設計源於建造者對當時技術難題的創新突破。17 世紀早期建造松江城時，日本各地的城郭建設導致森林遭到大規模砍伐，已難以獲取大型木材作為傳統結構支柱。因此，設計者將多根小型木材捆綁組合後再用鐵夾與鐵箍固定，加工成集束支柱。整座塔樓中共有 130 根這樣的支柱，至今仍清晰可見。

為了增強結構穩定性，支柱貫穿兩層而非僅支撐單層，且這些「貫通柱」交錯著垂直排列，形成牢固的嵌入式結構。水平橫樑還巧妙地支撐短柱，分散結構負荷，從而無需使用過長的支柱。除了以上設計，塔樓還有不少用心之處，例如採用輕質桐木製作可移動的室內樓梯，遇襲時可迅速拉起，防止敵人登上高層；地下室除了儲物之外還鑿有一口井，能在被圍困時確保供水，這是目前已知唯一一口位於日本天守內的井。

藩主視野的領地全景

遊客參觀松江城時，在每一層都能看到多語言的歷史展示和城郭設計特點解說。天守最高層曾用作瞭望台，每個方向都有寬敞的窗戶，只要站在這裡，就能享受與數百年間松平藩歷代藩主眼中相同的景致。美麗的宍道湖，四周環繞的群山，下方熙熙攘攘的城市，構成了一幅壯觀的全景畫卷。

天守

開館時間：4 月 1 日至 9 月 30 日 8:30~18:00（入場截至 17:30），10 月 1 日至次年 3 月 31 日 8:30~17:00（入場截至 16:30）

閉館日：全年無休

門票：800 日圓，中小學生 400 日圓

<日本語仮訳>

松江城

松江城は、松江市の中心部にそびえ立つ、荘厳で堂々とした丘の上の城郭です。江戸時代（1603-1867）初期の1611年に完成した城で、大きな破風（屋根が三角の山形のシルエットに見える面）が、鳥が飛んでいる様子に見えることから、「千鳥城」とも呼ばれます。松江城は全国に現存する12の天守（城郭の中核部に建てられた多層の櫓建築）のうちの一つで、2番目に大きく、3番目に高く、5番目に古く、そして山陰地方（鳥取県と島根県を指す）唯一の現存天守です。日本の多くの城と同じく、防衛や政治上の必要性が変わるにつれて、少しずつ拡張や改修が行われてきました。しかし、天守は1740年代からほとんどその姿を変えていません。

松平家代々の統治

松江城の築城は、地元の大名で松江開府の祖である堀尾吉晴（1543-1611）の時代に始まりました。松江城はその後、京極忠高（1593-1637）に受け継がれ、彼が後継ぎを残さず亡くなった後、江戸幕府初代将軍徳川家康（1543-1616）の孫である松平直政（1601-1666）が受け継ぎました。直政は松江藩の初代藩主となり、これによって、松江には長期にわたる文化的・経済的繁栄の時代が訪れました。

1871年に、明治維新（1868年）によって「廃藩置県」まで、松平家は10代234年の間松江城の城主であり続けました。日本のほとんどの城は1873年の明治政府（1868-1912）の廃城令によって取り壊されましたが、市民や地元の有力者からの資金集めや声援のおかげで、松江城の天守は保存されました。松江城は1950年代に大規模な修復が行われ、2015年に国宝に指定されました。

防衛に最適な立地

松江城は、陸からも宍道湖からも攻撃されにくく、近くを流れる多くの輸送用の水路を利用しやすい立地にありました。堀が掘られ、そのほとんどは現存しています。掘った際の土砂は、城の西側の沼地を埋め立てるのに使われました。大橋川がさらに天然の防衛線となりました。

日本の城は通常、連続する防御区画（郭）に分かれていましたが、松江城にも3つの郭があり、その中でも天守のある本丸は最も高く安全な場所にありました。二の丸は本丸の下に位置し、城主の本邸や公務のための建物がある上段と、兵舎がある下段に分かれていました。最下層の三の丸にも、高官の居住区（官邸）が設けられていました。これらの建造物は全て、明治時代に取り壊されました。二の丸の上段には、1899年に松江神社が建てられ、1903年には明治天皇（1852-1912）の行在所に使用する目的（実際には使われなかった）で、大きな西洋風の迎賓館「興雲閣」（現在無料で一般公開されている）が新たに建築されました。島根県庁は現在、三の丸の跡地に立っています。

松江城の巨大な石垣はほぼ完全な状態で残っていますが、数多くの門や建造物は1870年代に撤去されました。1960年と1994年にはいくつかの門が再建され、2001年には、石垣の上に白漆喰

の防火見張り台である「櫓」（防御や物見のための高い楼）が3棟再建されました。

設計上の革新的な特徴

松江城の最大の魅力は、保存状態の良い天守です。外から見ると、天守は石を斜めに高く積み上げた基礎の上に四層構造で建てられ、上に行くに従って小さくなっています。天守は黒い塗料が塗られた木板で覆われ、防火用の白漆喰がアクセントとなっています。幾重にも重なる屋根や切妻は外観を際立たせ、また内部の空間を守る役割も担っています。最上階の屋根の上には、銅を張った木製の「しゃちほこ」と呼ばれる神話上の海の生き物の形をした装飾があり、姿は魚で頭は虎に似ています。安全な屋根付きの建物の中に設けられている正面入り口は、それ自体が小さな城のように見えます。

外観とは異なり、天守は地下1階を加えた5階建てになっています。天守には普通は見られないような特徴が数多くあり、これらは建築にあたって直面した問題を解決するために考えだされた革新的なものです。松江城が築城された17世紀前半には、日本各地で築城が進められていたため、森林の伐採が広範囲にわたって進んでいました。そのため松江城の構造柱に用いられる大木の入手が困難であったことから、設計者は鉄製の留め金や締め具で小木を束ねたものを用いました。このようなタイプの柱が130本、はっきり見ることができます。

さらに構造を安定させるために、柱は1階部分だけを支えるのではなく、2階部分を貫くように配されました。この「通し柱」は、垂直方向に互い違いになるように配置され、強固な組み込み構造を形成しています。また、短い柱を水平の梁でうまく支えることで構造荷重を分散させ、長い柱を不要にする工夫もされています。それ以外に、軽量の桐で作られた着脱式の内階段を採用し、簡単に引き上げて上の階への侵入を防ぐ工夫もされていました。また、地下には貯蔵庫を設け、城が包囲されても安定して水が得られるように井戸が掘られました。これは日本の天守内にある井戸として唯一知られているものです。

藩主も眺めた景色

今日松江城を訪れると、各階に多言語で歴史や城の設計上の特徴が詳細に説明されています。見張り場として使われた最上階には、全ての方向に幅広の窓があり、宍道湖、近くの山々、そして眼下に広がる街の景色を一望できます。これは歴代の松平藩主が何世紀にもわたって見続けてきたものと同じ眺望です。

天守

入場時間：4月1日-9月30日 8:30～18:00（入場は 17:30 まで）、10月1日-3月31日 8:30～17:00（入場は 16:30 まで）

休館日：年中無休

入場料：大人 800 円、小・中学生 400 円

【タイトル】 松江の武家屋敷

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

松江的武士宅邸

江户时代(1603-1867)，松江是重要的城下町（围绕大领主的居城发展起来的市镇），需要大量武士驻守防御。松江城周边区域被划定为武士家臣及其家眷的居住区。目前，松江有数座历经改建后得以留存的武士宅邸，而这座为中级武士建造的宅邸则不同，它被精心修复，并保持了原始格局。

这座宅邸是“盐见绳手街道”两侧众多武士宅邸之一，街道蜿蜒于松江城北侧的护城河旁。宅邸在 1733 年的大火中被烧毁，得以重建后经历过多次扩建与改造。直至近年，一直都有人在此居住。2016 年，当地依据明治时代(1868-1912)的图纸及拆解旧建筑时发现的资料，对宅邸进行了精心修复，历时 3 年完成。

低调与品味的典范

与所有中高阶武士的宅邸一样，这座武士宅邸是一处带围墙的院落，包含主屋、庭园、大门及附属建筑。鼎盛时期，院内曾居住着 10 位家族成员及仆从。武士宅邸的规模、建材与设计细节均严格依照武家等级规制，同时遵守官方规定——武士家族需恪守低调，不得炫耀奢华。这座宅邸建筑面积约 67 坪（220 平方米），虽然宽敞，外观却简约朴素。修复工程中还原了大量家具与生活用品，让参观者能直观想象武士家族简朴的生活场景。

入口的等级之分

武士宅邸的主入口是名为“长屋门”的宽大门楼，内有可供 3 名低阶武士侍从（称为“中间”）居住的空间和存放主人轿子的储物区。门楼的高度较低，且无过多装饰，与宅邸主人的中等身份相符。穿过长屋门，便是一处小庭园，由此可通往主屋。

武士宅邸的一大特色便是入口的等级区分：左侧是仪门，仅供主人及重要访客使用。这里有一对宽大的木板推拉门，门前设有带屋檐的宽敞门廊与台阶，访客可在此直接从轿子上下来，无需落脚地面。仪门通向铺有榻榻米的玄关，左边便是主人的正式会客厅。紧邻仪门右侧的是侧门，供家中女性、仆人、至交及亲属日常出入。侧门通向泥土地面的玄关，从这里既可拾阶进入正前方铺有榻榻米的私人起居室，也可进入同层右侧泥土地面的厨房。房屋后方还有第三个入口，是实用性的后门，直接连通厨房。

整座宅邸的空间划分也遵循类似逻辑：住宅前部是正式会客空间，通向精心设计的主庭园；后部则是家庭生活空间，连接更为随意的后庭。

会客之室

宅邸中最体面的正式会客厅名为“座敷”，是接待高阶访客的场所。这类房间通常都设有“床之间”，即日式壁龛，用于悬挂卷轴、摆放插花或其他珍贵陈设，特定场合下还会陈列主人的佩刀。床之间右侧是一个固定的矮书桌，柔和的光线透过障子窗漫射而入，照亮桌面；左侧则是一个与视线齐平的素雅装饰柜，柜门绘有一幅低调的水墨画，画中是含苞待放的梅花。

房间的木作细节颇为考究，严选平行纹理的柳杉打造，床之间的立柱是保留部分自然形态的光滑原木柳杉。在此之外，除了木框上点缀着数个家纹样式的金属钉帽，室内没有再多的装饰。会客厅与外面的主庭园设计相得益彰，尤其注重为就坐的访客营造绝佳视野。宽阔的木质缘侧（檐廊）既是通往庭园的室外通道，也是可坐在宽大屋檐下赏景的空间。

实用的居住空间

宅邸的私人区域可分为家庭起居空间与功能性空间（如厨房、仓库等）。家庭起居空间沿房屋后部一字排开，共享一条檐廊，通向后方庭园。这里有兼具就寝与日间活动功能的家族起居室，以及主人的私人房间和主母的房间。这些空间的设计与前方会客区域形成微妙却显而易见的反差，比如建材采用纹理生动的松木、长押（日式房间里的横木）的边角都被磨圆、白色金属钉帽设计成活泼的麻雀造型等。

功能性空间则包含铺有榻榻米的日常工作间，木地板厨房区内设泥制炉灶与低矮的石制水槽。厨房门外几步之遥有一口带顶水井，厨房的墙上则巧妙嵌入了一个大陶缸——缸体一半在室内、一半在室外，方便从外部水井打水灌入。厨房附近设有简易浴室，便于就近打水加热。这里还有一处存放发酵味噌大缸的小房间。宅邸的最里面有供奉家族祖先灵位的佛堂，以及一个仅两叠榻榻米大小的简朴茶室。

为满足现代游客需求，长屋门入口附近的马厩已改造成现代化卫生间，旁边的附属建筑则改建为茶室与礼品店。

开馆时间：4月1日至9月30日 8:30~18:00（入场截至 17:30），10月1日至次年3月31日 8:30~17:00（入场截至 16:30）

闭馆日：全年无休

门票：400日元，初中和小学生 200日元

<繁体字>

松江的武士宅邸

在江戶時代(1603-1867)，松江是重要的城下町(圍繞大領主的居城發展起來的市鎮)，需要大量武士駐守防禦。松江城周邊區域被劃定為武士家臣及其家眷的居住區。現在，松江得以留存的幾棟武士宅邸都經過改建，但這座為中級武士建造的宅邸卻被精心修復，保持著原始格局。

這座宅邸是「鹽見繩手街道」兩側多棟武士宅邸之一，街道蜿蜒於松江城北側的護城河旁。1733年，宅邸在一場大火被燒毀，得以重建之後又經歷過多次擴建與改造，一直至近年始終有人居住於此。2016年，當地依據明治時代(1868-1912)的圖紙及拆解舊建築時發現的資料，對宅邸進行精心修復，歷時3年完成。

低調和品味的典範

這座武士宅邸與所有中高階武士的宅邸一樣，是一處帶圍牆的院落，包含主屋、庭園、大門及附屬建築。鼎盛時期，院內曾居住著10位家族成員及僕從。武士宅邸的規模、建材與設計細節均嚴格依照武家等級規制，同時遵守恪守低調、不得炫耀奢華的官方規定。這座宅邸的建築面積約67坪(220平方公尺)，雖空間寬敞，外觀卻簡約樸素。修復工程中同時也還原了大量家具與生活用品，遊客能直觀想像武士家族簡樸的生活場景。

入口的等級之分

武士宅邸的主入口是名為「長屋門」的門樓，頗為寬大，內有可供3名低階武士侍從(稱為「中間」)居住的空間，還有儲物區存放主人轎子。門樓無過多裝飾，且高度較低，與宅邸主人的中等身份相符。穿過長屋門，就是一處小庭園，由此可通往主屋。

入口的等級區分是武士宅邸的一大特色：左側是儀門，只讓主人及重要訪客使用。這裡有一對寬大的木板推拉門，門外設有帶屋簷的寬闊門廊與台階，訪客可在此直接從轎子上下來，無需踩踏地面。儀門通向鋪有榻榻米的玄關，左邊便是主人的正式會客廳。緊鄰儀門右側就是側門，讓家中的女性、僕人、至交及親屬日常出入。側門通向泥土地面的玄關，從這裡既可拾階進入正前方鋪有榻榻米的私人起居室，也可進入同層右側泥土地面的廚房。房屋後方還有第三個入口，直接連通廚房，是實用性的後門。

整座宅邸的空間劃分亦遵循相同的脈絡：住宅前部為正式的會客空間，連通精心設計的主庭園；後部則作為家庭生活空間，並與更為隨性的後庭相接。

會客之室

宅邸中最體面的正式會客廳稱作「座敷」，是專為接待高階賓客而設置的空間。這類房間通常都設有日式壁龕「床之間」，用於懸掛卷軸、擺放插花或其他珍貴陳設，特定場合下還會陳列主人的佩刀。床之間右側是一個固定的矮書桌，柔和的光線透過障子窗漫射而入，照亮桌面；左側則是一個與視線齊平的素雅裝飾櫃，櫃門繪有一幅低調的水墨畫，描繪的是含苞待放的梅花。

房間的木作細節極為講究，以紋理平行的柳杉精心打造，床之間的立柱是保留部分自然形態的光滑原木柳杉。其他室內裝飾元素並不多，僅有點綴在木框之上的數枚家紋樣式的金屬釘帽。會客廳與外面的主庭園設計相得益彰，尤其注重為落坐的賓客營造出絕佳視野。寬闊的木質緣側（簷廊）既是通往庭園的動線，亦是可在深邃屋簷下席地而坐、靜賞庭景的所在。

實用的居住空間

宅邸的私人區域可分為家庭起居空間與廚房、倉庫等功能性空間。家庭起居空間沿房屋後部一字排開，共用一條簷廊，通向後方庭園。這裡有兼具就寢與日間活動功能的家族起居室，以及主人的私人房間和主母的房間。這些空間的設計與前方會客區域形成微妙卻顯而易見的反差，比如建材採用紋理生動的松木、長押（日式房間裡的橫木）的邊角都被磨圓、白色金屬釘帽設計成活潑的麻雀造型等等。

功能性空間則包含鋪有榻榻米的日常工作間，木地板廚房區內設泥製爐灶與低矮的石製水槽。廚房門外幾步之遙有一口帶頂水井，廚房的牆上則巧妙地嵌入了一個大陶缸——缸體一半在室內、一半在室外，方便從外部水井取水灌入。廚房附近設有簡易浴室，便於就近取水加熱。這裡還有一個小房間，存放發酵味噌的大缸。宅邸最深處有一間設有供奉家族祖先靈位的佛堂，以及一處僅兩疊榻榻米大小的簡樸茶室。

為了符合現代遊客的需求，現在長屋門入口附近的馬廄已經改造成現代化的衛生間，旁邊的附屬建築則被改建為茶室與禮品店。

開館時間：4月1日至9月30日 8:30~18:00（入場截至 17:30），10月1日至次年3月
31日 8:30~17:00（入場截至 16:30）

閉館日：全年無休

門票：400日圓，中小學生 200日圓

<日本語仮訳>

松江の武家屋敷

松江は江戸時代（1603–1867）の重要な城下町（大名の居城を中心に発達した都市）であり、その防衛には武士による大規模な守備隊が必要でした。松江城を囲む地域は、家臣の武士とその家族の居住区として指定されていました。松江には形を変えて現在も残る武家屋敷がいくつかありますが、ある中級武士のために建てられたこの屋敷は、当時の姿に丁寧に復元されています。

この屋敷は、松江城の北側の堀に沿って曲がりくねって走る「塩見縄手」沿いに建てられた、多くの武家屋敷の一つです。1733年の大火で焼失した後に再建され、その後何度も増改築を重ねてきました。最近まで使用されていましたが、2016年に明治時代（1868–1912）の図面や元の建物の解体中に発見された資料をもとに入念に修復されました。修復作業には3年の歳月がかかりました。

慎ましさと風情の好見本

最下級以上の武士の典型的な武家屋敷と同様に、屋敷、庭、門、離れが壁で囲まれた構造をしており、この武家屋敷もそのようなつくりになっています。最盛期には、敷地内に10人の家族と使用人が住んでいました。武家屋敷の大きさ、建材、および設計上の特徴は、武家の階級に基づいて細かく規制されており、公的に設定された基準を守ることに特別の注意が払われていました。武家は派手さを避けることが求められていました。延べ床面積約67坪（220平方メートル）のこの屋敷は、広々としていながら、外観は地味で控えめです。数多くの調度品や家財道具なども復元されており、来訪者が質素な武家の暮らしぶりを想像しやすくなっています。

玄関にみる階級

「長屋門」と呼ばれる大きな屋根付きの門が、この屋敷の正面玄関となっています。門の構造はかなり大きく、内側には3人の下級武士（中間）用の居住空間と、当主を乗せるかごの置き場があります。当主の低い階級に応じ、門は低く装飾は施されておらず、屋敷へと向かう中庭に面しています。

武家屋敷全体に共通する大きな特徴として、入口が階級別になっていることが挙げられます。左側には、当主と当主を訪ねる重要な来客のみが使う式台玄関があります。幅の広い木の板の引き戸が2つ、そして同じく幅広い屋根付き玄関と階段があるため、来客は地面に足をつけることなく、かごから降りることができます。この式台玄関を抜けると、畳敷きの玄関があり、左側に主人の正式な客室（座敷）があります。式台玄関のすぐ右側には、家族の女性や使用人、親しい友人、親戚などが日常的に使用するための側玄関があります。この玄関は土間の玄関に通じており、そこから畳敷きの個室に上がるか、同じ階層の右手の土間の厨房に上がることができます。屋敷の背面にある3つ目の玄関からは、厨房に直接出入りできるようになっており、実用的な裏口の役割を果たしています。

屋敷全体も同様に区分けされており、格調高い屋敷の前半分は注意深く設計された主庭に面し、家族の居住空間はより堅苦しくない裏庭に面しています。

来客を迎える部屋

座敷は屋敷の中で最上の部屋と考えられており、高位の来客を迎えてもてなすのに適した部屋です。このような部屋には、床の間という奥まった装飾用の空間が設けられ、掛け軸、生け花、その他の貴重な装飾品が飾られ、当主の刀が飾られる場合もあります。床の間の右には、障子から柔らかな光

が差し込む、作り付けの低い書き物机があります。床の間の左側には、目線の高さに置かれた控えめな飾り棚があり、扉には今にも咲きそうな梅が落ち着いた水墨画で描かれています。

この部屋の細部に使われている木材は、厳選された平行木目の杉を使用した上質なもので、床の間の柱には、杉の滑らかな丸太を一部自然のまま残したものを使用しています。その他の装飾は、木枠に家紋の形をした金属製の釘蓋がいくつか取り付けられているだけです。座敷と外の主庭は互いを引き立て合うように設計されており、来客が座った際の視点からどう見えるかに細心の注意が払われています。幅広い木製の縁側は、庭への通路であり、同時に広い軒下に座って景色を楽しむ場所でもあります。

機能的な居住空間

屋敷の私的空間は、家族の居住空間と、台所や倉庫などの機能的な空間に分けられます。前者は、屋敷の裏側に長い縁側に沿って一列に並んでおり、裏庭に通じています。これらの部屋は、寝室として、さらに日中の作業にも使われていたと思われる家族用の部屋で、主人の個室、主人の妻のための部屋などがあります。格式の高い部屋との設計上の違いはさりげなくも印象的で、例えば使われている松に生き生きとした木目があったり、角が丸められた長押や、遊び心のある白い金属製のスズメの形の釘隠しがあったりします。

機能的な空間には、日常の仕事をするための畳の部屋と、土間と石の低い流し台を備えた木の床の台所があります。台所の扉から外に出て数歩のところには屋根付きの井戸があり、大きな陶器の水入れは、内と外を半々にして巧みに壁にはめ込まれており、外の井戸から簡単に水を入れることができます。近くに簡素な浴槽があり、水と加熱用の燃料が効率的に利用できるようになっています。味噌を入れて発酵させるための大きな桶を置くための小さな部屋も設けられています。屋敷の一番奥には、先祖代々の霊を祀った仏壇を置いた仏間と、二畳の広さの簡素な茶室があります。

長屋門の入り口付近にあった馬小屋は、現代の訪問者に対応するために現代的なトイレに改装され、近くにあった離れは、茶屋と土産店に改装されています。

入場時間：4月1日-9月30日 8:30～18:00（入場は 17:30 まで）、10月1日-3月31日 8:30～17:00（入場は 16:30 まで）

休館日：年中無休

入場料：大人 400 円、小・中学生 200 円

【タイトル】茶室明々庵

【想定媒体】WEB、パンフ

<簡体字>

明明庵茶室

明明庵（意为“明亮澄澈之庵”）是一座精致美丽的茶室，建于1779年，由松江藩第7代藩主松平治乡(1751-1818)设计。他是一位著名的茶道大师，同时研习禅宗，法号“不昧”。这座茶室、庭园、世代相传的茶具，以及在此供应的和菓子（日本传统甜点），均体现了他所创立的茶道“不昧流”不拘一格的敏锐审美意趣。

令人向往的瑰宝

明明庵具有极高的审美价值与吸引力，而且便于拆解、迁移，这些都在很大程度上造就了它跌宕起伏的历史。它最初建于松江城附近有泽家族主宅的庭园内，历经数代后被拆解、迁至东京原宿的松原新之助(1853-1916)的宅邸；随后又被迁移到东京四谷的松平直之伯爵(1861-1932)的所有地内；1928年，茶室被移至松江市郊的一座小山上。

第二次世界大战(1939-1945)后，明明庵逐渐破败，但在当地民众的支持下，于1966年不昧去世150周年之际，在松江赤山的现址完成修复。

私密的茶室设计

明明庵的内部设计以一间二叠台目（台目指一叠的3/4，二叠台目即2.75叠）榻榻米大小的茶室为核心，空间极为紧凑私密。进入茶室需通过小小的“躡口”（躡，音同“吝”），访客必须躬身屈膝爬行而入，以示谦逊。入口附近设有挂刀架，即便是身份最高的藩主，进入茶室也需卸下武器。

茶室的半透明障子小窗高低错落，通过调节可以让柔和的光线洒满室内。室内设有一个简易的“床之间”（日式壁龛），用于悬挂书、画卷轴，或摆放插花与陈设品。床之间的镶边立柱是一根部分剥去树皮的松树细柱，更添质朴气息。

不昧对茶室设计的一大创新是去除了“中柱”。这根柱子原本是小空间内的设计亮点，用于分隔主持人与客人的座位。去掉中柱后，空间更为简洁，令主、客的身心都拉近了距离。

茶室旁设有一间小型准备室“水屋”，内有简易搁架和存放茶具的空间。两室之间有一扇低矮的移门，便于主人将水屋里备好的器具送到茶室。茶室另一侧设有一处较宽敞且

带屋顶的贵人入口与等候室，是高阶访客专用区域。内有独立水屋，可用于举办规模较大的茶会。茶室最后方还有第三个小入口，供协助筹备茶道仪式的助手和其他相关人员使用。

外观设计的谦逊之美

高耸的歌山顶茅葺屋顶是明明庵的另一大特征，这种样式被称为“不昧公之爱”（日语为：不昧公御好み），其设计与构造刻意模仿农舍，传递出清贫与谦逊的意象。陡峭的屋顶坡度则出于实用考量，可以防止当地冬季的厚雪堆积。一块褪色的木牌上题有“明々庵”三字，深藏于屋檐下的凹口处。

茶室坐落于小巧的内庭中，园内铺设碎石，大小、形状、颜色各异的踏脚石颇有韵律地汇成一条小径，周边的树木营造出遮蔽感，将内庭与外界环境隔离开来。一座带顶的小型凉亭既是内庭的入口，也可供客人在此静坐等候召唤。亭内还设有一处装饰性的厕所，它象征着洁净与待客之道，从未真正投入使用。

开阔的外庭属于“出云流”风格庭园，地面铺着悉心耙制的白色沙砾，由大块踏脚石铺就的小径穿行其中。一排屏风般的树木与精心修剪的灌木勾勒出山峦意境，既分隔了外庭与内庭，又将茶室遮蔽至仅剩一角屋顶。

旁边的赤山茶道会馆前，也有一处宽阔的碎石庭园，从这里可眺望松江城的绝佳美景。

开馆时间：4月1日至9月30日 9:00~18:00（入场截至 17:40），10月1日至次年3月31日 9:00~17:00（入场截至 16:40）

闭馆日：全年无休

门票：600 日元，初中和小学生 300 日元

<繁体字>

明明庵茶室

明明庵（意為「明亮澄澈之庵」）建於 1779 年，是一座精緻美麗的茶室，由松江藩第 7 代藩主松平治鄉（1751-1818）設計。他是一位著名的茶道大師，同時研習禪宗，法號「不昧」。這座茶室從茶室本身、庭園、世代相傳的茶具，到在此供應的和菓子（日本傳統甜點），都體現了他所創立的茶道「不昧流」不拘一格的敏銳審美意趣。

令人嚮往的瑰寶

明明庵不但具有極高的審美價值和吸引力，而且便於拆解、遷移，這些在很大程度上都造就了它跌宕起伏的歷史。它最初建於松江城附近有澤家主宅的庭園內，歷經數代後被拆

解、遷至東京原宿的松原新之助（1853-1916）的宅邸；隨後又被遷移至東京四谷的松平直之伯爵（1861-1932）的所有地內；直到 1928 年，茶室被移至松江市郊的一座小山上。

明明庵在第二次世界大戰（1939-1945）之後逐漸破敗，但在當地民眾的支持下，於 1966 年在松江赤山的現址完成修復，那一年，正是不昧去世 150 週年。

私密的茶室設計

明明庵的內部設計以一間二疊台目（台目指一疊的 3/4，二疊台目即 2.75 疊）榻榻米大小的茶室為核心，空間極為緊湊私密。進入茶室需通過小小的「躡口」（躡，音同「吝」），訪客必須躬身屈膝爬行而入，以示謙遜。入口附近設有掛劍架，即便是身份最高的藩主，進入茶室也需卸下武器。

茶室半透明的障子小窗高低錯落，可透過調節讓柔和的光線灑滿室內。室內設有用於懸掛書、畫卷軸，或擺放插花與陳設品的簡易「床之間」（日式壁龕）。床之間的鑲邊立柱是部分剝去樹皮的松樹細柱，更添質樸氣息。

去除「中柱」是不昧對茶室設計的一大創新。這根柱子用於分隔主人與客人的座位，原本是小空間內的設計亮點。去掉中柱後，空間更為簡潔，主、客的身心都因此拉近了距離。

茶室旁設有「水屋」，這是一間小型準備室，內有簡易擱架和存放茶具的空間。兩室之間有一扇低矮的移門，便於主人從水屋取用備好的器具送入茶室。茶室另一側設有一處較寬敞且帶屋頂的貴人入口與等候室，專供高階訪客使用。內有獨立水屋，可用於舉辦規模較大的茶會。茶室最後方還有第三個小入口，是給協助籌備茶道儀式的助手和其他相關人員使用的地方。

外觀設計的謙遜之美

高聳的歇山頂茅葺屋頂是明明庵的另一大特色，這種樣式被稱為「不昧公之愛」（日語為：不昧公御好み），其設計與構造來自於對農舍的刻意模仿，傳遞出清貧與謙遜的意象。陡峭的屋頂坡度則出於實用考量，可以防止當地冬季的厚雪堆積。一塊褪色的木牌深藏於屋簷下的凹口處，上題有「明々庵」三字。

茶室坐落於小巧的內庭中，園內鋪設碎石，大小、形狀、顏色各異的踏腳石頗有韻律地匯成一條小徑。周邊的樹木營造出遮蔽感，將內庭與外界環境隔離開來。一座帶頂的小型涼亭既是內庭的入口，也可以讓客人在此靜坐，等候召喚。亭內還設有一間象徵著潔淨與待客之道的裝飾性廁所，從未真正投入使用。

開闊的外庭屬於「出雲流」風格的庭園，地面鋪著悉心耙製的白色沙礫，由大塊踏腳石鋪就的小徑穿行其中。一排屏風般的樹木與精心修剪的灌木勾勒出山巒意境，既分隔了外庭與內庭，又將茶室遮蔽至只剩下一角屋頂。

旁邊の赤山茶道會館前也有一處寬闊的碎石庭園，從這裡可眺望松江城的絕佳景致。

開館時間：4月1日至9月30日 9:00～18:00（入場截至 17:40），10月1日至次年3月
31日 9:00～17:00（入場截至 16:40）

閉館日：全年無休

門票：600 日圓，中小學生 300 日圓

<日本語仮訳>

茶室明々庵

明々庵（明るく、澄み切る庵）は非常に精緻で美しい茶室で、松江藩の7代藩主松平治郷（1751-1818）の設計で、1779年に建てられました。治郷は茶人として有名で禅も修めており、「不昧」という号でも知られていました。この茶室、庭、何世代にもわたって受け継がれてきた茶道具、およびここで提供される和菓子はすべて、彼が創始した「不昧流」という茶道の流派の、従来のしきたりにとらわれない鋭い感性を体現しています。

願望の対象

明々庵の歴史は複雑です。それはその美的価値と好ましさ、また解体と移築が容易であったことが原因です。明々庵は元々松江城近くの有澤家本邸の敷地内に建てられていましたが、数世代後に解体され、東京・原宿の松原新之助（1853-1916）の屋敷に移されました。その後、再び東京・四谷の松平直之伯爵（1861-1932）の所有地に移され、1928年に松江郊外の高台に移築されました。

第二次世界大戦（1939-1945）後、次第に荒廃していましたが、地元の支援により、不昧の没後150年を経た1966年、現在の松江の赤山の地に復元されました。

親密さを主題とした茶室設計

明々庵の内装設計の中心にあるのは、二畳の茶室（二畳台目）という極めて狭く親密さを感じる大きさの空間です。「にじり口」と呼ばれる小さな出入口から、手と膝をついて這うようにして慎ましやかに入ります。近くには刀を掛ける棚があり、どんなに高位の大名でも武器を持たずに入らなければならないことになっていました。

障子で覆われた小窓がさまざまな高さに設置されており、部屋に優しい光が差し込むように調整することができるようになっています。簡素な床の間には、書や画などの掛け軸や生け花、装飾品などが飾られます。床の間は皮を一部剥がした松の小柱で縁取られており、素朴な雰囲気醸し出しています。

不昧の茶室の工夫の一つに、「中柱」と呼ばれる柱をなくしたことが挙げられます。中柱は狭い空間の設計上のアクセントとして用いられ、亭主の席と客の席を分けるものでした。この柱をなくしたことで、

空間はよりシンプルになり、亭主と客は物理的にも心理的にも距離が縮まります。

茶室に隣接した、水屋と呼ばれる小さな準備室には、簡素な棚と道具の収納場所があります。茶室と水屋は低い引き戸で隔てられており、亭主は水屋に準備しておいた道具を簡単に茶室に取り込むことができます。茶室の反対側には、位の高い来客が使用するために設けられた、より大きな屋根付きの貴人口と待合室があり、ここには普通に入ることができます。専用の水屋があるこの部屋も、大規模な茶会に使用することができます。一番奥にある小さな第三の入り口は、手伝いの人やその他の関係者が茶会の準備に使うためものです。

質素な外観

明々庵は、茅葺きの高い入母屋造の屋根が特徴で、これは「不昧公御好み」と呼ばれます。設計と建築方法は農家を忠実に模しており、貧しさと謙虚さが感じられます。屋根の勾配が急なのは、この地域の冬の豪雪時に、雪が積もらないようにするための工夫です。深い切妻の窪みには、「明々庵」と書かれた色あせた木製の扁額がかけられています。

茶室は砂利を敷き詰めた小さな中庭の中にあり、大小さまざまな形や色の飛び石がリズムよく配置されています。周囲の木々は、外から隔絶され守られているような雰囲気を醸し出します。小さな屋根付きの休憩所は中庭への入口となっており、来客が茶室に呼ばれるまで待つための腰掛けと、装飾としてのトイレもあります。このトイレは清潔さともてなしの象徴であり、使用されるためのものではありませんでした。

広々とした外庭は出雲流庭園となっており、箒の跡が残る小石の地面に、大きな踏み石が小道を作っています。目隠しのような木々や注意深く剪定された低木が並び、これらが合わさって山の景観を想起させ、中庭とこの空間を隔てています。茶室も屋根の角以外は見えません。

隣接する赤山茶道会館の正面にも小石を敷いた大きな庭園があり、こちらからは松江城の見事な眺めが楽しめます。

開館時間：4月1日-9月30日 9:00～18:00（入館は 17:40 まで）、10月1日-3月31日 9:00～17:00（入館は 16:40 まで）

休館日：年中無休

入館料：大人 600 円、小・中学生 300 円

【タイトル】 月照寺

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

月照寺

月照寺是松平家族的菩提寺（家庙），这个家族统治松江长达 10 代之久。这里原本有一座更古老的禅宗寺院，后在松平家族的资助下，改为日本佛教净土宗寺院。寺内安葬着松平家族的 9 位松江藩主，他们的墓所各自建在石阶上方宽敞的墓园内，配有华丽的木制墓门，周边环绕着石灯笼。墓碑本身是气势不凡的佛教石制纪念碑，有的是传统的佛教五轮塔，有的则是造型奇特的五轮塔。这些石碑都坐落在抬高的石基上，四周环绕着高大的石栏杆。

松平宗衍的石龟

在月照寺中，松平直政(1601-1666)的墓所最大，他是德川幕府(1603-1867)初代将军德川家康(1543-1616)之孙，1638 年成为首位统治松江的松平家族藩主。其墓所两侧流淌着长满睡莲的人工小河，需通过一座低矮的石桥进入。

月照寺的多数墓所都有与墓主相关的独特标志，其中最著名的是第 6 代藩主松平宗衍(1729-1782)墓旁的巨型石龟。这只石龟高 5 米，背上驮着一块巨大的石碑。19 世纪末出生于希腊的作家小泉八云（1850-1904；原名拉夫卡迪奥·赫恩）曾在其 1904 年出版的代表作《怪谈》中记载过这只石龟，传说抚摸龟首可延年益寿。不过，小泉八云本人却觉得在夜晚撞见它时，会感到毛骨悚然。

茶筌供养

松江藩第 7 代藩主松平治乡(1751-1818)以茶道大师“不昧”之名广为人知，其墓所的木制墓门较为独特，通常用于雕刻神兽的位置，被精致繁复的葡萄纹样取代。这组雕刻采用深浮雕与透雕技法，细节丰富，主题选择颇为罕见，风格隐约可见古典欧洲艺术的影子。

月照寺内还有多处纪念“不昧”的地方。他常从寺庙正门附近的一口井中取水用于茶道，直到今天，这口井的水仍被用于茶道。他的墓所内设有一座“茶筌纪念碑”（筌，音同“显”；茶筌是点抹茶时，用于搅拌茶并打出泡沫的工具）。茶筌由竹子制成，使用寿命有限，每年 4 月（“不昧”忌辰当天），这里会举行“茶筌供养”仪式，送别“退休”的茶筌。

月照寺以 1~7 月間次第綻放的各類花卉聞名，尤其是 6 月，盛開的 3 萬株繡球花（紫陽花）吸引著大量遊客前來。儘管昔日宏偉的本堂（正殿）僅存地基，但寺內仍保留著一些建築，其中就有一間對公眾開放的茶室。

<繁體字>

月照寺

月照寺是統治松江 10 代的松平家的菩提寺（家廟）。此處原本有一座歷史更悠久的禪宗寺院，後在松平家的資助下，改為日本佛教淨土宗寺院。寺內安葬著九代松江藩的松平家藩主，他們的墳墓各自建在石階上方寬敞的墓園內，配有華麗的木製墓門，周邊環繞著石燈籠。墓碑本身是氣勢不凡的佛教石製紀念碑，有的是傳統的佛教五輪塔，也有是造型獨特的五輪塔，這些石碑都坐落在抬高的石基上，周邊以高大的石欄杆環繞。

松平宗衍的石龜

月照寺中松平直政（1601-1666）的墓區最大，他是德川幕府（1603-1867）初代將軍德川家康（1543-1616）之孫，於 1638 年成為首位統治松江的松平家藩主。其墓區兩側流淌著長滿睡蓮的人工小河，需通過一座低矮的石橋進入。

月照寺的多數墓區都有與墓主相關的獨特標誌，其中最著名的是第 6 代藩主松平宗衍（1729-1782）墓旁的巨型石龜。這只石龜高 5 公尺，背上馱著一塊巨大的石碑。19 世紀末出生於希臘的作家小泉八雲（1850-1904；原名拉夫卡迪奧·赫恩）曾在 1904 年出版的代表作《怪談》中記載過這只石龜，傳說撫摸龜首可延年益壽。不過，小泉八雲本人卻覺得在夜晚撞見它時，會感到毛骨悚然。

茶筴供養

松江藩第 7 代藩主松平治鄉（1751-1818）以茶道大師「不昧」之名廣為人知，他墓區中的木製墓門較為獨特，通常用於雕刻神獸的位置，被精緻繁複的葡萄紋樣取代。這組雕刻主題選擇頗為罕見，採用深浮雕與透雕技法，細節豐富，風格隱約可見古典歐洲藝術的影子。

月照寺內還有多處記念「不昧」的地方。例如，當年「不昧」常從寺廟正門附近的一口井中取水用於茶道，直至今日，這口井的水仍被用於茶道。他的墓區內設有一座「茶筴紀念碑」（筴，音同「顯」；茶筴是點抹茶時，用於攪拌茶並打出泡沫的工具）。茶筴由竹子製成，使用壽命有限，每年 4 月（「不昧」忌辰當天），這裡會舉行「茶筴供養」儀式，送別「退休」的茶筴。

月照寺以1~7月間次第綻放的各類花卉聞名，尤其在6月，盛開的3萬株繡球花（紫陽花）吸引了大批遊客。雖然昔日宏偉的本堂（正殿）如今僅存地基，但寺內仍保存著一些建築，其中有一間對大眾開放的茶室。

<日本語仮訳>

月照寺

月照寺は、10代にわたって松江を統治した松平家の菩提寺です。元々この場所には古い禅宗の寺がありましたが、松平氏の庇護の下で浄土宗の寺になりました。ここには松平家の松江藩主9人の墓があり、それぞれの墓は石段の上にある大きな墓所内にあり、石灯籠に囲まれた豪華な木の廟門があります。墓標自体は、堂々とした石碑で、伝統的な仏教の五輪塔もあれば、異形の五輪塔もあります。これらの石碑は石の台座の上に乗せられ、高い石の手すりで囲まれています。

宗衍の石亀

月照寺で最大の墓所は、将軍徳川家康（1543-1616）の孫で、1638年に松江の初代藩主となった松平直政（1601-1666）のもので、直政の墓所は、両側が蓮の葉で覆われた堀で囲まれ、低い石橋が架けられています。

月照寺の墓所の多くは、埋葬された人物にちなんだ独特の特徴があります。最も有名なのは、6代藩主宗衍（1729-1782）の墓の横に置かれた巨大な石の亀です。背中には巨大な石板が乗せられ、その高さは5メートルにも及びます。19世紀末のギリシャ生まれの作家小泉八雲（1850-1904、本名ラファディオ・ハーン）は、1904年に出版された彼の代表作『怪談』の中でこの亀を取り上げており、この亀の頭を優しく叩くと長寿が約束されると言われています。しかし八雲は、暗くなってから遭遇するのはとても不気味だとしています。

茶筥供養

「不昧」の名で知られる茶人・松平治郷（1751-1818）の墓所には、木製の廟門の、通常ならば神話上の動物の彫刻が施される場所に、美しいブドウの彫刻が施されています。この彫刻は繊細かつ豊かで、深いレリーフ彫りと透し彫りが組み合わされています。ブドウというレリーフは異例であり、彫刻の様式はヨーロッパに典型的に見られるものです。

月照寺には、その他にも不昧が偲ばれるものがあります。不昧は寺の山門近くの井戸から頻繁に茶会用の水を汲んでおり、今でもこの井戸は同じ目的で使われています。彼の墓所には、使用できる期間に限りのある竹でできた茶筥（抹茶をたてる時、茶をかきまわして泡を立てるための道具）に捧げられた碑があり、毎年4月の不昧の命日に合わせて、使えなくなった茶筥の「供養」が行われています。

月照寺は、1月から7月にかけて様々な種類の花が咲くことで有名で、特に3万株のアジサイの花が咲く6月には多くの参拝者が訪れます。大きな旧本堂は基礎しか残っていませんが、いくつか現存している建物もあり、その中には一般公開されている茶室もあります。

【タイトル】 佐陀神能

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

佐陀神能

“佐陀神能”是一场为期两天的仪式性净化舞蹈，每年9月24、25日两天在松江市北部鹿岛町の佐太神社（被尊为“佐陀大社”）举行。这些舞蹈是佐太神社最重要的“御座替节”（更换供神明落座的编织草席）庆典的一部分，融合了充满活力、丰富多彩的传统神道教神乐舞^{*1}与能剧^{*2}中更为精致的元素，伴随着吟唱、笛声和鼓点起舞。17世纪早期，佐太神社的神官（神职人员）宫川秀行（生卒年不详）曾前往京都学习当时的能剧样式。回佐陀后，他引入能剧元素，发展出了地方版本。

※神乐舞：日本最古老的传统表演艺术之一，是为祭祀神灵而表演的舞乐。

※能剧：形成于14世纪，融舞蹈、音乐和戏剧为一体，是日本代表性的古典艺术，也是世界上现存最古老的舞台艺术形式之一。

露天表演

佐太神社的确切创建日期尚无定论，但根据公元8世纪编纂的《出云国风土记》中记载，它于8世纪早期就已存在。神社的布局颇为独特，三座本殿（正殿）并排而立，由共用的长廊和门楼相连。这些本殿建于1807年，采用最古老的神社建造方式之一“大社造”风格建造，现已被指定为国家重要文化财产。

佐陀神能表演在本殿附近带顶的露天舞台上举行，当地居民、佐太神社的神官以及来自周边神社的人员都会参与表演。届时共上演约15支舞蹈，虽由非专业人士演绎，却具有极高水准。

舞蹈中的神道教神话

9月24日，即庆典的第一天晚上会举行“七座神事”仪式，通过7支舞蹈来净化新的草席。参与者抬着草席登上3座本殿陡峭的台阶，随后宫司（神社最高负责人）进入殿内，关闭殿门更换草席，其他人则在殿外吟唱。

次日的活动是庆祝换席仪式圆满完成，当晚会上演3支源自能剧的祝贺舞蹈，称为“式三番”。之后是一系列热闹的假面舞蹈，内容多取材于神道教神话。其中著名的《八重垣》演绎了须佐能袁命斩杀八岐大蛇（日本神话中拥有八头的巨蛇）的神话故事。色彩绚丽的服

饰、极具冲击力的戏剧化面具、剑术对决等充满活力的动作、善恶之间的战斗场景，别具一格的特色令这些舞蹈广受欢迎。

依然鲜活的舞蹈传统

17 世纪，佐陀神能被引入，对当地神社舞蹈产生了深远影响，这种表演形式在该地区传播开来，直至今日仍在上演。然而，随着日本社会老龄化加剧，越来越难找到能继承这项传统的新一代表演者。

1919 年，当地成立了一个保护协会，助力这一地方性的能剧传统。佐陀神能早在 1976 年就被日本政府指定为重要非物质民俗文化财产，并于 2011 年被联合国教科文组织 (UNESCO) 列入了人类非物质文化遗产名录。

<繁体字>

佐陀神能

「佐陀神能」每年 9 月 24、25 日兩天在松江市北部鹿島的佐太神社（被尊為「佐陀大社」）舉行，是一場為期兩天的儀式性淨化舞蹈。這些舞蹈是佐太神社最重要的「御座替節」（更換供神明落座的編織草席）祭典的一部分，融合了充滿活力、豐富多彩的傳統神道教神樂舞^{*1} 與能劇^{*2} 中更為精緻的元素，伴隨著吟唱、笛聲和鼓點起舞。佐太神社的神官（神職人員）宮川秀行（生卒年不詳）曾在 17 世紀早期前往京都學習當時流行的能劇樣式，隨後將其引入佐陀，發展出具地方特色的版本。

※神樂舞：祭祀神靈的舞樂，日本最古老的傳統表演藝術之一。

※能劇：形成於 14 世紀，現存世上最古老的舞台藝術形式之一，融合舞蹈、音樂與戲劇，也是日本代表性的古典藝術。

露天表演

雖然佐太神社的確切創建日期尚無定論，但根據西元 8 世紀編纂的《出雲國風土記》中的記載，神社於 8 世紀早期就已存在。神社的布局頗為獨特，三座本殿（正殿）並排而立，以共用的長廊和門樓相連。這些建於 1807 年的本殿採用最古老的神社建築風格之一「大社造」風格建造，現已被指定為國家重要文化財產。

佐陀神能表演在本殿附近帶頂的露天舞台上舉行。演出時，當地居民、佐太神社的神官以及來自附近神社的人員都會參與。當天共表演約 15 支舞蹈，水準極高，讓人難以相信這竟然是由非專業人士所演繹的。

舞蹈中的神道教神話

9月24日，祭典第一天晚上會舉行名為「七座神事」的儀式，透過7支舞蹈來淨化新的草席。參與者抬著草席登上3座本殿陡峭的台階，隨後宮司（神社最高負責人）進入殿內，關閉殿門更換草席，其他人則於殿外吟唱。

第二天的活動是慶祝換席儀式圓滿完成，當晚會上演3支源自能劇的祝賀舞蹈，稱為「式三番」。之後登場的是一系列取材於神道教神話的假面舞蹈，精彩熱鬧。其中著名的《八重垣》演繹了須佐能袁命斬殺八岐大蛇（日本神話中擁有八頭的巨蛇）的神話故事。色彩絢麗的服飾、極具衝擊力的戲劇化面具、激烈劍術對決等充滿活力的動作，加上善惡之間的戰鬥場景，整場表演呈現出獨具魅力的特色，深受觀眾喜愛。

依然鮮活的舞蹈傳統

佐陀神能在17世紀被引入，對當地神社舞蹈產生了深遠的影響。這種表演形式在整個地區傳播開來，直至今日仍在上演。然而，隨著日本社會高齡化，如今已經越來越難找到能繼承這項傳統的新一代表演者。

於是，當地在1919年成立了一個保護協會，助力這一地方性的能劇傳統。早在1976年，佐陀神能就已經被日本政府指定為重要無形民俗文化財產，聯合國教科文組織（UNESCO）則在2011年將其列入了人類非物質文化遺產名錄。

<日本語仮訳>

佐陀神能

佐陀神能は清めの神事として奉納される舞で、毎年9月24日と25日に2日間かけて松江市北部の鹿島町にある佐太神社（「佐陀大社」と称えられている）で行われます。この舞は、神社の神々が座するための莫座の交換を祝う「御座替祭」という神事の一環です。これらの舞は、活気溢れる色彩豊かな神楽舞^{※1}と、能劇^{※2}から取り入れたより洗練された要素を混ぜ合わせたもので、掛け声、笛、および太鼓の音に合わせて踊られます。能の要素は、京都で当時の能の様式を学び、佐陀に帰ってこの地元版を考案した、佐太神社の神職宮川秀行（生没年不詳）により、17世紀初頭に取り入れられました。

※1 神楽舞：日本最古の伝統芸能のひとつで、神を祀るために奏する舞楽。

※2 能劇：14世紀に成立し、舞踊と音楽と演劇とが一体となった日本の代表的な古典芸能であり、世界で最も古くから続いている舞台芸術の一つ。

野外公演

佐陀神社がいつ創建されたかは定かではありませんが、紀元8世紀に編纂された『出雲國風土記』の記述から、8世紀初頭には存在していたことが分かっています。この神社は、3つの本殿が並んで建ち、

それらが屋根付きの廊下と門で結ばれているという珍しい構造をしています。この本殿は1807年に最も古い神社形式の一つである「大社造」の様式で建てられたもので、重要文化財に指定されています。

9月の佐陀神能は、境内の本殿近くの屋根付きの野外の舞殿で、地元住民、神職、および地元の他の神社からの参加者によって奉納されます。約15の舞があり、アマチュアによる舞ではありますが、極めて高いレベルのものです。

舞に登場する神話

神事の初日である9月24日には、夜に「七座神事」が奉納されます。これは7つの舞で、新たな莫座を清めるためのものです。参加者は莫座を担いで3つの本殿の急階段を上がり、その後宮司が入って扉を閉め、莫座を交換します。その間参加者は下から掛け声をあげます。

翌日の行事では、莫座の交換の神事が完了したことを祝い、夜に3つのお祝いの舞が奉納されます。これらは能から引き継がれたもので、「式三番」と呼ばれています。それが終わると、神道の神話を題材にした活気溢れる舞が、仮面をつけた踊り手によって奉納されます。中でも特筆すべきは「八重垣」で、須佐能袁命が8つの頭を持つ八岐大蛇を退治するという神話の場面が再現されます。この人気の舞は、色鮮やかな衣装、驚くほどドラマチックな仮面、刀を使った振り付けなどのダイナミックな動き、そして善と悪の戦いが特徴です。

生き続ける舞の伝統

17世紀に佐陀神能が始まったことは、地元の神社の舞にも大いに影響を与えました。その影響は地域一帯に広まり、今日でも奉納され続けています。しかし、日本社会の高齢化により、この伝統を継承する新世代の踊り手の確保が難しくなっています。

1919年に発足した保存会の尽力により、佐陀神能は1976年に国の重要無形民俗文化財に指定され、2011年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。

【タイトル】 鼙行列

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

鼙行列

“鼙行列”（鼙，音同“冬”）在每年10月的第三个周日于松江市举行。“鼙”是出云地区对日本太鼓的称呼。这个庆典的重头戏是松江市30个街区之间的击鼓竞赛，每个街区都会派出一辆带顶的大型花车，车上平放着一对巨大太鼓。孩子们拉着花车，大人们则奋力敲鼓。每组队列里除了鼓手和拉车人，还包括吟唱者以及演奏铜钹和横笛的乐师。庆典的参与者都身着色彩鲜艳的传统服饰，浩浩荡荡可达数百人。

击鼓与饮酒

“鼙行列”的起源可追溯至17世纪，当时人们会在太鼓、横笛和铜镲的伴奏下，抬着神轿游行。到了18世纪，出现了双层神轿，孩子们负责在一层击鼓。那时的太鼓尺寸较小，直径仅仅50厘米左右。进入明治时代(1868-1912)后，神轿演变成了花车，太鼓的直径也增大到1米甚至更大。由于人们饮酒无度，这个庆典曾几度被禁，最终因完善了规划和管理，才得以延续至今。

代代相传的传统

1915年大正天皇(1879-1926)即位庆典对鼙行列的发展起到了巨大的推动作用，尤其是在带轮花车的设计上——使花车变得更大，也更为精致。当时，大多数街区的太鼓直径为120~150厘米，而有两个团体的太鼓直径甚至接近2米。每个街区都拥有独特的花车设计和击鼓风格，在庆典开始前的几周里，每天夜里整个松江市的太鼓彩排声此起彼伏。正是因为有了鼙行列这样的活动，一代代的松江人才有机会延续各街区的传统，并能在庆典上扮演属于自己的角色。

平日里，花车、灯笼、乐器及其他节日用品都存放在专门的仓库中。但在寺町街区的松江鼙传承馆，人们全年都能看到花车、太鼓，以及介绍这项热闹庆典历史与文化的相关视频。

<繁体字>

鑿行列

「鑿行列」（鑿，音同「冬」）每年 10 月的第三個週日在松江市舉行。「鑿」是出雲地區對日本太鼓的稱呼。這項祭典的重頭戲是松江市 30 個街區之間的競賽，每個街區都會派出一輛頂部有棚的大型花車，車上固定著一對橫放的巨大太鼓。孩子們負責推拉花車，大人則奮力擊鼓。除了鼓手與拉車者，每個街區的隊伍中還包括吟唱者，以及演奏銅鈸與橫笛的樂師。參與者全都穿著色彩鮮明的傳統服飾，整體陣容多達數百人。

擊鼓與飲酒

這項祭典的起源可追溯至 17 世紀。當時人們會在太鼓、橫笛與銅鈸的伴奏下抬著神轎遊行。到了 18 世紀，出現了雙層神轎，由孩童負責在下層擊鼓。當時的太鼓尺寸較小，直徑僅約為 50 公分。進入明治時代（1868-1912）後，神轎逐漸演變為花車，太鼓的直徑也增大至 1 公尺甚至更大。由於民眾飲酒過度，這項祭典幾度曾被禁止，最終在規範了計畫和管理之後，才得以延續至今。

代代相傳的傳統

1915 年，大正天皇（1879-1926）即位祭典大幅推動了鑿行列的發展，尤其是在帶輪花車的設計上——花車不僅更大，也更加精緻。當時，大多數街區的太鼓直徑為 120~150 公分，但也有兩個團體的太鼓直徑接近 2 公尺。每個街區都有獨特的花車設計與擊鼓風格。在祭典正式開始前的數週內，整個松江市每晚都能聽到此起彼落的太鼓彩排聲。正因為有鑿行列這樣的傳統，一代代松江人才有機會延續各自街區的文化，並在祭典中扮演屬於自己的角色。

平時，花車、燈籠、樂器與其他節慶用品皆存放於專用的倉庫。不過在寺町街區的「松江鑿傳承館」內，全年都能看到花車、太鼓，以及關於鑿行列的相關影片，從中可以了解到這項熱鬧非凡的祭典的歷史與文化。

<日本語仮訳>

鑿行列

鑿行列は、毎年松江で10月の第3日曜日に開催されます。出雲地方では、日本の太鼓のことを「鑿」と呼んでいます。鑿行列では、松江の30の地区が、2つの大太鼓を水平に設置した屋根付きの大きな山車で競い合います。子どもたちが山車を引き、大人が太鼓を叩きます。各チームには、山車をひく人と太鼓を叩く人に加えて、歌い手や「チャンガラ」と呼ばれるシンバルや横笛による囃子方もいます。各地区から数百人ももの人が集まり、色鮮やかな伝統装束を身にまとい競い合います。

太鼓を叩き、酒を飲む

鑿行列の起源は17世紀、太鼓や笛やシンバルの演奏にあわせて神輿をひいたことに遡ります。18世紀には、一階で子供たちが太鼓を叩く二階建ての神輿が登場しました。当時の太鼓は直径50センチほどの小さなものでした。明治時代（1867-1912）に入ると、神輿は山車となり、太鼓の直径は1メートル以上になりました。鑿行列は人々が公の場で酒を飲みすぎるため、何度か禁止されましたが、やがて計画と管理が行き届くようになり、存続できるようになりました。

世代を超えた伝統の継承

1915年の大正天皇（1879-1926）の御即位の祝いは、鑿行列にとって大きな刺激となりました。特に、車輪付きの山車の設計はより大きくなり、精巧さを増しました。当時のほとんどの地区の太鼓は直径120から150センチメートルでしたが、2つの地区にはほぼ2メートルの太鼓がありました。それぞれの地区の山車にはそれぞれ特有の設計と太鼓の叩き方があり、本番前の数週間、夜になると松江市中で太鼓のリハーサルの音が聞こえます。鑿行列は、それぞれの世代が地区の様々な伝統や祭りでの役割を継承する機会になっています。

山車、提灯、楽器、およびその他の祭り用の道具は、祭りの季節以外は専用の倉庫で保管されます。寺町地区の松江鑿伝承館では、山車や太鼓のほか、この賑やかな祭りの伝統と歴史を伝える動画を一年中見ることができます。

【タイトル】黄泉比良坂

【想定媒体】WEB、パンフ

<簡体字>

黄泉比良坂

在日本神话中，黄泉比良坂是通往冥界的入口，也是日本创世神明“伊耶那岐命”与“伊耶那美命”永别的地方。根据古老的传说典籍《古事记》记载，伊耶那岐命与伊耶那美命用一根诸神赐予的长矛搅动海水，创造了日本诸岛。伊耶那美命生下火神后不幸离世，进入了名为“黄泉国”的黑暗世界。她的丈夫伊耶那岐命为了将她带回人间，也贸然赶去了黄泉国。

彼时，伊耶那美命已经吃了冥界食物而被禁止返回人间。因她一再恳求，众神最终同意破例，但作为条件，她需要在这里准备很长一段时间才能离开，而在此期间伊耶那岐命不可见她。伊耶那岐命只得耐心等待，终于还是忍不住偷看了一眼，却震惊地发现伊耶那美命已变成一具腐烂生蛆的尸体。伊耶那美命因丈夫的背叛而震怒，派遣恶鬼与女巫去追杀他，但伊耶那岐命成功击退了他们。最后，伊耶那美命虽亲自追来，伊耶那岐命还是逃回了人间，并用一块巨石封住了黄泉国的入口。如今，这块石头仍留在黄泉比良坂，阻止伊耶那美命逃出冥界，为祸人间。

<繁体字>

黃泉比良坂

黃泉比良坂在日本神話中是通往冥界的入口，也是日本創世神明「伊耶那岐命」與「伊耶那美命」永別的地方。根據古老傳說典籍《古事記》記載，伊耶那岐命與伊耶那美命用一根諸神賜予的長矛攪動海水，創造了日本諸島。當伊耶那美命生下火神後不幸離世，便進入了名為「黃泉國」的黑暗世界。她的丈夫伊耶那岐命想要將她帶回人間，也貿然前往黃泉國。

當時，伊耶那美命已經吃了冥界食物而被禁止返回，但她懇求諸神祇破例。諸神最後同意了，但提出一個條件——在她完成漫長的準備前，伊耶那岐命不准看她。然而，伊耶那岐命在耐心等待時還是忍不住偷偷看了一眼，結果發現伊耶那美命竟然已經變成一具腐爛生蛆的屍體，非常震驚。伊耶那美命震怒於丈夫的背叛，派遣惡鬼與女巫去追殺他，伊耶那岐命成功擊退了他們。最後，伊耶那美命親自追來，伊耶那岐命還是逃回了人間，並用一塊巨

石封住了黃泉國的入口。今天，這塊石頭仍留在黃泉比良坂，阻止伊邪那美命逃出冥界，為禍人間。

<日本語仮訳>

黄泉比良坂

日本の神話において、黄泉比良坂は黄泉の国への入り口とされ、国生みの神様である伊邪那岐命と伊邪那美命が永遠に別れた場所です。『古事記』という伝説を集めた古代の書物によると、伊邪那岐命と伊邪那美命は神々より授けられた矛で海をかき回して日本列島を作ったとされています。伊邪那美命は火の神を産んで亡くなると、「黄泉の国」と呼ばれる冥界に入りました。夫の伊邪那岐命は、彼女を生者の世界に連れ戻すために急いでそこへ向かいます。

伊邪那美命はすでに冥界の食べ物を食べてしまっていたため、戻ることを禁じられていましたが、彼女は神々に例外を認めてほしいと懇願しました。伊邪那美命が長い準備を終えるまで彼女を見ないことを条件に、伊邪那美命は戻ることができることになりました。伊邪那岐命は辛抱強く待っていましたが、ついに我慢できず一目見てしまいました。そして伊邪那美命がウジ虫だらけの腐った死体になっていたところを目の当たりにし、衝撃を受けます。裏切られたことに激怒した伊邪那美命は、伊邪那岐命を捕らえて殺そうと鬼や鬼婆の集団を送り込みましたが、彼は追い払うことに成功しました。伊邪那岐命は自ら伊邪那岐命を追いかけましたが、伊邪那岐命は生者の世界に逃げ込み、冥界の入口に大きな石を置きました。その石は今日でも黄泉比良坂で見ることができ、今なお伊邪那岐命が逃げ出して世界に災いをもたらすのを防いでいます。

【タイトル】 観光ループバス ぐるっと松江「レイクライン」

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

松江环城观光巴士 Lake Line

当地旅游巴士公司在松江市内运营松江环城观光巴士 Lake Line, 大约每 20 分钟一班。这些巴士被设计成复古的绿橙两色有轨电车样式, 非常容易识别。巴士路线覆盖全市 30 个站点, 涵盖了最热门的旅游景点, 如松江城、盐见绳手街道、小泉八云纪念馆、堀川观光船码头、岛根县立美术馆、月照寺、宍道湖(宍, 音同“肉”)游船码头, 以及松江站和松江宍道湖温泉站。白天环城一周大约需要 50 分钟, 而日落观光线路在湖边增设了额外站点, 耗时稍长, 但可以欣赏到入选“日本夕阳百选”的宍道湖夕阳。票价有两种选择: 基础单程票成人 210 日元、儿童 110 日元; 可无限次乘坐的一日通票成人 520 日元、儿童 260 日元。

<繁体字>

松江環城觀光客運 Lake Line

Lake Line 是當地旅遊客運公司在松江市內經營的松江環城觀光客運, 大約每 20 分鐘一班。這些客運被設計成復古的綠橙兩色有軌電車樣式, 很容易辨認。客運路線覆蓋全城 30 個站點, 包含最熱門的旅遊景點, 如松江城、鹽見繩手街道、小泉八雲紀念館、堀川觀光船碼頭、島根縣立美術館、月照寺、宍道湖(宍, 音同「肉」)遊船碼頭, 以及松江站和松江宍道湖溫泉站。白天環城一周大約需要 50 分鐘, 而日落觀光線路在湖邊增設了額外的站點, 可以欣賞到入選「日本夕陽百選」的宍道湖夕陽, 所以耗時稍長。觀光客運票價有兩種選擇: 基礎單程票成人 210 日圓、兒童 110 日圓; 可無限次乘坐的一日通票成人 520 日圓、兒童 260 日圓。

<日本語仮訳>

観光ループバス ぐるっと松江「レイクライン」

地元のツアーバス会社が松江市内でバスを走らせており、バスは約20分間隔で運行しています。バスは昔ながらのグリーンとオレンジの路面電車に似たデザインなので、すぐにそれとわかります。ルートは

松江市各地の30の停留所を結んでいます。その停留所には、松江城、塩見縄手街道、小泉八雲記念館、堀川遊覧船乗場、島根県立美術館、月照寺、そして宍道湖遊覧船乗場などの最も人気のある観光スポット、それに松江駅と松江しんじ湖温泉駅が含まれます。日中は1周に約50分かかります。夕日鑑賞ルートはいくつか追加で湖岸の停留所にとまるため、少し余分に時間がかかりますが、「日本の夕日百選」にも選ばれた宍道湖の夕日を堪能できます。料金は2種類あり、片道基本乗車券が大人210円、子供110円、乗り放題の一日乗車券は大人520円、子供260円です。

【タイトル】 港町・美保関

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

港口小镇美保关

美保关是一座历史悠久的港口小镇，坐落于风景如画的新月形海湾旁。数百年间，这里一直是富足且颇具影响力的重要港口，不仅通过北前船（北行商船）贸易航线往来于江户（东京）、大阪地区运输铁器、陶器、清酒等货物，还与亚洲大陆开展贸易，曾经盛极一时。如今，当地船只虽不再用于做贸易，而转于渔业，但这座小镇仍保留着浓浓的昔日风情。

美保神社的神明

港口矗立着一座巨大的鸟居（神社入口的牌坊式建筑），不仅标志了美保神社的入口，也彰显着这片海湾及庇护它的海岬所具备的神圣特质。美保神社始建于 8 世纪，是全日本 3000 多座惠比寿神社的总社，供奉着惠比寿神（亦称事代主神）与三穗津姬命。惠比寿神是渔民与商业的守护神，能保佑经济繁荣、财运亨通；三穗津姬命则掌管子孙昌盛、婚姻和睦与安全孕产，同时也是诗歌、舞蹈与音乐之神。

神社的布局颇为独特，两座并排的本殿（正殿）合为一体，巧妙地隐藏在林木茂密的山坡上。左侧的“二御前”供奉着惠比寿神，右侧的“大御前”供奉着三穗津姬命，两殿之间是名为“装束之间”的房间。这种结构也被称为“美保造”。与其他神道教神社一样，两座本殿仅在举行仪式时允许神官（神职人员）进入。本殿周围环绕着带檐的杉木围栏，围栏上部的板条之间有空隙，隐约可见本殿内部的情形。

现存本殿建于 1813 年，主要采用当地松木建造，屋顶上覆盖着厚实的杉木板，属于源自出云大社的“大社造”风格。它已被指定为国家重要文化财产。本殿架设在高大的木柱之上，需通过陡峭的台阶檐廊方可抵达。装饰在屋脊两端的“千木”（呈 X 形向上突出的窄木条）表明了两殿主神的男女性别：左侧本殿供奉男神“惠比寿神”，千木末端为垂直切割式样；右侧本殿供奉女神“三穗津姬命”，千木末端则为水平切割式样。因此，即便从远处也能轻易分辨所供奉神明的性别。

隐秘的集会地

本殿的正前方有一座大型的开放式拜殿，几乎遮挡住了本殿。这座拜殿堪称日本神社建筑中的特例，由著名日本建筑师伊东忠太(1867-1954)于 1928 年设计，他也是橿原神宫、

平安神宫、明治神宫、筑地本愿寺等众多著名神社与寺庙的设计者。拜殿建于高大的石基之上，可通过宽阔的石阶抵达。拜殿本身采用日本扁柏建造，屋顶则使用了杉木板层叠铺就的“柿葺”工艺。其整体造型与结构意在模仿大型船库，内部空间宽敞开阔，足以容纳众多人群参与仪式或供奉神明。在拜殿内可将其结构框架一览无遗，尽管建筑本身历史尚浅，却蕴含着传统审美中对优质材料与精湛工艺的极致追求。神社里还有同年（1928年）建造的神门和环形回廊。

港口前的“青石”

在美保神社通往港口的路上，左侧分出一条狭窄的步行街，名为“青石叠”（意为“蓝色石板铺就的路面”），因其石板路淋湿后会呈现出淡淡的蓝色光泽而得名。它长久以来都是镇上的主要通道，与港口平行延伸，连接着美保神社和数百米外的佛谷寺。江户时代（1603-1867），随着城镇日益繁荣，街道两侧逐渐出现了数十家航运批发商，他们在楼上开设了供水手和朝圣者住宿的小旅馆。狭窄的街道上，两侧的屋檐几乎连在一起，其中许多建筑紧邻港口前沿，与船只停靠的海滩相连。18世纪晚期，为了方便货物来回搬运，人们铺设了这条青石街道，并通过港口前沿建筑之间那些屋檐相接、如隧道一般的小巷，将船上的货物运到这里。

喧闹的娱乐街区

出生于希腊的19世纪著名作家小泉八云（1850-1904；原名拉夫卡迪奥·赫恩）在其作品中描绘过这样的美保关夜景：在港口前沿的小旅馆和娱乐场所的上层，数百盏灯笼的光芒倒映在平静的海湾水面上；水手、赌徒、艺伎与舞女寻欢作乐、喧嚣不止。那样的时代虽已远去，但这座小镇仍有许多酒吧和小旅馆，其中“美保馆”自17世纪起便持续经营至今。其现存历史建筑建于1908年，数层宴客厅巧妙地围绕中庭，上面还覆盖着玻璃屋顶。美保馆已被指定为国家重要文化财产。

青石叠街道两侧还有不少其他景点。美保关资料馆设在一座明治时代（1868-1912）的水手旅馆旧址内，展示着港口历史以及货船贸易的相关故事。馆内不仅介绍了小镇历史，还陈列着富裕的鹈鹕家族所捐赠的17世纪晚期的历史文物，以及美保神社举行神事时的照片。

重现上古神话场景

美保关最古老的传统是每年举行的两项水上神事。“诸手船神事”是为了纪念古老的“让国”神话——大国主命将出云让给女儿太阳女神“天照大神”。传说中，天界使者乘独木舟来到美保关，与惠比寿神商议出云领地事宜。这项仪式于每年12月3日下午举行，两艘大型传统独木舟各由6名划手和3名其他船员操控，先是竞赛出海再返回港口，随后两

艘船相对而立，船员们用船桨相互泼洒冰冷的海水，重现昔日战斗场景。在神事以外的时间，这些装饰华丽的独木舟存放在装着玻璃墙的宝物馆中供人参观。

每年 4 月 7 日举行的“青柴垣神事”则是为了重现“让国”神话中的另一段情节：惠比寿神在促成大国主神将领地让给女儿太阳女神“天照大神”后，决定将他的船藏于海中的青柴围栏后，从此隐匿于世人视线之外。在这场为期 13 天（3 月 31 日至 4 月 12 日）的仪式的第 8 天，即 4 月 7 日，港口里有两艘装饰着柴枝与旗帜的渔船被绑在一起，象征惠比寿的藏身之地。随后，两组身着传统服饰的当地人登上渔船，附近另一艘船上的人们则为神明献上神圣的歌舞。这些船最终停靠在美保神社鸟居下，所有人都前往神社向神明供奉祭品。

青柴垣神事标志着春季伊始、生命滋长，而诸手船神事则标志着冬季降临、生命终结。

<繁体字>

港口小鎮美保關

在風景如畫的新月形海灣旁，坐落著歷史悠久的港口小鎮——美保關。幾百年來，這裡都是富足且頗具影響力的重要港口，不只是透過北前船（北行商船）貿易航線往來於江戶（東京）、大阪地區運輸鐵器、陶器、清酒等貨物，還與亞洲大陸開展貿易，曾經盛極一時。如今，當地船隻雖放棄貿易轉而專注於漁業，但這座小鎮仍保留著濃濃的昔日風情。

美保神社的神明

港口矗立著一座巨大的鳥居（神社入口的牌坊式建築），除了是美保神社的入口，也彰顯著這片海灣及庇護它的海岬所具備的神聖特質。這座神社始建於 8 世紀，供奉著惠比壽神（亦稱事代主神）與三穗津姬命。惠比壽神是漁民與商業的守護神，能保佑經濟繁榮、財運亨通；三穗津姬命則是詩歌、舞蹈與音樂之神，也掌管子孫昌盛、婚姻和睦與安全孕產。美保神社也是全日本 3000 多座惠比壽神社的總社。

神社的布局頗為獨特，兩座並排的本殿（正殿）合為一體，巧妙地隱藏在林木茂密的山坡上。左側的「二御前」供奉著惠比壽神，右側的「大御前」供奉著三穗津姬命。兩殿之間是名為「裝束之間」的房間，這種結構也被稱為「美保造」。和其他神道教神社一樣，這些本殿只在舉行儀式時允許神官（神職人員）進入。本殿周圍環繞著帶簷的杉木圍欄，圍欄上部的板條之間有空隙，隱約可見本殿內部的情形。

現存本殿建於 1813 年，已被列為國家重要文化財產，主要採用當地松木建造，屋頂上覆蓋著厚實的杉木板，其建築風格屬於源自出雲大社的「大社造」。本殿架設在高大的木柱之上，需走過陡峭的台階走廊方可抵達。裝飾在屋脊兩端的「千木」（呈 X 形向上突出的

窄木條) 表明了兩殿主神的男女性別：左側本殿供奉男神「惠比壽神」，千木末端為垂直切割；而右側本殿供奉女神「三穗津姬命」，千木末端則為水準切割。因此，即便從遠處也能輕易分辨所供奉神明的性別。

隱秘的集會地

本殿的正前方，矗立著一座大型的開放式拜殿，幾乎遮擋了本殿。這座拜殿由著名日本建築師伊東忠太（1867-1954）在 1928 年設計，堪稱日本神社建築中的特例。伊東忠太也是橿原神宮、平安神宮、明治神宮、築地本願寺等多間著名神社與寺廟的設計者。拜殿建于高大的石基之上，可經寬闊的石階抵達。全棟採用檜木建造，屋頂則使用以杉木板層疊鋪就的「柿葺」工藝。整體造型與結構意在模仿大型船庫，內部空間寬敞開闊，足以容納大批人群參與儀式和供奉神明。拜殿內部結構框架清晰可見，雖然建築本身年代並不久遠，但依然體現傳統美學對上等材質與精湛工藝的極致追求。神社裡的神門和環形回廊也建造於同一年（1928 年）。

港口前的「青石」

在美保神社通往港口的路上，左側分出一條名為「青石疊」（意為「藍色石板鋪就的路面」）的狹窄步行街，因其石板在雨後映照出淡淡藍色光澤而得名。這條石板路長久以來都是鎮上的主要通道，與港口平行延伸，連接著美保神社和數百公尺外的佛谷寺。在江戶時代（1603-1867），隨著城鎮日益繁榮，街道兩側逐漸出現了數十家航運批發商，他們在樓上開設了供水手和朝聖者住宿的小旅館。狹窄的街道上，兩側的屋簷幾乎相接，其中許多建築直接臨港而建，與停靠船隻的海灘相連。到了 18 世紀晚期，為了方便貨物來回搬運，人們鋪設了這條青石疊街道，並利用港口沿岸建築之間那些屋簷相接、如隧道一般的小巷，將船上的貨物運到這裡。

喧鬧的娛樂街區

出生於希臘的小泉八雲（1850-1904；原名拉夫卡迪奧·赫恩）是 19 世紀著名作家，他在作品中這樣描繪美保關夜景：在港口沿岸的小旅館和娛樂場所的上層，數百盞燈籠的光芒倒映在平靜的海灣水面上；水手、賭徒、藝伎與舞女尋歡作樂、喧囂不止。那樣的時代雖已遠去，但這座小鎮仍有許多酒吧和小旅館，其中「美保館」從 17 世紀開始便持續經營至今。其現存歷史建築建於 1908 年，數層宴客廳巧妙地圍繞中庭，上面還覆蓋著玻璃屋頂。美保館已被指定為國家重要文化財產。

沿青石疊街道還有不少其他景點。美保關資料館設在一座明治時代（1868-1912）的水手旅館舊址內，主要展示港口歷史以及貨船貿易的相關故事。館內介紹了小鎮歷史，還陳列

著由富裕の鷓鷯家所捐贈の一批 17 世紀晩期の歴史文物，並展出了美保神社舉行神事時の照片。

重現上古神話場景

美保關最古老的傳統是每年舉行的兩項水上神事。其中，「諸手船神事」是為了記念古老的「讓國」神話——大國主命將出雲讓給女兒太陽女神天照大神。傳說中，天界使者乘獨木舟來到美保關，與惠比壽神商議出雲領地事宜。這項儀式在每年 12 月 3 日下午舉行，兩艘大型傳統獨木舟各由 6 名划手和 3 名其他船員操控，先是競賽出海再返回港口。隨後兩艘船相對而立，船員們用船槳相互潑灑冰冷的海水，重現昔日戰鬥場景。在神事以外的時間，這些裝飾華麗的獨木舟被存放在裝著玻璃牆的寶物館中供人參觀。

「青柴垣神事」則於每年 4 月 7 日舉行，重現了「讓國」神話中的另一段情節：惠比壽神在促成大國主神將領地讓給女兒太陽女神「天照大神」後，決定將他的船藏於海中的青柴圍欄後，從此隱匿於世人視線之外。在這場為期 13 天（3 月 31 日至 4 月 12 日）的儀式中的第 8 天，即 4 月 7 日，港口裡有兩艘裝飾著柴枝與旗幟的漁船被綁在一起，象徵惠比壽的藏身圍欄。隨後，兩組身著傳統服飾的當地人登上漁船，附近另一艘船上的人們則為神明獻上神聖的歌舞。這些船最後停靠於美保神社鳥居下方，然後所有人都前往神社向神明供奉祭品。

青柴垣神事象徵春之伊始與生命的萌發，諸手船神事則象徵著冬季來臨與生命的終結。

<日本語仮訳>

港町・美保関

美保関は、絵に描いたような三日月型の湾にある、歴史のある小さな港町です。数世紀の間に、江戸（東京）や大阪との間で鉄や陶器、酒などを運ぶ北前船や、アジア大陸との貿易を行う船の豊かで影響力のある港として栄えてきました。現在では、地元の船は貿易ではなく漁業に専念していますが、町にはかつての風情が色濃く残っています。

美保神社の神々

港には、美保神社の入口を示す大きな鳥居が立っており、湾やそれを囲む岬の神聖な雰囲気をも物語っています。この神社は8世紀に遡るもので、全国3,000以上あるえびす様の総本宮でもあり、恵比寿様（事代主としても知られる）と三穂津姫を祀っています。恵比寿様は漁師や商売を守護し、経済的な繁栄を約束してくれる神です。一方、三穂津姫は子孫繁栄、夫婦円満、そして安産の女神であり、詩と踊りと音楽の女神でもあります。

深い森の斜面の中腹にあるこの神社は、2つ並んだ本殿が一体化した、珍しい配置になっています。恵比寿様は、「二御前」と呼ばれる左側の本殿に祀られ、三穂津姫は「大御前」と呼ばれる右側の本

殿に祀られています。その間には「装束の間」と呼ばれる部屋があります。この独自の建築様式は「美保造」とも呼ばれています。神社の慣例に従い、本殿には祭祀を行う神職のみが入ることができます。周囲は杉材の屋根付きの柵で囲まれており、上部にある薄板の隙間から、本殿の内側を一部見ることができます。

現在の本殿は1813年に建てられたもので、主に地元の松材を使用し、出雲大社に由来する「大社造」と呼ばれる様式の厚い杉板葺きの屋根がかけられており、国の重要文化財に指定されています。高い木の柱の上に建てられ、屋根付きの急こう配の階段で登ります。両殿の男女の対比は、屋根の両端の「千木」（上に向かって突き出たX字型の木の板）という装飾にも表れています。男性である恵比寿様が祀られた本殿の千木の先端は垂直に切られています。女性である三穂津姫が祀られた本殿の千木の先端は水平に切られています。これによって、遠くからでも神の性別を簡単に見分けられるのです。

隠れ家的な集会所

本殿の正面には、本殿の大部分を隠すように、大きな壁のない拝殿があります。これは、日本の神社建築としては異例であり、有名な日本人建築家の伊東忠太（1867-1954）が1928年に設計したものです。彼は檀原神宮や平安神宮、明治神宮、築地本願寺など数多くの有名社寺の設計に携わりました。高い石の基礎の上に建てられ、幅広い石段でつながった拝殿は、檜材で作られており、屋根は杉板を敷きつめた「柿葺き」となっています。全体の形と構造は大きな船庫を模しており、内部は奥まで広々としているので、神事や奉納に集まる多くの人を収容できます。拝殿を支える枠組みは全て内側から見ることができ、比較的新しい建物ですが、上質な素材と職人技による極めて伝統的な美学を体現しています。周囲の屋根付きの廊下や神門もこの社殿の一部で、同じ年（1928年）に造られたものです。

港の前の「青い石」

美保神社から港に向かう道の途中で、細い歩行者用道路が左に分岐しています。この通りは、水に濡れると青みがかった輝きを放つことから「青石畳」（青い石板が敷き詰めた道）と呼ばれています。港に平行して走り、美保神社から数百メートル先にある仏谷寺へとつながるこの道は、長い間町の主要な通りでした。江戸時代（1603-1867）に町が繁栄すると、この通りの両側には数十軒の船問屋が軒を連ねていました。彼らは上の階で船乗りや巡礼者のための宿を営んでおり、狭い大通りの真ん中で、軒がほぼ接していました。その多くは港の前に位置しており、船が停泊する浜辺に隣接していました。18世紀後半には、物資の運搬の往復を容易にするために石畳が敷かれ、屋根のある狭い路地が港に面した建物間をトンネルのようにつなぎ、船からの荷物を青石畳通りに運ぶのに使われました。

活気ある繁華街

19世紀のギリシャ生まれの作家小泉八雲（1850-1904、本名ラフカディオ・ハーン）は、その著作の中で、港に面した美保関の旅館や歓楽街の上階に並ぶ何百もの提灯が湾の穏やかな海に映る夕暮れの情景や、船乗りや賭博師、芸者、踊り子などが夜な夜な騒ぐ光景を描いています。今ではこ

うした様子を見ることはできませんが、17世紀から続く「美保館」をはじめ、今でもこの町には多くの酒場や旅館が残っています。美保館の現在の建物は1908年に建てられた歴史的なもので、中庭を囲むように複数の階に宴会場が巧みに配置され、ガラス張りの屋根で覆われており、国の重要文化財に指定されています。

また、青石畳沿いには、明治時代（1868-1912）の船宿を改装した「美保関資料館」があり、港の歴史や貿易を行っていた貨物船について知ることができます。美保関資料館では、町の歴史を紹介するとともに、裕福な鷺鷥家から寄贈された17世紀後半まで遡る歴史的な遺物や美保神社の神事の写真などが展示されています。

古代の神話の場面の再現

美保関の最も古い伝統は、毎年行われる2つの水上神事です。諸手船神事は、大国主命が出雲の地を娘の天照大神に献上した次第を語る古代神話『国譲り』にちなんで行われます。天からの使者がカヌーに乗って美保関にやってきて、出雲の地の明け渡しを恵比寿神に交渉したと伝えられています。毎年12月3日の午後に行われるこの神事では、6人の漕ぎ手と3人の船員を乗せた2隻の伝統的な大きな諸手舟（手漕ぎ船）が沖に出て、港まで戻る競争を行います。そこでは互いに向かい合い、櫂で冷たい海水を掛け合って、戦いの様子を再現します。色鮮やかに装飾された船は、神事の期間中以外は、見学できるようにガラス張りの宝物庫に展示されています。

4月7日に行われる青柴垣の神事は、国譲り神話のもう一つの場面を再現したものです。大国主命が娘の太陽の女神である天照大神に国を譲ることを承諾させた後、恵比寿神は、青柴で囲った海に船を隠し、目に見える世界から姿を消すことを決意しました。この13日間（3月31日-4月12日）に及ぶ神事の折り返しの日（4月7日）には、青柴と幕で飾られた2隻の漁船を港でつなぎ合わせることで、恵比寿神の隠れ家を再現します。船には伝統的な衣装に身を包んだ2つのグループが乗り込み、近くの別の船では神聖な踊りや音楽が奉納されます。その後、美保神社の入口である鳥居の下に船をつけ、全員で参拝して神々にお供えをします。

青柴垣神事は春の始まりと生命の成長を、諸手船神事は冬の始まりと生命の終わりを告げるものです。

【タイトル】 瑞光山清水寺（安来清水寺）

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

瑞光山清水寺（安来清水寺）

瑞光山清水寺坐落于安来市东部一处僻静山谷中，一条长长的石阶小道通向这座佛寺。小道穿过林木繁茂的山谷和饱经风霜的大门，几处关键位置上都立着石灯笼。它还连接着寺庙的本堂（正殿）、三重塔及其他殿宇，这些建筑分布在各处台地之上。通向本堂的路边耸立着一棵千年老杉，格外醒目。

观音传说

瑞光山清水寺属于日本佛教禅宗的天台宗，人们会来这里祈求摆脱厄运。相传，寺庙所在的山峦曾是一片阴森的森林，每到夜间就会出现一道诡异的光柱，令当地村民惶恐不安。云游僧人“尊隆”受托探寻这道光的源头，当他在森林深处搜寻时，一位老者出现在他面前。老者称自己多年来一直供奉大慈大悲观世音菩萨，如今已准备往生，正在寻找能替代他供奉的人。尊隆应允承担此任，老者随即赠予他一尊神圣的观音像。

僧人搭了一间简陋的茅草小屋来供奉这尊佛像。尽管山上原本没有水源，但在经过一周的潜心祈祷后，附近竟涌现出一股清澈的泉水，这便是瑞光山清水寺的由来。这座寺庙至今依然供奉着观音菩萨，寺庙的名称也源自这两桩奇事：“瑞光”意为“吉祥之光”，“清水”则对应“清澈的泉水”。

皇室的庇护

史料记载显示，这座寺庙始建于公元 587 年，但确切日期尚无定论。寺庙建成后不久便有幸得到推古天皇(544-628)的庇护，她被认为是日本第一位女性天皇。后来，寺庙又获得了地方豪强的支持。在鼎盛时期，寺庙曾拥有 48 座建筑，如今已不足 10 座。

寺庙最初的大本堂（正殿）“根本堂”建于 1393 年之前，数世纪以来经过多次扩建。根本堂由杉木建造，内有一尊被安放在精致漆柜中的观音像，此像年代不详且不轻易示人，平安时代(794-1185)塑造的四天王神像分立在它两旁。1992 年对根本堂进行修复时，研究证实它是立于该位置上的第五座建筑，也是规模最大的一座。平时，根本堂内还会举行“坐禅”活动。

不远处高高的石基上矗立着一座建于 1859 年的三重塔，由坚硬的榉木建造，这在当时实属罕见。尽管本地木匠并未接受过专门的宝塔建造技能训练，但从屋檐下斗拱间精雕细琢、探出脑袋的龙身中，仍能感受其精湛技艺。虽然在日本通常不允许登塔，来访者却可以登上这座宝塔的顶层。

寺中的宝物馆是一座现代藏宝库，展示着寺庙的重要艺术品和法器。

<繁体字>

瑞光山清水寺（安來清水寺）

瑞光山清水寺坐落於安來市東部一處僻靜山谷中，一條長長的石階小路通向這座佛寺，它穿過林木繁茂的山谷和飽經風霜的大門，幾處關鍵位置上都立著石燈籠。石階小路還連接著寺廟的本堂（正殿）、三重塔及其他建築，它們分布在各處台地之上。通向本堂的路邊矗立著一棵引人矚目的千年老杉。

觀音傳說

瑞光山清水寺屬於日本佛教禪宗的天台宗，人們會來到這裡祈求擺脫厄運。在傳說中，寺廟所在的山巒曾是一片陰森的森林，每到夜間就會出現一道詭異的光柱，讓當地村民惶恐不安。雲遊僧人「尊隆」受託探尋這道光的源頭，他在森林深處搜尋時，一位老者出現在他面前，自稱多年來一直供奉大慈大悲觀世音菩薩，如今已準備往生，正在尋找能繼續供奉的人。老者在聽到尊隆應允承擔此任後，便贈予他一尊神聖的觀音像。

為了供奉這尊佛像，尊隆搭建了一間簡陋的茅草小屋。經過一星期的潛心祈禱，原本沒有水源的山間竟湧現出一股清澈的泉水，這便是瑞光山清水寺的由來。這兩件奇事也組成了寺廟的名稱：「瑞光」意為「吉祥之光」，「清水」則對應「清澈的泉水」。直到今天，這座寺廟依然供奉著觀音菩薩。

皇室的庇護

雖然確切日期尚無定論，但根據史料記載顯示，這座寺廟始建於西元 587 年。寺廟建成後不久便有幸得到推古天皇（544-628）的庇護，她被認為是日本第一位女性天皇。後來寺廟又獲得了地方豪強的支持。在鼎盛時期，這裡曾經擁有 48 座建築，但如今已不足 10 座。

瑞光山清水寺的第一座大型本堂（正殿）「根本堂」建於 1393 年之前，幾百年來經過多次擴建。根本堂由杉木建造，內有一尊年代不詳的觀音像被安放在精緻的漆櫃中，通常不輕易示人，平安時代（794-1185）塑造的四天王神像則分立在其兩旁。在 1992 年根本堂進

行修復時，研究證實它是蓋在該位置上的第五座建築，也是規模最大的一座。平時，根本堂內還會舉行「坐禪」活動。

不遠處高高的石基上矗立著一座建於 1859 年的三重塔，由材質堅硬的檜木搭建，這在當時非常罕見。雖然當地木匠並未接受過專門的寶塔建造技能訓練，但從屋簷下斗拱間精雕細琢、探出腦袋的龍身中，仍能感受其精湛技藝。在日本通常不允許上塔，但遊客在此卻可以登上這座寶塔的頂層。

寺內的寶物館是一座現代藏寶庫，展示著寺廟的重要藝術品和法器。

<日本語仮訳>

瑞光山清水寺（安来清水寺）

瑞光山清水寺は、安来市の東部にある人里離れた山間の谷に立つ仏教寺院です。瑞光山清水寺にたどり着くには、深い森の谷間の長い石段を登り、風化した門をくぐり、要所要所に石灯籠を配した道を通ります。この寺の本堂や三重塔、その他のお堂は、長い石段でつながれた土台の上に建てられています。本堂に向かう参道には、樹齢1000年の杉の木がそびえ立っています。

観音伝説

瑞光山清水寺は禅宗の天台宗に属し、人々は厄除けの祈願に訪れます。伝説によると、瑞光山清水寺のある山はかつて不気味な森であり、夜になると不思議な一条の光が現れて村人を怖がらせていました。その光の源を探してほしいと頼まれた旅僧の尊隆が森の奥深くを探していると、一人の老人が現れました。老人は、長年観音様を祀ってきたが、もう来世へ行く準備ができたので、代わりに祀ってくれる人を探しているといいます。尊隆が引き受けたところ、老人から観音像を託されました。

尊隆は簡素な茅葺きの小屋を建てて観音像を安置しました。山には水源がありませんでしたが、一週間の間人知れず祈った結果、近くに清らかな水が湧き出しました。これが瑞光山清水寺の始まりです。現在もこの寺では観音が祀られています。この寺の名前は、この2つの奇跡的な出来事からつけられています。瑞光は「幸運の光」、清水は「透明な水」を意味します。

天皇の庇護

歴史の記録によると、この寺は587年の創建とされますが、正確な年代は不明です。幸運にも、創建後まもなく、日本最初の女性天皇とされる推古天皇（544-628）の庇護を受け、その後はこの地方の豪族からの庇護を受けました。最盛期には48の堂宇がありましたが、現在は10未満になっています。

最初の大本堂（根本堂）は1393年以前に建てられたもので、数世紀の間に何度も増築されています。根本堂は杉材で造られており、精巧な漆塗りの棚の中に年代不明の観音像が通常は隠された状態で安置されています。両脇には平安時代（794-1185）に作られた四天王像が立っています。1992年に根本堂が再建された際の調査により、現在の建物はこの場所に建つものとしては5番目の建物であり、かつ最大であることが確認されました。なお、根本堂では座禅が行われています

1859年に建てられた三重塔は、少し離れたところにある、石を積み上げた土台の上に建っています。この塔はこの地域ではあまり塔の建立には使われない硬い檜を使って建てられています。塔を建てた地元の大工は、塔の建築の手ほどきを受けたわけではありませんでしたが、その技術は、軒下の腕木の間から覗く複雑な彫刻の龍に見ることができます。日本では通常許可されませんが、参拝者は最上階まで登ることが出来ます。

近代的な宝蔵では、寺が所蔵する重要な美術品や法具が展示されています。

【タイトル】 精進料理

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

精進料理

佛教戒律禁止杀生，因此信徒吃素。公元 6 世纪，遵循佛教修行戒律的素食“精进料理”由僧侣从中国和印度传入日本，并在 13 世纪经日本佛教禅宗曹洞宗创始人道元禅师(1200-1253)发扬光大。如今，在日本各地的寺庙和餐馆中，都能品尝到精致且营养丰富的精进料理（不含肉类、家禽、鱼类和蛋类）。瑞光山清水寺内就有三家精进料理餐馆——松琴馆、红叶馆和清水茶屋ゆう心(yu-shin)，均向大众开放。

禅宗僧侣的饮食简朴，通常只有米饭、腌菜、汤，或许还有一道配菜。随着这种料理的发展，如今典型的精进料理包含了汤、三道配菜，米饭和腌菜。菜品以蔬菜和豆类为主要食材，许多菜肴由大豆制成，例如多种形态的豆腐——简单的凉拌豆腐（日语为“冷奴”）、油炸豆腐（日语为“油揚”）、冻豆腐（日语为“高野豆腐”）等，以芝麻制成、类似布丁的芝麻豆腐（日语为“胡麻豆腐”）也很常见。这些豆制品常常搭配应季蔬菜，以及采摘的山菜（野菜）和当地野生药草。

五味、五色、五法

精进料理通常遵循“五之法则”制作而成。菜品原料需至少包含五色（绿、黄、红、黑、白）和五味（甜、辣、酸、咸、苦），采用五法（生食、炖煮、烧烤、油炸、蒸）烹制。调味使用适量的高汤、酱油、味醂（日本甜料酒；醂，音同“揽”）、味噌，以及醋和芝麻油，尽量避免口味过于浓重。这些调料可巧妙地提味，经搭配与烹制后，能激发出食材本身的自然风味。按照传统，烹调时通常规避洋葱、大蒜等气味浓烈的食材，但在“改良版”精进料理中却已普遍使用。精进料理的精髓在于平衡，人们认为精美的佳肴可与季节调和，有益于用餐者维持身、心、灵的平衡。此外，精进料理也注重不浪费食材，蔬菜皮和菜蒂都常被用来熬制简单的汤汁。

<繁体字>

精進料理

佛教戒律禁止殺生，因此信徒不食肉類。西元 6 世紀，起源於中國與印度、講求修行戒律的素食「精進料理」由佛僧傳入日本。到了 13 世紀，經由日本佛教禪宗曹洞宗創始人道元禪師（1200-1253）發揚光大。時至今日，日本各地的寺廟與餐廳均可品嚐到這類不含肉類、禽類、魚類與蛋製品的料理，營養均衡且極具美感。位於瑞光山清水寺內的三家精進料理餐館——松琴館、紅葉館和清水茶屋ゆう心（yu-shin）均對外開放。

禪宗僧侶的飲食通常只有米飯、醃菜、湯，或許還有一道配菜，相當簡樸。隨著時間發展，如今典型的精進料理包含湯品、三道配菜，再加上米飯和醃菜。食材多以蔬菜和豆類為主，許多菜肴由大豆製成，例如各種豆腐料理——簡單的涼拌豆腐（日語為「冷奴」）、油炸豆腐（日語為「油揚」）、凍豆腐（日語為「高野豆腐」）等，以芝麻製成、類似布丁的芝麻豆腐（日語為「胡麻豆腐」）也很常見。這些豆製品常常搭配當季蔬菜，以及採摘的山菜（野菜）和當地野生藥草。

五味、五色、五法

精進料理通常講究「五之法則」。即菜品原料需至少包含五色（綠、黃、紅、黑、白）和五味（甜、辣、酸、鹹、苦），採用五法（生食、燉煮、燒烤、油炸、蒸）烹製。調味使用適量的高湯、醬油、味醂（日本甜料酒；醂，音同「攪」）、味噌，以及醋和芝麻油，避免口味太過於濃重。這些調料可巧妙地提味，經搭配與烹製後，激發出食材本身的自然風味。按照傳統，烹調時需要避免使用洋蔥、大蒜等氣味濃烈的食材，但在「改良版」的精進料理中，上述食材的使用也越來越普遍。精進料理的精髓在於平衡，精美的佳餚可與季節調和，有益於用餐者維持身、心、靈的平衡。此外，精進料理也強調惜物精神，像是蔬菜皮與根莖等邊料，常被用來熬製湯品，避免浪費食材。

<日本語仮訳>

精進料理

仏教の戒律では殺生を禁じており、信者は肉を食べないようにしています。6世紀に、こうした教えに従った修行用の菜食主義の「精進料理」は、仏教の僧によって中国とインドから日本に持ち込まれました。13世紀に、とりわけ日本・曹洞宗の開祖である道元禪師（1200-1253）の影響で人気が高まりました。現在では、肉・鶏肉・魚・卵を使用していない、栄養価の高い洗練された精進料理が全国の寺や料理店で食べられるようになっています。瑞光山清水寺の境内には、一般の人が利用できる3軒の精進料理店（松琴館、紅葉館、清水茶屋ゆう心）があります。

禅僧が食べる食事は簡素であることが求められ、多くの場合ご飯、漬物、汁物、そして場合によって副菜が1種類あるだけです。精進料理も変化し、現在の典型的な精進料理は汁物、副菜3つ、それにご飯と漬物で構成されています。メニューは基本的には野菜と豆をベースにしています。冷奴、油揚

げ、それに高野豆腐といったように様々な種類がある豆腐など、多くの料理では大豆が使われています。カスタードのような胡麻豆腐もよく出されます。これらに、旬の野菜や山菜、地元の野草などが添えられます。

五味五色五法

一般的に「五つの法則」と呼ばれる規則に従い、精進料理の具材には緑、黄、赤、黒、そして白の「五色」と、甘味、酸味、塩味、苦味、そして辛味の「五味」がそれぞれ少なくとも1つずつ含まれるべきとされています。そして生、煮る、焼く、揚げる、蒸すという調理「五法」。調味料は強めものは避けられ、だし汁、しょうゆ、みりん、味噌、酢、ごま油などを適量使用します。これらは、組み合わせや調理により引き出された自然な風味を繊細に引き立てます。特に玉ねぎやにんにくのような刺激の強いものは伝統的に避けられてきましたが、「進歩的」な精進料理には使われるようになってきています。大切なのはバランスであり、美味しい食事は季節と調和して身体、精神、そして魂のバランスを保つのに役立つと考えられています。また、食材を無駄にしないように配慮されており、野菜の皮やヘタはシンプルな出汁をとる際に使われます。

【タイトル】安来節演芸館
【想定媒体】WEB、パンフ

<簡体字>**安来节演艺馆**

“安来节”是明治时代(1868-1912)在安来地区兴起并广受欢迎的民间舞蹈。这种舞蹈最初在家庭、聚会、节庆等庆祝场合表演，后来逐渐传遍整个地区，最终在全日本声名远扬。

为纪念这一舞蹈的发展，安来节演艺馆于 2006 年对外开放。它坐落于一座瓦葺木构建筑内，设有可容纳 200 人的传统剧场。观众可坐在榻榻米地板上的一排排矮座上，或两侧的木制看台上观赏。剧场内面向舞台的左侧设有一条“花道”，从舞台一直延伸至观众席后方，如同歌舞伎剧场中的延伸舞台，方便表演者与观众互动。

这里每天上演 4 场演出，节目包括独舞、群舞以及音乐表演。压轴戏是一出名为《捞泥鳅》的滑稽哑剧，讲述一个倒霉的农夫试图用大柳条筐捞泥鳅却屡屡受挫的故事。在整个演艺馆，“泥鳅”这一元素被幽默地使用在各处，就连餐厅也供应泥鳅料理。

开馆时间：10:00～17:00

闭馆日：周二（如遇节假日、补休日顺延），元旦放假期间（12月29日～1月4日）

门票：1000 日元，初中和小学生 500 日元

<繁体字>**安來節演藝館**

明治時代（1868-1912），民間舞蹈「安來節」在安來地區興起並廣受歡迎。一開始，這種舞蹈在家庭、聚會、祭典等慶祝場合表演，後來逐漸傳遍整個地區，最後在全日本聲名遠揚。

2006 年，安來節演藝館對外開放，用以紀念這一舞蹈的發展。它坐落於一座瓦葺木構建築內，館內有一座可容納 200 人的傳統劇場。觀眾可以坐在榻榻米地板上的一排排矮座上，或者兩側的木製看台上觀賞。劇場內面向舞台的左側設有一條「花道」，從舞台一直延伸至觀眾席後方，如同歌舞伎劇場中的延伸舞台，可以方便表演者與觀眾互動。

安来節演藝館每天上演 4 場演出，節目包括獨舞、群舞以及音樂表演。壓軸戲是一出名為《撈泥鰍》的滑稽默劇，講述一個倒楣農夫試圖用大柳條筐撈泥鰍卻屢屢受挫的故事。在演藝館全館中，「泥鰍」元素隨處可見，就連餐廳也供應泥鰍料理。

開館時間：10:00～17:00

閉館日：週二（如遇節假日、補休日順延），元旦放假期間（12月29日～1月4日）

門票：1000 日圓，中小學生 500 日圓

<日本語仮訳>

安来節演芸館

安来節は、明治時代（1868–1912）に安来地方で生まれた人気の高い民間舞踊です。当初は家庭や宴会、祭りなどの祝い事の場で踊られていましたが、安来節は地域一帯に広がり、やがて全国的に知られるようになりました。

その人気を記念して2006年にオープンしたのが、瓦屋根木造建築で200席の伝統的な劇場を備えた「安来節演芸館」です。観客は、畳を敷き詰めた快適な低い席（栈敷）、あるいは両側の木製バルコニーに座ることができます。舞台に向かって左側には歌舞伎のような花道が舞台から客席の後ろまで続き、演者と観客との間で交流ができます。

公演は1日4回行われ、1人が踊るものから複数人が踊るもの、音楽演奏ものなどがあります。フィナーレは「ドジョウすくい」というドタバタ喜劇で、大きなざるでドジョウをすくうのに苦労している不運な農民の姿が描かれます。ドジョウのモチーフは演芸館のいたるところでユーモラスに使われており、レストランではドジョウ料理も提供されています。

開館時間：10:00～17:00

休館日：火曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月4日）

入館料：大人 1,000 円、小中学生 500 円

【タイトル】 月山富田城跡

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

月山富田城遗址

月山富田城是一座历史悠久的城郭，尤其在日本战国时代(1467-1615)，它曾是出云国（今岛根县东部；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）重要的政治与文化中心。这是一座典型的“山城”（依山而建的城郭），山坡与山顶上巧妙地设置了多个由石垣分隔的封闭区域——“郭”，形成了坚固的防御体系。山腰处建有一座御殿，而防御最坚固的区域则位于山顶。这座山城虽从未在战乱中被摧毁，但如今仅存石垣及一些其他遗迹。现在这里是一座维护良好的公园。

围城之战

据信，月山富田城最初的建筑建于 12 世纪。1439 年至 1566 年间，这里是势力强大的大名（大领主）尼子家族的居城，被誉为日本最坚不可摧的城郭。在尼子家族统治时期，城郭得以扩建，山脚下河畔的城下町（围绕大领主的居城发展起来的市镇）日益繁荣，人口达到了 1 万之多。约从 1470 年起，月山富田城多次成为敌对势力的攻击目标。尽管敌人的屡次正面进攻都被成功击退，但尼子家族最终在长达一年的包围战后屈服，于 1566 年打开城门投降。1611 年，松江藩藩主堀尾忠晴(1599-1633)将据点从月山富田城迁至新建的松江城，这座城郭便被废弃。

巧妙利用地形

城郭的布局与设计充分借助了山体及河畔的自然地形，实现了最佳防御效果。城下町位于富田川与月山之间的狭长地带，构成了第一道防线。由于预计主要攻击会来自河上，城下町中配置了数百名武士居住在带围墙的建筑内。宽阔的护城河将城下町与山体及城郭分隔开，围墙上的四座城门控制着出入城郭的通道。遗憾的是，1666 年的一场大洪水摧毁了城下町的大部分，昔日痕迹今已几乎不复存在。

分区防御

这座城郭分为两个主要防御区。最低处的区域利用了宽阔、较低的缓坡，而最高处的区域则占据了 190 米高的陡峭山顶的狭长山脊。两个区域间隔着陡坡，仅能沿着一条设有七处弯角、防御严密的道路攀登而上。

山顶区域沿山脊分布着三个由石垣分隔的“郭”。最下层的第一个郭应该曾设置了一座三层“櫓”（兼具瞭望和攻击功能的塔楼）和一座坚固的城门；最上层的第三个郭是核心防御区域“主郭部”，一道天然的陡峭峡谷将它与其他两个区域分隔开来。沿山脊继续前行，盘踞在山峰最顶端的是胜日高守神社，也是城郭的守护神社（据信其历史甚至早于城郭）。从这些山顶的郭望去，视野开阔，可纵览东西，向北能看到中海和日本海，向东则能望见“大山”（1729 米）。

在较低的区域，许多相对平坦的地方被天然沟壑分隔，成为独立的围合高台，通过小径相连。其中最大且最重要的一处位于半山腰附近，御殿的主要建筑群就坐落于此。御殿被带櫓的高大石垣严密防守，仅有一座坚固的门楼可以出入。

独特城郭的精细模型

自 1611 年被废弃后，月山富田城遗址基本回归自然。此后多年，许多平坦的高台被用于农耕。300 多年后，该遗址在 1934 年被指定为国家史迹；2006 年入选了“日本 100 名城”。

随着人们对月山富田城的兴趣日益浓厚，2014 年当地启动了大规模城郭修复与维护工程，并于 2019 年完工。城郭遗址入口处的安来市立历史资料馆内展示着各类出土文物、地图和其他历史资料，此外还陈列着一座大型精细的月山富田城及其城下町模型。

<繁体字>

月山富田城遺址

月山富田城是一座歷史悠久的城郭，尤其在日本戰國時代（1467-1615），它曾是出雲國（今島根縣東部；「國」是日本古代行政區劃，有別於「國家」）重要的政治與文化中心。其山坡與山頂巧妙設置了多個由石垣分隔的封閉區域——「郭」，形成堅固的防禦體系，是很典型的「山城」（依山而建的城郭）。山腰處建有一座御殿，而防禦最堅固的區域則位於山頂。這座山城雖從未在戰亂中被摧毀，但如今只留存了石垣及一些其他遺跡。現在這裡是一座維護良好的公園。

圍城之戰

人們認為，月山富田城最初的建築建於 12 世紀。這裡在 1439 年至 1566 年間是勢力強大的大名（大領主）尼子家的居城，被譽為日本最堅不可摧的城郭。在尼子家統治時期，城郭得以擴建，山腳下河畔的城下町（圍繞大領主的居城發展起來的市鎮）日益繁榮，人口達到了 1 萬之多。約從 1470 年起，月山富田城多次成為敵對勢力的攻擊目標。雖然敵人的屢次正面進攻都被成功擊退，但在 1566 年，尼子家最終屈服於長達一年的包圍戰，打開城門投降。到了 1611 年，松江藩藩主堀尾忠晴（1599-1633）將據點從月山富田城遷至新建的松江城，這座城郭便被廢棄。

巧妙利用地形

城郭的布局與設計充分借助了山體及河畔選址的自然地形，達到了最佳防禦效果。首先，位於富田川與月山之間狹長地帶的城下町，構成了第一道防線。因為預計主要攻擊會來自河道，城下町中還配置了數百名武士居住在帶圍牆的建築內。其次，寬闊的護城河將城下町與山體、山城分隔開，圍牆上的四座城門控制著出入城郭的通道。遺憾的是，一場發生於 1666 年的大洪水摧毀了城下町的大部分，今天已經幾乎看不到昔日痕跡。

分區防禦

這座城郭分為兩個主要防禦區。最低處的區域利用了寬闊、較低的緩坡，而最高處的區域則佔據了 190 公尺高的陡峭山頂的狹長山脊。兩個區域間隔著陡坡，只能沿著一條設有七處彎角、防禦嚴密的道路攀登而上。

山頂區域沿山脊分布著三個由石垣分隔的「郭」。最下層的第一個郭應該曾有一座三層高的「櫓」（兼具瞭望和攻擊功能的塔樓）和一座堅固的城門；最上層的第三個郭是核心防禦區域「主郭部」，一道天然的陡峭峽谷將它與其他兩個區域分隔開來。沿山脊繼續前行，盤踞在山峰最頂端的是勝日高守神社，它也是城郭的守護神社（據信其歷史甚至早於城郭）。從這些山頂的郭望去，視野開闊，可縱覽東西，向北能看到中海和日本海，向東則能望見「大山」（1729 公尺）。

在較低的區域，相對平坦的地方構成了一些獨立的圍合高台，這些高台被天然溝壑分隔，僅以小徑相連。其中最大且最重要的高台位於半山腰附近，御殿的主要建築群就坐落於此，周圍有帶櫓的高大石垣嚴密防守，只有一座堅固的門樓可供進入。

獨特城郭的精細模型

月山富田城遺址自 1611 年被廢棄後，基本回歸自然。在這之後的許多年，眾多平坦的高台被用於農耕。直到 300 多年後，該遺址在 1934 年被指定為國家史跡；2006 年，又入選了「日本 100 名城」。

隨著人們對月山富田城的興趣日益濃厚，當地於 2014 年啟動了大規模城郭修復與維護工程，並在 2019 年完工。安來市立歷史資料館位於城郭遺址入口處，館內陳列著一座大型精細的月山富田城及城下町模型，以及各類文物、地圖和其他歷史資料。

<日本語仮訳>

月山富田城跡

月山富田城は、特に戦国時代（1467-1615）に出雲国（現在の島根県の東部。この「国」とは古代日本の行政区画であり、いまの「国家」とは異なる）の政治・文化の中心地であった歴史ある城砦です。典型的な山城で、斜面と山頂は別々の石垣で囲まれた独立した郭でしっかりと構成されています。山の中腹あたりに屋敷が建てられ、山頂が最も守りの堅い区域でした。この城は戦いで破壊されたことはありませんが、現在は石壁とその他の遺構のみが残り、全体が手入れの行き届いた公園となっています。

包囲攻撃の下で

月山富田城の最初の建造物は12世紀に築かれたと考えられています。1439年から1566年までは有力な大名である尼子氏の居城であり、日本一の難攻不落の城とされていました。尼子氏の支配のもとで城郭は拡張され、山麓の川治いの城下町（大名の居城を中心に発達した都市）は栄え、約1万人の人口を抱えていました。1470年頃から、月山富田城は敵対する大名の攻撃を繰り返し受けました。多くの直接的な攻撃は撃退されましたが、尼子氏は1566年に1年に及ぶ包囲攻撃の末、降伏して城門を開きました。その後、松江藩大名・堀尾忠晴(1599-1633)が1611年に月山富田城から新たに築城された松江城に本拠地を移したことで廃城となりました。

巧みな地形利用

月山富田城の構造や設計には、山の自然の地形と川治いという立地が防御に最大限生かされており、富田川と月山の間に細く広がる城下町は最初の防衛線でした。大規模な攻撃は川から行われると予想されていたため、城下町では数百人の武士が壁付きの建物に配置されました。幅広い堀が城下町と山および城の境界となり、壁に設けられた4つの門で城郭内への立ち入りが管理されました。残念なことに、1666年の大規模な洪水で城下町の大部分が失われ、かつての城下町の面影はほとんど残っていません。

防衛区画

月山富田城は大きく2つの区画に分かれていました。低い方の区画は、幅広く比較的なだらかな標高の低い斜面を利用していました。高い方の区画は、190メートルの山頂付近の細い尾根に作られました。2つの区画は急な斜面で隔てられ、登るには七回屈曲する1本の固い守りの道を通る他ありませんでした。

山頂の区画には、石壁でさらに区切られた郭が、尾根に沿って3つ並んでいました。1つ目の郭には

3階建ての防衛のための櫓（防御や物見のための高い楼）と固く守られた1つの門があったと考えられています。3つ目の最も高い郭で城の最も重要な空間、つまり主郭部は、天然の急な堀切でその他から仕切られていました。さらに尾根に沿った山の最も高い部分には、城の守護神を祀る勝日高守神社があります（ただし神社の方が城より先にあったと考えられています）。これらの頂上の郭からは、東から西まで幅広く見渡すことができ、北は中海や日本海、東は「大山」（標高1,729m）まで眺めることができます。

下側の区画では、比較的平坦だった部分の多くが、天然の堀で区切られた壁のある孤立した高台となり、それらが歩道でつながれました。これらの中で最大かつ最も重要だったものが、山の中腹付近にありました。ここにあった御殿の主要な建物は櫓付きの高い石の壁によって固く守られ、屋根付きのしっかりした門からしか近づくことができませんでした。

異色の城の詳細な模型

1611年に廃城となった後、敷地の大部分は自然に還り、平坦な高台の多くはその後農業に利用されました。300年あまり経った1934年に国の史跡に指定され、2006年には「日本100名城」にも選ばれています。

月山富田城への関心が高まったことをきっかけに、2014年には大規模な修復・整備計画が策定され、2019年に完了しました。城跡の入り口にある安来市立歴史資料館には、月山富田城や城下町を詳細に再現した大型模型のほか、出土品や地図などの歴史資料が展示されています。

【タイトル】和鋼博物館

【想定媒体】WEB、パンフ

<簡体字>

和钢博物馆

和钢博物馆建于 1993 年,专门介绍日本传统冶铁工艺“吹踏鞴冶铁”(鞴,音同“备”,即古代的鼓风机)的历史。博物馆通过实物大小的立体实景模型、影像资料及互动展示等形式,向人们展示了这种唯一能炼制出“玉钢”(制作优质日本刀的专用钢材)的工艺。

和钢博物馆的建立与日本著名冶金学家、工程学博士俄国一(1872-1958)息息相关,他的科研工作业内影响深远,“和钢”(即日本钢)一词就是他于 1914 年创造的。

安来市地处中国山地(东西横跨包括山口、冈山、鸟取、岛根、广岛五县的“中国地方”的山地)山麓,该山脉富含的铁砂是传统高品质和钢的原料。加之当地拥有优良港口,令安来成为重要的炼钢中心。在 18 世纪中期至 19 世纪中期,这座城市供应的钢材曾一度占全日本用量的 80%以上。

重力驱动的工艺

“吹踏鞴冶铁”始于铁砂,这种原料来自含细小铁颗粒、自然风化的花岗岩。有时,铁颗粒会自然沉淀在河流与溪流的淤泥中。不过,最优质铁砂的首选采集地是裸露的崖壁。

17 世纪早期,人们发明了一种名为“铁穴流”的重力分离法,即通过改道溪流,设置一系列水闸与水池,利用重力将沉重的铁砂从岩石和泥浆中分离出来。这项工作仅在冬季进行,因为此时无需农业灌溉。

吹踏鞴冶铁还需要大量优质木炭,而中国山地恰好拥有茂密的硬木林,为木炭生产提供了充足原料。一轮冶铁被称为“一世”,需消耗 12 吨木炭,这就意味着需要煅烧 15 亩森林的树木。19 世纪早期吹踏鞴冶铁的鼎盛时期,每年约有 900 亩的山林被砍伐。尽管当时通过造林措施缓解了这种巨大的环境影响,但最终仍难以补充自然资源的消耗。

每年一座新熔炉

吹踏鞴冶铁使用粘土筑成的熔炉,通过大型人力脚踏式的“天秤”风箱鼓风——风箱与扇状排列的竹制风管相连。每次冶铁前都要新建一座粘土熔炉,其下是一套埋于地下的通风系统,可帮助去除影响钢铁质量的湿气。

冶铁必须连续三天不断添加木炭、鼓风并排出炉渣，最终需要拆除粘土熔炉才能取出一块 3 吨重的粗铁块“鋸”（音同“母”），其中只有一小部分是珍贵的玉钢，剩下的则是品质较差的铣铁（即生铁，也称铸铁；铣，音同“显”）。如今，为了获取锻造日本刀的钢材，每年仍会按几乎相同的方式启用这项工艺数次。

守护传统工艺

在 19 世纪中期西方燃煤高炉传入日本之前，全国各地都在使用不同形式的吹踏鞴冶铁来生产钢铁。但由于高炉在经济效率上更具优势，传统方式的生存空间逐渐萎缩，到 1945 年时几乎已绝迹。不过依然有一些刀匠和有心人将吹踏鞴冶铁工艺视为珍贵的文化遗产，在约 50 年前重新恢复了这一工艺。

开馆时间：9:00~17:00（入场截至 16:30）

闭馆日：周三（如遇节假日、补休日顺延），元旦放假期间（12 月 29 日~1 月 3 日）

门票：310 日元，高中生 210 日元，初中和小学生免费

<繁体字>

和鋼博物館

建於 1993 年的和鋼博物館專門展示日本傳統冶鐵工藝「吹踏鞴冶鐵」（鞴，音同「備」，即古代的鼓風機）的歷史。博物館以各種形式來介紹這種唯一能煉製出「玉鋼」（製作優質日本刀的專用鋼材）的工藝，像是實物大小的立體實景模型、影像資料及互動裝置。

和鋼博物館的成立與日本著名冶金學家、工程學博士俵國一（1872-1958）息息相關，他的科研工作在校內影響深遠，「和鋼」（即日本鋼）一詞就是俵國一於 1914 年創造的。

安來市地處中國山地（東西橫跨包括山口、岡山、鳥取、島根、廣島五縣的「中國地方」的山地）山麓，該山脈富含的鐵砂是傳統高品質和鋼的原料，再加上當地擁有優良港口，讓安來成為了重要煉鋼中心。這座城市供應的鋼材在 18 世紀中期至 19 世紀中期曾一度佔全日本用量的 80% 以上。

重力驅動的工藝

「吹踏鞴冶鐵」的原料「鐵砂」來自含細小鐵顆粒的花崗岩自然風化。有時，鐵顆粒會自然沉澱在河流與溪流的淤泥中。不過，最優質鐵砂的採集地首選還是裸露的崖壁。

17 世紀早期，人們發明了一種名為「鐵穴流」的重力分離法：透過改道溪流，設置一系列水閘與水池，利用重力將沉重的鐵砂從岩石和泥漿中分離出來。這項工作只在冬季進行，因為這時正好不需要農業灌溉。

吹踏鞴冶鐵還需要大量的優質木炭，而中國山地剛好擁有茂密的硬木林，為木炭生產提供了充足原料。一輪冶鐵被稱為「一世」，需消耗 12 噸木炭，等於需要煅燒 1 公頃森林的樹木。在吹踏鞴冶鐵鼎盛的 19 世紀早期，每年約有 60 公頃的山林被砍伐。儘管當時透過造林措施緩解了這種巨大的環境破壞，最後仍難以補充自然資源的消耗。

每年一座新熔爐

吹踏鞴冶鐵使用黏土築成的熔爐，透過大型人力腳踏式的「天秤」風箱鼓風——風箱與扇狀排列的竹製風管相連。每次冶鐵前都要新建一座黏土熔爐，其下是一套埋於地下的通風系統，可去除影響鋼鐵品質的濕氣。

冶鐵必須連續三天不斷添加木炭、鼓風並排出爐渣，最後需要拆除黏土熔爐才能取出一塊 3 噸重的粗鐵塊「鋸」（音同「母」），其中只有一小部分是珍貴的玉鋼，剩下的都是品質較差的銑鐵（即生鐵，也稱鑄鐵；銑，音同「顯」）。直到今天，為了煉製新日本刀所需鋼材，這項工藝每年仍會按幾乎相同的方式被啟用數次。

守護傳統工藝

在 19 世紀中期西方燃煤高爐傳入日本之前，全國各地都在使用不同形式的吹踏鞴冶鐵來生產鋼鐵。但由於高爐在經濟效率上更具優勢，傳統方式的生存空間逐漸被壓縮，到 1945 年時幾乎已絕跡。不過依然有一些刀匠和有心人將吹踏鞴冶鐵工藝視為珍貴的文化遺產，在約 50 年前重新恢復了這項工藝。

開館時間：9:00～17:00（入場截至 16:30）

閉館日：週三（如遇節假日、補休日順延），元旦放假期間（12 月 29 日～1 月 3 日）

門票：310 日圓，高中生 210 日圓，中小學生免費

<日本語仮訳>

和鋼博物館

1993年に設立された和鋼博物館では、日本の伝統的な製鉄技術である「たたら製鉄」の歴史が紹介されています。上質な日本刀の原料として使われた特別な玉鋼を製造する唯一の方法である「たたら製鉄」について、実物大のジオラマやビデオ、参加型の展示などを用いて説明しています。

和鋼博物館は、日本の有名な冶金学者、工学博士号を持つ依国一（1872-1958）博士の

科学的研究にヒントを得て設立されました。彼は「和鋼」という言葉を1914年に生み出しました。

安来市は中国山地（鳥取、島根、岡山、広島、山口の5県を含む本州の西部の東西に走る大山地）の麓に位置し、ここでは伝統的な高品質の和鋼の原料である砂鉄が豊富に産出されます。良港の存在と相まって、安来市は製鋼の一大拠点となりました。18世紀半ばから19世紀半ばにかけて、一時は日本全国で使われた鋼の80%以上を供給していました。

重力を利用した製法

たたら製鉄は、小さな鉄の粒子を含む花崗岩が自然に風化してできた砂鉄を使います。鉄の粒子は、川や小川に沈殿した泥に自然に溜まることがあります。しかし、最高品質の砂鉄を採る場所として好まれるのは、崖の露出面です。

「鉄穴流し」と呼ばれる、重力を用いて原料を分離する手法は、17世紀初頭に開発されました。小川の流れを変えて、幾つもの水門と池を通るようにし、そこで重い砂鉄を石や泥から分離する方法です。これは、水が農業に必要ではなかった冬のみ行われました。

たたら製鉄ではまた、高品質な木炭が大量に必要でした。そして中国山地には木炭を作るのに適した硬材の森に恵まれていました。「一世」と呼ばれる1回分の製鋼では、12トンもの木炭が使われましたが、これは1ヘクタール（約15畝）の森林の木材に相当します。19世紀初頭のたたら製鉄の最盛期には、毎年約60ヘクタール（約900畝）もの森が破壊されました。環境に大きな影響を与えないよう、森林再生の取り組みも行われましたが、天然の木材供給を補うのは最終的には難しくなりました。

毎年作りかえる炉

たたら製鉄の過程では、粘土製のたたら炉が使われ、炉には人力で動く大型の足踏み式天秤ふいごが、扇のような竹の通気口を介してつながっており、給気していました。製鋼を行う度に、鋼の品質を損ねる可能性のある湿気をなくすため、地面の下に配置された通気システムの上に新たな粘土製の炉が作られました。

製鉄の工程では、3日にわたって燃料の木炭を常に追加し、空気を送り込み、スラグを取り除く作業を続けたのち、粘土製の炉を破壊してから3トンの粗鉄「鋳」を取り出します。それには低品質の「銑」も含まれていたため、貴重な玉鋼はその中でもごくわずかでした。この工程は、今でも新しく日本刀用の鋼を作るために、ほぼ同じ手順で年に数回行われています。

伝統の保全

19世紀中頃に石炭を燃料とする高炉が導入されるまで、様々なバリエーションのたたら製鉄が日本中で鉄と鋼の生産に使われていました。高炉の方が経済効率が良かったため、伝統的な手法を選ぶ理由が徐々に薄れていき、1945年には事実上消滅しました。たたら製鉄を価値ある文化的遺産と考える刀鍛冶やその他の人々によって、この製法は約50年前に復活しました。

開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日：水曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：大人 310 円、高校生 210 円、小・中学生無料

【タイトル】安来市加納美術館

【想定媒体】WEB、パンフ

<簡体字>

安来市加納美術館

这座美术馆坐落于安来市广瀬町饭梨川畔附近的一个林木繁茂的山谷中，专门展示画家加納莞菴(1904-1977)的生平与作品。加納莞菴原本一直接受西洋油画训练，1938年他作为战时画家被编入日本帝国陆军奔赴中国山西省，受命创作爱国题材画。在中国逗留期间，他开始涉足水墨画与书法，而这些艺术形式成为了他晚年的创作重心。

日本投降后，战时的经历促使加納莞菴成为一名和平活动家。1949年，他开始向菲律宾政府请愿，为那些已被定罪的前日本军人争取大赦。他给菲律宾政府领导人寄出了 300 多封饱含悔恨的信件，呼吁和平并祈求“原谅那些不可原谅的过错”。他耐心且坚持不懈的努力终于在 1953 年有了结果，时任菲律宾总统埃尔皮迪奥·季里诺(Elpidio Quirino; 1890-1956)宣布大赦 105 名日本战犯。值得一提的是，埃尔皮迪奥·季里诺的妻子和 3 个孩子均在他面前被日本士兵杀害，但他与加納莞菴后来成为了挚友，携手为倡导世界和平而努力。

场馆布局与馆藏精品

这座小巧精致、馆藏丰富的美术馆于 1996 年在加納家族故居旧址上建成，由艺术家的长子——已故的加納溥基(1934-2008)发起创建。馆内有两层楼的展示空间，其中一个展厅专门记录加納莞菴为和平事业与战犯大赦所做的努力，其他展厅则轮流展出 120 多件他的绘画及视觉艺术作品，时间跨度从战前一直延续到 1977 年他去世。

美术馆还收藏了 800 多件日本屈指可数的“备前烧”（日本六大古窑之一）陶器珍品。在美术馆茶室举办的特别活动中，宾客可以亲手触摸精选的备前烧藏品。馆内另藏有 290 余件乐烧（日本传统茶具）陶器，包括河井宽次郎(1890-1966)、荒川丰藏(1894-1985)等现代陶艺大师的作品。此外，美术馆还有一批数量可观的日本画藏品，来自加納莞菴同时代的知名画家兼好友小野竹乔(1889-1979)与池田遥邨(1895-1988)。

开馆时间：9:00～16:30（入场截至 16:00）

闭馆日：周二（如遇节假日、补休日顺延），元旦放假期间（12月25日～1月10日）

门票：1100 日元，大学和高中生 550 日元，初中和小学生免费

<繁體字>

安來市加納美術館

這座美術館坐落於安來市廣瀨區飯梨川畔附近的一片林木繁茂的山谷中，專門展示畫家加納莞蕾（1904-1977）生平與作品。加納莞蕾原本一直接受西洋油畫訓練，1938 年他作為戰時畫家被編入日本帝國陸軍前往中國山西省，受命創作愛國主義相關畫作。他在中國逗留期間開始涉足水墨畫與書法，這些藝術形式也成為他晚年的創作重心。

戰時的經歷讓加納莞蕾在日本投降後成為一名和平活動家。1949 年，他開始向菲律賓政府請願，為那些已被定罪的前日本軍人爭取大赦。他先後給菲律賓政府領導人寄出了 300 多封飽含悔恨的信件，呼籲和平並祈求「原諒那些不可原諒的過錯」。1953 年，他耐心且堅持不懈的努力終於有了結果，時任菲律賓總統埃爾皮迪奧·季里諾（Elpidio Quirino; 1890-1956）宣布大赦 105 名日本戰犯。難能可貴的是，埃爾皮迪奧·季里諾的妻子和 3 個孩子是在他面前被日本士兵殺害的，但他後來卻與加納莞蕾成為摯友，並攜手為宣導世界和平而努力。

場館布局與館藏精品

1996 年，由藝術家的長子——已故的加納溥基（1934-2008）發起，這座小巧精緻、館藏豐富的美術館於加納家故居舊址上建成。館內有兩層樓的展示空間，其中一個展廳專門記錄加納莞蕾為和平事業與戰犯大赦所做的努力，其他展廳則輪流展出 120 多件加納莞蕾的繪畫和視覺藝術作品，時間跨度從戰前一直延續到 1977 年其去世。

美術館還收藏了超過 800 件日本屈指可數的「備前燒」（日本六大古窯之一）陶器珍品，賓客在美術館茶室舉辦的特別活動中可以親手觸摸精選的備前燒藏品。館內另藏有 290 余件樂燒（日本傳統茶具）陶器，包括河井寬次郎（1890-1966）、荒川豐藏（1894-1985）等現代陶藝大師的作品。除此以外，美術館還珍藏了加納莞蕾同時代知名畫家兼好友小野竹喬（1889-1979）和池田遙邨（1895-1988）的作品，這批日本畫藏品的數量相當可觀。

開館時間：9:00～16:30（入場截至 16:00）

閉館日：週二（如遇節假日、補休日順延），元旦放假期間（12 月 25 日～1 月 10 日）

門票：1100 日圓，大學和高中生 550 日圓，中小學生免費

<日本語仮訳>

安来市加納美術館

安来市加納美術館は、安来市広瀬町の飯梨川の川岸近くの森繁る谷に位置しており、加納莞菴（1904-1977）の生涯と作品を紹介しています。加納は、1938年まで洋画の油絵の教育を受け、愛国画の制作を依頼されて日本帝国陸軍とともに中国山西省に派遣されました。中国滞在中に加納は水墨画と書道を始め、晩年にそれらを中心とした活動を行うようになります。

戦時中の経験から、日本の降伏後は平和活動家として活動し、1949年にはフィリピン政府に戦争犯罪で有罪判決を受けた元日本軍人の恩赦を求める請願を開始しました。彼はフィリピン政府の指導者たちに300通以上の反省文を送り、平和を訴え、「許されざる者への赦し」を求めました。彼の忍耐強く粘り強い努力は1953年にやっと実を結び、当時のエルピディオ・キリノ大統領（1890-1956）は105人の日本人戦犯の恩赦を宣言しました。キリノ大統領は目の前で日本兵に妻と3人の子供を殺されていたのですが、加納とキリノ大統領は親友となり、共に平和を訴える努力を行いました。

レイアウトと収蔵品

コンパクトで内容が大変充実されたこの美術館は、加納莞菴の長男である故・加納溥基が、実家のあった場所に1996年に設立したものです。収蔵・展示スペースは2階分あります。展示室の1つでは加納の平和と恩赦の活動を紹介し、そのほかの展示スペースでは戦前から1977年に亡くなるまでの加納の絵画やその他の作品120点以上を順次展示しています。

またこの美術館は、日本屈指とされる800点以上の備前焼（日本六古窯のひとつ）コレクションを所蔵しています。館内の茶室で開催される特別イベントでは、これらのコレクションの中から厳選されたものに触れることができます。所蔵品には、河井寛次郎（1890-1966）や荒川豊蔵（1894-1985）などの現代の巨匠の作品を含む、290点を超える楽焼（日本伝統茶器）も含まれます。また、加納と同世代で友人でもあった、小野竹喬（1889-1979）や池田遙邨（1895-1988）といった有名な画家による日本画も多数コレクションしています。

開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで）

休館日：火曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月25日～1月10日）

入館料：一般1,100円、大学生・高校生550円、小・中学生無料

【タイトル】 広瀬絣センター

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

广瀬絣織中心

絣織（絣，音同“崩”）是一种日本传统纺织工艺——先给织线染色，再织成几何或图案纹样的布料。絣織的纹样边缘会呈现出独特的模糊效果，这也正是其名称的由来。在 1825 年至 20 世纪早期，安来市广瀬町曾是繁盛的絣織产业中心，这一时期诞生了许多别具一格的设计。1985 年，广瀬絣織中心成立，旨在传承这一珍贵的地方手工艺传统。

遍及亚洲的工艺技法

絣織的国际通用术语是“ikat”。虽然这个词源自马来语和印尼语，但人们认为这项工艺起源于印度，然后传到东南亚，因此絣織在亚洲拥有非常悠久的历史，而日本称为“絣”（kasuri）的技术也是其中一种。公元 8 世纪，采用这种工艺制成的精美丝织品经中国传入日本，如今仍珍藏于奈良的正仓院。12 世纪起，这一工艺在琉球王国（今日本冲绳）得到高度发展。1609 年，日本九州萨摩藩入侵琉球后，该工艺也被引入日本南部。到 18 世纪中期，这种织造技法已传播至日本中部的奈良地区，并被应用于价格低廉且耐用的棉布织造中，从此这类织物也进入了寻常百姓家。19 世纪早期，日本涌现出多个知名的絣織产地，广瀬便是其中之一，这里的絣織制品广受欢迎，远销日本各地。

繁复精细的制作工序

手工织就高品质的絣織物极为耗费人力，整个过程需要 30 多个步骤。织成足够制作一件和服的“一反”（织物面积单位，长约 13 米，宽约 38 厘米）絣織物，需要 2~3 个月。

广瀬絣織通常使用棉线，先将其铺在长木架上，以便在染色前勾勒出纹样。这一过程会用到可重复使用的纸模，其中有些已传承数代。絣織的关键在于通过控制染料（通常是天然靛蓝）附着的区域，保留白色部分，从而在织物上形成纹样。广瀬絣織采用最传统的技法，即在需要留白的位置用粗糙的麻线将线团紧紧扎住，阻止染料渗入。随后，线团被放入大染缸中用靛蓝染色，之后拆去扎线、清洗、晾干，便可用于织布了。纹样设计与染色过程都基于精密计算，织布时也需精准对位每一根线。传统上，扎线和织布多由单个家庭完成，有时孩子们也会帮忙。

主题和图案

广濑纺织中心展出了众多精美的当地纺织作品，以及一批保存完好的古董纹样样本。纺织图案最初多为小巧的几何样式，到 19 世纪，更为繁复的具象图案逐渐发展起来。广濑的纺织工匠们擅长运用大型、鲜明的具象主题，其中不乏吉祥符号，比如象征长寿的仙鹤与乌龟，或是鲤鱼、幸运之神等寓意好运的形象。这些主题与大型几何图案巧妙结合，往往采用互相交错或重叠的大胆构图。相对简洁的几何图案多用于工作服和日常和服，而醒目生动的具象主题则被用在面积较大、能充分展现图案美感的物件上，比如和服、坐垫、暖帘（门帘）、被套。

广濑纺织中心的核心工作是技艺传承。这里配备了 30 多台传统织机，常年开设教学课程。来访者可以参加短时间的靛蓝染色体验活动，选购各类广濑纺织制品，还能在中心的荞麦面店品尝当地荞麦面。

开馆时间：10:00~17:00

闭馆日：周三，元旦放假期间

门票：免费

<繁体字>

廣瀨紡織中心

絣織（絣，音同「崩」）是一種日本傳統紡織工藝——先將線染色，再透過織造使布料呈現出幾何或圖案紋樣。紋樣邊緣獨特的模糊效果是絣織的一大特徵，而其名稱正源於此。從 1825 年至 20 世紀早期，安來市廣瀨町曾是繁盛的絣織產業中心，期間誕生了許多別具一格的設計。為了傳承這一珍貴的地方手工藝傳統，廣瀨絣織中心於 1985 年成立。

遍及亞洲的工藝技法

絣織的國際通用術語是「ikat」。雖然這個詞源自馬來語和印尼語，但人們認為這項工藝起源於印度，然後傳到東南亞。絣織在亞洲擁有非常悠久的歷史，而日本稱為「絣」（kasuri）的技術也是其中一種。在西元 8 世紀時，採用這種工藝製成的精美絲織品經中國傳入日本，如今仍珍藏在奈良的正倉院內。這一工藝於 12 世紀起在琉球王國（今日本沖繩）得到高度發展。日本九州薩摩藩在 1609 年入侵琉球後，此工藝也被引入日本南部。18 世紀中期，這種織造技法已傳播至日本中部的奈良地區，並被應用於價格低廉且耐用的棉布織造中，從此也進入了尋常百姓家。19 世紀早期，日本湧現出多個知名的絣織產地，其中便包含了廣瀨。這裡的絣織製品廣受歡迎，遠銷日本各地。

繁複精細的製作工序

以手工織就高品質絣織物的整個過程需要經歷 30 多個步驟，極其耗費人力。若要織成足夠製作一件和服的「一反」（織物面積單位，長約 13 公尺，寬約 38 公分）絣織物，就需要耗時 2~3 個月。

廣瀨絣織通常使用棉線，先將其鋪在長木架上，以便在染色前勾勒出紋樣。這一過程會用到可重複使用的紙模，其中有些已經歷經數代傳承。絣織的關鍵在於透過控制染料（通常是天然靛藍）附著的區域，保留白色部分，從而在織物上形成紋樣。廣瀨絣織採用最傳統的技法，就是在需要留白的位置用粗糙的麻線將線團緊緊紮住，阻止染料滲入。隨後，線團被放入大染缸中用靛藍染色，之後拆去紮線、清洗、晾乾，便可用於織布了。紋樣設計與染色過程都經過精密計算，織布時也需精準對位每一根線。依照當地傳統，紮線和織布多由單個家庭完成，有時孩子們也會幫忙。

主題和圖案

廣瀨絣織中心展出了許多精美的當地絣織作品，以及一批保存相當完好的古董紋樣樣本。一開始，絣織圖案多為小巧的幾何樣式，到了 19 世紀，更為繁複的具象圖案逐漸發展起來。廣瀨的絣織工匠們擅長運用大型、鮮明的具象主題，其中不乏吉祥符號，像是象徵長壽的仙鶴與烏龜，或是鯉魚、幸運之神等寓意好運的形象。這些主題與大型幾何圖案巧妙結合，往往採用互相交錯、重疊的大膽構圖。相對簡潔的幾何圖案多用於工作服和日常和服，而醒目生動的具象主題則被用在面積較大、能充分展現圖案美感的物件上，像是和服、坐墊、暖簾（門簾）、被套。

技藝傳承是廣瀨絣織中心的核心工作。這裡常年開設教學課程，配備了 30 多台傳統織機。遊客可以參加短時間靛藍染色體驗活動，選購各類廣瀨絣織製品，還能在中心的蕎麥麵店品嚐當地蕎麥麵。

開館時間：10:00~17:00

閉館日：週三，元旦放假期間

門票：免費

<日本語仮訳>

広瀬絣センター

絣は、織物になったときに幾何学的または絵画的な模様を描き出すように糸を染める、日本の伝

統的な織物の技法です。模様の端がぼやけるのが特徴で、これが名前の由来となっています。安来の広瀬町は、1825年から20世紀初頭まで、絣産業の中心地として栄えました。この時代に、独特の特徴を持つデザインが多く考案されました。この貴重な伝統工芸品の振興を目的に、1985年に「広瀬絣センター」が設立されました。

アジア全域で用いられている技法

「絣」はアジアで長い歴史を持つ「イカット」技法のひとつです。いまでは世界共通の染織用語となった「イカット」はマレー語/インドネシア語ですが、この技法はインドで始まり、その後東南アジアに伝わったと考えられています。この技法で作られた美しい絹織物が、8世紀に中国から日本に持ち込まれ、奈良の正倉院に保管されています。この技法は琉球王国（現在の沖縄）で、12世紀初頭から高度に発展しました。そして九州の薩摩藩が1609年に琉球に侵攻した際に、南日本に持ち込まれました。18世紀中頃までには、日本の中央に位置する奈良まで広がりました。安価で強度のある木綿織物に應用されたため、多くの家庭の手の届く価格になりました。広瀬は19世紀初頭に日本有数の絣の産地の1つとなり、人気の高い製品は全国に出荷されました。

細かく手間のかかる作業

高品質の絣を手織りするのには非常に手間のかかる作業で、30以上もの工程が必要となります。着物一着に必要な一反（織物の単位。長さ約13メートル、幅約38センチ）を織るのに、通常2～3ヶ月かかります。

広瀬絣によく使われる綿糸は、長い木枠の上に配置され、染める前に模様の印をつけます。広瀬絣では、これに再利用可能な型紙を使います。型紙は数世代にわたって使われるものもあります。絣のポイントは、糸の特定の部分に染料（通常は天然藍）が染みないようにすることで、それによって白い部分が残る、織り模様ができます。広瀬絣はこれに関して最も伝統的な方法を用います。染料が浸透しないように必要な部分を粗い麻繊維でしっかりとしばるのです。藍の大桶で染色した後、しばっていた糸を解き、水洗いして乾燥させると、糸を織り上げる準備が整います。デザインや染色の工程は綿密な計算の上に成り立っており、織り手は一本一本の糸を正確に配置し、各糸をずれなく配置しなければなりません。束ねたり、生地を織ったりする作業は、伝統的には各家庭で行われており、子供たちが手伝うこともありました。

モチーフと模様

広瀬絣センターには、地元の優れた絣織物が数多く展示されており、保存状態の良い昔の模様のサンプルのコレクションもあります。絣の模様は、元々は小さく幾何学的なものが多い傾向がありましたが、その後19世紀により精巧で絵画的な模様が発達しました。広瀬の絣職人は、大きくて大胆な絵画的なモチーフの使い方をマスターし、鶴や亀などの長寿の象徴である縁起の良いモチーフや、その他鯉や幸運の神などの吉兆のシンボルを用いるようになりました。これらのモチーフは、その後、大きな幾何学模様と巧みに組み合わせられ、しばしば互いにダイナミックに交互に重なり合うような構図が用いられるようになりました。シンプルな幾何学模様は作業着や着物に使われ、大胆な絵柄は着物や座布団、暖簾、布団カバーなど、モチーフを効果的に表現できる面積の広いものに好まれました。

広瀬絣センターでは教育に力を入れています。センターにある30台以上の伝統的な織機を利用した、教育プログラムも継続して行っています。短時間の藍染めのワークショップに参加したり、展示されている多くの種類の広瀬絣の製品を購入したり、センター内のそば屋で地元のそばを試食したりすることができます。

開館時間：10:00～17:00

休館日：水曜日、年末年始

入館料：無料

【タイトル】 さぎの湯温泉

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

鹭之汤温泉

鹭之汤（日语为“さぎの湯”）是一处天然温泉，坐落于安来市的饭梨川畔。相传在公元 8 世纪，人们目睹了一只白鹭在此沐浴治疗腿伤，因此发现了这处温泉。在日本战国时代(1467-1615)，附近月山富田城的历代领主都曾将其用作“御殿汤”（御用温泉）。

1666 年的一场特大洪水摧毁了这处温泉以及饭梨川沿岸的诸多村落，鹭之汤温泉也随之被遗忘。约 100 年前，温泉源头被重新发现，随后以它为亮点建起了一座传统风格的温泉旅馆“鹭之汤庄”（日语为“さぎの湯荘”）。旅馆的入口改建自一栋有 130 年历史的农舍，它原本位于出云大社附近，经小心拆解、迁移至此并重建。之后，周边陆续开设了其他几家旅馆，形成了一条小小的温泉街。从这里步行即可抵达世界知名的足立美术馆。

<繁体字>

鹭之湯溫泉

鹭之湯（日語為「さぎの湯」）為一座天然溫泉，坐落於安來市的飯梨川畔。相傳在西元 8 世紀，人們因在此目睹了一隻白鷺沐浴治療腿傷才發現了這座溫泉。在日本戰國時代（1467-1615），附近月山富田城的歷代領主都曾將其用作御殿湯（御用溫泉）。

然而，一場發生於 1666 年的特大洪水摧毀了這座溫泉以及飯梨川沿岸的多個聚落，鹭之湯溫泉也隨之被遺忘。直到大約 100 年前，溫泉源頭被重新發現。隨後，以它為亮點，建起一座傳統風格的溫泉旅館「鹭之湯莊」（日語為「さぎの湯荘」）。旅館的入口改建自一棟有 130 年歷史的農舍，它原本位於出雲大社附近，經過慎重拆解、遷移至此地後重建。之後，周邊陸續開設了其他幾家旅館，形成了一條小小的溫泉街。從這裡步行即可抵達世界知名的足立美術館。

<日本語仮訳>

さぎの湯温泉

さぎの湯温泉は、安来市の飯梨川河畔にある天然温泉です。この温泉は8世紀に、白鷺が怪我

をした脚を癒すために入湯しているのが目撃されたことをきっかけに発見されたと伝えられています。戦国時代（1467-1615）には、近くの月山富田城の歴代領主の御殿湯として利用されました。

しかし、1666年の大洪水により、温泉や飯梨川沿いの多くの集落が破壊され、この温泉も忘れ去られました。約100年前にこの温泉の源泉が再発見され、伝統的な温泉旅館「さぎの湯荘」の目玉となりました。旅館の玄関は、かつて出雲大社の近くにあった130年前の農家を改修したものです。慎重に解体され、現在の場所に運ばれ、再建されました。その後、近くに他にもいくつかの旅館ができ、世界的に有名な足立美術館の近くに小さな温泉街が形成されました。

【タイトル】 出雲織 のき白鳥の里

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

出云织・悠闲天鹅之乡公园

数百年来，安来市的平原地带一直是西伯利亚天鹅的秋季栖息地。它们常常会啄食稻田收割后残留的谷粒。这座交流设施位于平原中央、一条俗称“天鹅之路”的农道旁，因此被命名为“悠闲天鹅之乡”（日语为：のき白鳥の里）。这里建有带顶的观景台，人们可在此观察、拍摄天鹅，并且不会惊扰到它们。

不远处有一栋已有百年历史、现已被精心修复的茅葺农舍，是当地传统民居的典型代表，曾经也是“出云织”的工坊。20世纪早期以前，纺织属于家庭手工业，每户农舍中通常都有专门用来放置织机及其他纺织材料的空间。如今，这栋古民家已成为一座对公众开放的社区活动中心，开设了染色与纺织课程，铺着榻榻米的大房间里摆放着数台传统织机和纺车。相邻房间里设有“围炉里”（用于烹饪和取暖的地炉），可供人们在此品茶、闲谈、取暖。

<繁体字>

出雲織・悠閒天鵝之鄉公園

幾百年來，西伯利亞天鵝一直將安來市平原當作秋季棲息地。牠們遷徙而來，常常會啄食稻田收割後殘留的穀粒。這座公園位於平原中央、一條俗稱「天鵝之路」的農道旁，因此被命名為「悠閒天鵝之鄉」（日語為「のき白鳥の里」）。這裡建有帶頂的觀景台，人們可在此觀察、拍攝天鵝，並且不會驚擾到牠們。

不遠處坐落著一棟有著百年歷史、經精心修復後重現原貌的茅葺農舍，它是當地傳統民居的典型代表，過去也是生產「出雲織」的地方。紡織在 20 世紀早期以前屬於家庭手工業，每戶農舍中通常都有專門區域放置織機及其他紡織材料。現在，這棟古民家已成為一座對大眾開放的社區活動中心，開設染色與紡織課程，鋪著榻榻米的大房間裡擺放著幾台傳統織機和紡車。相鄰房間中設有「圍爐裏」（用於烹飪和取暖的地爐），人們可以在此品茶、閒聊、取暖。

<日本語仮訳>

出雲織 のき白鳥の里

何世紀にもわたり、安来の平野部には秋になると収穫後に田んぼに残された穀粒を食べに、シベリアから白鳥の大群がわたってきます。白鳥が飛来するこの平野の真ん中、通称「白鳥ロード」と呼ばれる農道沿いにあるため、この交流施設は「のき白鳥の里」と名付けられました。施設の屋根付きの展望台からは、白鳥に不安を与えることなく観察や撮影をすることができます。

近くにある、築100年の茅葺き民家を美しく復元した古民家は、出雲織が織られていた典型的な伝統ある民家です。20世紀初頭までは織物は家内工業であり、各農家には機織り機やその他の生地生産のための材料を置くスペースが設けられるのが一般的でした。現在、この古民家は、一般公開の染色や織りを学ぶコミュニセンターとして機能しています。伝統的な機織り機と糸車が、大きな畳の部屋にいくつか設置されています。隣の部屋には昔ながらの囲炉裏（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）があり、お茶を飲んだり、会話を楽しんだり、暖を取ることができます。

【タイトル】米子城跡

【想定媒体】WEB、パンフ

<簡体字>

米子城遗址

在长达 270 年的岁月里，米子城的双天守阁（城郭核心的多重塔楼）一直矗立于湊山之巔，俯瞰着周边的一切。米子城是中村家族的据点，它从 15 世纪晚期开始阶段性地建设，到 1602 年最终规模基本形成。米子城的选址颇为特别，它坐落在一个小海角上，向西伸入中海，向东则能俯瞰一大片延伸至“大山”（1729 米）山麓的肥沃平原。城南有新加茂川作为天然屏障，宽阔的人工护城河则将整座城郭与外界隔绝。这样的选址是为了抵御来自陆路和水路的进攻，不过这座城郭终其一生都未曾经历过战事。

独特的双天守阁设计

与日本大多数城郭一样，米子城由多层带围墙的防御区域构成，地势越高，防御安全性越强。城郭核心区域“本丸”占据了湊山（90 米）错综复杂的石阶的最高处，一座高大的 5 层天守阁就坐落在由巨大的斜坡石基筑起的顶层台地上。不远处，另一片类似的石砌台地上则建有一座略小的 4 层天守阁。这种双天守阁的布局在日本城郭中极为罕见，也让米子城拥有了独一无二的外观。

如今，城郭的木构建筑已荡然无存，但顶层台地仍保留着石基、斜坡与石阶。从最高处眺望，下方是车水马龙的城市和纵横的河流与桥梁，远处可见“大山”、中海，往北则可远眺日本海。沿着风景秀丽的蜿蜒小径与石阶攀登 15 分钟，便可抵达顶层台地。

独立的防御分区

米子城的布局在其他方面也巧妙利用了自然地形。一座小山丘“饭山”与湊山主峰被一道深谷隔开，山顶设置了独立的防御区域与防御工事，相当于守护主城郭安全的瞭望台。其他隆起的高地与突出的岩崖也同样设有防御设施，通过步道与本丸相连。其中最大、最著名的防御分区是“内膳丸”，以一位重要军师的名号命名。它横跨山腰处的一道长山脊，在此可清晰望见湖泊、城郭下层区域及整座城市。靠近中海的“御船手郭”则驻扎着一支海军分队，区内设有码头、船库、水兵与船夫的居所及相关设施，这样的配置在日本城郭中极为罕见。

城主的御殿

城郭中石垣环绕的最低两层防御区域分别是二之丸与三之丸。三之丸位于内堀（内护城河）沿岸的宽阔区域，内部划分为营房、马厩、粮仓、马场，以及负责建筑等事务的办公区。二之丸坐落在高出两层的台地上，外围是高大的石垣，由一处易守难攻的“柵形虎口”（进入城门后的一处正方形小广场；柵，音同“杰”）守卫。这里是城主御殿的所在地，有多栋相连的建筑，分别用于居住、接待等功能，还设有多处庭园。在内堀与外堀（外护城河）之间，是一片带有围墙的武士住宅区，担负着守护城郭外围的职责。

国家史迹

米子城曾先后由多位城主掌控。1632年起，荒尾家族成为了这座城郭的主人。1869年，明治政府废除封建制度，并下令拆除包括米子城在内的大多数城郭。此后，城郭遗址基本回归自然状态，最终被改建成一座带有运动设施的公园。而相邻的武士住宅区则成为米子市的主要商业与行政区域。2006年，米子城遗址的本丸和二之丸等被列为国家史迹，2021年又追加了三之丸的部分区域。目前，遗址的相关修复工作仍在进行中。

<繁体字>

米子城遺址

在長達 270 年的歲月裡，米子城的雙天守閣（城郭核心的多重塔樓）一直矗立在湊山之巔，俯瞰著周邊的一切。米子城從 15 世紀晚期開始進行階段性建設，到 1602 年形成了近似最後的規模，成為中村家的據點。米子城的選址頗具巧思，它坐落在一個小海角上，向西伸入中海，向東還能俯瞰一大片延伸至「大山」（1729 公尺）山麓的肥沃平原。城南有新加茂川作為天然屏障，寬闊的人工護城河則將整座城郭與外界隔絕。這樣的選址確實有助於抵禦來自陸路和水路的進攻，不過這座城郭終其一生都未曾經歷過戰事。

獨特的雙天守閣設計

米子城由多層帶圍牆的防禦區域構成，地勢越高，防禦安全性越強，這點與日本大多數城郭一樣。城郭核心區域「本丸」佔據了湊山（90 公尺）錯綜複雜石階的最高處，一座高大的 5 層天守閣就坐落在由巨大的斜坡石基築起了頂層台地上。不遠處，另一座類似的石砌台地上則建有一座略小的 4 層天守閣。這種雙天守閣的布局在日本城郭中非常少見，米子城也因此擁有了獨一無二的外觀。

城郭の木構建築如今已蕩然無存，但頂層台地仍保留著石基、斜坡與石階。從最高處眺望，下方是車水馬龍的城市和縱橫的河流與橋樑，遠處可見「大山」、中海，往北則可遠眺日本海。沿著風景秀麗的蜿蜒小徑與石階攀登 15 分鐘，便可抵達頂層台地。

獨立的防禦分區

米子城的布局在其他方面也巧妙利用了自然地形。一座小山丘「飯山」與湊山主峰被一道深谷隔開，山頂設置了獨立的防禦區域與防禦工事，擔負起守護主城郭安全瞭望台的作用。其他隆起的高地與突出的岩崖也同樣設有防禦設施，透過步道與本丸相連。「內膳丸」是其中最大、最著名的防禦分區，以一位重要軍師的名號命名。它橫跨山腰處的一道長山脊，在此可清晰望見湖泊、城郭下層區域及整座城市。靠近中海的「御船手郭」則駐紮著一支海軍分隊，區內設有碼頭、船庫、水兵與船夫的居所及相關設施，這樣的配置在日本城郭中極為罕見。

城主的御殿

城郭中石垣環繞的最低兩層防禦區域分別是二之丸與三之丸。三之丸位於內堀（內護城河）沿岸的寬闊區域，內部劃分為營房、馬廄、糧倉、馬場，以及負責建築等事務的辦公區。二之丸坐落在高出兩層的台地上，周邊是高大的石垣，由一處易守難攻的「枳形虎口」（進入城門後的一處正方形小廣場；枳，音同「傑」）守衛。這裡是城主御殿所在地，有多棟相連的建築，分別為居住、接待等空間，還設有多座庭園。內堀與外堀（外護城河）之間是一片帶有圍牆的武士住宅區，負責守護米子城的周邊。

國家史跡

米子城曾先後由多位領主掌管。荒尾家從 1632 年起成為這座城郭的主人，一直到明治政府在 1869 年廢除封建制度，並下令拆除包括米子城在內的大多數城郭。在此之後，城郭遺址基本回歸自然狀態，最後被改建成一座擁有運動設施的公園。相鄰的武士住宅區則成為米子市的主要商業與行政區域。米子城遺址的本丸和二之丸等在 2006 年被列為國家史跡，2021 年又追加了三之丸的一部分區域。遺址的相關修復工作目前仍在進行中。

<日本語仮訳>

米子城跡

米子城の2つの天守閣（城郭の中枢部に建てられた多層の櫓建築）は、湊山の山頂から270年間、周囲を見下ろしていました。米子城は15世紀後半から段階的に築城され、1602年には中村氏

の本拠地としてほぼ最終的な姿に近づきました。西側の中海に突き出た小さな岬にあり、東の「大山」（標高1,729m）の麓まで続く肥沃な平野が見渡せるという珍しい場所にありました。南には新加茂川が自然の障壁となっており、幅広い人工の堀が城全体を外部から遮断していました。この立地は、陸上・水上の両方からの攻撃を防ぐために選ばれましたが、実際に敵と対峙することはありませんでした。

天守閣が2つある珍しい設計

日本のほとんどの城と同じく、米子城には何重もの郭という壁付きの区画が作られ、高い郭ほど安全でした。（城の最も重要な空間）「本丸」は、海拔90メートルの湊山の複雑に入り組んだ石段の頂上に築かれました。5階建ての天守閣が、最も高い階層である巨大な斜めの石垣の上に建てられ、それより小さな4階建ての天守閣がその近くの同様の石垣の上に築かれました。このように天守閣が2つある設計は非常に珍しく、米子城は独特のシルエットをしていました。

今日、木造の城の建物は何も残っていませんが、最上階層の石垣からは、石壁、斜面、そして階段の様子が伺い知れます。最上階層の石垣からは、活気ある都市、そこに流れる川や橋、遠くには大山、中海、そして北方向には日本海を一望できます。上の石垣までは、景色の良い曲がりくねった道や階段を15分登る必要があります。

防衛のための独立郭

米子城は、その他の点でも自然の地形を巧みに生かした設計となっています。深い谷を挟んだ湊山の反対側には、湊山より低い飯山という丘があり、こちらにも独立した城郭と防衛施設が設けられており、米子城の主要部分に対する攻撃に備えるための見張り台として使われていました。他の隆起した高台や高くなっている露頭にも同様の防衛空間があり、本丸との間は歩道で結ばれていました。その中でも最も大きなものは「内膳丸」です。要職にあった軍師の名を冠したこの郭は山の中腹にある長い尾根の上にあり、湖や城の下層部、市街地を見渡すことができました。中海に面した御船手郭には、水軍の分遣隊が配置され、埠頭、船屋、水兵と船乗りの住居、関連の施設が作られました。これは日本の城としては珍しいことでした。

城主の御殿

米子城の壁に囲まれた階層の中で、最も下層にあったのは、二の丸と三の丸です。三の丸は、内堀に沿った広い範囲に作られ、宿舎、馬屋、米蔵、馬場、そして建築およびその他の必要な作事の拠点となっていました。二の丸は、2段を高い石垣で囲んで作られ、「柵形虎口」（門の前面にある正方形の広場）という難攻不落の門付きの郭で守られていました。二の丸には城主の御殿があり、それにつながる建物は居住空間や来客を迎える空間などとして使われ、さらに複数の庭も作られました。米子城の周囲の防衛のために、内堀と外堀の間には壁で囲まれた武家屋敷の区画が設けられました。

国の史跡

米子城は何人かの城主に引き継がれました。1632年から荒尾氏が管理していましたが、1869年に明治政府によって封建制度が廃止され、米子城を含むほとんどの城は取り壊しの命を受けました。米子城跡はほとんどが自然に還っており、最終的には運動施設を備えた公園となりました。隣接する

武家屋敷の区画は米子の主要な商業・行政の中心地となりました。2006年には、本丸と二の丸などが国史跡に指定され、2021年に三の丸の一部も追加指定されました。現在も復元工事が行われています。

【タイトル】 米子城下町

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>**米子城下町**

像米子这样的城下町（围绕大领主的居城发展起来的市镇），通常有着明确的区域划分：负责防御的武士居住在靠近城郭、设有围墙的区域；商人、工匠等平民则居住在另一区域，与武士住宅区之间以护城河、城门及其他屏障相隔。自明治时代(1868-1912)初期武士阶级被废除后，米子的武士宅邸几乎已消失殆尽，昔日的武士住宅区如今遍布现代商业建筑与政府办公楼。然而，平民区基本未受大规模开发影响，仍保留着原有的城市规模与氛围。

樱花树林立的加茂川曾是一条护城河，也是平民区与武士住宅区的分界线。这条静谧的水道旁，矗立着许多传统的白色灰泥仓库、商店、民居等建筑，皆是当年利用这条河运输货物的商人所建。这片区域以两层建筑为主，狭窄的街道两旁排列着不少传统商住一体的“町家”。新建的房屋也大多延续了这种宜居的尺寸，除了如传统的坂口家族宅邸及其隔壁有 90 年历史的西式办公楼等几处较为有名的建筑之外，大型宅邸与机构寥寥无几。加茂川上横跨着多座景致优美的低矮桥梁，观光游船（需提前预约）从这里出发开往中海，经米子城附近的新加茂川返回。

历史悠久的寺庙区“寺町”位于昔日武士住宅区对面，与米子平民区的另一侧相邻。这里的 10 座寺庙及其僧人早已融入了当地日常风景。

<繁体字>**米子城下町**

像米子這樣的城下町（圍繞大領主的居城發展起來的市鎮）有著明確的區域劃分：負責防禦的武士居住在靠近城郭、設有圍牆的區域；商人、工匠等平民則居住在另一區域，與武士住宅區之間以護城河、城門及其他屏障相隔。自武士階級在明治時代（1868-1912）初期被廢除後，米子的武士宅邸幾乎消失殆盡，昔日的武士住宅區如今遍布現代商業建築與政府辦公樓。不過，平民區仍保留著原有的城市規模與氛圍，基本未受大規模開發影響。

櫻花樹林立的加茂川曾是一條護城河，也是平民區與武士住宅區的分界線。靜謐的水道旁，矗立著許多傳統白色灰泥牆倉庫，以及商鋪、民居等建築，都是由當年在這條河上運

輸貨物の商人建造。這片區域以兩層建築為主，狹窄的街道兩旁排列著不少傳統商住一體的「町家」。新建的房屋也大多延續了這種宜居的尺寸，除了傳統的坂口家宅邸及其隔壁有90年歷史的西式辦公樓等幾處較為知名的建築以外，大型宅邸與機構寥寥無幾。加茂川上橫跨著多座景致優美的低矮橋樑，觀光遊船從這裡出發去往中海，然後經米子城附近的新加茂川返回。若想搭乘的話需要提前預約。

在昔日武士宅邸區對面、與米子平民區的另一側相鄰的位置上，有一處歷史悠久的寺院聚落，被稱為「寺町」。此地匯集了10座寺院，其建築群與僧侶早已深深融入了當地日常風景。

<日本語仮訳>

城下町 米子

米子のような城下町（大名の居城を中心に発達した都市）は、防衛担当の武士が城に近い壁で囲まれた地区に住むよう区画されていました。商人や職人、その他の庶民は、堀や門などで武士とは隔てられた地区に住んでいました。米子では、明治時代（1868–1912）に入って武士階級が廃止されてから、武家屋敷はほとんど姿を消してしまいました。かつての武家屋敷地区には、今では企業や官公庁の近代的なオフィスが立ち並んでいます。しかし庶民の地区は開発があまり行われず、元々の城下町のサイズや雰囲気が残っています。

桜の木が並ぶ加茂川は、かつて庶民の地区と武家の地区を隔てていた堀です。この密やかな水路沿いには、川を利用して物資を運んでいた商人が建てた伝統的な白漆喰の蔵や、商店、家屋などの建物が立ち並んでいます。この地区の建物はほとんどが2階建てで、細い通りには多くの伝統的な町家が並んでいます。新しく建てられた建物も、この人にやさしい規模感をほぼ継承しています。伝統的な坂口家住宅や隣接する築90年の洋風のオフィスビルのような、大きな家屋や建物はわずかしかありません。加茂川には、絵になる低い橋が何本もかけられ、予約運行されている遊覧船は、この水路から中海まで、そして米子城近くの新加茂川を通過して帰ってくるルートで乗客を運んでいます。

米子の庶民の町は、旧武家屋敷地区の反対側の極めて古い寺が立ち並んだ「寺町」という地区に囲まれています。10の寺院とそれらを管理する僧は、米子のこの地区の日常の風景となっています。

【タイトル】 淀江和傘伝承館

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

淀江和傘伝承館

和傘(传统日式伞)是在纤细的竹制骨架上蒙上涂过油的和纸制作而成。自 1821 年起，数十家制伞作坊陆续聚集在海边村落“淀江”，并确立了“淀江伞”这一风格独特的和伞品牌。至 20 世纪早期，淀江伞销售到了日本各地，年产量达到了 17 万把。如今，仅存两家作坊仍在坚持手工制作，每一把伞都凝聚着工匠的心血。

淀江伞色彩绚丽、造型别致，淀江和傘伝承館展示了这种和伞的历史与设计。负责运营传承馆的“淀江伞传承协会”还在隔壁创建了一座现存规模最大的制伞工坊，至今仍在制作耐用的淀江伞。工坊制作的淀江伞的直径从约 1 米到 2 米多不等，其中，直径超过 2 米的被称为“野点伞”，专门用于户外茶会。工坊的淀江伞因工艺精湛，成为了收藏佳品，深受歌舞伎名角、茶道大师青睐，亦获得了日本皇室成员的赞誉。另外，参观者还可在此参加为直径 60 厘米的迷你伞贴伞面的体验活动（约 1 小时，6900 日元，需预约）。

竹与纸的精工细作

淀江伞的伞骨与伞柄等各部分都需选用特定品种的竹子。每把伞需要 100 根纤细的伞骨，塑形过程极为耗时费力。过去，这一步骤完全依靠手工完成，如今工坊使用有百年历史的机器来快速精准地劈分竹子。许多款式的伞骨保留了竹子的天然色泽，也有一些会进行染色处理。伞的内侧还需精巧地编入彩色丝线（称为“丝饰”），用来连接伞骨以保持张力。这些丝线的色彩搭配亦是淀江伞风格的标志性特征之一。

鲜明的传统纹样

接下来，工匠会用“蕨粉”（一种由蕨类植物制成的天然胶质黏合剂）将手工制作的和纸粘贴在伞骨上。最后，还要用亚麻籽油等混合油脂对和纸进行处理，使其具备防水性。随着时间推移，上过油的天然白色和纸会逐渐呈现出温暖的金黄色泽。大多数情况下，淀江伞会通过剪裁彩色纸张并粘贴的方式，制作出醒目的几何纹样，比如伞缘的简单黑环、宽条纹与六边形。最受欢迎的设计之一是在靠近伞尖位置有一个浅色小圆环的纹样，因形似蛇眼而被叫做“蛇目”。另有以梅花为灵感、采用大型波浪状环形图案，被视为吉祥的纹样，常用于传统婚礼。而在节庆或其他特殊场合上，淀江伞可能会用黑色书法文字作为装饰。

几十年前，刚刚上好油的伞会被放在附近的海滩上晾晒，伞柄插进沙中，伞面朝向太阳倾斜摆放。成千上万把淀江伞如同巨型花朵般铺满海滩，景象蔚为壮观。

开馆时间：9:00~17:00

闭馆日：周日、周一，节假日，元旦放假期间

门票：免费

<繁体字>

淀江和傘傳承館

和傘（傳統日式傘）是在纖細的竹製骨架上蒙上塗過油的和紙製成的。數十家製傘作坊自 1821 年起陸續聚集在海邊聚落「淀江」，並確立了「淀江傘」這一風格獨特的和傘品牌。到了 20 世紀早期，淀江傘年產量達到 17 萬把，並行銷日本各地。如今，只剩下兩家作坊仍在堅持手工製作，每一把傘都凝聚著工匠的心血。

淀江和傘造型別致、色彩絢麗，淀江和傘傳承館中就展示了這種和傘的歷史與設計。負責運營傳承館的「淀江傘傳承協會」還在隔壁修建了一座現存規模最大的製傘工坊，至今仍在製作耐用的淀江傘。工坊製作的淀江傘的直徑從約 1 公尺到 2 公尺多不等，其中，直徑超過 2 公尺的被稱為「野點傘」，專門用於戶外茶會。工坊的淀江傘因工藝精湛，成為了收藏佳品，深受歌舞伎名角、茶道大師青睞，亦獲得了日本皇室成員的讚譽。另外，遊客還可在此參加為直徑 60 公分的迷你傘貼傘面的體驗活動（約 1 小時，6900 日圓，需預約）。

竹與紙的精工細作

淀江傘的傘骨與傘柄等各部分都需選用特定品種的竹子。每把傘需要 100 根纖細的傘骨，塑形過程極為耗時費力。過去這一步驟完全依靠手工完成，如今工坊使用有百年歷史的機器來快速精準地劈分竹子。許多款式的傘骨保留了竹子的天然色澤，也有一些會進行染色處理。傘的內側還需精巧地編入彩色絲線（稱為「絲飾」），用來連接傘骨以保持張力。這些絲線的色彩搭配也是淀江傘風格的標誌性特徵之一。

鮮明的傳統紋樣

接下來，工匠會用「蕨粉」（一種由蕨類植物製成的天然膠質黏合劑）將手工製作的和紙黏貼在傘骨上，然後還要用亞麻籽油等混合油脂對和紙進行處理，這樣才能防水。上過油的天然白色和紙隨著時間推移，會逐漸呈現出溫暖的金黃色澤。大多情況下，淀江傘以剪裁彩色紙張並黏貼的方式，製作出醒目的幾何紋樣，比如傘緣的簡單黑環、寬條紋與六邊形。

其中最受欢迎的一種設計是在靠近傘尖位置有一個淺色小圓環的紋樣，因形似蛇眼而被稱作「蛇目」。另有一種以梅花為靈感、採用大型波浪狀環形圖案，被視為吉祥的紋樣，常用於傳統婚禮。如果遇到祭典或其他特殊場合，淀江傘可能會以黑色書法文字作為裝飾。

幾十年前，剛剛上好油的傘會被放在附近的海灘上晾曬，傘柄插進沙中，傘面朝向太陽傾斜擺放。成千上萬把淀江傘如同巨型花朵般鋪滿海灘的景象非常壯觀。

開館時間：9:00～17:00

閉館日：週日、週一，節假日，元旦放假期間

門票：免費

<日本語仮訳>

淀江和傘伝承館

日本の伝統的な和傘は、油を塗った和紙を細い竹の骨に張って作られます。海辺の集落である淀江には、1821年以降数十人の傘職人が集まり、「淀江傘」と呼ばれる独特のスタイルが確立しました。20世紀初頭には、年間17万本の傘を生産し、全国に販売するまでになりました。現在はわずか2つの製造元が、丹念な手作業で傘を製作しています。

和傘伝承館は、この色鮮やかでドラマチックな傘の歴史とデザインを紹介する博物館です。また、伝承館の運営主体である「淀江傘伝承の会」は、隣で現存する最大規模の傘工房も運営しており、現在でも直径1メートルほどのものから、直径2メートル以上ものまで、さまざまなサイズの丈夫な淀江傘を作っています。後者の大きい方の傘は「野点傘」と呼ばれ、屋外での茶会に使われます。この工房で精巧に作られた淀江傘はコレクターズアイテムとなっており、一流の歌舞伎役者や茶道家の評判を得ているほか、皇族の方々からも高い評価を得ています。また、事前予約すれば、直径60センチのミニ傘の胴張り（紙張り）体験もできます。所用時間は約1時間で、料金は6,900円です。

竹と紙を使った丹念な作業

淀江傘を作るには、骨組みや持ち手など、それぞれの部分に特定の種類の竹が必要となります。1本の傘には100本の細い骨が必要で、その形を作るのは大変な作業です。以前はこの作業は手で扱う道具のみで行われていましたが、工房では100年前の機械を使って、竹を素早く正確に割っています。多くのデザインでは骨は自然の色のままですが、染めることもできます。「糸飾り」という色鮮やかな絹糸が、傘の内側に丁寧に織り込まれ、骨をつないで張力を保ちます。こうした色の組み合わせが、この様式の特徴の1つとなっています。

印象的な伝統あるデザイン

次に、手漉きの和紙を、わらびを原料とするゼラチン状の天然接着剤である「わらび粉」を使って、骨に貼り付けます。最後に、和紙に亜麻仁油とその他の油を混ぜ合わせたものを染み込ませて、防水加

工を施します。時間が経つと、油を染み込ませた和紙は、元々の白い色から温もりのある黄金色に変化します。ほとんどの場合、淀江傘は色紙を切って貼り付けることで、印象的な幾何学模様仕上げます。典型的な模様には、縁取るように配したシンプルな黒いリングや、大きな縞模様のもの、六角形のものなどがあります。最も人気のデザインの1つに「蛇の目」があります。中心付近にあしらった明るい色の小さな輪の模様は、ヘビの目を模したものとされています。梅の花を模した大きな波打つ輪っかのモチーフは縁起の良いデザインと考えられており、伝統的な結婚式でしばしば使われます。一方、祭りやその他の特別な機会のために作られた淀江傘には、黒い墨で書道のような文字の装飾が施されることがあります。

数十年前には、淀江で作られた油を染み込ませたばかりの傘が、近くの浜辺で持ち手を砂に埋めて太陽の方向を向くようにして乾かされていました。巨大な花のように数千もの淀江傘が浜辺を覆い尽くす様子は、目をみはるような光景でした。

開館時間：9:00～17:00

休館日：月曜日、日曜日、祝日、年末年始

入館料：無料

【タイトル】 弓浜絣

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

弓浜絣織

弓浜絣織（絣，音同“崩”）是日本各地传统絣織染織工藝中最知名的一種，其典型特征是在深藍（靛藍）底色上呈現白色花紋。棉線在織造前需先染色，且染色前要經過精密計算，以確保最終能織出對比鮮明的圖案。

儘管絣織工藝根源可追溯至亞洲大陸古老的“ikat”技法，但在 18 世紀晚期，由於米子的弓浜地區開始廣泛種植棉花，且靛藍染料可批量供應，絣織工藝在本地得以迅速發展。最初，弓浜絣織多採用簡單的幾何圖形，但到了 19 世紀初，當地農家婦女已能織出帶有具象圖案的絣織物。這些風格鮮明的圖案通常都寓意吉祥或用於喜慶場合。最上乘的弓浜絣織做工精湛、細節繁複精美，同時也保留著源自鄉村的質樸本真。

<繁体字>

弓濱絣織

弓濱絣織（絣，音同「崩」）是日本各地傳統絣織染織工藝中最知名的一種，在深藍（靛藍）底色上呈現白色花紋是其典型特徵。棉線在織造前必須先經過精密計算，然後再仔細染上顏色，這樣才能確保最後能織出對比鮮明的圖案。

絣織工藝根源可追溯至亞洲大陸古老的「ikat」技法。由於米子的弓濱地區在 18 世紀晚期開始廣泛種植棉花，且靛藍染料可批量供應，於是絣織工藝在這裡得以迅速發展。一開始，弓濱絣織多採用簡單幾何圖形，但到了 19 世紀初，當地農家婦女已能織出帶有具象圖案的絣織物。這些圖案通常都是寓意吉祥或用於喜慶場合的紋樣，風格大膽鮮明。最上乘的弓濱絣織細節繁複精美、做工精湛，卻仍保留著源自鄉村的質樸本真。

<日本語仮訳>

弓浜絣

弓浜絣は、絣（かすり）という各地方の伝統的な染色と機織りの技法の中でも最も有名なものの 1 つです。典型的ものは深い藍色の背景に、白い絵画的な模様が描かれています。綿糸は、織ったと

きに対照的な絵柄が出るよう慎重に計算した後、織る前に染色されます。

元を辿ればアジア大陸の「イカット」という古い技法に由来しますが、米子・弓ヶ浜地方で絣が普及したのは、18 世紀後半に当地で綿の栽培が盛んになり、藍染の染料が大量に手に入るようになったことによります。当初はシンプルな幾何学模様が用いられていましたが、19 世紀初頭までには、地方の農村部の家庭の女性たちが、絵柄のような絣を織るようになりました。大胆な文様には、縁起物をモチーフとしたものや、慶事をモチーフとしたものが多くあしらわれます。最高級の弓浜絣は、緻密な細工と豪華な装飾が施されていますが、農村のルーツを感じさせる簡素で素朴な要素も残しています。

【タイトル】 皆生温泉

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

皆生温泉

皆生温泉是一处天然咸水温泉度假地，坐落于风景秀丽的海滨地带，距米子市中心约 15 分钟车程。这里不仅可以眺望中国地方（本州西部，包括山口、冈山、鸟取、岛根、广岛五县）的最高峰“大山”（1729 米），还被列入“日本海滩 100 选”、“日本白砂青松 100 选”、“日本夕阳·朝日 100 选”、“都市景观 100 选”和“日本浴场 88 选”。

这里自古就有一个渔村，但温泉却在 1900 年才发现，据说起缘是一位当地渔民注意到海岸浅水处有热水冒出。如今，皆生地区约有 20 家温泉旅馆与度假酒店，价位从经济实惠到奢华高端不等，对外提供住宿及当日往返的温泉与海滩体验服务。既可以泡温泉还能去海里游泳，这样的度假胜地在全日本也是屈指可数。

皆生还以日本铁人三项的发源地而闻名。自 1981 年起，这里便建成了铁人三项所需的公开水域游泳、自行车骑行及跑步设施，并定期维护改善，吸引了日本奥运铁人三项选手前来训练。沿海岸线修建的“弓浜自行车道”将皆生与西侧约 16 公里外的境港市相连。此外，清澈的海水与独特的扇贝形海滩也吸引着浮潜爱好者，立式桨板、海上皮划艇等水上活动同样深受欢迎。

<繁体字>

皆生溫泉

皆生溫泉坐落在風景秀麗的海濱地帶，是一處天然鹹水溫泉度假地，距米子市中心約 15 分鐘車程。這裡不只可以眺望中國地方（本州西部，包括山口、岡山、鳥取、島根、廣島五縣）的最高峰「大山」（1729 公尺），還被選定為「日本海灘 100 選」、「日本白砂青松 100 選」、「日本夕陽·朝日 100 選」、「都市景觀 100 選」、「日本浴場 88 選」。

這裡自古以來就有一個漁村，而溫泉則是在 1900 年才被發現，據說起因是一位當地漁民注意到了海岸淺水處有熱水湧出。如今，皆生地區約有 20 家溫泉旅館與度假旅館，價位從經濟實惠到奢華高端不等，對外提供住宿及當日往返的溫泉與海灘體驗服務。既可以泡溫泉還可以到海裡游泳，這樣的度假勝地在全日本也是屈指可數。

皆生也是日本鐵人三項的發源地，並因此聞名。自 1981 年起，這裡便建成了鐵人三項所需的公開水域游泳、自行車騎行及跑步設施，並定期維護完善，因此吸引了日本奧運鐵人三項選手前來集訓。沿著海岸線修建的「弓濱自行車道」更將皆生與西側約 16 公里外的境港市串連起來。除此之外，清澈的海水與獨特的扇貝形沙灘也深受浮潛愛好者青睞，而立式槳板、海上獨木舟等水上活動同樣廣受歡迎。

<日本語仮訳>

皆生温泉

皆生温泉は、米子市中心部から車で15分ほどの場所にある、美しい海岸線に面し、中国地方（鳥取、島根、岡山、広島、山口の5県を含む本州の西部）最高峰の「大山」（標高1,729m）を眺めることができた天然の「塩の温泉」地です。ここは「日本の渚100選」、「日本の白砂青松100選」、「日本の夕陽・朝日100選」、「都市景観100選」、「日本の水浴場88選」に選定されています。

古くからここは漁村がありましたが、地元の漁師が海岸の浅瀬から熱湯が出ているのに気づき、温泉を発見したのは1900年のことです。現在、皆生には手頃な価格帯から高級な価格帯まで、約20軒の旅館やリゾートホテルがあり、宿泊と日帰り入浴と海遊が可能です。温泉と海水浴が同じ場所で楽しめる、日本でも数少ないリゾート地の一つです。

皆生は日本のトライアスロン発祥の地としても知られています。1981年以降、トライアスロンのオープンウォータースイミング、サイクリング、ランニングのためのスポーツ施設が整備され、定期的に改修されており、日本のトライアスロンのオリンピック選手がトレーニングに訪れています。海岸沿いを走る弓ヶ浜サイクリングコースは、皆生市と約16キロメートル西にある境港市を結んでいます。また、透明度の高い海とホタテの形をした珍しいビーチではシュノーケリングを楽しむことができ、スタンドアップパドルボードやシーカヤックなどのマリニアクティビティも人気です。

【タイトル】 米子水鳥公園
【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

米子水鳥公園

数百年来，迁徙的水鸟总会来到中海沿岸的天然湿地越冬。第二次世界大战(1939-1945)后，中海周边的填海造地工程逐渐吞噬了大片湿地，当地居民因此开始呼吁保护水鸟栖息地。1995年对外开放的米子水鸟公园就是为保护水鸟迈出的第一步。每年，有超过100种、逾万只鸟类到访公园，其中包括秋冬迁徙而来的小天鹅、翘鼻麻鸭、琵鹭和白额雁等候鸟，以及斑嘴鸭、莺类、小鸊鷉（音同“辟踢”）等在春夏季节繁殖的留鸟。

便民友好的设施

米子水鸟公园严格来说是一处人工湿地，28万平方米的园区内，大部分区域是被芦苇丛环绕、深约1米的池塘。公园内有一座大型木造的自然中心，透过落地窗可以看到整个池塘。这里配备了约30台望远镜，供人们免费近距离观察鸟类。此外，中心还配备了视听室、科普展览区，以及介绍当地野生动物及生态的展示区。来访者也可以使用数字显微镜来观察羽毛、昆虫及其他物品。在小型图书馆内，专业工作人员可以随时解答问题，介绍值得关注的看点；八角形的展室里，陈列着多种野生雁类的剥制标本；在户外的步道和观景区，来访者能更近距离地观察某些鸟类。自然中心还定期举办面向儿童和成人的互动学习活动，也经常接待学校组织的课外参观活动。

中海水鸟国际交流基金会在米子市和鸟取县的资助下，与世界各地的专家及社区积极开展国际交流，分享多年来积累的知识和经验。当地的志愿者活动十分活跃，这也进一步推动了居民参与水鸟公园的环境管理工作。

<繁体字>

米子水鳥公園

幾百年來，遷徙的水鳥都會來到中海沿岸的天然濕地越冬。但第二次世界大戰（1939-1945）後，中海周邊的填海造地工程逐漸吞噬了大片濕地，於是當地居民開始呼籲保護水鳥棲息地。1995年對外開放的米子水鳥公園就是向水鳥保護邁出的第一步。每年，有超過

100種、逾萬隻鳥類來到公園，其中包括秋冬遷徙而來的小天鵝、翹鼻麻鴨、琵鷺和白額雁等候鳥，以及花嘴鴨、鶯類、小鸕鶿（音同「辟踢」）等在春夏季節繁殖的留鳥。

便民友好的設施

嚴格來說，米子水鳥公園是一處人工濕地，28萬平方公尺的園區內，大部分區域是被蘆葦叢環繞、深約1公尺的池塘。公園內有一座大型木造的自然中心，透過落地窗可以看到整個池塘。這裡配備了約30台望遠鏡，供人們免費近距離觀察鳥類。此外，中心還設置了視聽室、科普展覽區，以及介紹當地野生動物及生態的展示區。遊客也可以使用數位顯微鏡來觀察羽毛、昆蟲及其他物品。小型圖書館的專業工作人員會隨時解答問題，介紹值得特別留意的看點；八角形的展室裡，陳列著多種野生雁類的剝製標本；在戶外的步道和觀景區，遊客能更近距離地觀察某些鳥類。自然中心還經常接待學生課外參觀活動，也會定期舉辦適合兒童和成人的互動學習活動。

在米子市和鳥取縣的資助下，中海水鳥國際交流基金會與世界各地的專家及社區積極開展國際交流，分享多年來積累的知識和經驗。當地的志工活動十分活躍，這也進一步推動了居民參與水鳥公園的環境管理工作。

<日本語仮訳>

米子水鳥公園

何世紀にもわたり、中海沿いの天然の湿地帯には渡り鳥の水鳥が越冬しにやってきました。第2次世界大戦（1939-1945）後には、中海沿いで土地造成事業が行われ、大きく広がっていた湿地が徐々に失われたため、地元住民から水鳥の生息地の保全を求める声が上がりました。1995年にオープンした米子水鳥公園は、その目的に向けての第一歩です。公園には、100を超える種の1万羽以上の鳥が毎年訪れます。秋から冬にかけてはコハクチョウ、ツクシガモ、ヘラサギ、マガンなどが飛来し、春から夏にかけてはカルガモ、ムシクイ、カイツブリなどがここで繁殖を行います。

利用者に優しい施設

米子水鳥公園は厳密には人工湿地で、28ヘクタールの敷地の大部分は葦の茂みに囲まれた深さ1メートルの池になっています。大きな木造のネイチャーセンターがあり、床から天井までのガラス張りの窓からは池を見渡すことができます。望遠鏡は約30台あり、無料で鳥を間近に見ることができます。その他、視聴覚室、教育展示、地域の野生生物や生態についての展示などがあります。また、デジタル顕微鏡を使って羽毛や昆虫などを観察することもできます。小さな図書館もあり、専門のスタッフが質問に答えたり、見所を教えてください。八角形の展示室には、多くの種類の野生の雁の剥製標本が展示されています。また、屋外の遊歩道や観覧エリアでは、いくつかの種を間近で観察することができます。また、子どもから大人まで楽しめる体験学習を定期的を実施しており、学校からの課外授業

も定期的に受け入れています。

中海水鳥国際交流基金財団は、米子市と鳥取県の助成を受けて、世界各地の専門家や地域社会と積極的に国際交流を行い、長年培ってきた知見や経験を共有しています。また、地域のボランティア運動が盛んで、地域住民が保護区（水鳥公園）の環境管理に参加することを奨励しています。

【タイトル】 上淀白鳳の丘展示館と上淀廃寺跡

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

上淀白凤之丘展览馆及上淀废寺遗址

淀江地区位于米子市最北端，坐拥一片肥沃平原，面朝日本海，背靠“大山”（1729米）山麓。自史前时代起，这里便是重要的人口聚居地。公元 683 年，上淀废寺建于一处幽谷之中。当时，这里早已有一座神社，还分布着 5 世纪至 6 世纪重要首领的古坟。然而，寺庙在公元 1000 年左右遭焚毁，此后再未重建。1991 年至 1993 年间，寺庙的基石及众多文物被发掘，如今仍保存在原址。1996 年，上淀废寺被指定为国家史迹。

上淀白凤之丘展览馆就建于寺庙遗址附近，于 2011 年对外开放。馆内有上淀废寺金堂（正殿）内部的等比例复制模型，并根据考古发现与历史记载，为来访者展现这座寺庙及该地区的历史变迁。

毁灭性大火后的遗存

上淀废寺建于日本最初的佛教寺庙出现约 100 年后，与奈良的法隆寺、药师寺大致处于同一时代。后两者同为木构建筑的古迹，依然留存至今，而上淀废寺却在公元 1000 年左右的一场毁灭性大火中化为乌有，如今仅存于记忆之中。

考古研究表明，这片布局紧凑的寺庙群巧妙地利用了山谷地形。其整体布局颇为特别：通常寺庙只有一座或两座塔，而上淀废寺曾设计将三座多重塔呈南北走向一字排开，不过火灾发生前仅建成了两座。寺庙的大型金堂内供奉着一尊坐于基座上的阿弥陀如来像，两尊胁侍菩萨像分立左右。考古发掘出数千件佛像残片，目前均已展出。专家们依据这些残片复原了等比例的原佛像，如今成为了展览馆的核心展品。此外，寺庙遗址还出土了许多烧焦的彩绘石膏墙残片，这表明金堂墙壁上曾有风格与法隆寺壁画相似的精美壁画。部分壁画也已在相应位置复原展出。

上淀白凤之丘展览馆

开馆时间：9:30~18:00（入场截至 17:30）

闭馆日：周二（如遇节假日、补休日顺延），元旦放假期间（12 月 29 日~1 月 3 日）

门票：310 日元，大学和高中生 160 日元，初中生及以下免费

<繁体字>

上淀白鳳之丘展覽館及上淀廢寺遺址

位於米子市最北端的淀江地區坐擁一片肥沃平原，面朝日本海，背靠「大山」（1729公尺）山麓。自史前時代起，這裡便是重要的人口聚居地。西元 683 年，上淀廢寺建於一處幽谷之中。當時這裡早已存在一座神社，還分布著 5 世紀至 6 世紀重要首領的古墳。然而，寺廟在西元 1000 年左右遭焚毀後再未重建。寺廟的基石及多樣文物在 1991 年至 1993 年間被發掘，如今仍保存在原址。1996 年，上淀廢寺被指定為國家史跡。

2011 年對外開放的上淀白鳳之丘展覽館就建於寺廟遺址附近。館內有上淀廢寺金堂（正殿）內部的等比例模型，並透過考古發現與歷史記載，展現這座寺廟及該地區的歷史變遷。

毀滅性大火後的遺存

上淀廢寺建於日本最初的佛教寺廟出現約 100 年後，與奈良的法隆寺、藥師寺大致處於同一時代。然而，法隆寺、藥師寺同為木構建築的古跡，依然留存至今，而上淀廢寺卻在西元 1000 年左右的一場毀滅性大火中化為烏有，如今只存於記憶之中。

考古研究表明，這片布局緊湊的寺廟群巧妙地利用了山谷地形。其整體布局頗為特別：一般寺廟通常只有一座或兩座塔，而上淀廢寺曾設計將三座多重塔呈南北走向一字排開，不過火災發生前只建成了兩座。寺廟的大型金堂內供奉著一尊坐於基座上的阿彌陀如來像，兩尊脅侍菩薩像分立兩側。考古發掘出了數千件佛像殘片，目前都已經展出。專家們依據這些殘片復原了等比例的原佛像，如今成為了展覽館的核心展品。此外，寺廟遺址還出土了許多燒焦的彩繪石膏牆殘片，這表明了金堂牆壁上曾有風格與法隆寺壁畫相似的精美壁畫。部分壁畫也已在相應位置復原展出。

上淀白鳳之丘展覽館

開館時間：9:30～18:00（入場截至 17:30）

閉館日：週二（如遇節假日、補休日順延），元旦放假期間（12 月 29 日～1 月 3 日）

門票：310 日圓，大學和高中生 160 日圓，國中學生及以下免費

<日本語仮訳>

上淀白鳳の丘展示館と上淀廃寺跡

淀江地区は米子市の最北端に位置し、大山（標高1,729m）の麓を背に日本海に面した肥沃な平野にあります。この地域は先史時代から重要な居住地として栄えてきました。元々5-6世紀の

有力者の古墳や神社があった小さな谷に、上淀廃寺が建立されたのは683年のことでした。しかし、この寺は1000年頃に焼失し、その後再建されることはありませんでした。寺の礎石やその他の遺構が、1991年から1993年の間に発掘され、今では見つかった場所で保存されています。上淀廃寺跡は、1996年に国の史跡に指定されました。

その近くには上淀白鳳の丘展示館が建てられ、2011年にオープンしました。上淀廃寺の金堂内部を原寸復元しています。また、この寺や地域の歴史を考古学的な調査結果や歴史記録を通して紹介しています。

壊滅的な火事で残された破片

上淀廃寺は、日本で最初の仏教寺院が建立されてから約1世紀後、奈良の法隆寺や薬師寺とほぼ同年代に建立された寺院です。同じく木造建築であった法隆寺や薬師寺は現在も残っていますが、上淀廃寺は1000年頃の大火で消失し、現在は記憶の中にしか残っていません。

考古学的な調査によると、このコンパクトな寺院群は谷間の土地をうまく利用していたことがわかります。全体的な配置は珍しいもので、3基の複数階の塔（一般的には1基か2基）が北から南に一直線上に並ぶ設計となっていました。しかし、火事の前に完成していたのは2基のみです。大きな金堂には、台座に座った阿弥陀如来坐像1体と、脇侍の菩薩像2体が安置されています。数千もの仏像の破片が発掘され、展示されています。これらの破片を元に、専門家が当初の仏像を原寸大で復元し、それらは今では展示館の目玉となっています。漆喰に描かれた壁画の焦げた破片も多く発掘され、金堂の壁には元々法隆寺と同じような洗練された壁画が施されていたことがわかりました。壁画の一部も適切な場所で再現されています。

上淀白鳳の丘展示館

開館時間：9:30～18:00（入館は17:30まで）

休館日：火曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：大人 310 円、大学生・高校生 160 円、中学生以下無料

【タイトル】 鳥取県立むきばんだ史跡公園

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

鸟取县立妻木晚田遗迹公园

鸟取县立妻木晚田遗迹公园是一座大型公立公园，致力于对重要史前遗址的保护、研究与展示。该遗址的历史可追溯到弥生时代晚期（公元前1世纪-公元3世纪）至古坟时代早期（公元3世纪后半期-公元4世纪后半期）。在公元2世纪后半叶的鼎盛时期，这里分布着数百座房屋及其他建筑，是一处人口密集的聚居地。当时，距文字从亚洲大陆传入日本还有数百年，因此其文化、技术及贸易往来情况只能通过考古调查来还原。妻木晚田是日本国内最大的弥生时代聚落遗迹之一，这座遗址公园既是考古研究现场，也是一处科普教育基地。

从石器时代到铁器时代

妻木晚田遗址位于“大山”（1729米）山麓一处宽阔平缓的森林坡地上，可俯瞰弓浜半岛。1931年，这里首次发现了遗迹，而大规模的发掘工作于1997年才正式启动。遗迹公园内共发掘出约950处建筑遗存，分属7个紧密相连的区域。

尽管最早的遗址可追溯至公元前100年左右，但大多数遗迹的年代集中在公元3世纪前后。这一时期的日本仍以使用石器为主，不过也出土了不少铁器遗物，这印证了当时正处于新石器时代晚期向铁器时代过渡的重大技术变革阶段。遗址中还发现了中国产青铜镜残片、玻璃珠及其他贸易物品，足以证明妻木晚田在当时已融入了广泛的贸易网络之中。

古代建筑的室内设计

大多数建筑遗存已被重新掩埋加以保护，现场设有标牌说明其规模及其他细节。约21处建筑在原址上进行了复原重建，其中有9处是大致呈圆形的半地穴式房屋。屋中居住空间向下挖掘约1米深，粗壮の木柱垂直插入地面，与横梁相连构成房屋框架；斜插的椽木绑扎在框架上搭建斜坡状屋顶，再覆盖芦苇等茅草；顶部留有排烟口；入口处通常设有盖顶。一些发掘遗址中出土了宽大的木板，这表明有些建筑曾拥有更为坚固的屋顶。复原实验显示，这些木板足以支撑泥土屋顶，因此部分复原建筑采用了这种样式。考古发掘中常会发现火塘的位置，这也体现在了复原建筑中。火塘周围还再现了很可能用于存放日常用品宽大的土架。另有一些复原建筑特意保持未完工的状态，以展示建造过程。

谷物与贵重物品的仓库

妻木晚田遗迹中另一种常见的建筑类型是高架仓库。这类建筑通常为矩形，离地面约 2 米高。这里出土了带孔洞的木板，显然是为了用绳索捆绑固定后构建坚固的墙体。复原建筑中不仅包含这种木板墙仓库，还有以编织杉树皮为墙体的仓库。将仓库架离地面，有助于抵御啮齿类动物的侵扰，同时防止地面潮气导致储藏物品腐烂。

大型社群的冰山一角

遗址中发现了一处结构特殊且带有墙体的大型半地穴式房屋，暂被认定为聚落领袖的居所。现场还发掘出约 39 座石砌墓室，其中大多具有独特的尖角设计，这种类型在日本其他地区尚未发现。尽管已出土数百座建筑遗存，但专家认为这仅占实际聚落建筑总数的约十分之一，该社群的范围应该远远超出遗址公园的边界。

弥生时代生活展

妻木晚田遗迹公园内设有一处名为“弥生妻木晚田馆”的游客中心。馆内的博物馆陈列着各类出土工具、陶器及其他文物，还有内容丰富的立体实景模型，展示了农耕、工具制作、房屋建造等生活场景。展览涵盖了弥生时代生活的方方面面，包括饮食、服饰、制陶及贸易活动。馆内的工作坊会举办弥生风格的陶器与工具制作等各类活动。不远处的遗构展示馆有三处半地穴式房屋遗存，它们都保持着出土时的状态，用于教学展示。参观者还能在户外的“发掘体验广场”学习考古发掘技术。

开园时间：9:00~17:00（入场截至 16:30）

闭园日：每月第 4 个周四（如遇节假日、补休日顺延），元旦放假期间（12 月 29 日~1 月 3 日）

门票：免费

<繁体字>

鳥取縣立妻木晚田遺跡公園

鳥取縣立妻木晚田遺跡公園是一座大型公立公園，致力於對重要史前遺址的保護、研究與展示。該遺址的歷史可追溯到彌生時代晚期（西元前 1 世紀-西元 3 世紀）至古墳時代早期（西元 3 世紀後半期-西元 4 世紀後半期）。在西元 2 世紀後半葉的鼎盛時期，這裡曾分布著數百座房屋及其他建築，是人口密集的聚居地。當時距文字從亞洲大陸傳入日本還

有數百年，因此其文化、技術及貿易往來情況只能透過考古調查來還原。妻木晚田是日本國內最大的彌生時代聚落遺跡之一，這座遺蹟公園既是考古研究現場，也是科學教育基地。

從石器時代到鐵器時代

妻木晚田遺址位於「大山」（1729 公尺）山麓一處寬闊平緩的森林坡地上，可俯瞰弓濱半島。這裡在 1931 年初次發現了遺跡，但直到 1997 年大規模的發掘工作才正式啟動。遺跡公園內共發掘出了約 950 處建築遺存，分屬 7 個緊密相連的區域。

雖然最早的遺址可追溯至西元前 100 年左右，不過大多數遺跡的年代集中在西元 3 世紀前後。這一時期的日本仍以使用石器為主，但也出土了不少鐵器遺物，這印證了當時正處於新石器時代晚期向鐵器時代過渡的重大技術變革階段。遺址中還發現了中國產青銅鏡殘片、玻璃珠及其他貿易物品，這些都證明了妻木晚田在當時已加入了廣泛的貿易網絡之中。

古代建築的室內設計

目前多數建築遺跡已被重新掩埋以利保存，現場設有解說牌，說明其規模及相關細節。大約有 21 處建築在原址上進行了復原重建，其中有 9 處是大致呈圓形的豎穴房屋。屋中生活空間向下挖掘約 1 公尺深，粗壯木柱垂直插入地面並與橫梁相連，構成屋體骨架；斜插的椽木綁紮於框架上搭建成斜坡狀屋頂，覆以蘆葦等茅草；頂部留有排煙口；入口處通常設有蓋頂。部分遺址出土了寬大木板，顯示有些建築曾擁有更堅固的屋頂。復原實驗證明這些木板足以支撐泥土屋頂，因此部分復原建築也採用這種形式。在考古發掘中火塘遺跡十分常見，復原建築中亦再現了其位置。火塘周圍還重現了應該是用於存放生活用品的寬大土架。另有一些復原建築刻意保持未完工狀態，以呈現建造過程。

穀物與貴重物品的倉庫

高架倉庫是妻木晚田遺跡中另一種常見的建築類型。這類建築離地面約 2 公尺高，通常為矩形。這裡出土了帶孔洞的木板，顯然是為了用繩索捆綁固定後構建堅固的牆體。復原建築中除了包含這種木板牆倉庫，還有以編織杉樹皮為牆體的倉庫。將倉庫架離地面，不但能防止地面潮氣導致儲藏物品腐爛，還有助於抵禦齧齒類動物的侵擾。

大型社群的冰山一角

遺址中發現了一處結構特殊且帶有牆體的大型豎穴房屋，暫被認為聚落領袖的住所。現場還發掘出約 39 座石砌墓室，其中不少採用了獨特的尖角設計，這種形式在日本其他地區尚未見過。儘管已出土數百座建築遺存，但專家認為這只佔實際聚落建築總數的約十分之一。根據推估，該社區的範圍應該遠遠超出遺址公園的邊界。

彌生時代生活展

妻木晩田遺跡公園内に設有名為「彌生妻木晩田館」の遊客中心。館内の博物館陳列著發掘出土の工具、陶器及其他文物，並以立體實景模型生動再現農耕、製具、建屋等生活場景。展覽內容涵蓋彌生時代生活的各個面向，像是飲食、服飾、製陶及貿易活動。館內亦規劃有工作坊空間，會舉辦彌生風格的陶器與工具製作等體驗課程。不遠處的遺構展示館有三處豎穴房屋遺存，維持著出土時的狀態，供教學使用。遊客還能在戶外的「發掘體驗廣場」學習考古發掘技術。

開園時間：9:00～17:00（入場截至 16:30）

閉園日：毎月第 4 個週四（如遇節假日、補休日順延），元旦放假期間（12 月 29 日～1 月 3 日）

門票：免費

<日本語仮訳>

鳥取県立むきばんだ史跡公園

鳥取県立むきばんだ史跡公園は、先史時代の遺跡を含む重要な遺跡の保存・研究・理解を目的とした大規模な公立公園です。遺跡は弥生時代後期（紀元前1世紀-紀元3世紀）から古墳時代前期（紀元3世紀後半-紀元4世紀後半）のもので、ここは紀元後2世紀後半に最盛期を迎えた、数百戸の家屋やその他の建物が並ぶ人口密集地でした。この村が活動していたのはアジア大陸から文字が伝わってくる数世紀前だったため、その文化、技術、および交易での他地域との交流は考古学調査から浮き彫りにする他ありません。妻木晩田は日本国内最大級の弥生時代の遺跡であり、この史跡公園は考古学研究の場であると同時に、教育資源（拠地）でもあります。

石器時代から鉄器時代へ

この史跡公園は、弓ヶ浜半島を見下ろす「大山」（標高1,729m）の麓にある、広くてなだらかな森の中腹に位置しています。1931年に最初の遺跡が発見され、1997年から大規模な発掘調査が開始されました。史跡公園では、約950棟の建物の遺構が発掘されており、それらは密接した7つの地区に広がっています。

最古の遺跡は紀元前100年頃のものですが、ほとんどの遺跡は紀元後3世紀頃のもので、この時代の日本ではまだ石器が主流でしたが、鉄器も数多く出土しており、新石器時代末期から鉄器時代への大きな技術転換期を迎えていたことを物語っています。また、中国で作られた青銅鏡の破片やガラスビーズ、その他の交易品も出土しており、妻木晩田がこの時代に大きく広がっていた交易網に属していたことがわかります。

古代の建物の内部設計

建物の遺構の多くは保存のために埋め戻され、その大きさやその他の詳細情報が看板に記されています。約21棟の建物が元の場所に再建されています。そのうち9つは、地表から約1メートル掘ったところに生活空間が設けられた、ほぼ円形の竪穴住居です。頑丈な木の柱を垂直に土の中に埋め込み、水平の梁と接合して構造躯体を作っていました。躯体の枠に垂木を斜めに敷いて骨組みに縛り付けることで屋根の斜面を形成し、その上から葦などで覆いました。頂上には煙が出るように開口部を設けました。屋根付きの玄関も典型的なものでした。いくつかの発掘現場では幅広の木の板が発見されていますが、これは建物の中にはより頑丈な屋根を持つものがあったことを示唆しています。復元実験の結果、これらの木板は土の屋根を支えるだけの強度があったことがわかり、実際にその方法で復元したものもあります。数多くの発掘で炉の位置が判明したことから、炉も再現されており、それを取り囲むように作られた、日用品の保管に使われたと考えられる土製の幅広い棚も再現されています。一部は復元を未完の状態にすることで、建設作業の様子がわかるようにしています。

穀物や貴重品の倉庫

妻木晩田でよく見られるもう1つのタイプの建物は、高床倉庫です。通常は長方形で、地面から2メートルの高さに作られました。穴の空いた木板が見つかっており、縄で結んで壁をしっかりと固定していたと考えられます。復元されたものには、このタイプの倉庫のほかに、杉の皮を編んで壁を作った倉庫もあります。倉庫を地面から浮かせることで、げっ歯類の動物の侵入を防ぎ、中身を地面の湿気による腐敗から守ることができました。

発掘されたのは大規模集落のごく一部

壁のある珍しい構造の大きな竪穴住居が発見されており、指導者の住居ではないかと推測されています。また、約39の石室古墳も見つかっており、その多くは日本の他の地域には見られない角が突出した形状になっています。数百もの建物の遺構が発掘されていますが、専門家は、これは実際の集落の建物全体の10分の1程度に過ぎないと考えており、実際の集落は現在の公園の境界をはるかに越えて広がっていたと考えられています。

弥生時代の暮らしの展示

史跡公園には、「弥生の館むきばんだ」というビジターセンターがあります。ここには、道具や土器などの出土品を展示した博物館や、農業や道具作り、家づくりなどの活動を分かりやすく紹介したジオラマがあります。食べ物、服飾、土器、交易など、弥生時代の生活のあらゆる側面が説明されています。体験学習室では、弥生式の土器作りや道具作りなど、さまざまなアクティビティを開催しています。すぐ近くには遺構展示館があり、その中には発掘された3つの竪穴住居の遺構が展示されています。教育を目的に、発見された時の状態で保存されています。屋外の発掘体験ひろばでは、発掘の技術を学ぶことができます。

開園時間：9:00～17:00（入園は16:30まで）

休園日：第4月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）
入園料：無料

【タイトル】 山陰伯耆国 米子アジア博物館

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

山阴伯耆国・米子亚洲博物馆

山阴伯耆国・米子亚洲博物馆是一座别开生面的博物馆综合体，主要为人们展示“丝绸之路”上的纺织品及其他文化艺术品。博物馆名称中的山阴“伯耆国”，是日本古代的令制国，即今天的鸟取县中部和西部，包含米子在内。博物馆坐落于和田地区的海滨附近，毗邻米子鬼太郎机场。5个展馆以及一座入口建筑围绕一处传统庭园而建。这是一座民间私营博物馆，其藏品体现了创始人——当地企业家横地治男(1912-2007)的个人趣味。建议参观者按顺时针方向依次参观各展馆。

第一座展馆是染织工坊，展示了日本传统的纺纱、染色和织造工具及工艺流程。第二座是絣织馆（絣，音同“崩”），陈列着当地精美的靛蓝絣织物，包括和服、被套与暖帘（门帘）等，馆内还有一艘江户时代(1603-1867)北前船的1:6复制品，这类北行商船曾助力米子成为繁荣的贸易中心。第三座展馆为波斯织锦馆，收藏了伊朗王室美术顾问以及在波斯古美术、工艺品、织锦等领域享誉世界的收藏家拉希姆·阿纳维安(Rahim Anavian)所藏的传统波斯织造及刺绣纺织品，主要来自18世纪至19世纪。第四座是蒙古馆，展品以服装及其他纺织品为主，聚焦成吉思汗(1162-1227)与蒙古文化，其中最大的亮点是一个大型立体实景模型，再现了运输成吉思汗皇家蒙古包的场景。这次搬运足足用了24头牛和一辆巨大的木制货车。

最后的第五座展馆是“井上靖纪念馆”，专门展示日本著名作家井上靖(1907-1991)的生平与作品，他曾创作了许多以中国古代为背景的历史小说，比如《敦煌》《楼兰》《孔子》等。馆内复原了他的书房，陈列着其私人图书馆的藏书、书桌及众多个人物品。参观的最后一站通常是入口建筑，这里展出了埃米尔·加莱(Emile Gallé,1846-1904)等艺术家的新艺术风格玻璃作品。博物馆还设有商店，供参观者选购纪念品。

开馆时间：9:00～16:30

闭馆日：周一（如遇节假日、补休日顺延），元旦放假期间

门票：500日元

<繁体字>

山陰伯耆國・米子亞洲博物館

山陰伯耆國・米子亞洲博物館是一處別開生面的博物館群，主要為人們展示「絲綢之路」上的紡織品及其他文化藝術品。博物館名稱中的山陰「伯耆國」，是日本古代的令制國，即今天的鳥取縣中部和西部，包含米子在內。這座民間私人博物館坐落於和田地區的海濱附近，毗鄰米子鬼太郎機場。博物館包括 5 個展館和 1 座入口建築，圍繞一處傳統庭園而建。館內藏品體現了創辦人——當地企業家橫地治男（1912-2007）的個人趣味。建議遊客按順時針方向依次參觀各展館。

第一座展館是染織工坊，展示了日本傳統的紡紗、染色和織造工具及工藝流程。第二座是絰織館（絰，音同「崩」），陳列著精美的當地靛藍絰織物，包括和服、被套與暖簾（門簾）等，館內還有一艘江戶時代（1603-1867）北前船的 1:6 複製品，這類北行商船曾帶動米子成為繁榮的貿易中心。第三座展館為波斯織錦館，收藏了伊朗王室美術顧問以及在波斯古美術、工藝品、織錦等領域享譽世界的收藏家拉希姆·阿納維安（Rahim Anavian）的藏品，主要是 18 世紀至 19 世紀的傳統波斯織造及刺繡紡織品。第四座是蒙古館，聚焦成吉思汗（1162-1227）與蒙古文化，展品以服裝及其他紡織品為主，其中最大的亮點是一個大型立體實景模型，再現了運輸成吉思汗皇家蒙古包的場景。這次搬運足足動用了 24 頭牛和一輛巨大的木製貨車。

最後的第五座是「井上靖紀念館」，專門展示日本著名作家井上靖（1907-1991）的生平與作品，他曾創作了《敦煌》、《樓蘭》、《孔子》等多部以中國古代為背景的歷史小說。館內復原了他的書房，陳列著其私人圖書館藏書、書桌及許多個人物品。參觀的最後一站通常是入口建築，這裡展出了埃米爾·加萊（Emile Gallé, 1846-1904）等藝術家的新藝術風格玻璃作品。博物館還設有禮品店，遊客可以在這裡選購伴手禮。

開館時間：9:00～16:30

閉館日：週一（如遇節假日、補休日順延），元旦放假期間

門票：500 日圓

<日本語仮訳>

山陰伯耆国 米子アジア博物館

山陰伯耆国 米子アジア博物館は、シルクロードから伝わった生地やその他の文化的遺物を複数の建物の中で展示する、珍しい博物館です。博物館名の山陰「伯耆国」はかつて日本令制国のひとつで、いまの米子も含めた鳥取領域の中部と西部にあたります。を占める米子鬼太郎空港近くの和田地区の海から少し離れた場所にあり、伝統的な庭園を中心として、5つの展示館と玄関ホールが囲

むように配置されています。これは地元の実業家で創設者の横地治男氏（1912-2007）の個人的な趣味を反映した、民間資金で運営されている博物館です。来館者は時計回りに展示館を巡るのがおすすめです。

1つ目の展示館「染織工房」では、伝統的な日本の糸紡ぎ、染色、および機織り用の道具や手順が紹介されています。2つ目は「絣館」で、着物、キルト、暖簾など、地元の高級な藍染の絣製品が展示されています。また、江戸時代（1603-1867）にこの地域が交易の中心地として栄えるのに一役買った、「北前船」という貨物船の6分の1の大きさの模型も展示されています。3つ目は「ペルシャ錦館」で、主に18世紀から19世紀のペルシャの伝統的な織物や刺繍入りの織物などを集めた、イラン王室の美術顧問、ペルシャ古美術や工芸品、錦など世界的有名なコレクターラヒム・アナビアンのコレクションが展示されています。4つ目は「蒙古館」で、チンギス・ハーン（1162-1227）やモンゴル文化に焦点を絞り、衣装やその他の織物などの展示が行われています。この展示室の最大の目玉は、チンギス・ハーンの王室用のゲルを運ぶ様子を模した大きなジオラマです。運搬には、24頭の牛と大きな木製の荷車が必要でした。

最後の5つ目の「井上靖記念館」では、日本の著名な作家である井上靖（1907-1991）の生涯と作品がテーマとなっています。『敦煌』『楼蘭』『孔子』など、彼が中国古代をテーマに書いた歴史作品を数多く残しています。館内では、井上靖の書斎が再現されており、実際の書庫や机、私物の数々が展示されています。順路通りに進むと最後が玄関ホールで、エミール・ガレ（1846-1904）やその他のアーティストによるアール・ヌーヴォー様式のガラス作品が展示されています。ミュージアムショップを見て回ったりすることもできます。

開館時間：9:00～16:30

休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始

入館料：500円

【タイトル】漫画家 水木しげる

【想定媒体】WEB、パンフ

<簡体字>

漫画家水木茂

水木茂(1922-2015)是一位享誉世界的漫画家，以《鬼太郎》系列等漫画、动画作品闻名。他本名武良茂，出生于大阪，在鸟取县境港市长大，年少时便展现出过人的艺术天赋。他曾表示，自己后来对“妖怪”（日本的幽灵、妖精及怪物）的痴迷，源自他小时候的“鬼婆婆”。她是水木茂家的帮佣老奶奶，给他讲述了许多既惊悚又有趣的灵异故事。

战时苦难与早期职业生涯

1943年，水木茂被征召加入日本帝国陆军。因他天真地请求被派往温暖之地，而被分配至巴布亚新几内亚的新不列颠岛。在那里，他目睹了当地民众与战友所遭受的巨大苦难，自己也染上了疟疾，后来还在拉包尔港的一次空袭中失去了左臂。

战后，他辗转来到东京，靠卖鱼、为“纸芝居”（纸画剧，逐幅展示画册并配合旁白叙述的街头表演）绘制图画等零工谋生。30多岁时，他才开始靠自学投身漫画创作。没有左手给他带来诸多阻碍，初期创作并不顺利。1958年，他发表了首部漫画作品——受《超人》启发的《火箭人》。此后，他尝试了多种题材的漫画创作，包括《雪之华尔兹》这样的少女漫画（青春期少女的伤感爱情故事）及一些科幻作品。

成功的岁月

水木茂于1961年结婚，妻子武良布枝(1932-)为减轻他的负担，担任起他的经纪人与助手。1967年，《鬼太郎》的问世终于为他带来了成功。这部作品脱胎于他早年创作的一系列相似角色的故事。这部漫画大受欢迎，迅速被改编为动画和真人电影，最终被翻译成数十种外语。水木茂为《鬼太郎》塑造了众多原创角色，它们成为了日本乃至全球流行文化的代名词。

和平主义的人生哲学

水木茂还是一位知名历史学家，自身的经历造就了他始终如一的和平主义立场。1971年，他毫不避讳地创作并绘制了希特勒漫画传记；1988年，出版了关于日本战时及战后历

史的著作；1991年，推出了面向日本初中學生的《戰爭與日本》。晚年，他開始環遊世界，直至2015年因突發心臟病去世（享年93歲）前，始終堅持着繪畫與創思。

水木茂留下了數量龐大且極具影響力的作品，他勸誡年輕人要消極抵抗社會強權的操控，這句“別太拼命了，像我一樣‘偷懶’吧！”可謂是他和平主義人生哲學的精髓。

<繁體字>

漫畫家水木茂

水木茂（1922-2015）是一位享譽世界的漫畫家，以《鬼太郎》系列等漫畫、動畫作品聞名。他出生於大阪，本名武良茂，在鳥取縣境港市長大，年少時便展現出過人的藝術天賦。他曾表示，自己後來對「妖怪」（日本的幽靈、妖精及怪物）的癡迷，源自小時候的「鬼婆婆」——在水木茂家幫傭的老奶奶，經常給他講述既驚悚又有趣的靈異故事。

戰時苦難與早期職業生涯

1943年，水木茂被徵召加入日本帝國陸軍。因他天真地請求被派往溫暖之地，所以被分配到了巴布亞紐幾內亞的新不列顛島。在那裡，他目睹了當地民眾與戰友所遭受的巨大苦難，自己也染上了瘧疾，後來還在拉包爾港的一次空襲中失去了左臂。

他在戰後輾轉來到東京，靠賣魚、為「紙芝居」（紙畫劇，逐幅展示畫冊並配合旁白敘述的街頭表演）繪製圖畫等零工謀生。他一直到30多歲時才開始投身漫畫創作，基本依靠自學。只有右手給他帶來許多阻礙，一開始創作並不順利。受《超人》啟發，他於1958年發表了首部漫畫作品《火箭人》。此後，他嘗試了多種題材的漫畫創作，包括《雪之華爾滋》這樣的少女漫畫（青春少女的傷感愛情故事）及一些科幻作品。

成功的歲月

1961年，水木茂結婚，妻子武良布枝（1932-）擔任起他的經紀人與助手，與他共渡了許多難關。1967年，《鬼太郎》的問世終於為他帶來了成功。這部作品脫胎於他早年創作的一系列相似角色的故事。這部漫畫大受歡迎，迅速被改編為動畫和真人電影，還被翻譯成數十種外語。水木茂為《鬼太郎》塑造的許多原創角色，成為了日本乃至全球流行文化的代名詞。

和平主義的人生哲學

水木茂還是一位知名歷史學家，自身的經歷造就了他始終如一的和平主義立場。他在1971年毫不避諱地創作並繪製了希特勒漫畫傳記；在1988年出版了關於日本戰時及戰後

歴史的著作；1991年、推出面向日本國中生的《戰爭與日本》。晚年的他開始環遊世界，直至2015年因突發心臟病去世（享年93歲）前，始終堅持繪畫與創新構思。

水木茂留下了數量龐大且極具影響力的作品，他勸誡年輕人要消極抵抗社會強權操控的這句「別太拼命了，像我一樣『偷懶』吧！」，正是他和平主義人生哲學的核心。

<日本語仮訳>

漫画家 水木しげる

水木しげる（1922-2015）は、『ゲゲゲの鬼太郎』シリーズをはじめとする漫画・アニメ作品で世界的に知られる漫画家です。本名は武良茂で、大阪で生まれ、鳥取県境港市で育ち、そこで若くして類稀な芸術的な才能を発揮しました。後に彼は、自分が「妖怪」とよばれる日本の幽霊、小鬼、および怪物に当たるものに執着するようになったのは、「のんのんばあ」と呼ぶお手伝いさんのおばあさんから、恐ろしくも驚くような怪奇話を聞かされたからだと説明しています。

戦時中の苦難と初期の仕事

1943年に大日本帝国陸軍に徴兵された水木は、「暖かいところに行きたい」と愚かにも願い出たため、パプアニューギニアのニューブリテン島に配属されました。そこで彼は現地の人々や仲間のすさまじいまでの苦しみを目の当たりにし、マラリアにかかり、ついにはラバウルで部隊が空襲に遭った時に左腕を失いました。

終戦後は東京に出て、魚を売ったり、紙芝居（絵を1枚ずつ見せながら、劇的に説明していくストリートパフォーマンス）の絵を描いたりなどの仕事をしていました。30代から漫画を描き始めましたが、基本的には独学でした。片手で描いていたことがネックとなり、当初はほとんど成功しませんでした。1958年に最初の漫画を出版しました。それは『ロケットマン』という、スーパーマンに着想を得た漫画です。その後、『雪のワルツ』のような少女漫画（思春期の少女のためのセンチメンタルな恋愛物語）やSF作品など、さまざまなテーマの漫画を出版しました。

成功の日々

水木は1961年に結婚しました。妻の武良布枝（1932- ）は、彼の負担を減らそうと、マネージャー兼アシスタント役を引き受けました。彼は1967年によく、『ゲゲゲの鬼太郎』の出版で成功を収めました。それまでの作品で登場させていたのと似たキャラクターのストーリーから膨らませた作品です。この漫画は大ヒットとなり、すぐにアニメや実写映画化され、最終的には数十か国語に翻訳されました。水木が『ゲゲゲの鬼太郎』のために生み出した多くのオリジナルキャラクターは、日本でも海外でもポップカルチャーの代名詞的存在になりました。

平和主義の道徳哲学

水木は著名な歴史家でもあり、自身の経験に基づく平和主義的なメッセージを常に発信してきました。彼は1971年にはヒトラーの毅然たる伝記マンガを執筆し、1988年には戦時中と戦後の日本の

歴史書を出版、そして1991年には日本の中学生向けの『戦争と日本』という作品を発表しました。晩年、彼は世界を旅するようになり、2015年に心臓発作で亡くなるまで絵を描き続け、新たなアイデアを生み出し続けました。享年93歳でした。

水木は数多くの影響力のある作品を残しました。また彼が遺した平和主義の道德哲学は、社会の抗えない力からの支配に対して受動的に抵抗するように若者に伝えた訓戒である「がんばるなかれ。私のようななまけ者になりなさい」という言葉の中に凝縮されています。

【タイトル】 水木しげるロード

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

水木茂之路

“水木茂之路”是一条从境港站延伸而出的 800 米长的主要商业街，以纪念在境港市长大的世界知名漫画家水木茂(1922-2015)。街道两旁矗立着 178 座妖怪铜像，其中包括水木茂最著名的作品《鬼太郎》中广为人知的角色，以及他笔下其他源自日本神话与民间传说的妖怪形象。这条街道是利用公共艺术推动城市复兴的典范，吸引了众多水木茂的粉丝及其他游客前来造访。

妖怪地带

这些妖怪雕像按主题分为 5 个区域：水木漫画世界、森林中的妖怪、家中的妖怪、藏在身边的妖怪，以及掌控神佛和凶吉的妖怪。铜像大小各异，有的近乎迷你，许多则与真人等高，几乎都很幽默滑稽。街上随处可见导览图，来访者可以一边探寻街区，一边寻找自己喜爱的妖怪角色。

其中一个街区坐落着一家妖怪神社，入口是一座朝向街道的独特鸟居（神社入口的牌坊式建筑），其灵感来自于《鬼太郎》中的妖怪“一反木绵”。神社中央矗立着一块大型黑花岗岩和承载水木茂灵魂的木头，一旁是带有诡异图案的高大石制手水舍（净水池）和鬼太郎之父“眼球老爹”的净化之水。一面墙上挂满了写有祈愿的妖怪绘马（许愿用的木制小牌子）。神社还提供妖怪御神签及妖怪邮政服务。

不远处的街角广场有一座河童喷泉，9 个妖怪四下闲坐，其中的鬼太郎则摆出模仿“撒尿小童”（比利时布鲁塞尔著名地标）的姿势。另一处街角立着水木茂与妻子武良布枝(1932-)的雕像。此外，还有他坐在画桌前的形象，身边伴有眼珠老爹、鼠男和鬼太郎等角色。

妖怪主题购物区

整条水木茂之路遍布着各式各样以妖怪为主题的店铺，从面包店、拉面店到咖啡屋、酒馆，当然也少不了纪念品商店。几乎所有场所都融入了妖怪元素，其幽默有趣的创意改编让人乐此不疲。

境港市主要景点之一“水木茂纪念馆”就位于这条路远离火车站的一端附近。2018年，正值水木茂之路建成 20 周年，街道进行了大规模翻新。如今，整条道路在夜间灯火通明，将那些耳熟能详的妖怪角色剪影投射到路上，让人瞬间进入水木茂笔下不可思议的妖怪世界。

<繁体字>

水木茂之路

「水木茂之路」長 800 公尺，是一條從境港站延伸而出的商業街，用來記念在境港市長大的世界知名漫畫家水木茂（1922-2015）。街道兩旁矗立著 178 座妖怪銅像，包括水木茂最著名的作品《鬼太郎》中廣為人知的角色，以及他筆下其他源自日本神話與民間傳說的妖怪形象。這條街道吸引了許多水木茂的粉絲及遊客，是利用公共藝術推動城市復興的典範。

妖怪地帶

這些妖怪雕像按主題分為 5 個區域：水木漫畫世界、森林中的妖怪、家中的妖怪、藏在身邊的妖怪，以及掌控神佛和凶吉的妖怪。銅像幾乎都很幽默滑稽，大小各異，有的近乎迷你，許多則與真人等高。街上隨處可見導覽圖，遊客可以一邊探尋街區，一邊尋找自己喜愛的妖怪角色。

其中一段街區里坐落著一家妖怪神社，入口是一座朝向街道的獨特鳥居（神社入口的牌坊式建築），其靈感來自於《鬼太郎》中的妖怪「一反木綿」。神社中央矗立著一塊大型黑花崗岩和承載水木茂靈魂的木頭，一旁是帶有詭異圖案的高大石製手水舍（淨水池）和鬼太郎之父「眼球老爹」的淨化之水。一面牆上掛滿了寫有祈願的妖怪繪馬（許願用的木製小牌子）。神社還提供妖怪御神籤及妖怪郵政服務。

不遠處的街角廣場有一座河童噴泉，噴泉中有 9 個妖怪四下閑坐，其中的鬼太郎則擺出模仿「撒尿小童」（比利時布魯塞爾著名地標）的姿勢。另一處街角立著水木茂與妻子武良布枝（1932- ）的雕像。此外，還有他坐在畫桌前的形象，身邊伴有眼珠老爹、鼠男和鬼太郎等角色。

妖怪主題購物區

整條水木茂之路上遍布各式各樣以妖怪為主題的店鋪，從麵包店、拉麵店到咖啡屋、酒鋪，當然少不了紀念品商店。幾乎所有店家都融入了妖怪元素，幽默又充滿巧思的改編讓人逛得樂此不疲。

「水木茂記念館」位於這條路遠離火車站的一端附近，是境港市主要景點之一。2018年，正值水木茂之路建成 20 週年，街道進行了大規模翻新。整條道路如今在夜間燈火通明，將那些耳熟能詳的妖怪角色剪影投射到路上，讓人瞬間進入水木茂筆下不可思議的妖怪世界。

<日本語仮訳>

水木しげるロード

水木しげるロードは、境港駅から800メートル続くメインショッピングストリートで、この街で育った世界的に有名な漫画家を記念してこの名がつけられました。この通りには、水木しげる（1922—2015）の代表作『ゲゲゲの鬼太郎』で知られるキャラクターをはじめ、水木が描いた日本の神話や民間伝承上の生き物など、178体の妖怪の銅像が並んでいます。これはパブリックアートで街の活性化を図る好例で、水木のファンや観光客を惹きつけています。

妖怪ゾーン

妖怪像は、テーマ別に「水木マンガの世界」、「森に棲む妖怪たち」、「家に棲む妖怪たち」、「身近なところにひそむ妖怪たち」、そして「神仏・吉凶を司る妖怪たち」という5つのゾーンに分けられています。妖怪像は、ミニチュアに近いものから人間と同じくらいの大きさのものまで、さまざまなサイズのもので製造されています。その多くがユーモラスなものです。多くのガイドマップがあるので、来訪者はお気に入りの妖怪を探しながらこの地区を楽しく探検できます。

あるエリアには妖怪神社があり、通りに面した『ゲゲゲの鬼太郎』のなかの妖怪の1体である「一反木綿」を象った珍しい鳥居をくぐって入ることができます。中央には大きな黒御影石と水木しげる氏が入魂した木のご神体があり、片側には高さのある石の手水舎と、鬼太郎のお父さん「目玉おやじ清めの水」があります。壁一面に願い事が書かれた木製の妖怪絵馬が飾られています。妖怪おみくじも販売中で、また妖怪郵便配達サービスも行われています。

近くの街角の広場にある「河童の泉」では9体の妖怪が休憩しており、鬼太郎の像はブリュッセルの有名な見所である男の子が用を足す小便小僧を模したポーズをとっています。別の街角には、妻の武良布枝（1932- ）が寄り添う水木しげるの像があり、また別のところでは、彼が生み出したキャラクターの目玉おやじ、ねずみ男、そして鬼太郎とともに、水木しげるが机で絵を描いている様子を表現したものもあります。

妖怪ショッピング

水木しげるロードには、パン屋からラーメン屋、カフェ、酒屋、そしてもちろん土産物屋まで、妖怪をテーマとする素晴らしいショップが立ち並んでいます。ほぼ全てのショップは妖怪をテーマとしており、ユーモラスに妖怪を取り入れているため飽きることはありません。

「水木しげる記念館」は街の目玉の1つとなっており、水木しげるロードの終点近く、JRの駅の反対側にあります。水木しげるロードは、2018年の20周年の際に大幅にリニューアルされました。今では夜

になるとロード全体がライトアップされるとともに、おなじみのキャラクターの影絵を路上に映し出し、人々を水木しげるの不思議な世界に引き込みます。

【タイトル】 水木しげる記念館

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

水木茂纪念馆

在全面重新开放的水木茂纪念馆，参观者可以一边欣赏水木茂(1922-2015)的作品世界，一边了解这位世界知名漫画家的生平故事。馆内通过影像、立体展品等形式，介绍水木茂的代表作《鬼太郎》等漫画、妖怪画以及水木茂语录。珍贵的原画作品几乎全年都能观赏。

常设展览

水木茂纪念馆的常设展览分为 6 个篇章，通过丰富的资料展示，介绍水木茂的一生及其作品。

第 1 章 境港的茂少年

本篇章主要介绍水木茂纪念馆所在的鸟取县境港市，以及水木茂在这里度过的少年时代。水木茂出生于 1922 年，是家中三兄弟中的次子。他从小就对妖怪、死后的世界等有着浓厚的兴趣，并热衷于绘画。通过影像和图文，参观者能了解那个年代的水木茂。

第 2 章 水木茂的战争

第二次世界大战(1939-1945)中，水木茂曾经被派往巴布亚新几内亚的新不列颠岛当兵，并在拉包尔港的空袭中失去了左臂，他也因“经历过战争的漫画家”而为人熟知。本篇章通过多样的资料，介绍他所遭受的残酷战争体验。其中，在“水木剧场”，可以观看根据惨烈的战场生还体验记《说给女儿听的父亲战记》制作的短片。

第 3 章 成为漫画家

本篇章介绍水木茂从部队复员到成为知名漫画家的历程。除了通过图文展示他从战后贫困生活直至成为人气漫画家的经历之外，还展出了相关实物，例如他结婚时佩戴的义手、制作漫画时使用的工具。

第 4 章 水木茂笔下的妖怪

本篇章着重介绍水木茂在作品中描绘的各种妖怪。其中，“妖怪洞窟”颇受欢迎——在洞窟般昏暗的空间里，43尊妖怪伫立排列，场面极具冲击力。此外，这里还展出了大量水木绘制的妖怪画。

第5章 水木茂的漫画世界

本篇章介绍水木茂的漫画作品世界，展出了《鬼太郎》等至今仍被津津乐道的经典作品的原稿。同时，参观者也可以在这里看到水木茂环游世界时收集的面具等民间工艺品，以及至今为止发售过的水木茂作品的衍生产品。

第6章 水木茂语录

本篇章聚焦水木茂留下的诸多话语。他波澜壮阔的一生沉淀了许多人生金句，为当下的人们带来不少启迪和温暖。纪念馆门票上也印着水木茂的语录，参观者不妨在这里寻找一下与自己门票上相同的句子。

企划展示室

纪念馆大约每半年举办一次特别企划展，展出水木茂的珍贵原画作品。

水木茂纪念馆内还可以利用智能手机收听包括英语、中文、韩文和日文的多语言解说。

开馆时间：9:30~17:00（入场截至 16:30）

闭馆日：全年无休

门票：1000 日元，高中和初中生 500 日元，小学生 300 日元

<繁体字>

水木茂紀念館

在重新開放的「水木茂紀念館」，遊客能一邊走進水木茂（1922-2015）的作品世界，一邊了解這位世界知名漫畫家的生平。館內透過影音、立體展品等方式，呈現代表作《鬼太郎》等漫畫、妖怪畫與水木茂語錄。珍貴的原畫幾乎全年都可欣賞。

常設展覽

水木茂紀念館的常設展分為 6 大篇章，透過豐富的資料展示，介紹水木茂的一生與其創作。

第 1 章 境港的茂少年

本篇章主要介紹水木茂紀念館所在的鳥取縣境港市，以及水木茂在這裡度過的少年時代。1922 年出生的他是家中三兄弟中的次子，自小便對死後世界與妖怪充滿好奇，並展現出對繪畫的熱情。展區透過圖文與影像，帶領遊客了解那段日子的少年水木茂。

第 2 章 水木茂的戰爭

第二次世界大戰（1939-1945）期間，水木茂曾被派往巴布亞紐幾內亞的新不列顛島服役，並在拉包爾港的空襲中失去了左臂，他也因「經歷過戰爭的漫畫家」而為人熟知。本篇章透過多樣的資料，呈現這段殘酷的戰爭經歷。在「水木劇場」，可以觀看根據慘烈的戰場倖存體驗記《說給女兒聽的父親戰記》改編的短片。

第 3 章 成為漫畫家

本篇章介紹水木茂從部隊復員到成為知名漫畫家的歷程。除了透過圖文展示他經歷戰後貧困生活直至成為人氣漫畫家的過程外，還展出了相關實物，包括結婚時佩戴的義手、創作漫畫時使用的工具等珍貴的私人物件。

第 4 章 水木茂筆下的妖怪

本篇章聚焦於水木茂在作品中描繪的妖怪世界，其中，「妖怪洞窟」頗受歡迎。在一個如洞窟般昏暗的空間裡，排列著 43 尊妖怪立像，震撼力十足。此外，這裡還展出大量水木茂繪製的妖怪畫作。

第 5 章 水木茂的漫畫世界

本篇章介紹水木茂的漫畫作品世界，展出了《鬼太郎》等時至今日仍被津津樂道的經典漫畫原稿。同時，遊客還可以在這裡看到水木茂環遊世界時蒐集的面具等民間工藝品，以及歷年發售過的水木茂作品的衍生商品。

第 6 章 水木茂語錄

本篇章主要介紹水木茂留下的諸多語錄。他波瀾壯闊的一生沉澱了許多人生智慧，給當下的我們帶來不少啟發與溫暖。紀念館門票上也會印製水木茂的語錄，不妨在展區裡尋找與自己門票相同的句子。

企劃展示室

記念館大約每半年會推出一次特別企劃展，展出難得一見的水木茂原畫作品。

水木茂紀念館內還可以利用手機聽到包括英語、中文、韓文和日文的多語言解說。

開館時間：9:30～17:00（入場截至 16:30）

閉館日：全年無休

門票：1000 日圓，高中和國中生 500 日圓，小學生 300 日圓

<日本語仮訳>

水木しげる記念館

リニューアルオープンした水木しげる記念館は、世界的に有名な漫画家である水木しげる（1922-2015）の作品世界を楽しみながら彼の生涯を知ることができる施設です。代表作「ゲゲゲの鬼太郎」をはじめ、漫画や妖怪画、水木しげるの言葉などを映像や立体物も交えて紹介しており、貴重な原画をほぼ年間を通して鑑賞することができます。

常設展示

水木しげる記念館の常設展示は、全 6 章で構成されています。この常設展示では、水木しげるの生涯や作品について、豊富な資料を織り交ぜながら紹介しています。

第 1 章 境港のしげる少年

第 1 章は水木しげる記念館が位置する鳥取県境港市で、水木しげるがどのような少年時代を過ごしていたかについて紹介しています。1922 年に 3 人兄弟の次男として生まれた水木が、死後の世界や妖怪などに関心を持ち、絵を描くことに熱中した日々について、映像やグラフィックを通じて知ることができます。

第 2 章 水木しげるの戦争

第二次世界大戦（1939-1945）中に、水木はパプアニューギニアのニューブリテン島ラバウルでの戦争体験を有し、ラバウルで空襲に遭った時に左腕を失った漫画家として知られています。第 2 章では、水木の苛酷な戦争体験を豊富な資料によって紹介しています。この中にある水木シアターでは、苛酷な戦場を生き延びた体験記「娘に語るお父さんの戦記」を基に制作した映像をご覧いただけます。

第 3 章 そして漫画家に

第 3 章では、水木の復員から漫画家として大成するまでを紹介しています。戦後の貧しい暮らしを経て人気漫画家となるまでを描いたグラフィック展示のほか、水木が結婚式の際に着用した義手や、漫画制作に使用した道具など、ゆかりのある品の実物も展示しています。

第4章 水木しげるが描いた妖怪たち

第4章では、水木が作品の中で描いた妖怪たちを紹介しています。なかでも「妖怪洞窟」は、水木しげる記念館でも人気の展示です。洞窟のような暗い空間で、43体の妖怪たちが立ち並ぶ光景は、迫りに満ちています。そのほか、水木が描いた妖怪画も多数展示しています。

第5章 水木しげるの漫画ワールド

第5章では、水木漫画の作品世界を紹介しています。代表作「ゲゲゲの鬼太郎」など、今なお読み継がれる傑作たちの原稿が展示されています。また、水木が世界中を旅して集めた仮面などの民芸品や、これまでに販売された水木作品のグッズなども展示しています。

第6章 水木しげるの言葉

第6章では、水木しげるが残した言葉の数々を展示しています。波瀾万丈の生涯を送った水木の言葉は、今を生きる私たちに温かく寄り添ってくれます。水木しげる記念館では、入館チケットにも水木の言葉を掲載しています。自分のチケットと同じ言葉を、この展示室から探して楽しむこともできます。

企画展示室

水木しげる記念館では、約半年に1回企画展を開催しています。企画展では、水木しげるの貴重な原画を展示しています。

水木しげる記念館内ではスマートフォンで利用できる無料の音声ガイドがあります。日本語のほかに、英語、中国語、韓国語をご利用いただけます。

開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日：年中無休

入館料：大人 1,000 円、中学・高校生 500 円、小学生 300 円

【タイトル】 夢みなとタワー

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

梦港塔

梦港塔被当地人自嘲地宣传为“日本最低的塔”。尽管其观景室仅高出地面 43 米，却能 360 度俯瞰弓浜半岛的日本海海岸线，抬头可远眺“大山”（1729 米），低头则可见境港港口，天气晴朗时还能望见几座远方的岛屿。这座塔由建筑师杉本洋文(1952-)设计，以一对管状钢塔为核心，外围环绕着集成木材和玻璃构成的弧形外框。各建筑构件通过网状钢拉索连接，打造出了高挑明亮的中庭。与塔身相连的大型穹顶建筑的一层是入口大厅，上层则设有活动空间、会议室与剧场。4 楼的咖啡馆可将大海全景尽收眼底。

国际贸易一瞥

3 楼的“环日本海研究室”是梦港塔的一大看点。这里展现了与鸟取县有文化交流的环日本海 4 个国家的 6 个地区（中国的河北省、吉林省、大连市；俄罗斯的滨海边疆区；韩国的江原道以及蒙古国的中央县）的传统及当代生活风貌。每个地区都通过手工艺品、服饰、艺术品及其他具有历史文化价值的物品来呈现其特色。

国际角色扮演体验

环日本海研究室里的核心展品之一是一座蒙古包，其毛毡外层通过绳索固定在雕花彩绘的木架上，内部摆放着传统装饰风格的桌椅、储物箱和高背长椅。俄罗斯滨海边疆区的展区陈列着 300 个套娃，大多是传统样式，也有以迈克尔·杰克逊等名人为原型的幽默漫画风格套娃。这里的另一个亮点是一座大型中国满族传统民居“三进九合院”的立体模型，这样的大宅子即使是现在的中国也已经非常罕见。

环日本海研究室中更为有趣的是宽敞的服饰间，参观者可在此免费试穿日本和上述各地区的传统服装，还有配套的帽子、鞋履及分别适合男女老幼的配饰。大多数服饰都做工精良、设计正统。展区还提供各地区的风光背景板，方便人们留影纪念。

梦港塔紧邻客运码头，所有标识和信息均配有多语言文字。这座具有国际视野的综合设施是探访境港的绝佳门户。

观景室·展厅

开馆时间：4 月至 9 月 9:00~18:00（入场截至 17:30），10 月至 3 月 9:00~17:00（入场截至 16:30）

闭馆日：每月第二个周三（如遇节假日、补休日顺延）

门票：300 日元，初中和小学生 150 日元

<繁体字>

夢港塔

夢港塔被當地人自嘲地宣傳為「日本最低的塔」。儘管其觀景室只高出地面 43 公尺，卻能 360 度俯瞰弓濱半島的日本海海岸線，抬頭可遠眺「大山」（1729 公尺），低頭可俯瞰境港港口，天氣晴朗時還能望見幾座遠方的島嶼。這座塔由建築師杉本洋文（1952-）設計，核心是一對管狀鋼塔，周邊環繞著集成木材和玻璃構成的弧形外框。各建築構件透過網狀鋼拉索連接，形成高挑明亮的中庭。與塔身相連的大型穹頂建築的一層是入口大廳，上層設有活動空間、會議室與劇場，4 樓有一處可將大海全景盡收眼底的咖啡館。

國際貿易一瞥

夢港塔的一大看點是 3 樓的「環日本海研究室」。這裡展現了與鳥取縣有文化交流的環日本海 4 個國家的 6 個地區（中國的河北省、吉林省、大連市；俄羅斯的濱海邊疆區；韓國的江原道以及蒙古國的中央縣）的傳統及當代生活風貌。每個地區都透過手工藝品、服飾、藝術品及其他具有歷史文化價值的物品來呈現其特色。

國際角色扮演體驗

環日本海研究室裡的核心展品之一是一座蒙古包，其毛氈外層透過繩索固定在雕花彩繪的木架上，內部擺放著傳統裝飾風格的桌椅、儲物箱和高背長椅。俄羅斯濱海邊疆區的展區陳列著 300 個俄羅斯娃娃，大多是傳統樣式，也有以麥可·傑克森等名人為原型的幽默漫畫風格的娃娃。這裡的另一個亮點是一座大型中國滿族傳統民居「三進九合院」的立體模型，即使在中國，現在這樣的大宅子也已經很少見了。

環日本海研究室中更為有趣的是寬敞的服飾間，遊客可在此免費試穿日本和上述各地區的傳統服裝，還有配套的帽子、鞋履及分別適合男女老幼的配飾。這裡的大多數服飾都做工精良、設計正統。展區中還有方便人們拍照的各地風光背板。

夢港塔緊鄰客運碼頭，所有標誌和資訊均配有多語言文字。這座具有國際視野的夢港塔是探訪境港的絕佳門戶。

観景室・展廳

開館時間：4月 至 9月 9:00～18:00（入場截至 17:30）、10月 至 3月 9:00～17:00（入場截至 16:30）

閉館日：毎月第二個週三（如遇節假日、補休日順延）

門票：300 日圓，中小學生 150 日圓

<日本語仮訳>

夢みなとタワー

夢みなとタワーは、地元住民が自虐的に「世界で最も低いタワー」と言って薦めるタワーです。展望台の高さは43メートルしかありませんが、日本海に面する弓ヶ浜半島の海岸線を360度見渡すことができ、遠くには「大山」（標高1,729m）、そして眼下には境港の港が見えます。晴れた日には、遠くの島まで見通せます。このタワーを設計したのは建築家の杉本洋文氏（1952- ）で、2つのチューブ状の鋼鉄製の塔を核とするタワーを、集成木材やガラスでできた湾曲した外枠が取り囲んでいます。様々な構造部材を接続するために鋼鉄製の張力ケーブルが張り巡らされており、それによって高さがあり光が多く差し込むアトリウムが作られています。タワーに隣接する大きなドームは、1階がタワーの玄関ホールとなっており、上階にはイベントスペース、会議室、およびシアターがあります。4階には、オーシャンビューのパノラマを楽しめるカフェがあります。

国際貿易についての展示

目玉は、3階にある「環日本海研究室」です。ここでは、鳥取県と文化交流のある環日本海の4か国の6つの地域（中国の河北省、吉林省と大連市、ロシアの沿海地方、韓国の江原道、モンゴルの中央県）の伝統的な暮らしや現代の生活を紹介しています。これら6つの地域それぞれの工芸、服飾、芸術、その他歴史的・文化的に興味深い展示品を見ることができます

国際コスプレ

環日本海研究室の目玉の一つに、モンゴルのゲルがあります。彫刻と塗装が施された木の枠組みに、フェルトが紐で被せられています。内部には、伝統的な様式で装飾された机、腰掛け、保管用の棚、そして高さのある長いすが置かれています。ロシアの沿海地方を代表するのは300体のマトリョーシカ人形のコレクションで、そのほとんどが伝統的なデザインですが、マイケル・ジャクソンをはじめとする著名人をユーモラスにデフォルメしたものもあります。また、中国満州の伝統的な住宅「三進九合院」の大きな模型も見どころの一つです。現在は、中国にもいくらか残るだけです。

環日本海研究室の中でも特に興味深いのは、大きな民族衣装試着コーナーで、日本だけでなく各地域の伝統的な衣装を無料で試着することができます。帽子や履物、子供用、男性用、女性用のアクセサリーなどがあります。質の高い本格的なデザインのものも多く、各地域の風景が描かれた大きな背景が用意されているので、記念写真を撮ることができます。

夢みなとタワーは旅客船ターミナルの隣にあり、看板や情報はすべて多言語で表記されています。こ

の国際色溢れる複合施設は、この地域への優れた玄関口の役割を果たしています。

展望室・展示室

開館時間：4月-9月 9:00～18:00（入館は 17:30 まで）、10月-3月 9:00～17:00（入館は 16:30 まで）

休館日：毎月第2水曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）

入館料：高校生以上 300 円、小学・中学生 150 円

【タイトル】 境夢みなとターミナル

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

境梦港客运码头

境梦港客运码头是一座功能完备的客运枢纽，可停靠长达 300 米、载重 16 万吨、载客量达 5000 名的船只。码头于 2020 年竣工，并配备了海外旅客出入境设施，其目的在于成为通往日本海及东北亚地区的门户，同时它也担负起了境港市及周边城市居民的文化活动中心的职责。

挑高开阔的候船大厅配备了大屏幕，可举办影视放映活动，也能容纳大量人群观看音乐会，参加各种大型活动。可俯瞰美保湾的观景台是迎送船只的绝佳地点，夏季时，这里一览无余的海景还会成为露天啤酒花园的天然背景。

码头前方有一座狭长的庭园，园内栽种着 9 棵从周边地区移栽而来的古老黑松，还有数块与当地创世神话相关的石头。数十年来，境港市不断发展邮轮旅游业，如今每年接待的邮轮多达 60 艘。抵达的旅客不仅会游览当地景点，通常还会预订前往松江和出云的一日游行程。

<繁体字>

境夢港客運碼頭

境夢港客運碼頭於 2020 年竣工。這是一座功能完備的客運樞紐，可停靠長達 300 公尺、載重 16 萬公噸、載客量達 5000 名的船隻。碼頭配備海外旅客出入境設施，目標是成為通往日本海及東北亞地區的門戶，同時也扮演著境港市及周邊城市居民的文化活動中心的角色。

挑高開闊的候船大廳配備了大螢幕，可以舉辦影視觀賞活動，還能容納大量人群觀看音樂會、參加各種大型活動。可俯瞰美保灣的觀景台是迎送船隻的絕佳地點，每逢夏季，這裡一覽無餘的海景便是露天啤酒花園的天然背景。

碼頭前方有一座狹長庭園，栽種著 9 棵從周邊地區移栽而來的古老黑松，還有數塊與當地創世神話相關的石頭。境港市幾十年來不斷發展郵輪旅遊業，現在每年接待的郵輪多達 60 艘。抵達的旅客除了遊覽當地景點以外，通常還會預訂前往松江和出雲的一日遊行程。

<日本語仮訳>

境夢みなとターミナル

境夢みなとターミナルは、通常5,000人の乗客を乗せる最大300メートル、16万トンの船舶を収容するために設計された、本格的な機能を持つ旅客船ターミナルです。2020年に完成し、海外からの旅客の出入国のための設備も備え、日本海や北東アジアへの玄関口となることを目指しています。また、境港や近隣の都市の人々の文化拠点としての役割も担っています。

天井の高い広々とした待合室には、映画や映像イベント用の大型スクリーンが設置されており、コンサートなどのイベント時には大勢の観客を収容することができます。美保湾を一望できる展望デッキは出迎えや見送りに最適な場所で、遮るものが何もないオーシャンビューを活かして夏にはビアガーデンが設営されます。

ターミナル正面の細長い庭には、周辺地域から持ち込まれた黒松の古木が9本あり、この地の国生みの神話を示す石が置かれています。境港では数十年前から客船観光が盛んに行われており、現在では年間60隻もの客船が入港しています。到着した旅客は地元の景色をゆっくり楽しみ、多くは松江と出雲への日帰り旅行を予約します。

【タイトル】 白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

白砂青松弓浜自行车道

2020 年开通的“白砂青松弓浜自行车道”西起境港市，东至皆生温泉，全长 15.8 公里。这段地势平坦、绿树成荫的海岸线向来深受骑行爱好者青睐，自 20 世纪 80 年代起就是铁人三项选手的训练场地。

弓浜自行车道宽 4 米，全程柏油路面，沿途设有休息区和高架观景台。日英双语标识清晰标注了景点位置，以及自行车停靠点、餐厅、便利店等设施。皆生温泉区还有免费的公共足汤。

这条自行车道是“鸟取海波道”的一部分。“鸟取海波道”全长 152 公里，横跨鸟取县海岸，西起境港市，东至浦富海岸。同时，它还与另一片沿海自行车路网相连，向东可延伸至 80 公里外的鸟取市。

<繁体字>

白砂青松弓濱自行車道

「白砂青松弓濱自行車道」於 2020 年開通，西起境港市，東至皆生溫泉，全長 15.8 公里。騎行愛好者相當青睞這段地勢平坦、綠樹成蔭的海岸線，這裡自 1980 年代起就是鐵人三項選手的訓練場地。

弓濱自行車道寬 4 公尺，全程柏油路面，沿途設有休息區和高架觀景台。日英雙語標識清晰標注了景點位置、自行車停靠點、餐廳以及便利商店等地。皆生溫泉區還有免費的公共足湯。

這條自行車道是「鳥取海波道」的一部分。全長 152 公里的「鳥取海波道」橫跨鳥取縣海岸，西起境港市，東至浦富海岸。同時，它還與另一片沿海自行車路網相連，向東可延伸至 80 公里外的鳥取市。

<日本語仮訳>

白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース

2020年に開通した「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」は、西の境港から15.8km東にある皆生温泉までを結ぶコースです。木が立ち並ぶこの平坦な海岸線は、昔からサイクリストに人気があり、1980年代からはトライアスロン選手の練習場所として使われてきました。

弓ヶ浜サイクリングコースは幅4メートルで完全にアスファルト舗装されており、途中には休憩所や高架展望台もあります。日本語と英語による看板には、見どころに加えて、サイクルポートやレストラン、コンビニ、その他施設の場所が示されています。皆生温泉には、無料で誰でも入れる足湯があります。

このコースは、西の境港から東の浦富海岸までの鳥取県の海岸線を横断する「鳥取うみなみロード」（全長152km）の一部です。弓ヶ浜サイクリングコースは、80km東にある鳥取市に至る、別の海岸沿いのサイクリングコース網とつながっています。

【タイトル】海とくらしの史料館

【想定媒体】WEB、パンフ

<簡体字>

海洋与生活史料馆

海洋与生活史料馆是一座以展示鱼类为主的趣味博物馆，于1994年对外开放。馆内陈列着约700种、4000件海洋生物剥制标本，均由曾经出任濑户内海水产美术工艺研究所所长种政幸制作。种政幸发现学生们只能通过绘本了解鱼类的外形，于是研发了一种特殊的技法来制作标本，它能在保留鱼类形状与外观的同时，去除其内脏、骨骼和鱼肉。尽管这种技法几乎对外保密，但大致流程应该是将锯末填入掏空的鱼皮中，再用化学药剂进行防腐处理，并用树脂固形，精心复原真实形态，制作起来非常耗时费力。

史料馆中展示了多种大型鱼类，包括大白鲨、蓝鳍金枪鱼、巨型皇带鱼和巨型翻车鱼等。这些展品大多是在当地海域捕获的，按分类学分组陈列，着重呈现其栖息地与亚种特征。馆内还展出了各类色彩斑斓的螃蟹及其他甲壳类动物。另一处趣味展区内，数百只鼓成球状的河豚被布置成背景，供参观者摄影留念。主要的鱼类展品都配有英、中、韩三种语言的说明文字。

改造复用的酒窖

史料馆设在有着百余年历史的旧酒窖内，这些酒窖沿港口而建，曾是深受当地人喜爱的地标。当年境港市的经济重心还是贸易，而非渔业。史料馆的外观保留了旧酒窖标志性的白色灰泥墙面与瓦顶，内部装修则沿用了原来的木结构框架。馆内还展示了渔业与航海生活的其他方面，包括大量渔具设备，甚至还有一整艘渔船，参观者还可以登上这艘“港丸”号渔船参观。

此外，史料馆也致力于介绍当地传统生活的其他方面，展出了数量可观的农具、服饰与各类工具。馆内画廊里陈列着一批艺术品，其中尤为引人注目的是当地著名版画家桥本兴家(1899-1993)的现代版画作品。以上展品位于二楼，这里的天花板上还保留着酒窖原有的木制桁架。

开馆时间：9:30~17:00（入场截至16:30）

闭馆日：周二（如遇节假日、补休日顺延），元旦放假期间（12月29日~1月3日）

门票：410元，高中、初中和小学生以及外籍人士100日元，幼儿及70岁以上免费

<繁体字>

海洋與生活史料館

1994 年對外開放的海洋與生活史料館是一座以展示魚類為主的趣味博物館，館內陳列著約 700 種、4000 件海洋生物剝製標本，由曾經出任瀨戶內海水產美術工藝研究所所長的種政幸製作。由於注意到學生們只能透過繪本了解魚類的外形，種政幸研發了一種特殊的技法來製作標本，能在保留魚類形狀與外觀的同時，去除其內臟、骨骼和魚肉。這是一項非常耗時費力的工作，儘管技法幾乎對外保密，但大致流程應該是將鋸末填入掏空的魚皮中，再用化學藥劑進行防腐處理，並用樹脂固形，精心復原真實的形態。

史料館中展示了包括大白鯊、藍鰭金槍魚、巨型皇帶魚和巨型翻車魚等多種大型魚類，這些展品大多是在當地海域捕獲的，按分類學分組陳列，著重呈現其棲息地與亞種特徵。館內還展出了各類色彩斑斕的螃蟹及其他甲殼類動物。另一處趣味展區內，數百隻鼓成球狀的河豚被布置成背景，讓遊客拍攝獨特的紀念照片。主要的魚類展品都配有英、中、韓三種語言的說明文字。

改造複用的酒窖

史料館設在沿港口而建的百年舊酒窖內，這些酒窖曾是深受當地人喜愛的地標。當年境港市的經濟重心還是貿易，而非漁業。史料館的外觀保留了舊酒窖標誌性的白色灰泥牆面與瓦頂，內部裝修則使用了原來的木結構框架。館內還展示了漁業與航海生活的其他面向，包括大量漁具設備，甚至還有一整艘漁船，遊客還可以登上這艘「港丸」號漁船參觀。

除此之外，史料館還展出了數量可觀的農具、服飾與各類工具，致力於介紹當地傳統生活的其他面向。這裡的畫廊陳列著一批藝術品，其中尤為引人矚目的是當地著名版畫家橋本興家（1899-1993）的現代版畫作品。以上展品都位於二樓，這裡的天花板上還保留著酒窖原有的木製桁架。

開館時間：9:30~17:00（入場截至 16:30）

閉館日：週二（如遇節假日、補休日順延），元旦放假期間（12 月 29 日~1 月 3 日）

門票：410 元，高中、中小學生以及外籍人士 100 日圓，幼兒及 70 歲以上免費

<日本語仮訳>

海とくらしの史料館

海とくらしの史料館は、主に魚をテーマとした興味深い資料館です。1994年に開館したこの博物館には、元瀬戸内海水産美術工芸研究所所長・種政幸氏が制作した約700種、4,000点の海洋生物の剥製が展示されています。学生たちが絵本に頼って魚類の姿を学ばなければならないことに気づいた種氏は、魚類の形状や外観を保ったまま、内臓や骨格、肉質を除去し、標本を作る技術を開発しました。その技術のほとんどは非公開ですが、中身を取り除いた皮におがくずを入れ、保存料として化学物質を使い、樹脂で固めて、慎重に魚の形を復元するというもので、非常に手間のかかる作業です。

海とくらしの史料館では、ホオジロザメ、クロマグロ、巨大なリュウグウノツカイ、巨大なマンボウなど、超大型の魚種も展示されています。ほとんどの種は地元で捕獲されたもので、分類学に基づいてグループ分けされ、生息域や亜種が説明されています。様々な色鮮やかなカニやその他の甲殻類も展示されており、また体を膨らませた何百ものハリセンボンが展示された楽しいコーナーを背景に、記念撮影をすることもできます。なお、主要な魚には英・中・韓の解説文があります。

酒蔵の再利用

この史料館の建物は、元々100年以上前に建てられた酒蔵です。これらの酒蔵は港沿いに建てられており、地元で愛される代表的なスポットでした。当時の境港の経済は、漁業ではなく交易が中心でした。史料館の外観は、白漆喰の壁に瓦屋根の酒蔵を偲ばせるもので、当時から残る木の枠組みが史料館の内装となっています。漁業や海のくらしのその他の側面を示す、数多くの道具や装備、漁船も展示されています。この「みなと丸」という名の漁船には実際に乗ってみることもできます。

史料館では、来館者が地元の伝統的な生活の別の側面も学べるよう、農具、服飾、道具などの大規模なコレクションも展示しています。また、地元の有名版画家である橋本興家(1899-1993)の現代木版画など、芸術作品のコレクションもあります。これらは、頭上に古い木製の桁構えが走る2階のギャラリーで展示されています。

開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日：火曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：大人 410 円、小・中・高校生・外国籍の方 100 円、幼児・70 歳以上無料

【タイトル】 境港水産物地方卸売市場

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

境港水产批发市场

境港意为“边界之港”，自古以来就依靠海洋发展。尽管渔业在任何时候都不可或缺，但自 16 世纪起，境港的主要经济活动已转为对外贸易。最初，其贸易网络东沿日本海海岸延伸，西至九州，最远可达大阪。19 世纪晚期日本对亚洲大陆部分地区进行殖民统治后，境港成为与朝鲜、中国及俄国开展贸易的重要枢纽。不过，第二次世界大战(1939-1945)结束后，境港的贸易活动颓败，此后便开始专注于发展渔业。如今，它聚焦于当地渔业和本地著名漫画家水木茂（1922-2015，代表作人物鬼太郎）的笔下人物，以“鱼与鬼太郎之城”作为宣传亮点，将境港再次推到了人们眼前。

热闹的拍卖与新鲜海产

境港的渔港与水产批发市场向来热闹非凡，在这里还能品尝到当日捕获的新鲜海产，因此吸引着大量游客。境港对水产批发市场进行了翻新，扩建后的设施让每日渔获的物流、处理及销售环节都更为高效和卫生。码头水产批发市场沿“境运河”而建，2 楼的“境港鱼公园”向公众开放，还提供参观游览服务。批发市场的 2 楼通道是观景区域，游客可以远离下方忙碌穿梭的手推车与叉车，在这里安全地俯瞰拍卖及其他市场活动。市场内及周边有多家餐厅可供人们品尝新鲜刺身、螃蟹等当地特色美食。境港鱼公园的开放时间为 5:00～17:00，免费入场，任何人都可以自由参观。

<繁体字>

境港水產批發市場

意為「邊界之港」的境港，自古以來就依靠海洋發展。儘管漁業在任何時候都不可或缺，但從 16 世紀起，境港的主要經濟活動便轉為了對外貿易。一開始，它的貿易網路東沿日本海海岸延伸，西至九州，最遠可達大阪。19 世紀晚期日本對亞洲大陸部分地區進行殖民統治後，境港成為與朝鮮、中國及俄國開展貿易的重要樞紐。不過，第二次世界大戰（1939-1945）結束後，境港的貿易活動頹敗下來，於是開始專注於發展漁業。如今，它將在地漁

業和當地著名漫畫家水木茂（1922-2015，代表作主角鬼太郎）的筆下人物作為亮點，憑著「魚與鬼太郎之城」的宣傳再次聲名鵲起。

熱鬧的拍賣與新鮮海產

在境港的漁港與水產批發市場能品嚐到當日捕獲的新鮮海產，吸引了大量遊客，熱鬧非凡。境港翻新了水產批發市場，擴建後每日漁獲的物流、處理及銷售環節都更為高效和衛生。碼頭水產批發市場沿「境運河」而建，2樓的「境港魚公園」向大眾開放，還提供導覽服務。批發市場的2樓通道為觀景區域，遊客可以在這裡安全地俯瞰拍賣及其他市場活動，遠離下方頻繁穿梭的推車與升降機。市場內外的多家餐廳可以品嚐到新鮮刺身、螃蟹等當地特色美食。境港魚公園的開放時間為 5:00~17:00，免費入場，任何人都可以自由參觀。

<日本語仮訳>

境港水産物地方卸売市場

境港は「境界の港」という意味を持ち、昔から海を頼りに発展してきました。漁業はどの時代でも常に必要不可欠な経済活動でしたが、16世紀以降、境港は主に交易都市となりました。当初その交易網は、東は日本海沿岸、西は九州から大阪に至るまで発達していました。19世紀後半に日本がアジア大陸の一部を植民地化すると、境港は朝鮮半島、中国、およびロシアとの交易の主要地になりました。第二次世界大戦（1939-1945）が終わると交易都市としては破綻し、それからは境港では漁業の推進に注力してきました。今では、地元の漁業と地元自慢の漫画家である水木しげる（1922-2015）の代表作のメインキャラクターにちなみ、「さかなと鬼太郎のまち」としてPRしています。

活気ある競りと新鮮な魚介類

境港の漁港や魚市場は、活気にあふれた賑わいやとれたての水産物を食べられるという期待から、常に観光客を魅了してきました。市が水産物市場を再開発し、施設が大型化したことで、より効率よく衛生的に、日々水揚げされる水産物を運搬、取り扱い、販売できるようになりました。境水道沿いの埠頭側の上屋2Fの「境港おさかなパーク」は一般公開されており、ツアーも開催されています。来訪者は、走り回るカートやフォークリフトから十分離れた安全な2Fの通路から、競りやその他の市場の作業の様子を眺めることができます。市場内やその周辺にはいくつかの食事処があり、新鮮な刺身やカニなどの地元の名物を味わうことができます。なお、入館は無料で午前5時から午後5時まで、だれでも自由に利用できます。

地域番号	007	協議会名	多治見市多言語解説整備協議会
------	-----	------	----------------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
007-044	日本のセラミックバレーを訪ねよう	2240	WEB、パンフレット

【タイトル】 日本のセラミックバレーを体験しよう

【想定媒体】 WEB、パンフ

<簡体字>

探访日本陶瓷谷

欢迎来到多治见市，这里是著名陶瓷器“美浓烧”的产地之一。1300 多年以来，陶匠们一直在这片谷地上致力于陶瓷制作。这项艺术与文化的传承被统称为“美浓烧”，从简单质朴的陶器到精美雅致的瓷器，作品风格多样，包罗万象。我们竭诚邀请您光临如下地点，探寻多治见丰富而迷人的陶瓷世界。

多治见市美浓烧博物馆

从 8 世纪简朴的素烧“须惠器”，到出自被誉为“人间国宝”的大师们之手的当代瓷器和陶瓷茶具名品，博物馆以广阔的视角勾勒出美浓烧的历史全貌。主要展区汇集了各时代的代表性作品，用日英双语详细讲述了美浓烧多样形制的演变脉络，内容包括窑烧技术的革新、装饰技法的发展，以及传统主流风格的更迭。博物馆提供中文宣传册。此外，在博物馆的立礼茶室，来访者有机会使用出自包括“人间国宝”在内的美浓烧陶艺大师之手的茶碗品尝抹茶，佐茶的点心则有仿造多治见市市花“桔梗”制作的和菓子（日式传统糕点）。

若需查询营业时间等详细信息，请参照博物馆官方网站(https://www.tajimibunka.or.jp/minoyaki_museum/guide)。

东信美浓陶艺美术馆

美浓烧是多治见本地文化的核心，为了展示它们的魅力，东浓信用金库于 2015 年创建了这家免费开放的美术馆。馆内收藏大量本地产的美浓烧陶瓷器，尤以黄濑户、志野、濑户黑、织部等流派的茶碗为主。每年，美术馆茶室都会在特定的日子里举办茶会，用美浓烧茶碗免费提供抹茶，让来访者近距离感受这些器具之美。

若需查询营业时间等详细信息，请参照美术馆官方网站(<https://www.shinkin.co.jp/tono/toshin/manabi/>)。

多治见市文化工房“画廊之声”

画廊之声是一家陶瓷美术馆，旨在寻求为陶艺家和支持者（包括购买者等广义的支持者）创造深入对话的机会。美术馆通过常展和不定期的特展介绍陶瓷艺术的现状，除此之

外，还举办研讨会、演讲和陶艺教室等活动。在陶瓷彩绘体验区，来访者可以挑选喜欢的素胚自由绘画，完成独属于自己的作品。这里的工作人员都是职业陶艺家，来访者可以与这些对陶瓷艺术满怀热忱的专业人士直接对话交流。

若需查询营业时间等详细信息，请参照工房官方网站(<https://gallery-voice.jp/>)。

多治见市马赛克瓷砖博物馆

这座博物馆位于拥有悠久瓷砖生产历史的笠原地区。博物馆由著名建筑大师藤森照信(1946-)设计，呈研钵状的斜坡上土墙高耸，整体建筑风格独特新颖。馆内收藏了1万多件与瓷砖生产及艺术相关的藏品，包括从钱汤（收费的公共浴场）、商铺、学校和民居中抢救回收的马赛克艺术品，从中可以了解瓷砖与日常生活的紧密联系。来访者还可以在馆内的工房里尝试亲手制作瓷砖工艺品。

若需查询营业时间等详细信息，请参照博物馆官方网站(<https://www.mosaictile-museum.jp/>)。

幸兵卫窑

幸兵卫窑位于陶瓷之乡“市之仓”。1804年，加藤家族为向江户城供应御用餐具创建了这个窑场。在历任家主的不断钻研下，多种一度失传的美浓、中国和波斯等釉色工艺在这里重现于世，幸兵卫窑也以勇于创新而声名远播。时至今日，窑场掌门人已是加藤家族的第8代家主。幸兵卫窑目前面向公众开放，展出大量陶瓷器藏品，其中不乏用于研究的古董藏品和以“人间国宝”加藤卓男(1917-2005)为代表的幸兵卫窑陶艺大师的作品。

若需查询营业时间等详细信息，请参照幸兵卫窑官方网站(<http://www.koubeigama.co.jp/tour>)。

市之仓酒杯美术馆

这里的“酒杯”在日文里写作“盃”（同“杯”），特指清酒杯，是一种类似碟子形状的浅口小杯。从正式的婚礼仪式到酒桌游戏，“盃”总会在日本人的重要时刻出现。市之仓陶瓷村专注于“盃”的制作已有差不多两个世纪之久，产品一度占据了日本全国清酒杯产量的一半以上。在这个美术馆里，来访者可以看到大约1500件精美的清酒杯，并了解它们的文化内涵与历史。

若需查询营业时间等详细信息，请参照美术馆官方网站(<https://www.sakazuki.or.jp/information.php>)。

多治见市陶瓷器意匠研究所(Ishoken)

这是一处陶艺研习中心，旨在培养有潜力的新锐陶艺工作者，并为他们提供咨询和技术支持。自 1959 年创立以来，已有 47 个国家的 1000 多名学生在此成功完成学业，并将有关美浓烧的知识和价值带到了世界各地。中心设有一处展览空间，每年举办数次展览会，介绍在读学生和往届毕业生作品。

若需查询营业时间等详细信息，请参照研究所官方网站 (https://www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/01_about/about.html)。

Kids Land 儿童陶瓷博物馆

这是一家专为儿童开设的博物馆，通过常展以及各种特展将陶瓷器的魅力呈现在孩子们面前。常展共展出大约 800 件儿童餐具，器具表面都饰有出自日本民间传说的图画或皮卡丘等深受喜爱的角色形象。此外，展品还包括一部分原创手绘碟子，均出自著名艺术家、插画家之手，其中就有绘本《大家来大便》的作者五味太郎(1945-)的作品。一楼和地下室设有陶瓷绘画工房、游戏室、绘本图书馆、休息室等各类活动空间，无论亲子、朋友还是情侣，都可以在此尽享童趣。

若需查询营业时间等详细信息，请参照博物馆官方网站 (https://museum.kanesho.co.jp/access_info/)。

<繁体字>

探訪日本陶瓷谷

歡迎來到著名陶瓷器「美濃燒」的產地之一多治見市。1300 多年以來，陶匠們在這片谷地上一直致力於陶瓷製作，從簡單質樸的陶器到精美雅致的瓷器，作品風格多樣，包羅萬象。這項藝術與文化的傳承被統稱為「美濃燒」。如果想探尋多治見豐富而迷人的陶瓷世界，我們竭誠邀請您光臨以下地點。

多治見市美濃燒博物館

博物館以廣闊的視角勾勒出美濃燒的歷史全貌，從 8 世紀簡樸的素燒「須惠器」，到誕生於「人間國寶」大師們手中的當代瓷器和陶瓷茶具名品，展品極其豐富。館內的主要展區陳列著各時代的代表性作品，以日、英雙語詳細介紹了美濃燒多樣形制的演變脈絡，內容包括窯燒技術的革新、裝飾技法的發展，以及傳統主流風格的更迭。博物館還提供中文宣傳冊。此外，在博物館的立禮茶室，遊客甚至有機會使用包括「人間國寶」在內的美濃燒陶藝大師製作的茶碗品嚐抹茶，佐茶的點心有仿造多治見市市花「桔梗」的和菓子（日式傳統糕點）。

若需查詢營業時間或其他詳情，可以參考博物館官方網站 (https://www.tajimibunka.or.jp/minoyaki_museum/guide)。

東信美濃陶藝美術館

多治見的在地文化的核心便是美濃燒。為了展示它們的魅力，東濃信用金庫在 2015 年成立了這家美術館，免費對外開放。美術館收藏了大量在地產製的美濃燒陶瓷器，其中以黃瀨戶、志野、瀨戶黑、織部等流派的茶碗為主。美術館茶室每年都會在特定日子用美濃燒茶碗免費提供抹茶，讓遊客近距離感受這些器具之美。

若需查詢營業時間或其他詳情，可以參考美術館官方網站 (<https://www.shinkin.co.jp/tono/toshin/manabi/>)。

多治見市文化工坊「畫廊之聲」

畫廊之聲是一家陶瓷美術館，目標是為陶藝家和支持者（包括購買者在內的廣義的支持者）創造深入對話的機會。美術館透過常設展和不定期舉辦的特展來展現陶藝的現狀，除此之外，還舉辦研討會、演講和陶藝教室等活動。在陶瓷彩繪體驗區，遊客還可以挑選喜歡的素胚自由繪畫，完成專屬於自己的作品。這裡的工作人員都是職業陶藝家，遊客可以與這些對陶瓷藝術滿懷熱忱的專業人士直接對話交流。

若需查詢營業時間或其他詳情，可以參考工坊官方網站 (<https://gallery-voice.jp/>)。

多治見市馬賽克瓷磚博物館

博物館位於擁有悠久瓷磚生產歷史的笠原地區，由著名建築大師藤森照信（1946- ）操刀設計。其建築造型極具特色：地面呈研鉢狀傾斜，搭配矗立其上的土牆。館內收藏了 1 萬多件與瓷磚生產及藝術相關的藏品，包括從錢湯（收費的公共浴場）、商鋪、學校和民居中搶救回收的馬賽克藝術品，從中可以了解瓷磚與日常生活的緊密聯繫。遊客還可以在館內的工坊裡嘗試親手製作瓷磚工藝品。

若需查詢營業時間或其他詳情，可以參考博物館官方網站 (<https://www.mosaictile-museum.jp/>)。

幸兵衛窯

幸兵衛窯位於陶瓷之鄉「市之倉」。加藤家為了向江戶城供應御用餐具，在 1804 年創立了這個窯場。在歷任家主的不斷鑽研下，一度失傳的美濃、中國和波斯等釉色工藝在這裡重現於世。因為勇於創新，幸兵衛窯聲名遠播。到今天，窯場掌門人已是加藤家第 8 代家

主。目前對大眾開放的幸兵衛窯展出大量陶瓷器藏品，其中也包括用於研究的古董藏品，以及「人間國寶」加藤卓男（1917-2005）為代表的著名幸兵衛窯陶藝大師的作品。

若需查詢營業時間或其他詳情，可以參考幸兵衛窯官方網站（<http://www.koubeigama.co.jp/tour>）。

市之倉酒杯美術館

這裡的「酒杯」在日文裡寫作「盃」（同「杯」），特指清酒杯，是一種類似碟子形狀的淺口小杯。「盃」總會在日本人的人生各種重要時刻出現，像是正式的婚禮儀式或者酒桌遊戲。市之倉陶瓷村專注於「盃」的製作已有差不多兩百年之久，產品一度佔據了日本全國清酒杯產量的一半以上。在這裡，遊客可以看到大約 1500 件精美的清酒杯，並了解它們的文化內涵與歷史。

若需查詢營業時間或其他詳情，可以參考美術館官方網站（<https://www.sakazuki.or.jp/information.php>）。

多治見市陶瓷器意匠研究所（Ishoken）

這個陶藝研習中心除了教導有潛力的新銳陶藝工作者之外，還為他們提供諮詢和技術支持。自 1959 年成立以來，已有 47 個國家的 1000 多名學生在此成功完成學業，並將美濃燒的知識和價值帶到了世界各地。中心的一處展覽空間每年會舉辦好幾次活動，主要介紹在讀學生和往屆畢業生的作品。

若需查詢營業時間或其他詳情，請參考研究所官方網站（https://www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/01_about/about.html）。

Kids Land 兒童陶瓷博物館

這是一家專為兒童開設的博物館，透過舉辦常設展以及各種特展，將陶瓷器的魅力呈現在孩子們面前。常設展共展出大約 800 件兒童餐具，器具表面都裝飾著源自日本民間傳說的圖畫或皮卡丘等深受喜愛的角色形象。除此之外，還有出自著名藝術家、插畫家之手的原創手繪碟子，其中就有繪本《大家來大便》的作者五味太郎（1945-）的作品。一樓和地下室設有陶瓷繪畫工坊、遊戲室、繪本圖書館、休息室等各類活動空間，無論親子還是朋友、情侶一同前來，都可以盡享童趣。

若需查詢營業時間或其他詳情，可以參考博物館官方網站（https://museum.kanesho.co.jp/access_info/）。

<日本語仮訳>

日本のセラミックバレーを訪ねよう

有名な美濃焼の産地のひとつ、多治見へようこそ。この谷の陶工たちは約 1300 年にわたり、素朴な土器から優美な磁器まで、さまざまな様式の陶磁器を生産している。この芸術的・文化的遺産は総称して「美濃焼」と呼ばれている。多治見の多様で魅力的な世界を、以下の場所で是非体験してみてほしい。

多治見市美濃焼ミュージアム

8 世紀の素焼きの須恵器から、人間国宝による現代の磁器や陶器の名椀まで、美濃焼の歴史を幅広く紹介している。館内のメイン展示は、窯業技術や装飾技法、伝統ある主要な様式の発展を通じて、美濃焼の多様な様式がいかに進化してきたのか、各時代の代表的な作品とともに日本語と英語で詳しく説明しており、中国語のパンフレットも用意している。また、ミュージアム内の立礼茶室では、人間国宝など美濃を代表する陶芸作家の茶碗を使用して、多治見市の花・桔梗を象った地元のお菓子とともに抹茶体験をお楽しみいただける。

なお、営業時間など詳細な情報は、博物館公式サイトをご参照ください (https://www.tajimi-bunka.or.jp/minoyaki_museum/guide)。

とうしん美濃陶芸美術館

多治見の文化の中心である美濃焼の魅力を伝えるために、東濃信用金庫が 2015 年に設立した無料の美術館。特に黄瀬戸、志野、瀬戸黒、織部などの茶碗を中心に、地元で生産された美濃焼を多数所蔵している。また、毎年特定の日には、茶室において美濃焼の茶碗で抹茶を無料で提供しており、作品をより身近に感じることができる。

なお、営業時間など詳細な情報は、美術館公式サイトをご参照ください (<https://www.shinkin.co.jp/tono/toshin/manabi/>)。

多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス

ギャラリーヴォイスは、陶芸家とパトロン（購入者を含む広義の支援者）の対話を大切にする陶磁器ギャラリーである。館内ではアートとしてのやきもののいまを伝える常設展示や企画展のほか、シンポジウム、講演会、陶芸教室などを開催している。焼き物の上絵付け体験スペースでは、好きな生地に自由に絵を描いて、オリジナル作品を作ることが出来る。なお、ギャラリーのスタッフは全員が現役の陶芸家であり、陶芸への情熱を持った人々と直接触れ合うことができる。

なお、営業時間など詳細な情報は、工房公式サイトをご参照ください (<https://gallery-voice.jp/>)。

多治見市モザイクタイルミュージアム

古くからのタイルの産地である笠原にあるミュージアム。著名な建築家である藤森照信（1946- ）の設計によるこの建物は、すり鉢状に傾斜した地面と、そこに立つ土の壁といった大変ユニークな形をしている。同館が所蔵する、銭湯や商店、学校、家庭などから「救出」されたモザイクアート作品をはじめ、

タイルの生産や芸術に関する 1 万点以上のコレクションは、タイルが生活に密着していたことを物語っている。館内の工房では、タイル工作を体験することができる。

なお、営業時間など詳細な情報は、ミュージアム公式サイトをご参照ください (<https://www.mosaic-tile-museum.jp/>)。

幸兵衛窯

陶器の里、市之倉にある窯元。1804 年、加藤家が江戸城御用達の食器を製造するために開いた窯である。代々の当主が美濃、中国、ペルシャなどの失われた釉薬を研究し、再現するという革新性でその名を馳せてきた。現在 8 代目となる加藤家の当主が率いる幸兵衛窯は一般公開されており、研究のために収集した古美術品や、人間国宝の加藤卓男（1917-2005）をはじめとする幸兵衛窯の名工たちの作品など、数多くの陶磁器を展示している。

なお、営業時間など詳細な情報は、幸兵衛窯公式サイトをご参照ください (<http://www.koubei-gama.co.jp/tour>)。

市之倉さかづき美術館

さかづき（盃）は日本酒を飲むときに使用される小皿型の酒器のことを指し、結婚式やお座敷遊びなど、日本の暮らしにおける重要なシーンに数多く登場する。市之倉陶器村では、約 2 世紀にわたって磁器の盃を専門に生産しており、一時は日本の盃の半分以上を市之倉集落の陶芸家が生産していた。この美術館では、約 1500 点の盃を展示しており、その文化的意義や歴史を知ることができる。

なお、営業時間など詳細な情報は、美術館公式サイトをご参照ください (<https://www.sakazuki.or.jp/information.php>)。

多治見市陶磁器意匠研究所（Ishoken）

新進気鋭の陶芸家を指導し、コンサルティングや技術支援を行うことを目的とした研修センター。1959 年の設立以来、47 カ国から 1,000 人以上の卒業生を輩出し、美濃焼の知識と価値を世界に広めている。センターにはギャラリースペースがあり、在校生や卒業生の作品を紹介する展覧会が年に数回開催されている。

なお、営業時間など詳細な情報は、研究所公式サイトをご参照ください (https://www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/01_about/about.html)。

こども陶器博物館 Kids Land

ピカチュウなどのキャラクターや日本の昔話をモチーフにした、約 800 点の子供用食器の常設コレクションや企画展を通して、陶磁器の魅力を伝える子供向けの施設。コレクションには、『みんなうんち』の作者である五味太郎氏（1945- ）をはじめとする著名なアーティストやイラストレーター直筆の皿も含まれている。1 階および地下 1 階には、絵付け工房、プレイルーム、絵本ライブラリー、休憩室など、さまざまな活動スペースが設けられており、家族だけでなく友達同士、カップルまで、いろんな方が満喫できる。

なお、営業時間など詳細な情報は、博物館公式サイトをご参照ください
(https://museum.kanesho.co.jp/access_info/)。

地域番号	009	協議会名	中津川市
------	-----	------	------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
009-001	苗木城跡の概要	675	パンフレット
009-002	苗木城跡の見どころ	900	パンフレット
009-003	苗木城の歴史と遠山氏	1295	パンフレット
009-004	苗木城跡：赤壁城伝説	380	パンフレット
009-005	苗木城跡の四季の見どころ	310	パンフレット
009-006	苗木城城壁の石垣	790	パンフレット
009-007	苗木城跡からの眺望	415	パンフレット
009-008	苗木遠山史料館	1350	パンフレット
009-009	苗木遠山史料館の来館情報	430	パンフレット

【タイトル】 苗木城跡の概要

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木城遗址概览

苗木城建于 1526 年。这是一座小藩之城，几乎始终由同一个家族所有，这样的情形在日本全国也十分少见。这座城郭由远山昌利（生卒年不详）修建，他的家族自 14 世纪（镰仓时代，1185-1333）起便一直担任“地头”一职，为幕府将军管理庄园。16 世纪，周边地区群雄相争，战事激烈，而高森山（432 米）险峻的地势为远山家族的堡垒提供了坚固的防御屏障。

远山家族与南面尾张国（今爱知县西部；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）的织田家族、东面甲斐国（今山梨县）的武田家族这两大武士家族都建立了联姻关系。他们踞守苗木城，度过了动荡不安的 16 世纪，成功地将家族统治延续到了江户时代（1603-1867），其间只经历过一次短暂的变故。直至 1871 年，远山家族始终掌管着这座城郭，长达 270 年。从 1868 年开始，新建立的明治政府（1868-1912）开始大力推行高速发展现代化的政策，将城郭视为旧时代的象征，许多城郭因此遭到废弃甚至拆除，苗木城也是其中之一。

苗木城遗址位于木曾川北岸，这条河过去也是护城河的一部分，为城郭提供了更为坚实的防护。昔日的城郭里，各类防御工事一应俱全，遗憾的是，除了部分城墙石垣以外，城门、瞭望塔以及被称为“丸”的各重防御空间现已荡然无存，其中也包括“天守”。作为城郭核心的多重塔楼，苗木城的天守曾经位于山顶最高处，俯瞰着中津川地区。如今，天守观景台的支柱就立在原天守地基岩石的柱洞里。

1981 年，苗木城遗址被指定为国家史迹；2017 年，经日本城郭协会认定，跻身“续·日本 100 名城”，并列“绝景！山城 Best 10”第一位。

<繁体字>

苗木城遗址概覽

苗木城建於 1526 年。這是一座小藩城，幾乎一直由同一家族擁有，這種情況在日本全國也相當罕見。遠山昌利（生卒年不詳）是這座城郭的建造者，他的家族自 14 世紀（鎌倉時代，1185-1333）以後便擔任「地頭」一職，為幕府將軍管理莊園。在 16 世紀戰

事激烈，群雄爭霸，高森山（432 公尺）險峻的地勢為遠山家的堡壘提供了堅固的防禦屏障。

透過聯姻，遠山家與南方尾張國（今愛知縣西部，「國」為日本古代行政區劃，與現代國家不同）的織田家，以及東方甲斐國（今山梨縣）的武田家等有力武家建立了關係。他們守護苗木城，度過了動盪的 16 世紀，成功地將家族的統治延續到了江戶時代（1603-1867），期間僅出現過一次短暫的變故。遠山家掌管此城長達約 270 年，直至 1871 年。從 1868 年起，剛成立的明治政府（1868-1912）積極推動現代化政策，將城郭視為舊時代的象徵，許多城郭因此遭到廢棄或拆除，苗木城也未能倖免。

苗木城遺址位於木曾川北岸，這條河流過去也曾是護城河的一部分，為城郭增添了另一層防護。如今遺址僅存部分石垣，但昔日的城郭擁有城門、瞭望塔，以及被稱為「丸」的各重防禦空間等設施，也包括天守。作為城郭核心的多重塔樓，天守曾經矗立於山頂最高處，俯瞰整個中津川地區。如今的天守觀景台支柱正是安置於原天守地基基石的柱洞之中。

1981 年，苗木城遺址被指定為國家史蹟。2017 年，經由日本城郭協會認定，入選「續・日本 100 名城」，並在「絕景！山城 Best 10」中名列第一。

<日本語仮訳>

苗木城跡の概要

苗木城は小藩の城ではあるが、殆んど一氏のみ有した珍しい例である。14 世紀（鎌倉時代、1185-1333）から幕府將軍の莊園の地頭職を務めていた一族の遠山昌利（生没年不詳）によって 1526 年に建てられた。16 世紀は、周辺地域の有力武將の間で激しい対立があった時代であり、高森山（標高 432m）は険しい岩山であったため、遠山家の城の防御力は高かった。

遠山氏は、南は尾張国（現在の愛知県の西部。この「国」とは古代日本の行政区画であり、いまの「国家」とは異なる）の織田氏、東は甲斐国（現在の山梨県）の有力な武田氏と婚姻関係を結んだ。苗木城に居城を構え、激動の 16 世紀、そして一時的な中断を経て、その後の江戸時代（1603-1867）まで家系を維持することができた。城は 1871 年までの 270 年間、遠山家が支配していた。1868 年以降、急速な近代化政策に乗り出した明治新政府（1868-1912）は、城を過去の象徴とみなした。苗木城は、当時廃城となり解体された多くの城のひとつである。

城跡は木曾川の北岸にある。かつては、この川が部分的な堀の役割を果たし、城の守りを固めていた。現存する石垣に加え、かつては城門、櫓、城郭内の防衛用空間である丸などがあった。そして、頂上には中津川を見渡せる天守（城郭の中核部に建てられた多層の櫓建築）があった。現在、天守展望台の支柱は、元の天守を建てるために岩に掘られたくい穴に差し込まれている。

1981 年には国の史跡に指定され、2017 年には日本城郭協会によって「続日本 100 名城」のひとつに認定され、『絶景！山城ベスト 10』第 1 位に選ばれた。

【タイトル】 苗木城跡の見どころ

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木城遗址的看点

苗木城坐落于巨岩堆叠的山丘之巅，可以 360 度俯瞰周边的领地。如今在山上还能看到各式各样的石砌拥壁（防止陡坡土石崩塌的挡土墙），它们巧妙地修筑于山岩和巨石之间，用于支撑通往城郭的道路和城郭的主体结构。

城郭的正门名叫“大手门”，位于木曾川北岸的山脚下。从大手门通往山顶的陡峭山道共有 30 多道急弯，被称为“四十八曲”。当年，城郭核心的多重塔楼称“天守”就矗立在山顶最高处。此外，道路沿途还曾建有多重城门和其他建筑。

足轻长屋遗址

山脚下的几处建筑是从前“足轻”在进入城郭前等待报到的地方。足轻是最下层的日本武士，常常在战场前线上担任冲锋陷阵的角色。原本的建筑包括一个足轻长官办公室和被称为“稽古场”的训练场地。

大矢仓遗址

大矢仓是一座三层櫓（塔楼），建成于 17 世纪中叶，是苗木城建筑群中最大的塔楼。一楼主要用于仓储，外侧拱卫四壁的石垣至今尚存。墙壁上设有狭间（箭窗），用于防范来自城郭北面的攻击。

二之丸遗址

“丸”是城郭内的防御空间，从内至外通常有“本丸”“二之丸”“三之丸”等，其中，本丸是城郭中最重要的区域，二之丸是城郭内二级区域。苗木城的二之丸是远山家族成员的居所，另有供家臣集合的房间。

千石井户

这口井尽管位于高海拔的山顶天守附近，但即便在最干旱的年景里也永不干涸，因此名声远扬。“千石”之名源自其“可以为千人（泛指人数众多）供水”之说。

武器库遗址

这个仓库当年主要用于存放铁炮（枪械）和弓箭。几乎所有屋檐下的础石和路缘石都保存完好，一如旧时模样。

笠置矢仓遗址

这是一座三层櫓，位于本丸西侧，拥有西望笠置山（1128 米）的绝佳视野。值得注意的是，这座塔楼当年是在一片巨石群上建起来的。

天守观景台

城郭天守位于山巅，支撑它的多根立柱直接架在两块巨大的岩石上。原来的天守建筑宽 9 米，长 11 米。为了欺骗敌人，外观设计为三层，但实际上，下面两层的内部空间极小，根本无法使用。这里目前已是一处观景台，拥有 360°无遮挡的全景视野。

洗马岩

在一则有关苗木城的传说中，城郭曾遭遇敌人进攻，被切断了水源。机智的守军将一匹马牵到这块周长约 45 米的岩石上，取来大米佯装洗马，成功地让敌人误以为城内依然水源充足。

<繁体字>

苗木城遗址的看点

苗木城坐落於巨岩堆疊的山丘之巔，可以 360 度俯瞰周邊的領地。直到現在，在山上還能看到各式各樣的石砌擁壁（防止陡坡土石崩塌的擋土牆），它們巧妙地修築於山岩和巨石之間，用來支撐通往城郭的道路和城郭本身的主體結構。

城郭的正門名叫「大手門」，位於木曾川北岸的山腳下。從大手門通往山頂的陡峭山道共有 30 多道急彎，被稱為「四十八曲」。當年，城郭核心的多重塔樓「天守」就矗立於山頂最高處。除此以外，道路沿途還曾建有多重城門和其他建築。

足輕長屋遗址

「足輕」是最下層的日本武士，常常在戰場前線擔任衝鋒陷陣的角色。山腳下的幾棟建築就是從前「足輕」在進入城郭前等待報到的地方。原本的建築有一間足輕長官辦公室，以及被稱為「稽古場」的訓練場地。

大矢倉遗址

建成於 17 世紀中葉的大矢倉是一座三層櫓（塔樓），也是苗木城建築群中最大的塔樓。一樓主要是倉庫，外側拱衛四壁的石垣留存至今。牆壁上的狹間（箭窗）則是為了防範來自城郭北方的攻擊。

二之丸遺址

「丸」是城郭內的防禦空間，從內至外通常有「本丸」、「二之丸」、「三之丸」等，其中，本丸是城郭中最重要的區域，二之丸是城郭內二級區域。苗木城的二之丸是遠山家成員的居所，另有供家臣集合的房間。

千石井戶

這口井之所以有名，是因為它雖位處高海拔的山頂天守附近，但即使在最乾旱的年份也永不乾涸。「千石」之名則源自它可以為「千人」（泛指人數眾多）供水的傳說。

武器庫遺址

這個倉庫當年主要用於存放鐵炮（槍械）和弓箭。幾乎所有屋簷下的礎石和路緣石都保存完好，與當年的模樣無異。

笠置矢倉遺址

此處遺址位於本丸西側，是一座三層櫓，擁有西望笠置山（1128 公尺）的絕佳視野。這座塔樓特別之處在於，當年它是在一片巨石群上建起來的。

天守觀景台

城郭天守位於山巔，支撐其結構的多根立柱直接架於兩塊巨岩之上。原天守建築寬 9 公尺、長 11 公尺。為了迷惑敵軍，外觀設計為三層，但其實下面兩層的內部空間極小，幾乎無法使用。如今，這裡已改為觀景台，可 360°俯瞰眼下全部景色。

洗馬岩

根據一則有關苗木城的傳說，城郭曾遭遇敵人進攻，水源被切斷。機智的守軍將一匹馬牽到這塊周長約 45 公尺的岩石上，取來稻米洗馬，成功地讓敵人誤認為城內依然水源充足。

<日本語仮訳>

苗木城跡の見どころ

苗木城は、巨大な岩石が積み重なった自然の露頭の上であり、周囲の領地を 360 度見渡すことができる。山上に見られる様々な様式の石積みの擁壁（急斜な斜面の土砂崩壊を防ぐための壁）は、現存する岩や巨石の間に巧みに築かれ、城へ通ずる道や城郭の構造を支えている。

山麓の木曾川北岸に城の大手門（正門）がある。大手門から山頂までは、30 以上のつづら折りの急な坂道「四十八曲り」が続く。山頂には城の中枢部に建てられた多層の櫓建築である天守があり、そのほかの門や建物も、もともとは道沿いに建っていた。

足軽長屋跡

山麓には、城に入る前に足軽が出頭するために立ち寄る建物がいくつかあった。足軽は最下級の武士で、戦の時には最前線で戦うのが一般的だった。当初の建物には、小頭部屋や稽古場が含まれていた。

大矢倉跡

17 世紀半ばに建てられた 3 階建ての櫓は、城内最大の櫓であった。主に倉庫として使われた 1 階を囲む石垣が残っている。城壁の狭間（矢窓）は、城の北側の防御に使われた。

二の丸跡

「丸」とは城郭の内部、防衛用の空間のこと、中心から外側に向けて、本丸、二の丸、三の丸などと称する。「本丸」は城の最も重要な空間であり、「二の丸」は二番目に重要な空間である。苗木城の二の丸は遠山氏の居所であり、家臣が集まる部屋もあった。

千石井戸

山の上の天守近くに位置し、標高が高いにもかかわらず、この井戸は最悪の干ばつでも涸れなかったことで知られる。「千石」の名は、「千人」（つまり多人数）に水が提供出来る井戸という評判に由来する。

武器蔵跡

この蔵は主に鉄砲や弓を保管するために使われた。軒下の礎石と縁石のほとんどは、かつてのまま残っている。

笠置矢倉跡

本丸西側のこの場所には、3 階建ての櫓が建っており、西に笠置山（標高 1,128m）を望むことができる。この櫓は巨石群の上に建てられていたということに留意して欲しい。

天守展望台

城の天守は、山頂にある 2 つの巨石の上に直接立てられた一連の支柱の上に建てられた。当時の大きさは幅 9 メートル、長さ 11 メートル。天守は敵を欺くため、外見は 3 階建てに見えるように設計

されていた。しかし実際は内部から見れば下の 2 階は使用することができないほどの狭さだった。現在ここは展望台になっており、360 度のパノラマを楽しめることができる。

馬洗岩

城の伝説によると、敵に攻められて水の供給を断たれた後、この岩（周囲約 45 メートル）の上に馬を乗せて米で洗うことで、城の住人にまだ豊富な水があると信じさせて敵の目を欺いたという。

【タイトル】 苗木城の歴史と遠山氏

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木城的历史与远山家族

1868 年日本启动明治维新，推行“废藩置县”政策，苗木藩（今岐阜县南部部分区域）遭废除。在此之前，苗木城一直都是远山家族的大本营。远山家族原本姓加藤，家族血脉可以追溯到镰仓幕府(1185-1333)创建者源赖朝(1147-1199)的家臣加藤景廉(1156-1221)。1195 年，加藤家族改姓远山，以此致敬惠那山。惠那山是位于中津川市南面的一座高峰，海拔 2191 米，在当时也被称为“远山”，即“遥远的高山”，现已被列入了“日本百大名山”。1526 年，远山家族选择高森山作为城郭建造地。这里有利于更好地控制木曾川和中山道的要冲——木曾及飞驒（音同“驼”）两个地区，同时扩大家族在美浓国（今岐阜县南部；“国”是日本古代行政区划，有别于“国家”）东部地区的影响力。

乱世之中求生存

1526 年，远山昌利（生卒年不详）修建苗木城，并将其作为苗木藩的行政中心。织田家族与远山家族关系密切，因此，在与甲斐国（今山梨县）武田家族的对抗中，苗木城被视为一道重要防线。

织田信长(1534-1582)是“日本战国三杰”中的第一人，正是“三杰”终结了日本战国时代(1467-1568)，统一了全国。然而，织田信长在京都的“本能寺之变”中遭亲信明智光秀(1528-1582)杀害，丰臣秀吉(1537-1598)随即谋划接掌其势力，统一日本。远山家族没有宣誓效忠丰臣秀吉，以至于在后者麾下武将森长可(1558-1584)的攻击下被迫放弃了苗木城。

森家族任命河尻秀长(?-1600)为苗木城城主，远山家族则逃到尾张国（今爱知县西部），投靠了德川家康(1543-1616)。1600 年，德川家康发动关原之战，击败丰臣秀吉及其联盟军，最终统一了全日本。就在大战前夕，德川家康派远山家主远山友政(1556-1620)前去收复苗木城及其从前的家族领地。当时的苗木城主河尻秀长战死于关原之战，德川家康便在战争胜利后将苗木城及其下辖藩地赐还给远山友政。自此以后，远山家族连续 12 代统治着苗木藩，直至 1871 年政体变革才被剥夺了权力。

和平时代的统治

在和平的江户时代(1603-1867)，人们更加青睐交通便利的平城（平地城郭），许多山城（山上城郭）被废弃。远山家族却抵挡住了这份诱惑，坚守在家族世代修建的苗木城中。江户时代的中津川是一处重要的交通枢纽，它紧邻木曾川，也是连接江户（今东京）与京都的五条主干道之一“中山道”上的第 45 个宿场町（驿镇）。苗木藩掌控着尾张国与美浓国之间的水、陆双重交通线，战略地位相当重要。

苗木藩是拥有城郭的最小藩国之一，石高*大致为年产稻米1万石（石，音同“但”；约合 150 万公斤）。“石”是称量粮食的容积单位，德川幕府时代以大米的石数作为衡量土地赋税价值的基准。理论上，一石（约合 150 公斤大米）稻米可供一人全年食用。

※石高：日本近代封建社会以土地的标准粮食产量为基准核定藩国大小的制度。

一个时代的终结

作为最贫穷的藩国之一，苗木藩始终面临着严峻的财政困境，种植的稻米总是难以满足自身所需。1871 年苗木城被拆除时，拆下的木料和其他有价值的物品都被拍卖，用以偿付藩国的大量债务。

<繁体字>

苗木城的歷史與遠山家

1868 年日本啟動明治維新，實施「廢藩置縣」政策，苗木藩（今岐阜縣南部部分地區）遭廢除。在此以前，苗木城一直都是遠山家的大本營。遠山家原姓加藤，其血脈可追溯至鎌倉幕府（1185-1333）創建者源賴朝（1147-1199）的家臣加藤景廉（1156-1221）。1195 年，加藤家改姓遠山，以致敬位於中津川市南方的惠那山——海拔 2191 公尺的高峰。過去這座山也被稱為「遠山」（意指遙遠的高山），如今已被列入「日本百大名山」。1526 年，遠山家選定了高森山作為建城之地。此處有利于更有效地掌控木曾川與中山道的要衝——木曾與飛驒（音同「駝」）兩個地區，同時進一步擴大遠山家在美濃國（今岐阜縣南部；「國」為日本古代行政區劃，與現代國家不同）東部地區的勢力。

亂世之中求生存

1526 年，遠山昌利（生卒年不詳）建造苗木城，把它作為苗木藩的行政中心。織田家與遠山家關係密切，因此，在與甲斐國（今山梨縣）武田家的對峙中，苗木城成為一道重要防線。

織田信長（1534-1582）是「日本戰國三傑」之首，正是這三位武將終結了日本戰國時代（1467-1568），完成了統一全國的使命。然而，織田信長在京都「本能寺之變」中遭親信部下明智光秀（1528-1582）弑害，豐臣秀吉（1537-1598 年）隨即謀劃接掌其勢

力，統一日本。遠山家並未宣誓效忠豐臣秀吉，以至於遭豐臣秀吉的部將森長可（1558-1584）進攻，被迫放棄苗木城。

森家任命河尻秀長（?-1600）為苗木城城主，遠山家則逃往尾張國（今愛知縣西部），投靠德川家康（1543-1616）。1600年，德川家康發動關原之戰，擊敗豐臣秀吉及其聯盟軍，最終統一了全日本。就在大戰前夕，德川家康派遠山家主遠山友政（1556-1620）奪回苗木城及從前的家族領地。當時的苗木城主河尻秀長戰死於關原之戰，德川家康隨後將苗木城及其下轄藩地歸還給遠山友政。此後，遠山家共傳承了12代，統治苗木藩直至1871年政體更迭為止。

和平時代的統治

進入和平的江戶時代（1603-1867）後，交通便利的平城（平地城郭）更受青睞，許多山城（山上城郭）被廢棄。但遠山家沒有受到誘惑，繼續堅守在家族世代建造的苗木城中。當時的中津川為一處重要的交通樞紐，緊鄰木曾川，亦是連結江戶（今東京）與京都的五條主幹道之一「中山道」上的第45個宿場町（驛站小鎮）。苗木藩掌握著尾張國與美濃國間的水陸交通雙路徑的命脈，戰略地位相當顯要。

苗木藩是擁有城郭的最小藩國之一，其石高*約為1萬石（石，音同「但」），即年產稻米約150萬公斤。「石」是以容積計量糧食的單位，德川幕府時代以稻米的石數作為衡量土地賦稅價值的基準。理論上，一石（約150公斤）稻米可供一人一年食用。

※石高：日本近代封建社會依土地的標準糧食產量核定藩國大小的制度。

一個時代的終結

作為最貧困的藩國之一，苗木藩始終深陷嚴峻的財政困境，稻米產量總是難以自給。1871年苗木城拆除時，拆下的木材與其他有價物資皆被拍賣，用以償還藩國積欠的龐大債務。

<日本語仮訳>

苗木城の歴史と遠山氏

苗木城は、1868年の明治維新の影響で苗木藩（現在の岐阜県南部の一部）が「廃藩置県」の政策のもと廃止になるまで、遠山氏の本拠地だった。一族の元々の姓は加藤で、鎌倉幕府を開いた源頼朝（1147-1199）の家臣、加藤景廉（1156-1221）にまで遡る。中津川市の南にある標高2,191メートルの恵那山にちなんで、一族が遠山姓を名乗るようになったのは1195年のことである。当時、恵那山は遠山と呼ばれており、いまは「日本百名山」のひとつに選ばれている。1526年、一族は木曾川と中山道の要衝に位置する木曾・飛騨地方を支配し、美濃国（現在の岐阜県南部）

ここの「国」は古代日本の行政区画であり、いまの「国家」とは異なる）東部に影響力を拡大するため、高森山を城地に選んだ。

戦乱の世を生き抜く

1526年、遠山昌利（生没年不詳）は苗木藩の行政の中心として苗木城を築いた。織田氏と遠山氏は密接な関係にあり、苗木城は敵対する甲斐国（現在の山梨県）の武田氏に対する重要な防衛拠点と考えられていた。

織田信長（1534-1582）は、天下を統一し、戦国時代（1467-1568）に終止符を打った「戦国三英傑」の筆頭である。信長が京都の本能寺で信頼する武将、明智光秀（1528-1582）に討たれた後、豊臣秀吉（1537-1598）は信長の後継者として天下統一を目指した。秀吉に忠誠を誓わなかった遠山氏は、秀吉の武将、森長可（1558-1584）によって城を追われた。

森氏は河尻秀長（?-1600）を城主として据え、遠山氏は逃げのびて尾張国（現在の愛知県の西部）の徳川家康（1543-1616）の元に身を寄せた。家康はやがて1600年の関ヶ原の戦いで秀吉とその同盟軍に挑み、天下統一を成し遂げる。その直前、家康は苗木城と旧遠山領を奪還するため、当主であった遠山友政（1556-1620）を派遣した。関ヶ原の戦いで城主河尻は戦死し、家康の勝利が明らかになった後、苗木城と領地は友政に与えられた。以後、1871年に体制が変わり権力を失うまで遠山氏が12代に渡り苗木藩を治めた。

平和な時代の統治

平和な江戸時代（1603-1867）には、多くの山城が廃城となり、もっとアクセスしやすい平城が好まれた。遠山氏はこの移動の誘惑に負けず、代々築いた城を守り続けた。江戸時代における中津川は交通の要所だった。木曾川に隣接し、江戸（現在の東京）と京都を結ぶ五街道のひとつ、中山道の45番目の宿場だった。尾張国と美濃国を結ぶ陸路と川路の両方を支配していたため、この領地は戦略的に重要だった。

苗木は、城を持つ藩としては最小の藩のひとつであり、藩の石高[※]は1万石（約150万キロ）と比較的控えめであった。「石」とは米穀を測る単位で、徳川幕府が米の石高で課税のために地価を決定するために使われた。1石（およそ米150キロ）相当）は理論上ひと1人が1年間食べるのに十分な米の量とされていた。

※石高：日本の近世封建社会で、土地の米穀の収穫量で藩の所領などの量を示す制度。

時代の終わり

最も貧しい藩のひとつであった苗木藩は、厳しい財政状況に直面し、藩を支えるのに十分な量の米を作るのに苦労した。1871年に廃城となり、木材やその他の価値のあるものは競売にかけられ、藩の累積債務の返済に充てられた。

【タイトル】 苗木城跡：赤壁城伝説

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木城遗址：赤壁城的传说

江户时代(1603-1867)，许多天守（城郭核心的多重塔楼）的外墙上都会出于美观和防火的考虑而刷上白色灰泥。然而，苗木城却因外墙表面裸露的红色粘土而被称作“赤壁城”。只是这些城墙如今都不复留存，令人无从目睹它们昔日的风貌。

“赤壁城”这个名字里还藏着一个传说。相传，这座城郭的红土城墙表面最初也曾刷过白灰泥。但某天晚上，暴风雨袭来，肆虐了一夜，次晨便只见白色的灰泥墙皮被冲刷殆尽，露出了下面的红色粘土。风雨停歇后，人们重新为城墙刷上了更加厚实的白灰泥粉，苗木城回归白色面貌。然而，乌云又至，电闪雷鸣中暴雨拍打着城郭，一条龙自城郭脚下的木曾川中腾空而起，盘绕到城上，挥动利爪刮去了白色灰泥。神龙退去后，人们决定保留红土城墙。

而实际上，这个故事或许是为了掩盖远山家族的困窘——迫于拮据的财政状况，他们很可能无力承担粉刷灰泥城墙的费用。

<繁体字>

苗木城遺址：赤壁城的傳説

在江戶時代（1603-1867），出於美觀和防火考慮，許多天守（城郭核心的多重塔樓）的外牆上都會刷上白色灰泥。然而，苗木城卻因外牆表面裸露的紅色粘土而被稱作「赤壁城」。只是如今這些城牆都不復存在了，人們沒辦法再目睹其往日風貌。

「赤壁城」這個名字裡還藏著一個傳説。相傳，這座城郭的紅土城牆表面一開始也曾刷過白灰泥，但某天晚上，暴風雨襲來，肆虐了一夜，第二天早晨就見白色的灰泥牆皮被沖刷殆盡，露出了下面的紅色粘土。人們在風雨停歇後重新為城牆塗上了更加厚實的白灰泥粉，讓苗木城再次回歸白色面貌。然而，烏雲又至，電閃雷鳴中，暴雨拍打著城郭。此時，一條龍從城郭腳下的木曾川中騰空而起，盤繞到城上，揮動利爪刮去了白色灰泥。神龍退去後，人們決定保留紅土城牆。

但事實上，財政拮据的遠山家當時很可能已經無力承擔粉刷灰泥城牆的費用，而這個故事，也許只是為了掩蓋遠山家的困窘罷了。

<日本語仮訳>

苗木城跡：赤壁城伝説

江戸時代（1603-1867）の天守（城郭の中枢部に建てられた多層の櫓建築）の多くは、美観と耐火のために白漆喰で覆われた壁があった。しかし、苗木城は壁を覆っていた剥き出しの土の色から「赤壁城」と呼ばれた。現在、かつての姿を思い起こさせるような、それらの壁はひとつも保存されていない。

この名前には伝説がある。伝えられているところによれば、城の赤土の壁には、もともと白漆喰が塗られていた。ある夜、激しい嵐が吹き荒れ、一晩中荒れ狂った。翌朝、城の住人が目を覚ますと、壁の白漆喰が剥がれ落ち、その下の赤土が見えていた。その後、壁はさらに厚く塗り直され、再び白壁の城となった。しかし、黒雲が戻り、雷が鳴り響き、雨が城に打ちつけた。城のふもとの木曾川から龍が現れ、城に巻きつき、白漆喰を爪で削り取った。龍が去った後、赤土の城壁はそのまま残すことになった。

実際には、遠山氏の財政が逼迫して壁に漆喰を塗る余裕がなかったことを隠すために、このような話が作り出されたのかもしれない。

【タイトル】 苗木城跡の四季の見どころ

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木城遗址的四季风光

在通往天守观景台（天守是城郭核心的多重塔楼）的小路上，可将木曾川、惠那山（2191 米，“日本百大名山”之一）、富士见台高原（1739 米）和旧中山道的现存路段尽收眼底。这里四季皆景，各有千秋。

春天，附近的苗木樱花公园里，大约有 700 株樱花树竞相绽放，从 4 月上旬到中旬，粉色的樱花铺满山坡。夏日，绿色草木青翠繁盛，从灰色的山石与石壁残垣间跃然而出，分外鲜活。

秋天的美景更多，11 月红叶绚烂；到了晚秋时节，当木曾川上升腾起浓浓的晨雾，苗木城便好似漂浮在云端一般，宛若古老民间传说中的一景，本地人也因此称它为“霞之城”。晴朗的冬日里，惠那山和北方处长野县的群山白雪皑皑，将岩石城郭的轮廓勾勒得分外醒目。

<繁体字>

苗木城遗址的四季风光

在前往天守观景台（天守是城郭核心的多层塔楼）的小径上，可眺望木曾川、惠那山（2191 公尺，「日本百大名山」之一）、富士见台高原（1739 公尺），以及现存的旧中山道路段。四季更迭之下，各有其独特的景致。

春季，邻近的苗木樱花公园里，约有 700 株樱花树陆续盛开，从 4 月上旬至中旬，粉红色花海覆盖整座山坡。夏天，绿意盎然的草木在灰色山石与残垣断壁的衬托下，显得生机勃勃。

秋季的景致更加缤纷。11 月枫红灿烂；进入深秋时，当木曾川上升起浓雾，苗木城宛如漂浮于云端，让人想起古老的民间故事，因此被当地人称为「霞之城」。在晴朗的冬日，远处长野县的群山与惠那山积雪皑皑，将岩石城郭的轮廓勾勒得格外醒目。

<日本語仮訳>

苗木城跡の四季の見どころ

天守展望台（天守とは城郭の中枢部に建てられた多層の櫓建築を指す）へと登る道からは、木曾川、日本百名山の恵那山（標高 2,191m）、富士見台高原（標高 1,739m）、旧中山道の現存区間など、心奪われる風景が一望できる。四季折々の景色が楽しめる。

隣接する苗木さくら公園では、春には約 700 本の桜が咲き誇り、4 月上旬から中旬にかけて山肌をピンク色に染める。夏には、山の灰色の石と石造りの城壁に鮮やかな緑が映える。

秋の見どころは、11 月の鮮やかな紅葉と、晩秋には木曾川から濃い朝霧が流れ込み、城が雲海に浮かんでいるように見えることだ。古くから伝わる民話を連想させることから、地元住民には「霞ヶ城」と呼ばれている。冬の晴れた日には、冠雪した恵那山や北の遠方に連なる長野県の山々を背景に、岩だらけの城郭が大胆なシルエットを描く。

【タイトル】 苗木城城壁の石垣

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木城的城墙石垣

苗木城建筑的最大特点在于山体天然花岗岩巨石与人造石墙的巧妙结合。在大矢仓等遗址处，石垣与它们脚下的天然岩石紧密嵌合。遗址各处展示了城郭历史上使用的多种石垣砌筑技艺。巨岩上凿刻出的柱洞和凹槽则告诉后人，城门与櫓（塔楼）的立柱是如何插入表面凹凸不平的岩石中并牢牢支撑上部建筑的。

自安土桃山时代(1573-1600)以来，日本的城郭多以高大的石垣为特征。而在此之前，大多数城郭都是采用土垒和护城河防护工事的木构堡垒。

苗木城遗址内主要可以见到四种不同工艺的石垣，均建造于不同时期。

毛面砌法（天然毛石砌墙工艺）

这种石垣建筑手法在日文中被称为“野面积”，就是将尺寸各异且未经加工的天然石材堆砌成直线坡面。这种工艺常见于日本战国时代(1467-1568)，那是一个战乱纷起、各地方势力不断分分合合的时代。应用毛面砌法建造的石垣虽然看起来有些粗糙，却十分坚实牢固。苗木城的绵藏门和玄关口都是这类石垣的经典范例。

打入连接砌法（粗料石砌墙工艺）

第二种类型的石垣建造方法是将简单切削加工过的大块石料堆砌起来，再使用小块石头填塞空隙。这类石垣的墙面多呈弧形坡面，越接近顶端坡面越陡峭。在北门和大矢仓可以看到这类石垣。

切入连接砌法（细料石砌墙工艺）

第三种石垣墙面光洁平整，所用石料均经过精细的凿切打磨，拼接严丝合缝。这种工艺自江户时代(1603-1867)早期以后便十分常见，大矢仓和天守（城郭核心的多重塔楼）遗址处都提供了很好的样本。

菱形砌法（对角线砌墙工艺）

第四种砌墙工艺日文称“谷积法”，是将表面简单打磨过的石料斜向堆砌，形成一排“V”形。第二排石料就嵌在这些“V”形下凹处。直至昭和时代(1926-1989)，这种工艺都还曾广泛用于道路建设。这类石垣可在山脚的“足轻长屋”（最下层的日本武士在进入城郭前等待报到的地方）遗址附近和通往二之丸（城郭二级区域）的路边看到。

<繁体字>

苗木城的城牆石垣

山體天然花崗巨岩與人造石牆的巧妙結合，是苗木城建築的最大特點。在大矢倉等遺址，人們可以看見石垣與它們腳下的天然岩石緊密地嵌合在一起。遺址各處展示了城郭歷史上使用的多種石垣砌築技藝。巨岩上鑿刻出的柱洞和凹槽則告訴後人，城門與櫓（塔樓）的立柱是如何插入表面凹凸不平的岩石中，並牢牢支撐上部建築的。

自安土桃山時代（1573-1600）以來，日本的城郭多以高大的石垣為特徵，而在此之前，大多數城郭都是採用了土壘和護城河防護工事的木構堡壘。

苗木城遺址內主要可以見到分別建造於不同時期的四種不同工藝的石垣。

毛面砌法（天然毛石砌牆工藝）

將尺寸各異且未經加工的天然石材堆砌成直線坡面，這種石垣建築手法在日文中被稱為「野面積」，常見於日本戰國時代（1467-1568），那是一個戰亂紛起、各地方勢力不斷分割融合的時代。應用毛面砌法建築的石垣雖然看起來有些粗糙，卻十分堅實牢固。在苗木城的綿藏門和玄關口都能看到這類石垣的經典範例。

打入連接砌法（粗料石砌牆工藝）

第二種類型的石垣建造方法是將簡單切削加工過的大塊石料堆砌起來，再以小塊小塊石頭填塞空隙。這類石垣的牆面多呈弧形坡面，越接近頂端坡面越陡峭。在北門和大矢倉可以看到這類石垣。

切入連接砌法（細料石砌牆工藝）

第三種石垣所用石料均經過精細的鑿切打磨，拼接嚴絲合縫，因此牆面光潔平整。這種工藝在江戶時代（1603-1867）早期之後十分常見，大矢倉和天守（城郭核心的多重塔樓）遺址處都提供了極佳的實例。

菱形砌法（對角線砌牆工藝）

第四種砌牆工藝將表面簡單打磨過的石料斜向堆砌，形成一排「V」形，第二排石料就嵌在這些「V」形下凹面裡。這種方法在日文中稱「谷積法」，直至昭和時代（1926-1989），谷積法都還曾廣泛用於道路建設。這類石垣可在山腳的「足輕長屋」（最下層的日本武士在進入城郭前等待報到的地方）遺址附近和通往二之丸（城郭二級區域）的路邊看到。

<日本語仮訳>

苗木城城壁の石垣

苗木城の最大の特徴は、山の自然の花崗岩の巨石としっかりした造りの石垣を巧みに組み合わせ利用していることである。大矢倉などの跡では、石垣がその下にある自然の岩石層に密着している。城跡のさまざまな場所で、城の歴史を通じて使用されたさまざまな石垣技術の例を見ることができる。大きな岩に刻まれたくい穴やくぼみは、門や櫓の支柱が凹凸のある表面にどのようにしてしっかりとほり支えるように作られたかを示している。

大きな石垣は、安土桃山時代（1573-1600）以降、日本の城の一般的な特徴となっている。それまでは、土塁と堀を持つ木造の城郭がほとんどだった。

城跡の敷地の周囲には、時代ごとに築かれた4種類の石垣が見られる。

野面積（自然石の手法）

日本語で「野面積」と呼ばれるこの方法では、大小さまざまな自然石を積み上げ、大抵は直線勾配をつけた石垣をつくる。戦国時代（1467-1568）、すなわち常に同盟関係が変化し地方の武将一族の間で対立があった時代にこの技術がよく用いられた。この石積みは洗練された見た目ではないが、この種の石垣は耐久性に優れている。この手法の良い例が綿蔵門や玄関口で見ることができる。

打込接（大まかに仕上げされた石垣）

二つめの種類の石垣は、大まかに仕上げされた大きい石と小さな石の隙間を埋めることによって作られたものである。これらの石垣は曲線的な上り勾配で、頂上付近から徐々に急勾配になっている。北門や大矢倉にその例がある。

切込接（精巧に仕上げされた石垣）

三つめの種類は、ノミで精巧に仕上げた石で造られた、表面が滑らかな石垣である。この方法では隙間なくきちんと合わさった石垣が造られる。この技法は江戸時代（1603-1867）初期以降に一般的だったもので、大矢倉や天守（城郭の中枢部に建てられた多層の櫓建築）がその良い例である。

谷積（斜めに積み上げた石垣）

四つめの方法は日本語で「谷積」と呼ばれ、表面を大まかに仕上げた石が斜めに積まれ、V字を形作っている。このV字に次の石列をはめ込んでいく。これは、昭和（1926-1989）までは道路建設

にも使われたポピュラーな技法だった。この種類の石垣は、足軽長屋（最下級の武士が城に出頭するために立ち寄る建物）跡の近くや二の丸（城の二番目に重要な空間）への道に沿って見ることができる。

【タイトル】 苗木城跡からの眺望

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木城遗址的观景之选

下列地点可远眺壮丽景色，是苗木城遗址中的热门观景地。

天守观景台

站在此处放眼南望，中津川市城区、木曾川、古老的旧中山道、名列“日本百大名山”的惠那山（2191米）尽在眼前。

笠置矢仓遗址

此处遗址上曾有一座櫓（塔楼），可眺望笠置山（1128米）。

物见矢仓遗址

在面对木曾川的断崖之巅，曾矗立着一座櫓，从这里可将中津川市周遭群山和雄伟的城山大桥尽收眼底。城山大桥建成于1984年，横跨位处苗木城遗址西侧的木曾川。

千石井户

这口井位于通往天守观景台的道路脚下。从这里向西望去，可以远观大矢仓遗址，秋季红叶簇拥塔楼的景象尤为壮丽。道路继续向右侧延伸，一直上行至位于城郭核心区域“本丸”内的天守（城郭核心的多重塔楼）遗址。

足轻长屋遗址

位于苗木城脚下的“足轻长屋”（最下层的日本武士在进入城郭前等待报到的地方）遗址是最受欢迎的城郭观赏点之一。从这里抬头远眺，在惠那山的背景衬托下，天守曾经矗立的山顶展现出非同寻常的卓然风姿。

<繁体字>

苗木城遗址的观景之选

如下各處都能夠遠眺壯麗景色，是苗木城遺址中的熱門觀景點。

天守觀景台

站在這裡放眼南望，中津川市城區、木曾川、古老的舊中山道、名列「日本百大名山」的惠那山（2191 公尺）盡在眼前。

笠置矢倉遺址

這處遺址上曾有一座櫓（塔樓），可眺望笠置山（1128 公尺）。

物見矢倉遺址

曾經有一座櫓矗立在面對木曾川的斷崖之巔，在這裡可將中津川市周遭群山和雄偉的城山大橋盡收眼底。城山大橋建成於 1984 年，橫跨位處苗木城遺址西側的木曾川。

千石井戸

這口井位於通往天守觀景台的道路腳下。從這裡向西望去，可以遠觀大矢倉遺址，每逢秋季，紅葉簇擁塔樓的景象尤為壯麗。道路繼續向右側延伸，一直上行即可抵達城郭核心區域「本丸」內的天守（城郭核心的多重塔樓）遺址。

足輕長屋遺址

從苗木城腳下的「足輕長屋」（最下層的日本武士在進入城郭前等待報到的地方）遺址抬頭遠望，在惠那山的背景襯托下，天守曾經矗立的山頂展現出非同尋常的卓然風姿。這裡也是最受歡迎的城郭觀賞點之一。

<日本語仮訳>

苗木城跡からの眺望

苗木城では、魅力的な眺めから以下のような場所が人気である。

天守展望台

展望台から南には、中津川市街地、木曾川、旧中山道、日本百名山のひとつに数えられる恵那山（標高 2,191m）などが一望できる。

笠置矢倉跡

笠置山（標高 1,128m）の眺望が楽しめる櫓の跡地。

物見矢倉跡

木曾川に面した断崖にかつて建っていたこの櫓からは、中津川の周囲の山々や城の西側の木曾川にかかる 1984 年に完成した城山大橋を一望できる。

千石井戸

天守展望台へ続く道の下にある井戸。このスポットからは西に見える、特に秋に紅葉に包まれる大矢倉が印象的だ。その道は右手、城の最も重要な空間である本丸の中にある天守（城郭の中核部に建てられた多層の櫓建築）跡へと続く。

足軽長屋跡

城を眺めるのに最も人気のある場所のひとつが、城の麓にある足軽長屋（最下級の武士が城に出頭するために立ち寄る建物）跡だ。ここからは、恵那山を背景に、かつて天守があった山頂が一望できる。

【タイトル】 苗木遠山史料館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木远山史料馆

苗木远山史料馆的展厅内陈列着大量来自苗木藩的文物。展览追溯了该藩自日本战国时代(1467-1568)经江户时代(1603-1867)直至明治时代(1868-1912)初期的历史，重点聚焦于远山家族及其连续执政的 12 代藩主。

苗木城全景模型

这个三维全景模型重现了江户时代末期的苗木城风貌。模型精细地刻画了当初这座大型城郭中的各色建筑，同时呈现出城郭的整体布局——木曾川自城南外流过，天守（城郭核心的多重塔楼）高踞高森山顶。

风吹门

风吹门是苗木城唯一留存至今的木构建筑物。它位于从城下町（围绕城郭发展起来的市镇）进入城郭最外圈区域“三之丸”的入口处。江户时代，德川幕府实行“参勤交代”制度，要求所有藩主在江户（今东京）保留一处固定居所，每隔一年必须交替在领地和江户居住，侍奉幕府将军。就苗木城而言，藩主在时，风吹门始终开放，而当他前往江户时就会关闭。

德川秀忠的亲笔书信

史料馆中保留着两封德川幕府第二代将军德川秀忠(1579-1632)写给远山友政(1556-1620)的亲笔书信。第一封是对远山友政赠送的一箱干栗子表示感谢，这种干栗子是苗木藩本地的一种小甜点，名叫“胜栗”。其实原本应该是“捣栗”，表示剥了壳的栗子肉，只是日文中“捣”和“胜”同音，为求吉利便取了“胜”字。因此，它们常常被当作战争时期的赠礼或保佑战斗取胜的护身符。这封书信就是在 1600 年关原之战前后收到的，在这场战役中，德川家康(1543-1616)军打败了石田三成(1560-1600)率领的军队，为德川幕府的建立铺平了道路。第二封信是对于远山友政所赠夏季衣物的致谢。

大名的日记

苗木藩第 12 代藩主远山友禄(1819-1894)的日记详细记录了江户时代大名（大领主）的日常生活。从日记中可以看出，当时藩主的起居行动会受到种种风俗成法和责任义务的严格制约。

射击场

苗木城中曾有两处射击场，主要用于弓箭和铁炮（枪械）训练。其中一处位于二之丸（城郭二级区域），另一处位于本丸（城郭核心区域）。二之丸的射击场长约 30 米，宽约 15 米，也被用作剑术、枪术（长矛）和射击术的练习场。

内郭间取绘图

这是一张苗木城的内城大型布局图，于 1857 年奉城主远山友禄之命绘制而成。此图十分珍贵，为后世完整留存了江户时代晚期苗木城的样貌。

武士的俸禄

这块展板上列出了享保 7 年（1722 年）苗木藩的 323 名家臣，品级上至家老（大名家臣中的高官，总揽藩政）下至足轻（步兵）。藩主每年两次向家臣发放俸禄，具体金额依各人品级地位而定。

农民的年贡

这本帐簿里记录了苗木藩农民缴纳的年贡明细。征缴税率随各村生产力而异，产量较低的村庄税率为 15%，较高的则可达到 58%，平均税率在 29%左右。

动荡的时代

德川幕府的终结迫使苗木藩进入了动荡的时期。明治新政府实施“废藩置县”的改革，废除了旧时的藩国制度。而“神佛判然令”的颁布更在苗木藩激起了一场相当激进的“废佛毁释”运动。

苗木藩的废佛毁释

1870 年，苗木藩境内贯彻了一项“废佛毁释”政策，大量佛寺、佛像、佛经以及相关物品被拆除或焚毁。通常认为，这是受到了藩内平田派“国学”（研究日本固有文化的学问）的强烈影响。明治政府奉神道教为国教，这一政策激发了全国性的反佛情绪。史料馆二楼的展品中包括了在那一时期受损的地藏菩萨像和其他佛教文物。

<繁体字>

苗木遠山史料館

苗木遠山史料館的展廳內陳列著大量來自苗木藩的文物。展覽內容涵蓋該藩自日本戰國時代（1467-1568）經江戶時代（1603-1867）直至明治時代（1868-1912）初期的歷史，重點聚焦在遠山家及其連續執政的 12 代藩主身上。

苗木城全景模型

這個 3D 全景模型重現了江戶時代末期的苗木城風貌，精細地刻畫了當初這座大型城郭中的各色建築，同時展現了城郭的整體布局——木曾川自城南外流過，天守（城郭核心的多重塔樓）高踞高森山頂。

風吹門

風吹門是苗木城唯一留存至今的木構建築物，它位於從城下町（圍繞城郭發展起來的市鎮）進入城郭最外圈區域「三之丸」的入口處。江戶時代，德川幕府實行「參勤交代」制度，要求所有藩主在江戶（今東京）保留一處固定居所，每隔一年必須交替在領地和江戶居住，侍奉幕府將軍。苗木城的藩主在時，風吹門始終開放；當藩主前往江戶時，門就會關閉。

德川秀忠的親筆書信

史料館中保留著兩封德川幕府第二代將軍德川秀忠（1579-1632）寫給遠山友政（1556-1620）的親筆書信。第一封是對遠山友政所贈送的一箱栗子表示感謝，這是苗木藩當地的一種小甜點，名叫「勝栗」。其實原本應該是「搗栗」，表示剝了殼的栗子肉，只是日文中「搗」與「勝」同音，為求吉利，才取了「勝」字。因此，它們常常被贈予對方當作戰爭時期的禮物或保佑戰鬥取勝的護身符。這封書信就是在 1600 年關原之戰前後收到的，在這場戰役之中，德川家康（1543-1616）率軍打敗了石田三成（1560-1600）的軍隊，爾後建立了德川幕府。第二封信是對於遠山友政所贈夏季衣物的致謝。

大名的日記

苗木藩第 12 代藩主遠山友祿（1819-1894）的日記詳細記錄了江戶時代大名（大領主）的日常生活。從中可以看出，當時藩主的起居行動受到了各種風俗成法和責任義務的嚴格制約。

射擊場

苗木城中曾有兩個射擊場，主要用於弓箭和鐵炮（槍械）訓練。一個位於二之丸（城郭二級區域），另一個位於本丸（城郭核心區域）。二之丸的射擊場長約 30 公尺，寬約 15 公尺，也被用作劍術、槍術（長矛）和射擊術的練習場。

內郭間取繪圖

這是一張苗木城的內城大型布局圖，於 1857 年奉城主遠山友祿之命繪製而成。由於它完整保留了江戶時代晚期苗木城的樣貌，因此價值極高。

武士的俸祿

這塊展板上列出了享保 7 年（1722 年）苗木藩的 323 名家臣。這些家臣的品級上至家老（大名家臣中的高官，總攬藩政），下至足輕（步兵）。藩主每年兩次向家臣發放俸祿，依各人品級地位不同，俸祿的具體金額也不一。

農民的年貢

這本帳簿裡記錄了苗木藩農民繳納的年貢明細。徵繳稅率隨各村生產力而不同，產量較低的村莊稅率為 15%，較高者可達到 58%，平均稅率在 29% 左右。

動盪的時代

德川幕府終結後，苗木藩進入動盪時期。明治新政府實施「廢藩置縣」改革，廢除了舊時藩國制度。然而，「神佛判然令」的頒布卻在苗木藩激起了一場相當激進的「廢佛毀釋」運動。

苗木藩的廢佛毀釋

在 1870 年，苗木藩境內貫徹了一項廢佛毀釋的政策，大量佛寺、佛像、佛經以及相關物品被拆除或焚毀，人們認為這可能是受到了藩內平田派「國學」（研究日本本土文化的學問）的強烈影響。明治政府奉神道教為國教，這一政策進而引發了全國性的反佛情緒。史料館二樓的展品中，便有在那一時期受損的地藏菩薩像和其他佛教文物。

<日本語仮訳>

苗木遠山史料館

この史料館の展示室には苗木藩ゆかりの豊富な品々を展示している。戦国時代（1467-1568）から江戸時代（1603-1867）、明治時代（1868-1912）初期にかけての藩の歴史

を、遠山氏一族と 12 代の歴代領主を中心に展示している。

苗木城のジオラマ

江戸時代末期の苗木城の姿を立体的に表現したジオラマ。かつての大城郭を構成していた様々な建造物の詳細な姿や、南側に木曾川、高森山頂に天守（城郭の中枢部に建てられた多層の櫓建築）という城の配置を見ることができる。

風吹門

風吹門は、保存されている苗木城で唯一のオリジナルの木製の建造物である。城下町（城郭を中心に発達した都市）から一番外側の郭「三の丸」への入口に建っていた。江戸時代、徳川幕府は「参勤交代」制度を実施しており、大名は江戸（現在の東京）に屋敷を構え、隔年で領地と江戸に住み、将軍に仕えることを義務づけられていた。風吹門は、大名が苗木にいるときは開いていたが、江戸に出仕しているときは閉じられていた。

徳川秀忠からの直筆書簡

二代将軍徳川秀忠（1579-1632）が遠山友政（1556-1620）に宛てた 2 通の書状が残されている。最初の手紙は、「勝栗」と呼ばれる土地のお菓子、干し栗を一箱送ってくれたことへの友政に対するお礼である。日本語で「搗ち栗」は殻を剥いた栗のことを指すが、「搗ち」と「勝ち」は同音異義語であるため、「勝栗」と呼ばれるようになり、戦時中の贈答品や戦勝祈願の幸運のお守りとして贈られることが多かった。徳川家康（1543-1616）率いる軍勢が石田三成（1560-1600）率いる軍勢を破り、徳川幕府成立への道を開いた 1600 年の関ヶ原の戦いの頃に、この手紙は届いた。2 通目の書簡は、友政が夏物の衣を贈ったことに感謝する内容である。

大名の日記

12 代苗木藩主遠山友禄（1819-1894）の日記には、江戸時代の大名の日常生活が詳細に記されている。記載を見ると、藩主の日常生活が、さまざまなしきたりや責務によって徹底して制限されていたことがわかる。

的場

苗木城内には、弓や鉄砲を練習するための的場が 2 つあった。ひとつは二の丸（城の二番目に重要な空間）にあり、もうひとつは本丸（城の最も重要な空間）にあった。二の丸の的場は長さ約 30 メートル、幅約 15 メートル。剣術、槍術、射撃の練習にも使われた。

内郭間取絵図

1857 年に遠山友禄が描かせた苗木城の内郭の大型間取り図。江戸時代後期の苗木城の姿を描いた貴重な絵図である。

武士の俸禄

享保7年（1722）当時の苗木藩の323の家臣をまとめたパネル。家臣の階級は家老（大名の家臣中、藩政を総括した者藩政を総括する最高の職制）から足軽（歩兵）までに及ぶ。藩主は家臣に年2回、身分に応じて俸禄を支払い、その額は家臣の身分によって異なっていた。

農民の年貢

この台帳は苗木藩の農民の年貢を記録したものである。税率は村の生産力によって異なり、生産量の低い村は15%、高い村は58%。平均は約29%であった。

動乱の時代

徳川幕府の崩壊後、苗木藩では動乱の時代となった。明治新政府は既存の藩制度を廃止する「廃藩置県」改革を行った。「神仏判然令」が発布されたことで、苗木藩ではかなり積極的な「廃仏毀釈運動」が起こった。

苗木藩と廃仏毀釈

1870年、苗木藩は領内の仏教寺院、仏像、経典、美術品などを破壊・焼却する「廃仏毀釈」政策を実施した。これは、藩内に平田派の「国学」（日本固有の文化を究明する学問）が強く影響していたためと考えられている。明治政府は神道を国教とし、その政策は日本中の反仏教感情を煽った。2階には、壊れた地蔵や、この時代に破損したその他の仏教美術品が展示されている。

【タイトル】 苗木遠山史料館の来館情報

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

苗木遠山史料館參觀指南

苗木遠山史料館位於苗木城遺址山腳下，於 1990 年 11 月開館營業，主要搜集和展出以遠山家族為核心的相關歷史、文化資料。遠山家族歷代均為苗木藩主，其統治自日本戰國時代(1467-1568)開始，貫穿整個江戶時代(1603-1867)，直至進入明治時代(1868-1912)後，於 1871 年才徹底終止。

史料館一樓展厅提供有關苗木藩和苗木城歷史、文化的詳細介紹。展品包括城郭的全景展示模型以及“風吹門”的建築框架、門扉等。風吹門是城郭僅存的木構建築物。

二樓展厅圍繞着“苗木藩與佛教”主題展開，追溯了 1868 年明治維新前後佛教觀念與實踐的變遷。

史料館藏品中還包括遠山家族歷代藩主使用過的甲冑、武器，以及苗木城相關歷史檔案資料等。館內總計有大約 1 萬件關於遠山家族、苗木藩和苗木城的藏品。

開館時間：9:30～17:00（入場截至 16:30）

閉館日：周一（如遇節假日順延），元旦假期（12 月 27 日～1 月 5 日）

門票：330 日元，初中生及以下免費

<繁体字>

苗木遠山史料館參觀指南

1990 年 11 月開館營業的苗木遠山史料館位於苗木城遺址山腳下，主要搜集和展出遠山家的歷史以及文化資料。遠山家歷代都是苗木藩主，其統治自日本戰國時代（1467-1568）開始，貫穿整個江戶時代（1603-1867），進入明治時代（1868-1912）後，直到 1871 年才徹底終止。

史料館一樓展區展出苗木藩和苗木城的歷史和文化，內容詳盡。展品包括城郭的全景展示模型以及「風吹門」的建築框架、門扉等，風吹門是城郭僅存的木構建築物。

二樓展廳以「苗木藩與佛教」為主題，展覽追溯了 1868 年明治維新前後佛教觀念與實踐的變遷。

史料館藏品中還包括了遠山家歷代藩主使用過的甲冑、武器，以及苗木城相關文史檔案資料等。館內總計有大約 1 萬件關於遠山家、苗木藩和苗木城的藏品。

開館時間：9:30～17:00（入場截至 16:30）

閉館日：週一（如遇節假日順延），元旦假期（12 月 27 日～1 月 5 日）

門票：330 日圓，國中生及以下免費

<日本語仮訳>

苗木遠山史料館の来館情報

史料館は苗木城跡のふもとにあり、苗木藩主、遠山氏に関する歴史的・文化的史料を収集・展示することを目的に、1990 年 11 月に開館。遠山一族は戦国時代（1467-1568）から江戸時代（1603-1867）、明治時代（1868-1912）初期の 1871 年にかけて苗木藩を君臨していた。

1 階の展示室では、苗木藩と苗木城の歴史や文化について詳しく知ることができる。苗木城のジオラマや、苗木城で唯一現存する木造建造物である風吹門の枠組みや扉などが展示されている。

2 階は「苗木藩と仏教」を主題に、1868 年の明治維新前後の仏教に対する認識や実践の変遷をたどる展示を行っている。

史料館のコレクションには、歴代遠山藩主が使用した甲冑や武器、苗木城に関する記録資料などが含まれる。遠山家、苗木藩、苗木城に関する資料が約 1 万点収蔵されている。

開館時間：9:30～17:00（入館は 16:30 まで）

休館日：月曜日（祝日などの場合は翌日）、年末年始（12 月 27 日～1 月 5 日）

入館料：330 円、中学生以下無料

地域番号	030	協議会名	小川町観光協会
------	-----	------	---------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
030-001	日本酒製造工程/純米、吟醸、大吟醸の違い	410	看板
030-002	日本酒製造工程/麴について	548	看板
030-005	武蔵ワイナリー/ワイナリー紹介 (醸造工程)	451	看板
030-006	武蔵ワイナリー/無農薬栽培ぶどう畑	487	看板

【タイトル】 日本酒製造工程/純米、吟醸、大吟醸の違い

【想定媒体】 看板

<繁体字>

日本酒の四個基本等級

根據日本的「特定名稱酒」分類系統，日本酒主要可分為四個基本等級：純米酒、本醸造酒、吟醸酒以及大吟醸酒。

純米酒意為「純米醸造」，僅使用米、米麴（接種麴菌的米）、酵母與水製成，不添加被稱為「醸造酒精」的蒸餾酒精，其特色是酒體飽滿，帶有濃郁且紮實的米香。

本醸造酒、吟醸酒與大吟醸酒中，會添加適量的醸造酒精，以使酒質更加清爽、風味更加俐落。例如本醸造酒即是在米、米麴與水的基礎上，添加少量醸造酒精，口感通常溫和順口且容易入口。

本醸造酒與更高等級的吟醸酒（優質酒）、大吟醸酒（超優質酒）的主要區別，在於所謂的「精米歩合」，也就是米粒（玄米）被研磨以去除外層脂肪與蛋白質的程度。本醸造酒的精米歩合需在 70% 以下（意味著米粒外層被磨去了約 30%）；吟醸酒的精米歩合需在 60% 以下，而大吟醸酒則需在 50% 以下。

米粒研磨得越多，釀成的日本酒就越輕盈、細緻，香氣也更加華麗。因此，大吟醸酒常被形容為擁有「絲綢般的口感」。

<日本語仮訳>

酒の四等級

特定名称酒の分類によると酒には 4 つの基本的な等級があります；純米、本醸造、吟醸、大吟醸です。

純米は、米、米麴（ニホンコウジカビを植菌した米）、酵母、水のみを使用して作られています。これに、醸造アルコールとして知られる精製蒸留酒は一切加えられていません。純米は重厚でお米の風味が感じられる味がします。

ほかの3種類の日本酒にはすべて、味をクリアにし、軽くするために醸造用アルコールが含まれています。

本醸造は米、水、米麴に少量の醸造アルコールを加えて造られています。一般的にまろやかで飲みやすいお酒です。

本醸造と上位等級である吟醸、さらに最上位にあたる大吟醸との違いは、いわゆる精米歩合：お米を削って（磨いて）玄米表層部の脂肪分やたんぱく質を落とす割合です。本醸造は精米歩合70%、つまり外皮の30%を取り除かなければなりません。吟醸の歩合は60%、大吟醸は50%です。

お米を磨けば磨くほどその分軽く、上品で、香りのよいお酒ができあがります。大吟醸はしばしば「絹のようななめらかな舌触り」と表現されます。

【タイトル】 日本酒製造工程/麴について

【想定媒体】 看板

<繁体字>

什麼是「麴」？

2006 年，日本釀造學會正式將米麴菌（麴黴菌）認定為日本的「國菌」。米麴菌是醬油、味噌、味醂等多種日本發酵食品中不可或缺的起始原料。為了製作能啟動清酒發酵的「米麴」，釀酒師會將麴菌孢子接種在蒸熟的白米上，這項作業會在稱為「麴室」的培養空間中進行，並嚴格控制溫度與濕度。雖然日本酒傳統上多在雜菌較少、發酵較穩定的冬季釀造，但為了讓麴菌順利生長，麴室內仍需長時間維持攝氏 36 至 38 度的溫度環境。

在約兩天兩夜的過程中，麴所產生的酵素會將米中的澱粉分解為糖分，此過程稱為「糖化作用」；隨後加入酵母，將糖分轉化為酒精。由於糖化與酒精發酵同時進行，這種日本酒獨有的釀造方式被稱為「多重並行發酵」。相較之下，葡萄酒僅利用葡萄本身的糖分進行發酵；啤酒則是先糖化、再發酵，分段進行。因此，日本酒的釀造過程被認為更加細膩且複雜。

多重並行發酵需要極為精密的管理，尤其是將發酵槽溫度控制在攝氏 10 至 15 度之間。一般而言，發酵時間較短的酒款風味偏甜（甘口）；發酵時間較長則口感較為清爽（辛口）。此外，富含礦物質的硬水（如小川町的水源）能促進酵母活動、加快發酵速度，因此特別適合用於釀造日本酒。

2024 年，聯合國教科文組織（UNESCO）已正式將「日本使用米麴釀造日本酒的傳統知識與技術」登錄為非物質文化資產。

<日本語仮訳>

麴とは？

2006 年に、日本醸造学会は麴菌（ニホンコウジカビ）を日本の「国菌」に認定しました。麴菌は醤油、味噌、みりんなどの多くの日本の発酵食品に重要なスターター材料です。酒の発酵プロセスを引き起こす麴を作るために、種麴が蒸し米に添加されます。このプロセスは麴室と呼ばれる断熱された培

養室で行われます。酒は従来、発酵プロセスを乱すバクテリアが少なくなる冬に製造されていますが、この培養室は 36～38℃の一定な温度に保たれています；麴には培養に暖かさや湿度が必要だからです。

2日2晩かけて、糖化として知られるプロセスで、麴の酵素が米のでんぷんを糖分に変えます。酵母を加えると、得られたぶどう糖がアルコールに変わります。この二段階のプロセスは糖化と発酵が同時に起こるために「並行複発酵」と呼ばれています。このプロセスは、ぶどうに天然のぶどう糖が含まれているために発酵だけが必要なワインや、糖化と発酵が交互に起きるビールを造るよりも複雑です。

酒の並行複発酵には、まず発酵タンクの温度を 10～15℃で調整することによる慎重な管理が必要です。発酵期間が短いほど甘い酒ができあがり、発酵期間が長いほど辛口のお酒ができあがります。硬水（小川町で入手できるような）はミネラルの含有量が多いことから発酵プロセスを加速するため、特に酒の醸造に適しています。

2024年には UNESCO が日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術が無形文化遺産として登録しました。

【タイトル】 武蔵ワイナリー/ワイナリー紹介（醸造工程）

【想定媒体】 看板

<繁体字>

武蔵葡萄酒莊：創立源起與經營理念

武蔵葡萄酒莊の創立者福島有造先生在 40 歳時毅然辭去商界工作，投身釀酒事業。他於 2010 年創立酒莊，並於 2013 年成功推出首批自釀葡萄酒。目前酒莊經營 11 座葡萄園，總面積約 5 公頃；這些園區皆由荒廢的農地重新開墾而成，為土地注入了新生。

酒莊目前栽種 9 個葡萄品種，其中以日本特有品種「小公子」產量最高。由於小川町夏季酷熱且盆地地形散熱不易，對任何品種而言，採用小川町馳名的有機農法都是一大挑戰。

即便如此，武蔵葡萄酒莊依然堅守全天然釀造的初衷，完全不使用化學農藥，連傳統殺菌劑「波爾多液（硫酸銅）」也一概不用。

為了在不依賴藥劑的情況下確保品質，酒莊創新地使用金屬棚架搭配 PE 防雨棚，有效降低雨水造成的損害，顯著提升了葡萄的收穫品質與產量。

這座始於 2019 年的酒莊建築，是永續經營理念的實體縮影。建築由當地工匠親手打造，運用了大量埼玉縣產木材與具代表性的在地青石。牆面採用土牆工法，能維持涼爽穩定的室溫與良好通風；販售區的天花板則裝飾著手工製的「小川和紙」，處處可見在地工藝底蘊。

<日本語仮訳>

武蔵ワイナリー：始まりと使命

福島有造は 40 歳頃に酒造家となるために転身しました。彼が武蔵ワイナリーを創業したのが 2010 年、ワイナリーが初めてワインを瓶に詰めたのが 2013 年のことでした。今では、かつては耕作放棄されていた農地の約 5 ヘクタールに広がる 11 のぶどう圃場を有しています。

ワイナリーは 9 種類のぶどう品種を育てています。日本で開発された交配種の赤ワイン用小公子は、有機栽培に向き多くの量を栽培できるため最も多く生産している品種です。小川町の夏は暑く、山々

に囲まれて熱がこもりやすく、特に小川町が有名な有機栽培法を用いる場合、どんな種類のブドウを栽培するにも難しい環境が生まれます。

こうした課題があるにもかかわらず、武蔵ワイナリーは農薬を一切使用せず、伝統的な殺菌剤であるボルドー液でさえも使用しない、オールナチュラルワインの製造に力を注いでいます。

金属製の棚に誘引されたブドウの蔓は、雨による被害から守るためポリエチレン製のシートでカバーされています；この革新的な技術によって収穫量と品質が飛躍的に向上しました。

2019年に建てられたワイナリー建屋は武蔵ワイナリーのサステナブルな方法への信念を物理的に表現しています。埼玉県産の木材や青色の石材を使用して、地元の建築職人により建てられました。壁は涼しく安定した温度と風通しをよくするために土壁が用いられています；ワインショップの天井には小川の手漉き和紙が張られています。

【タイトル】 武蔵ワイナリー/無農薬栽培ぶどう畑

【想定媒体】 看板

<繁体字>

武蔵葡萄酒莊：全天然栽培法

好酒源自好葡萄。武蔵葡萄酒莊秉持小川町聞名的有機農法理念，發展出獨特的葡萄栽培方式。例如，在修剪時不摘除頂芽，而是仔細去除側芽，確保保留下來的枝條能強健生長，後續只需少量人工介入即可。

葡萄藤的高度約與人頭部齊平。這種做法不僅能防止濕氣與動物侵襲，更能培育出健康的葡萄樹，因為根部也會隨之成比例地強壯生長，向深處扎根以吸收土壤養分，完全無需施肥。此外，由於不使用除草劑，葡萄藤下長滿了雜草，與一般葡萄園常見的裸露耕土景象形成鮮明對比。

堅持全天然釀酒並非易事。夏季時，酒莊人員必須用手指逐一捏除害蟲來控制蟲害；在情況允許時，葡萄採收後會盡可能以人工處理，不使用機器的除梗破碎機。

酒莊格外講究採收時機，必須等到葡萄甜度足夠、無需額外加糖時才進行。釀造過程中也堅持不添加亞硫酸鹽（常用於防止氧化、延長保存期限）。

部分酒款會在日本杉、檜木或日本水楮木桶中熟成，賦予酒體獨特的日本風味。酒標則採用地製作的「小川和紙」，展現地方特色。

釀酒過程中的副產品皆經過循環再利用以減少浪費。像是將果渣製成為茶飲或薑汁汽水，酒渣（酒泥）則加工為料理用酒，實現零浪費的目標。

<日本語仮訳>

武蔵ワイナリー：オールナチュラル栽培

美味しいワインには良いぶどうが欠かせません。武蔵ワイナリーは、小川町が有名になった所以である有機栽培方法への取り組みを基に、ぶどう栽培へのユニークな方法を開発しました。ワイナリーはたとえ

ば、頂芽の摘心をせず、腋芽を丁寧に取り除き、人の介入は限定的に残った枝を太く長く成長するようにしています。

ぶどうの木は人の頭の高さで成長します。湿度や獣から保護するだけでなく、これがより健康なぶどうの木を作ります；木の根が比例して長く太く成長し、土壌から栄養を吸収するために肥料の使用が不要になります。除草剤は一切使用しないため、ぶどうの木の下は草や雑草で覆われています；ほかの多くのぶどう園で見られるなにも生えていない耕された土壌とはかなり違います。

オールナチュラル製法でワインを造ることは簡単ではありません。夏の時期には、ワイナリーの従業員は虫を一匹一匹指で潰すなどして発生数を抑えています。可能なかぎり除梗破碎機を使わず、手作業でブドウを加工しています。

ブドウは砂糖を加える必要がないほど十分に甘くなってはじめて収穫するよう細心の注意を払っています。この酒造家たちは、酸化からワインを守り保存期間を延ばす亜硫酸塩も使用していません。

一部のワインは日本独特の特徴を出すために、国産のスギ、ヒノキ、ミズナラの樽で熟成します。ラベルには地元で作られた和紙を使用しています。

副産物を循環活用することで、ごみをできるだけ減らしています。「おり」は料理酒として、「残りカス」はお茶やジンジャーエールに使用しています。

地域番号	031	協議会名	蒲郡市竹島エリア多言語解説協議会
------	-----	------	------------------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
031-001	八百富神社/八百富神社例大祭	680	Web
031-002	蒲郡みかん/蒲郡みかん	890	Web
031-003	蒲郡みかん/ 蒲郡オレンジパーク	370	Web
031-004	蒲郡みかん/ 蒲郡みかん料理・菓子	410	Web
031-005	蒲郡の水産物/潮干狩り	575	Web
031-006	蒲郡の水産物/深海漁業	615	Web
031-007	蒲郡の水産物/沿岸漁業	660	Web
031-008	蒲郡の水産物/シーフードマーケット施設	405	Web
031-009	蒲郡の水産物/メヒカリ	310	Web
031-010	蒲郡の水産物/タカアシガニ	415	Web
031-011	蒲郡の水産物/アサリ	410	Web
031-012	蒲郡市博物館/蒲郡市博物館	350	Web

【タイトル】 八百富神社/八百富神社例大祭

【想定媒体】 Web

<簡体字>

八百富神社例行大祭

八百富神社例行大祭是蒲郡市一年中最盛大的活动之一。祭典于每年十月的第三个周末举行。其中最著名的活动是第二天的巡游，代表八百富神社传统教区十六个街区的队伍，抬着花车与神轿（便携式神社）穿城而过。他们最终会抵达遥拜所（位于通往圣岛竹岛的大桥前，该岛即主神社所在地）。在遥拜所，参祭者向八百富神社的诸神祈愿，并向主祭神弁才天——艺术与文化的守护神——敬献舞蹈与音乐表演。祭典起源可追溯至数百年前，其现有形式至少自十九世纪起便已确立。

祭典于周六上午开始，届时八百富神社神官与十六街区代表齐聚竹岛，举行一场非公开仪式。众人午后返回大陆，将岛上点燃的圣火护送过桥，迎至陆地上的遥拜所。暮色降临时，用圣火点燃神社旁海滩上的手筒花火。手筒花火以填装火药的竹筒缠绕麻绳制成，可向空中喷射高达十米的绚烂火花，是爱知县东部三河地区众多祭典的标志性项目。首日活动最后会从桥上向竹岛上空发射十五分钟的烟花表演作为收尾。

周日的活动在上午十点后开始。十六区队伍从各自街区出发，牵引着象征本区的花车前往遥拜所。每辆山车（祭典花车）后都跟随着鼓笛乐队，演奏着各区代代相传的特色乐曲。首支队伍约在十点半抵达神社。

每队抵达遥拜所后，会向供奉的神明奉上表演。表演内容因队而异，各具特色，既有传统太鼓与源于神话的舞蹈，也有搭配流行音乐的创新编排。每场表演结束后，参演者会从神官那里接过神酒。众人随后会将山车移至邻近停车场，在此聚餐畅饮、联谊交流，并即兴表演节目。下午3点左右，当所有队伍在遥拜所表演完毕后，在停车场可一览十六辆山车齐聚的盛景。最后，本命年者为驱厄祈福而向人群投掷年糕的仪式标志着祭典圆满落幕。

<繁体字>

八百富神社例大祭

八百富神社例大祭是蒲郡最盛大的年度活動之一，於每年 10 月第三個週末舉行。這場祭典以第二天的遊行隊伍聞名，當天代表八百富神社 16 個傳統氏族地區的團體，會簇擁著山車（即花車）與神輿穿過城鎮，最終抵達竹島橋前的「遙拜所」，這座橋通往神聖島嶼「竹島」，八百富神社的主祭神殿便座落在這座島上。參與者在遙拜所向八百富神社的神靈祈禱，並向主祭神弁財天奉納舞蹈與音樂表演；弁財天被視為藝術與文化守護神。祭典起源可追溯至數百年前，而現今的慶祝形式則至少自 19 世紀起便延續至今。

祭典於週六上午拉開序幕，八百富神社神職人員與 16 個地區的代表會聚集在竹島上，舉行一場不對外公開的儀式。到了下午，他們會帶著在島上點燃的聖火，跨越大橋返回本土的遙拜所。黃昏時刻，人們會在神社旁的海灘用聖火點燃手筒煙火。手筒煙火是以繩索纏繞的竹筒，內填火藥，燃放時火花會噴射至空中，最高可達 10 公尺，這是愛知縣東部三河地區許多祭典的重要特色。第一天的活動以竹島空中煙火秀中畫下句點，煙火秀沿著橋邊燃放，持續 15 分鐘。

週日的活動於上午 10 點後不久展開。16 個地區團體從各自的社區出發前往遙拜所，分別拉著一座代表該區的山車。山車後方跟隨著由鼓手與笛手組成的隊伍，演奏著各地區代代相傳的樂曲。第一支隊伍約於上午 10:30 抵達神社。

每支隊伍在抵達遙拜所廣場後，成員會向供奉的神靈奉納表演。這些表演內容依團體而異，從傳統太鼓、受日本神話啟發的舞蹈，到搭配流行音樂的舞蹈應有盡有。每場表演結束後，參與者會從神社神職人員手中接過聖酒。接著，他們會將山車拉往附近停車場，在那裡聚餐、飲酒、與其他團體交流互動並進行即興演出。下午 3 點左右，當所有隊伍都在遙拜所完成表演後，便可在停車場看見 16 座山車齊聚的盛大場面。在祭典尾聲時，正值「厄年」的氏族居民會向人群撒年糕，以求驅邪避災。

<日本語仮訳>

八百富神社例大祭

八百富神社例大祭は蒲郡で年間最大の行事の一つです。祭りは 10 月の第 3 週末に開催されます。二日目の山車の行列が特に有名で、八百富神社の氏子が住む地区を代表する 16 の団体が山車や神輿を町内から、本殿が鎮座する聖なる竹島へ続く橋の前の遙拜所まで巡行します。遙拜所では、参加者が八百富神社の神々に祈りを捧げ、神社に祀られる主神で芸術と文化の守護神とされる弁財天に舞踊や音楽の奉納を行います。祭りの起源は数百年前まで遡り、現在の形では少なくとも 19 世紀から行われていると伝えられています。

祭りは土曜日の朝、八百富神社の神官と 16 地区の代表者が竹島に集まり、神事を行うことから始まります。午後には島で点火した御神火を橋を渡り、陸地の遥拝所へ運んで戻ります。夕暮れ時、この火は神社隣接の海岸で手筒花火を点火するために用いられます。手筒花火とは縄で巻かれた竹筒に火薬を詰め、最大 10 メートルもの火花を空中に吹き上げるもので、愛知県 東部の三河地区の祭りで定番となっています。初日のプログラムは、橋から竹島の上に打ち上げられる 15 分間の花火で締めくくられます。

日曜日の行事は午前 10 時過ぎに始まります。16 の団体がそれぞれの町内から遥拝所へ向かい、地区を象徴する山車を引いて進みます。各山車の後には太鼓奏者と笛奏者のグループが続き、各町内で代々伝承されてきた音楽を演奏します。最初の団体が遥拝所に到着するのは午前 10 時半頃です。

各団体が遥拝所の敷地に着くと、八百富神社に捧げる演舞を披露します。演目は団体ごとに大きく異なり、伝統的な太鼓や神話に由来する舞踊から、ポップスに合わせて創作された振り付けまで様々です。演舞後、参加者は神職から御神酒を受けます。その後、山車を隣接する駐車場まで引き、そこで食事や飲酒を楽しみ、他団体と交流し、即興の演舞を披露します。午後 3 時頃、全ての団体が遥拝所での演舞を終えた後、駐車場では 16 基の山車が一堂に会する全景を見ることができます。祭りは厄年の者が厄払いのために餅を投げ入れる儀式で幕を閉じます。

【タイトル】 蒲郡みかん/蒲郡みかん

【想定媒体】 Web

<簡体字>

蜜柑与蒲郡

蒲郡以蜜柑闻名。这种甜美多汁的柑橘是当地经济和饮食文化的重要支柱。蜜柑的种植得益于本地温和的气候，也继承了悠久历史中积累的智慧，包括开创性的温室栽培技术。秋天，您不仅可以在蒲郡橘子乐园采摘与品尝蜜柑，还可将特产带回家，市内到处都供应蜜柑风味的甜品、小吃、饮品和以蜜柑为食材的餐厅料理。

历史

蒲郡的气候相对温暖且阳光充足，堪称蜜柑种植的理想环境。温暖的海风常年从南面吹来，将三面环城的低矮山麓滋养成水果种植的沃土。蜜柑的生长需要充足的阳光，而蒲郡的日照量恰好略高于周边地区，冬季尤为明显。

正是这样的气候条件支撑起本地长达数百年的柑橘种植史。现今蒲郡地区柑橘种植的最早文字记录可追溯至 1679 年，记载了柑橘树的课税事宜。与现代品种相似的薄皮蜜柑于十九世纪上半叶引入，到该世纪末已形成了商业化规模是种植，产量最高九成用于销售。

20 世纪 50 年代，本地农户成立合作社，努力提升产品品质、开拓这一区域最大城市——名古屋的市场，蒲郡蜜柑由此声名更盛。20 世纪 80 年代，该市投资建设的可全年种植温室逐步取得成效，蒲郡蜜柑随之享誉全国。

全年栽培

20 世纪 70 年代初，为解决秋季供应过剩问题，蒲郡部分蜜柑农户开始尝试温室栽培。他们研发的方法沿用至今，使蒲郡柑橘农场全年都能采收多种蜜柑。

在温室栽培中，蜜柑树冬季开花后便密封温室。温室密封后加温至夏季高温，果树由此进入 180 天的结果周期。

蒲郡温室栽培的蜜柑在四月中旬至九月中旬上市。露天栽培最早成熟的品种则从 9 月下旬

开始采摘，露天蜜柑的产季可贯穿整个秋冬。

品种与美食

以“蒲郡蜜柑”为总称，市场上销售着多个不同品种的蜜柑。温室栽培的“温室蜜柑”以汁水充沛和口感柔软著称。而口感爽脆的“早生”是最常见的露天栽培品种，供应期为十一月至一月。更甜、成熟期更晚的品种包括“箱入娘”（十一月下旬至十二月中旬）和“青岛”（一月上旬至二月下旬）。

十月至十二月期间，您可在坐落于山丘上的蒲郡橘子乐园采摘蜜柑。市内的咖啡馆和甜品店出售用蜜柑制作的、或带蜜柑风味的甜品与小吃，果汁、日本烧酒等瓶装饮品也随处可见。一些当地餐厅还会推出蜜柑料理，如蜜柑酱炸鸡和中餐蜜柑片烧虾等。

<繁体字>

蜜柑與蒲郡

蒲郡以蜜柑聞名。這種甜美多汁的柑橘品種在當地經濟與飲食文化中扮演了重要角色。蜜柑種植不僅受益於該地區溫和的氣候，也仰仗於長期創新的歷史，包括領先開發溫室栽培技術。秋天時，遊客可前往蒲郡橘子公園體驗親手採摘蜜柑的樂趣，並立即嚐鮮或帶回家，而市內也隨處可見各式以蜜柑為主題的甜點、零食、飲品與餐廳料理。

歷史淵源

蒲郡氣候相對溫暖且陽光充足，是種植蜜柑的理想環境。全年都有來自南方的溫暖海風吹拂，滋育著生長在城市三面環山山麓地帶的果實。蜜柑需要充足日照，而蒲郡的日照量比周邊地區略高，尤其是在冬季。

這些氣候條件支撐了該地區長達數世紀的柑橘類水果種植歷史。現今蒲郡境內最早的柑橘種植書面記錄可追溯至 1679 年，內容涉及柑橘樹的課稅。與現代品種相似的薄皮蜜柑於十九世紀前半葉引進，到了十九世紀末，蜜柑已開始進行商業規模種植，其中高達 90% 的作物用於銷售。

1950 年代，當地農民組成合作社以提升產品品質並擴大在區域最大城市名古屋的銷路，蒲郡蜜柑自此開始獲得更廣泛的認可。1980 年代，蒲郡對溫室設施的投資開始取得成效，讓全年種植得以實施，進而享譽全國。

全年栽種

1970年代初期，一群蒲郡蜜柑農民為了解決秋季收穫期供應過剩的問題，開始嘗試溫室種植。他們開發的技術沿用至今，讓蒲郡柑橘農場全年都能採收多種蜜柑品種。

在溫室種植的蜜柑樹會於冬季開花後加以覆蓋。溫室內部則密封加熱至宛如夏季的溫度，藉此啟動果樹結果所需的 180 天週期。

溫室栽種的蒲郡蜜柑供應期為 4 月中旬至 9 月中旬。最早成熟的露天種植品種從 9 月下旬開始採收，整個露天蜜柑季則從秋季持續至冬季。

品種與料理

許多不同蜜柑品種都以「蒲郡蜜柑」品牌進行銷售。溫室栽種的「溫室蜜柑」以果肉柔軟且多汁著稱。肉質較紮實的「早生」蜜柑則是秋季最常見的露天品種，供應期為 11 月至隔年 1 月。甜度較高、較晚熟的品種則包括「箱入娘」（11 月下旬至 12 月中旬）與「青島」（1 月上旬至 2 月下旬）。

10 月至 12 月間，遊客可前往山坡上的蒲郡橘子公園採摘蜜柑。市內咖啡館與甜點店販售以蜜柑製作或調味的甜點與零食，瓶裝飲品（包括果汁與日本燒酎調酒）也隨處可見。部分當地餐廳還提供蜜柑風味料理，例如蜜柑醬炸雞及中式燉蝦佐蜜柑片。

<日本語仮訳>

蒲郡のミカン

蒲郡はミカンで有名です。この甘くてジューシーな柑橘類は地域の経済と食文化において重要な役割を担っています。ミカンの栽培は地域の穏やかな気候を活かし、温室での栽培の先駆的な取り組みを含む長い歴史と工夫の積み重ねを継承しています。秋には蒲郡オレンジパークでミカン狩りを楽しんで、その場で食べたり、持ち帰ったりすることができ、市内ではミカンを使ったお菓子や飲料、さらにはミカンを使った料理まで幅広く楽しめます。

歴史

蒲郡の比較的温暖で日当たりの良い気候は、ミカン栽培に理想的とされています。南から一年中吹く温かい海風が、市を三方から囲む低山のふもとに育つ果物を育みます。ミカンは日光を多く必要としますが、蒲郡は周辺地域よりもやや日照量が多く、特に冬場にその差が現れます。

これらの気象要件が、この地域で数百年にわたる柑橘類の栽培の歴史を支えてきました。現在の蒲郡における柑橘類の栽培に関する最古の記録は、1679年の柑橘の樹木に対する課税に関するものです。現代の品種に似た皮の薄いミカンは1800年代前半に導入され、19世紀の終わりには、収穫量の90%が販売用として商業的に栽培されるようになりました。

蒲郡のミカンが広く知られるようになったのは、1950年代、地元の農家が製品の品質向上と、この地域最大の都市である名古屋での販売拡大を目的として協同組合を結成してからでした。1980年代には通年栽培を可能にする温室への投資が実を結び、全国的にその名を知られるようになりました。

年間を通しての栽培

1970年代初頭、秋の収穫期における供給過剰の問題を解決するため、蒲郡のミカン農家が、温室での栽培実験を始めました。彼らが確立した方法は現在も使用されており、蒲郡の柑橘類農場では、年間を通してさまざまなミカンの品種を収穫することができます。

温室栽培では、冬に開花した後、木のある温室は密封され、夏のような温度に保たれ、木が果実を生産する180日間のサイクルが開始されます。

蒲郡の温室で栽培されたミカンで4月中旬から9月中旬まで販売されます。露地栽培の最も早く熟す品種は9月下旬から収穫され、露地栽培のミカンのシーズンは秋から冬にかけて続きます。

品種と料理

「蒲郡みかん」という総称の下で、多くの異なる種類のミカンが販売されています。温室で栽培される「オンシツミカン」は果汁の豊富さと柔らかい食感で知られています。シャキッとした食感の「ワセ」は最も一般的な露地栽培品種で、11月から1月まで販売されます。甘く、遅く熟す品種には、「ハコイリムスメ」（11月下旬から12月中旬）や「アオシマ」（1月上旬から2月下旬）があります。

10月から12月にかけて、丘陵地の蒲郡オレンジパークでミカンを摘むことができます。市内にあるカフェや菓子店では、ミカンを使用したスイーツやスナック、ジュースや酎ハイなどのボトル飲料が広く販売されています。一部の地元レストランではミカンをアレンジした料理、例えばミカンソースのフライドチキンやミカンスライスの入った中華風エビの煮込みなどが提供されています。

【タイトル】 蒲郡みかん/

蒲郡オレンジパーク

【想定媒体】 Web

<簡体字>

蒲郡橘子乐园

蒲郡的果树栽培得益于当地相对温暖的气候与充足的阳光。温暖的海风全年从南面吹来，滋养着这些以蜜柑为代表的特色水果。蜜柑种植于城市周边山丘，便是其中之一。园内包含数个山坡果园及一座集商店与咖啡馆于一体的中心建筑。

橘子乐园紧邻东名高速公路音羽蒲郡立交桥南侧，俯瞰一条向南延伸至蒲郡市中心和三河湾的狭长山谷。每年十月至十二月，游客可在此采摘与品尝蜜柑，也可将特产带回家中，越晚成熟的果实通常也会更甜。园内工作人员会指引游客寻找成熟果实，但游客也可以自由漫步园内，随意从枝头采摘蜜柑品尝。收取的采摘费里包含一只塑料果篮、以及装满该果篮的全部蜜柑费用。园内商店与咖啡店还供应蜜柑风味或蜜柑制成的甜品、小吃和饮品。

尽管蜜柑季在十二月下旬结束，但蒲郡橘子乐园全年提供水果采摘服务。一月至五月可采摘草莓，六月至九月下旬可采摘甜瓜，六月下旬至九月中旬可采摘葡萄。

<繁体字>

蒲郡橘子公園

蒲郡果樹種植得益於當地相對溫暖的氣候與充足的陽光。全年皆有來自南方的溫暖海風吹拂，為當地著名的柑橘等水果提供了良好的生長條件。蜜柑生長在環繞蒲郡的山丘上，其中也包括蒲郡橘子公園。這座規模宏大的果園由數個山坡果園及一座設有商店與咖啡館的中央建築組成。

橘子公園位於東名高速公路音羽蒲郡交流道南側，俯瞰著向南延伸至蒲郡市中心與三河灣的狹長山谷。10月至12月間，遊客可在園內體驗親手採摘蜜柑的樂趣，並立即嚐鮮或帶回家；通常於產季後期採摘的果實甜度更高。工作人員會提供指導，協助遊客尋找成熟的

果實，但遊客可在園內隨意漫步，從任何果樹採摘蜜柑，當場品嚐。採摘費用包含一個塑膠籃，只要籃子裝得下，遊客皆可盡情裝滿。商店與咖啡館則提供各式各樣的蜜柑風味甜點、零食及飲品。

儘管蜜柑季於 12 月底結束，但蒲郡橘子公園全年皆提供採果活動。1 月至 5 月為草莓採摘期，6 月至 9 月下旬為哈密瓜，6 月下旬至 9 月中旬則是葡萄季。

<日本語仮訳>

蒲郡オレンジパーク

蒲郡の果樹栽培は、この地域が比較的温暖な気候と豊富な日照に恵まれている恩恵を受けています。年間を通じて南から暖かい海風が吹き込み、この地域で有名なみかんなどの果実を育てています。みかんは市周辺の丘陵地帯で栽培されており、蒲郡オレンジパークもその一つです。広大な施設には複数の丘陵果樹園と、ショップやカフェを併設した中央棟があります。

オレンジパークは東名高速道路の音羽蒲郡インターチェンジのすぐ南に位置し、南に開けて蒲郡中心部や三河湾へと続く細長い谷を見下ろします。10 月から 12 月にかけては、園内で採れたてのみかんをその場で食べたり持ち帰ったりできます。一般的に収穫時期が遅いほど甘みが増します。スタッフは熟した果実の見つけ方について一般的な案内を行いますが、訪問者は自由に敷地内を歩き回り、どの木からでもみかんを摘み取り、その場で味わうことができます。摘み取り料金にはプラスチック製のバスケットと、容器に収まる限りのみかんが含まれます。ショップとカフェでは、みかんを使った、またはみかん風味のスイーツ、スナック、飲み物が提供されています。

みかんのシーズンは 12 月下旬で終了しますが、蒲郡オレンジパークでは通年での果物狩りが楽しめます。1 月から 5 月まではいちご、6 月から 9 月下旬まではメロン、6 月下旬から 9 月中旬まではぶどうの収穫が可能です。

【タイトル】 蒲郡みかん/

蒲郡みかん料理・菓子

【想定媒体】 Web

<簡体字>

蜜柑甜点、小吃与料理

甜美多汁的蜜柑是蒲郡饮食文化中的主角。新鲜蜜柑几乎全年供应：温室种植的首批蜜柑于四月中旬成熟，收获季持续至次年二月下旬。

一年之中任何季节，全市的咖啡店和商店都出售蜜柑风味或蜜柑制作的甜点、小吃和饮品。蜜柑制品种类丰富：除果冻、饼干和蛋糕外，蒲郡经典酒店于周末及公共假日供应蜜柑味巴伐利亚奶油甜点；以及更传统的日式甜点，如“金锣”（用浓稠蜜柑酱制成、外裹薄面粉浆并在铁板上烤制的方形点心）和“蜜柑大福”（蜜柑和甜白豆馅的蓬松麻糬）。蒲郡橘子乐园还供应现榨果汁和蜜柑味软冰淇淋，而酒类商店和超市则会出售蜜柑利口酒和瓶装日本烧酒。

在每年十月下旬至十二月底举行的蒲郡蜜柑节期间，许多当地餐厅还会提供蜜柑料理。往年的菜品包括蜜柑酱炸鸡、中式蜜柑烧虾和蜜柑风味奶油海鲜意面等。节日期间，游客还可以在参与节日活动的餐厅购买各种蜜柑甜点、饮品和其他产品。您可在网上搜索蜜柑节餐厅的完整名单，也可以在蒲郡市旅游信息中心咨询相关信息。

<繁体字>

蜜柑甜點、零食與美食

香甜多汁的蜜柑在蒲郡飲食文化中扮演著重要角色。新鮮蜜柑幾乎全年都能品嚐得到：採收季從4月中旬首批溫室蜜柑成熟時開始，一直持續到2月下旬。

無論在一年中的任何時節，全市各地咖啡館與商店皆販售以蜜柑為食材或蜜柑風味的甜點、零食與飲品。這些產品包括果凍、餅乾，以及如蜜柑巴伐利亞奶油蛋糕等糕點；後者是蒲郡經典飯店於週末及國定假日提供的甜點。此外，也有較傳統的日式點心，例如金锣（一種方形糕點，在濃郁蜜柑內餡外裹上一層以水揉合的薄麵粉糊後，在鐵板上煎烤而成），

以及蜜柑大福（一種口感鬆軟的麻糬，包裹著整顆蜜柑與香甜白豆沙）。在蒲郡橘子公園可買到現榨果汁與蜜柑口味霜淇淋，而酒類專賣店與超市則售有蜜柑酒與瓶裝日本燒酎調酒。

在每年 10 月下旬至 12 月底舉行的蒲郡蜜柑祭期間，許多當地餐廳會推出蜜柑料理。往年的菜單包括蜜柑醬炸雞、中式燉蝦佐蜜柑片，以及使用蜜柑調味的奶油海鮮義大利麵。在蜜柑祭期間，亦可在參與活動的餐廳購買各式蜜柑甜點、飲品及相關產品。如需完整參與餐廳名單，可上網查詢或於蒲郡市遊客服務中心索取。

<日本語仮訳>

蒲郡みかん菓子・料理

甘くてジューシーなみかんは、蒲郡の食文化において主役級の存在であり、ほぼ一年中新鮮な状態で味わえます。収穫期は 4 月中旬、温室栽培の最初のみかんが熟す頃から始まり、翌年 2 月下旬まで続きます。

季節を問わず、市内のカフェや店舗ではみかんを使った、あるいはみかんの風味を活かしたスイーツ、スナック、ドリンクが販売されています。これらの製品には、ゼリー、クッキー、ケーキなどが含まれます。例えば、週末や祝日に蒲郡クラシックホテルで提供されるデザート「みかんのババロア」、濃厚なみかん餡を薄い小麦粉と水の衣で包み鉄板で焼いた四角い菓子「金つば」、みかん餡と甘く煮た金時豆の餡を包んだふんわりした餅「みかん大福」などがあります。蒲郡オレンジパークでは搾りたてのジュースやみかん風味のソフトクリームが提供され、一部の酒販店やスーパーマーケットではみかんリキュール、瓶詰め焼酎カクテルが販売されています。

毎年 10 月下旬頃から 12 月末まで開催される「蒲郡みかん祭り」期間中は、多くの地元飲食店がみかんを使った料理を提供します。例えば、年によって変わるがりますみかんソースのから揚げ、みかんスライス入り中華風煮込みエビ、みかん風味のクリーミーシーフードパスタなどがあります。また、各所で蒲郡みかんスイーツやドリンクおよび工産品が購入できます。参加店舗のリストはオンラインおよび蒲郡市観光案内所で入手可能です。

【タイトル】 蒲郡の水産物/潮干狩り

【想定媒体】 Web

<簡体字>

竹岛挖蛤蜊

每年四月和五月，竹岛与蒲郡陆地之间的潮滩上都站满了拿着小铲和大塑料桶的人们。春季是挖蛤蜊（潮干狩）的季节，这是日本沿海地区一项广受欢迎的休闲活动，而竹岛是爱知县最热门的蛤蜊挖掘地之一。

随着三河湾平静的水域在春季回暖，蛤蜊、文蛤、青柳蛤和竹蛭等贝类便会钻到靠近沙面的地方。历经整个深埋沙中的冬季后，这些贝类会钻到表层摄食营养丰富的浮游生物，为春季产卵做准备。这个季节的蛤蜊通常肉质饱满、味道浓郁。

只需支付少量费用，任何人都能体验在沙滩上搜寻蛤蜊的乐趣。最佳时机是退潮时分，通常出现在上午至傍晚之间（具体时刻表可通过网络或蒲郡市旅游信息中心查询）。典型的挖蛤装备包括：小铲或手耙、装蛤蜊的桶、用于吐沙的海水瓶，以及存放蛤蜊的带冰保温箱。同时请务必穿上雨靴或其他防水鞋。

活蛤蜊的壳会紧紧闭合，千万不要拾取贝壳张开的死蛤蜊。寻找蛤蜊时无需深挖：长约4厘米的黑色蛤蜊通常埋深不超过5厘米，而青色的文蛤通常在更深的几厘米处。如果你在这个深度范围内一无所获，与其继续向下深挖，不如换个地方尝试。

观察沙面时，请留意贝类呼吸用的小孔。稍大的孔更值得关注，那下面可能藏着竹蛭。捕捉这些细长贝类最简单的方法是在其洞口撒盐，盐分会促使它们钻出沙面，之后便能轻松徒手取出。

除竹岛外，蒲郡的挖蛤地点还包括城市东部的三谷温泉海岸、春日浦海岸，以及西浦半岛的前之尻海岸和松岛渔场。

<繁体字>

竹島挖蛤蜊

每逢 4 月與 5 月，竹島與蒲郡本島之間的潮間帶便會湧入大批手持耙子與大型塑膠桶的人潮。春季是挖蛤蜊的季節，這是全日本沿海地區廣受歡迎的休閒活動，而竹島是愛知縣內尋找這些穴居雙殼貝類最熱門的地點之一。

隨著三河灣平靜的海水在春季回暖，包括花蛤、文蛤、馬鹿貝與竹蠶等貝類會向上鑽至接近沙灘表層的位置。這些蛤蜊在沙灘深處度過冬季後，會鑽出來以攝取營養豐富的浮游生物，為春季產卵做準備。因此，這個季節的蛤蜊肉質肥美且風味十足。

只需支付少許費用，人人皆可體驗在沙灘狩獵蛤蜊之樂。退潮時分是挖蛤蜊的最佳時機，通常是在上午到傍晚之間。（詳細時間表可上網查詢或於蒲郡市遊客服務中心索取。）挖蛤蜊必備工具包括手耙或小鋤頭、收集蛤蜊的水桶、一瓶海水（用於沖洗蛤蜊），以及保冷箱（裝滿冰塊，以便將戰利品帶回家）。請務必穿著雨鞋或其他防水鞋具。

活蛤蜊的殼會緊緊閉合；請避免撿拾殼已張開的死蛤蜊。尋找時無需深挖：一般而言，長約 4 公分的黑色花蛤可在不超過 5 公分深處找到，而青色的文蛤則通常會再向下鑽幾公分。如果在這個深度找不到蛤蜊，建議您換個地點嘗試，而非在同一位置繼續往下挖。

在沙灘尋找蛤蜊時，請留意小洞，那是蛤蜊用來呼吸的孔洞。稍大一點的孔洞可能代表藏有竹蠶。捕捉這種長條狀蛤蜊最簡單的方法是在孔洞上撒鹽，這會使牠們彈出表面，接著便能輕易用手將其從沙中拉出。

除了竹島，蒲郡的挖蛤蜊地點還包括城市東部的三谷溫泉海岸、春日浦海岸，以及西浦半島的前之尻海岸與松島漁場。

<日本語仮訳>

竹島の潮干狩り

毎年 4 月と 5 月、竹島と蒲郡本土の間にある、トンボロ現象で現れる干潟は、手鋤や大きなプラスチックのバケツを手を持つ人々で賑わいます。春は「潮干狩り」と呼ばれる貝掘りシーズンで、日本沿岸部で人気のレジャー活動の一つです。竹島は愛知県で最も人気の高い潮干狩りスポットの一つです。

三河湾の穏やかな水が春に温まると、アサリ、ハマグリ、バカガイ、マテガイなどの貝が、砂の表面近くまで這い上がります。冬の間、砂のより深いところに潜り、産む卵のために春に良質なプランクトンを食べ

栄養を蓄えた貝は、肉厚で風味豊かです。

少額の料金を支払えば、誰でも砂を掘って貝を探す体験ができます。これは干潮時が最適で、通常は朝と午後遅くの間に最も適しています。（詳細なスケジュールはオンラインおよび蒲郡市観光案内所で確認できます。）潮干狩りの一般的な装備には、手鍬など小型の鍬、貝を収集するためのバケツ、砂出しする海水を入れるペットボトル、持ち帰るための氷入りのクーラーボックスが含まれます。雨靴や防水性の靴を必ず着用してください。

生きた貝の貝殻はしっかり閉じています。開いた貝殻の死んだ貝は取らないでください。貝を探す際は、深く掘る必要はありません。黒い、約 4 センチメートルの長さのアサリは、通常 5 センチメートル以内の浅い場所にいます。一方、青みがかったハマグリは、数センチメートル深く掘った場所に潜っています。この深さで貝が見つからない場合は、同じ場所を掘り続けるのではなく、別の場所を試すのが良いでしょう。

砂を調査する際は、貝が呼吸する小さな穴に注意してください。やや大きな穴も有望で、マテガイが入っている可能性があります。これらの細長い貝を捕まえる最も簡単な方法は、穴に塩を振りかけることです。これにより、貝が飛び出して表面に現れます。その後、手で砂から簡単に引き抜くことができます。

竹島以外にも、蒲郡の潮干狩りスポットには市東部の三谷温泉海岸、春日浦海岸、西浦半島の前ノ尻海岸と松島漁場があります。

【タイトル】 蒲郡の水産物/深海漁業

【想定媒体】 Web

<簡体字>

深海渔业

蒲郡作为爱知县唯一的深海渔船母港，其饮食文化的一大特色便是来自深达 400 米水域的海鲜。游客可以在蒲郡周边的温泉旅馆、酒店、餐厅等地品尝到柔软醇厚的绿眼鱼、赤座虾、高脚蟹等珍馐美味。不仅如此，一些海鲜市场还面向公众开放，您可在此品尝到刚从船上卸下的深海鱼。

丰饶之海

蒲郡的深海渔业始于 1920 年代，本地渔民开始在较浅的三河湾外海拖网捕捞。他们很快发现这片海域渔产丰富，海湾带来的充足养分与来自南部沿岸富氧洋流滋养了大量聚集于此的鱼类和甲壳类动物。

目前，蒲郡有四艘深海渔船常年作业。这些配备冷藏设备的拖网渔船通常会在海上停留两到三天，主要在纪伊半岛和伊豆半岛之间的远州滩深海区域及伊豆大岛周边进行捕捞。深海捕鱼通常全年进行，但七月和八月产卵季强制休渔期除外。

深海馈赠

当渔船于清晨返回蒲郡，它们卸下的渔获中有很多许多在日本其他港口并不多见的海产。其中包括因发光的绿色眼睛而得名的绿眼鱼，其肉质白嫩备受珍视，还有身体细长、肉质偏蓝、保鲜期较短的深海银鱼。常见的还有赤座虾，一种最大可达 25 厘米、肉质柔软微甜的小龙虾，以及世界上现存最大的甲壳动物——高脚蟹（日本蜘蛛蟹），其腿展可达 3.8 米。

在蒲郡周边，深海鱼通常以烧烤、油炸或刺身形式出售，但渔获量相对较小，供应也十分有限。对活体深海生物感兴趣的游客可以参观竹岛水族馆，这里约有 140 种深海物种，包括螃蟹、鲨鱼和海鲷。值得一提的是，水族馆中的许多生物都是从蒲郡渔船的渔获网中抢救出来的。

<繁体字>

深海漁業

蒲郡是愛知縣內唯一擁有深海漁船的母港，因此來自 400 公尺深海的海鮮自然成為其飲食文化中極具特色的一部分。在蒲郡各地的溫泉旅館、飯店與餐廳都能品嚐到肉質軟嫩溫潤的目光魚、胭脂蝦以及甘氏巨螯蟹等珍饈。此外，市內還有幾處向大眾開放的海鮮市場，遊客可在此品嚐甫自漁船卸下的新鮮深海魚。

豐饒的海域

蒲郡的深海漁業始於 1920 年代，當時當地漁民開始在三河灣淺水海域以外進行拖網捕撈。他們很快發現這些水域是豐饒的漁場，這要歸功於三河灣充足的營養物質，加上由南方沿岸流過、氧氣含量豐富的洋流，吸引並滋養了大量的魚類與甲殼類動物。

如今，共有四艘深海漁船在本市營運。這些配備冷藏設備的拖網漁船通常會在海上捕撈二至三天，主要在遠州灘（紀伊半島與伊豆半島之間的水域）最深處以及伊豆大島附近捕魚。除了 7 月與 8 月為魚類產卵期禁漁外，深海漁業全年皆可進行。

深海的恩賜

當漁船於清晨返回蒲郡時，會卸下在日本其他港口罕見的海洋物種。其中包括因醒目綠眼而得名並以細緻白肉廣受喜愛的目光魚，以及擁有細長身軀與青色魚肉、保鮮期極短的半帶水珍魚。同樣常見的還有胭脂蝦，這是一種體長可達 25 公分、肉質柔軟微甜的小型龍蝦；以及世界最大的甲殼類動物甘氏巨螯蟹，其足展長度可達 3.8 公尺。

蒲郡附近的深海魚類通常以燒烤、油炸或生魚片的形式享用，但由於捕獲量相對較少，供應量可能有限。若想觀賞鮮活的深海生物，可前往竹島水族館，館內展示了約 140 種來自深海的物種，包括螃蟹、鯊魚與鯛魚。館內許多生物都是從蒲郡漁船的漁網中搶救出來的。

<日本語仮訳>

深海漁業

愛知県で唯一の深海漁船の母港である蒲郡の食文化の特色の一つが、水深 400 メートルもの深海から採れる海鮮です。柔らかくまろやかなメヒカリ、アカザエビ、タカアシガニなど絶品の海鮮料理は、蒲郡周辺の温泉旅館、ホテル、レストランなどで楽しむことができます。また、一般公開されている海鮮

市場も数カ所あり、深海魚を船から直接新鮮な状態で味わうことができます。

豊かな海

蒲郡での深海漁業は 1920 年代に始まり、地元の漁師が浅い三河湾の外海で底引き網漁を開始しました。湾内の豊富な栄養分と、南から沿岸を流れる海流がもたらす酸素豊富な水が組み合わせ、多くの魚や甲殻類が集まる好漁場であることが判明しました。

現在、市からは 4 隻の深海漁船が操業しています。これらのトロール船は冷蔵庫を装備し、通常 2～3 日間海上で過ごし、紀伊半島と伊豆半島の間にある遠州灘の深い部分や伊豆大島周辺で漁を行います。深海漁業は年間を通じて行われていますが、7 月と 8 月の魚の産卵期には禁漁期間が設けられています。

深海の恵み

早朝に蒲郡に戻ってくる漁船からは、日本国内の他の港ではあまり見られない海洋生物が水揚げされます。その中には、特徴的な緑色の目から名付けられ、柔らかく白い身が珍重されるメヒカリや、細長い体と青みがかった身が特徴で、新鮮な状態で食べられる期間が短いニギスなどが含まれます。また、アカザエビと呼ばれるエビに似た小型のロブスターで、最大 25 センチメートルまで成長し、柔らかく甘みのある身が特徴のものや、タカアシガニという地球上で最大の甲殻類で、脚の広がり最大 3.8 メートルに達するものもよく見られます。

深海魚は一般に、蒲郡周辺で焼物、揚げ物、刺身として注文できますが、漁獲量が比較的少なく、すべての種が常に手に入るわけではありません。生きた深海生物を鑑賞したいなら、約 140 種の深海生物を展示する竹島水族館を訪れると良いでしょう。展示にはカニ、サメ、タイなどが含まれます。水族館の多くの生物は、蒲郡を拠点とする深海漁船の網にかかったものです。

【タイトル】 蒲郡の水産物/沿岸漁業

【想定媒体】 Web

<簡体字>

三河湾沿岸渔业

三河湾平静的浅水区和沙质海岸为众多海洋生物提供了适宜的生存环境。这片海湾自古以来便是蒲郡居民重要的食物来源。

三河湾西接知多半岛，东、南两面为渥美半岛所环绕。湾内水域相对平静，平均深度 9 米，因多条大型河流的注入而富含养分。这是甲壳类、贝类及小型鱼类繁衍生息的理想环境。

浅水贝类

湾内最具价值的海产之一当属车虾，虾体最大可至 27 厘米，虾肉紧实弹牙，鲜甜均衡味美，被视为高端寿司的经典食材。车虾得名于煮熟后蜷曲的形态及背部酷似车轮的条纹。另一种备受青睐的甲壳美味则当属渡蟹（梭子蟹）。蟹体大小约 20 厘米，可蒸、烤、炖、煮，每年九月至十月风味尤佳。

蒲郡地区最常见的食用贝类当属蛤蜊，一种长约 4 厘米的穴居双壳贝类。三河湾的蛤蜊产量约占全日本捕获量的 48%。蛤蜊通常作为味噌汤的配料，但在蒲郡，它也可以与乌冬面、裙带菜和海鲜高汤一同烹制成“蒲郡乌冬”这一特色料理。其他受欢迎的贝类还包括文蛤与蛤蜊的大型近亲紫石房蛤，这两种蛤蜊通常烧烤食用。

季节性特产

在蒲郡，一些不隶属于深海渔船队的蒲郡渔民会冒险在三河湾外的海域捕捞鲹鱼。这种鱼在御前崎半岛（静冈县）和房总半岛（千叶县）之间营养丰富水域尤为常见。鲹鱼需以钓竿逐一钓获，为保持品质，渔民还会非常小心地立即为每条鱼进行放血处理。食用鲹鱼时，需在冷水中静置一天以增强风味，再按传统放在燃烧的稻草上轻炙表面，保持内部半生。鲹鱼通常仅在春秋两季可捕，其中秋季鲹鱼因滋味更为鲜美而备受推崇。

游客可在蒲郡周边的温泉旅馆、酒店及餐厅品尝到本地的丰富水产，也可在多家向公众开

放的海鮮市場購買新鮮食材。

<繁體字>

三河灣與鄰近水域漁業

三河灣平靜的淺水區以及沙岸為多種海洋生物提供了適當棲息地。長期以來，這片海灣一直是蒲郡居民重要的食物來源。

三河灣西臨知多半島，東側與南側則有渥美半島，在這兩座半島遮蔽之下，這片封閉水域相對平穩，平均深度為 9 公尺，且因有多條大河注入而富含營養物質，為各種甲殼類、貝類與小型魚類提供絕佳生長環境。

淺灘甲殼類與貝類

三河灣最珍貴的物種之一是明蝦（日文稱「車蝦」，*Kuruma-ebi*），此大型蝦類體長可達 27 公分，因其肉質緊實，且甜味與鮮味完美平衡而被視為頂級珍饈。這種高級壽司的必備食材之所以得名，是因其煮熟後會捲曲，形狀與背部條紋結合起來宛如車輪（*kuruma*）。另一種備受青睞的甲殼類是梭子蟹，大小約 20 公分，可清蒸、燒烤或燉煮，一般認為在 9 月至 10 月間最為美味。

蒲郡地區最常見的可食用貝類是花蛤，這是長約 4 公分的穴居雙殼貝類。全日本捕獲的花蛤約有 48% 來自三河灣。這種貝類常用作味噌湯配料，但在蒲郡，人們也會將其與粗烏龍麵、海帶芽和海鮮高湯結合，烹製名為蒲郡烏龍麵的料理。其他廣受喜愛的貝類還包括紫石房蛤（花蛤近親）與文蛤，兩者通常都以燒烤方式烹調。

季節性特產

以蒲郡為基地的漁民中，不屬於深海漁船隊但在三河灣外捕撈者，通常是為了捕獲鰹魚。這種魚類在靜岡縣御前崎半島與千葉縣房總半島之間營養豐富的海域特別常見。鰹魚是以長線釣魚的方式逐一釣起，漁民會小心翼翼地立即為每條魚放血以保持魚肉品質，為了提升風味會浸泡在冷水中一天，接著傳統上會以稻草輕微炙燒，以保持內部生鮮狀態。鰹魚通常僅在春秋兩季捕撈，其中秋季鰹魚因其鮮美風味而特別珍貴。

來自當地海域的海鮮不僅可在蒲郡各地的溫泉旅館、飯店與餐廳嚐到，也能在數個對大眾開放的海鮮市場購得。

<日本語仮訳>

三河湾の沿岸漁業

三河湾の穏やかで浅い水域と砂浜は、多くの海洋生物の生育に適した環境を提供しています。そのため、この湾は古くから蒲郡の人にとって重要な食料源となっています。

三河湾は西に知多半島、東と南に渥美半島に囲まれており、比較的穏やかな水域です。平均水深 9 メートルの湾内は、複数の大きな川から流れ込む栄養分が豊富で、甲殻類、貝類、小型魚類など多様な生物が繁栄する理想的な環境となっています。

浅瀬の甲殻類と貝類

湾内で最も価値の高い種の一つが、クルマエビです。この大型のエビは最大 27 センチメートルまで成長し、弾力のある身と甘みと旨みのバランスが絶妙で、高級食材として珍重されています。高級寿司の定番で、茹でた際に丸まる形状と背中の縞模様が車輪に似ていることから名付けられました。もう一つの珍味甲殻類はワタリガニです。約 20 センチの大きさで、蒸す、焼く、煮るなど様々な調理法で楽しめます。9 月から 10 月が最も美味しいとされています。

蒲郡地域で最も一般的な食用貝は、約 4 センチメートルの長さのアサリです。三河湾は日本で捕獲されるアサリの約 48%の産地となっています。貝は味噌汁の材料としてよく使われますが、蒲郡ではうどん、ワカメ、海鮮出汁と合わせて「ガマガリうどん」という料理でも食べられます。他の人気の貝類にはアサリの大型種であるオオアサリとハマグリがあり、どちらも焼いて食べるのが一般的です。

季節の味

蒲郡を拠点とする漁師で、三河湾を越えて漁を行うが深海漁業船団に属さない漁師たちは、カツオを主な対象としています。この魚は、静岡県御前崎と千葉県房総半島の間にある栄養豊富な海域で特に多く見られます。

カツオはルアーで一匹ずつ捕獲され、漁師は品質を保つため、すぐに血を抜くことに細心の注意を払います。カツオは風味を向上させるため冷たい水に一晩浸けられ、伝統的に燃える藁の上で軽く焼かれ、中は生のまま残されます。この魚は春と秋にのみ捕獲され、特に秋のカツオは風味の良さと珍重されます。

蒲郡周辺の温泉宿、ホテル、レストランなどでは、地元の水産物が豊富に提供されており、一般公開されている複数の水産市場でも購入可能です。

【タイトル】 蒲郡の水産物/シーフードマーケット施設

【想定媒体】 Web

<簡体字>

海鲜市场

要体验蒲郡的饮食文化，品尝最新鲜的海鲜，不妨探访本地的海鲜市场。这些零售市场由渔业公司运营，不同于专业的批发市场，零售市场不仅供应三河湾的各类水产，还有从蒲郡港出海的四艘深海渔船捕获的深海鱼类。

这些海鲜市场的特色是可以买到直接从蒲郡港捕捞的新鲜海产。您可以在这里找到绿眼鱼、深海银鱼、紫石房蛤和高脚蟹等多种食材，也可以选择经过烧烤、油炸或刺身等加工处理后随即可食的海鲜。市场还经营各种加工水产，包括鱼糕、调味料，以及高脚蟹或赤座虾调味的仙贝。海鲜加工是蒲郡的重要产业，海鲜市场上销售的大部分水产都产自本地。不仅如此，一些市场还有烹饪章鱼、鲜鱼切割与晾晒等体验活动，以及新鲜熟蟹的拆解与食用教学。

从蒲郡市中心出发，交通比较方便的海鲜零售市场是位于形原渔港的“Yamasui 市场”、和蒲郡站西南方向的“蒲郡海鲜市场”，以及竹岛区域的“Tomarin 市场”。此外还有位于西浦半岛，隶属于渔港批发市场的“西浦鲜鱼市场”。

<繁体字>

海鮮市場

若想感受蒲郡飲食文化並品嚐市內最新鮮的魚類，不妨造訪當地海鮮市場。這些零售市場由漁業公司經營，與僅對業界專業人士開放的批發市場截然不同。零售市場販售來自三河灣以及由蒲郡四艘深海漁船所捕獲的海鮮。

此市場專營直接採購自蒲郡各漁港的新鮮海鮮。種類繁多的魚類與貝類，包括目光魚、半帶水珍魚、紫石房蛤以及甘氏巨螯蟹，皆提供燒烤、油炸或生魚片等即食料理。市場內也經營各種加工海產，包括魚漿、調味料，以及使用甘氏巨螯蟹或胭脂蝦調味的仙貝。海產加工業是蒲郡的重要產業，市場內販售的多數產品皆產自蒲郡本地。此外，部分市場還提

供手作體驗，例如煮章魚、切魚曬乾，以及學習如何剝殼及食用剛煮熟的螃蟹。

從蒲郡市中心可輕鬆抵達的海鮮市場包括：形原漁港的 Yamasui、蒲郡站西南方的蒲郡海鮮市場，以及竹島地區的 Tomarin。位於西浦半島的西浦魚市場則是漁港旁批發市場的一部分。

<日本語仮訳>

シーフードマーケット施設

蒲郡の食文化を体験し、市内でも最も新鮮な魚介類を味わいたいなら、地元のシーフードマーケットを訪れてみてください。これらの小売市場は漁業会社が運営しており、業界関係者しか入れない卸売市場とは異なります。小売市場では三河湾の魚介類と蒲郡を拠点とする 4 隻の深海漁船が漁獲する深海魚を扱っています。

市場では、蒲郡の漁港から直接仕入れた新鮮な海鮮を専門に販売しています。メヒカリ、ニギス、オオアサリ、タカアシガニなど、多種多様な魚介類が、焼きたて、揚げ物、刺身など、すぐに食べられる状態で販売されています。市場ではすり身魚の練り物、調味料、タカアシガニやアカザエビの風味を付けたせんべいなど、多様な加工水産物も取り扱っています。蒲郡では水産加工業が重要な産業であり、市場で販売される製品の多くは市内での製造品です。さらに、一部の市場では、タコの茹で方、魚の切り分けと乾燥、新鮮な茹でたカニの殻の剥き方と食べ方など、食に関する体験も提供されています。

蒲郡中心部からアクセスしやすい水産物市場には、形原漁港の「ヤマスイ」、蒲郡駅から南西にある「蒲郡海鮮市場」、竹島エリアの「とまりん」があります。西浦半島に位置する西浦鮮魚マーケットは、半島漁港隣接の卸売市場の一部を構成しています。

【タイトル】 蒲郡の水産物/メカリ

【想定媒体】 Web

<簡体字>

绿眼鱼

绿眼鱼 (*Chlorophthalmus albatrossis*) 是一种生活在日本中部海域至东中国海一带水深 200 至 400 米的深海鱼类。绿眼鱼因发光的翠绿色眼睛而得名，成年体长约 15 厘米，身体呈银灰色并带有深色斑点。绿眼鱼的肉质洁白柔嫩，备受青睐，但保鲜期较短。绿眼鱼在蒲郡地区可全年捕获，是当地深海渔船的主要渔获品种。

绿眼鱼刺身清爽多汁。要吃到这份新鲜的刺身，需要在捕捞后数小时内及时剖成鱼片并端上餐桌，因此这种珍馐只有在蒲郡这样的渔镇才能品尝到。绿眼鱼更常见的吃法是整条油炸，连细软鱼骨一并食用。在蒲郡，这种肉质饱满的小鱼常作为居酒屋的特色小食，搭配啤酒或清酒享用。不仅如此，当地一些海鲜市场还售有绿眼鱼味噌酱及其他调味品。

<繁体字>

目光魚

目光魚 (學名：*Chlorophthalmus albatrossis*) 是深海魚類，棲息於 200 至 400 公尺深的海域，主要分布在日本中部至東海一帶。這種魚類因其發光的翠綠眼睛而得名；成年魚身長約 15 公分，呈銀灰色並帶有暗色斑點。目光魚以其細緻白肉而備受青睞，但保鮮期非常短，其為蒲郡市當地深海漁船的主要漁獲，因此全年皆可供應。

目光魚生魚片口感清爽且鮮美多汁。由於魚肉必須在捕獲後數小時內切片食用，才能確保足夠新鮮以供生食，因此這道美味佳餚僅限在像蒲郡這樣的漁業城鎮才能品嚐到。更常見的吃法是將目光魚油炸後整條食用（包含軟骨）。在蒲郡，這些肥美的魚肉是極受歡迎的下酒菜，通常搭配啤酒或清酒享用。此外，蒲郡部分海鮮市場也有販售目光魚風味的味噌醬及其他調味品。

<日本語仮訳>

メヒカリ

メヒカリ（*Chlorophthalmus albatrossis*）は、日本の中部海域から東シナ海にかけての深海（水深 200～400メートル）に生息する深海魚です。この種は、輝くエメラルドグリーン目から名付けられ、体は銀灰色で暗色の斑点があり、通常 15 センチメートルほどに成長します。メヒカリは柔らかく白い身が珍重されていますが、鮮度が非常に短い。蒲郡では一年中入手可能で、同市を拠点とする深海漁船の主要な漁獲物となっています。

メヒカリの刺身は軽くジューシーで、新鮮な状態で食べるためには漁獲後数時間以内に切り分けて提供する必要があります。蒲郡のような限られた地域でしか味わえない珍味です。より一般的な食べ方は、メヒカリを丸ごと揚げたもので、柔らかい骨ごと食べられます。蒲郡では、これらのふっくらとした小魚は人気のバーの snacks として、ビールや日本酒と合わせて提供されることが多いです。さらに、市内のいくつかの水産物市場では、メヒカリ風味の味噌や他の調味料が販売されています。

【タイトル】 蒲郡の水産物/タカアシガニ

【想定媒体】 Web

<簡体字>

高脚蟹

腿展可达 3.8 米的高脚蟹 (*Macrocheira kaempferi*) 也称为日本蜘蛛蟹，是世界上最大的甲壳动物。这种螃蟹是日本与台湾太平洋沿岸的原生物种，栖息在 200 至 400 米深的小型洞穴或岩缝中，常见于水温约 10 摄氏度的海域。在幽暗的海底深处，高脚蟹能将自己完美隐藏起来。不仅其岩石般的甲壳本身就构成了天然伪装，高脚蟹还会用海藻装饰外壳，进一步伪装自己。

高脚蟹在自然环境中寿命最长可达约 100 年，但蒲郡深海捕捞区域的高脚蟹就没有这么长寿了。高脚蟹通常以水煮或清蒸方式烹制。其长腿肉质虽不丰厚，但身体部分却蟹肉饱满，且饱含诱人的蟹黄。膏质丰腴、鲜味浓郁的蟹黄既可单独食用，也可用作蟹肉的蘸料。由于活蟹烹食最为鲜美，因此高脚蟹在料理前常被暂养在陆地水池中。不同于其他深海生物，高脚蟹在陆地冷水中也可以存活数日。蒲郡的餐厅和酒店广泛供应高脚蟹料理。一些海鲜市场还推出了烹煮及品鉴高脚蟹的体验活动，同时销售蟹肉罐头和蟹味仙贝等蟹制品。

<繁体字>

甘氏巨螯蟹

甘氏巨螯蟹（學名：*Macrocheira kaempferi*）是世界上體型最大的甲殼類動物，足展長度可達 3.8 公尺，原產於日本與台灣太平洋沿岸，棲息於深度 200 至 400 公尺間的小型洞穴或孔洞中，最常見於水溫約攝氏 10 度的海域。這種螃蟹生活在幽暗的深海海底，能隱藏起來，使自己難以被發現；其岩石般的甲殼本身就具有偽裝效果，牠們還會用海綿裝飾蟹殼以進一步掩飾。

一般認為甘氏巨螯蟹在野外可存活 100 年，但在蒲郡外海，因深海漁民使用漁網捕撈，其平均壽命要短得多。甘氏巨螯蟹通常以清蒸或水煮方式食用，其細長的足部並不特別多肉，但軀體內則含有大量蟹肉以及備受珍視的蟹膏（肝臟），此部位口感滑順且富含鮮

味，可單獨食用，也可作為蟹肉沾醬。由於甘氏巨螯蟹以新鮮食用為佳，因此在烹調前通常會保存在陸地上的水池中，其與多數深海物種不同，只要保持在冷水裡，即使在陸地上仍可存活數日。蒲郡的許多餐廳與飯店均供應甘氏巨螯蟹，部分海鮮市場還提供煮蟹與吃蟹體驗，並販售如蟹肉罐頭及螃蟹口味仙貝等甘氏巨螯蟹相關產品。

<日本語仮訳>

タカアシガニ

脚の広がり最大 3.8メートルに達するタカアシガニ（*Macrocheira kaempferi*）は、地球上で最大の甲殻類です。このカニは日本と台湾の太平洋沿岸に固有の種で、水深 200メートルから 400メートルの深海にある小さな洞窟や穴に生息しています。最もよく見られるのは、水温が約 10 度の場所です。暗闇の海底深くで生活するこのカニは、ほぼ発見不能なほど姿を隠すことができます。岩のような甲羅が自然なカモフラージュとなり、さらに海洋生物で甲羅を装飾して姿を隠すことができます。

タカアシガニは野生では最大 100 年生きると推定されていますが、深海漁師が網で捕獲する蒲郡沖の海域では、平均寿命ははるかに短いはず。カニは通常、茹でたり蒸したりして食べられます。長い脚は特に肉厚ではありませんが、体は豊富な肉と、人気の高いカニ味噌を含みます。このクリーミーでうま味豊かなペーストは、そのまま食べたり、肉に付けて食べたりできます。タカアシガニは新鮮な状態で食べるのが最も美味しく、そのため調理まで陸上の水槽で生きたまま保管されることが多いです。他の深海種とは異なり、このカニは冷たい水に浸けておけば、陸上で数日間生存できます。タカアシガニは蒲郡市のレストランやホテルで広く入手可能です。市内のいくつかの海鮮市場では、カニの茹で体験や食べ体験を提供しており、タカアシガニの加工品（缶詰の肉やカニ風味のせんべいなど）も販売されています。

【タイトル】 蒲郡の水産物/アサリ

【想定媒体】 Web

<簡体字>

蛤蜊

三河湾平静的水域与蜿蜒沙滩，为蛤蜊（*Ruditapes philippinarum*）提供了理想的栖息环境，这种长约 4 厘米的穴居双壳贝在蒲郡的饮食文化中扮演着重要角色。尽管蛤蜊在日本全国较为常见，但三河湾的蛤蜊产量是当之无愧的第一，约占日本蛤蜊总捕获量的 48%。

春季是蛤蜊的旺季，通常以三月下旬至五月为盛产期，此时的蛤蜊肉质丰厚、风味十足。历经整个深埋沙中的冬季后，此时的蛤蜊会钻到表层摄食营养丰富的浮游生物，为春季产卵做准备。当地渔民通常在早春采收蛤蜊，他们会用带有网兜和金属齿的耙网在海底采蛤。春末时节，竹岛沿岸还会吸引众多徒手挖蛤蜊的民众。每年四至五月退潮期间，当海水从岛屿和陆地之间的潮滩退去，黑色的沙滩上便挤满了挖蛤人。泥沙中的蛤蜊呈深灰近黑色，与其栖息的沙土浑然一体，形成天然伪装。

蛤蜊除了常用于味噌汤的辅料外，也可以用清酒蒸食。在蒲郡，蛤蜊还可以与乌冬面、裙带菜和海鲜高汤一同烹制成“蒲郡乌冬”这一特色料理。

<繁体字>

花蛤

三河灣平靜的水域與沙岸為花蛤（學名：*Ruditapes philippinarum*）提供了絕佳棲息地，其在蒲郡料理中極為普遍。儘管這種貝類在日本各地相當常見，但以產量而言，三河灣居全國之冠，全日本捕獲的花蛤約有 48%來自此地。

花蛤盛產期在春季，通常介於 3 月下旬至 5 月之間，此時的花蛤肉質肥美且風味十足。在沙灘深處度過冬季後，花蛤會鑽出來以攝取營養豐富的浮游生物，為春季產卵做準備。當地漁民通常在早春採集文蛤。他們使用一種稱為拖耙的工具（一種附有金屬齒與小網、如籃子般的容器）來耙梳海床。到了春季稍晚，會有大批人潮湧向竹島海岸親手挖掘花蛤。

4月與5月退潮時，當竹島與本島間的潮間帶海水退去，黑色的沙灘上便會擠滿挖蛤蜊的人群。這裡的花蛤顏色同樣偏深灰色或接近黑色；牠們的殼會呈現出棲息沙地的顏色以作為偽裝。

花蛤常用作味噌湯配料，或以清酒蒸煮的方式食用。在蒲郡，人們也會將其與粗烏龍麵、海帶芽和蛤蜊高湯結合，享用名為蒲郡烏龍麵的料理。

<日本語仮訳>

アサリ

三河湾の静かな水面と砂浜は、蒲郡地方の食文化で重要な役割を果たすアサリ（*Ruditapes philippinarum*）という、約4センチメートルの長さになる貝の理想的な生息地を提供しています。この貝は全国的に比較的広く分布していますが、日本国内で捕獲されるアサリの約48%が三河湾で採れるため、ここが最大の産地となっています。

アサリは春が旬で、通常3月下旬から5月にかけてが最盛期です。この時期、貝は冬の間砂の深いところで栄養を蓄え、春に産卵するための卵を産むために、砂の中から這い上がってきます。地元の漁師は主に早春にアサリを採ります。彼らは、小さな網と金属の歯が付いた籠状の容器であるドレッジを使って海底を掻き回します。春後半には、竹島沿岸に大勢の人々が集まり、手作業でアサリを掘ります。4月から5月の干潮時、島と本土の間にある干潟から水が引くと、黒い砂浜がアサリ採りの人で埋め尽くされます。ここでのアサリも暗灰色またはほぼ黒色で、生息する砂の色に同化してカモフラージュしています。

アサリは味噌汁の具材として使われるほか、酒で蒸して食べることも。蒲郡では、地元の料理「ガマゴリうどん」で、うどん、ワカメ、貝出汁と合わせて楽しむこともできます。

【タイトル】 蒲郡市博物館/蒲郡市博物館

【想定媒体】 Web

<簡体字>

蒲郡市博物館

蒲郡市博物館的展览，深入浅出地介绍了从古至今的当地历史。展览聚焦于当地经济发展，讲述了蒲郡是如何凭借渔业、纺织业、果树种植等产业，从一座由朝廷大臣兼诗人藤原俊成（1114-1204）开创的聚落，发展为一座繁荣的区域城市。

博物馆内包含三个主展厅，其中的两个常设展览中陈列着传统手动织布机、木制蜜柑分选机、20世纪初复原的古民居等一系列展品，生动地讲述了其发展历程。第三个展厅每年三次举办与蒲郡相关的特别展览，涵盖蜜柑产业、环城山脉与当地地震史等丰富主题。

特展厅旁边的小房间还展示了当地历史学家兼照明器具收藏家岸间芳松先生收藏的古董烛台、提灯和灯具。一楼的独立展厅则用于举办美术展览。此外，博物馆外还永久陈列着一台1938年制造的D51型蒸汽机车。在博物馆开放时间里，游客可登上机车和客车车厢一探究竟。

<繁体字>

蒲郡市博物館

蒲郡市博物館的展覽以淺顯易懂的方式，概述從古代至現代的當地歷史。展覽重點在於蒲郡的經濟發展，解釋了數世紀以來，漁業、紡織業與水果栽培等產業，如何將這座由才華橫溢的詩人兼朝臣藤原俊成（1114-1204）所建立的農業聚落，轉變為繁榮的區域城市。

館內三個主要展廳有兩個為常設展廳，透過多項物品來闡述這段歷史，包括傳統手動織布機、木製橘子分級機，以及20世紀初期家庭住宅房間的複製品。第三個展廳每年舉辦三次與蒲郡相關的主題特展，內容涵蓋蜜柑產業、城市周圍的山脈，以及當地經歷過的地震等。

特展廳旁的小展室展示了由當地歷史學家兼照明設備收藏家岸間芳松所收藏的古董燭台、

燈籠與燈具。藝術展覽則設於 1 樓的獨立藝廊。此外，館外長期展示一輛於 1938 年製造的 D51 型蒸汽火車。遊客可於博物館開放時間內，自由進入火車頭與客車車廂參觀。

<日本語仮訳>

蒲郡市博物館

蒲郡市博物館の展示は、古代から現代までの地域史を分かりやすく紹介しています。展示は蒲郡の経済発展に焦点を当て、漁業、織物、果樹栽培などの産業が、公家で詩人の藤原俊成（1114-1204）によって設立された集落を、繁栄する地域都市へと変貌させた経緯を解説しています。

博物館の 3 つの主要展示室の 2 つを占める常設展示では、伝統的な手動織機、木製のミカン選別機、20 世紀初頭の住宅の部屋を再現した展示物などを通じて、この物語を解説しています。3 つ目の展示室では、ミカン産業から都市を取り囲む山々、地域の地震の歴史まで、蒲郡に関連するテーマを扱う年 3 回の企画展が開催されています。

企画展示室の隣の小さな部屋には、地元の歴史家兼照明器具収集家だった岸間芳松氏のコレクションから、アンティークのキャンドルスタンド、提灯、ランプなどが展示されています。1 階の別ギャラリーでは美術展が開催されています。さらに、博物館の外には 1938 年に製造された D51 型蒸気機関車が常設展示されています。機関車と連結された客車は、博物館開館時なら自由に乗り込むことができます。

地域番号	032	協議会名	佐賀県伊万里市
------	-----	------	---------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
032-001	伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル A	823	QR
032-002	伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル B	1079	QR
032-003	伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル C	795	QR
032-004	伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル D	858	QR
032-005	伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル E	803	QR
032-006	鍋島藩窯 大川内山：マップ	797	パンフ

【タイトル】伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル A

【想定媒体】QR

<簡体字>

展板 A

陶器、炆器与瓷器

根据烧制温度与胎土成分，陶瓷制品通常可分为三大类：陶器、炆器与瓷器。陶器的烧制温度约在 600 至 1100°C 之间。在这一温度范围内，坯体未完全玻化，即未被熔融成玻璃质。这意味着成品陶器仍然带有细微孔隙，如不覆以釉层便会渗水。炆器的烧成温度在 1200°C 以上，坯体在高温下充分玻化，内部的气泡与孔隙完全被消除。未施釉的炆器本身就不吸水，表面通常也十分致密光滑。瓷器的烧制温度在 1250°C 以上，以富含硅酸盐和钙质矿物的胎土或石料烧制而成，常见原料包括高岭土、长石、云母等。其质地坚硬轻盈，可以烧制得极为薄透，甚至达到半透明的效果。

佐贺藩的陶瓷

唐津烧

唐津烧是一种最早在肥前国地区（今佐贺县、长崎县一带）烧造的炆器。据说是由 16 世纪 80 年代前往日本的朝鲜陶工所创。这种炆器常以釉彩装饰，形成黑白对比鲜明的“朝鲜唐津”，或以笔绘装饰图案的“绘唐津”。唐津烧的瓷器受到茶道界的青睐，至今仍在制作生产。

伊万里烧（有田烧）

伊万里烧是一种瓷器。虽制作地在有田与波佐见，但成品多由伊万里港运往日本各地，因而得名。伊万里烧创始于江户时代初期（1603—1867），这一时期的作品多被称作“古伊万里”。其历史源于佐贺藩主锅岛直茂（1538—1618）自朝鲜带回的陶工。这些陶工在有田泉山发现了白色瓷石，这种石材在化学成分上与高岭土极为相近，利用这些石材，他们首次在日本成功烧成真正意义上的瓷器。随着时间推移，陶工在技艺上不断精进，在吸收融合了朝鲜与中国陶瓷技艺的基础上，发展出了具有日本特色的独特风格。

锅岛烧

锅岛烧是一种专为江户时代锅岛家族而烧制的瓷器。锅岛氏在德川幕府的创立者德川家康（1543—1616）崛起之初，曾与之对敌，此后为了维系对佐贺藩的统治，便以精美瓷器进献德川幕府，以示归顺。锅岛烧亦被用作赠予重臣要员的礼品，并作为佐贺城的宴飨餐具。这种瓷器大多只在大川内山地区集中烧制，从不在市面出售，普通人若想得到一件锅岛烧，唯有通过锅岛家族赏赐。

<繁体字>

A 版

陶器、炆器與瓷器

陶瓷類依燒製溫度與陶土成分，通常可分為陶器、炆器或瓷器。陶器的燒製溫度介於攝氏 600 到 1100 度之間。烘烤過程中，陶土不會完全玻璃化或融化成玻璃。這意味著除非上釉，否則該陶瓷成品仍然是會滲漏的。炆器是以 1200°C 以上的高溫燒製，使陶土完全玻璃化，讓所有氣泡或孔洞不復存在。未上釉的炆器不具吸水性，表面光滑。瓷器以 1250°C 以上的高溫燒製，由含豐富二氧化矽及鈣基礦物質的陶土與石頭（通常為高嶺土、長石和雲母）混合而成。這是一種堅實質輕的陶瓷作品，可以做到相當薄，甚至達到半透明的程度。

佐賀藩陶瓷

唐津燒

唐津燒是一種炆器，首產於肥前國（現今的佐賀縣與長崎縣）。據說最初是由 16 世紀 80 年代來到日本的朝鮮陶匠所創製。這種炆器通常以釉料來上色，創作出黑白相間的韓國唐津（朝鮮唐津）或刷塗上色的彩繪唐津（繪唐津）。唐津燒至今仍在生產中，且深受茶道推廣者的青睞。

伊萬里（有田）燒

伊萬里燒是瓷器的一種。雖然產自有田和波佐見地區，但這種瓷器是從伊萬里港運往全國各地，因而得名。伊萬里燒最早出現在江戶時代初期（西元 1603–1867），這段期間所生產的瓷器通常被稱為古伊萬里。伊萬里燒的生產始於佐賀大名鍋島直茂（西元 1538–1618）將朝鮮陶匠帶到佐賀藩後。他們在有田町泉山發現了白瓷石。這種瓷石在化學成分上與高嶺土類似，利用這種瓷石，他們成為日本史上第一批成功製造瓷器的人。經過歲月的更迭，陶匠們在陶藝技術上不斷精進，並將朝鮮與中國的元素融入作品中，創造了日本

特有的瓷器。

鍋島焼

鍋島焼は江戸時代専門為鍋島家族製作的瓷器。在徳川幕府崛起期間，鍋島家族曾與幕府創建者徳川家康（西元 1543-1616）對抗過。為保住對佐賀藩的掌控權，鍋島家族不得不向幕府將軍納入瓷器等特殊貢品。鍋島焼也用來贈予重要的政府官員，並作為佐賀城中的餐具。瓷器多半只在大川内山生產，且不出售；獲得這種瓷器的唯一管道是鍋島家族的贈與。

<日本語仮訳>

パネル A

陶器、炆器、磁器

陶磁器は一般的に、焼成温度と粘土の組成に基づいて、陶器（Earthenware）、炆器（Stoneware）、磁器（Porcelain）の3種類に分類されます。

陶器はおよそ 600～1,100℃の温度で焼成されます。焼成の過程で胎土が完全にはガラス化（焼き締まり）しないため、釉薬をかけない限り、出来上がった陶器は多孔質で水を通しやすい性質を持ちます。

炆器は1,200℃以上の高温で焼成されます。胎土が完全にガラス化し、気泡や隙間がなくなります。そのため表面は滑らかで、釉薬をかけていなくても水を通しません。

磁器は 1,250℃を超える温度で焼成され、シリカやカルシウム系鉱物（通常はカオリン、長石、雲母など）を多く含む胎土や石を原料としています。硬くて軽く、非常に薄く作ることもでき、半透明になる場合もあります。

佐賀藩の陶磁器

唐津焼

唐津焼は、400 年以上前に肥前地方（現在の佐賀県および長崎県）で初めて作られた炆器の一種です。1580 年代に来日した朝鮮の陶工によって創始されたと考えられています。唐津焼は一般に釉薬で装飾され、黒釉や白釉を施した「朝鮮唐津」や、筆で模様を描いた「絵唐津」があります。唐津焼は茶道の世界で高く評価されており、現在も制作が続けられています。

伊万里焼（有田焼）

伊万里焼は磁器の一種です。有田や波佐見で制作されましたが、伊万里港から日本各地に出荷されたことから「伊万里焼」と呼ばれるようになりました。江戸時代初期（1603～1868 年）に初めて

作られ、その時代に作られたものは、しばしば「古伊万里」と呼ばれます。生産は、佐賀藩主鍋島直茂（1538～1618年）が連れてきた朝鮮の陶工たちが、有田の泉山で白磁の原料となる石を発見したことから始まりました。この石はカオリンに似ており、これを用いることで日本で初めて磁器の制作に成功したとされています。その後陶工たちは技術を磨き、朝鮮や中国からの影響を取り入れながらも、日本独自の様式を生み出していました。

鍋島焼

鍋島焼とは、江戸時代に鍋島家のために特別に作られた磁器製品を指します。鍋島家は徳川幕府を開いた徳川家康(1543-1616)の台頭に反する立場にありました。佐賀藩の統治を維持するために、磁器という形で徳川家への献上品を納めていました。鍋島焼は、重要な政府関係者への贈答品として用いられたり、佐賀城内の食器として使われたりしていました。基本的に鍋島焼は大川内山でのみ生産され、一般には販売されることはありませんでした。鍋島家から直接贈られることでのみ入手できる非常に限られた磁器でした。

【タイトル】伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル B

【想定媒体】QR

<簡体字>

展区 B

早期锅岛烧

1600 年，军事统帅德川家康（1543—1616）在关原之战中获胜，终结了日本长达百年的战国乱世。在创立德川幕府的过程中，德川家康通过剥夺领地和爵位的方式惩处了曾与他对抗的大名藩主（日本封建时代的地方领主）们。为躲避这场惩处并保全领地，佐贺藩的锅岛胜茂（1580—1657）向德川幕府进献了大量珍贵的明代中国瓷器。

然而至 17 世纪中叶，中国满清势力崛起，与明朝战事不断。随着战事的延续，锅岛家族求购新的中国瓷器变得愈发困难。当时，有田町的工匠早已开始烧制瓷器，并向日本国内及长崎出岛地区的荷兰商人销售。为维持向幕府进贡的传统，锅岛家族命令有田地区的陶工尝试仿制中国风格的瓷器，此举开创了锅岛烧的先河。

17 世纪 50 年代诞生于有田的早期锅岛烧，以大型彩绘盘碟最具代表性。这种繁复独特的器形图案原本专供德川家族使用，但逐渐被有田地区其他窑场仿制并销往全日本。17 世纪 60 年代，锅岛家族将最出色的工匠迁至与世隔绝的大川内山地区，并设立关卡，严格控制通往村庄的唯一道路，以此守护锅岛烧的烧制秘技。

大川内山生产的早期锅岛烧直径多在 15 至 21 厘米之间。其典型特征是圈足（陶器底座）高耸，并且图案丰富多样。

锅岛烧的黄金时代与晚期发展

锅岛烧的生产巅峰出现于 17 世纪末。德川幕府第五代将军德川纲吉（1646—1709）曾率领约七千名随从定期造访江户（今东京）地区大名们的宅邸。这位将军及其侍从团需以最精美的餐具——锅岛烧盛装珍馐享用。为满足其他大名对高档瓷器的需求，锅岛光茂（1632—1700）向大川内山窑场颁布指令：仅聘用顶尖陶工，为德川纲吉将军到访设计全新图案，但凡存在瑕疵之作不论缺陷大小一律销毁。

与从伊万里港出口的商业瓷器不同，锅岛烧的图案受到严格管控。18 世纪初，德川幕府修订了禁奢令，限制每年进贡的釉上彩瓷数量。此后，大川内山窑场仅能使用官府核准的深蓝色与青瓷色釉料。

19 世纪中叶，锅岛烧的风格与品质再度转变。锅岛家族奉命承担长崎海防建设重任，获准五年内免于进贡。此期间，仍有少量锅岛烧被作为赠礼制作，这些瓷器的釉彩装饰较前两个世纪更为简朴，工艺精湛程度亦有所不及，反映出锅岛家族面临的财政重负。

19 世纪末，德川幕府统治瓦解，藩制废除，大名势力被剥夺。许多工匠因窑场体制废止而无法谋生，纷纷离开大川内山。为挽救这个濒临失传的传统技艺，原锅岛窑场的部分陶工于 1877 年成立“精工株式会社”，但数年后该组织因资金困境而解散。直至 20 世纪初，随着日本国内交通基础设施逐步完善，大川内山与全国各地连通之后，锅岛烧的艺术价值与美学魅力才终于获得公众的广泛认可。

<繁体字>

B 版

早期的鍋島燒

戰國名將德川家康（西元 1543–1616）於西元 1600 年在關原之戰中獲得勝利，結束日本長達一個世紀以來的內戰。建立德川幕府的手段之一是嚴懲那些與他對抗過的大名，剝奪他們的土地與頭銜。為避免被消滅並維持領土的掌控權，佐賀藩的鍋島勝茂（西元 1580–1657）向幕府進貢了許多珍貴的明代瓷器。

然而到了 17 世紀中葉，滿清入侵了明朝。隨著戰亂不斷，要取得中國瓷器變得相當困難。有田的工匠們已開始製作瓷器，並將其銷往國內以及出島的荷蘭人手中。在向幕府持續進貢的壓力下，鍋島氏促使其在有田的陶匠們嘗試創作中國風的瓷器。在其努力下催生了第一批的鍋島燒。

17 世紀 50 年代在有田生產的早期鍋島燒具有大型、裝飾精美的餐盤之特點。這些精美而獨特的圖案原本是專屬於德川氏的，但越來越多有田地區的其他窯廠爭相仿製，並銷往全國各地。17 世紀 60 年代，鍋島氏將他們最具天賦的工匠遷往與世隔絕的大川內山村落。此外還設立了一個檢查崗哨，控制進出村落的唯一通道，以確保鍋島燒的製作秘方不外洩。

大川内山最早製作出的鍋島燒作品直徑通常介於 15 公分到 21 公分之間。其特徵是底部有繪製圖案的圈足。

鍋島燒黃金時期至末期

鍋島燒的生產鼎盛時期是在 17 世紀末。第五代幕府將軍德川綱吉（西元 1646-1709）及其約 7,000 名的隨扈會定期到訪江戶（今東京）地區大名們的莊園。將軍及其隨扈理當只能以最上等的食物和最好的餐具——鍋島燒來招待。為滿足其他大名們對瓷器的新需求，鍋島光茂（西元 1632-1700）向大川内山窯廠下了一道命令：他們只能聘請最好的陶匠，為將軍的到訪提供新的陶器設計，並銷毀所有瑕疵品，那怕只是微不足道的一丁點瑕疵。

不同於伊萬里港運出的市售瓷器，鍋島燒的圖案與設計是受到嚴格管控的。18 世紀初，幕府修訂了禁奢條款，限制每年進貢的彩釉瓷器量。自此，大川内山窯只能採用政府認可的深藍色與青瓷色調。

19 世紀中葉，鍋島燒的風格與品質再次有了不同的面貌。鍋島氏依令須支援在長崎建立海軍防禦工事，並因此享有五年免向幕府進貢的特權。然而還是有少量鍋島燒生產用來當作贈品用。這個時期的瓷器特色是彩釉作品較少，作工也不如前兩個世紀的作品精細，反映了鍋島氏在經濟上前所未有的負擔。

19 世紀末幕府遭廢除，也終止了藩屬制度，大名的權力就此被剝奪。因為無法再待在大川内山窯工作謀生，許多工匠離開了大川内山，到其他地方另謀出路。因擔心傳統工藝失傳，鍋島燒窯一些留下的陶匠於西元 1877 年創立了精工舍，但礙於經濟困境，該組織於多年後解散。直到 20 世紀初，隨著交通基礎設施的改善，大川内山與日本其他地區有了聯繫，鍋島燒的工藝與美學終於獲得大眾的肯定。

<日本語仮訳>

初期の鍋島焼

徳川家康（1543-1616）は、1600 年の関ヶ原の戦いで勝利し、16 世紀を通じて日本を苦しめていた長い戦乱の時代を終わらせました。徳川幕府の成立にあたり、家康は敵対した大名から領地や地位を没収しました。この粛清を避け、佐賀藩の領地を維持するため、鍋島勝茂（1580~1657 年）は、貴重な中国明朝の磁器を徳川幕府に献上しました。

しかし、17 世紀半ばになると満州族による中国征服により、新しい磁器を入手することが難しくなってきました。この時点で、有田の陶工たちはすでに磁器を作り始め、国内だけでなく出島のオランダ商人にも販売していました。幕府への献上を続けていく必要があったことから、鍋島家は有田の陶工に、幕府に献上していた輸入中国磁器の様式を模した磁器の制作を試みさせました。この努力が実を結び、鍋島焼の初期の作品が生み出されました。

初期の鍋島焼は 1650 年代に有田で作られ、大きな装飾皿が特徴です。複雑で独特な意匠は徳川家のためだけに考案されましたが、やがて有田の他の窯でも模倣され、全国で販売されることがありました。1660 年代、鍋島家は最も優れた職人とその窯を、人里離れた大川内山の村へ移しました。また、村に通じる唯一の道に番所を設け、鍋島焼の製法の秘密を守れるようにしました。

大川内山で作られた鍋島焼の初期の作品は直径 15～21cm ほどの皿が多く、文様が施された底部の高台が特徴的です。

鍋島焼の黄金期から晩期

17 世紀後半は、鍋島焼の生産が最も盛んだった時期でした。第 5 代将軍・徳川綱吉（1646–1709）は、約 7,000 人にも及ぶ大規模な随行者とともに江戸（現在の東京）にある多くの大名屋敷を訪問しました。当然ながら将軍とその随行者には、最高の料理を最高の器でふるまうことが求められ、鍋島焼の必要性が高まりました。これに応えるため、鍋島光茂（1632–1700）は大川内山の窯に指示を出しました。その内容は、最高の陶工のみを使うこと、将軍訪問に合わせた新しい鍋島焼の意匠を作ること、どんなにわずかな欠陥でも見つければ作品を破棄することでした。

伊万里から出荷されていた商業用磁器とは異なり、鍋島焼の意匠や文様は厳しくコントロールされていました。18 世紀初頭、幕府によって制定された贅沢品に関する法令（儉約令）には、年間の献上品に鮮やかな色絵を施すことを制限する指示が含まれていました。これ以降、大川内山の窯では、幕府が認めた藍色や青磁色という限られた色のみを使用するようになりました。

19 世紀半ばになると、鍋島焼の様式や品質は再び変化しました。鍋島家は長崎の海防施設の建設支援を命じられ、その見返りとして幕府への年貢を 5 年間免除されました。鍋島焼の献上も免除となっておりましたが、贈答用としては生産が続けられていました。防衛という財政面の負担を受けて、この時期の作品には色絵が少なく、17～18 世紀の鍋島焼に比べて精巧さは低くなっています。

19 世紀の終わり幕府がなくなり、廃藩置県によって藩制度が廃止され大名たちはその権力を失いました。鍋島窯で働くことで収入を得られなくなったことから、大川内山の多くの陶工たちは生計を立てるために村を離れ、他の土地で職を求めるようになりました。伝統技法が失われることを懸念した鍋島焼の残った陶工たちは 1877 年に「精功社」を設立しました。しかし、財政難により数年で経営不振となり解散しました。その後、20 世紀初頭になって交通インフラの整備が進み、大川内山と国内各地が結ばれるようになった頃、鍋島焼は一般の人々にも広く知られ、高く評価されるようになりました。

【タイトル】伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル C

【想定媒体】QR

<簡体字>

展板 C

锅岛烧的装饰技法

锅岛烧根据釉彩技法可分为三大类别。

青花锅岛烧（染付）是指在上釉之前，先在素胎上用青色颜料直接绘制图案，之后施以透明釉，再入窑高温烧制而成。此类瓷器常以细密线条勾勒图案，或运用晕染等精湛技法上色。

彩釉锅岛烧（色锅岛）指在釉面之上再叠加彩绘，从而呈现丰富色彩的技法。先以青花颜料绘制底稿，之后覆盖一层透明釉料烧制成基底，再于基底上用釉上彩颜料复绘图案，最后经低温二次烧制完成。釉上彩图案多以红、黄、绿三色为主，有时亦辅以黑彩或金彩。

青瓷锅岛烧（青磁）指用多层釉料叠加烧制，使成品呈现翡翠般色泽的技法。青瓷通常不使用繁复的纹样装饰。因釉料在窑内烧制过程中极易发生流釉或开片现象，工匠反而会刻意利用此特性，营造出一种特殊的美感。事实上，想要烧制出毫无开片痕迹的青瓷成品是极为困难的。

锅岛烧的规格、器型与图案

17 世纪 90 年代后生产的锅岛烧在规格、器型与图案上形成了一套标准化体系。碟盘类直径介于 11 至 30 厘米之间，最大型的碗具常采用深腹高足造型，此类器型在烧制过程中极易塌陷变形。普通的伊万里瓷烧制时，需辅以支撑物防止塌陷，但这样会在底部留下微小的钉痕。锅岛烧作为献给幕府将军的贡品，绝不允许有哪怕一点点瑕疵。因此，不借助外力支撑便能成功烧制大型碗盘的工序，唯有技艺最为精湛的陶工方可胜任。

锅岛烧与伊万里瓷的图案题材广泛，涵盖植物、动物、几何图案、气候天象及宫廷生活等主题。且锅岛烧因遵循一系列严格的烧制规范，得以呈现出更精密的纹饰与更卓越的品质。这类瓷器的外壁图案必在三个方向按三组分布，其中一组纹饰会略作旋转上移，以

指示器物的正面与主图的朝向。器底图案几乎都为植物题材，如树枝、草叶，以及仅用于上贡给幕府将军的牡丹唐草纹。另外，佐贺城内专用的器皿则常饰以七宝结纹或七宝连纹。早期锅岛烧，其圈足（陶器底座）部分的纹饰种类繁多，但到了 18 世纪的黄金时代末期，几乎全部统一成梳齿纹。

<繁体字>

C 版

鍋島燒裝飾

鍋島燒依上釉工法可分為三類。

青花瓷鍋島燒是以藍色顏料直接在未上釉的器皿上繪製花色。然後將器皿浸到透明釉料中後燒製。用這種方法製作的陶瓷，通常以無數細線或如水墨畫般的細膩畫法來繪製。

彩釉鍋島燒（色鍋島）使用彩繪瓷釉為瓷器增添色彩。這樣的作品是先用釉下藍彩打底，再上一層透明釉，然後燒製形成底層。底層上再塗上一層釉上彩，然後以低溫再次燒製完成圖案。外層釉的花色通常為紅色、黃色和綠色，偶爾也會另添黑色或金色。

鍋島青瓷是在瓷器表面上多層釉料，以呈現翡翠般的色調。青瓷通常不會以繁複的圖案來修飾，事實上也多半是有意這麼做的，因為釉料在窯爐中容易流動或裂開，而完全沒有裂痕的青瓷作品是相當不容易製作的。

鍋島燒的尺寸、形狀與設計

17 世紀 90 年代以後製作的鍋島燒已經標準化為某些特定尺寸、形狀及設計。盤子的直徑介於 11 公分到 30 公分。最大的碗通常碗底較深，圈足較高，因此在燒製過程中容易凹陷。普通的伊萬里瓷器為了防止凹陷，會在底部加一個支撐，其代價是底端會留下一個小點。相較之下，鍋島燒是為幕府將軍製作的，因此即使是微小的瑕疵也不容許存在。只有工藝最精湛的陶藝師才能製作出不需外部支撐的大碗。

鍋島燒和伊萬里燒的圖案設計取材廣泛，涵蓋植物、動物、幾何圖形、天氣及宮廷生活等各種主題。然而，針對鍋島燒生產的嚴格管控，讓鍋島燒製作出更細緻與高品質的作品。瓷器外觀設計以三種不同圖案為一組——三種圖案中的一種是倒過來的，用來呈現內側主要圖案的設計。瓷器底部的圖案幾乎都以植物為題材，例如樹幹與草，以及牡丹花紋，

這種花紋只會用在進貢給幕府將軍的瓷器上。有環環相扣圖案的瓷器是在佐賀城內用的。早期鍋島燒作品的底環最初有很多不同的圖案，但到了 18 世紀黃金時代末期，幾乎所有圈足都改採為梳齒圖案。

<日本語仮訳>

鍋島燒の技法

鍋島燒は、施釉の技法によって大きく三つの種類に分けられます。

染付は、器に釉薬をかける前の素地に青の絵具で直接絵付けを行います。その後、透明釉をかけて焼成します。この方法で作られた作品には、細い線で描かれた精緻な文様や、墨弾きなどの高度な技法が用いられ、陶工の熟練した技がよく表れています。

色鍋島は、釉薬の上に色絵の具を重ねて多彩な色を加える技法です。まず青色の下絵を施し、透明な釉薬をかけて焼成し基礎となる層を作ります。その上から上絵具を重ね、低温で再度焼成して完成させます。上絵の彩色には通常、赤・黄・緑が使われ、ときには黒や金を加えられることもあります。

青磁は、磁器に何層もの釉薬をかけて深みのある翡翠のような色合いを生み出す技法です。青磁は複雑な絵付けを施すことはあまりありません。焼成中に釉薬が流れたりひび割れたりすることがあり、実際には意図的にそのようにされることもあります。ひびのない完璧な作品を作るのは非常に難しいとされています。

鍋島燒の大きさ・形・意匠

1690 年代以降の鍋島燒は、大きさや形、意匠がより均一になりました。大きさは約 11 センチから 30 センチ程でした。大きな皿は深い底と高い高台を持つことが多く、焼成中にたわみやすいという特徴がありました。通常の伊万里焼では、焼成中のたわみを防ぐために支えが使われることがありましたが、その部分には小さな点状の跡が残ることがありました。しかし、鍋島燒は将軍への献上品として作られたため、ほんのわずかな欠点さえも許されませんでした。外側の支えを使わずに大皿を成形できたのは、最も熟練した陶工に限られていました。

鍋島燒や伊万里焼に用いられる文様は、植物・動物・幾何学模様・天候・宮廷生活など、幅広いモチーフに由来しています。しかし鍋島燒は、鍋島窯に課された厳しい指示のもとに生産されていたため、より細かく高品質です。磁器の裏面の模様は三方向に配置され、そのうち一つの模様を上向きに回転させることで、主たるデザイン方向を示すようにしていました。外側に用いられる文様はほぼ植物のみで、木の枝や草、牡丹唐草などが描かれ、牡丹唐草は将軍への献上品にのみ使用されました。城内で使用される器には、七宝結び文/七宝繫ぎ文が装飾として用いられました。また、高台部分にも装飾が施されました。初期の鍋島燒では高台の文様はさまざまでしたが、1700 年代の黄金期の終わり

頃には、ほぼすべてに「楯歯文」が用いられるようになりました。

【タイトル】伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル D

【想定媒体】QR

<簡体字>

展板 D

现代陶瓷制作

尽管制作瓷器的工具随着时间推移不断改进、效率也日益提升，但制作工艺自江户时代（1603—1867）以来从未改变，使大川内山的制瓷传统得以传承至今。

大川内山地区的制瓷工序是从有明海对岸的熊本县天草山开始的，从这里开采的瓷石，按品级筛选分类后，销往佐贺县嬉野市盐田町、以及其他少数地区的陶土加工企业。在那里，瓷石经过清洗、研磨、加水调制成泥浆后，泵入沉淀池内提纯，除去砂粒、铁屑等杂质。提纯后的泥浆通过压滤机压滤，析出绝大部分水分后，再由真空练泥机进一步加工，制成坯料后等待出售。

陶土塑形技法多样，而传统锅岛烧始终沿用陶轮拉坯工艺。陶土首先经过揉练，确保水分均匀，随后放到陶轮拉坯机上，由陶工塑造成所需的器型。江户时代以后，许多陶工积极引进西方技术以提升生产效率。如今，不少窑场已采用电动陶轮、石膏模具、注浆成型、压力注浆及滚压机等工艺，取代了传统的脚踏陶轮拉坯机。

成型后的器物会被阴干成半干状态，再由陶工使用修坯工具处理表面，刻削出圈足（陶器底座）。最后，用湿海绵、毛刷或布擦拭坯体。这一工序使得坯体表面更易与釉药相互渗融，成品的釉面也更显柔润光洁。

窑烧之前，每件坯体必须经过缓慢干燥，以防开裂变形。通常先放到阴凉处阴干两至三天，再放到阳光下晒干、或放到阴凉通风处继续自然干燥。完全干燥的坯体需进行 900°C 素烧，以彻底去除残留水分，使胎质更加致密坚硬。素烧后的器坯也更易吸附颜料与釉料。

素烧完成后，画师使用含有氧化钴的釉下彩颜料绘制图案。经烧制后，这类颜料将呈现青花色泽。工匠先用极细的笔勾勒出图案轮廓，再用较粗的笔填色或晕染青花的浓淡层次。

釉下彩绘制完成后，工匠会采用浸釉或浇釉等方法，给器物上一层透明釉。所有圈足（陶器底座）的釉料必须刮除干净，以避免后续烧制时坯体与窑具粘连。在约 1300°C 的二次烧制过程中，釉下彩变为青色，坯体体积缩小约 10%。对青花锅岛烧（染付）而言，这道烧制过程即为最终工序，但如果想制作颜色更多的彩瓷，则还需进一步用釉上彩颜料绘制，然后在另一个 800°C 的窑内再次烧制而成。

<繁体字>

D 版

現代瓷器生產

雖然製作瓷器的工具隨著時代演進不斷發展而變得更有效率，但製程本身從江戶時代（西元 1603–1867）以來都沒有改變，因此大川內山的過往與現在一脈相承。

大川內山的瓷器製程始於有明海對岸的熊本縣天草山區。瓷器石材開採、分級後賣給佐賀縣嬉野市鹽田附近，以及其他某些地方的陶土加工廠，以及其他某些地方。在那裡將陶土清洗乾淨，磨成細粉後混合成泥漿狀。混濁的液體用泵浦打入沉澱池，以去除沙子與鐵等雜質。將濾過後的液態陶土放入壓濾機，壓濾機幾乎可以將所有水分擠出。最後，讓陶土過真空擠壓機後即可出售。

陶土塑形的方法有很多種，但鍋島燒傳統上是以陶輪來成形的。首先，均勻地揉捏陶土，讓陶土中的水分均衡分佈。然後，將陶土放到陶輪上，由陶匠將陶土塑造成想要的形狀。江戶時代以後，許多陶匠融入了西方技術，以提高生產效率。大多數窯爐都採用電動輪、灰泥模具、注漿成型、壓鑄成型及滾筒機來代替傳統的腳踏式輪。

將塑形好的作品晾乾到皮革般的硬度。然後陶匠用修坯工具將表面修整平滑，並捏出圈足。最後，用濕海綿、刷子或布擦拭陶土。這樣有助於釉料附著在陶土表面，以創作出更光滑的成品。

每件作品在燒製前都必須緩慢乾燥，以防裂開及變形。未燒製的陶瓷通常會在陰涼處先風乾兩到三天，然後再放在太陽直射處，或在陰涼通風處放更長的時間風乾。乾燥後將這些作品放在 900°C 高溫中進行素燒，以去除殘留水分，讓陶土變得更緻密堅硬。素燒過的陶土會更容易吸收顏料和釉料。

素焼完成後、陶匠們會用氧化鈷釉下彩來繪製圖案，這種釉下彩在燒製過程中會轉為藍色。先用極細的畫筆在作品上勾勒最終設計的輪廓，然後再用較大的畫筆將顏料塗滿在圖案上，或是做出淺藍到深藍的漸層。

釉下彩圖案完成後，工匠會透過浸入或澆注的方式，在作品上透明釉。在燒製前，則要將圈足的釉料刮除，以防燒製時瓷器上的釉融到窯爐上。在第二次燒製（約 1300°C）過程中，釉下彩會變成藍色，作品會收縮 10% 左右。第二次燒製通常是青花瓷的最後一個步驟，但擁有多種色彩的作品必須先用釉上彩繪圖後，再用另一個窯爐以 800°C 的溫度再次燒製。

<日本語仮訳>

現代の磁器生産

磁器制作に用いられる道具は時代とともに進化し効率的になりましたが、その制作工程自体は江戸時代からほとんど変わっておらず、大川内山の過去と現在を直接つなぐものとなっています。

現在、伊万里市大川内山における磁器の生産工程は、有明海を隔てた熊本県天草の山々から始まります。ここで採掘された陶石は等級ごとに選別され、佐賀県嬉野市塩田町を中心とする陶土加工業者へと販売されます。ここでは、陶石を洗浄し細かい粉末に砕いた後、水を加えて泥状にします。その泥水を3つの沈殿槽に分け、不純物である砂や鉄分を取り除きます。残った液体はフィルタープレスにかけられ、ほとんどの水分が絞り出されて完成した陶土となります。最後に、この胎土の塊は真空土練機に通され販売用に整えられます。

成形にはさまざまな方法がありますが、鍋島焼では伝統的にろくろによって形を作ります。まず、胎土中の水分を均一にするために練り合わせます。その後、ろくろの上に胎土をのせ、陶工が目的の形に成形します。江戸時代以降、多くの陶工が西洋の技術を取り入れ、生産効率の向上を図りました。現在では、多くの窯元で従来の足ろくに代わり、電動ろくろや石膏型、鋳込み、圧力鋳込み、ローラーマシンなどが用いられています。

成形した器が半乾きの状態になると、陶工は削り道具を使って表面を整え、高台を削り出します。その後、濡れたスポンジや刷毛、布などで表面を拭き上げます。この工程によって釉薬が胎土の表面によくなじみ、より滑らかな仕上がりになります。

素焼きの準備として、変形やひび割れを防ぐために、作品をゆっくりと乾燥させる必要があります。通常、まず日陰で 2~3 日間自然乾燥させ、その後直射日光の下に移すか、風通しのよい日陰でさらに時

間をかけて乾かします。十分に乾燥したら、900℃で素焼きを行い、残っている水分を完全に飛ばすとともに、胎土の素地を緻密かつ硬くします。素焼きされた器は、顔料や釉薬がよく浸透するようになります。

素焼きの後、主に酸化コバルトを成分とする下絵具で絵付けが行われます。焼成するとこの顔料は青く発色します。細い筆で器に最終的な図柄の輪郭線を描き、次に大きめの筆を使って色を塗り重ねたり、濃淡のある青のグラデーションを表現したりします。

下絵付けが終わると、職人は透明釉を施します。これは、作品全体を釉薬に浸すか、上から釉薬をかける方法で行われます。高台の釉薬は、焼成中に作品が窯にくっかないように削り取られます。二度目の焼成（約 1300℃）では、下絵の顔料が鮮やかな青に変わり、作品全体が約 10%収縮します。これで染付磁器は完成となりますが、多色の作品の場合はこの後さらに上絵付を施し、より低温の約 800℃の窯で再び焼成します。

【タイトル】伊万里・有田焼伝統産業会館：パネル E

【想定媒体】QR

<簡体字>

展板 E

佐贺瓷器的未来

为确保陶瓷行业与时俱进、持续繁荣，佐贺县陶瓷产业积极融合当代设计与前沿科技。早在 1916 年，佐贺县就成立了陶瓷研究实验室（Saga Ceramics Research Laboratory），是县立工程师办事处在有田町的下属机构。该机构致力于陶瓷新技术的研发、原材料开采、生产工艺改进及专业技术支持。

其创新成果之一，便是在模具设计中引入 3D 建模技术。通过计算机辅助建模，陶艺师可制作传统技法无法实现的特殊陶瓷造型，还能与远程客户共享产品开发进度，追踪设计修订版本，并节省了旧模具的仓储空间。

实验室还成功研制出一种低温烧制的新型陶土。这种陶土既保留了传统瓷器光泽与强度，又显著降低了燃料消耗，减轻了高温窑炉对环境的负担，让瓷器制作更加环保。

机器人技术也逐渐加入了陶瓷制造过程。例如，在陶土揉捏和素坯器皿的施釉环节已实现了自动化操作。机器人不仅缓解了窑厂的人手不足，提升了生产效率，还有助于推动制造技艺的传承。此外，实验室还开发了一款名为“Iroe”的智能手机应用程序，用户可用伊万里、有田烧等传统图案，创作属于自己独一无二的数字瓷器设计。

目前，佐贺县拥有 91 名荣获“传统工艺士”称号的陶瓷工匠。这是由日本经济产业省于 1975 年设立的名誉资格认证。要想获得这一名誉，每位工匠必须掌握与江户时代（1603—1867 年）制作瓷器同等水平的传统技艺。虽然传统工艺士仅占日本陶工总数的约 10%，但他们不仅技艺超群，更被寄予厚望——作为引领地区产业发展的中坚力量，承担起培养继承人与推广陶瓷工艺文化的重要使命。

大川内山的未来

锅岛烧是日本最古老的瓷器品类之一，是从江户时代起，在大川内山地区专为佐贺藩

主锅岛家族而烧制的。其精妙绝伦的工艺水准，至今仍被视为匠人技艺的巅峰。

如今，大川内山的匠人们继承了锅岛烧的精湛技艺，他们致力于将该地区的制瓷历史、文化与技艺传承给下一代，并致力于将大川内山的魅力推向世界舞台。

<繁体字>

E 版

瓷器的未來

為確保產業立於不敗之地，佐賀陶瓷產業高度重視當代設計與技術發展。佐賀縣窯業技術中心（Saga Ceramics Research Laboratory）成立於西元 1916 年，其前身為有田工程師佐賀縣分所，位於有田市。該組織致力於陶瓷新技術的研究與開發、原料開採、製程改善以及提供技術支援。

其中一個發展項目是利用 3D 模型軟體來設計新的模具。陶藝從業人員利用電腦輔助建立模型，可以創造出以傳統方式無法做出的特有陶瓷，與遠方的客戶分享產品進展過程，追蹤設計版本，並釋出過去用來存放歷代作品的儲存空間。

SCRL 開發了一種新型陶土，可用比傳統燒瓷更低的溫度進行烘烤。這種陶土保留了傳統陶瓷的光澤與強度，同時減少了燃料消耗，降低高溫窯爐對環境所帶來的影響。

機器人技術也導入製程之中。例如，利用機器人來揉捏陶土及將素燒過的作品浸到釉料中。機器人還可以幫那些招工不易的窯廠維持生產效能並保留生產技術。SCRL 開發了智慧型手機應用程式 Iroe，該應用程式可以經由擷取過去伊萬里燒和有田燒的傳統花色，重新設計原創的數位陶瓷圖案。

佐賀縣目前有 91 位獲得「傳統工匠」認證的陶瓷工藝師。這項備受尊崇的頭銜是經濟產業省於西元 1975 年設立的。要獲得這項認證的陶藝師，必須透過製作足以媲美江戶時代（西元 1603–1867）瓷器的作品來證明自己具備精湛的傳統工藝。傳統工匠只佔日本陶匠總人數約 10%，除了持續保有其卓越的技能外，還期望他們在當地發揮領導角色，培養後繼者並推廣陶藝。

大川內山的未來

鍋島焼是日本最古老的瓷器類型之一。鍋島焼是江戸時代為統治佐賀藩的鍋島家族在大川内山所生產的陶瓷。這些作品精湛的技術與藝術價值展現出這些原創陶藝師們卓然不凡的技藝。

大川内山の陶藝師們持續傳承著鍋島焼創作者們的製程。他們致力於向全球宣揚大川内山，並為後代子孫守護該地區與瓷器製作相關的歷史、文化與技術。

<日本語仮訳>

磁器の未来

佐賀の窯業界は、業界の将来を見据え、現代的なデザインや技術革新を積極的に取り入れています。

佐賀県有田町にある佐賀県窯業技術センター（SCRL）は、1916年に有田に佐賀県立技術員出張所として設立されました。同センターは、原料採掘から製造工程の改善、技術的・事業的支援、さらには佐賀の窯業振興全般を担う専門の研究開発機関です。

その開発の一つとして、金型設計や製作における3Dモデリングの活用があります。ソフトウェアを用いることで、従来の方法では実現できなかった特殊な陶磁器の制作、遠隔地にいる顧客との製品開発の共有、デザイン修正の履歴管理、そして過去の試作品を物理的に保管するためのスペース削減が実現しています。

SCRLでは、従来の磁器より低温で焼成できる新しいタイプの陶土を開発しました。この陶土は、従来の磁器が持つ明るい光沢や強度を維持しながら、燃料費を削減し、高温窯による環境への影響も軽減することができます。

また、製造工程にはロボット技術も取り入れられています。例えば、胎土のこね作業や素焼き済みの器の釉薬掛けにロボットが活用されています。人手の確保が難しい窯元では、生産効率の向上や製造技術の継承に貢献すると期待されています。また、SCRLはスマートフォンアプリ Iroe を開発しており、歴史ある伊万里・有田焼の伝統文様を用いて、オリジナルのデジタル磁器デザインを作成することが可能です。

佐賀県には現在、伝統工芸士の称号を持つ陶磁器職人が91名います。伝統工芸士は、1975年に経済産業省によって創設された名誉ある資格で、伝統工芸の技術を極めた職人に与えられます。この資格を取得するためには、各職人が江戸時代（1603～1868年）に作られていた磁器と同等の伝統技術を習得していることを証明する必要があります。伝統工芸士は、業界全体の職人の約10%に過ぎませんが、卓越した技術を持つだけでなく、地域の生産を牽引するリーダーとして後継者の

育成や工芸の普及にも貢献することが期待されています。

大川内山の未来

日本最古級の磁器のひとつである鍋島焼は、江戸時代に佐賀藩主・鍋島家のために大川内山で生産されました。これらの作品に見られる卓越した技術と芸術性は、当時の陶工たちの技術の高さを物語っています。

現在の大川内山の職人たちは、鍋島焼を生み出した人々の伝統を受け継ぎ、さらに発展させています。彼らは、この地域の磁器づくりにまつわる歴史、文化、技術を次世代に伝えることに尽力しており、大川内山の魅力を世界に発信していくことを目指しています。

【タイトル】鍋島藩窯 大川内山：マップ

【想定媒体】パンフ

<簡体字>

日本瓷器简史

日本瓷器生产始于 17 世纪初的有田町地区。最初的“伊万里烧”效仿中国瓷器，后来逐渐发展出独特的日式风格，尤其以釉上彩绘技艺著称。至 17 世纪后期，伊万里烧远销欧洲并广受欢迎。同期，大川内山的窑厂开始烧制锅岛烧，作为锅岛家族用于政治与个人赠礼的珍品。

大川内山与锅岛烧

多数学者认为，锅岛烧于 1650 年代始创于有田町。当时明朝覆灭，导致日本难以从中国进口瓷器。佐贺藩统治者锅岛家族，由于必须向德川幕府进献贡品，于是召集有田顶尖的陶匠制作锅岛烧，采用独特设计以满足将军与大名（日本封建时代的地方领主）的审美需求。为防止锅岛烧的技艺外泄，锅岛家族于 17 世纪 60 年代将匠人与窑厂迁至隐蔽的大川内山谷地。

锅岛烧精品多作馈赠将军与大名之礼，鼎盛期见于 17 世纪末。18 至 19 世纪因禁奢令和财政困难，风格从繁复彩绘转向简约青花。如今，大川内山约 30 座窑厂仍延续着 300 多年前先辈陶工在此扎根时所传承下的工艺。

精彩看点

大川内山的主路旁，可见陶工桥与水车带动的捣泥臼复原装置。巨大的木槌起落有致，敲击声在山谷林木间回荡，如同数百年前的时光重现。

沿着锅岛藩窑公园内的登山步道，可更好地欣赏村落与山谷全貌。公园中不少墙面都装饰着旧时窑砖与瓷器碎片。公园入口处还有一座仿制的阶级窑，此窑建于 1990 年，每年九月点火启用，用于烧制献赠全日本各机关和重要人士的瓷器。

连接伊万里锅岛烧展馆与伊万里陶艺馆的主路两侧，私人窑厂经营的店铺与咖啡馆鳞次栉比，所有食器均采用大川内山本地制作的瓷器。

特色体验

大川内山全年举办多个特色活动。四月，整个小镇化身为春季陶器市集；夏季，街巷与店铺悬挂风铃，举办风铃集市；秋季，当地居民欢庆锅岛藩窑节，以仪式纪念锅岛烧的

历史。节日期间，居民将举办仪式，向陶艺先辈与他们的陶艺工具敬拜。

部分窑厂还提供体验工坊，游客可亲手绘制风铃或茶杯，创作个人专属作品。如需预约或了解详情，请咨询窑厂或游客中心。

<繁体字>

關於日本瓷器

日本瓷器的生產始於 17 世紀初的有田地區。這些被稱為伊萬里燒的陶瓷最初是仿照中國瓷器製作的，但隨著歲月的遷移，逐漸發展出鮮明的日本風格，特別是在釉彩上色這方面。到了 17 世紀後期，伊萬里燒已經傳入歐洲，並在當地廣受大眾喜愛。大約在同一時期，大川內山窯廠開始生產鍋島燒，供鍋島氏用來當作政治與私人贈品。

大川內山與鍋島燒

大部分歷史學者認為鍋島燒最早產於 17 世紀 50 年代的有田地區，源於當時明朝滅亡後，中國瓷器的進口不易。對於掌控佐賀藩的鍋島氏來說，他們必須將瓷器當作貢品獻給德川幕府，因此獲得高品質的瓷器尤其重要。鍋島燒是由有田地區最好的工匠所製作，並採用獨家設計圖案來取悅幕府將軍與大名們。為防止設計圖案與技術被盜，鍋島氏在 17 世紀 60 年代將工匠和窯爐遷到偏遠的大川內山山谷。

鍋島燒最精美的作品可以追溯到 17 世紀末，是用來當作贈品獻給幕府將軍和大名們的。18、19 世紀以來的禁奢政策與財政困境促使陶瓷圖案從浮誇轉為簡樸的藍白設計。直到現在，大川內山仍有約 30 個窯爐沿用著 300 多年前建立該社區的陶匠們所採用的技術。

景點推薦

在通往大川內山的主幹道旁，坐落著陶匠橋和水力驅動的陶土研鉢仿造品。巨大木槌所發出的規律敲打聲迴盪在樹林間，一如若干世紀前的景象。

想取得村落與山谷的最佳觀賞景點，可以走走鍋島藩窯公園裡的步道。公園裡許多牆壁都飾有昔日窯爐的陶瓷碎片與磚塊。公園入口處有一座仿照昔日生產鍋島燒的爬窯所建造的窯爐。該仿造窯爐建於西元 1990 年，每年九月都會用來燒製陶瓷，並將該些作品贈送給全國各地的機構與政要。

從伊萬里-鍋島燒展覽館到伊萬里陶藝館的主幹道兩旁，林立著私人窯廠所經營的店鋪和幾家咖啡店，店內使用的瓷器都是大川內山所生產的。

行程推薦

大川內山全年都會舉辦各種活動。每年四月小鎮會迎來春季陶藝展。夏季時，街道和

店家會懸掛風鈴來慶祝風鈴節；秋季時，居民會舉辦鍋島窯節來歌頌鍋島燒的歷史。在節慶舉辦期間，當地居民會舉行儀式來頌揚歷代陶匠及他們的製陶工具。

有些窯廠會開辦工作坊，讓遊客在風鈴或茶杯上繪製自己的作品。如需預約或了解更多訊息，請直接洽詢窯廠或遊客中心。

<日本語仮訳>

日本の磁器

日本での磁器生産は 17 世紀初頭に有田で始まりました。伊万里焼として知られるこれらの陶磁器は、当初、中国製を模したデザインでしたが、次第に上絵付けを取り入れるなどして独自の様式が確立されていきました。17 世紀後半には、伊万里焼はヨーロッパにも輸出され、大変な人気を博しました。同時期に、大川内山の窯では鍋島焼が生産され、佐賀藩主・鍋島家の政治的・個人的な贈答品として用いられるようになりました。

大川内山と鍋島焼

多くの歴史家は、鍋島焼は 1650 年代に有田で初めて作られたと考えています。これは、明朝の滅亡により中国製磁器の輸入が困難になったことが背景にあります。佐賀藩主である鍋島家は、将軍への献上品として高品質な磁器を提供する必要がありました。鍋島焼は、有田の優れた陶工たちによって作られ、将軍や大名を満足させる独自の意匠が施されていました。鍋島焼の意匠や技術の流出を防ぐため、1660 年代に鍋島家は窯を人里離れた大川内山の谷に移しました。

鍋島焼の最も優れた作品は、17 世紀後半に、江戸の将軍への献上品や大名への贈り物として作られました。18～19 世紀を通じての儉約令や財政難により、華やかで複雑な多色絵付けは減少し、よりシンプルな染付へと変化しました。現在、大川内山には約 30 軒の窯元があり、300 年以上前にこの地に窯を築いた陶工たちの技術を受け継いでいます。

見どころ

大川内山のメイン道路沿いには、陶工橋や水車で動く粘土臼のレプリカがあります。巨大な木製ハンマーが打ち付けるリズムは、数世紀前と同じように木々の間に響き渡ります。

村と谷を一望したい場合は、鍋島藩窯公園内のハイキングコースを登ってみましょう。公園内の多くの壁には、古い磁器の破片や旧窯のレンガが使われています。公園の入口には、鍋島焼の生産に使われた登り窯のレプリカもあります。1990 年に建てられたこの窯は毎年 9 月に使用され、全国の各機関や要人に献上する磁器の焼成が行われます。

伊万里・鍋島焼展示館と陶芸館伊万里の間のメインストリートには、個人経営の窯元やショップ、いくつかのカフェが並んでおり、大川内山で作られた磁器を使用しています。

楽しみ方

大川内山では、年間を通じてさまざまなイベントが開催されます。4 月には町全体が春の陶器市会場

となります。夏には、街や店舗が風鈴で彩られ、風鈴市が行われます。秋には、住民たちが鍋島焼の歴史を祝う鍋島藩窯まつりが開かれます。この祭りでは、町の住民が鍋島焼の祖先や陶工道具を称える儀式を行います。

また、いくつかの窯元では、訪問者が自分のデザインで風鈴や湯のみを絵付けできる体験教室を実施しています。参加希望の場合は、窯元やビジターセンターに予約や詳細の問い合わせをしてください。